

# 「食肉に関する意識調査」 報告書

令和6年度

公益財団法人 日本食肉消費総合センター

## 食肉に関する意識調査

## 目次

1. 調査の目的と分析の基本方針 .....	1
1.1 調査の目的.....	2
1.2 分析の基本方針.....	2
1.3 調査対象期間 .....	2
1.4 調査手法 .....	2
1.5 調査手順 .....	2
1.6 対象者条件.....	2
1.7 集計対象 .....	3
1.8 回答者属性.....	3
1.9 過年度の調査対象と継続設問 .....	5
<b>2. 考察 .....</b>	<b>9</b>
<b>2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察.....</b>	<b>9</b>
1)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）による全頭（羽）殺処分の認知度 （Q23）：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析 .....	10
2)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析 .....	12
3)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安（Q22）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析 .....	17
4)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解（Q24～Q27）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析 .....	22
<b>2.2 高止まりしている生産コストの食肉への価格転嫁に対する消費者意識の考察.34</b>	
1)「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安（Q47）： エリア・性・年代別分析.....	35
2)「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」の影響度（Q48）：エリア・性・年代別分析.....	36
3)「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項（Q49）： エリア・性・年代別分析.....	37
4)「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度（Q50）： エリア・性・年代別分析.....	46
5)「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識（Q51）： エリア・性・年代別分析.....	53
6)「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉に対する追加支払意思（Q52）： エリア・性・年代別分析.....	57

<b>2.3 「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識の考察</b> .....	<b>60</b>
1)画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義 (Q33) : エリア・性・年代別分析.....	61
2)画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」 (Q33) : エリア・性・年代別分析.....	64
3)「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向 (Q34) : エリア・性・年代別分析.....	70
4)「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度 (Q35) : エリア・性・年代別分析.....	71
5)「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度 (Q36) : エリア・性・年代別分析.....	72
6)「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴 (Q37) : エリア・性・年代別分析.....	73
7)「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー (Q38) : エリア・性・年代別分析.....	77
8)5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向 (Q39) : エリア・性・年代別分析.....	80
9)5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化 (Q40) : エリア・性・年代別分析.....	81
<b>2.4 「国産牛肉の格付」に関する消費者意識の考察</b> .....	<b>82</b>
1)「国産牛肉の格付」の認知度 (Q41) : エリア・性・年代別分析.....	83
2)「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ (Q42) : エリア・性・年代別分析.....	84
3)「国産牛肉の格付」の関心度 (Q43) : エリア・性・年代別分析.....	87
<b>2.5 「交雑種」「乳用種」に関する消費者意識の考察</b> .....	<b>88</b>
1)「国産和牛」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度 (Q44) : エリア・性・年代別分析.....	89
2)「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ (Q45) : エリア・性・年代別分析.....	90
3)「交雑種」「乳用種」の表示の認知度 (Q46) : エリア・性・年代別分析.....	97
<b>2.6 食品購入にあたっての「アニマルウェルフェア (AW)」に対する 消費者意識の考察</b> .....	<b>98</b>
1)「アニマルウェルフェア (AW)」の認知度 (Q53) : エリア・性・年代別分析.....	99
2)「アニマルウェルフェア (AW)」の関心度 (Q54) : エリア・性・年代別分析.....	100
3)「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q55) : エリア・性・年代別分析.....	101
4)「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思 (Q56) : エリア・性・年代別分析.....	102

<b>3. 食肉の購買実態に関する調査</b> .....	<b>103</b>
1)食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4) .....	103
2)食肉に対する種類別イメージ (Q5) .....	108
3)食肉の種類別購入頻度 (Q6) .....	113
4)食肉の種類別の主な購入先 (Q7) .....	115
5)食肉購入時に重視する点 (Q8) .....	120
6)昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化 (Q9) .....	125
7)昨年同期と比べた最近1か月間の食品の購入回数の変化 (Q10) .....	130
8)各種牛肉の購入意向 (Q11) .....	134
9)各種牛肉の購入頻度 (Q12) .....	136
10)各種牛肉のイメージ (Q13) .....	140
11)国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14) .....	147
12)和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15) .....	149
13)国産牛肉 (和牛を含む) の普段の購入価格帯 (100gあたりの税込み価格) (Q16) .....	151
14)産地別牛肉の購入意向 (Q17) .....	152
15)産地別豚肉の購入意向 (Q18) .....	154
16)産地別鶏肉の購入意向 (Q19) .....	156
<b>4. 食肉の安全性に関する意識調査</b> .....	<b>157</b>
<b>4.1 食品の安全性に関する意識</b> .....	<b>157</b>
1)食品の安全性の不安感 (Q20) .....	157
2)食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q21) .....	164
<b>4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識</b> .....	<b>172</b>
1)社会全体における食肉の安全性の認識 (Q28) .....	172
2)食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源	
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q29・Q30) .....	174
3)各機関の取組に対する信頼性 (Q31) .....	180
4)食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q32) .....	183
<b>5. 集計表</b> .....	<b>188</b>

## 調査の目的と分析の基本方針

## 1. 調査の目的と分析の基本方針

### 1.1 調査の目的

消費者の食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の「購買状況、食肉に対する意識等」を調べ、国産食肉の安全・安心につながる要因を明らかにし、食肉に対する正しい理解・風評被害の防止等に資することを目的とする。

### 1.2 分析の基本方針

分析を行う上では、過年度調査との比較を試みることによって示唆を得るよう心掛けた。

### 1.3 調査対象期間

令和6年10月下旬に実施

### 1.4 調査手法

インターネット調査を実施した。対象者はモニター群から抽出した。

### 1.5 調査手順

調査の参加意向者募集  
実調査の実施

### 1.6 対象者条件

アンケートの対象者は「20歳以上、かつ本調査時点までの間に食肉(牛肉／豚肉／鶏肉)を自身で購入し食した方」とした。また、「1.2 分析の基本方針」でも示した通り、過年度調査との比較を分析の基本方針としていることに鑑み、エリア・世代・性別の分布については昨年度調査の構成比と近づけるよう調整を行った。

## 1.7 集計対象

1,800人からアンケートの回答を得た。そのうち、以下の2エリア、6世代を掛け合わせた12セルについて1セル150人、計1,800人を抽出し、集計対象とした。

### 1.7.1 エリア・世代分布

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
首都圏	150	150	150	150	150	150	900
京阪神圏	150	150	150	150	150	150	900
合計	300	300	300	300	300	300	1,800

図表 1 集計対象のエリア・世代分布

### 1.7.2 エリア区分

エリア名	都道府県名
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神圏	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県

図表 2 エリア区分（回答者所在都道府県）

## 1.8 回答者属性

### 1.8.1 性別

合計	男性	女性
1,800	900	900

図表 3 回答者属性（性別）

### 1.8.2 世帯年収構成

合計	300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない/わからない
1,800	341	406	273	246	136	55	343

図表 4 回答者属性（世帯年収構成）

### 1.8.3 世帯構成人数

合計	単身	2人	3人	4人	5人	6人以上
1,800	381	611	407	291	75	35

図表 5 回答者属性（世帯構成人数）

#### 1.8.4 回答者の学歴

合計	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院
1,800	38	491	190	181	816	84

図表 6 回答者属性（学歴）

#### 1.8.5 回答者の所在都府県

合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1,800	179	142	365	214	57	113	397	235	72	26

図表 7 回答者属性（所在都府県）

#### 1.8.6 家族構成員の状況（複数回答）

合計	うち				
	妊娠されている方	小学校入学前の子ども(乳児・幼児を含む)	小学生の子ども	中高生の子ども	65歳以上の方(ご自身を含める)
1,800	18	185	158	134	668

図表 8 回答者属性（家族構成員）

## 1.9 過年度の調査対象と継続設問

### 1.9.1 調査対象

平成 24 年度～30 年度、令和元年度～5 年度調査の調査対象は以下の通りである。今年度調査では、平成 26 年度～30 年度、令和元年度～5 年度と同様、年代を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上の 6 区分とし、首都圏、京阪神圏と合わせて、12 セルで 1 セル 150 名とし、1,800 名を調査対象とした。

年度	対象者数	エリア・世代分布
令和 5 年度 令和 4 年度 令和 3 年度 令和 2 年度 令和元年度 平成 30 年度 平成 29 年度 平成 28 年度 平成 27 年度 平成 26 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、 60 代、70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 25 年度	1,240 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名
平成 24 年度	1,238 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名前後

図表 9 過年度調査の対象

※平成 26 年度より年代については 60 代、70 代以上の区分を設けているため、年代の構成比が異なる。経年比較での調査結果を閲覧する際はこの点に留意する必要がある。

## 1.9.2 過年度からの継続設問・新規設問

平成24年度～30年度、令和元年度～5年度調査からの継続設問は以下に示す通りである。\*印は令和6年度からの新規設問である。

令和6年度設問		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
Q4	食肉の種類別機会別の喫食頻度	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q3	Q1	Q1	Q1
Q5	食肉に対する種類別イメージ	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q4	Q2	Q2	Q2
Q6	食肉の種類別購入頻度	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q5	Q3	Q3	Q3
Q7	食肉の種類別の主な購入先	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q6	Q4	Q4	Q4
Q8	食肉購入時に重視する項目	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q7	Q5	Q5	Q5
Q9	昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化	Q9	Q9	Q9	Q11	Q9	Q9	Q9	Q9	Q8	Q6	Q6	Q6
Q10	昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化	Q10	Q10	Q10	Q12	Q10	-	-	-	-	-	-	-
Q11	各種牛肉の購入意向	Q11	Q11	Q11	Q13	Q11	Q10	Q10	Q10	Q10	-	-	-
Q12	各種牛肉の購入頻度	Q12	Q12	Q12	Q14	Q12	-	-	-	-	-	-	-
Q13	各種牛肉のイメージ	Q13	Q13	Q13	Q15	Q16	Q11	Q11	Q11	Q11	-	-	-
Q14	国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度	Q14	Q14	Q14	Q16	Q20	Q14	Q14	Q14	Q16	-	-	-
Q15	和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q15	Q15	Q15	Q17	Q21	Q15	Q15	Q15	Q17	-	-	-
Q16	国産牛肉の普段の購入価格	Q16	Q16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q17	産地別牛肉の購入意向	Q17	Q17	Q16	Q18	Q22	Q16	Q16	Q16	Q18	Q7	Q7	Q7
Q18	産地別豚肉の購入意向	Q18	Q18	Q17	Q19	Q23	Q17	Q17	Q17	Q19	Q8	Q8	Q8
Q19	産地別鶏肉の購入意向	Q19	Q19	Q18	Q20	Q24	Q18	Q18	Q18	Q20	Q9	Q9	Q9
Q20	食品の安全性の不安感	Q20	Q20	Q19	Q21	Q25	Q22	Q19	Q19	Q21	Q10	Q10	Q10
Q21	食肉の安全性に関する項目別関心度	Q21	Q21	Q20	Q23	Q27	Q26	Q23	Q23	Q25	Q14	Q14	Q14
Q22	食肉の安全性の問題への不安度	Q22	Q22	Q21	Q24	-	-	-	-	-	-	-	-
Q23	感染家畜の全頭(羽)殺処分の認知度	Q23	Q23	Q22	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q24	口蹄疫について知っている知識	Q24	Q24	Q23	Q28	-	-	-	-	-	-	-	-
Q25	豚熱について知っている知識	Q25	Q25	Q24	Q26	Q29	Q28	-	-	-	-	-	-
Q26	アフリカ豚熱について知っている知識	Q26	Q26	Q25	Q27	Q30	-	-	-	-	-	-	-
Q27	鳥インフルエンザについて知っている知識	Q27	Q27	Q26	Q25	Q28	Q27	Q24	Q24	Q26	Q15	Q15	-
Q28	社会全体における食肉の安全性の認識	Q28	Q28	Q27	Q29	Q32	Q33	Q34	Q43	Q42	Q40	Q22	Q21
Q29	食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q29	Q29	Q28	Q31	Q34	Q35	Q36	Q45	Q44	Q42	-	-

令和6年度設問		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
Q30	食肉の情報について信頼できる情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q30	Q30	Q29	Q32	Q35	Q36	Q37	Q46	Q45	Q43	Q23	Q22
Q31	各機関の取組に対する信頼性	Q31	Q31	Q30	Q33	Q36	Q37	Q38	Q47	Q46	Q44	Q27	Q23
Q32	食肉の情報提供に対する行政への期待	Q32	Q32	Q31	Q34	Q37	Q38	Q39	Q48	Q47	Q45	Q28	Q24
Q33	画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」、「好きな・好んで食べたい国産牛肉」	Q33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q34	「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向	Q34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q35	「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度	Q35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q36	「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度	Q36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q37	「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴	Q37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q38	「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー	Q38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q39	5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向	Q39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q40	5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化	Q40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q41	「国産牛肉の格付」の認知度	Q41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q42	「国産牛肉の格付」別のイメージ	Q42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q43	「国産牛肉の格付」の関心度	Q43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q44 *	「国産和牛」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q45 *	「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q46 *	「交雑種」「乳用種」の表示の認知度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q47	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安	Q47	Q43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q48	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」の影響度	Q48	Q44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q49	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」により影響があった事項	Q49	Q45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q50 *	「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q51	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識	Q50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q52	「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の追加支払意思	Q51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

令和6年度設問		令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
Q53 *	「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度	—	Q37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Q54 *	「アニマルウェルフェア（AW）」の関心度	—	Q38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Q55 *	「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向	—	Q39	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Q56 *	「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思	—	Q40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

図表 10 過年度からの継続設問・本年度からの新規設問

## 2. 考察

### 2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察

- ・ 調査対象とした家畜伝染病による全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）について、「詳しく知っている」が 3.8%、「ある程度知っている」が 23.2%、「何となく知っている」が 29.5%で、認知率は 56.5%。「あまりよく知らない」が 20.3%、「知らない」が 8.9%、「全く知らない」が 14.3%で、非認知率は 43.5%。
- ・ 家畜伝染病の関心（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）は、「鳥インフルエンザ」が 53.8%、「口蹄疫」が 45.3%、「豚熱」と「アフリカ豚熱」が 42.2%の順。いずれの家畜伝染病についても、食肉の安全性に不安を感じる層ほど関心が高い。
- ・ 食肉の安全性の問題についての不安は、「鳥インフルエンザ」が 20.8%で最も高く、「牛の B S E（牛海綿状脳症）」が 20.2%、「食肉中の残留抗生物質」が 17.6%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 17.1%の順。「牛・豚の口蹄疫」は 7.6%、「豚熱」は 3.1%、「アフリカ豚熱」は 2.8%と不安度は高くない。
- ・ 口蹄疫への認知・理解は、「知っているものはない」が 54.8%で最も多く、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」が 20.7%、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」が 19.3%、「日本では口蹄疫の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの牛、豚、羊などの偶蹄類の動物及びその製品の持込みが規制されている」が 13.9%、「日本では、この 10 年間は、口蹄疫が発生していない」が 13.8%の順。
- ・ 豚熱への認知・理解は、「知っているものはない」が 62.8%で最も多く、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が 15.7%、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が 15.6%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が 10.8%の順。
- ・ アフリカ豚熱への認知・理解は、「知っているものはない」が 71.4%で最も多く、「アフリカ豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が 12.0%、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」が 11.7%、「日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が 8.2%の順。
- ・ 鳥インフルエンザへの認知・理解は、「知っているものはない」が 47.1%で最も多く、「日本では、昨年から今年にかけて約 10 件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった」が 22.5%、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」が 20.1%、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」が 19.5%、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」が 19.2%の順。

2.1 では、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に関する知識と食肉の喫食による感染への不安状況の把握と要因の分析を目的とした。

1) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）による  
 全頭（羽）殺処分 の認知度（Q23）  
 ： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

家畜伝染病について、説明文を提示して、全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）について聞いた認知度（Q23）は、「詳しく知っている」が 3.8%、「ある程度知っている」が 23.2%、「何となく知っている」が 29.5%で、認知率は全体の 56.5%である。

一方、非認知は、「あまりよく知らない」が 20.3%、「知らない」が 8.9%、「全く知らない」が 14.3%で、非認知率は全体の 43.5%である。

エリア別に認知率を見ると、首都圏が 57.6%、京阪神圏が 55.4%と大きな違いは見られない。

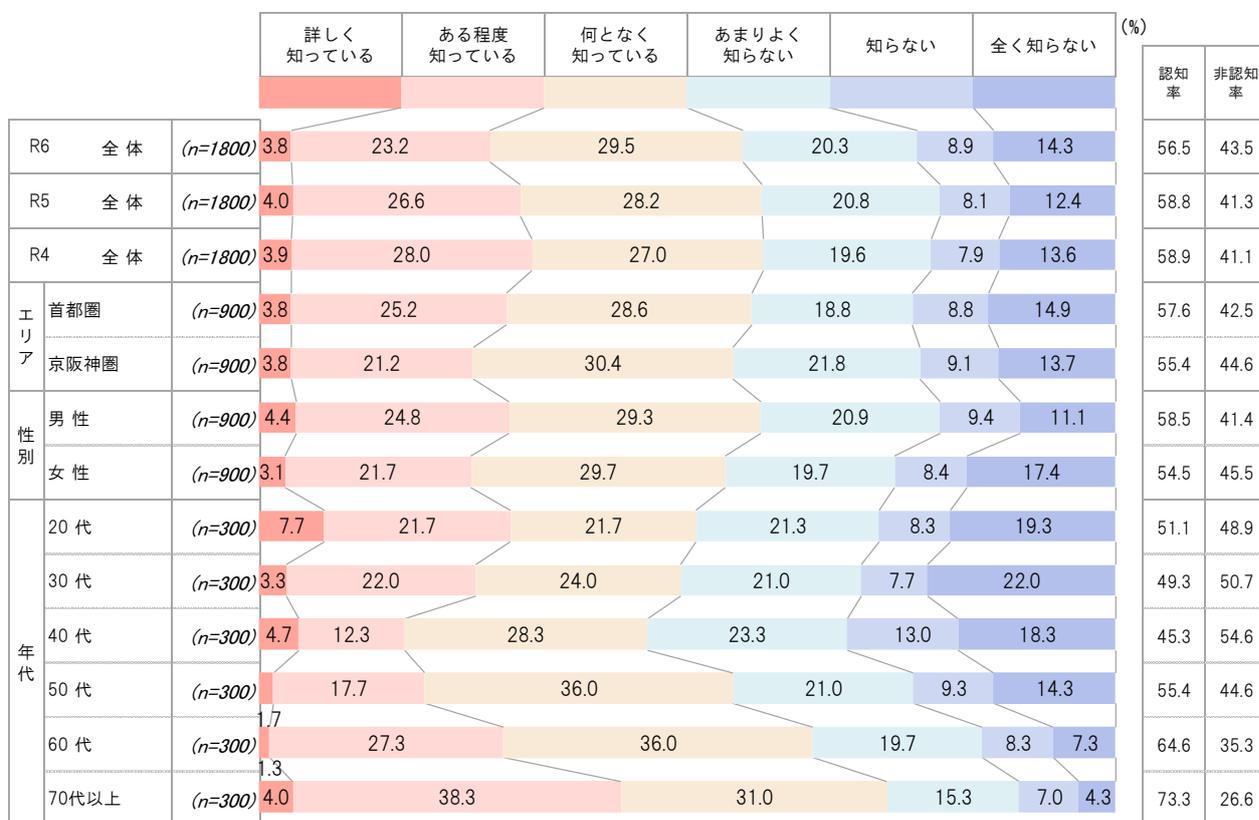
男女別に見ると、「ある程度知っている」が男性の方がやや高く、認知率を見ると男性が 58.5%、女性が 54.5%と、女性より男性の方が認知度がやや高い。

年代別に認知率を見ると 20代～50代では 5割前後の認知度だが、60代では 64.6%、70代以上では 73.3%と認知度が高くなっている。

過年度調査で見ると、全頭（羽）殺処分の認知度について大きな違いは見られない。

悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

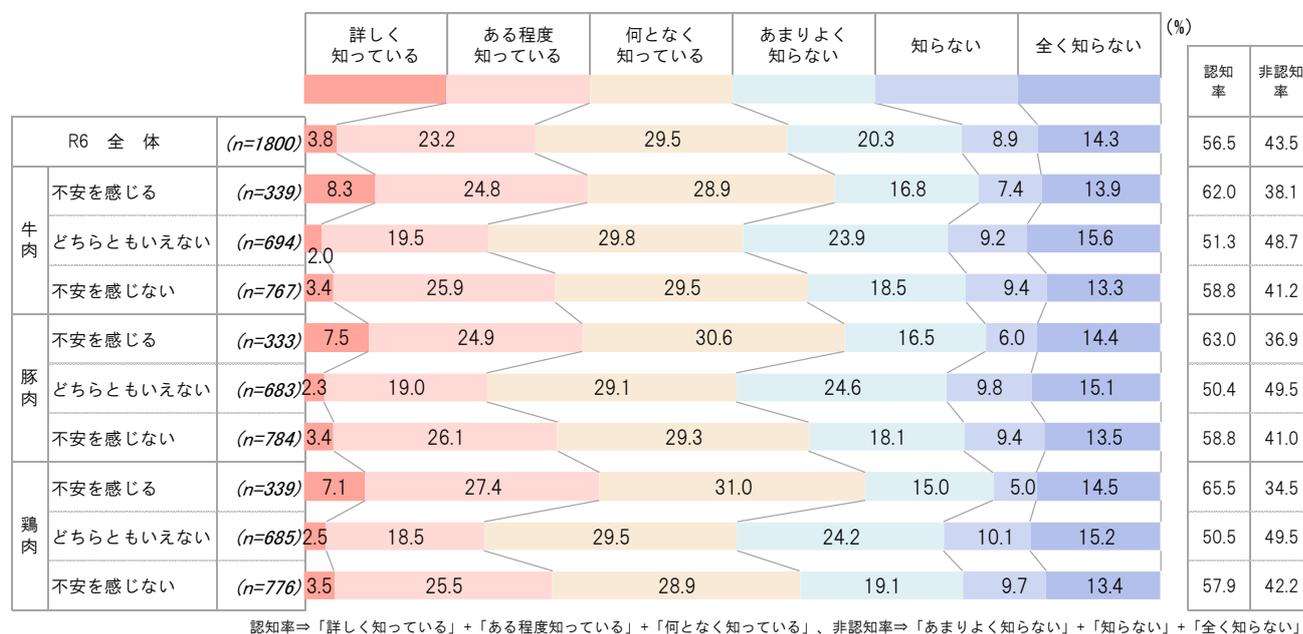
図表 11 提示説明文



認知率⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」、非認知率⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 12 エリア・性・年代別 家畜伝染病による全頭（羽）殺処分の認知度

食肉に感じる不安度(Q20)別に、全頭（羽）殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全て殺処分すること）の認知度（Q23）を見ると、牛肉・豚肉・鶏肉のいずれにおいても、不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で約5割と認知度が低くなっている。



図表 13 牛肉・豚肉・鶏肉への不安度別 家畜伝染病による全頭（羽）殺処分の認知度

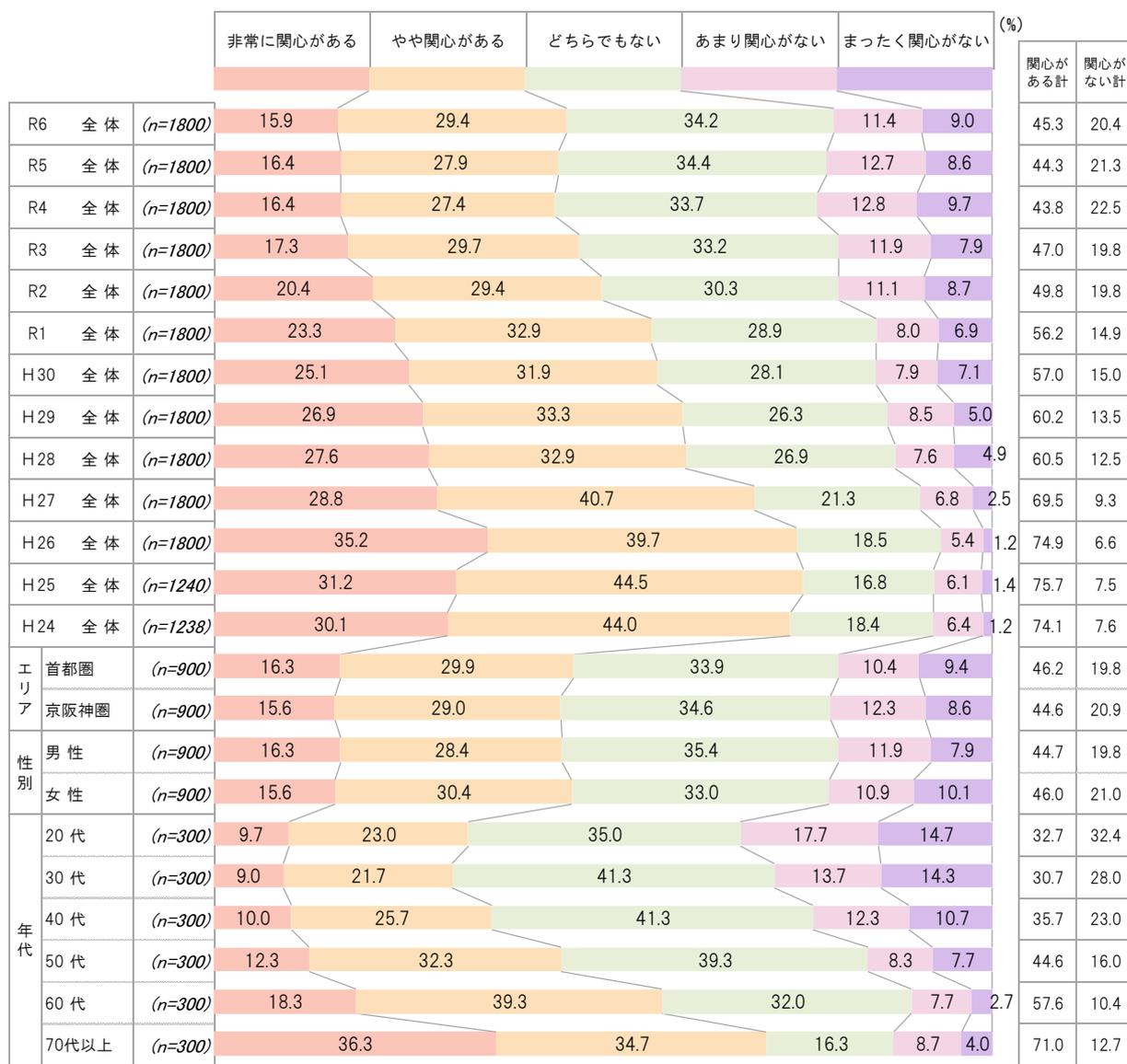
2) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）  
 : エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

調査対象とした家畜伝染病の関心度（Q21）は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」が53.8%、「口蹄疫」が45.3%、「豚熱」と「アフリカ豚熱」が42.2%の順で高い。

過年度調査で見ると、調査対象とした家畜伝染病の関心度について昨年度調査と大きな違いは見られない。

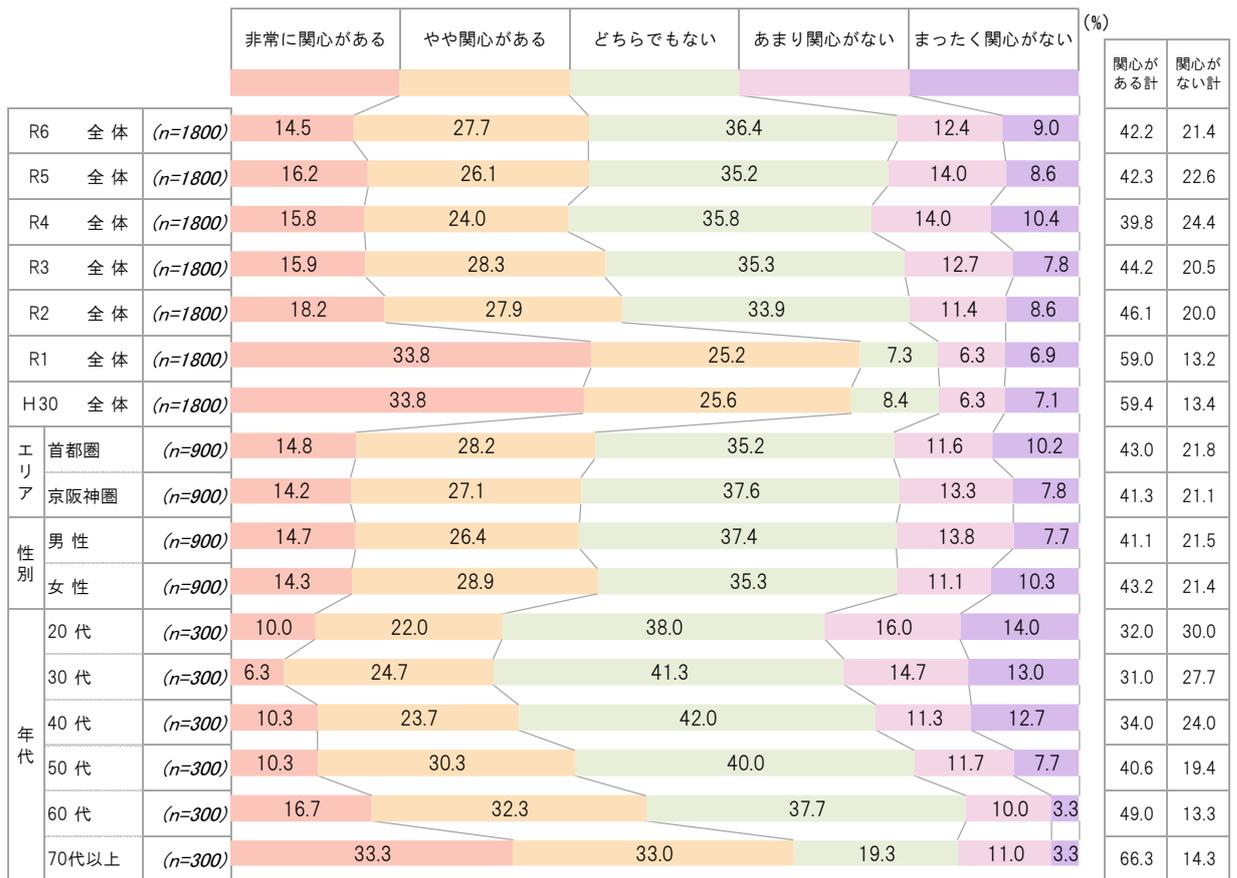
※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。

※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。



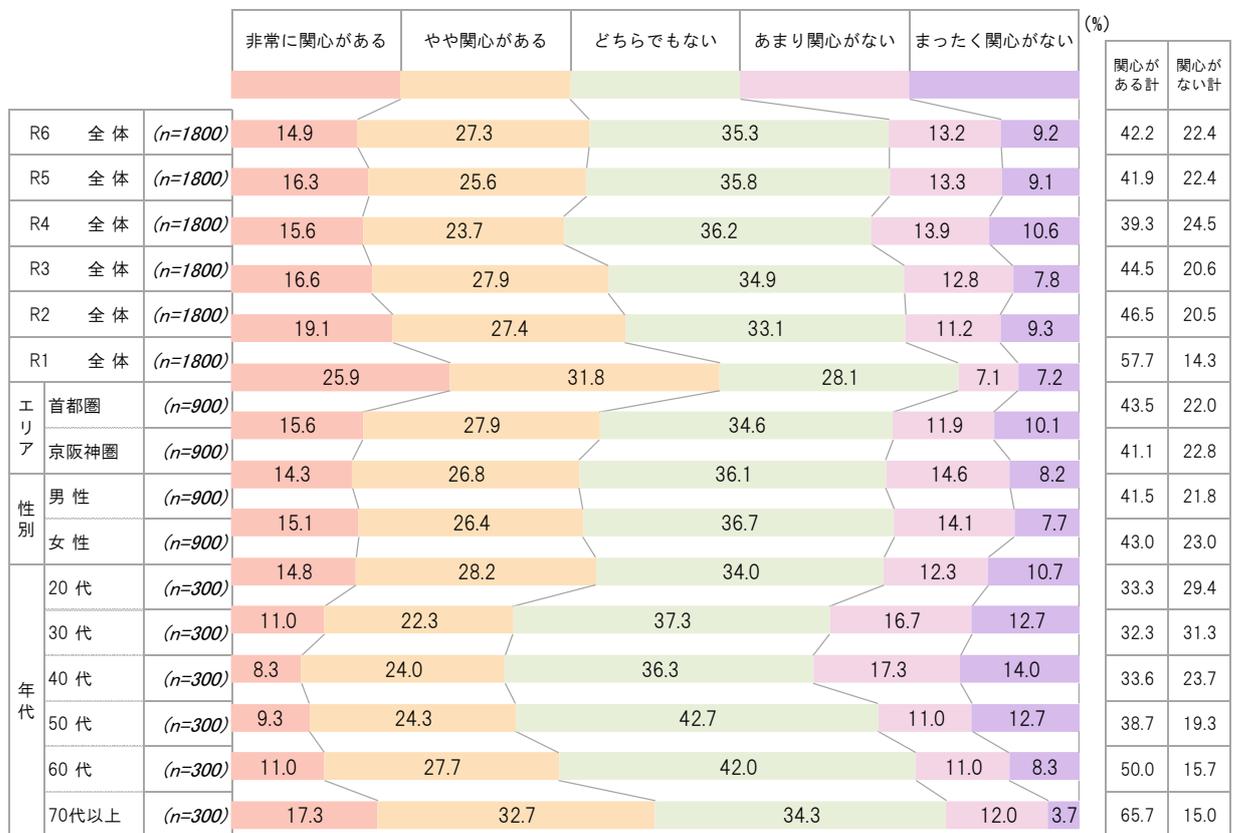
関心がある計⇒「非常に関心がある」＋「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」

図表 14 エリア・性・年代別 口蹄疫への関心度



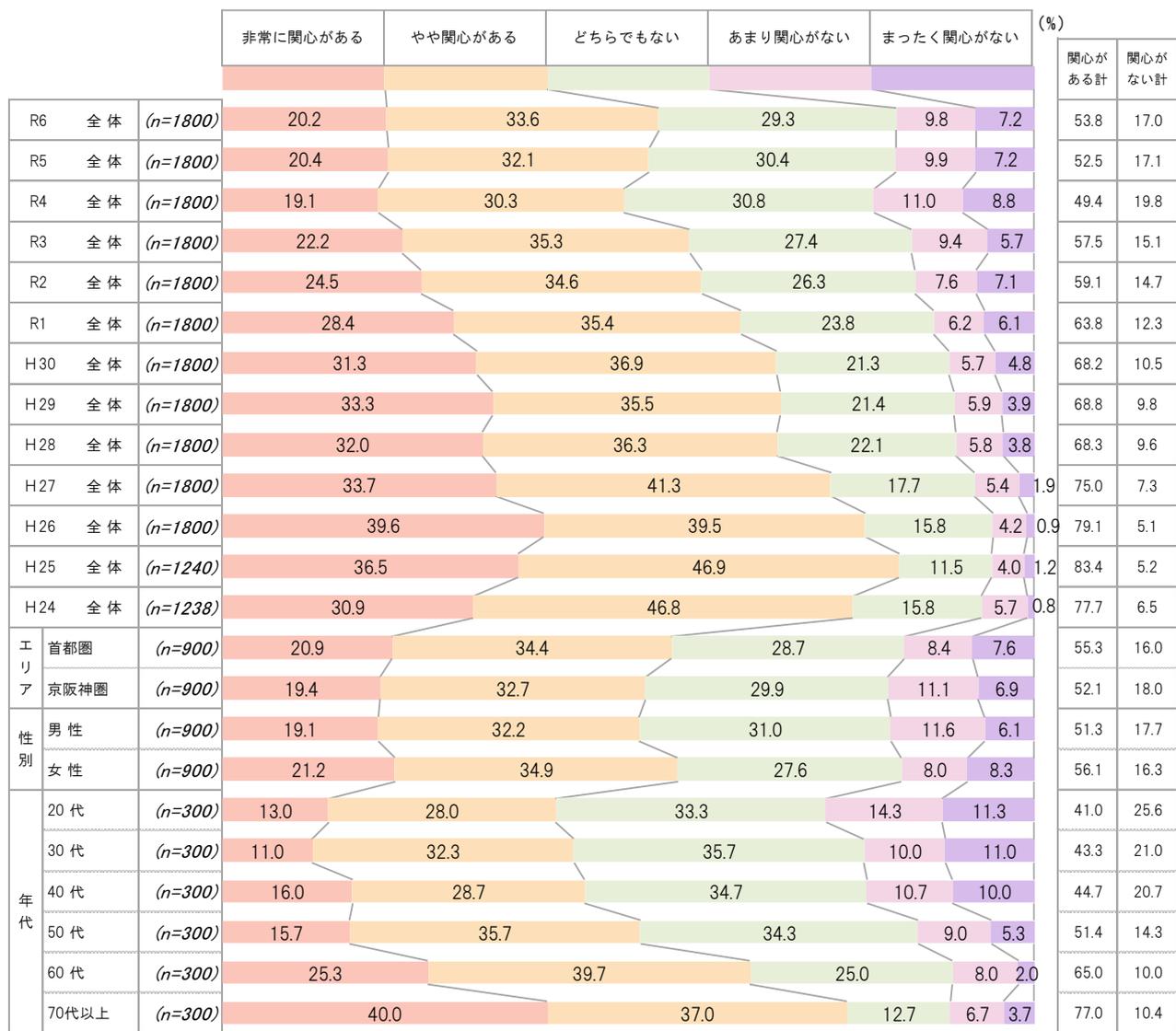
関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 15 エリア・性・年代別 豚熱への関心度



関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

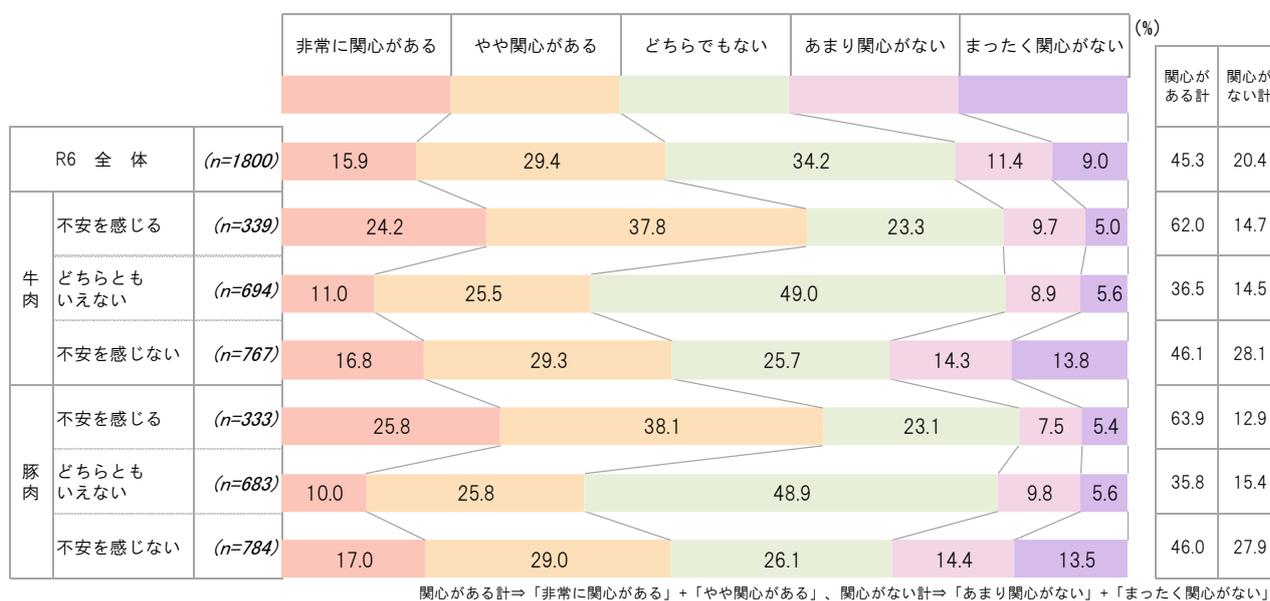
図表 16 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への関心度



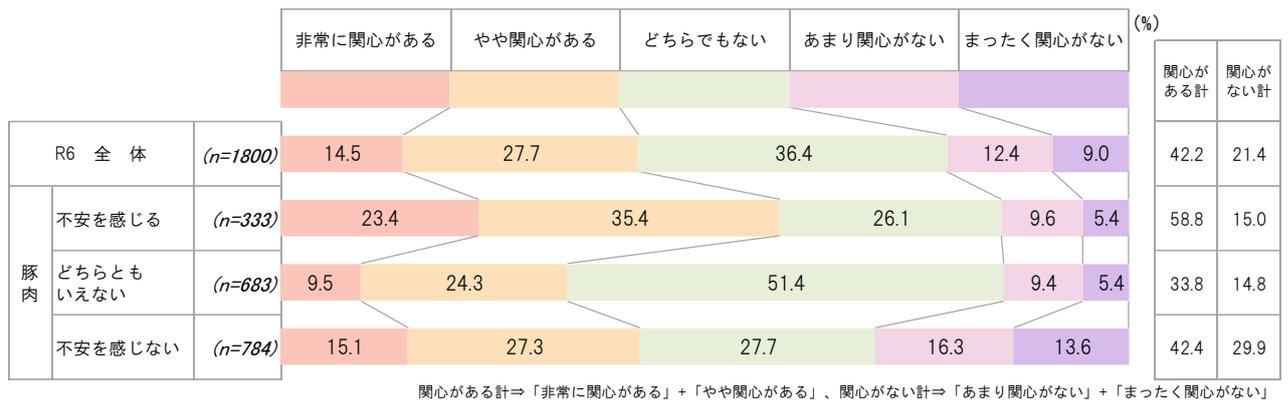
関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 17 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの関心度

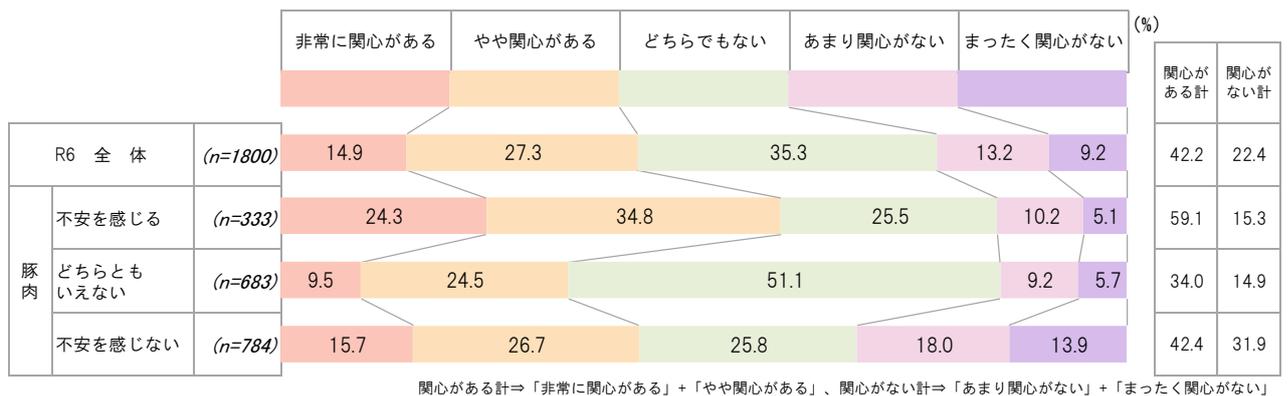
食肉に感じる不安度(Q20)別に、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q21）を見ると、いずれの家畜伝染病についても「不安を感じる層」ほど関心が高く、「どちらともいえない層」で関心が低い。



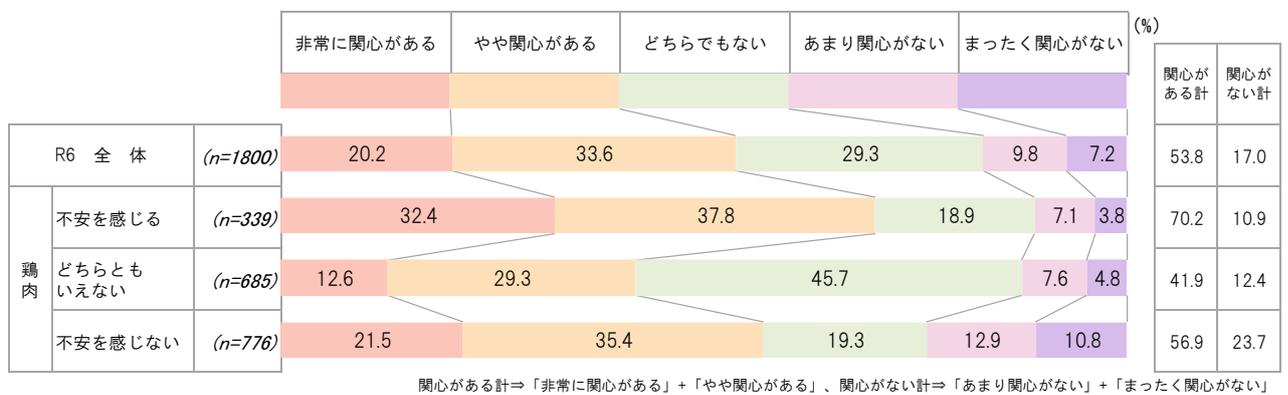
図表 18 牛肉・豚肉への不安度別 口蹄疫への関心度



図表 19 豚肉への不安度別 豚熱への関心度



図表 20 豚肉への不安度別 アフリカ豚熱への関心度



図表 21 鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの関心度

3) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安  
（Q22／3つまでの複数回答）

：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

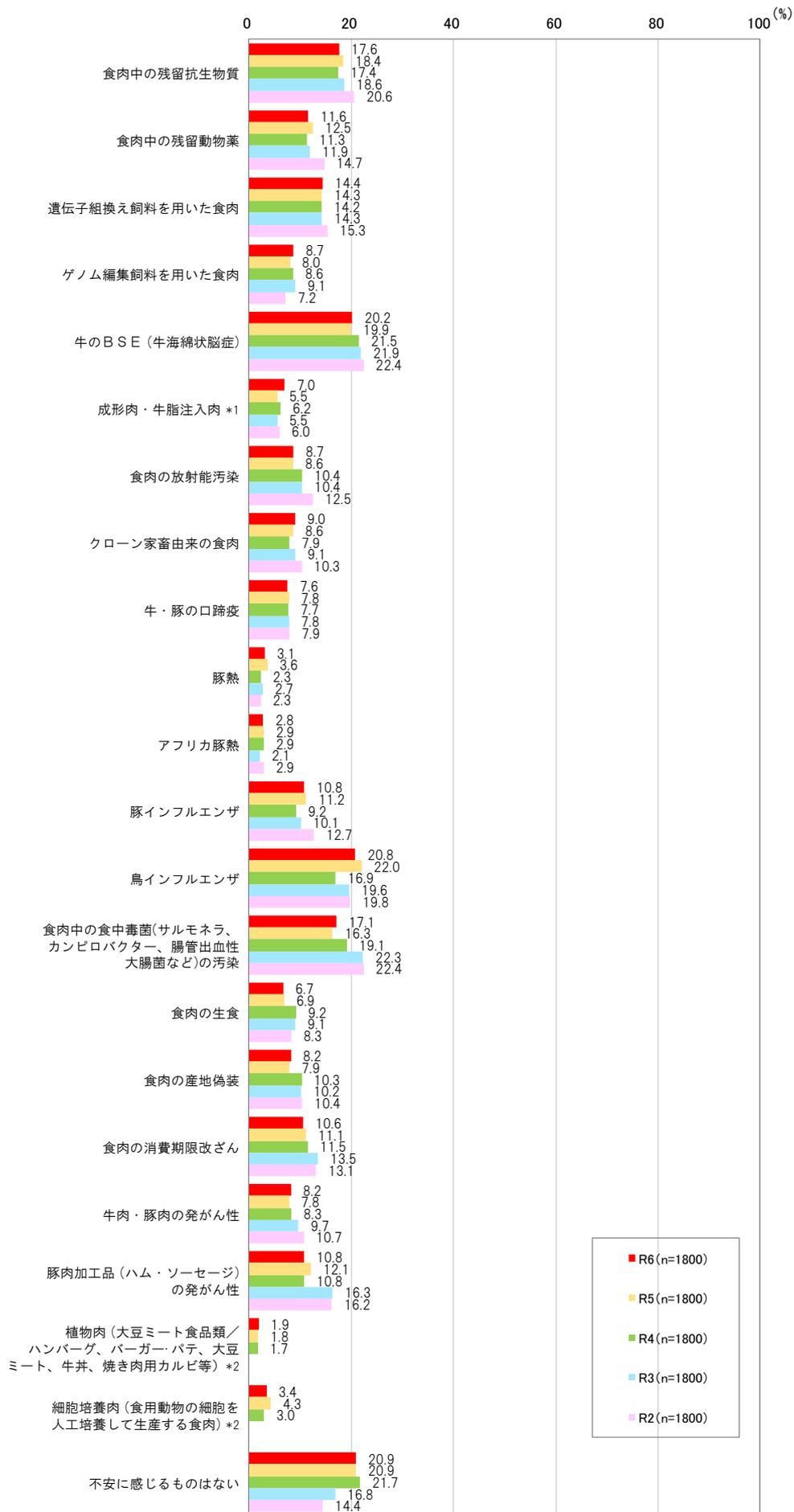
食肉の安全性の問題について不安を感じるものを3つまでの複数回答で聞いたところ（Q22）、「鳥インフルエンザ」が20.8%で最も高く、次いで「牛のBSE（牛海綿状脳症）」が20.2%、「食肉中の残留抗生物質」が17.6%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が17.1%の順で高い。

「牛・豚の口蹄疫」は7.6%、「豚熱」は3.1%、「アフリカ豚熱」は2.8%と不安度は高くない。

「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は1.9%、「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は3.4%といずれも不安度は高くないが、「植物肉」よりも「細胞培養肉」の方が不安度はやや高い。

「不安に感じるものはない」は20.9%と多い。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。



\*1 令和5年度選択肢「成形肉(インジェクション)」より変更

\*2 令和4年度より新規項目

図表 22 食肉の安全性について不安を感じる項目

家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は、女性より男性の方がやや高い。「豚熱」、「アフリカ豚熱」は、男女で大きな違いは見られない。「鳥インフルエンザ」は、男性が 21.9%、女性が 19.7%と女性より男性の方がやや高い。

年代別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は、年代が高くなるとともに不安度が高くなり、60代が 8.0%、70代以上が 17.7%と高くなっている。「鳥インフルエンザ」も年代が高くなるとともに不安度が高くなっている。

		(%)			
		牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	鳥インフルエンザ
R6	全体 (n=1800)	7.6	3.1	2.8	20.8
R5	全体 (n=1800)	7.8	3.6	2.9	22.0
R4	全体 (n=1800)	7.7	2.3	2.9	16.9
R3	全体 (n=1800)	7.8	2.7	2.1	19.6
R2	全体 (n=1800)	7.9	2.3	2.9	19.8
エリア	首都圏 (n=900)	8.9	3.1	2.9	20.7
	京阪神圏 (n=900)	6.3	3.0	2.8	20.9
性別	男性 (n=900)	9.4	3.7	3.1	21.9
	女性 (n=900)	5.8	2.4	2.6	19.7
年代	20代 (n=300)	5.3	3.0	5.0	18.0
	30代 (n=300)	5.7	2.3	1.7	19.3
	40代 (n=300)	3.7	3.7	3.0	20.7
	50代 (n=300)	5.3	1.7	2.0	22.0
	60代 (n=300)	8.0	3.3	2.3	22.3
	70代以上 (n=300)	17.7	4.3	3.0	22.3

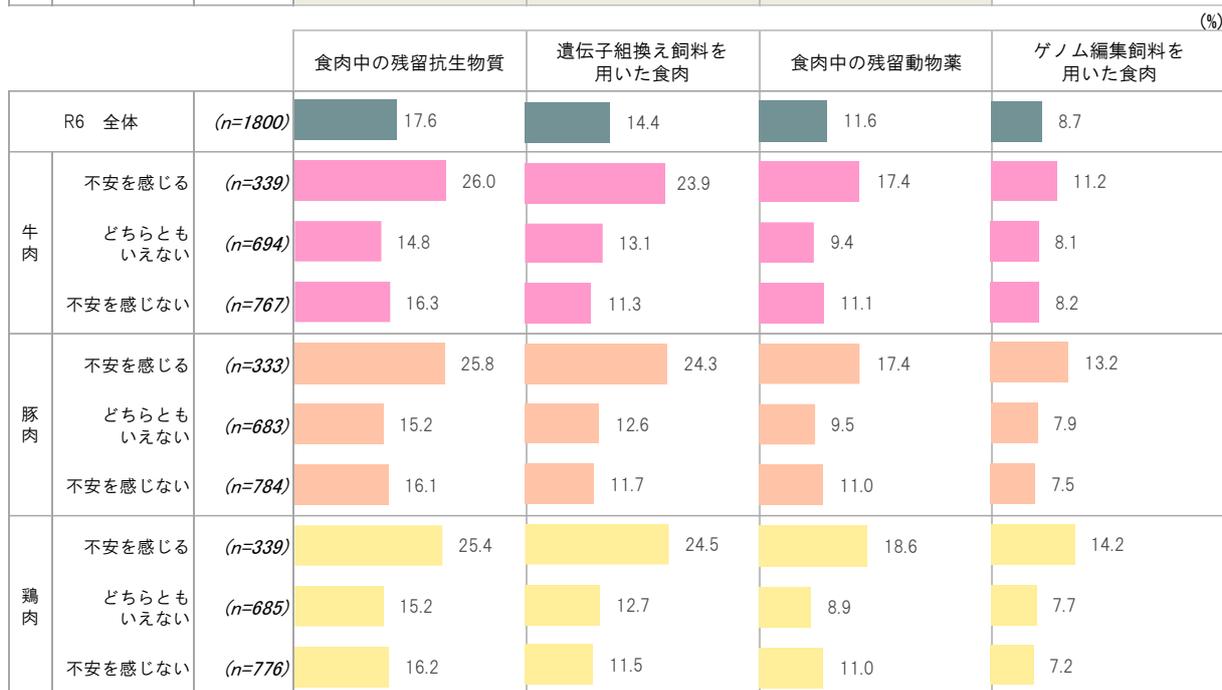
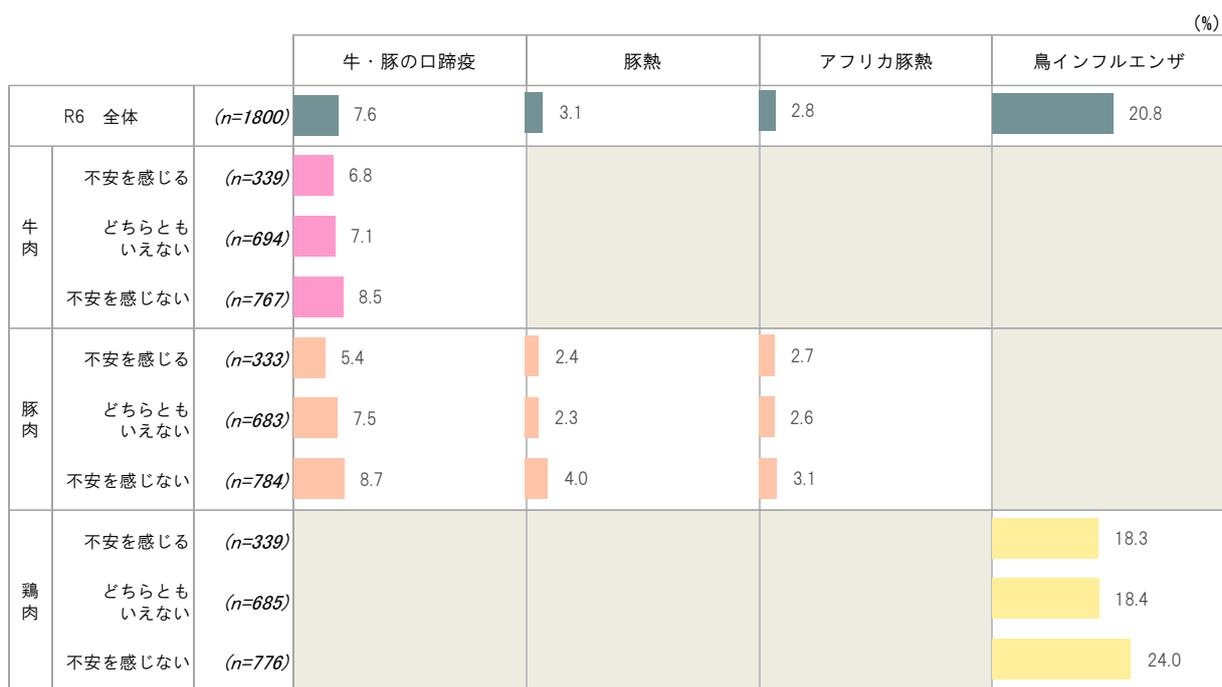
図表 23 エリア・性・年代別 家畜伝染病に「不安を感じる」回答者割合

食肉の不安度別に、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度を見た。

食肉の種類別について見ると、「鳥インフルエンザ」については、鶏肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べ高くなっている。

「口蹄疫」についても、牛肉・豚肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べ、不安度が高くなっている。

「豚熱」「アフリカ豚熱」についても、豚肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べ、不安度がやや高い。該当の食肉への不安度と、家畜伝染病への不安度とは、直接的な関係性は見られなかった。



図表 24 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 家畜伝染病への不安度

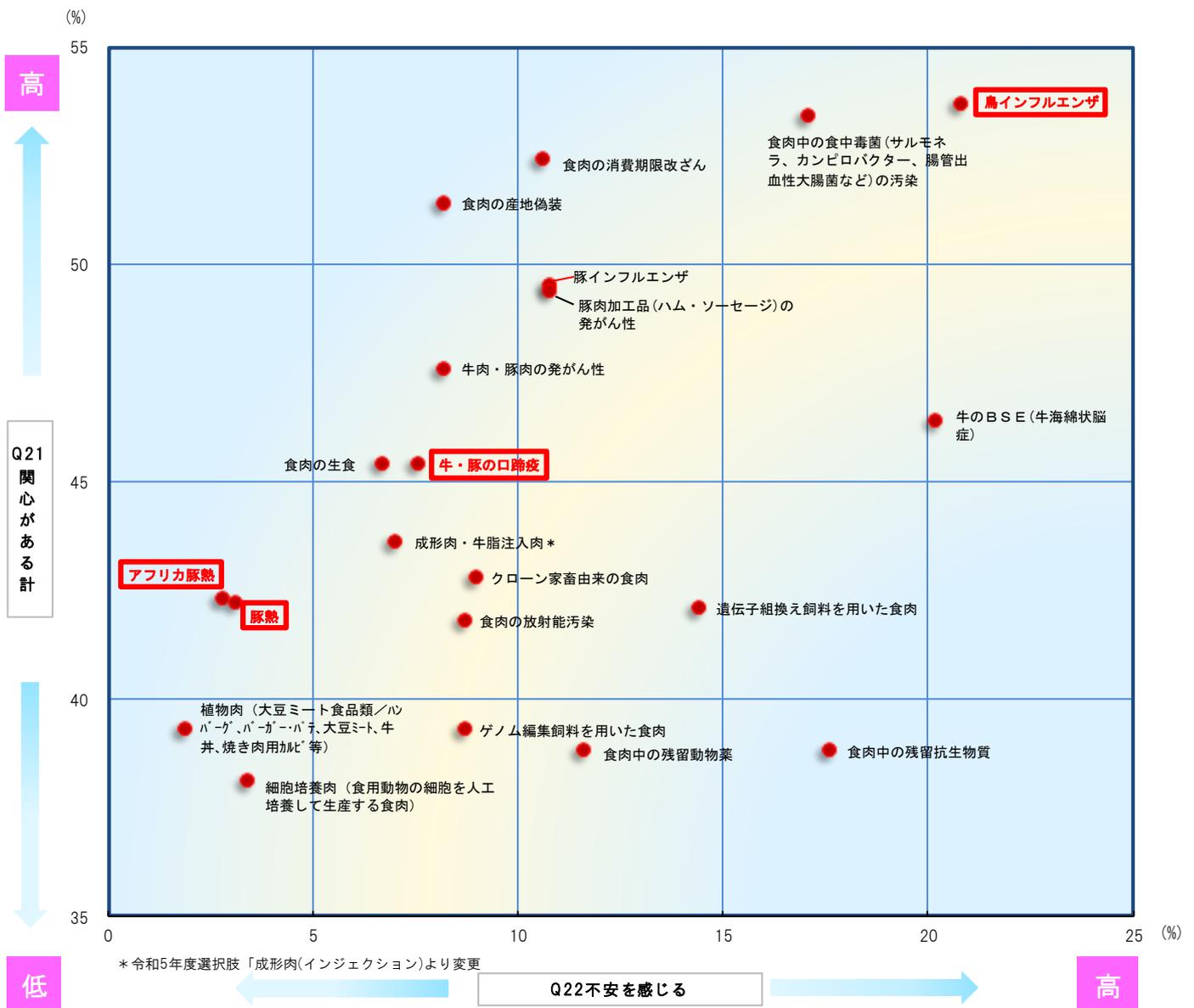
食肉の安全性の問題についての関心度（非常に関心がある＋やや関心があるの比率）を縦軸、不安度（3つまでの複数回答）を横軸に、プロット図にまとめ、食肉の安全性の問題における家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）のポジションを見た。

「鳥インフルエンザ」は、関心度・不安度ともに最も高い位置にある。

次いで、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が関心度・不安度ともに高い位置にある。

「牛・豚の口蹄疫」は、「食肉の生食」と近い関心度・不安度のレベルの位置にある。「豚熱」「アフリカ豚熱」は、関心度・不安度ともに、低い位置にある。

「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」も、関心度・不安度ともに低い位置にある。



※Q21 関心がある計は、Q21で「非常に関心がある」、「やや関心がある」のいずれかに回答した者の割合 (%) の合計である。

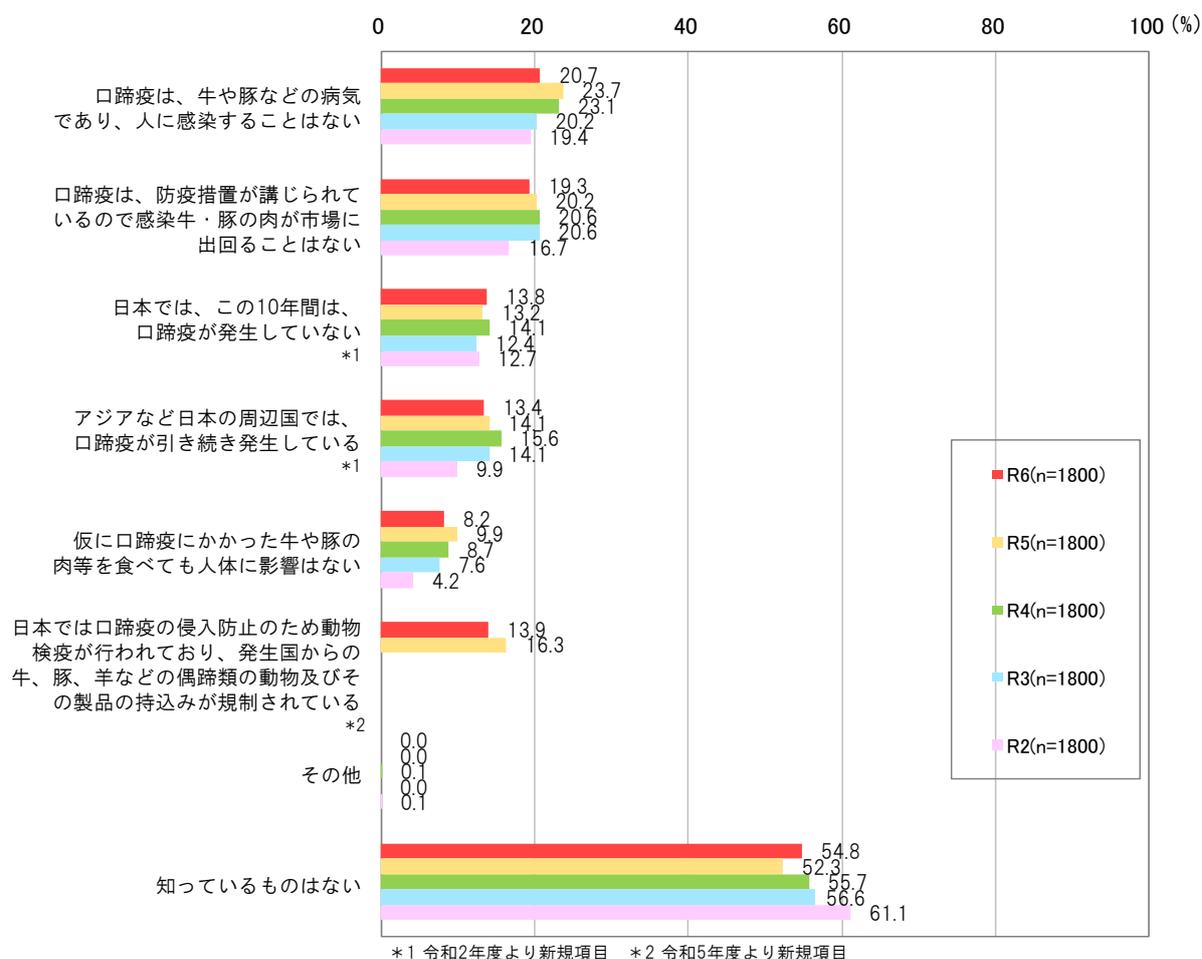
図表 25 食肉の安全性の問題に関係する 21 項目に「不安を感じる」回答者割合と「関心がある」回答者割合の散布図

4) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解  
 （Q24～Q27／複数回答）  
 ：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q20)別分析

口蹄疫への認知・理解

口蹄疫への認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q24）、「知っているものはない」が54.8%で最も多く、次いで「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」が20.7%、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」が19.3%、「日本では口蹄疫の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの牛、豚、羊などの偶蹄類の動物及びその製品の持込みが規制されている」が13.9%、「日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない」が13.8%の順となっている。

過年度調査で見ると、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」、「日本では口蹄疫の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの牛、豚、羊などの偶蹄類の動物及びその製品の持込みが規制されている」が減少している。

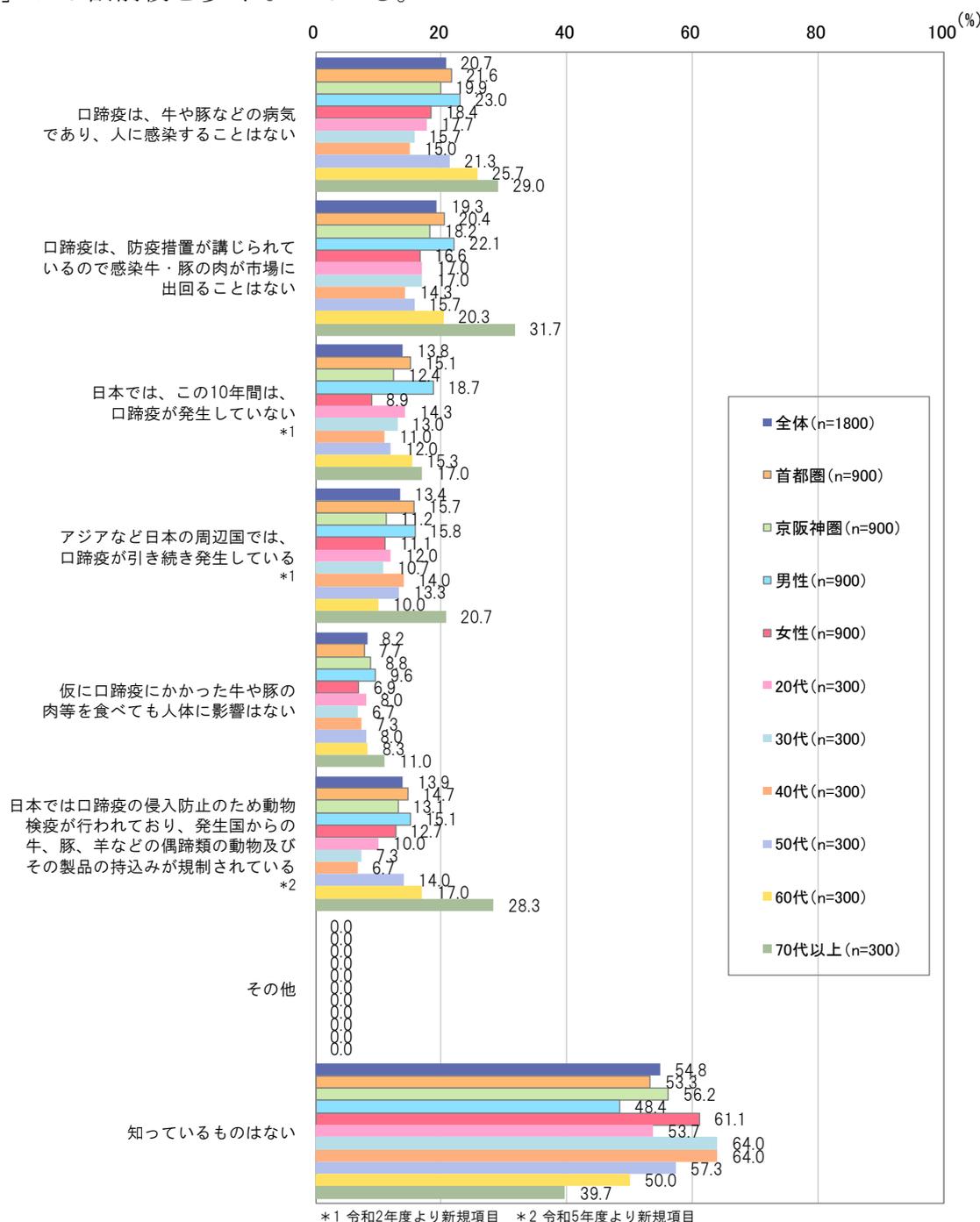


図表 26 口蹄疫への認知・理解（経年変化）

口蹄疫への認知・理解（Q24）をエリア別に見ると、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」は、首都圏が15.7%、京阪神圏が11.2%と、京阪神圏より首都圏の方が多い。

性別に見ると、「日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない」は、男性が18.7%、女性が8.9%と、女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が61.1%と多い。

年代別に見ると、20代～50代では「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」が少なくなっており、「知っているものはない」が6割前後と多くなっている。

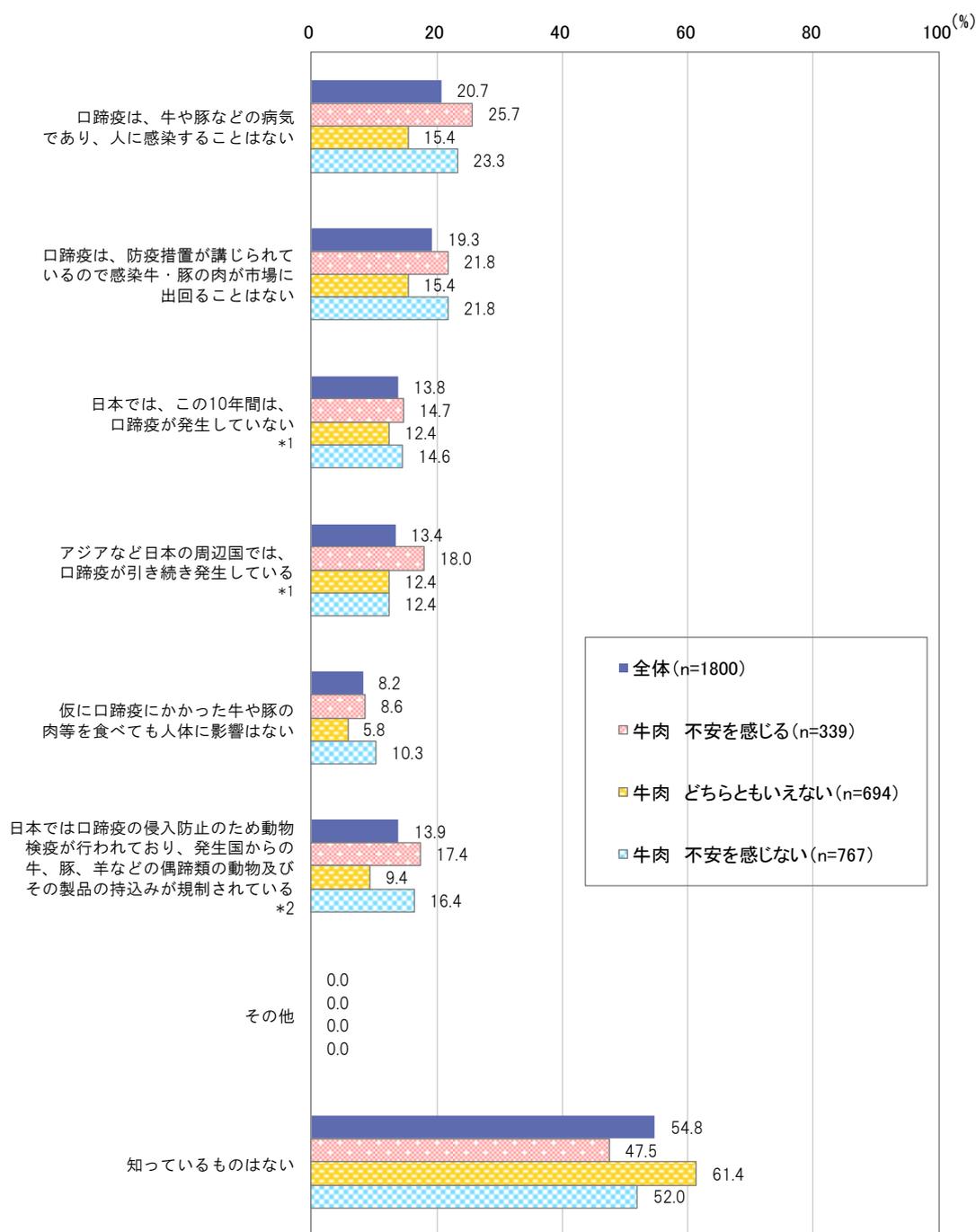


図表 27 エリア・性・年代別 口蹄疫への認知・理解

牛肉への不安度別に見ると、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」は、「不安を感じない層」12.4%より「不安を感じる層」18.0%の方が多い。

「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」「日本では口蹄疫の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの牛、豚、羊などの偶蹄類の動物及びその製品の持込みが規制されている」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で少なくなっている。

「知っているものはない」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で61.4%と多い。

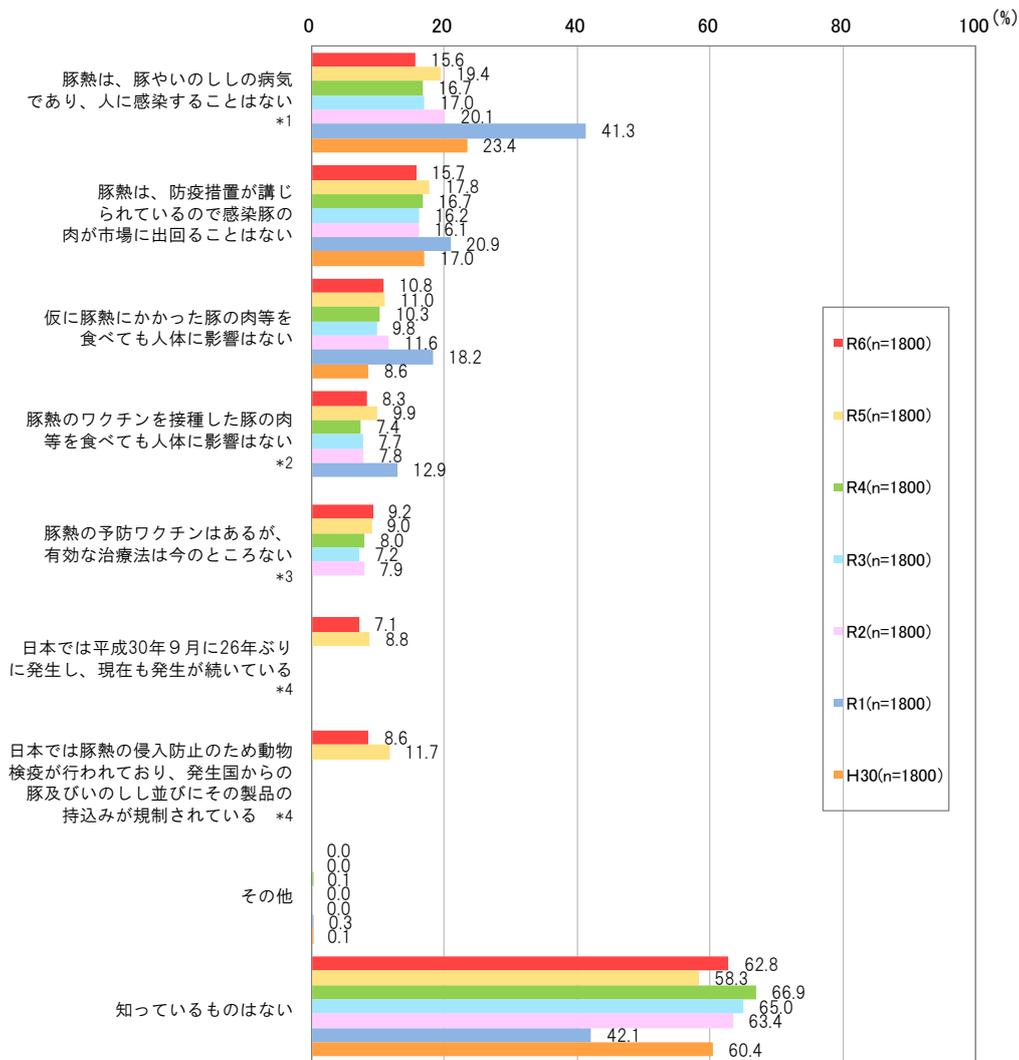


図表 28 食肉・牛肉への不安度別 口蹄疫への認知・理解

## 豚熱への認知・理解

豚熱への認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q25）、「知っているものはない」が62.8%で最も多く、次いで「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が15.7%、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が15.6%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が10.8%、「豚熱の予防ワクチンはあるが、有効な治療法は今のところない」が9.2%の順となっている。

過年度調査で見ると、いずれの項目も昨年度より減少または横ばいである。「知っているものはない」が昨年度の58.3%から4.5ポイント増加している。  
 ※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。

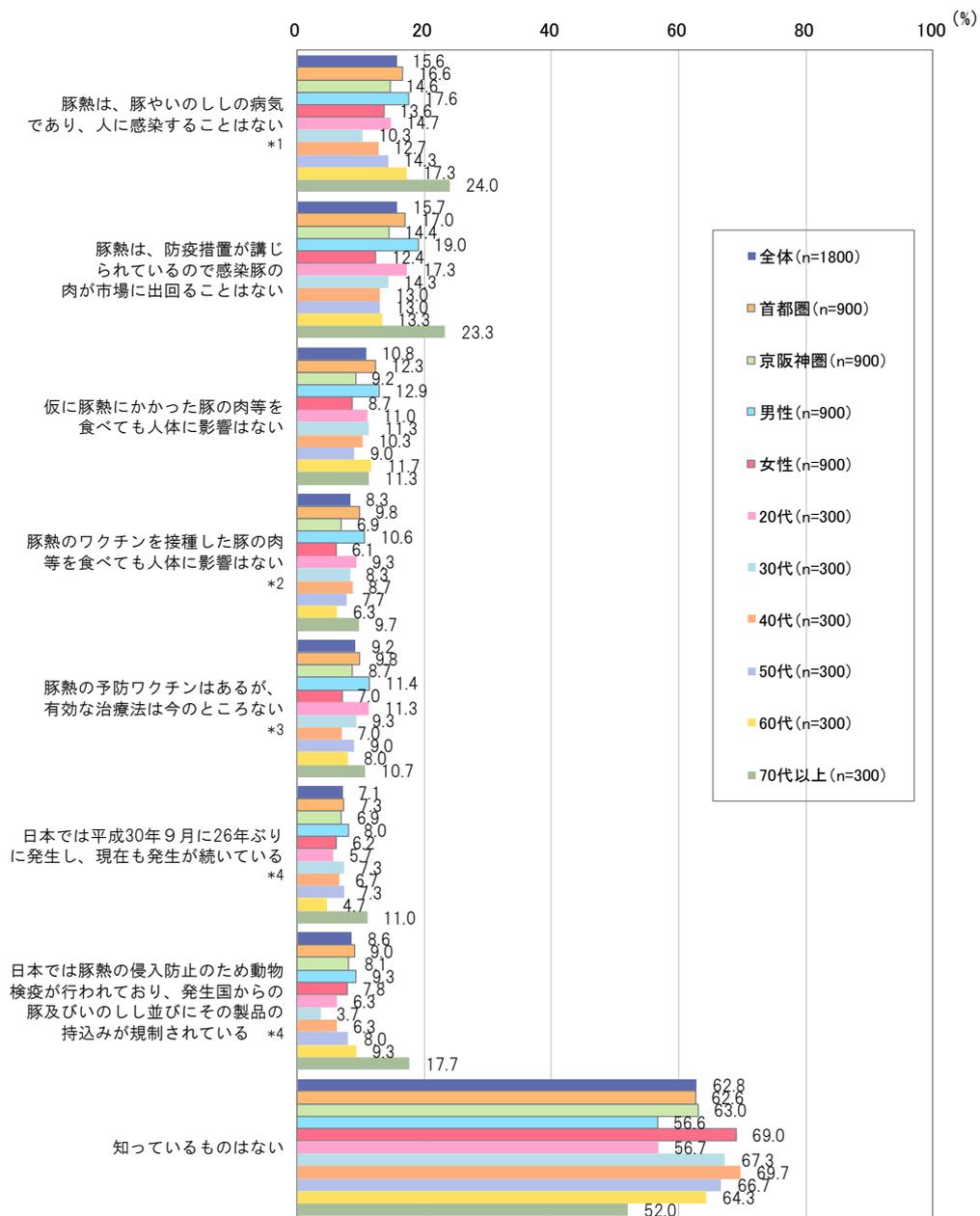


\*1 令和4年度選択肢「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更  
 \*2 令和元年度より新規項目 \*3 令和2年度より新規項目 \*4 令和5年度より新規項目  
 \*それぞれ選択肢の「豚熱」は「CSF」より変更

図表 29 豚熱への認知・理解（経年変化）

豚熱への認知・理解（Q25）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が69.0%と多い。

年代別に見ると、70代以上では、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」、「日本では豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が多く、他の年代に比べ認知・理解度が高い。一方、30代では、「豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が少なくなっている。

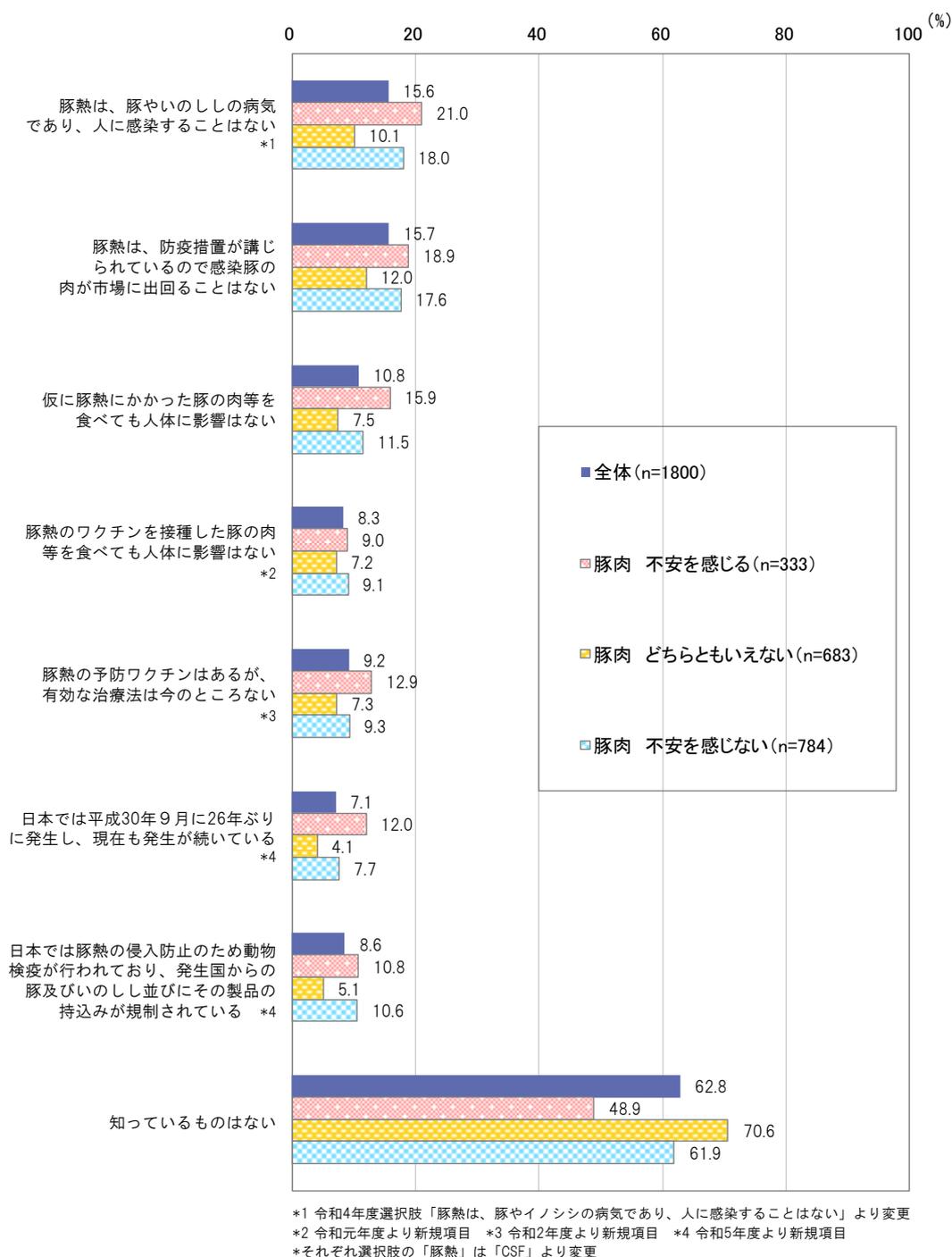


\*1 令和4年度選択肢「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更  
 \*2 令和元年度より新規項目 \*3 令和2年度より新規項目 \*4 令和5年度より新規項目  
 \*それぞれ選択肢の「豚熱」は「CSF」より変更

図表 30 エリア・性・年代別 豚熱への認知・理解

豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」、「日本では平成30年9月に26年ぶりに発生し、現在も発生が続いている」は、「不安を感じない層」より「不安を感じる層」の方が多くなっている。また、「豚肉に不安を感じる層」は、「知っているものはない」が48.9%と低く、豚熱についてある程度の理解をした上で不安を感じている消費者であると考えられる。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で70.6%と多い。



図表 31 食肉・豚肉への不安度別 豚熱への認知・理解

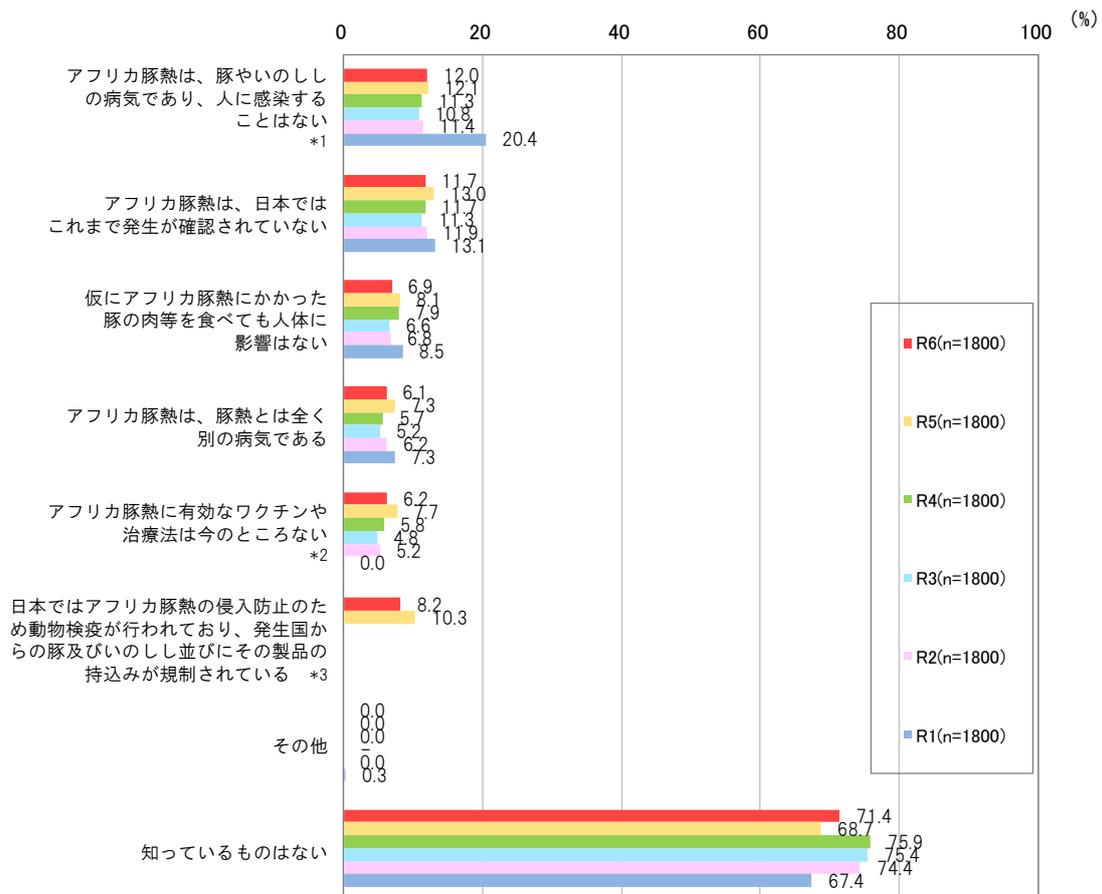
## アフリカ豚熱への認知・理解

アフリカ豚熱への認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q26）、「知っているものはない」が71.4%で最も多く、「アフリカ豚熱は、豚やいのししの病気であり、人に感染することはない」が12.0%、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」が11.7%、「日本ではアフリカ豚熱の侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの豚及びいのしし並びにその製品の持込みが規制されている」が8.2%、「仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」が6.9%の順となっている。

「アフリカ豚熱」は、日本での発生がなく、消費者にとっては、「豚熱」と比べると、認知・理解度が低い。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。

※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。



\*1 令和4年度選択肢「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」より変更

\*2 令和2年度より新規項目 \*3 令和5年度より新規項目

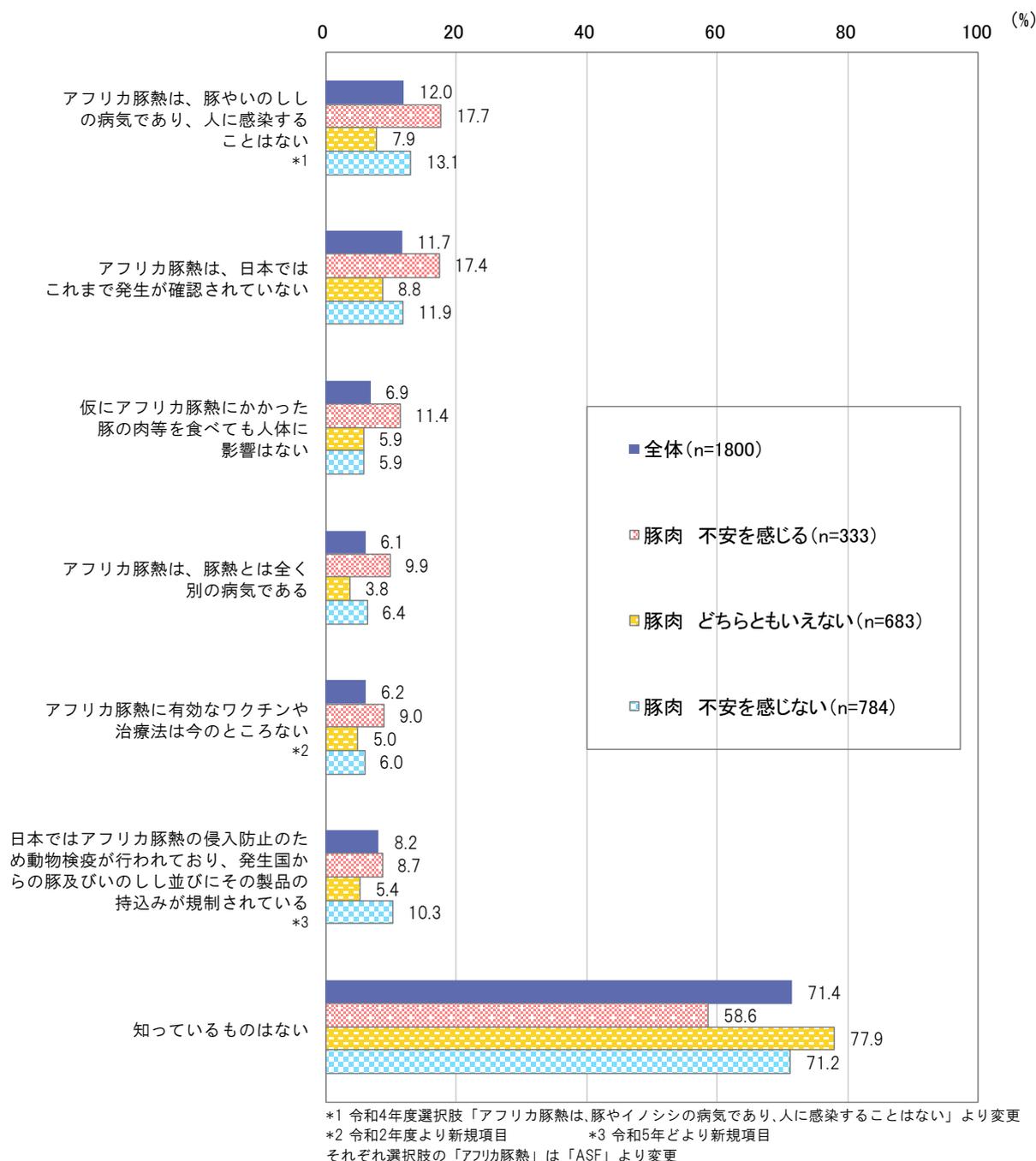
\*それぞれ選択肢の「アフリカ豚熱」は「ASF」より変更

図表 32 アフリカ豚熱への認知・理解（経年変化）



アフリカ豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」、「仮にアフリカ豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」は、「不安を感じない層」より「不安を感じる層」の方が多く、他の項目についても「豚肉に不安を感じる層」の方が認知度が高い傾向が見られる。また、「豚肉に不安を感じる層」は、「知っているものはない」が58.6%と低く、アフリカ豚熱についてある程度の理解をした上で不安を感じている消費者であると考えられる。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で77.9%と多い。

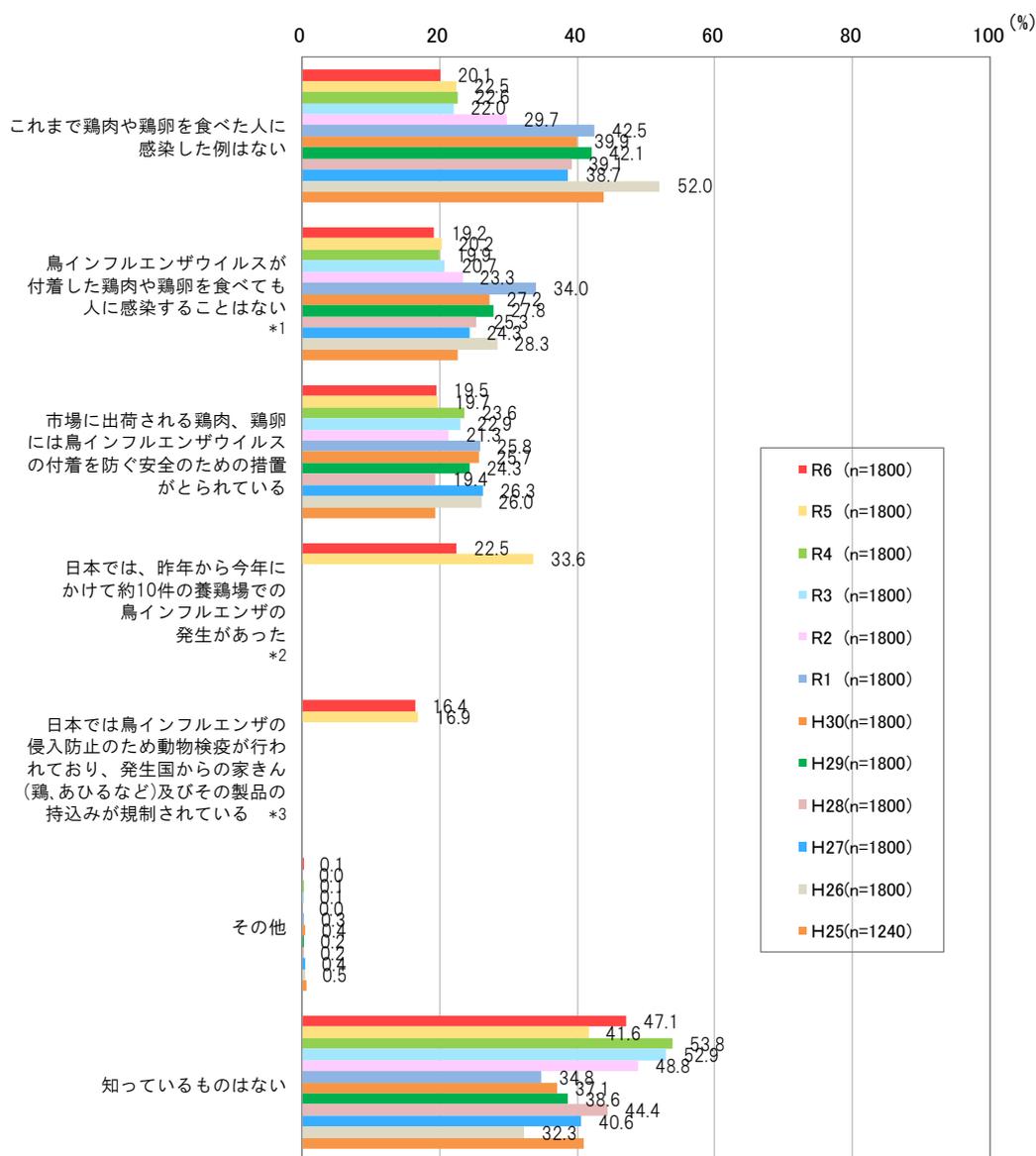


図表 34 食肉・豚肉への不安度 アフリカ豚熱への認知・理解

## 鳥インフルエンザへの認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解を複数回答で聞いたところ（Q27）、「知っているものはない」が47.1%で最も多く、「日本では、昨年から今年にかけて約10件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった」が22.5%、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」が20.1%、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」が19.5%、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」が19.2%の順となっている。

過年度調査で見ると、いずれの項目も昨年度より減少しており、「知っているものがない」が5.5ポイント増加している。



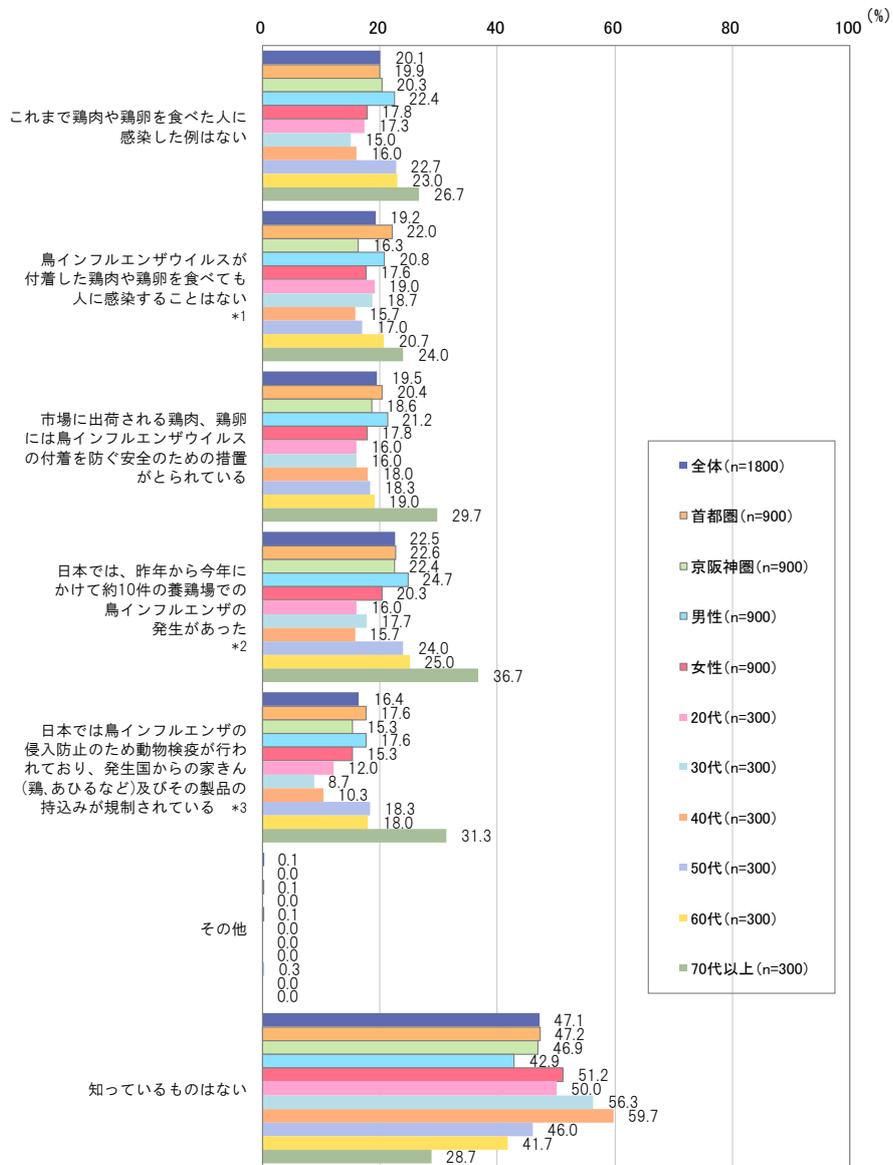
\*1 令和4年度選択肢「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」より変更 \*2 令和5年度よりの新規項目、令和5年度選択肢「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」より変更 \*3 令和5年度よりの新規項目

図表 35 鳥インフルエンザへの認知・理解（経年変化）

鳥インフルエンザへの認知・理解（Q27）をエリア別に見ると、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」は、首都圏が22.0%、京阪神圏が16.3%と、京阪神圏より首都圏の方が多い。

性別に見ると、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」は男性が22.4%、女性が17.8%と女性より男性の方が多く、それ以外の項目も女性より男性の方が多くなっている。女性は「知っているものはない」が51.2%と半数以上を占める。

年代別に見ると、20代～40代では「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」、「日本では、昨年から今年にかけて約10件の養鶏場での鳥インフルエンザの発生があった」、「日本では鳥インフルエンザの侵入防止のため動物検疫が行われており、発生国からの家きん（鶏、あひるなど）及びその製品の持込みが規制されている」が少なくなっており、「知っているものはない」が5割以上と多くなっている

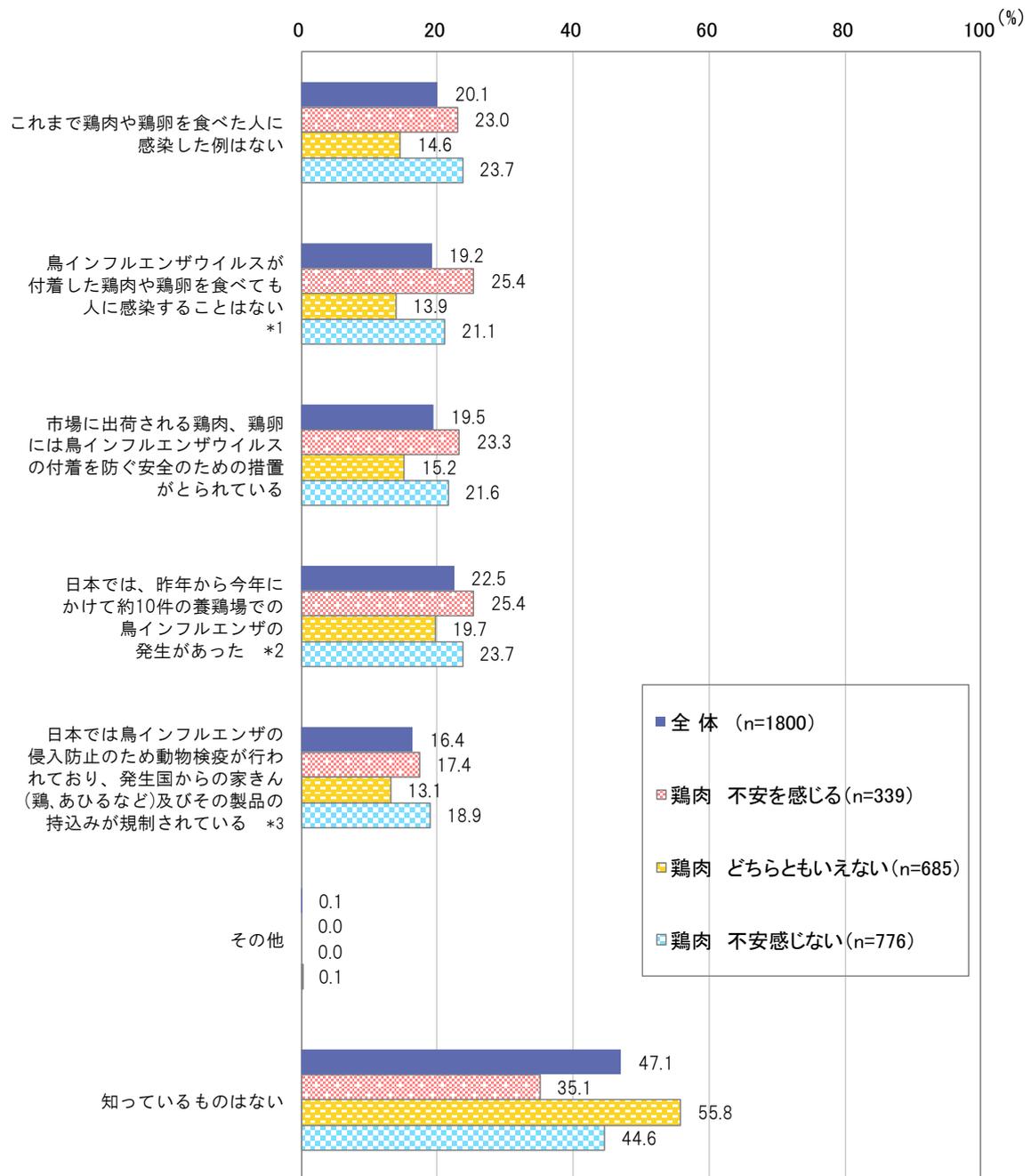


\*1 令和4年度選択肢「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」より変更 \*2 令和5年度よりの新規項目、令和5年度選択肢「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」より変更 \*3 令和5年度よりの新規項目

図表 36 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの認知・理解

鶏肉への不安度別に見ると、「鳥インフルエンザウイルスが付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」は、「不安を感じない層」21.1%より「不安を感じる層」25.4%の方が多い。

「知っているものはない」は、鶏肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で55.8%と多い。



\*1 令和4年度選択肢「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」より変更 \*2 令和5年度よりの新規項目、令和5年度選択肢「日本では、昨年から今年にかけて鳥インフルエンザが大発生し、1700万羽もの鶏が殺処分された」より変更 \*3 令和5年度よりの新規項目

図表 37 食肉・鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの認知・理解

## 2.2 高止まりしている生産コストの食肉への価格転嫁に対する消費者意識の考察

- ・ 生産コストが高止まりしている中で適正な価格形成が求められていることを説明して、円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響による不安を聞いたところ、「どちらかといえば不安を感じる」が 32.8%で最も多く、「不安を感じる」が 22.7%で「不安を感じる計」は 55.5%。「不安を感じない」が 6.9%、「どちらかといえば不安を感じない」が 5.7%で「不安を感じない計」は 12.6%、「どちらともいえない」は 31.9%。
- ・ 円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響により、昨年と比べ、実際に家庭に影響があったかを聞いたところ、「影響があった」が 16.7%、「どちらかといえば影響があった」が 30.6%で、「影響があった計」は 47.3%。「どちらかといえば影響がなかった」が 7.0%、「影響がなかった」が 6.3%で「影響がなかった計」は 13.3%、「どちらともいえない」は 39.3%。
- ・ 7つの事項について、円安や資源価格の高騰等による物価上昇により、昨年と比べ影響があった食品を聞いたところ、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）については、「国産の食品を選んで買うようになった」が 10%を上回り上位3食品となり、「輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった」も 5%以上を上回り上位3食品となっている。「より安い商品・製品を選んで買うようになった」についても、変化があった上位の食品としてあげられている。
- ・ 「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」の認知度を画像を提示して聞いたところ、いずれも「知らない計」が 7割以上と認知率は低い。
- ・ 「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識を「そう思う計」で見ると、「生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う」及び「国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う」が 59.8%で最も多く、「国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う」が 56.1%、「今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる」が 51.3%、「国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がりは起きていない」が 32.7%の順。
- ・ 生産コストが高止まりしている中で適正な価格形成が求められていることを説明して、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うかについては、「50円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が 20.2%で最も多く、「100円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が 14.5%、「10円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が 10.5%、「20円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が 10.0%、「30円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が 9.7%の順。  
「平均許容価格上昇額（追加支払意思額）（円/100g）」は平均 66円/100g。

2.2では、高止まりしている生産コストの食肉への価格転嫁に対する消費者意識の変化を把握することを目的とした。

1) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安 (Q47) :  
エリア・性・年代別分析

生産コストが高止まりしている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響による不安 (Q47) を聞いた。「どちらかといえば不安を感じる」が 32.8%で最も多く、「不安を感じる」が 22.7%で、「不安を感じる計」は全体の 55.5%である。一方、「不安を感じない」が 6.9%、「どちらかといえば不安を感じない」が 5.7%で、「不安を感じない計」は全体の 12.6%である。「どちらともいえない」は 31.9%であった。

エリア別に「不安を感じる計」を見ると、大きな違いは見られない。

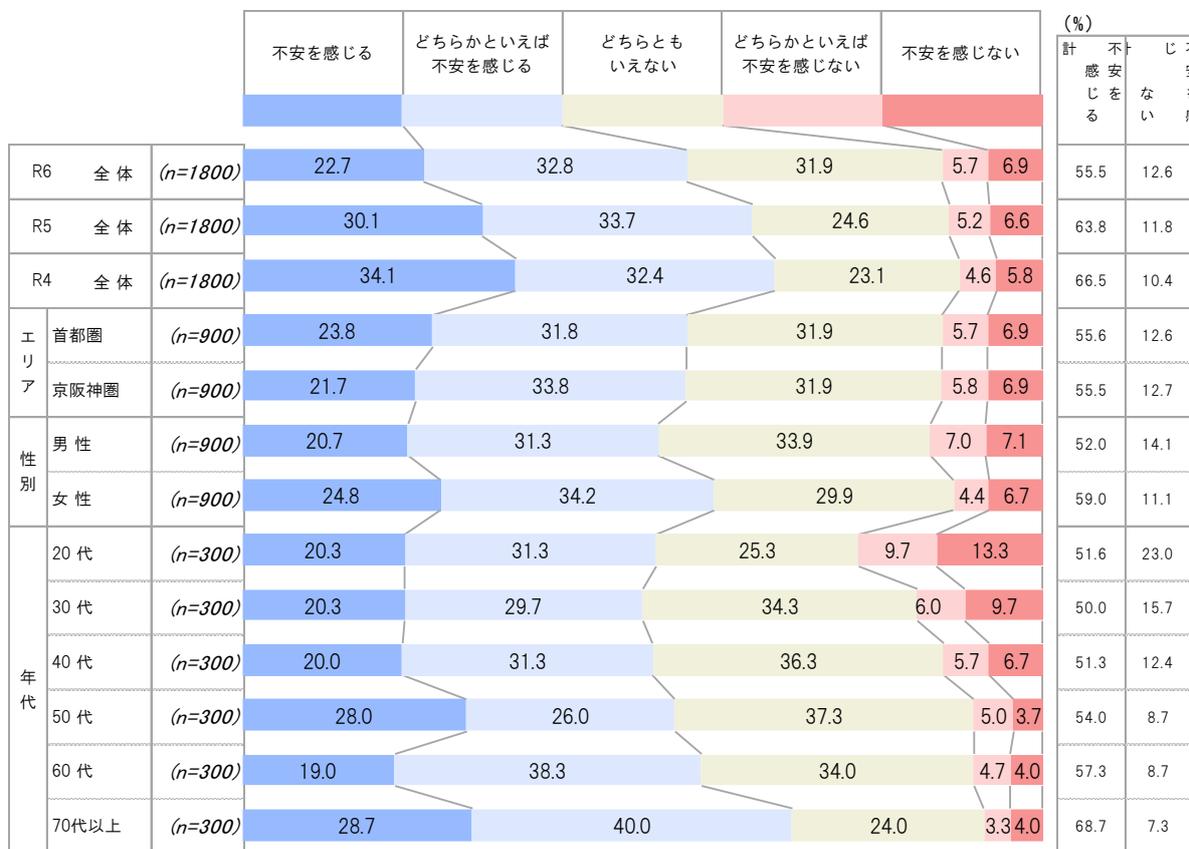
性別に「不安を感じる計」を見ると、男性が 52.0%、女性が 59.0%と、男性より女性の方が不安度が 7.0 ポイント高い。

年代別に「不安を感じる計」を見ると 70 代以上では 68.7%と高いが、20~40 代では 5 割程度にとどまっている。

過年度調査で見ると、「不安を感じる計」は昨年度 63.8%、今年度 55.5%と 8.3 ポイント減少しており、「どちらともいえない」が昨年度 24.6%、今年度 31.9%と 7.3 ポイント増加している。

燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

図表 38 提示説明文



「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」  
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 39 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」についての不安

2) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」の影響度 (Q48) :  
エリア・性・年代別分析

生産コストが高止まりしている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、円安や資源価格の高騰等による物価上昇の影響により、昨年の今頃と比べ、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、実際に家庭に影響があったか (Q48) を聞いた。「影響があった」が 16.7%、「どちらかといえば影響があった」が 30.6%で、「影響があった計」は全体の 47.3%である。一方、「どちらかといえば影響がなかった」が 7.0%、「影響がなかった」が 6.3%で「影響がなかった計」は全体の 13.3%である。「どちらともいえない」は 39.3%で最も多い。

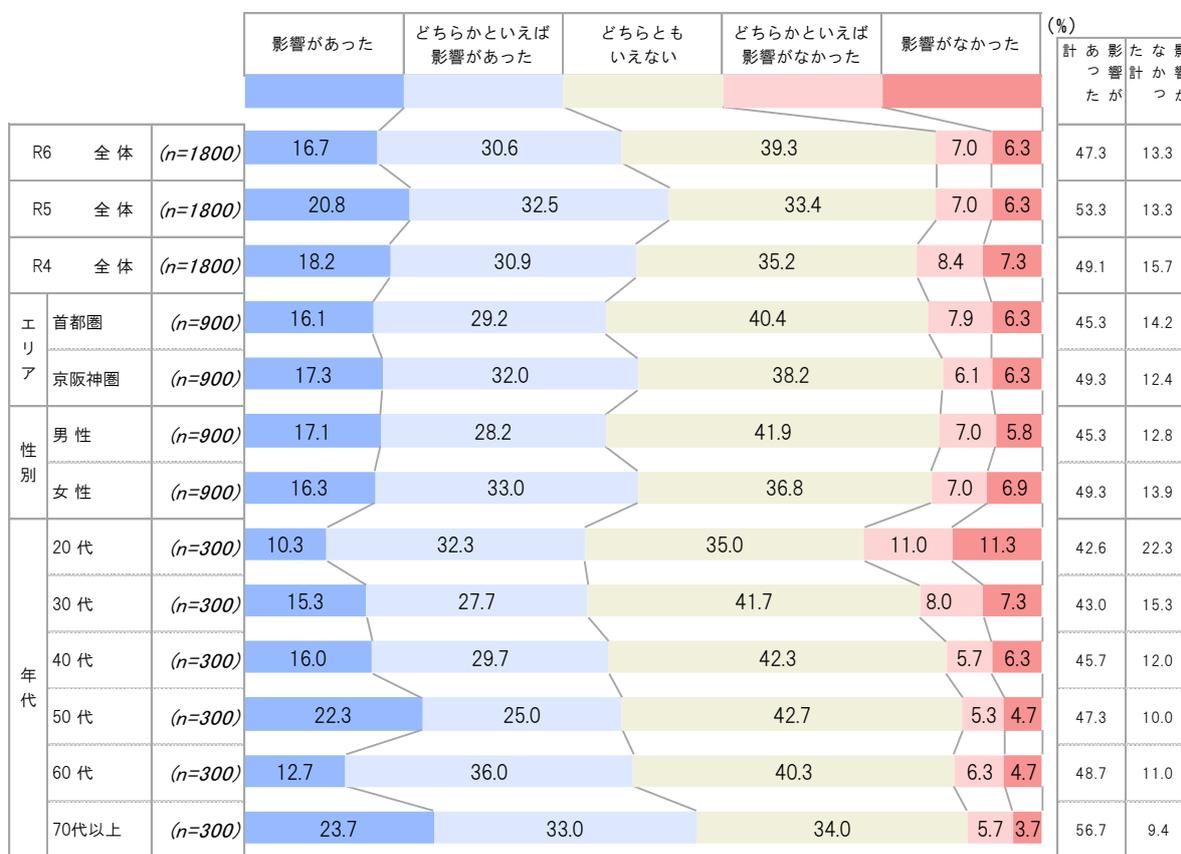
エリア別に「影響があった計」を見ると、首都圏が 45.3%、京阪神圏が 49.3%で、首都圏より京阪神圏の方が高い。性別に「影響があった計」を見ると、男性が 45.3%、女性が 49.3%と、男性より女性の方が高い。

年代別に「影響があった計」を見ると 70 代以上は 56.7%と高くなっている。

過年度調査で見ると、昨年度は「不安を感じる計」の 63.8%と「影響があった計」の 53.3%には 10.5 ポイントの開きがあったが、今年度は「不安を感じる計」の 55.5%と「影響があった計」の 47.3%では 8.2 ポイントの開きにとどまっている。

燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

図表 40 提示説明文



「影響があった計」⇒「影響があった」+「どちらかといえば影響があった」  
「影響がなかった計」⇒「どちらかといえば影響がなかった」+「影響がなかった」

図表 41 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇の影響」の影響度

3) 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
(Q49/複数回答)：エリア・性・年代別分析

生産コストが高止まりしている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、「円安や資源価格の高騰等による物価上昇」により、昨年の今頃と比べて影響があったかについて、7つの事項についてあてはまる食品(Q49)を聞いたところ、各上位3食品は以下の通りであった。

食肉(牛肉・豚肉・鶏肉)については、「国産の食品を選んで買うようになった」が10%を上回り上位3食品となり、「輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった」も5%以上を上回り上位3食品となっている。「より安い商品・製品を選んで買うようになった」についても、変化があった上位の食品としてあげられている。

影響があった7つのいずれの事項についても、「いずれもない」が5割以上と最も多くなっているが、過年度調査で見ると、「いずれもない」の割合が減少しており、日々の食品購入への影響が見られる。

エリア別、男女別、年代別に見ても、大きな違いは見られない。

燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

図表 42 提示説明文

【購入量が減った】

①米 18.6% ②ファストフード 11.8% ③牛肉 11.7%  
※④豚肉 6.6% ⑦鶏肉 6.0% ※いずれもない 53.6%

【購入回数が減った】

①米 15.2% ②ファストフード 12.6% ③パン 12.1%  
※④牛肉 11.1% ⑤豚肉 6.7% ⑦鶏肉 6.4% ※いずれもない 52.6%

【まとめ買いするようになった】

①米 10.9% ②豚肉 9.8% ③野菜 9.2%  
※④鶏肉 9.1% ⑨牛肉 6.4% ※いずれもない 63.6%

【国産の食品を選んで買うようになった】

①豚肉 11.3% ②鶏肉 11.2% ③野菜 11.0%  
※④牛肉 10.8% ※いずれもない 68.9%

【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

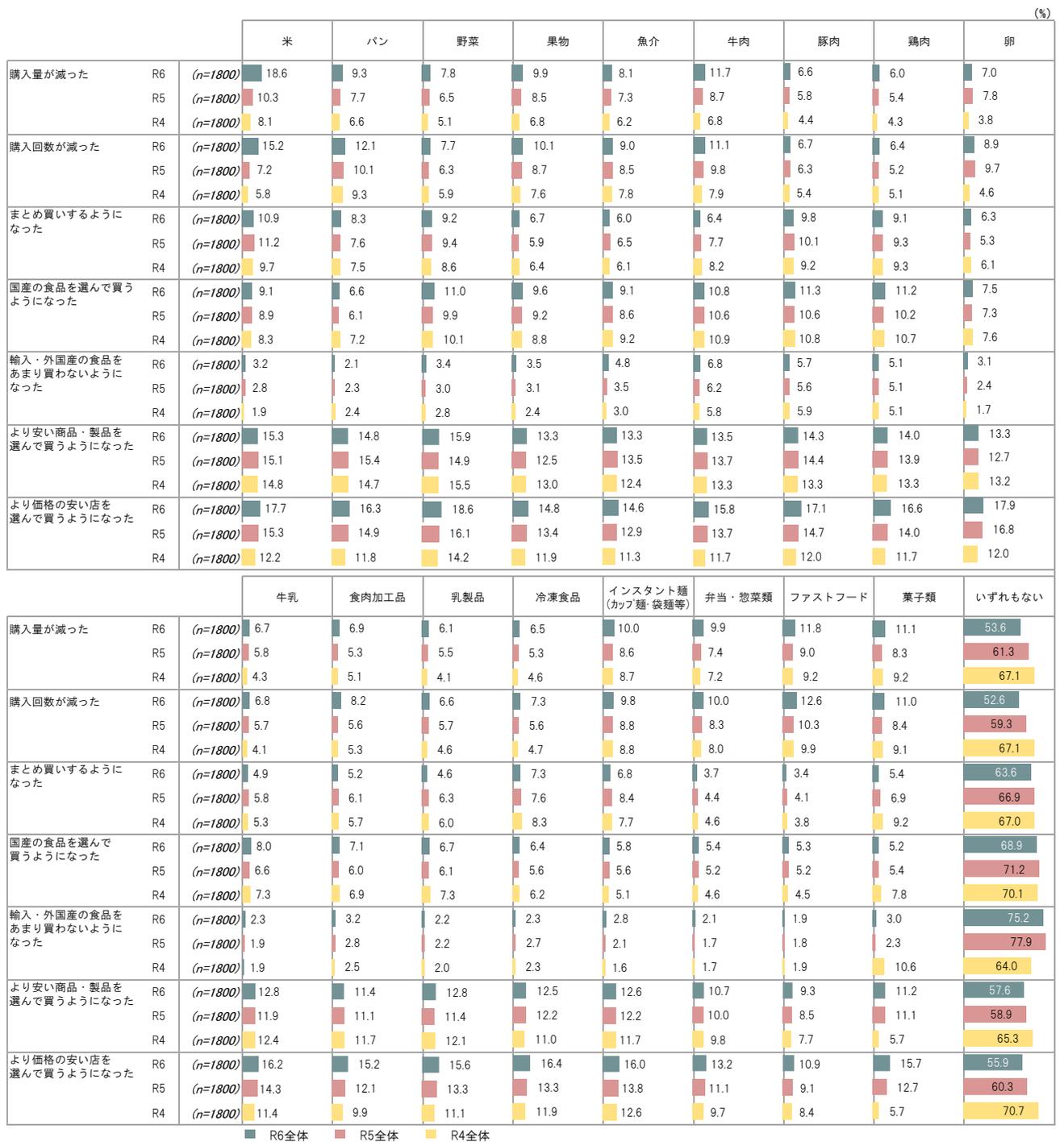
①牛肉 6.8% ②豚肉 5.7% ③鶏肉 5.1% ※いずれもない 75.2%

【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

①野菜 15.9% ②米 15.3% ③パン 14.8%  
※④豚肉 14.3% ⑤鶏肉 14.0% ⑥牛肉 13.5% ※いずれもない 57.6%

【より価格の安い店を選んで買うようになった】

①野菜 18.6% ②卵 17.9% ③米 17.7%  
※④豚肉 17.1% ⑤鶏肉 16.6% ⑩牛肉 15.8% ※いずれもない 55.9%



図表 43 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項

【購入量が減った】

			米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R6	全体	(n=1800)	18.6	9.3	7.8	9.9	8.1	11.7	6.6	6.0	7.0
エリア	首都圏	(n=900)	18.1	9.1	7.6	9.2	7.3	11.4	5.4	5.3	6.1
	京阪神圏	(n=900)	19.1	9.6	8.1	10.6	8.9	11.9	7.8	6.7	7.9
性別	男性	(n=900)	19.4	7.7	8.0	8.6	7.8	11.8	7.7	6.4	7.8
	女性	(n=900)	17.8	11.0	7.7	11.2	8.4	11.6	5.6	5.6	6.2
年代	20代	(n=300)	17.7	8.0	6.7	8.3	7.7	7.3	4.3	4.3	4.3
	30代	(n=300)	16.0	9.7	6.3	7.3	7.3	8.7	4.3	4.7	5.3
	40代	(n=300)	20.3	8.3	8.3	9.7	7.7	11.3	6.7	6.3	7.7
	50代	(n=300)	19.0	13.3	12.0	15.3	11.3	14.0	9.0	7.0	9.3
	60代	(n=300)	18.3	9.0	7.3	9.7	6.7	14.3	8.3	8.0	8.3
	70代以上	(n=300)	20.3	7.7	6.3	9.0	8.0	14.3	7.0	5.7	7.0

			牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント種 (カップ麺 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R6	全体	(n=1800)	6.7	6.9	6.1	6.5	10.0	9.9	11.8	11.1	53.6
エリア	首都圏	(n=900)	5.7	5.8	4.8	5.6	9.6	8.9	11.0	11.2	54.4
	京阪神圏	(n=900)	7.7	8.1	7.4	7.4	10.4	10.9	12.6	10.9	52.8
性別	男性	(n=900)	6.0	6.3	6.4	6.9	9.1	8.9	11.2	10.4	56.0
	女性	(n=900)	7.3	7.6	5.8	6.1	10.9	10.9	12.3	11.7	51.2
年代	20代	(n=300)	7.0	4.0	4.7	3.7	5.0	5.0	8.7	9.0	55.0
	30代	(n=300)	6.0	5.3	5.7	5.7	8.0	8.0	8.7	9.3	53.0
	40代	(n=300)	6.0	6.0	4.7	6.0	9.7	9.7	13.7	11.7	59.0
	50代	(n=300)	9.3	9.3	9.3	8.7	15.3	15.3	15.3	15.7	50.3
	60代	(n=300)	6.7	9.0	7.0	8.3	11.0	10.0	11.7	10.0	54.3
	70代以上	(n=300)	5.0	8.0	5.3	6.7	11.0	11.3	12.7	10.7	50.0

図表 44 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【購入量が減った】

## 【購入回数が減った】

			米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R6 全体		(n=1800)	15.2	12.1	7.7	10.1	9.0	11.1	6.7	6.4	8.9
エリア	首都圏	(n=900)	17.3	10.7	7.3	9.6	8.8	11.2	5.6	6.0	9.1
	京阪神圏	(n=900)	13.1	13.6	8.1	10.7	9.2	10.9	7.8	6.8	8.8
性別	男性	(n=900)	15.0	10.0	7.9	9.6	9.0	10.0	7.2	6.8	8.4
	女性	(n=900)	15.4	14.2	7.6	10.7	9.0	12.1	6.1	6.0	9.4
年代	20代	(n=300)	14.0	11.3	7.0	8.3	7.3	7.7	5.3	5.0	9.7
	30代	(n=300)	10.7	10.3	7.0	12.0	8.0	11.3	4.3	6.0	8.0
	40代	(n=300)	18.0	14.7	9.3	9.7	9.7	9.0	7.0	4.7	9.0
	50代	(n=300)	16.0	12.0	8.7	9.3	8.7	12.3	9.3	8.7	10.0
	60代	(n=300)	17.7	11.3	7.7	13.7	11.3	14.0	8.7	9.0	10.0
	70代以上	(n=300)	15.0	13.0	6.7	7.7	9.0	12.0	5.3	5.0	7.0
			牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R6 全体		(n=1800)	6.8	8.2	6.6	7.3	9.8	10.0	12.6	11.0	52.6
エリア	首都圏	(n=900)	5.8	7.0	5.8	5.9	9.9	10.0	13.3	12.2	51.7
	京阪神圏	(n=900)	7.8	9.3	7.3	8.7	9.8	10.0	11.9	9.8	53.4
性別	男性	(n=900)	6.4	7.7	6.9	7.1	10.0	8.7	12.0	10.9	55.4
	女性	(n=900)	7.1	8.7	6.2	7.4	9.7	11.3	13.2	11.1	49.7
年代	20代	(n=300)	5.7	6.0	5.7	6.7	6.7	6.7	8.0	10.0	52.7
	30代	(n=300)	6.3	6.7	5.3	7.7	6.7	11.7	12.0	10.3	52.7
	40代	(n=300)	7.7	8.0	6.3	5.7	9.7	7.7	13.7	9.7	56.7
	50代	(n=300)	8.3	11.0	7.7	7.3	14.0	13.0	15.7	12.7	50.0
	60代	(n=300)	8.7	9.3	8.7	9.3	12.0	11.0	13.3	13.3	52.0
	70代以上	(n=300)	4.0	8.0	5.7	7.0	10.0	10.0	13.0	10.0	51.3

図表 45 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【購入回数が減った】

【まとめ買いするようになった】

			米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R6 全体		(n=1800)	10.9	5.2	4.6	7.3	6.0	6.4	9.8	9.1	6.3
エリア	首都圏	(n=900)	11.7	4.8	4.0	6.8	5.3	6.2	11.1	9.1	6.0
	京阪神圏	(n=900)	10.2	5.7	5.1	7.9	6.7	6.6	8.6	9.1	6.6
性別	男性	(n=900)	11.0	4.4	4.0	6.4	4.7	4.8	6.8	6.3	5.4
	女性	(n=900)	10.9	6.0	5.1	8.2	7.3	8.0	12.9	11.9	7.1
年代	20代	(n=300)	11.7	7.3	5.0	7.3	7.7	5.7	11.7	9.3	7.0
	30代	(n=300)	12.3	7.0	6.3	10.3	9.3	10.3	12.7	12.0	9.0
	40代	(n=300)	11.3	5.3	6.3	9.0	7.3	7.3	11.3	10.3	5.0
	50代	(n=300)	9.0	4.7	2.3	7.3	4.3	5.3	8.7	7.7	6.3
	60代	(n=300)	9.3	3.7	3.0	3.7	3.3	4.7	6.7	7.0	4.0
	70代以上	(n=300)	12.0	3.3	4.3	6.3	4.0	5.0	8.0	8.3	6.3

			牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント類 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R6 全体		(n=1800)	4.9	8.3	9.2	6.7	6.8	3.7	3.4	5.4	63.6
エリア	首都圏	(n=900)	4.1	7.8	9.7	6.1	6.6	3.4	3.2	5.2	63.3
	京阪神圏	(n=900)	5.7	8.9	8.8	7.3	7.1	3.9	3.6	5.7	63.9
性別	男性	(n=900)	4.1	8.1	7.4	5.1	6.1	4.3	3.6	5.0	66.0
	女性	(n=900)	5.7	8.6	11.0	8.3	7.6	3.0	3.2	5.9	61.2
年代	20代	(n=300)	6.3	10.0	14.7	8.7	9.0	5.0	6.3	6.3	56.0
	30代	(n=300)	5.7	10.0	11.7	7.3	9.3	5.0	2.7	6.3	56.7
	40代	(n=300)	5.3	10.0	9.7	10.3	8.7	4.0	4.7	8.3	64.7
	50代	(n=300)	4.7	6.0	4.7	4.3	5.0	3.7	3.0	4.7	69.0
	60代	(n=300)	2.0	7.0	6.3	3.3	3.0	1.3	1.3	2.7	72.0
	70代以上	(n=300)	5.3	7.0	8.3	6.3	6.0	3.0	2.3	4.3	63.3

図表 46 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【まとめ買いするようになった】

【国産の食品を選んで買うようになった】

		(%)									
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
R6	全体 (n=1800)	9.1	6.6	11.0	9.6	9.1	10.8	11.3	11.2	7.5	
エリア	首都圏 (n=900)	9.7	6.8	12.3	9.2	10.1	10.1	10.9	11.2	7.8	
	京阪神圏 (n=900)	8.4	6.3	9.7	10.0	8.1	11.6	11.7	11.1	7.2	
性別	男性 (n=900)	9.8	6.0	11.3	10.1	8.9	11.0	10.4	11.1	7.8	
	女性 (n=900)	8.3	7.1	10.7	9.1	9.3	10.7	12.1	11.2	7.2	
年代	20代 (n=300)	9.0	4.7	10.0	10.0	8.7	8.0	8.3	8.0	5.3	
	30代 (n=300)	8.0	6.0	9.7	7.7	8.3	8.7	8.7	8.0	7.7	
	40代 (n=300)	8.0	6.0	8.0	5.7	6.3	8.3	7.7	10.3	6.3	
	50代 (n=300)	9.7	5.7	8.0	8.0	6.3	9.7	10.7	10.7	5.3	
	60代 (n=300)	7.7	6.7	12.3	9.3	8.7	12.0	13.0	11.7	6.7	
	70代以上 (n=300)	12.0	10.3	18.0	17.0	16.3	18.3	19.3	18.3	13.7	

		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント種 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R6	全体 (n=1800)	8.0	7.1	6.7	6.4	5.8	5.4	5.3	5.2	68.9
エリア	首都圏 (n=900)	8.4	8.2	7.2	7.4	5.4	5.4	5.0	4.9	69.0
	京阪神圏 (n=900)	7.6	5.9	6.2	5.4	6.1	5.3	5.6	5.6	68.8
性別	男性 (n=900)	8.1	7.3	6.9	6.9	5.7	6.1	5.4	5.8	68.4
	女性 (n=900)	7.9	6.8	6.6	6.0	5.9	4.7	5.1	4.7	69.3
年代	20代 (n=300)	6.3	5.3	5.3	6.3	4.0	4.3	5.7	4.7	64.7
	30代 (n=300)	8.3	8.3	7.0	7.3	8.3	6.0	6.3	5.0	67.7
	40代 (n=300)	5.7	3.0	4.3	2.7	3.7	5.0	4.0	3.3	72.3
	50代 (n=300)	6.3	5.0	4.0	6.0	5.0	4.3	5.0	5.3	75.7
	60代 (n=300)	7.0	7.7	6.7	4.3	4.7	3.7	3.7	4.3	72.7
	70代以上 (n=300)	14.3	13.0	13.0	12.0	9.0	9.0	7.0	8.7	60.3

図表 47 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【国産の食品を選んで買うようになった】

【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

		(%)									
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
R6	全体 (n=1800)	3.2	2.1	3.4	3.5	4.8	6.8	5.7	5.1	3.1	
エリア	首都圏 (n=900)	3.3	1.8	3.8	3.7	4.8	6.4	4.6	4.4	2.8	
	京阪神圏 (n=900)	3.1	2.4	3.1	3.3	4.8	7.1	6.9	5.7	3.3	
性別	男性 (n=900)	3.4	2.1	3.2	3.9	6.0	6.0	5.2	4.8	3.8	
	女性 (n=900)	3.0	2.1	3.7	3.1	3.6	7.6	6.2	5.3	2.3	
年代	20代 (n=300)	6.7	2.0	4.3	4.7	6.0	4.3	5.3	5.7	3.0	
	30代 (n=300)	3.0	3.7	5.3	4.3	3.0	8.0	6.0	5.0	4.7	
	40代 (n=300)	2.7	1.7	1.7	3.0	5.0	6.0	4.3	3.3	3.3	
	50代 (n=300)	2.0	2.0	2.3	2.3	4.0	4.7	4.3	4.7	2.3	
	60代 (n=300)	1.3	2.0	3.3	2.7	4.3	8.7	7.0	5.7	2.0	
	70代以上 (n=300)	3.7	1.3	3.7	4.0	6.3	9.0	7.3	6.0	3.0	
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント種 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない	
R6	全体 (n=1800)	2.3	3.2	2.2	2.3	2.8	2.1	1.9	3.0	75.2	
エリア	首都圏 (n=900)	2.3	2.9	1.6	2.0	2.6	2.1	1.8	2.7	75.7	
	京阪神圏 (n=900)	2.3	3.6	2.8	2.6	3.0	2.0	2.1	3.3	74.8	
性別	男性 (n=900)	2.1	3.6	2.2	2.6	2.6	2.3	2.4	3.0	74.6	
	女性 (n=900)	2.6	2.9	2.1	2.0	3.0	1.8	1.4	3.0	75.9	
年代	20代 (n=300)	5.3	4.0	2.0	1.0	2.7	3.0	1.0	3.0	69.0	
	30代 (n=300)	3.3	3.7	1.7	2.7	4.7	2.0	2.7	3.3	72.3	
	40代 (n=300)	1.7	3.7	3.7	2.7	2.7	2.0	3.7	3.7	78.7	
	50代 (n=300)	1.3	1.0	2.0	2.0	2.3	2.0	1.0	2.0	83.0	
	60代 (n=300)	2.0	2.3	2.0	2.3	1.7	1.3	2.0	3.0	78.0	
	70代以上 (n=300)	0.3	4.7	1.7	3.0	2.7	2.0	1.3	3.0	70.3	

図表 48 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

		(%)								
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
R6	全体 (n=1800)	15.3	14.8	15.9	13.3	13.3	13.5	14.3	14.0	13.3
エリア	首都圏 (n=900)	16.1	14.3	16.2	14.2	13.6	13.0	14.6	14.4	13.9
	京阪神圏 (n=900)	14.6	15.3	15.6	12.4	13.1	14.0	14.0	13.6	12.7
性別	男性 (n=900)	16.0	15.6	15.6	13.2	13.7	14.9	14.6	14.1	14.0
	女性 (n=900)	14.7	14.1	16.2	13.4	13.0	12.1	14.0	13.9	12.6
年代	20代 (n=300)	16.3	11.3	13.3	8.7	10.3	11.0	10.7	10.3	9.7
	30代 (n=300)	13.3	16.3	15.0	12.3	11.0	13.0	16.7	14.3	13.0
	40代 (n=300)	16.3	15.0	13.7	12.7	13.7	11.7	13.0	13.7	15.3
	50代 (n=300)	16.7	16.7	19.0	14.7	17.3	17.0	17.7	17.0	14.0
	60代 (n=300)	13.0	14.7	17.0	14.7	12.3	13.3	11.3	11.7	13.0
	70代以上 (n=300)	16.3	15.0	17.3	17.0	15.3	15.0	16.3	17.0	14.7
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
R6	全体 (n=1800)	12.8	11.4	12.8	12.5	12.6	10.7	9.3	11.2	57.6
エリア	首都圏 (n=900)	12.4	11.1	12.2	11.8	11.3	10.6	7.9	11.0	57.4
	京阪神圏 (n=900)	13.2	11.8	13.3	13.2	13.9	10.8	10.8	11.4	57.8
性別	男性 (n=900)	13.6	11.8	13.3	13.2	13.8	11.1	9.8	10.3	58.2
	女性 (n=900)	12.1	11.1	12.2	11.8	11.4	10.2	8.9	12.1	57.0
年代	20代 (n=300)	8.7	9.3	9.3	10.7	9.0	8.7	8.0	7.3	57.7
	30代 (n=300)	14.0	12.0	13.7	12.3	11.0	10.7	9.3	10.7	54.0
	40代 (n=300)	12.3	11.7	12.3	11.7	13.0	10.7	9.3	11.0	58.7
	50代 (n=300)	13.7	13.0	15.0	14.3	14.0	10.7	9.0	12.7	58.7
	60代 (n=300)	13.7	11.7	12.7	13.3	15.7	12.7	12.0	13.7	60.3
	70代以上 (n=300)	14.7	11.0	13.7	12.7	13.0	10.7	8.3	12.0	56.3

図表 49 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【より安い商品・製品を選んで買うようになった】

【より価格の安い店を選んで買うようになった】

		(%)									
		米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵	
R6 全体	(n=1800)	17.7	16.3	18.6	14.8	14.6	15.8	17.1	16.6	17.9	
エリア	首都圏 (n=900)	19.6	16.6	19.6	15.6	15.6	16.4	16.8	17.8	19.7	
	京阪神圏 (n=900)	15.8	16.1	17.6	14.0	13.7	15.2	17.3	15.3	16.2	
性別	男性 (n=900)	17.4	15.1	15.9	12.9	12.9	14.2	15.8	14.7	15.8	
	女性 (n=900)	17.9	17.6	21.2	16.7	16.3	17.4	18.3	18.4	20.1	
年代	20代 (n=300)	17.3	11.7	13.3	12.7	11.3	12.3	15.0	13.0	11.3	
	30代 (n=300)	16.3	15.3	18.3	12.7	12.0	14.7	15.3	15.3	15.7	
	40代 (n=300)	21.3	18.0	20.3	17.3	19.7	19.0	18.7	20.7	21.7	
	50代 (n=300)	19.7	20.3	21.3	16.7	17.7	18.0	20.7	18.7	20.3	
	60代 (n=300)	15.3	15.0	16.3	13.3	12.7	15.0	16.3	16.3	19.3	
	70代以上 (n=300)	16.0	17.7	21.7	16.0	14.3	16.0	16.3	15.3	19.3	
		牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない	
R6 全体	(n=1800)	16.2	15.2	15.6	16.4	16.0	13.2	10.9	15.7	55.9	
エリア	首都圏 (n=900)	17.0	16.1	17.3	18.3	16.7	13.4	11.1	15.8	55.6	
	京阪神圏 (n=900)	15.3	14.3	13.8	14.4	15.3	12.9	10.8	15.6	56.3	
性別	男性 (n=900)	13.9	13.4	13.1	14.4	14.6	12.4	10.0	12.7	58.0	
	女性 (n=900)	18.4	17.0	18.0	18.3	17.4	13.9	11.9	18.7	53.9	
年代	20代 (n=300)	9.0	8.7	10.3	11.3	10.3	8.3	7.7	9.3	57.3	
	30代 (n=300)	13.3	12.7	13.0	13.7	12.0	10.3	10.0	12.7	56.3	
	40代 (n=300)	20.0	20.3	18.0	20.7	18.0	16.3	13.0	19.0	53.3	
	50代 (n=300)	19.3	19.0	19.3	19.3	20.3	17.0	13.0	20.0	54.0	
	60代 (n=300)	17.3	14.7	15.7	17.0	18.7	14.3	11.0	15.7	60.0	
	70代以上 (n=300)	18.0	16.0	17.0	16.3	16.7	12.7	11.0	17.3	54.7	

図表 50 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」により影響があった事項  
【より価格の安い店を選んで買うようになった】

4) 「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度（Q50）：  
エリア・性・年代別分析

今年度は新たに、「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」の認知度（Q50）を画像を提示して聞いた。

**【牛肉の生産には特に飼料にお金がかかります。】**

「全く知らない」が30.3%で最も多く、「知らない」が24.8%、「あまりよく知らない」が22.7%で、「知らない計」が77.8%である。一方、「何となく知っている」が12.8%、「ある程度知っている」が7.3%、「詳しく知っている」が2.1%で、「知っている計」が22.2%である。

**【飼料価格は高騰・高止まりしており、肉用牛農家の負担は増加しています。】**

「全く知らない」が28.8%で最も多く、「あまりよく知らない」が23.3%、「知らない」が21.7%で、「知らない計」が73.8%である。一方、「何となく知っている」が15.7%、「ある程度知っている」が8.3%、「詳しく知っている」が2.1%で、「知っている計」が26.1%である。

**【肉用牛農家戸数は年々減少しており、現在、1戸の肉用牛農家が約1,400人分の牛肉を生産しています。】**

「全く知らない」が31.3%で最も多く、「知らない」が25.0%、「あまりよく知らない」が23.5%で、「知らない計」が79.8%である。一方、「何となく知っている」が12.6%、「ある程度知っている」が5.8%、「詳しく知っている」が1.8%で、「知っている計」が20.2%である。

**【生産コストを減らすため、国と関係者が一丸となって、家畜改良に取り組んでいます。】**

「全く知らない」が33.9%で最も多く、「知らない」が26.5%、「あまりよく知らない」が22.7%で、「知らない計」が83.1%である。一方、「何となく知っている」が10.0%、「ある程度知っている」が5.2%、「詳しく知っている」が1.7%で、「知っている計」が16.9%である。

**【国産牛肉は、①卸売市場や食肉センター等、②食肉卸売業者・加工業者、③小売事業者（外食店、量販店、小売店等）の各事業者によって、それぞれ、枝肉や部分肉、部分肉、精肉に加工され、お店に並びます。】**

「全く知らない」が26.3%で最も多く、「知らない」が24.7%、「あまりよく知らない」が24.4%で、「知らない計」が75.4%である。一方、「何となく知っている」が15.4%、「ある程度知っている」が7.1%、「詳しく知っている」が2.0%で、「知っている計」が24.5%である。

		(% )						計知 つて いる	知 ら な い 計
		詳しく 知っている	ある程度 知っている	何んとな く知って いる	あまり よく知ら ない	知らない	全く 知らない		
牛肉の生産には特に飼料にお金がかかります。 牛肉の生産にかかる飼料費の割合	(n=1800)	7.3	12.8	22.7	24.8	30.3	22.2	77.8	
		2.1							
飼料価格は高騰・高止まりしており、肉用牛農家の負担は増加しています。 肉用牛飼料価格の推移	(n=1800)	8.3	15.7	23.3	21.7	28.8	26.1	73.8	
		2.1							
肉用牛農家戸数は年々減少しており、現在、1戸の肉用牛農家が約1400人分の牛肉を生産しています。 肉用牛農家1戸がかかえる国民の数	(n=1800)	5.8	12.6	23.5	25.0	31.3	20.2	79.8	
		1.8							
生産コストを減らすため、国と関係者が一丸となって、家畜改良に取り組んでいます。 生産コストを減らすための家畜改良(1頭当たりの肉量増やすこと/子牛産む間隔を短くすること)	(n=1800)	5.2	10.0	22.7	26.5	33.9	16.9	83.1	
		1.7							
国産牛肉は、①卸売市場や食肉センター等②食肉卸売業者・加工業者③小売事業者(外食店、量販店、小売店等)の各事業者によって、それぞれ、枝肉や部分肉、精肉に加工され、店頭に並びます。	(n=1800)	7.1	15.4	24.4	24.7	26.3	24.5	75.4	
		2.0							

「知っている計」⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何んとなく知っている」、「知らない計」⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 51 「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度

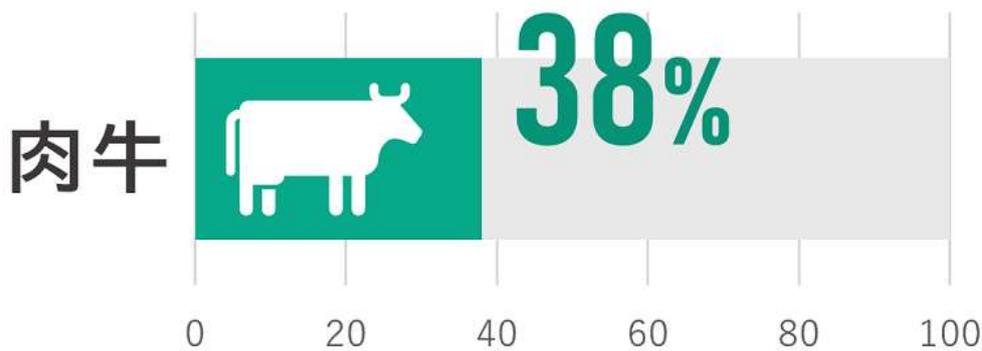
【牛肉の生産には特に飼料にお金がかかります】

エリア別に「知っている計」を見ると、首都圏が 24.3%、京阪神圏が 19.9% で、京阪神圏より首都圏の方が 4.4 ポイント高い。

性別に「知っている計」を見ると、男性が 27.4%、女性が 16.9% と、女性より男性の方が 10.5 ポイント高い。

年代別に「知っている計」を見ると、20代は 33.0% と高くなっている。

## 牛肉の生産にかかる飼料費の割合(R4年)



出典：農林水産省「畜産物生産費統計」

	R6 全体	(n=1800)	知っている計 (%)					知らない計 (%)		
			詳しく知っている	ある程度知っている	何んとなく知っている	あまりよく知らない	知らない	全く知らない	知っている計	知らない計
			7.3	12.8	22.7	24.8	30.3	22.2	77.8	
エリア	首都圏	(n=900)	8.1	14.2	22.4	24.1	29.1	24.3	75.6	
	京阪神圏	(n=900)	6.4	11.3	23.0	25.4	31.6	19.9	80.0	
性別	男性	(n=900)	9.3	15.8	24.0	23.2	25.3	27.4	72.5	
	女性	(n=900)	5.2	9.8	21.4	26.3	35.3	16.9	83.0	
年代	20代	(n=300)	7.0	11.7	14.3	22.0	19.0	26.0	33.0	67.0
	30代	(n=300)	9.3	12.7	19.7	18.3	38.3	23.7	76.3	
	40代	(n=300)	7.0	10.3	22.7	20.0	38.0	19.3	80.7	
	50代	(n=300)	3.3	11.0	22.3	30.7	32.0	15.0	85.0	
	60代	(n=300)	5.7	15.3	23.7	29.0	26.0	21.3	78.7	
	70代以上	(n=300)	6.7	13.0	26.0	31.7	21.7	20.7	79.4	

「知っている計」⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何んとなく知っている」  
 「知らない計」⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 52 「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度  
 【牛肉の生産には特に飼料にお金がかかります】

**【飼料価格は高騰・高止まりしており、肉用牛農家の負担は増加しています】**

エリア別に「知っている計」を見ると、首都圏が 28.8%、京阪神圏が 23.5% で、京阪神圏より首都圏の方が 5.3 ポイント高い。

性別に「知っている計」を見ると、男性が 31.9%、女性が 20.4%と、女性より男性の方が 11.5 ポイント高い。

年代別に「知っている計」を見ると、20代と70代以上が3割以上と高くなっている。



	R6 全体 (n=1800)	知っている計 (%)					知らない計 (%)
		詳しく知っている	ある程度知っている	何んとなく知っている	あまりよく知らない	知らない	
エリア							
首都圏	(n=900)	8.3	15.7	23.3	21.7	28.8	26.1
京阪神圏	(n=900)	8.0	13.6	23.7	22.4	30.4	23.5
性別							
男性	(n=900)	9.9	19.4	22.7	20.9	24.6	31.9
女性	(n=900)	6.7	12.0	24.0	22.6	33.1	20.4
年代							
20代	(n=300)	6.0	14.3	12.0	24.3	15.7	27.7
30代	(n=300)	7.3	15.3	20.3	17.0	37.7	24.9
40代	(n=300)	6.0	15.7	20.7	20.3	35.0	24.0
50代	(n=300)	5.3	13.0	24.7	28.3	28.3	18.6
60代	(n=300)	5.7	19.3	25.0	24.0	25.7	25.3
70代以上	(n=300)	11.0	19.0	25.0	25.0	18.7	31.3

「知っている計」⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何んとなく知っている」  
「知らない計」⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

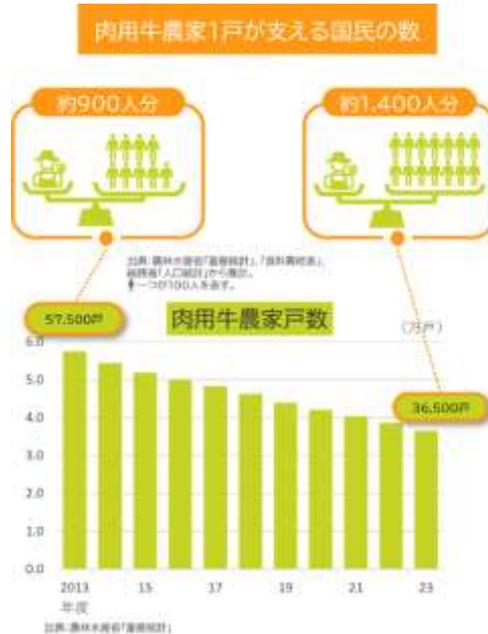
**図表 53 「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度**  
**【飼料価格は高騰・高止まりしており、肉用牛農家の負担は増加しています】**

【肉用牛農家戸数は年々減少しており、現在、1戸の肉用牛農家が約1,400人分の牛肉を生産しています】

エリア別に「知っている計」を見ると、首都圏が21.9%、京阪神圏が18.5%で、京阪神圏より首都圏の方が3.4ポイント高い。

性別に「知っている計」を見ると、男性が26.1%、女性が14.2%と、女性より男性の方が11.9ポイント高い。

年代別に「知っている計」を見ると、20代は30.0%と高くなっている。



	R6	全体	(n=1800)	認知度 (%)					知っている計	知らない計
				詳しく知っている	ある程度知っている	なんとなく知っている	あまりよく知らない	知らない		
エリア	首都圏	(n=900)	5.8	12.6	23.5	25.0	31.3	20.2	79.8	
エリア	京阪神圏	(n=900)	5.2	11.7	23.7	25.3	32.6	18.5	81.6	
性別	男性	(n=900)	7.6	16.2	23.2	24.1	26.6	26.1	73.9	
性別	女性	(n=900)	4.0	9.0	23.8	25.9	36.1	14.2	85.8	
年代	20代	(n=300)	5.3	8.7	16.0	24.3	17.0	28.7	30.0	70.0
年代	30代	(n=300)	8.0	13.7	15.7	22.3	38.7	23.4	76.7	
年代	40代	(n=300)	6.0	11.3	23.3	22.3	35.3	19.0	80.9	
年代	50代	(n=300)	2.0	10.0	25.3	31.3	30.7	12.7	87.3	
年代	60代	(n=300)	3.7	11.0	28.7	27.3	29.0	15.0	85.0	
年代	70代以上	(n=300)	6.3	13.7	23.7	29.7	25.7	21.0	79.1	

「知っている計」⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「なんとなく知っている」  
「知らない計」⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 54 「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度  
【肉用牛農家戸数は年々減少しており、現在、1戸の肉用牛農家が約1,400人分の牛肉を生産しています】

【生産コストを減らすため、国と関係者が一丸となって、家畜改良に取り組んでいます】

エリア別に「知っている計」を見ると、首都圏が 18.8%、京阪神圏が 14.8% で、京阪神圏より首都圏の方が 4.0 ポイント高い。

性別に「知っている計」を見ると、男性が 21.7%、女性が 11.9%と、女性より男性の方が 9.8 ポイント高い。

年代別に「知っている計」を見ると、20代は 28.6%と高くなっている。

## 生産コストを減らすための家畜改良

### 1頭当たりの肉量を増やすこと



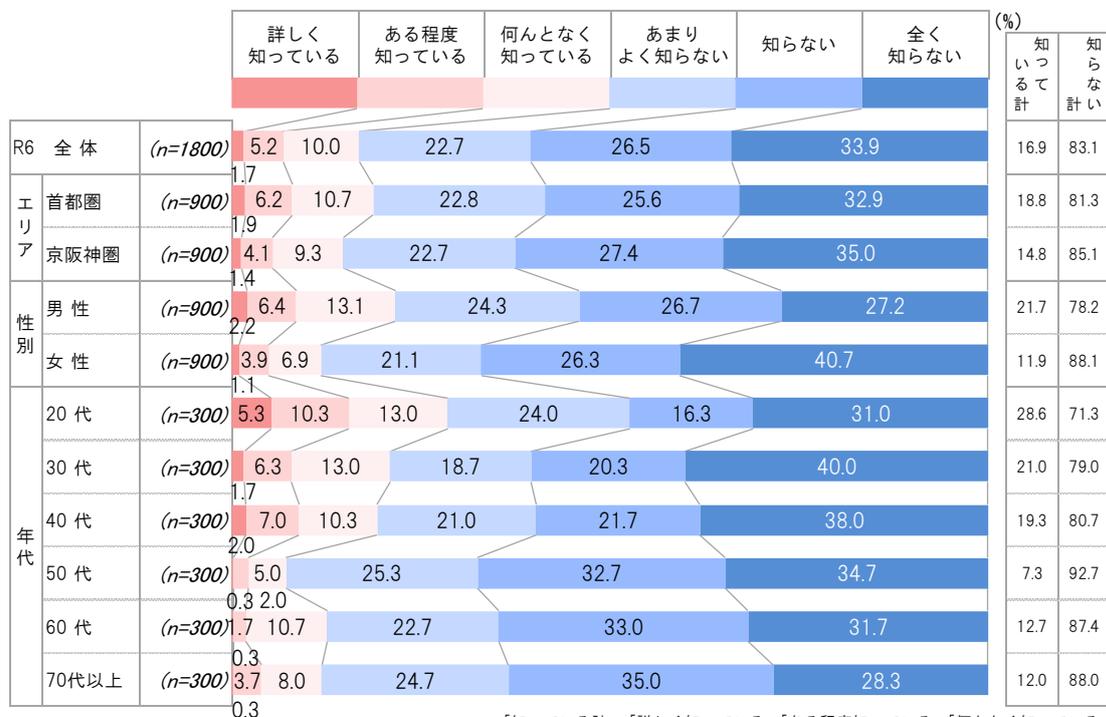
H21	R1	R12(目標)
480kg	513kg	530kg

### 子牛を産む間隔を短くすること



H21	R1	R12(目標)
13.3か月 (404.5日)	13.2か月 (400日)	12.5か月 (380日)

出典：農林水産省「家畜改良増殖目標」



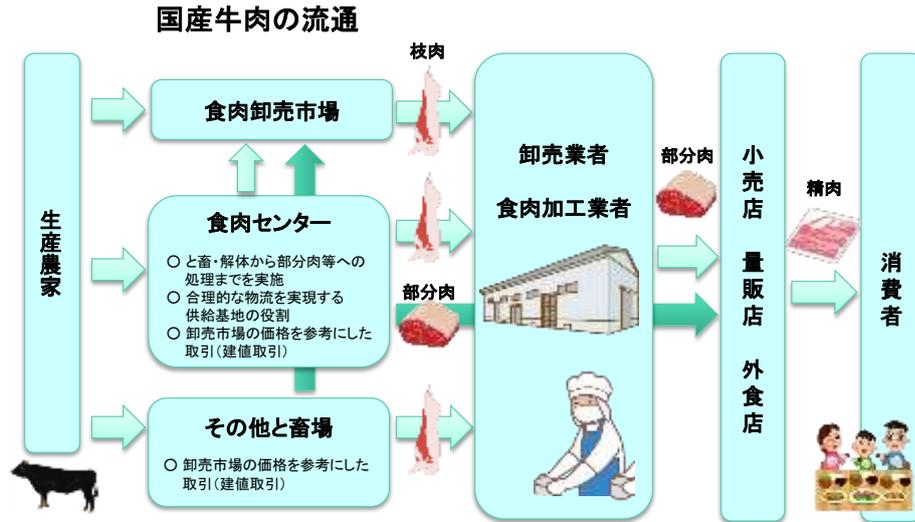
図表 55 「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度  
 【生産コストを減らすため、国と関係者が一丸となって、家畜改良に取り組んでいます】

【国産牛肉は、①卸売市場や食肉センター等、②食肉卸売業者・加工業者、③小売事業者（外食店、量販店、小売店等）の各事業者によって、それぞれ、枝肉や部分肉、部分肉、精肉に加工され、お店に並びます】

エリア別に「知っている計」を見ると、首都圏が 26.9%、京阪神圏が 22.1% で、京阪神圏より首都圏の方が 4.8 ポイント高い。

性別に「知っている計」を見ると、男性が 28.2%、女性が 20.9%と、女性より男性の方が 7.3 ポイント高い。

年代別に「知っている計」を見ると、20代は 32.3%と高くなっている。



※枝肉：と畜された肉牛から内臓や皮、頭部などを除去し背骨に沿って2分割したもの  
 ※部分肉：枝肉から骨や余計な脂肪を除いて大きな部位に分割したもの

	R6 全体	(n=1800)	知っている計 (%)					知っている計 (%)	知らない計 (%)	
			詳しく知っている	ある程度知っている	なんとなく知っている	あまりよく知らない	知らない			
			7.1	15.4	24.4	24.7	26.3	24.5	75.4	
エリア	首都圏	(n=900)	8.3	16.4	24.3	23.3	25.3	26.9	72.9	
	京阪神圏	(n=900)	5.9	14.4	24.6	26.0	27.3	22.1	77.9	
性別	男性	(n=900)	8.2	17.3	25.4	25.9	20.4	28.2	71.7	
	女性	(n=900)	6.0	13.6	23.4	23.4	32.2	20.9	79.0	
年代	20代	(n=300)	6.3	13.3	12.7	24.0	17.3	26.3	32.3	67.6
	30代	(n=300)	6.7	15.3	21.0	20.3	34.7	24.0	76.0	
	40代	(n=300)	7.7	13.7	22.0	23.3	31.3	23.4	76.6	
	50代	(n=300)	14.0	24.3	31.0	27.7	17.0	83.0		
	60代	(n=300)	4.7	17.0	28.0	29.3	20.7	22.0	78.0	
	70代以上	(n=300)	7.7	20.0	27.3	26.7	17.3	28.7	71.3	

「知っている計」⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「なんとなく知っている」  
 「知らない計」⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 56 「高止まりしている生産コストの価格への適正な反映」への認知度【国産牛肉の流通】

5) 「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識 (Q51) : エリア・性・年代別分析

生産コストが高止まりしている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識 (Q51) を聞いた。「そう思う計」で見ると、「生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う」及び「国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う」が 59.8% で最も多く、次いで、「国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う」が 56.1%、「今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる」が 51.3%、「国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がりが起きていない」が 32.7% の順である。

エリア別に「そう思う計」を見ると、大きな違いは見られない。

性別に「そう思う計」を見ると、いずれの意識も男性より女性の方が多い。

年代別に「そう思う計」を見ると、いずれの意識も 60 代以上で多くなっている。

過年度調査と比較すると、今年度は、前問で説明画像を提示して認知を問う質問を聞いた後に意識について聞いたが、「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識について、大きな違いは見られなかった。

燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

図表 57 提示説明文

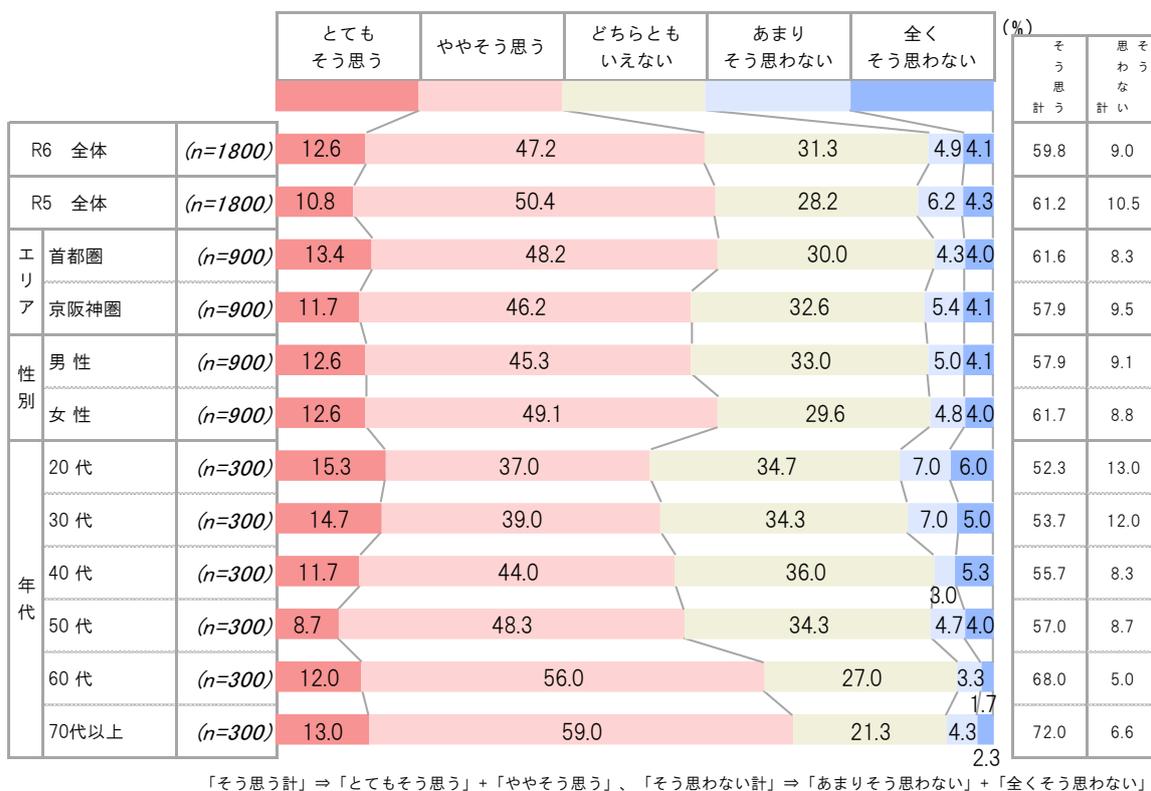
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない	計 (%)	
								「そう 思う 計」	「そう 思わ ない 計」
生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う	R6 全体	(n=1800)	12.6	47.2	31.3	4.9	4.1	59.8	9.0
	R5 全体	(n=1800)	10.8	50.4	28.2	6.2	4.3	61.2	10.5
国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う	R6 全体	(n=1800)	13.9	45.9	32.3	4.3	3.6	59.8	7.9
	R5 全体	(n=1800)	11.9	50.3	29.8	4.6	3.4	62.2	8.0
国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う	R6 全体	(n=1800)	13.3	42.8	34.4	6.1	3.3	56.1	9.4
	R5 全体	(n=1800)	11.2	46.7	33.4	4.8	3.8	57.9	8.6
国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がりが起きていない	R6 全体	(n=1800)	6.1	26.6	51.5	11.2	4.6	32.7	15.8
	R5 全体	(n=1800)	6.7	30.6	47.0	11.3	4.4	37.3	15.7
今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる	R6 全体	(n=1800)	13.5	37.8	39.4	5.9	3.3	51.3	9.2
	R5 全体	(n=1800)	12.4	40.9	39.4	4.0	3.2	53.3	7.2

「そう思う計」⇒「とてもそう思う」+「ややそう思う」、「そう思わない計」⇒「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

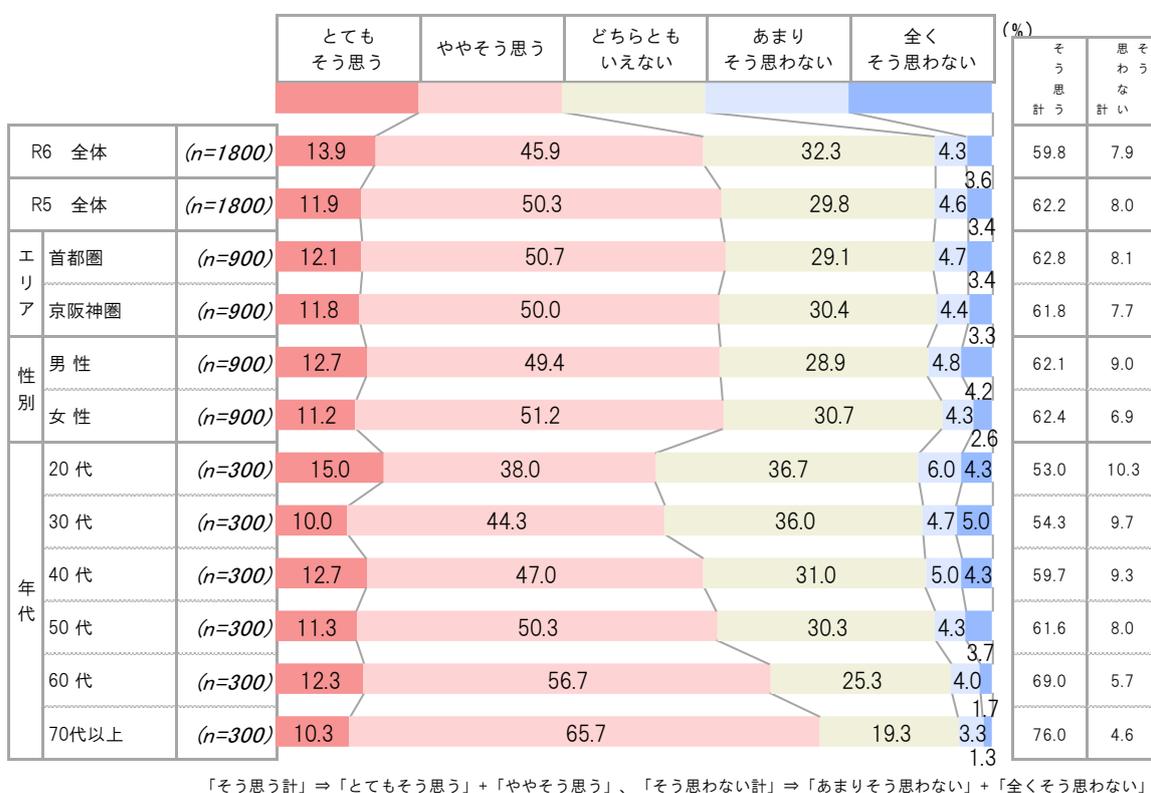
図表 58 「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識

「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識について、エリア・性・年代別に見た。

項目 1【生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う】

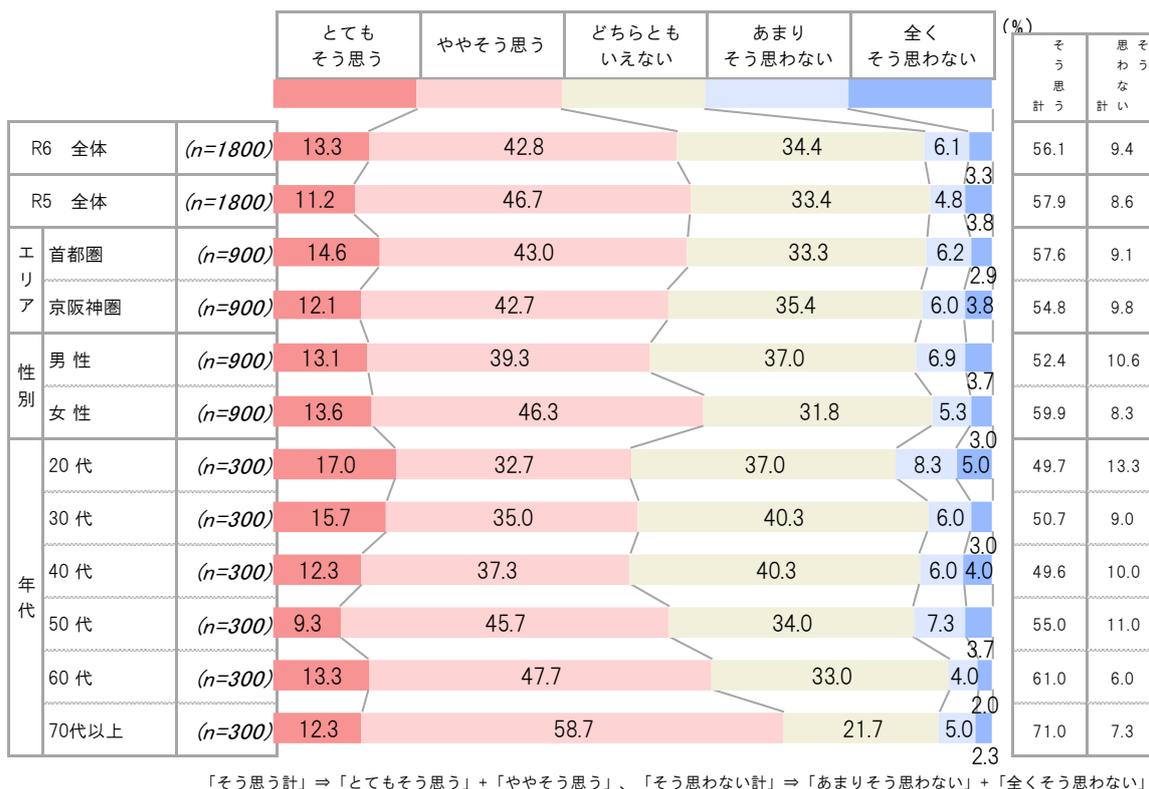


項目 2【国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う】

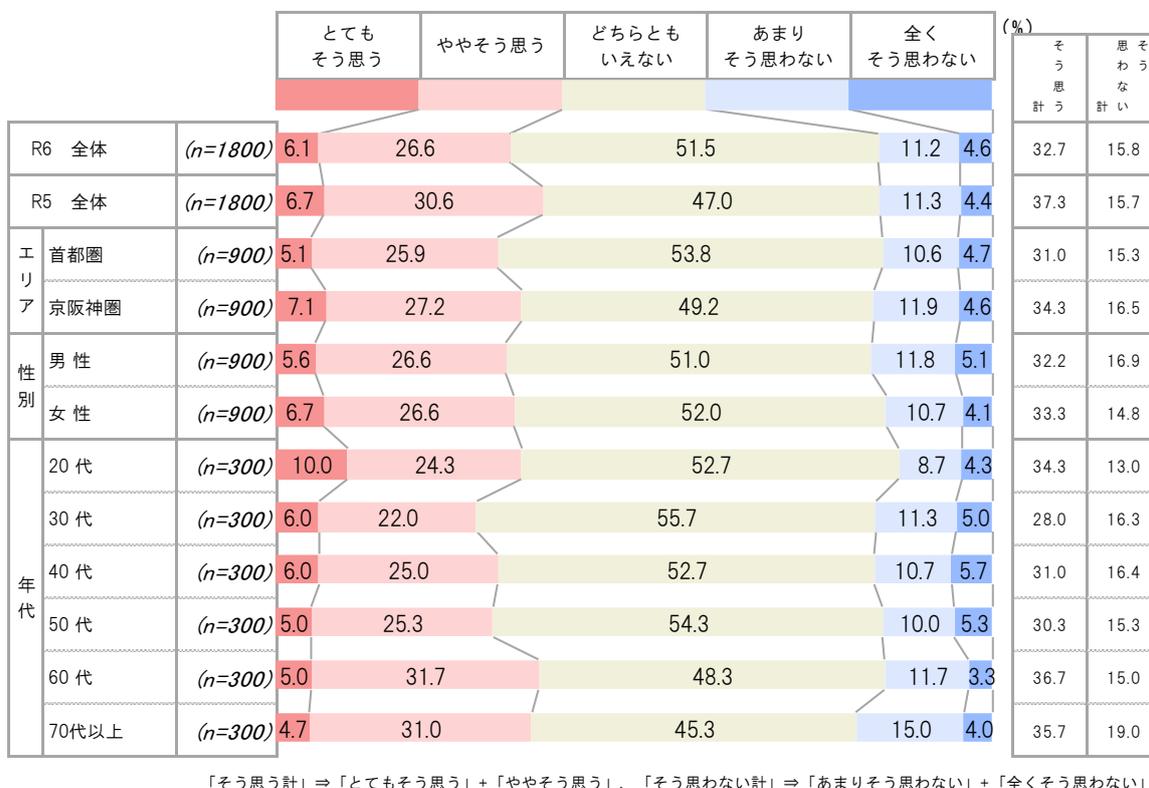


図表 59 (その1) エリア・性・年代別 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識

### 項目 3 【国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う】

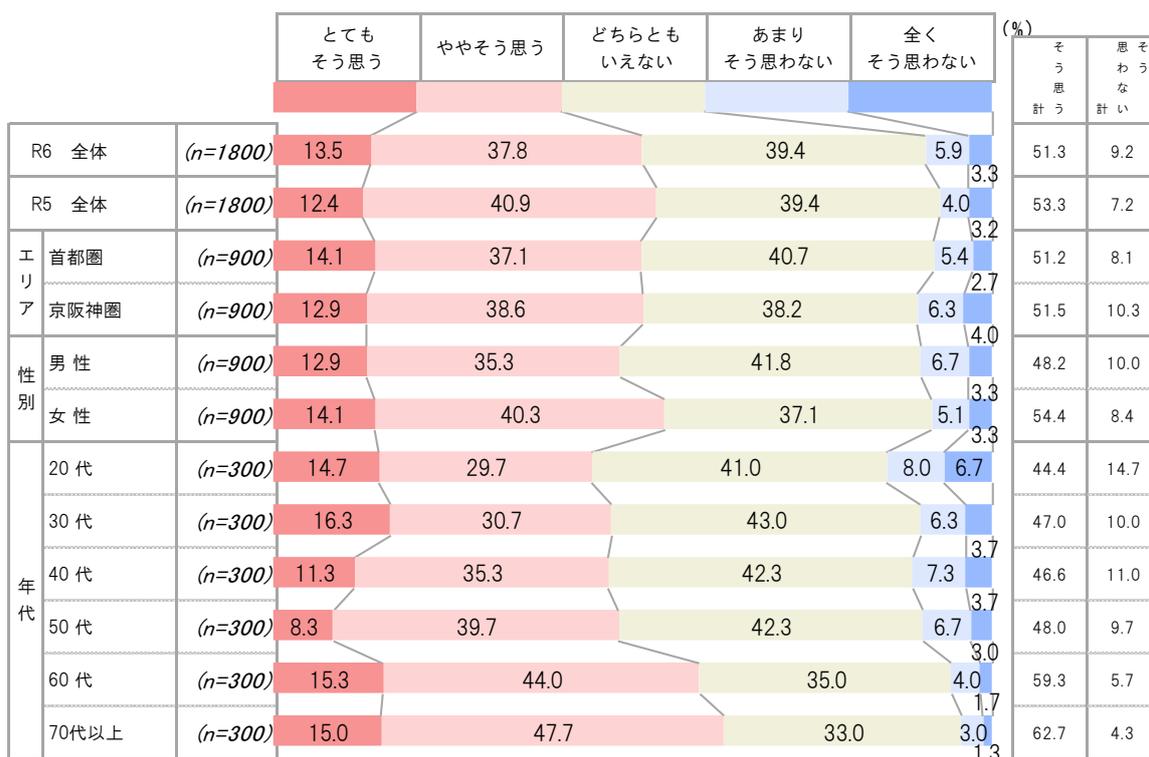


### 項目 4 【国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がりが起きていない】



図表 59 (その2) エリア・性・年代別 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識

項目5【今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる】



「そう思う計」⇒「とてもそう思う」+「ややそう思う」、「そう思わない計」⇒「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」

図表 59 (その3) エリア・性・年代別 「円安・資源価格の高騰等による物価上昇」による国産牛肉の値上げや販売価格に関する意識

6) 「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉に対する追加支払意思 (Q52) :  
エリア・性・年代別分析

生産コストが高止まりしている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められていることを説明して、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うか (Q52) を聞いた。

「50円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が20.2%で最も多く、次いで「100円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が14.5%、「10円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が10.5%、「20円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が10.0%、「30円程度までの価格上昇なら高くても購入する」が9.7%の順である。

「平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円/100g)」で見ると、平均66円/100gである。

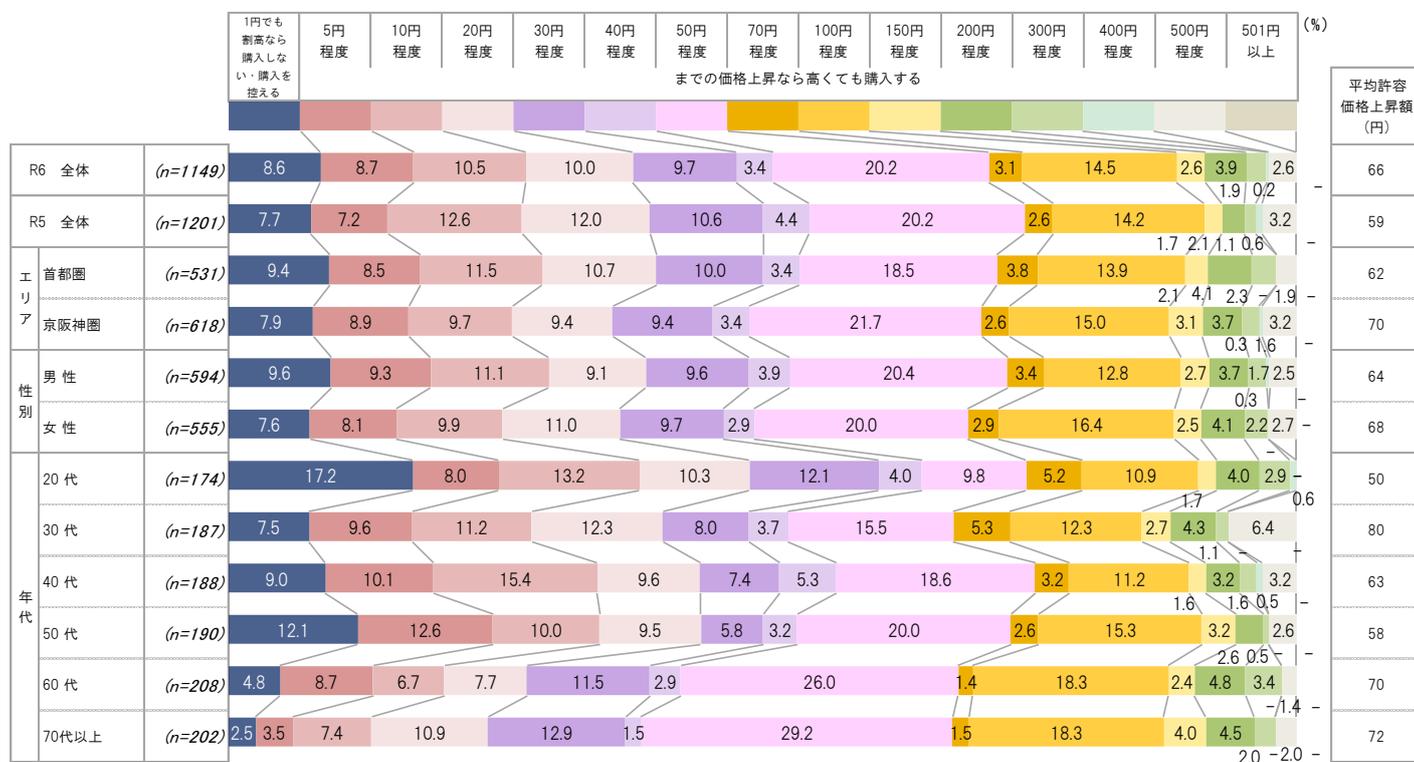
エリア別に「平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円/100g)」を見ると、首都圏が62円/100g、京阪神圏が70円/100gで、大きな違いは見られない。

性別に「平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円/100g)」を見ると、男性が64円/100g、女性が68円/100gで、大きな違いは見られない。

年代別に「平均許容価格上昇額 (追加支払意思額) (円/100g)」を見ると、30代が80円/100gと最も高く、20代が50円/100gと最も低い。

燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

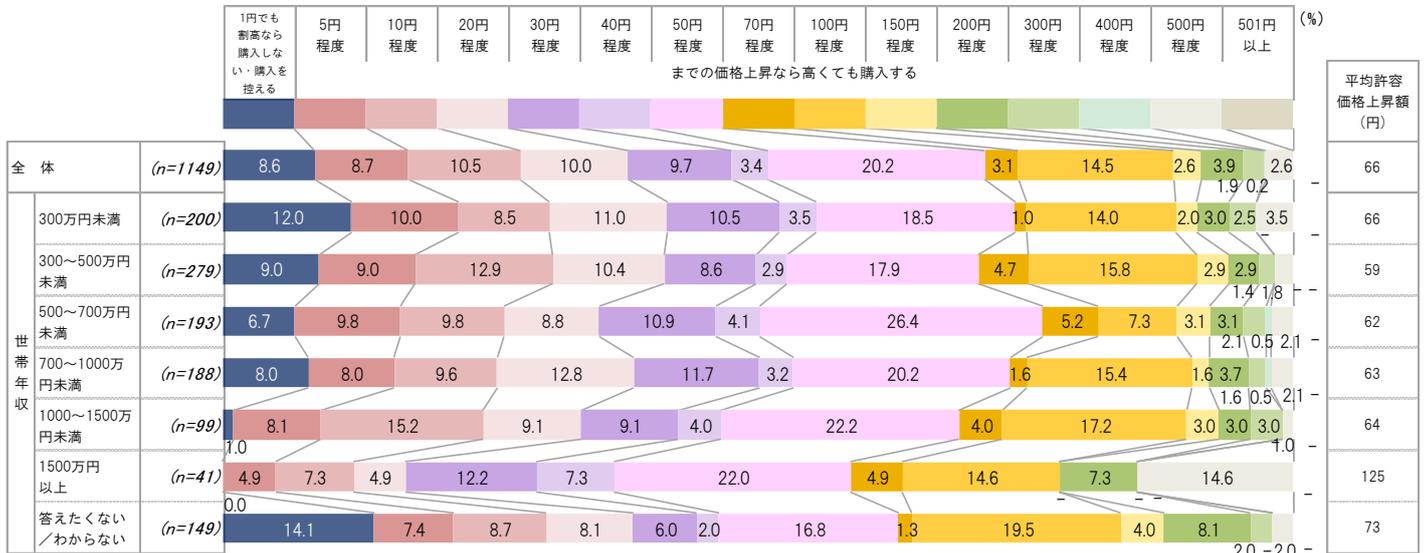
図表 60 提示説明文



図表 61 エリア・性・年代別

「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉に対する追加支払意思

世帯年収別に「平均許容価格上昇額（追加支払意思額）（円／100g）」を見ると、世帯年収 1500 万円以上では 125 円／100g と高いが、それ以下の世帯年収では、50 円台／100g、60 円台／100g となっており、世帯年収と国産牛肉の平均許容価格上昇額（追加支払意思額）には関係性は見られない。



図表 62 世帯年収別

「高止まりしている生産コスト」による国産牛肉に対する追加支払意思

「国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（円／100g）」は、平均 430 円／100g であるので、平均許容価格上昇額（追加支払意思額）66 円を加味した「国産牛肉（和牛を含む）の購入価格帯（円／100g）」は、平均 496 円／100g と推定される。

過年度調査でみると、昨年度の平均 480 円／100g から、16 円／100g と微増である。

		令和6年				令和5年				平均購入価格と平均許容価格上昇額の合計(円) 【令和6年-令和5年】の差分
		平均購入価格(円)		平均許容価格上昇額(追加支払意思額)(円)	平均購入価格と平均許容価格上昇額(追加支払意思額)の合計(円)	平均購入価格(円)		平均許容価格上昇額(追加支払意思額)(円)	平均購入価格と平均許容価格上昇額(追加支払意思額)の合計(円)	
全体		430	+	66	= 496	417	+	63	= 480	16
地域	首都圏	418	+	62	= 480	402	+	59	= 461	19
	京阪神圏	440	+	70	= 510	430	+	66	= 496	14
性別	男性	436	+	64	= 500	437	+	65	= 502	-2
	女性	422	+	68	= 490	397	+	61	= 458	32
年代	20代	387	+	50	= 437	390	+	73	= 463	-26
	30代	419	+	80	= 499	394	+	61	= 455	44
	40代	390	+	63	= 453	373	+	60	= 433	20
	50代	390	+	58	= 448	380	+	63	= 443	5
	60代	479	+	70	= 549	471	+	62	= 533	16
	70代以上	498	+	72	= 570	491	+	59	= 550	20
世帯年収	300万円未満	353	+	66	= 419	341	+	54	= 395	24
	300～500万円未満	409	+	59	= 468	423	+	70	= 493	-25
	500～700万円未満	403	+	62	= 465	413	+	50	= 463	2
	700～1000万円未満	444	+	63	= 507	431	+	53	= 484	23
	1000～1500万円未満	503	+	64	= 567	495	+	66	= 561	6
	1500万円以上	653	+	125	= 778	608	+	127	= 735	43
	答えたくない／わからない	477	+	73	= 550	389	+	73	= 462	88

図表 63 エリア・性・年代・世帯年収別  
国産牛肉（和牛を含む）の普段の100gあたり税込み平均購入価格と「高止まりしている生産コスト」下の国産牛肉に対する追加支払意思額を上乗せした平均許容購入価格のまとめ

### 2.3 「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識の考察

- 脂肪交雑基準 (B.M.S) No.1~No.10 の各画像を提示して、「赤身肉」、「霜降り肉」と考える国産牛肉を尋ねた結果、「赤身肉」と回答した割合は、B.M.S No.1 は 100.0%、B.M.S No.2 までが 75.7%、B.M.S No.3 までが 53.2%、B.M.S No.4 までが 34.2%。一方、「霜降り肉」と回答した割合は、B.M.S No.10 は 100.0%、B.M.S No.9 までが 85.7%、B.M.S No.8 までが 76.6%、B.M.S No.7 までが 67.1%、B.M.S No.6 までが 56.3%、B.M.S No.5 までが 39.9%、B.M.S No.4 までが 30.6%。  
※画像 1・2 (B.M.S No.1・2) は写真提示なし
- 「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」は、B.M.S No.1~B.M.S No.4 の合計が 44.8% で、脂肪交雑が標準以下の国産牛肉を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としている人が約 4 割程度いる。一方、「好きな国産牛肉・好んで食いたい国産牛肉」では、脂肪交雑がかなり多い B.M.S No.10 から、脂肪交雑がほとんどない B.M.S No.1 まで、好みが分散している。  
※画像 1・2 (B.M.S No.1・2) は写真提示なし
- 国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合に購入したい牛肉は、「霜降り肉」が 60.1%、「赤身肉」が 39.9% で、「霜降り肉」の方が 20.2 ポイント高い。
- 国産牛肉の「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度は、「赤身肉」より、2 割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が 39.7% で最も多い。一方、「赤身肉」より、安価でも、「霜降り肉」を購入しない（値段に関係なく、「赤身肉」を購入する）」が 29.7%。
- 国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」と「霜降り肉」を選択する頻度は、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」が 32.3% と最も高く、「毎回、「赤身肉」を購入する」が 20.1% で続き、「毎回+普段は「赤身肉」を購入する計」が 52.4% と半数以上を占める。
- 「赤身肉」に期待する特徴は、「満足感」が 37.9% で最も多く、「安価」が 34.4%、「ヘルシーさ」が 30.3%、「歯ごたえ」が 25.4%、「やわらかさ」が 19.1% の順。一方、「霜降り肉」に期待する特徴は、「やわらかさ」が 40.4% で最も多く、「とろける食感」が 37.0%、「ジューシー」が 33.7%、「高級感」が 31.2%、「満足感」が 30.6% の順。
- 「赤身肉」の調理メニューは、「焼き肉」が 50.3% で最も多く、「ビーフカレー」32.9%、「ステーキ」32.7%、「ビーフシチュー」27.3%、「牛丼」24.6%、「ローストビーフ」23.6%、「ハヤシライス・ハッシュドビーフ」23.3%、「すき焼き」22.6%、「ビーフカツ」21.2% の順で、調理メニューが多岐に渡っている。一方、「霜降り肉」は、「ステーキ」が 44.2% で最も多く、「すき焼き」40.3%、「焼き肉」39.4%、「しゃぶしゃぶ」31.2% の順であり、それ以外の調理メニューは 10% 以下と少なくなっており、ハレの日のご馳走メニューに集中。
- 5 年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向は、「もともと「霜降り肉」も「赤身肉」も同じ程度好き（好みは変わらない）」が 37.8% で最も多く、「赤身肉」派が 37.3%。一方、「霜降り肉」派が 24.8%。
- 5 年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化は、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」が 49.7% と最も多く半数。

2.4 では、「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好に関する消費者意識を探ることを目的とした。

1) 画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義（Q33／複数回答）：  
エリア・性・年代別分析

画像（\*）を提示して、「赤身肉」と考える国産牛肉を複数回答で全て選択してもらったところ（Q33(1)）、「画像 1 (B.M.S No.1)写真提示なし」は 100.0%と全員が選択した。「画像 2 (B.M.S No.2)写真提示なし」までが 75.7%、「画像 3 (B.M.S No.3)」までが 53.2%、「画像 4 (B.M.S No.4)」までが 34.2%である。

次に、画像（\*）を提示して、「霜降り肉」と考える国産牛肉を複数回答で全て選択してもらったところ（Q33(2)）、「画像 10(B.M.S No.10)」は 100.0%と全員が選択した。「画像 9 (B.M.S No.9)」までが 85.7%、「画像 8 (B.M.S No.8)」までが 76.6%、「画像 7 (B.M.S No.7)」までが 67.1%、「画像 6 (B.M.S No.6)」までが 56.3%、「画像 5 (B.M.S No.5)」までが 39.9%、「画像 4 (B.M.S No.4)」までが 30.6%である。

「画像 4 (B.M.S No.4)」については、「赤身肉」「霜降り肉」と考える人が約 3 割ずつおり、判断が拮抗している。

【赤身肉】

エリア別、性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、20 代では「画像 5 (B.M.S No.5)」～「画像 7 (B.M.S No.7)」を「赤身肉」と考える割合が他の年代より多い。

【霜降り肉】

エリア別、性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、20 代では「画像 5 (B.M.S No.5)」～「画像 2 (B.M.S No.2)」を「霜降り肉」として選択する割合が多くなっている。

\*【画像について】は以下の説明を提示した。

※ 1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。

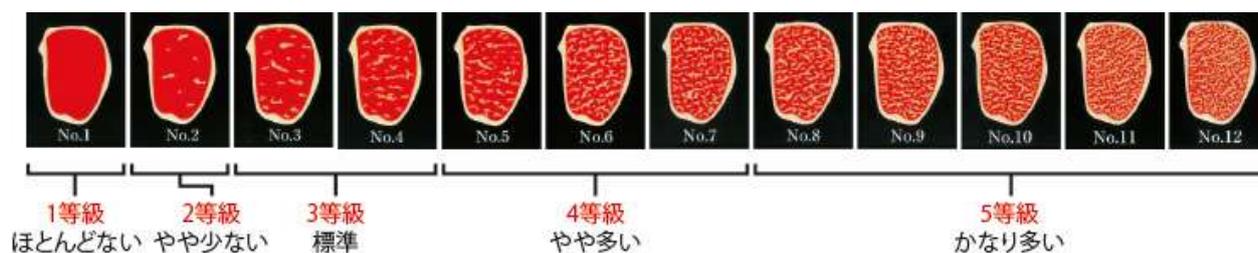
※ 2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

※ 3：画像 1 (B.M.S No.1) は脂肪交雑の認められないもの、画像 2 (B.M.S No.2) は画像 3 (B.M.S No.3) に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

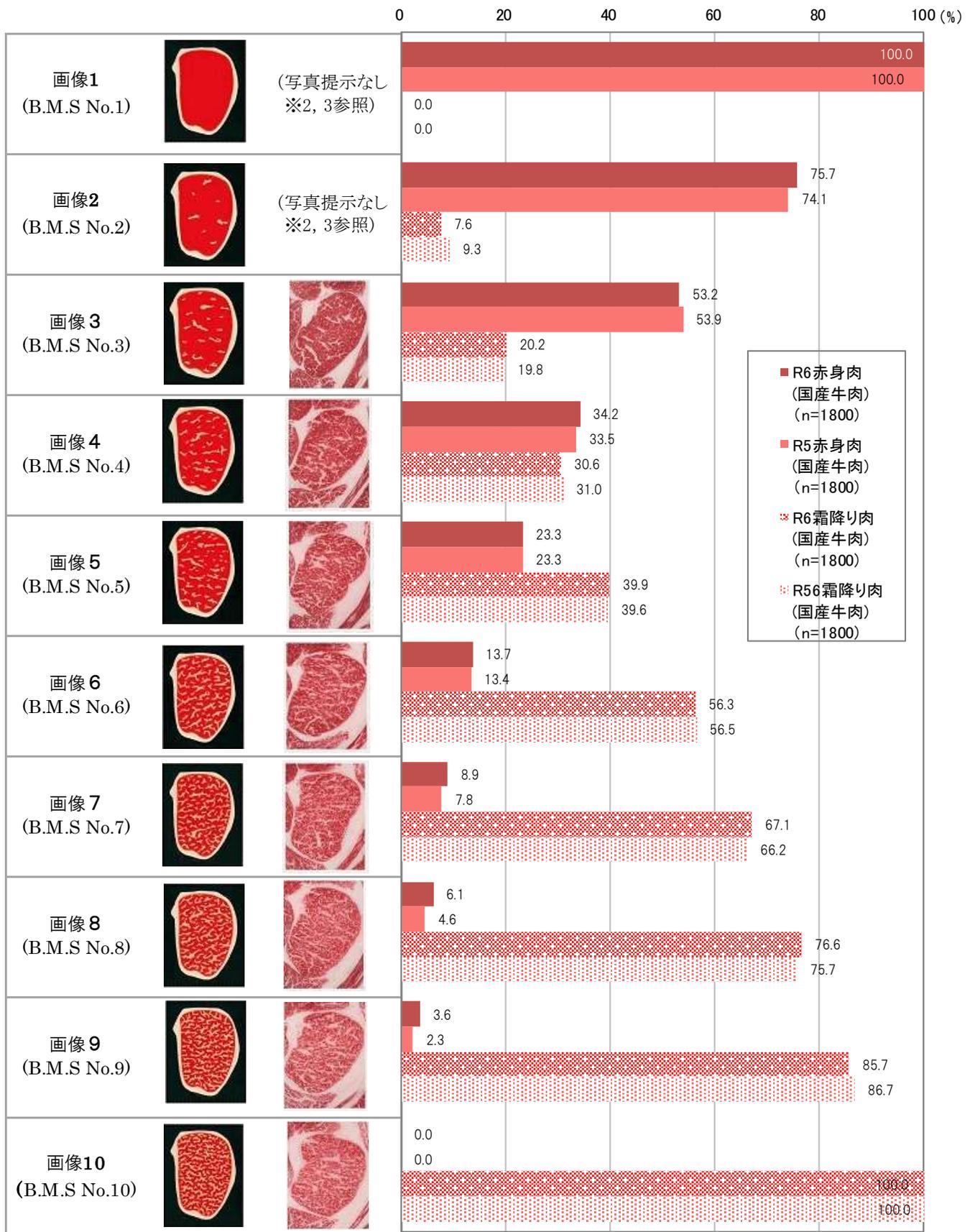
※ 4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準 (B.M.S.) によって評価し、等級を決定します。

(参考) 肉質等級について (出展 農林水産省HP [https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1608/spe2\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1608/spe2_01.html))

脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準 (B.M.S.) によって 12 段階で評価し、等級を決定します。



図表 64 参考資料 脂肪交雑について



図表 65 画像から見た「赤身肉」と「霜降り肉」の定義  
 (「赤身肉」または「霜降り肉」と考える人の割合)



## 2) 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」(Q33)：エリア・性・年代別分析

画像(\*)を提示して、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」に近い画像を1つだけ選択してもらったところ(Q33(3))、「画像3(B.M.S No.3)」が18.2%で最も多く、次いで「画像4(B.M.S No.4)」が11.4%、「画像2(B.M.S No.2)写真提示なし」と「画像6(B.M.S No.6)」が7.9%、「画像5(B.M.S No.5)」7.6%、「画像1(B.M.S No.1)写真提示なし」が7.3%の順で多い。「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」についてのみ、「国産牛肉は購入していない・わからない」の選択肢を設けたが、23.8%であった。

次に、画像(\*)を提示して、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」に近い画像を1つだけ選択してもらったところ(Q33(4))、「画像3(B.M.S No.3)」が16.1%で最も多く、「画像10(B.M.S No.10)」が13.2%、「画像4(B.M.S No.4)」が11.8%、「画像6(B.M.S No.6)」が11.3%、「画像1(B.M.S No.1)写真提示なし」が9.7%の順で多い。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」は、「画像1(B.M.S No.1)～「画像4(B.M.S No.4)」※画像1・2(B.M.S No.1・2)は写真提示なし」の合計が44.8%となる。脂肪交雑が標準以下の国産牛肉を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としている人が約4割程度いると考えられる。

一方、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」では、脂肪交雑がかなり多い「画像10(B.M.S No.10)」から、脂肪交雑がほとんどない「画像1(B.M.S No.1)写真提示なし」まで、好みが分散していると考えられる。

### 【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「画像4(B.M.S No.4)」は70代以上で多くなっている。

### 【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、70代以上は「画像3(B.M.S No.3)」が他の年代より少なくなっている。

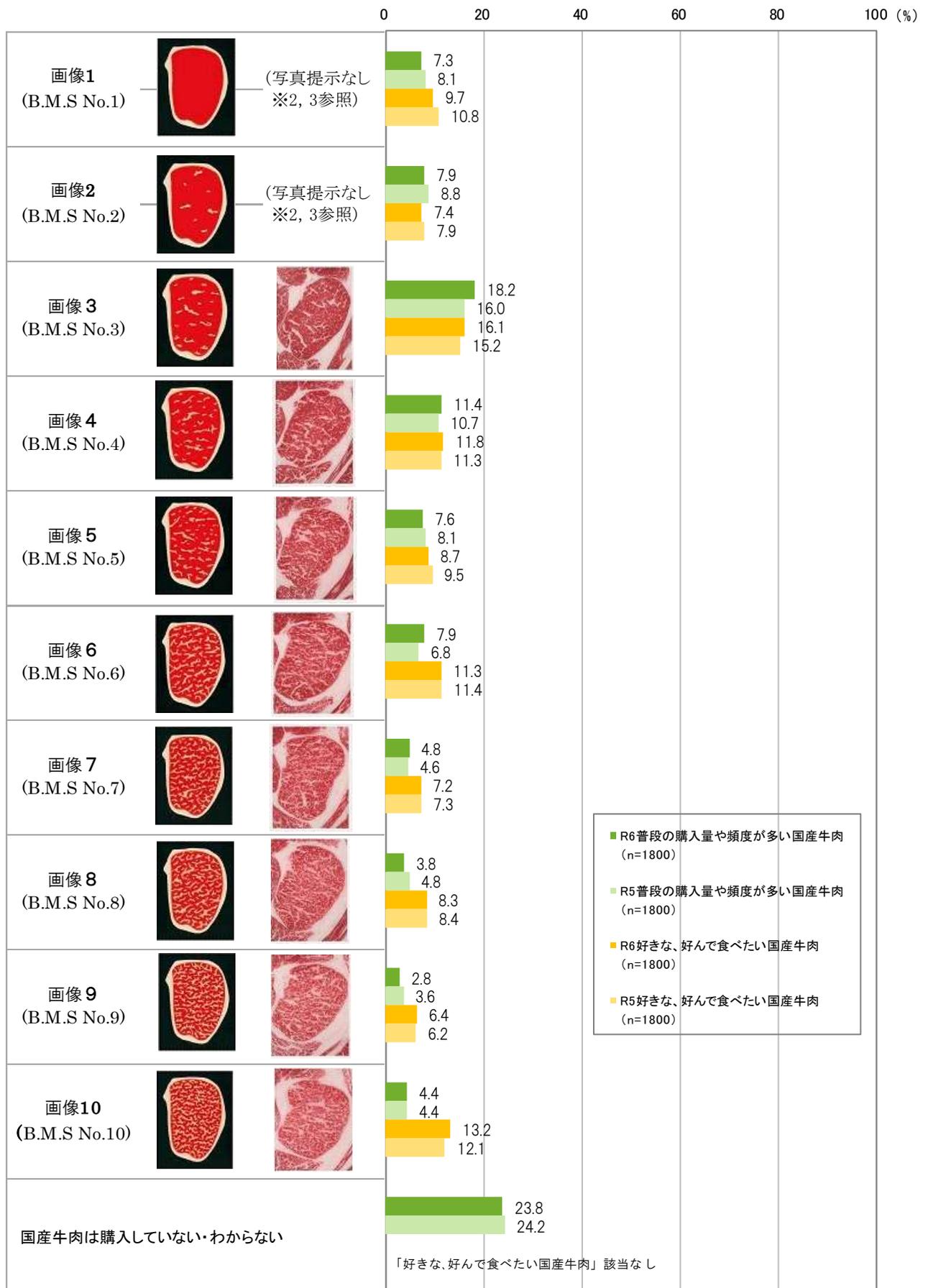
\*【画像について】は以下の説明を提示した。

※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。

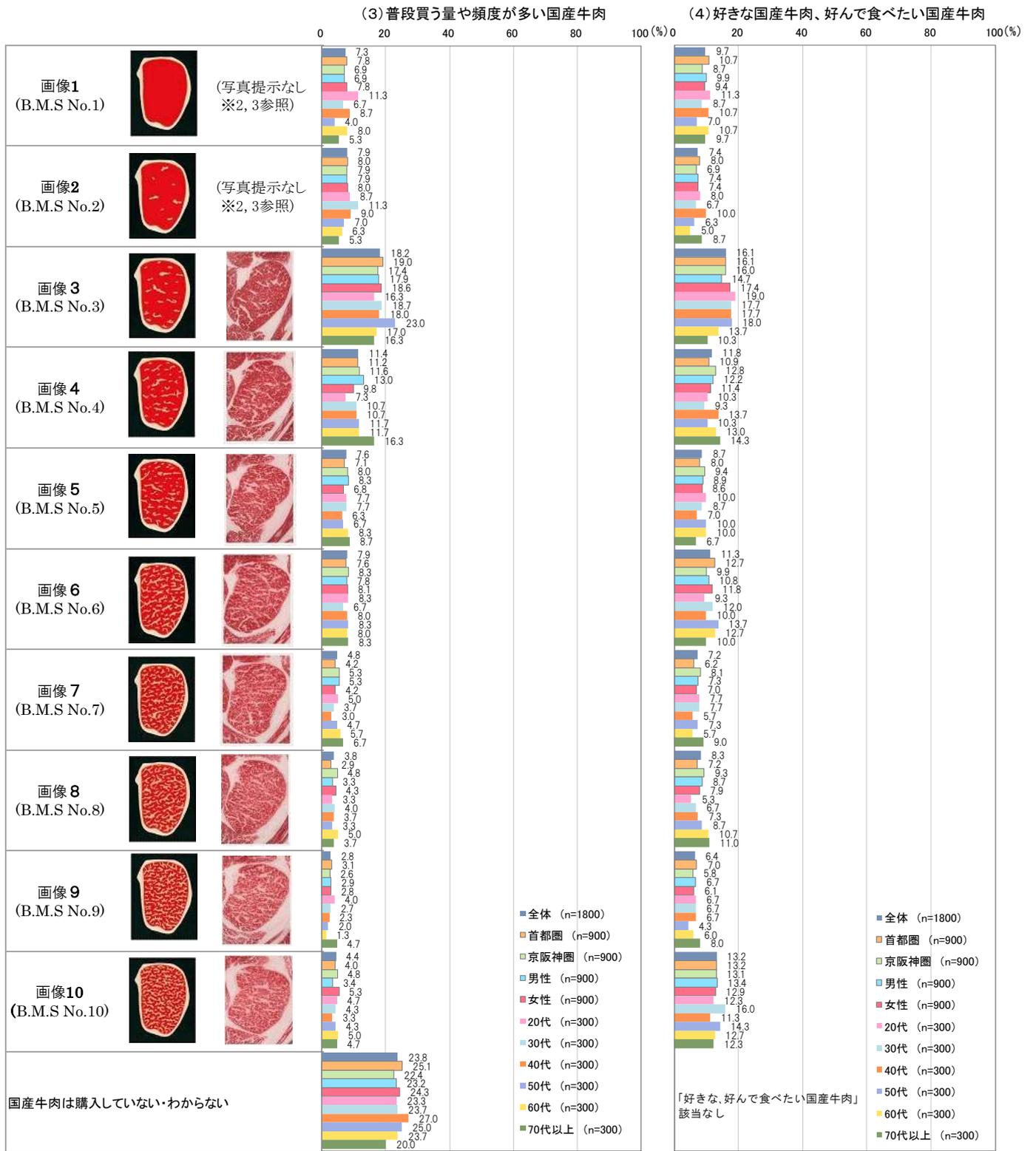
※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

※3：画像1(B.M.S No.1)は脂肪交雑の認められないもの、画像2(B.M.S No.2)は画像3(B.M.S No.3)に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準(B.M.S.)によって評価し、等級を決定します。



図表 67 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」



図表 68 エリア・性・年代別 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」と「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

次頁の図表は、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」(Q33(3)1つ選択)について、Q33(1)で「赤身肉」と選択した画像を選択した場合は「赤身肉」、Q33(2)で「霜降り肉」と選択した画像を選択した場合を「霜降り肉」、Q33(1)「赤身肉」とQ33(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を選択した場合を「標準肉」として集計した結果である。

「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」についても、同様に集計した。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」については、「赤身肉」が33.3%、「霜降り肉」が29.8%、「標準肉」が13.1%の順であった。

※「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」についてのみ、「国産牛肉は購入していない・わからない」の選択肢を設けたが、23.8%であった。

一方、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」(Q33(4)1つ選択)については、「霜降り肉」が51.7%と半数以上を占め、「赤身肉」が33.7%、「標準肉」が14.6%であった。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」としては、「霜降り肉」より「赤身肉」を選択している人がやや多いが、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」になると「霜降り肉」を選好する人の方が多くなる。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。

#### 【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「赤身肉」は30代で39.3%と多くなっている。

#### 【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「赤身肉」は20代で41.7%と多くなっており、「霜降り肉」は70代以上で58.3%と多くなっている。

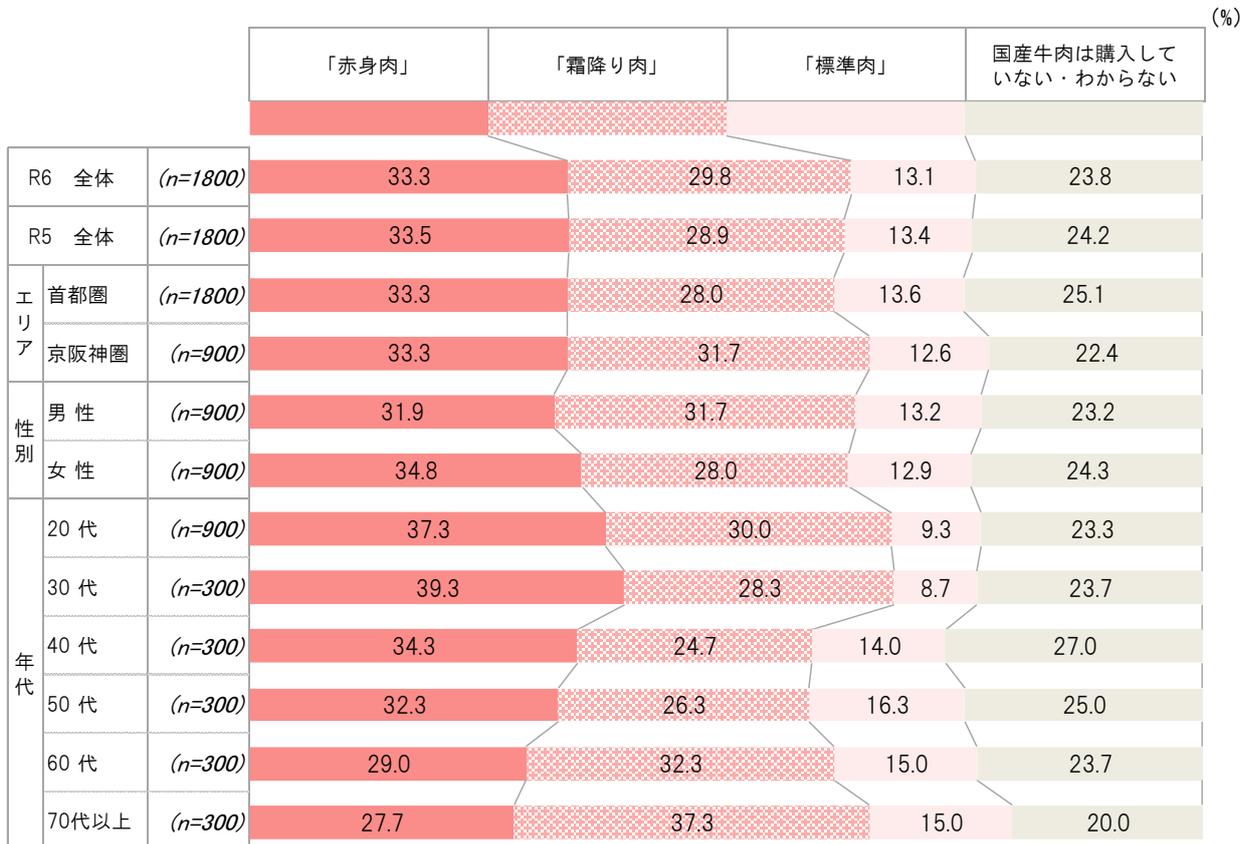
\*【画像について】は以下の説明を提示した。

※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。

※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。

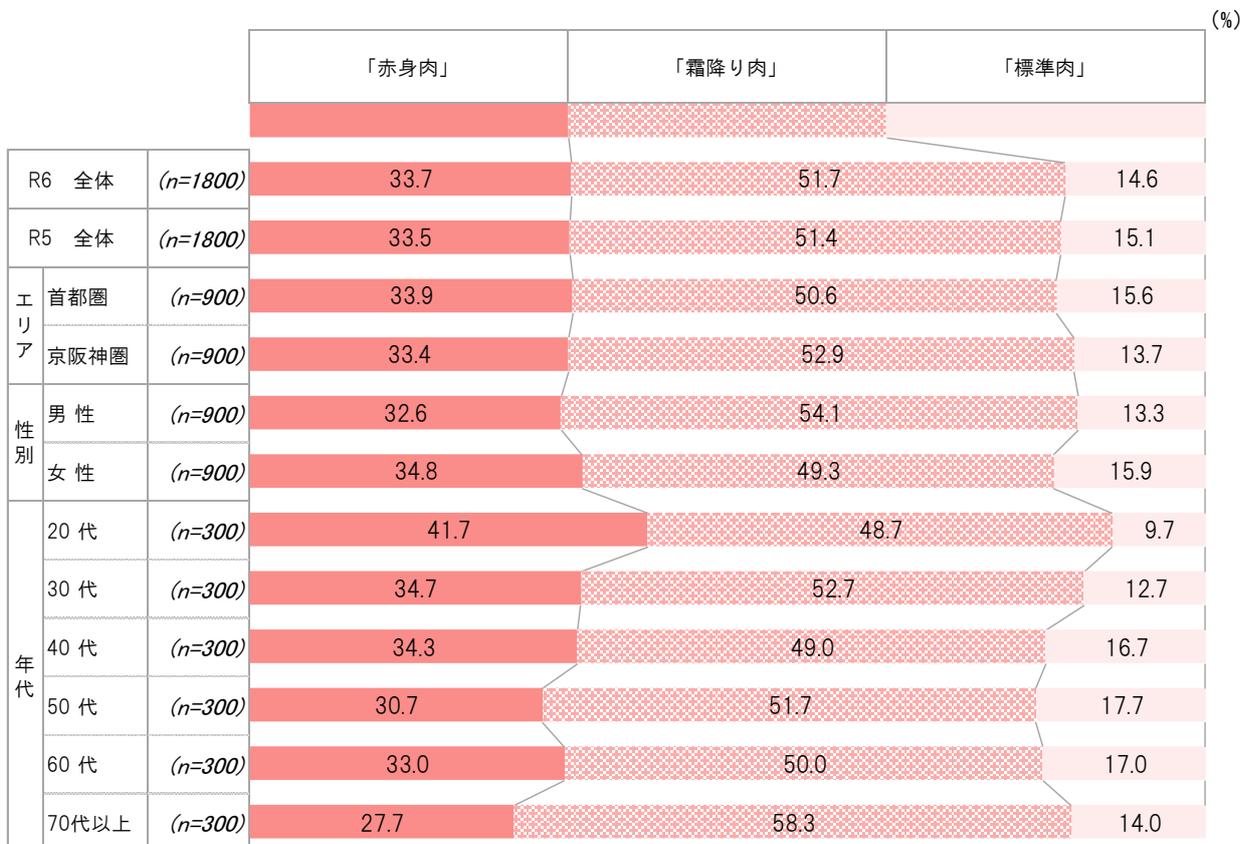
※3：画像1 (B.M.S. No.1) は脂肪交雑の認められないもの、画像2 (B.M.S. No.2) は画像3 (B.M.S. No.3) に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。

※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準 (B.M.S.) によって評価し、等級を決定します。



「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択  
「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択  
「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 69 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」



「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択  
「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択  
「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 70 画像から見た「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」別に、画像から見た「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」を見た。

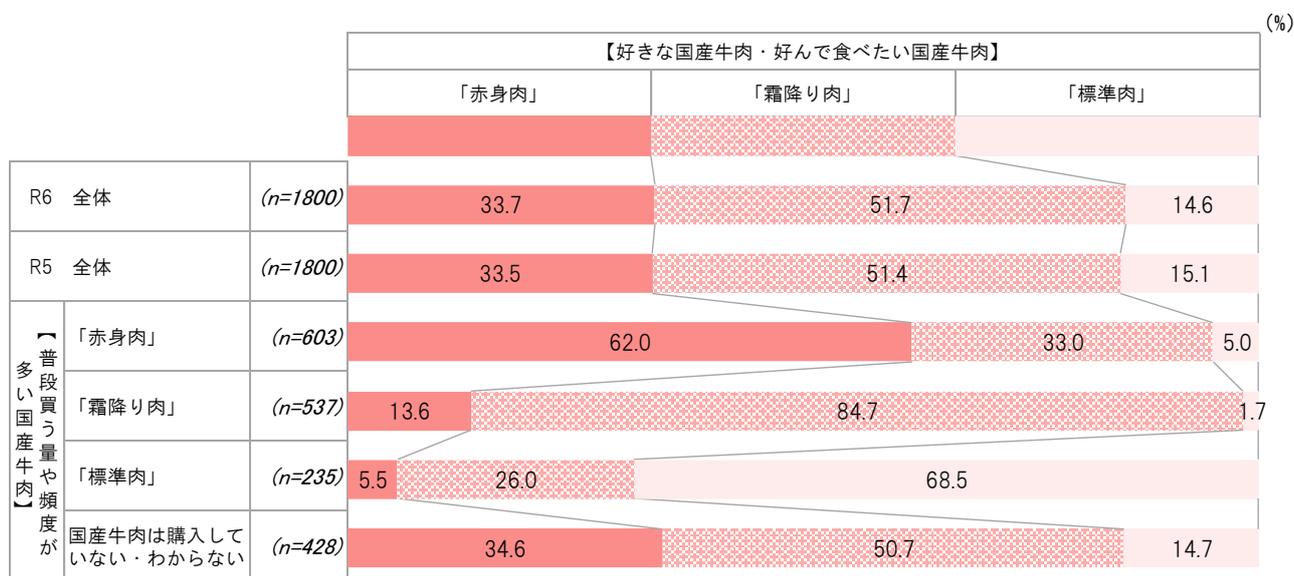
「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「赤身肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「赤身肉」が62.0%と最も多いが、「霜降り肉」も33.0%と3分の1を占めており、「標準肉」は5.0%である。

一方、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「霜降り肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「霜降り肉」が84.7%と最も多く、「赤身肉」は13.6%、「標準肉」が1.7%と少ない。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「標準肉」の人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「標準肉」が68.5%と最も多いが、「霜降り肉」も26.0%と4分の1を占めており、「赤身肉」は5.5%である。

「国産牛肉は購入していない・わからない」人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」が「霜降り肉」が50.7%と半数以上を占め、「赤身肉」が34.6%、「標準肉」が14.7%の順である。

「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」が「霜降り肉」を選択している人や「国産牛肉は購入していない・わからない」人では、「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として「霜降り肉」を選好する人が多くなっている。



【好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉】

「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択

「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択

「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「好きな国産牛肉・好んで食べたい国産牛肉」として選択

【普段買う量や頻度が多い国産牛肉】

「赤身肉」⇒(1)赤身肉(国産牛肉)で「赤身肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

「霜降り肉」⇒(2)霜降り肉(国産牛肉)で「霜降り肉」と選択した画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

「標準肉」⇒(1)「赤身肉」(2)「霜降り肉」のいずれでも選択しなかった画像を「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」として選択

図表 71 画像から見た「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」別  
画像から見た「好きな・好んで食べたい国産牛肉」

3) 「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向 (Q34) :  
エリア・性・年代別分析

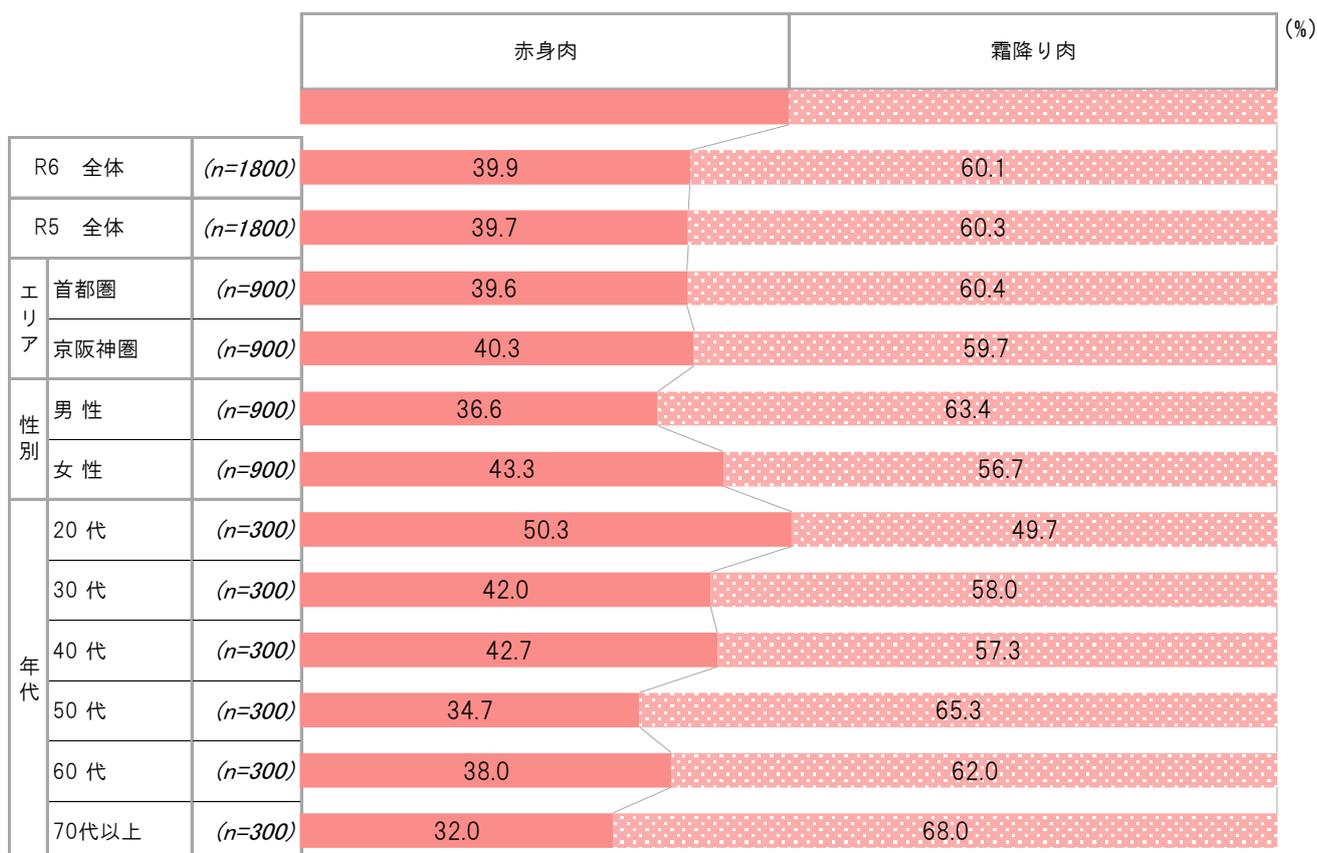
国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向 (Q34) は、「霜降り肉」が 60.1%、「赤身肉」が 39.9%で、「霜降り肉」の方が 20.2 ポイント高い。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「霜降り肉」は男性が 63.4%、女性が 56.7%と女性より男性の方が多。

年代別に見ると、「霜降り肉」は、20代は 49.7%と最も少なく、70代以上では 68.0%と最も多くなっており、年代が高い方が多くなっている。「赤身肉」は、20代は 50.3%と最も多く、40代以下では 4割以上と多くなっており、年代が若い方が多くなっている。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



図表 72 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格の場合の購入意向

#### 4) 「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度 (Q35) : エリア・性・年代別分析

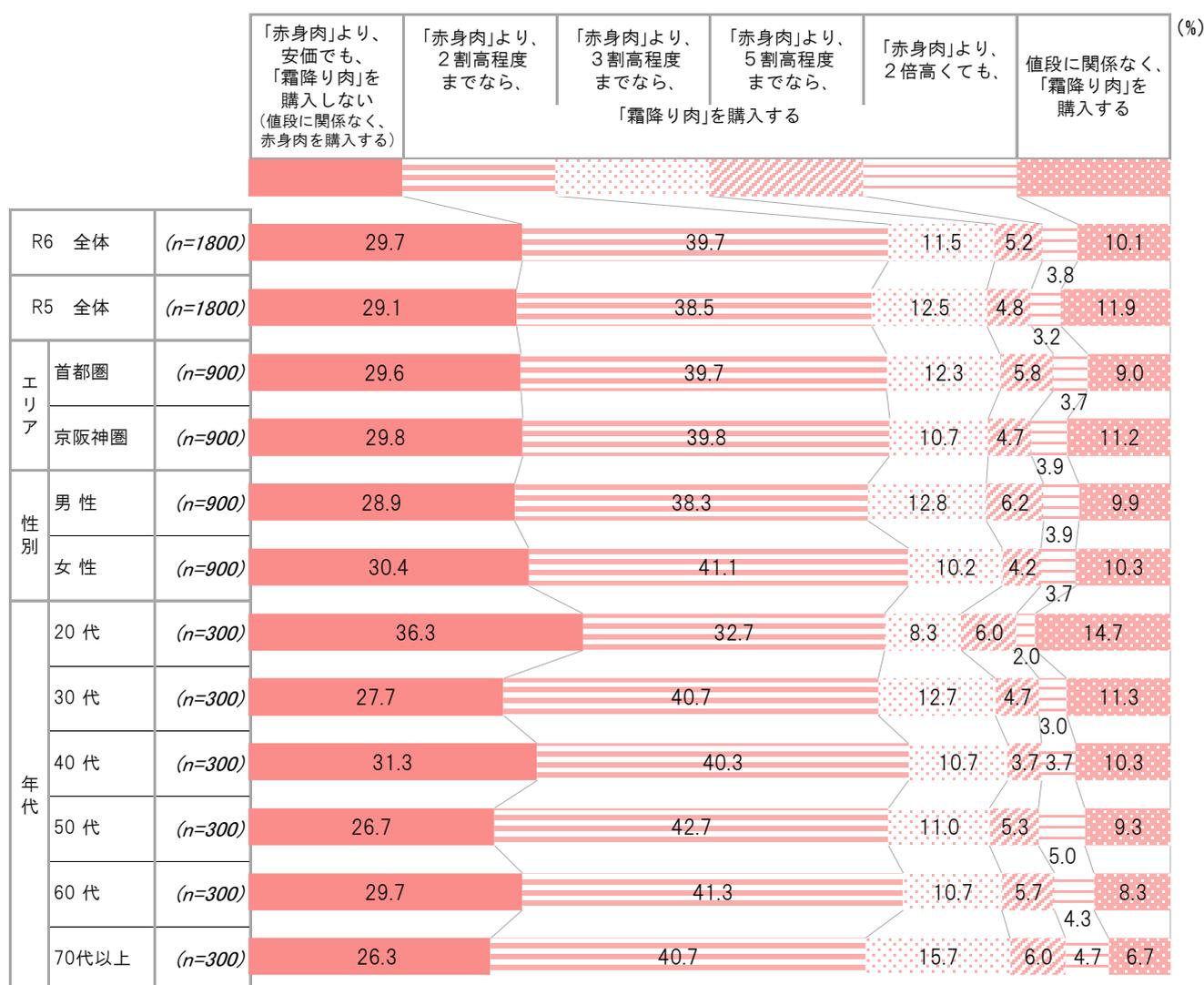
国産牛肉の「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度 (Q35) を聞いたところ、「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が39.7%で最も多く、「赤身肉」より、3割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が11.5%、「赤身肉」より、5割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が5.2%、「赤身肉」より、2倍高くても、「霜降り肉」を購入する」が3.8%で、「値段に関係なく、「霜降り肉」を購入する」が10.1%である。

一方、「赤身肉」より、安価でも、「霜降り肉」を購入しない (値段に関係なく、「赤身肉」を購入する)」が29.7%である。

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、20代では「赤身肉」より、安価でも、「霜降り肉」を購入しない (値段に関係なく、「赤身肉」を購入する)」が36.3%と他の年代に比べ多く、「赤身肉」より、2割高程度までなら、「霜降り肉」を購入する」が32.7%と少ない

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



図表 73 エリア・性・年代別 「霜降り肉」の「赤身肉」に対する価格許容度

### 5) 「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度 (Q36) : エリア・性・年代別分析

国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」と「霜降り肉」を選択する頻度 (Q36) を聞いたところ、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」が 32.3%と最も高く、「毎回、「赤身肉」を購入する」が 20.1%で続き、「毎回+普段は「赤身肉」を購入する計」が 52.4%と半数以上を占める。

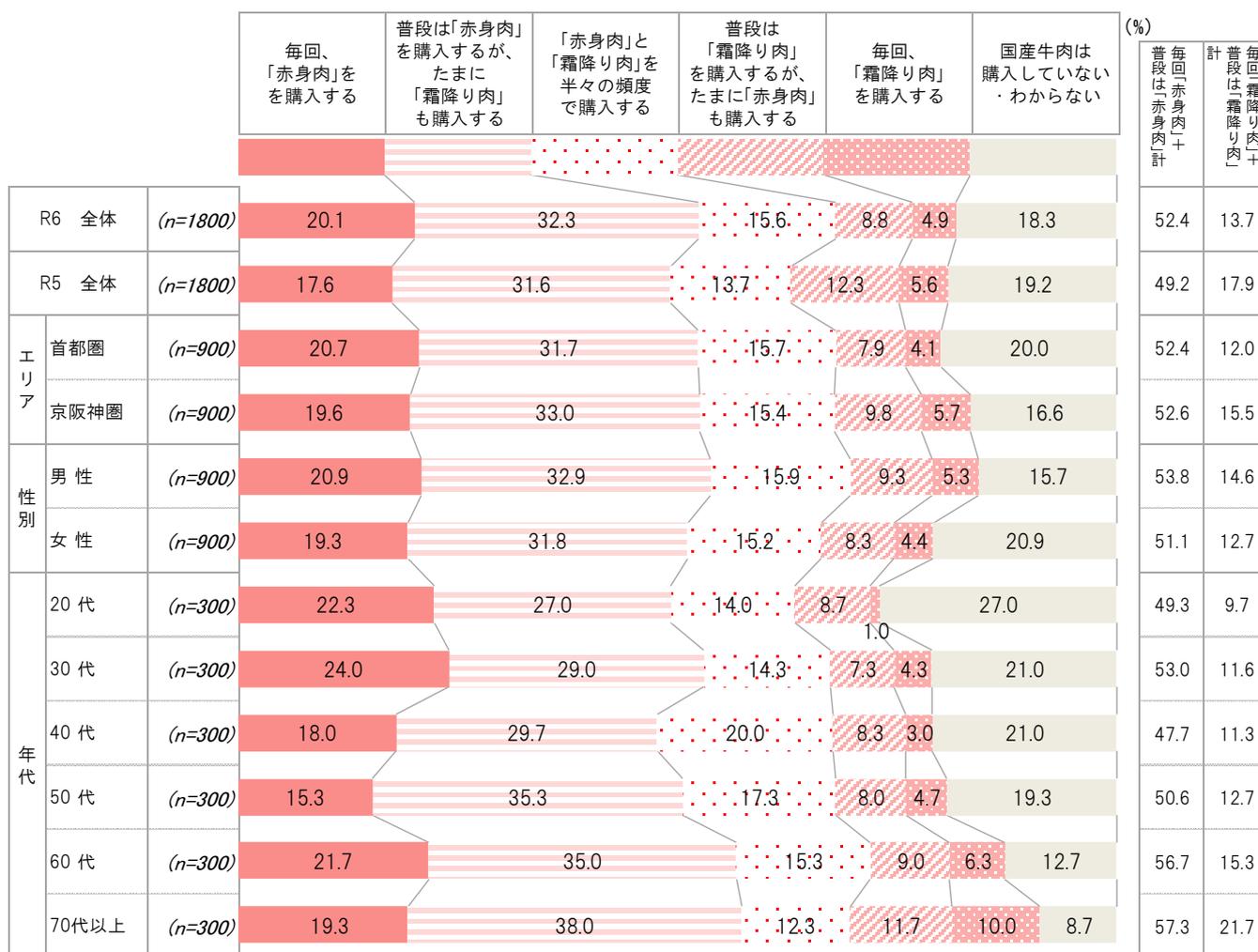
次いで、「赤身肉」と「霜降り肉」を半々の頻度で購入する」が 15.6%、「普段は「霜降り肉」を購入するが、たまに「赤身肉」も購入する」が 8.8%、「毎回、「霜降り肉」を購入する」が 4.9%の順である。「毎回、「霜降り肉」を購入する+普段は「霜降り肉」を購入する計」は 13.7%である。

「国産牛肉は購入していない・わからない」が 18.3%である。

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「普段は「赤身肉」を購入するが、たまに「霜降り肉」も購入する」は 50 代以上では 3 割以上と多くなっており、70 代以上では 38.0%と最も多くなっている。また、70 代以上では、「毎回、「霜降り肉」を購入する」も 10.0%と多い。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない



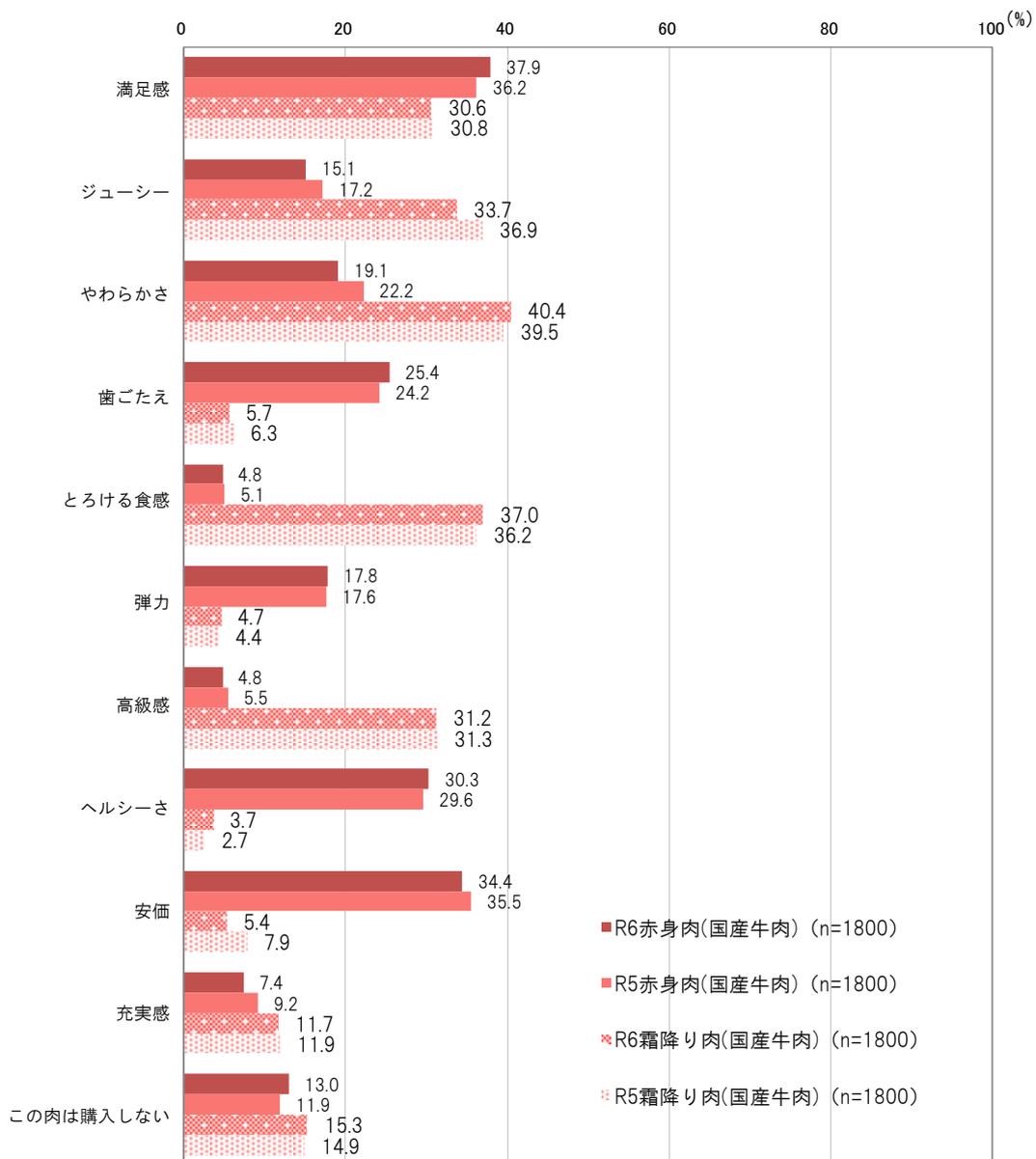
図表 74 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する頻度

6) 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴 (Q37/複数回答):  
エリア・性・年代別分析

「赤身肉」に期待する特徴 (Q37) を聞いたところ、「満足感」が 37.9%で最も多く、「安価」が 34.4%、「ヘルシーさ」が 30.3%、「歯ごたえ」が 25.4%、「やわらかさ」が 19.1%の順である。

一方、「霜降り肉」に期待する特徴は、「やわらかさ」が 40.4%で最も多く、「とろける食感」が 37.0%、「ジューシー」が 33.7%、「高級感」が 31.2%、「満足感」が 30.6%の順である。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



図表 75 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴

### 【赤身肉】

エリア別に見ると、「ジューシー」は首都圏が17.6%、京阪神圏が12.7%と京阪神圏より首都圏の方が高い。

性別に見ると、「満足感」は男性が41.2%、女性が34.6%と女性より男性の方が高く、「やわらかさ」「ジューシー」「歯ごたえ」も女性より男性の方が高くなっている。

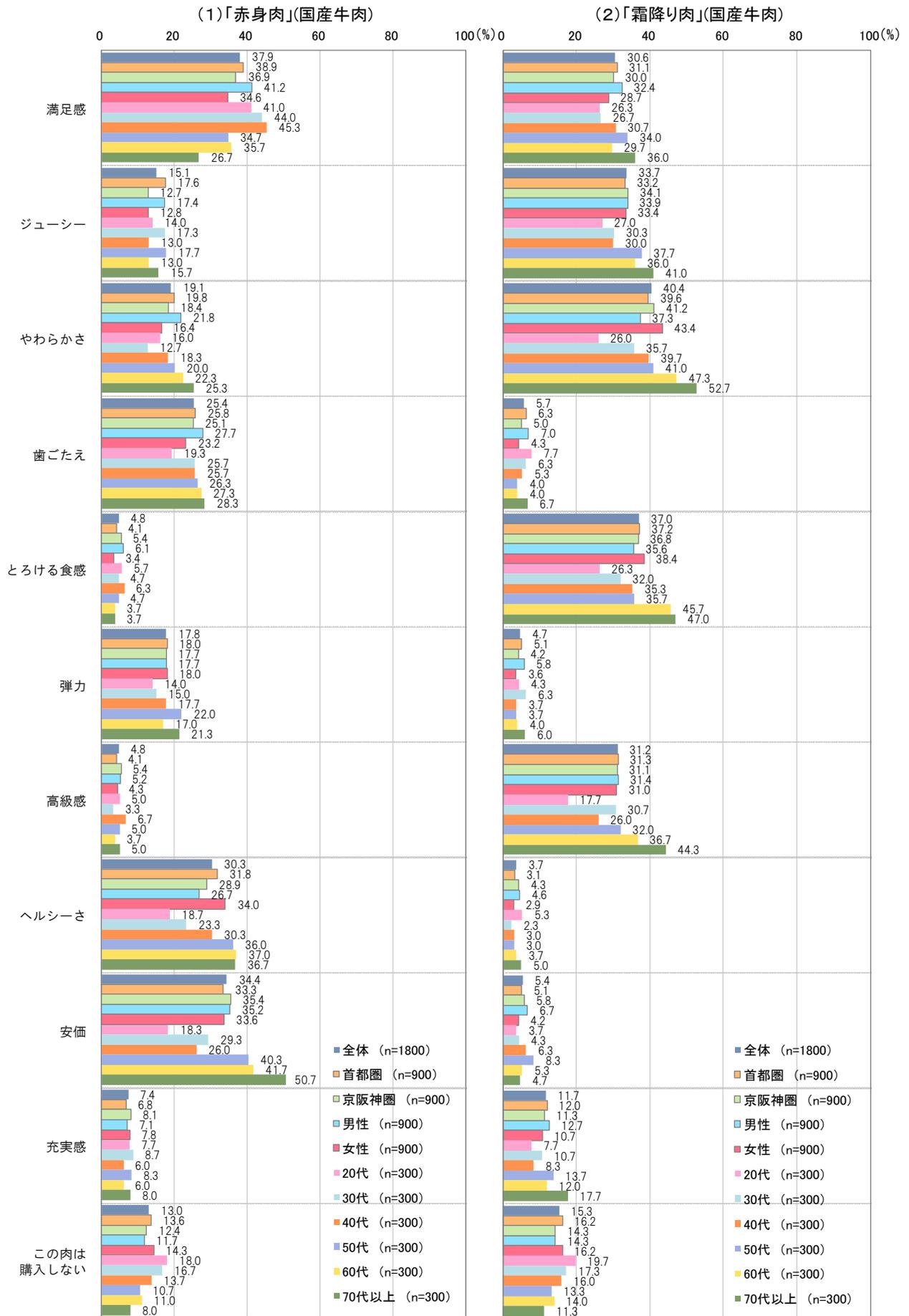
年代別に見ると、「満足感」は年代が若い方が高くなっているが、「ヘルシーさ」「安価」は年代が高い方が高くなっている。

### 【霜降り肉】

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「やわらかさ」は男性が37.3%、女性が43.4%と男性より女性の方が高い。

年代別に見ると、「やわらかさ」「とろける食感」「高級感」は年代が高い方が高くなっている。

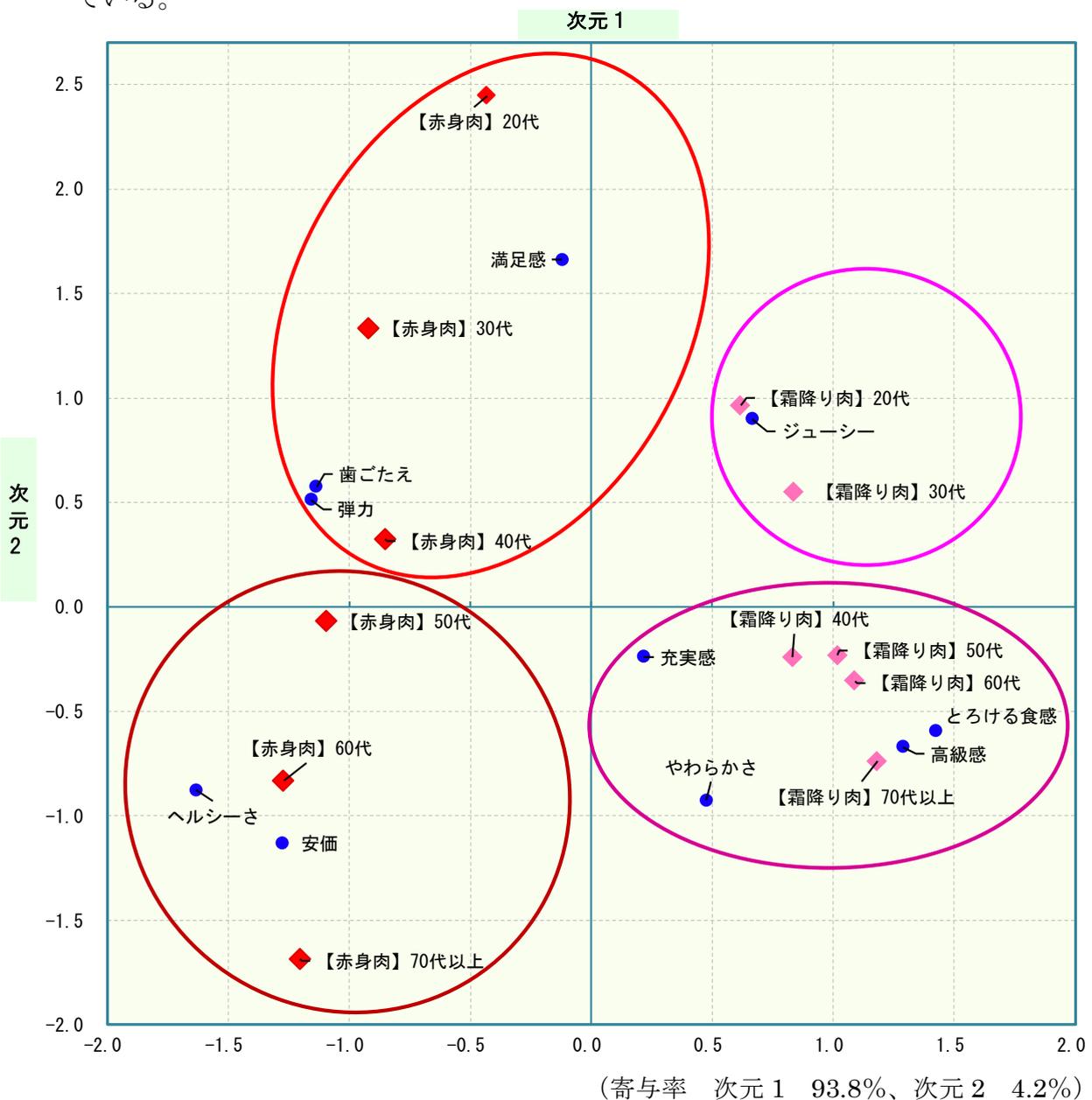


図表 76 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴

「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴（Q37）について、年代別で、コレスポンデンス分析を行った。

「赤身肉」は、「満足感」「歯ごたえ」「弾力」「ヘルシーさ」「安価」のイメージに近い左側の象限に位置している。20代～40代は、「満足感」「歯ごたえ」「弾力」のイメージに近い左上の象限に位置している。50代以上は、「ヘルシーさ」「安価」のイメージに近い左下の象限に位置している。

一方、「霜降り肉」は、「ジューシー」「充実感」「とろける食感」「高級感」「やわらかさ」のイメージに近い右側の象限に位置している。20代～30代は、「ジューシー」のイメージに近い右上の象限に位置している。40代以上は、「充実感」「とろける食感」「高級感」「やわらかさ」のイメージに近い右下の象限に位置している。

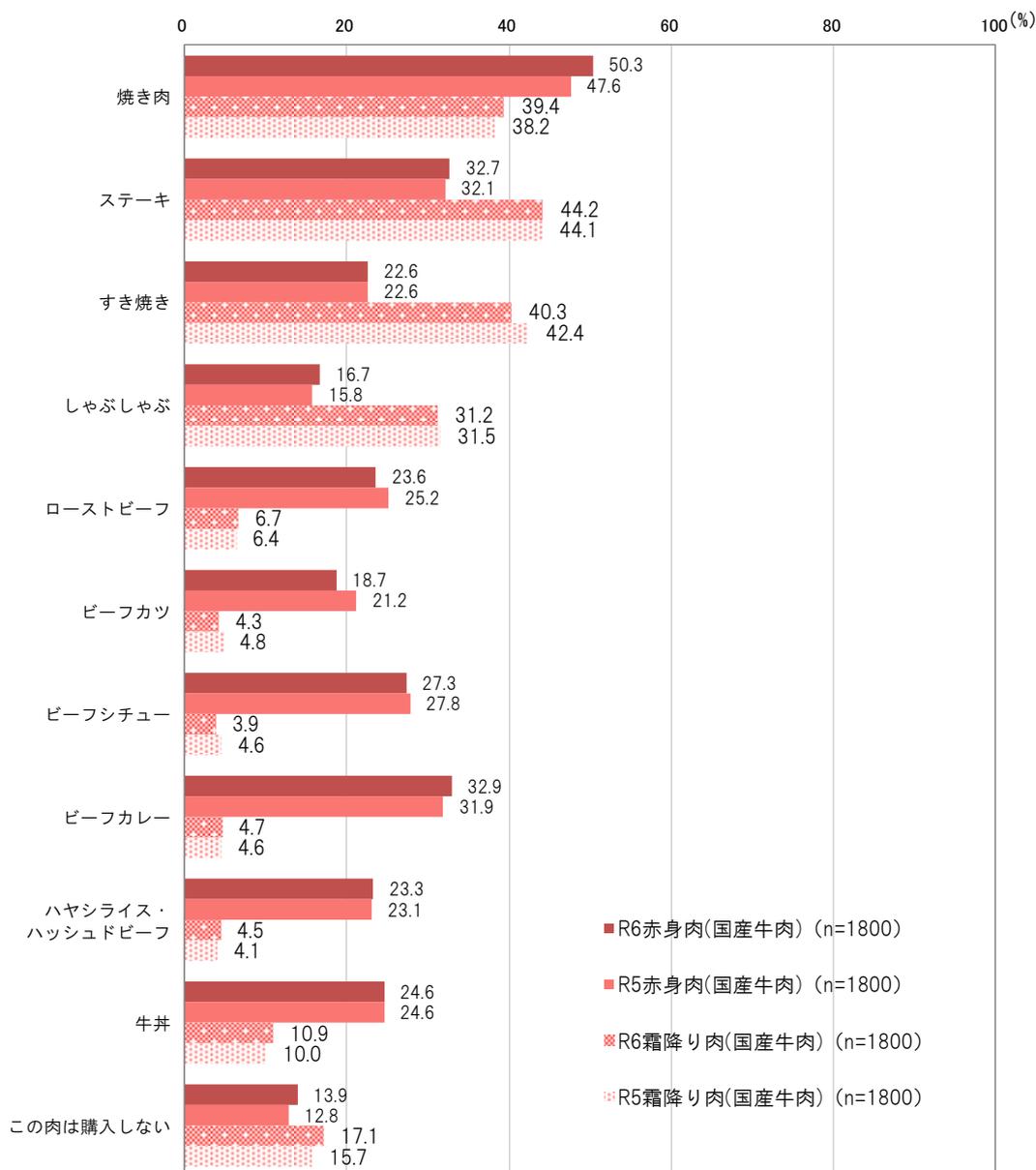


図表 77 「赤身肉」と「霜降り肉」に期待する特徴  
年代別 コレスポンデンス分析結果

7) 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー（Q38／複数回答）：  
エリア・性・年代別分析

「赤身肉」の調理メニュー（Q38）を聞いたところ、「焼き肉」が50.3%で最も多く、「ビーフカレー」32.9%、「ステーキ」32.7%、「ビーフシチュー」27.3%、「牛丼」24.6%、「ローストビーフ」23.6%、「ハヤシライス・ハッシュドビーフ」23.3%、「すき焼き」22.6%、「ビーフカツ」18.7%の順であり、調理メニューが多岐に渡っている。

一方、「霜降り肉」の調理メニューは、「ステーキ」が44.2%で最も多く、「すき焼き」40.3%、「焼き肉」39.4%、「しゃぶしゃぶ」31.2%の順であり、それ以外の調理メニューは10%以下と少なくなっている、「霜降り肉」の調理メニューは、ハレの日のご馳走メニューに集中している。



図表 78 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー

### 【赤身肉】

エリア別に見ると、「ステーキ」は首都圏が35.1%、京阪神圏が30.3%と京阪神圏より首都圏の方が多いが、「しゃぶしゃぶ」「ビーフカレー」「ビーフカツ」は首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「焼き肉」「ステーキ」「すき焼き」「しゃぶしゃぶ」「ビーフカツ」は女性より男性の方が多い。

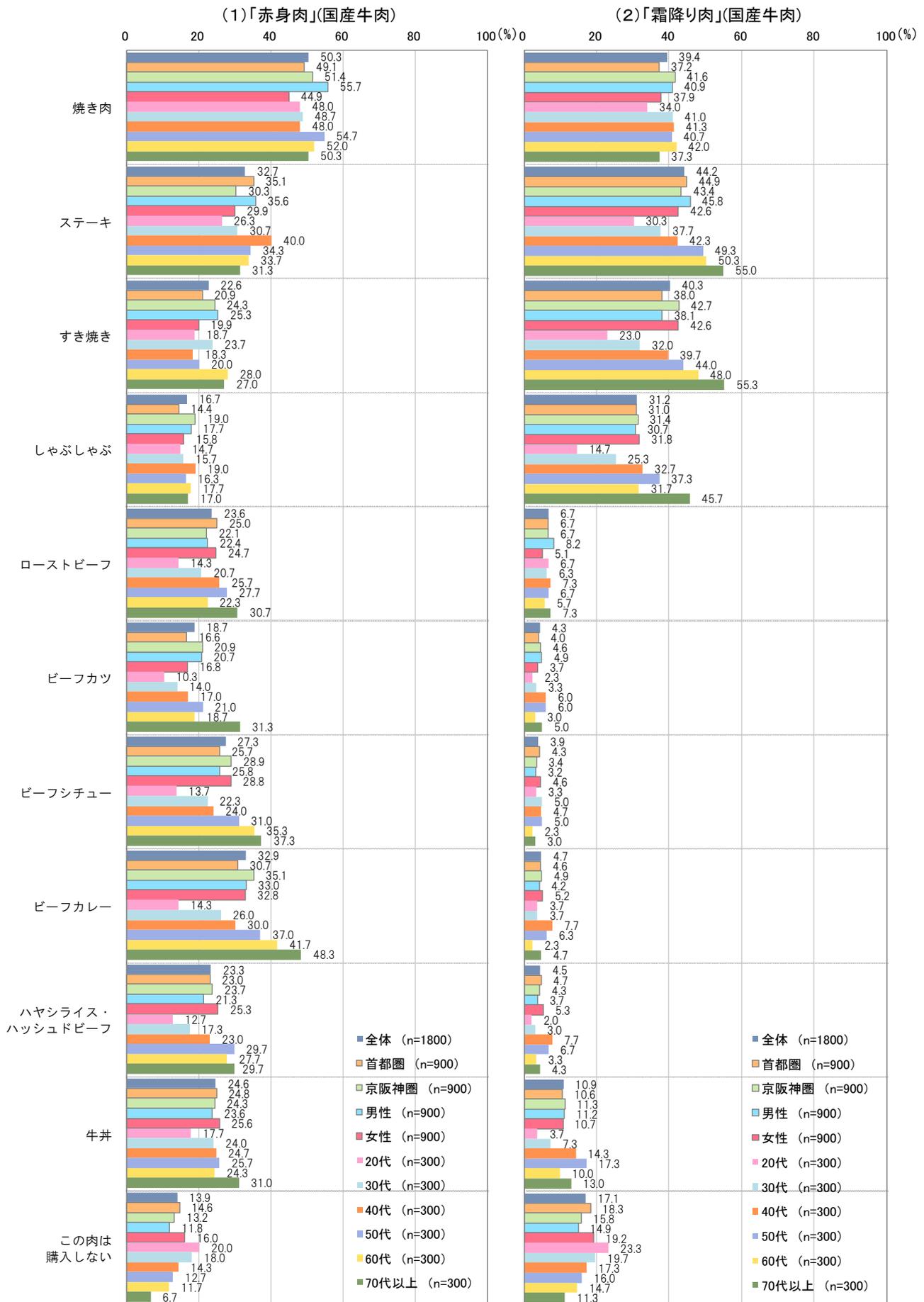
年代別に見ると、年代が高い方が調理メニューが多岐に渡っており、「ビーフシチュー」「ビーフカレー」は60代以上で多くなっている。

### 【霜降り肉】

エリア別に見ると、「すき焼き」は首都圏が38.0%、京阪神圏が42.7%と首都圏より京阪神圏の方が多く、「焼き肉」も首都圏が37.2%、京阪神圏が41.6%と首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「焼き肉」「ステーキ」「ローストビーフ」は女性より男性の方が多く、「すき焼き」は男性より女性の方が多い。

年代別に見ると、年代が高い方が調理メニューが多岐に渡っており、「ステーキ」「すき焼き」「しゃぶしゃぶ」は50代以上で多くなっている。



図表 79 エリア・性・年代別 「赤身肉」と「霜降り肉」の調理メニュー

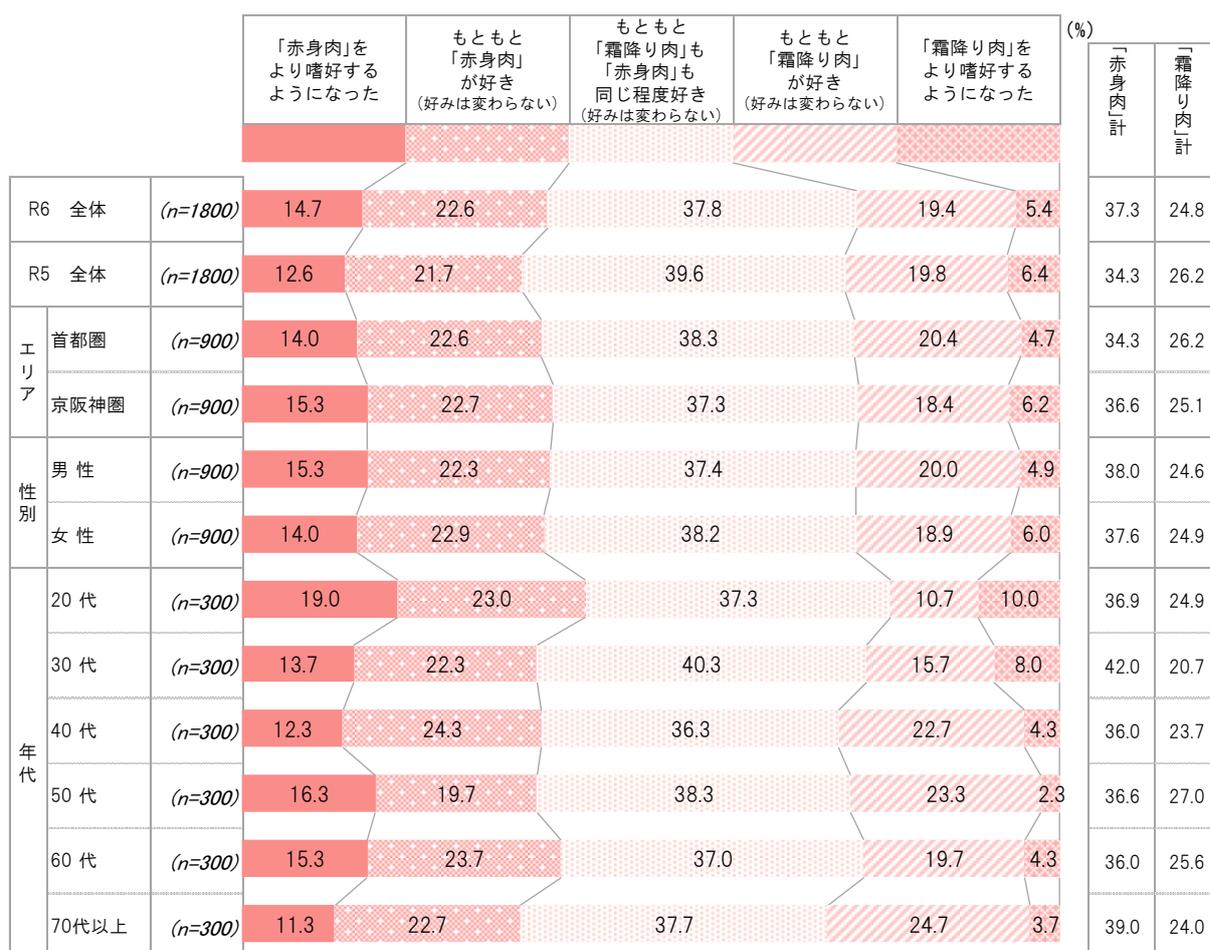
8) 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向（Q39）：  
エリア・性・年代別分析

5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向（Q39）を聞いたところ、「もともと「霜降り肉」も「赤身肉」も同じ程度好き（好みは変わらない）」が37.8%で最も多い。「もともと「赤身肉」が好き（好みは変わらない）」が22.6%、「赤身肉」をより嗜好するようになった」が14.7%で、「赤身肉」派が37.3%である。一方、「もともと「霜降り肉」が好き（好みは変わらない）」が19.4%、「霜降り肉」をより嗜好するようになった」が5.4%で、「霜降り肉」派が24.8%である。

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「もともと「霜降り肉」が好き（好みは変わらない）」は40代以上で2割以上と多くなっており、70代以上では24.7%と最も多い。

過年度調査で見ると、「赤身肉」派が、昨年度の34.3%から、今年度の37.3%と3ポイント増加している。



「『赤身肉』計」⇒「『赤身肉』をより嗜好するようになった」+「もともと『赤身肉』が好き(好みは変わらない)」  
 「『霜降り肉』計」⇒「もともと『霜降り肉』が好き(好みは変わらない)」+「霜降り肉』をより嗜好するようになった」

図表 80 エリア・性・年代別 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好傾向

9) 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化 (Q40) :  
エリア・性・年代別分析

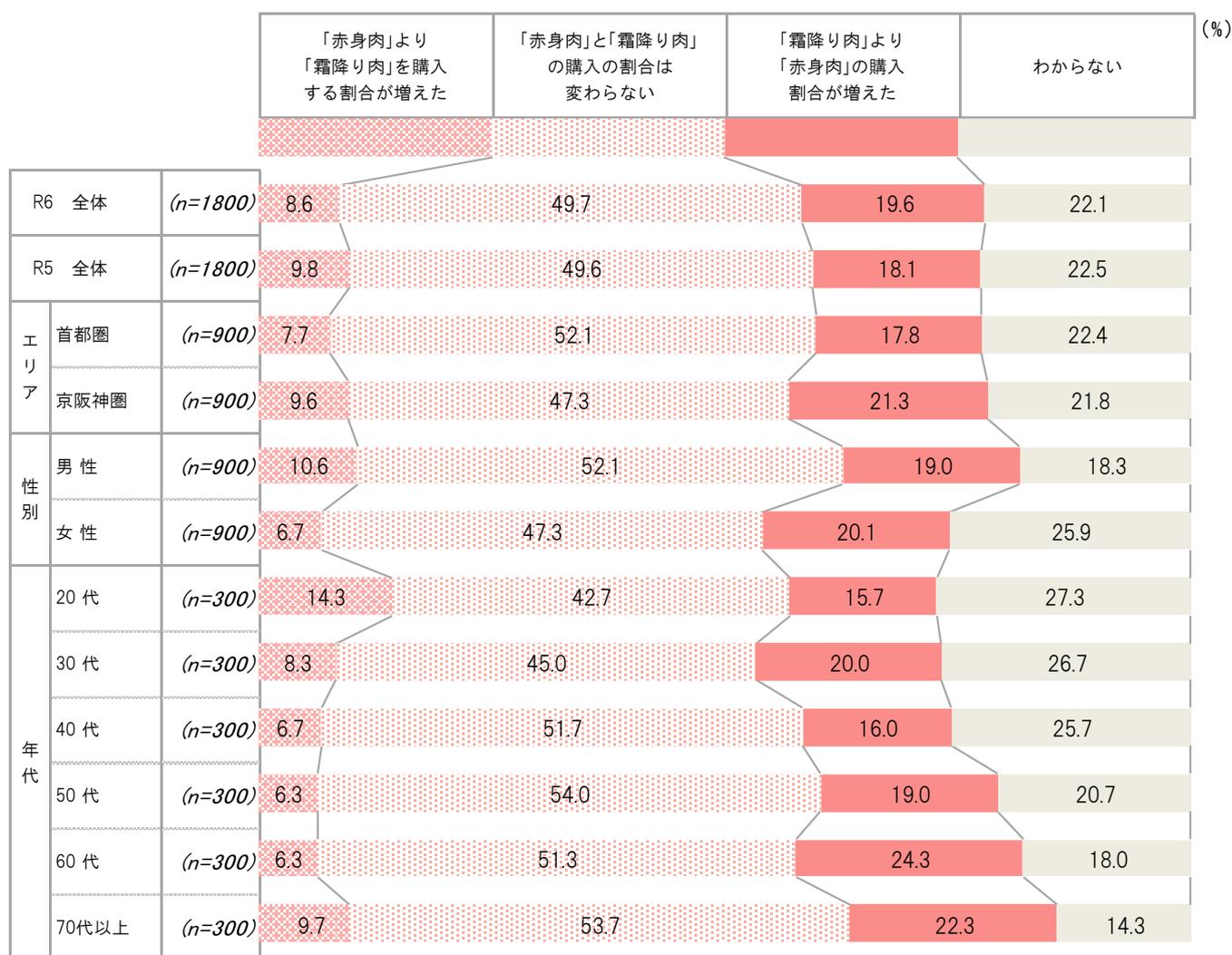
5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化 (Q40) を聞いたところ、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」が 49.7%と最も多く半数を占める。「霜降り肉」より、「赤身肉」の購入割合が増えた」が 19.6%、「赤身肉」より、「霜降り肉」を購入する割合が増えた」8.6%の順である。「わからない」は 22.1%である。

エリア別に見ると、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」は、首都圏が 52.1%、京阪神圏が 47.3%と京阪神圏より首都圏の方が多い。

性別に見ると、「赤身肉」と「霜降り肉」の購入の割合は変わらない」は、男性が 52.1%、女性が 47.3%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、20代は「赤身肉」より「霜降り肉」を購入する割合が増えた」が 14.3%と多い。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。



図表 81 エリア・性・年代別 5年前と比べた場合の「赤身肉」と「霜降り肉」の購入割合の変化

## 2.4 「国産牛肉の格付」に関する消費者意識の考察

- 「国産牛肉の格付」の認知率は78.3%（「A5やA4等という言葉は聞いたことがある・知っている」45.9%+「ある程度知っている」28.5%+「詳しく知っている」3.9%）。
- 「A5の国産牛肉」のイメージは、「美味しい」が51.8%で最も多く、「霜降り（サシが多い）」37.9%、「高級」36.7%、「柔らかい」36.4%の順で、「わからない」が27.7%。
- 「A3の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が37.6%で最も多く、「美味しい」28.7%、「柔らかい」20.0%、「赤身が多い」12.5%、「価格が手頃」11.1%の順。
- 「B5の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が43.1%で最も多く、「価格が手頃」26.2%、「赤身が多い」18.4%、「美味しい」17.4%、「若者向き」8.9%の順。
- 「国産牛肉の格付」に対する関心を聞いたところ、「どちらでもない」が32.3%で、「関心がある計」が36.7%（「やや関心がある」29.7%+「非常に関心がある」7.0%）、「関心がない計」が31.0%（「あまり関心がない」20.0%+「全く関心がない」11.0%）。

2.4では、「国産牛肉の格付」に関する消費者意識を探ることを目的とした。

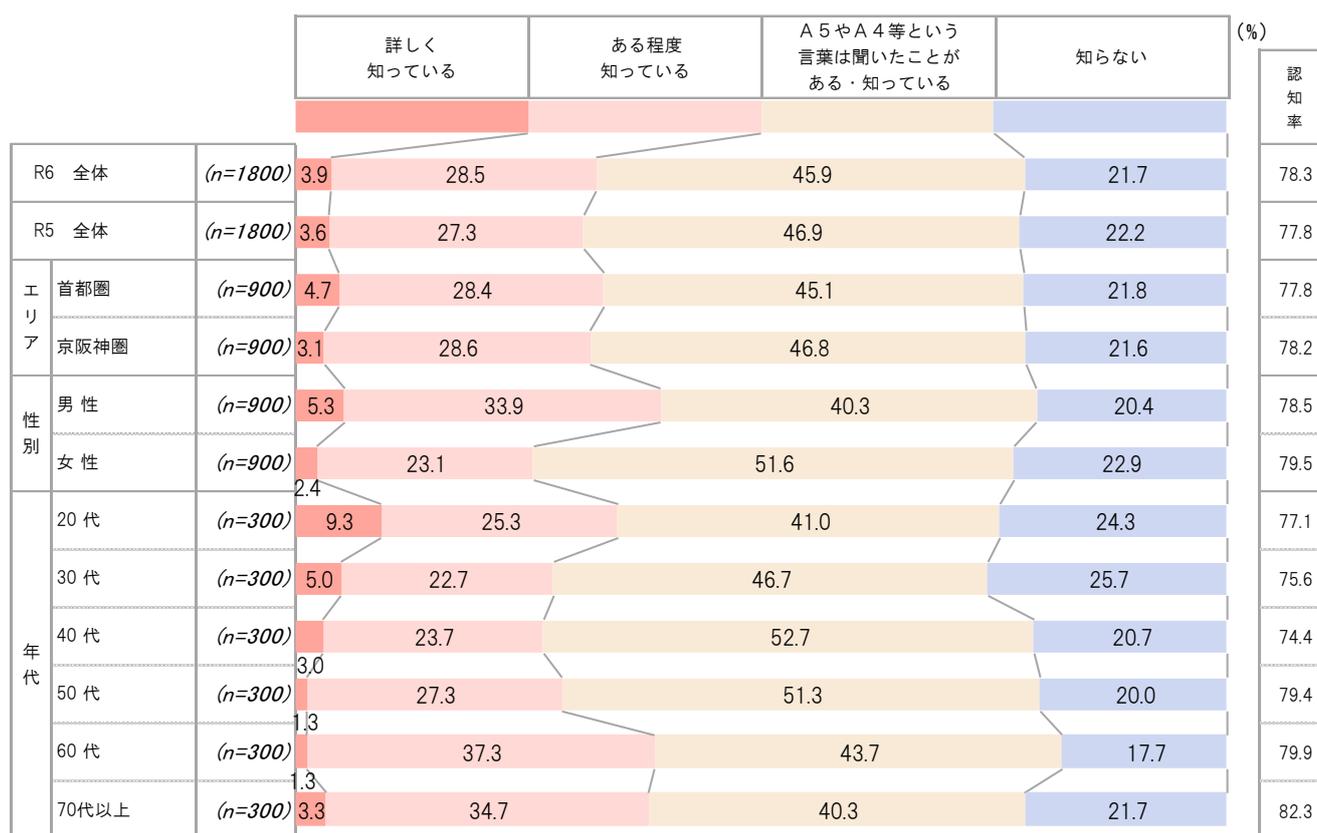
## 1) 「国産牛肉の格付」の認知度 (Q41) : エリア・性・年代別分析

「国産牛肉の格付」の認知度 (Q41) を聞いたところ、「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」が 45.9%で最も多く、「ある程度知っている」が 28.5%、「詳しく知っている」が 3.9%で、認知率が 78.3%であり、「知らない」は 21.7%である。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「ある程度知っている」は、男性が 33.9%、女性が 23.1%と女性より男性の方が多いが、「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」は、男性が 40.3%、女性が 51.6%と男性より女性の方が多。認知率で見ると、男性が 78.5%、女性が 79.5%と男女で大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「ある程度知っている」は 60代以上で3割以上と多い。40代・50代は、「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」が5割以上と多くなっている。



認知率⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「A 5やA 4等という言葉は聞いたことがある・知っている」

図表 82 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付」の認知度

2) 「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ (Q42/複数回答):  
エリア・性・年代別分析

「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ (Q42) を複数回答で聞いた。

「A5の国産牛肉」のイメージは、「美味しい」が51.8%で最も多く、「霜降り (サシが多い)」37.9%、「高級」36.7%、「柔らかい」36.4%の順で、「わからない」が27.7%である。

「A3の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が37.6%で最も多く、「美味しい」28.7%、「柔らかい」20.0%、「赤身が多い」12.5%、「価格が手頃」11.1%の順である。

「B5の国産牛肉」のイメージは、「わからない」が43.1%で最も多く、「価格が手頃」26.2%、「赤身が多い」18.4%、「美味しい」17.4%、「若者向き」8.9%の順である。

「A5の国産牛肉」に対しては、「美味しい」等のイメージがきちんと持たれているが、「A3」「B5」になると、「わからない」が最も多く、イメージが希薄になっている。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。

**【A5の国産牛肉】**

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「柔らかい」「霜降り (サシが多い)」「高級」「贅沢感がある」は、年代が高い方が多くなっている。

**【A3の国産牛肉】**

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「価格が手頃」は、男性が13.1%、女性が9.0%と女性より男性の方が高い。

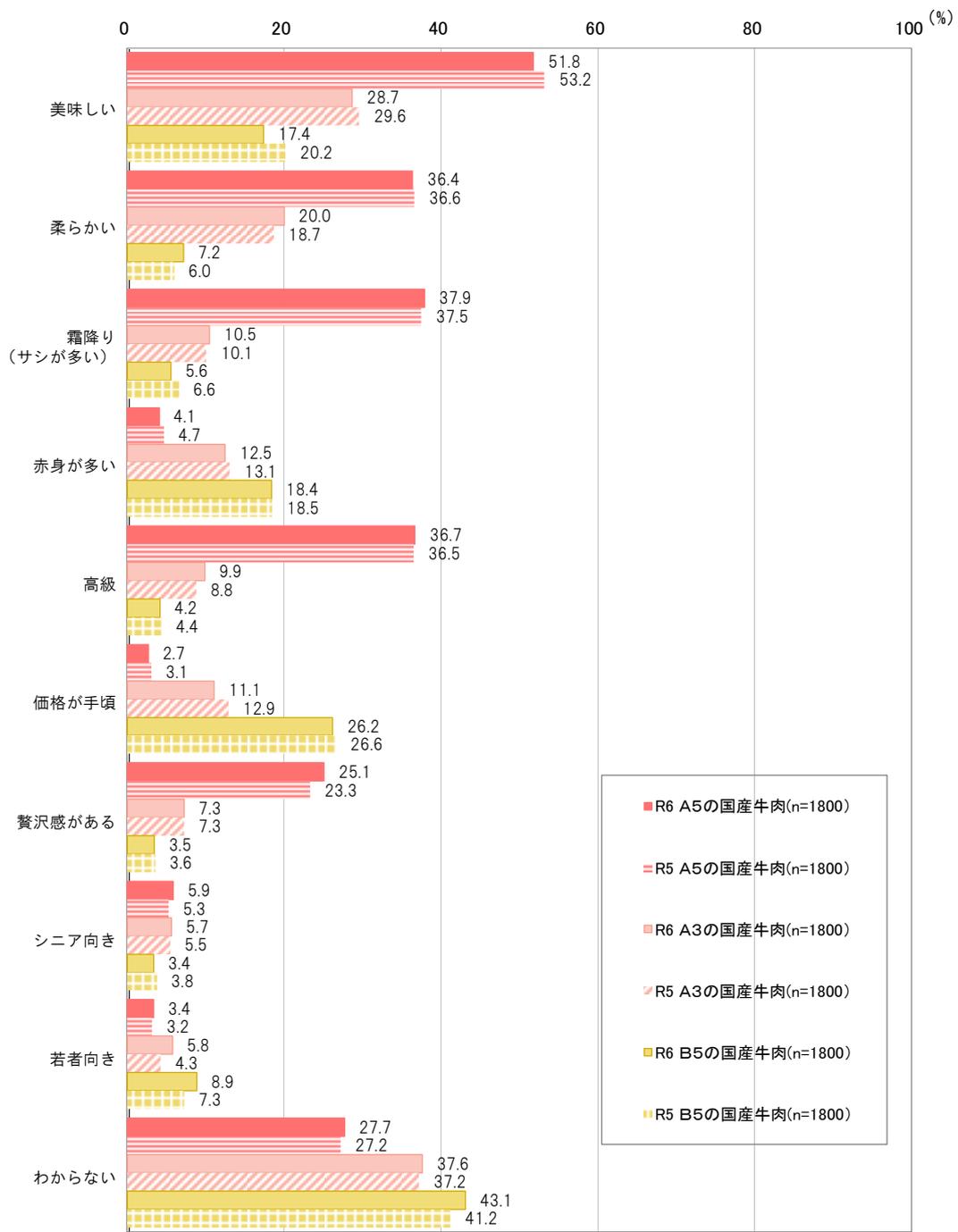
年代別に見ると、「赤身が多い」「価格が手頃」「シニア向き」「若者向き」は、年代が高い方が高くなっている。

**【B5の国産牛肉】**

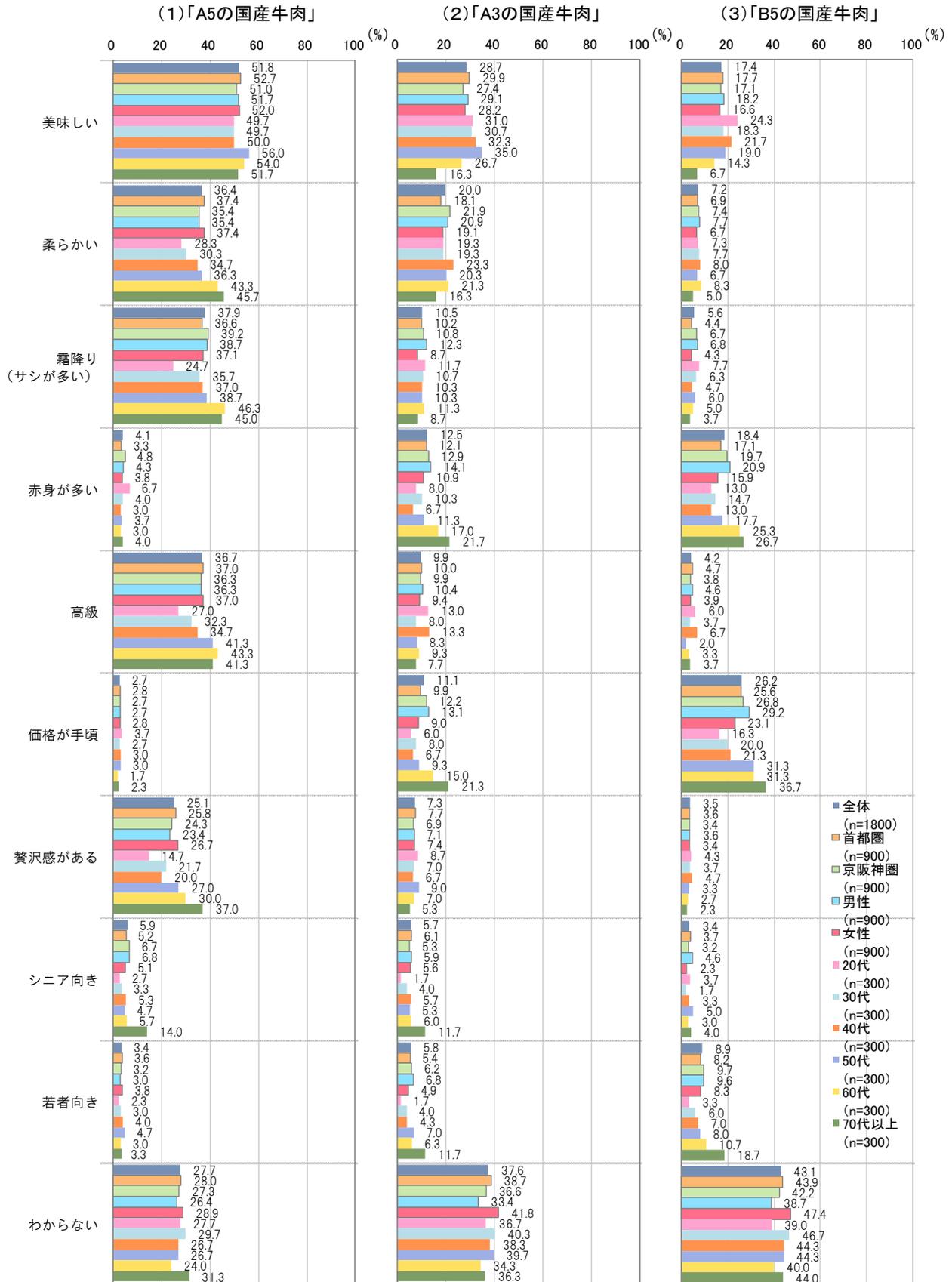
エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「赤身が多い」は、男性が20.9%、女性が15.9%と女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、「赤身が多い」「価格が手頃」「若者向き」は、年代が高い方が高くなっている。



図表 83 「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」別のイメージ



図表 84 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付 (A5・A3・B5)」 のイメージ

### 3) 「国産牛肉の格付」の関心度 (Q43) : エリア・性・年代別分析

「国産牛肉の格付」の関心度 (Q43) を聞いたところ、「どちらでもない」が 32.3%で、「やや関心がある」が 29.7%、「あまり関心がない」が 20.0%、「全く関心がない」が 11.0%、「非常に関心がある」が 7.0%の順である。

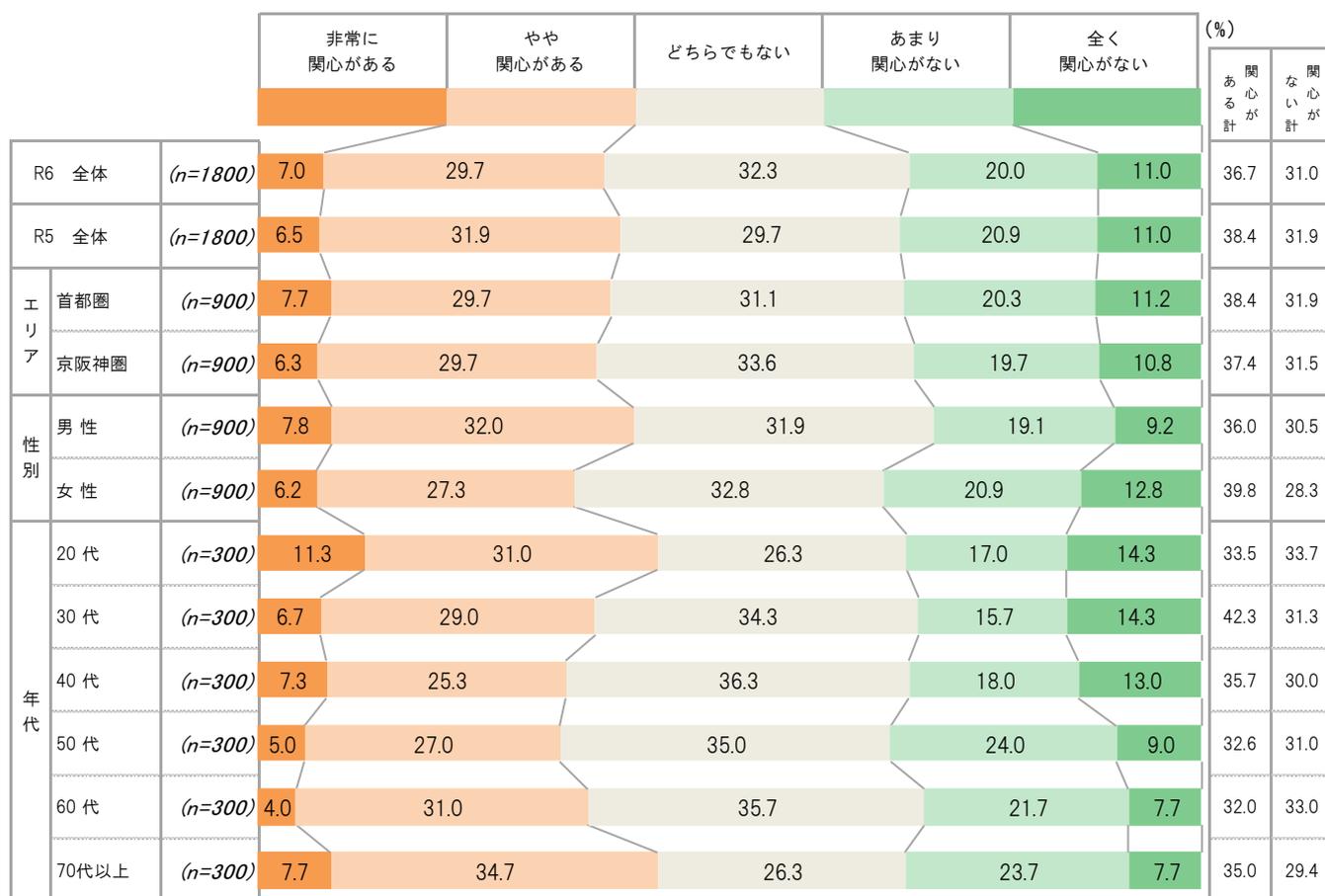
「関心がある計」が 36.7%、「関心がない計」が 31.0%である。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「やや関心がある」は、男性が 32.0%、女性が 27.3%と女性より男性の方が高い。一方、「全く関心がない」は、男性が 9.2%、女性が 12.8%と男性より女性の方が高い。国産牛肉の格付への関心度は、女性より男性の方が高くなっている。

年代別に見ると、20代は「非常に関心がある」が 11.3%と高く、「関心がある計」が 42.3%と、国産牛肉の格付への関心度が高くなっている。

過年度調査で見ても、大きな違いは見られない。



関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「全く関心がない」

図表 85 エリア・性・年代別 「国産牛肉の格付」の関心度

## 2.5 「交雑種」「乳用種」に関する消費者意識の考察

- 「国産和牛」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度は、「言葉は聞いたことがある・知っている」が42.3%で最も多く、「ある程度知っている」が22.2%、「詳しく知っている」が3.1%で、認知率が67.6%で、「知らない」は32.4%。
- 「国産和牛」のイメージは、「高級」が31.2%で最も多く、「おいしい」28.2%、「高品質」27.5%、「霜降り」25.9%、「贅沢感がある」25.2%の順で、「わからない・あてはまるイメージはない」は22.8%。
- 「交雑種の国産牛肉」のイメージは、「わからない・あてはまるイメージはない」が39.9%で最も多く、「価格が手頃」20.1%、「特売」12.7%、「おいしい」11.8%、「赤身が多い」11.2%の順。
- 「乳用種（ホルスタイン種など）の国産牛肉」のイメージは、「わからない・あてはまるイメージはない」が47.2%で最も多く、「価格が手頃」18.3%、「特売」12.5%、「赤身が多い」7.8%、「おいしい」7.8%、「若者向き」6.5%の順。
- スーパー等で牛肉を購入する際に「交雑種」や「乳用種（ホルスタイン種など）」の表示を見たことがあるかの認知度は、「わからない」が41.4%で最も多く、次に「交雑種」、「乳用種（ホルスタイン種など）」とも見たことはない」が30.3%で、あわせて7割以上が非認知。

2.5では、「交雑種」「乳用種」に関する消費者意識を探ることを目的とした。

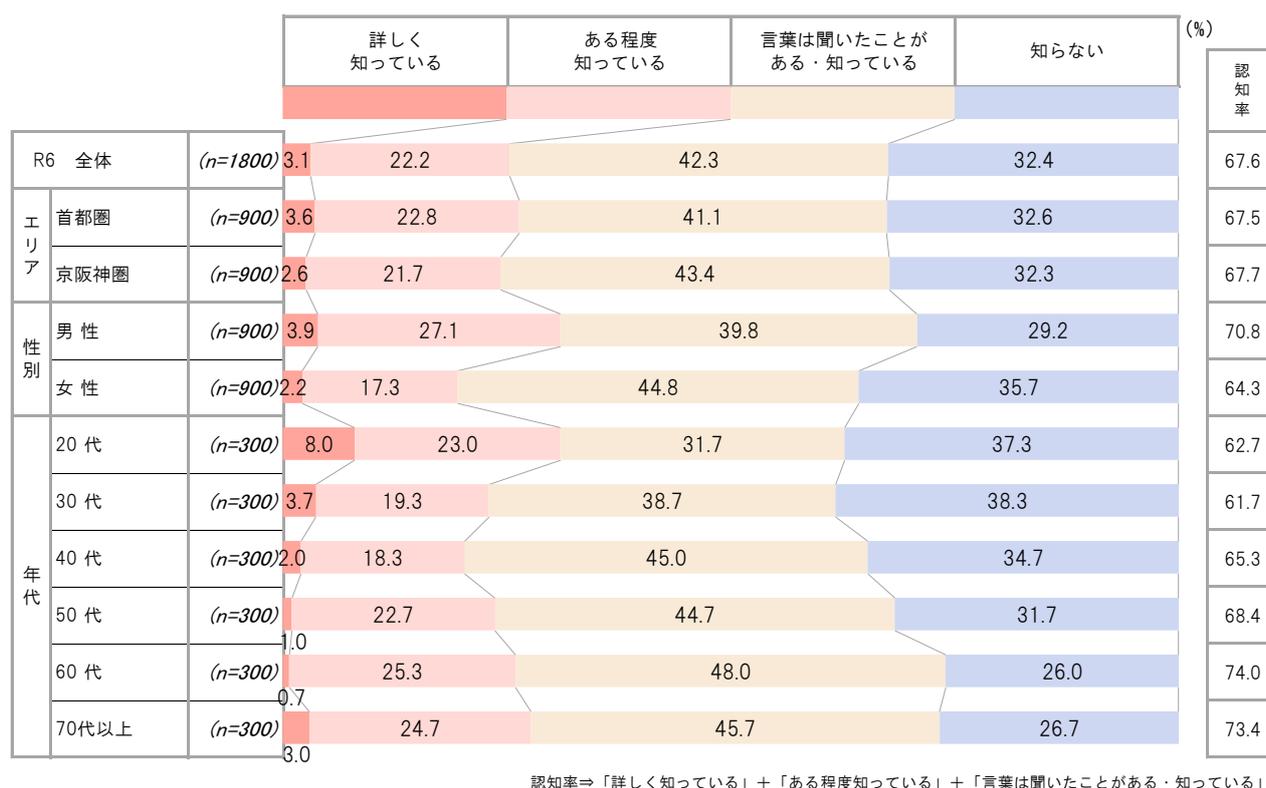
## 1) 「国産和牛」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度 (Q44) : エリア・性・年代別分析

「国産和牛」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度 (Q44) を聞いたところ、「言葉は聞いたことがある・知っている」が 42.3%で最も多く、「ある程度知っている」が 22.2%、「詳しく知っている」が 3.1%で、認知率が 67.6%であり、「知らない」は 32.4%である。

エリア別に見ても、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「ある程度知っている」は、男性が 27.1%、女性が 17.3%と女性より男性の方が多いが、「言葉は聞いたことがある・知っている」は、男性が 39.8%、女性が 44.8%、「知らない」は、男性が 29.2%、女性が 35.7%と男性より女性の方が多。認知率で見ても、男性が 70.8%、女性が 64.3%と女性より男性の方が高くなっている。

年代別に見ると、「言葉は聞いたことがある・知っている」は 20代・30代では 3割台と少なくなっている。認知率で見ると、60代以上では 7割以上と多くなっている。



図表 86 エリア・性・年代別 「国産和牛」「交雑種」「乳用種」の違いの認知度

2) 「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ (Q45/複数回答):  
エリア・性・年代別分析

「国産和牛」「交雑種の国産牛肉」「乳用種 (ホルスタイン種など) の国産牛肉」別のイメージ (Q45) を複数回答で聞いた。

「国産和牛」のイメージは、「高級」が 31.2%で最も多く、「おいしい」28.2%、「高品質」27.5%、「霜降り」25.9%、「贅沢感がある」25.2%の順で、「わからない・あてはまるイメージはない」は 22.8%である。

「交雑種の国産牛肉」のイメージは、「わからない・あてはまるイメージはない」が 39.9%で最も多く、「価格が手頃」20.1%、「特売」12.7%、「おいしい」11.8%、「赤身が多い」11.2%の順である。

「乳用種 (ホルスタイン種など) の国産牛肉」のイメージは、「わからない・あてはまるイメージはない」が 47.2%で最も多く、「価格が手頃」18.3%、「特売」12.5%、「赤身が多い」7.8%、「おいしい」7.8%、「若者向き」6.5%の順である。

「国産和牛」に対しては、「高級」「おいしい」「高品質」「霜降り」「贅沢感がある」などの肯定的なイメージがきちんと持たれているが、「交雑種の国産牛肉」「乳用種 (ホルスタイン種など) の国産牛肉」に対しては、「わからない・あてはまるイメージはない」が半数弱を占め、イメージが非常に希薄である。

**【国産和牛】**

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「柔らかい」「霜降り」「高品質」「高級」「おいしい」「贅沢感がある」は、年代が高い方が多くなっている。

**【交雑種の国産牛肉】**

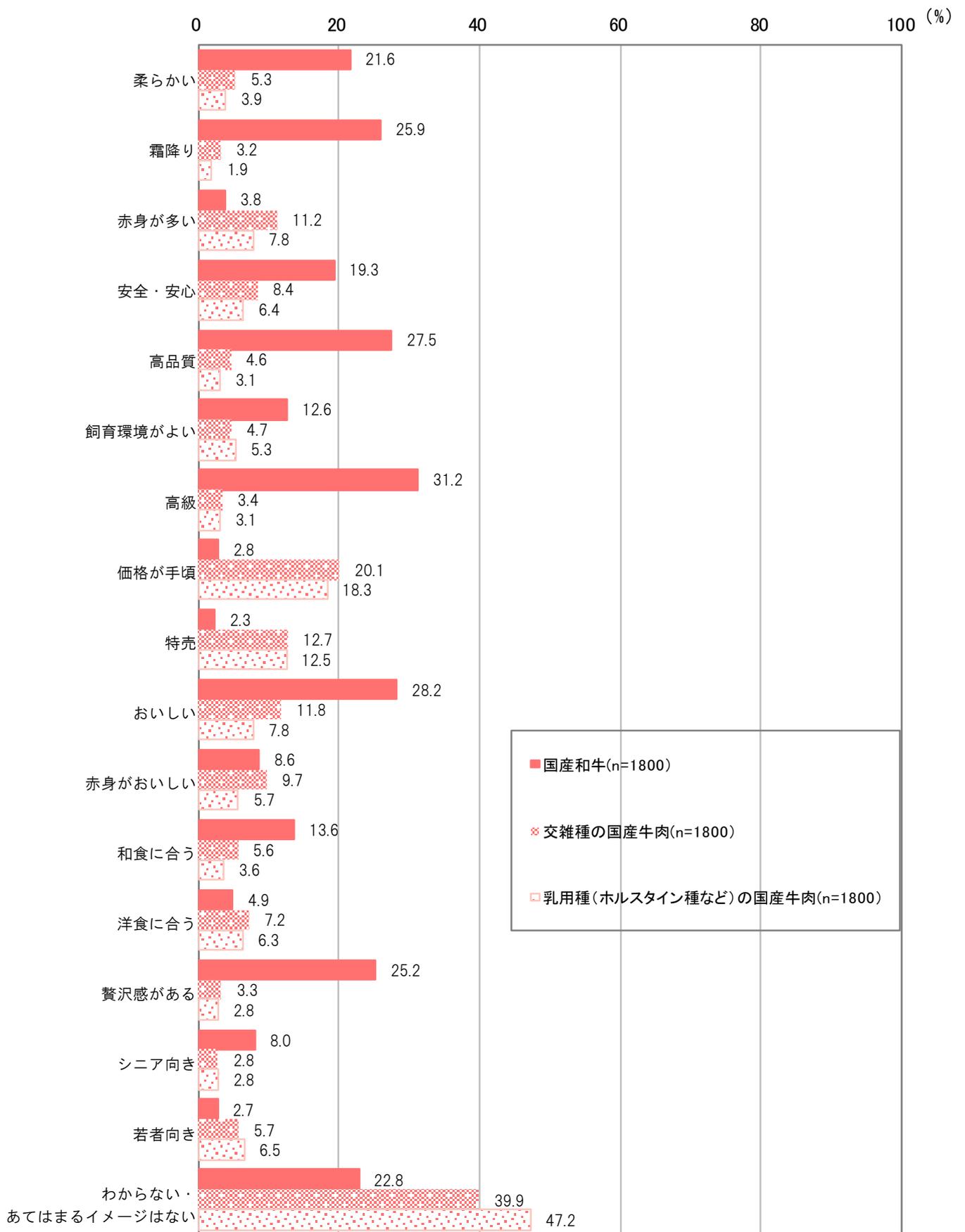
エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「赤身が多い」「価格が手頃」「特売」は、年代が高い方が高くなっている。

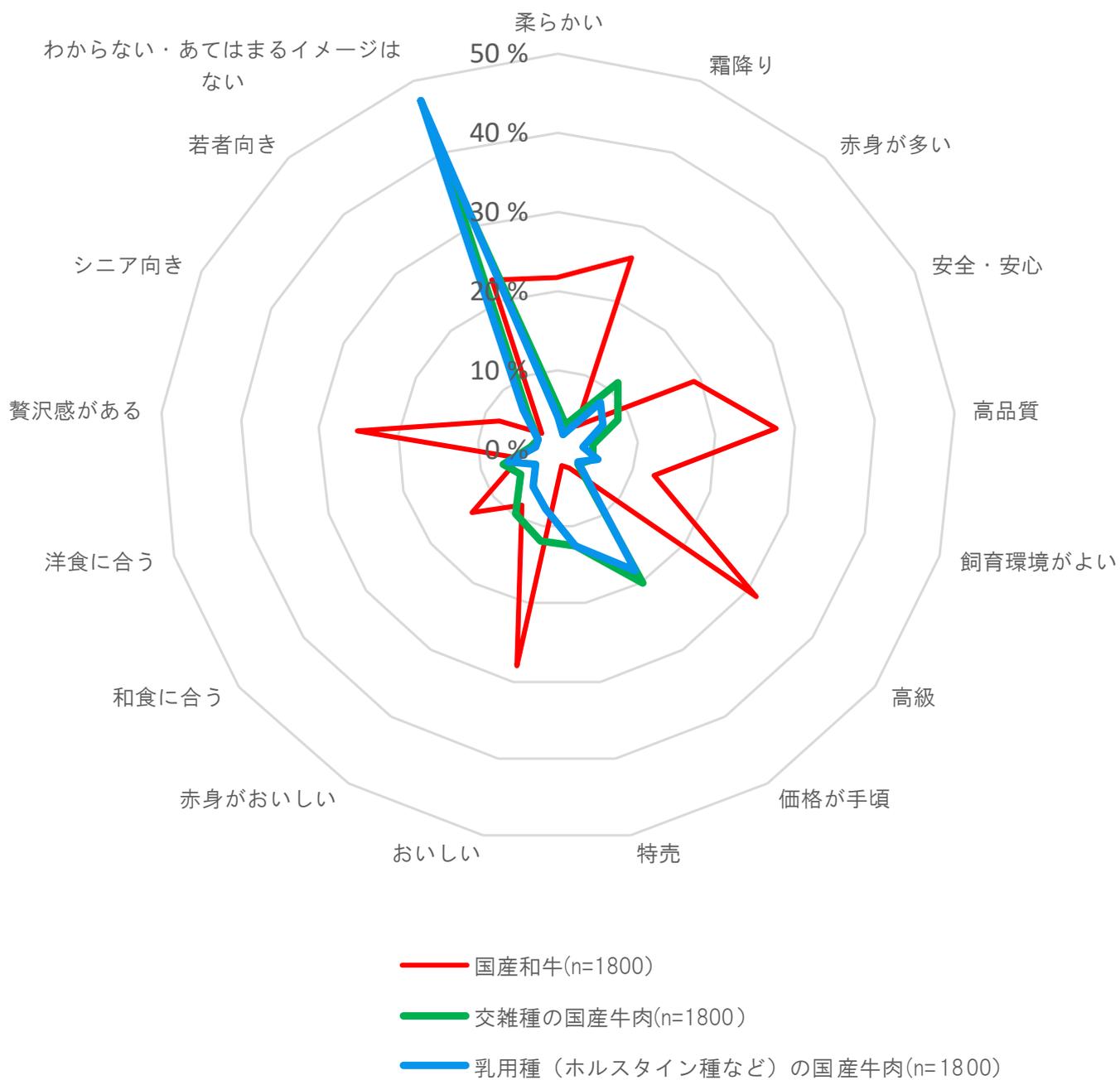
**【乳用種 (ホルスタイン種など) の国産牛肉】**

エリア別・性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「価格が手頃」は、年代が高い方が高くなっている。

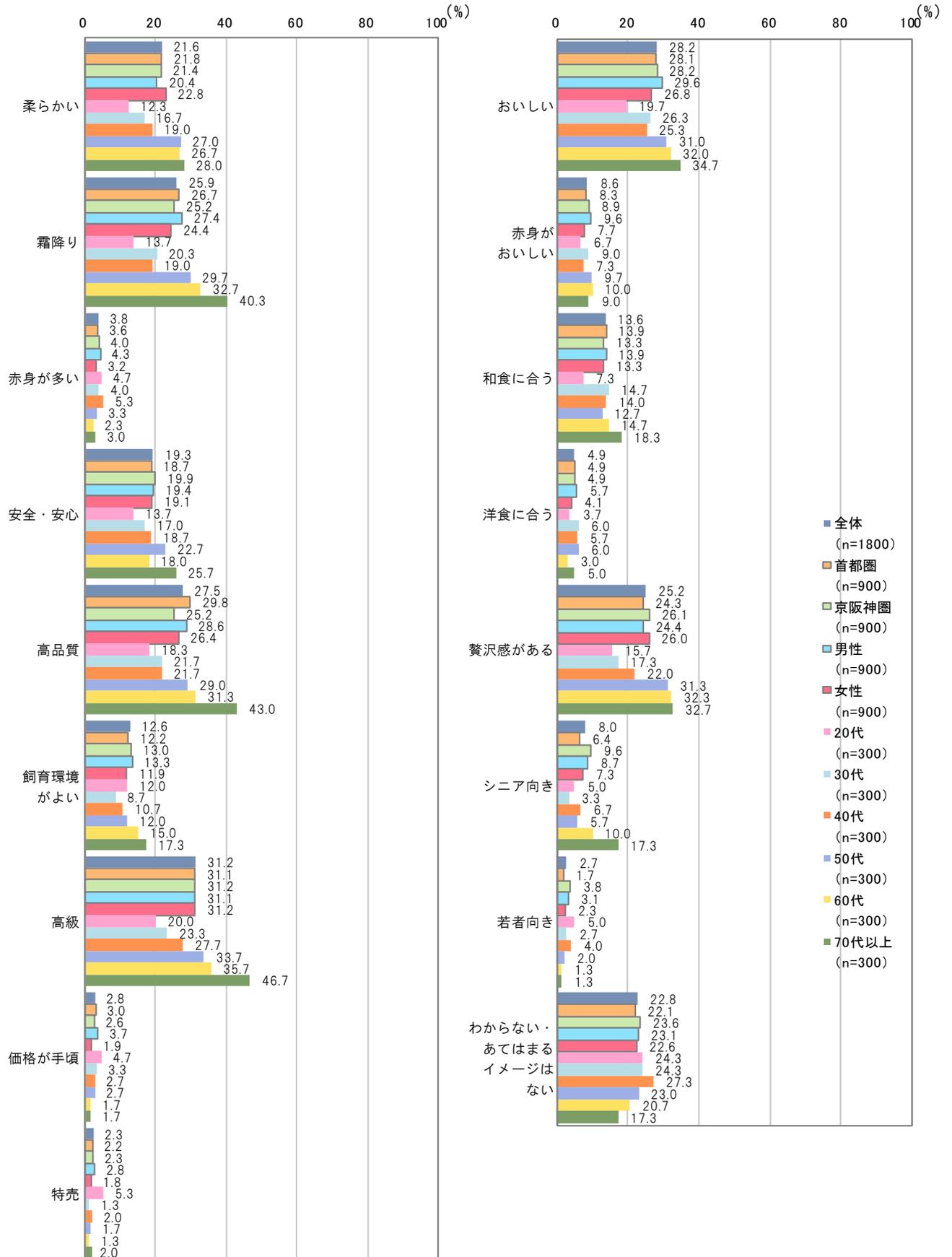


図表 87 「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ (Q45)



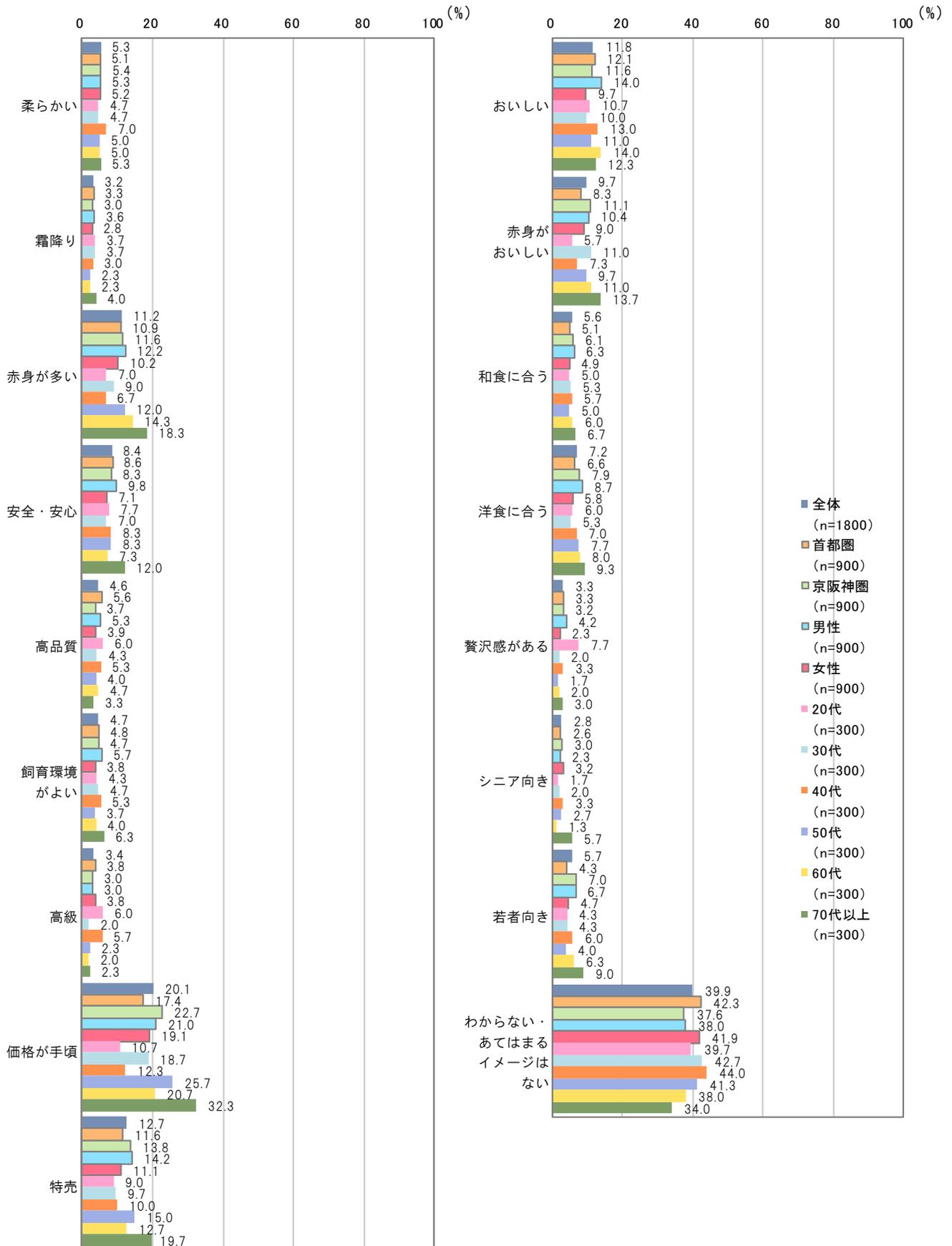
図表 88 「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ（レーダーチャート）(Q45)

(1)「国産和牛」



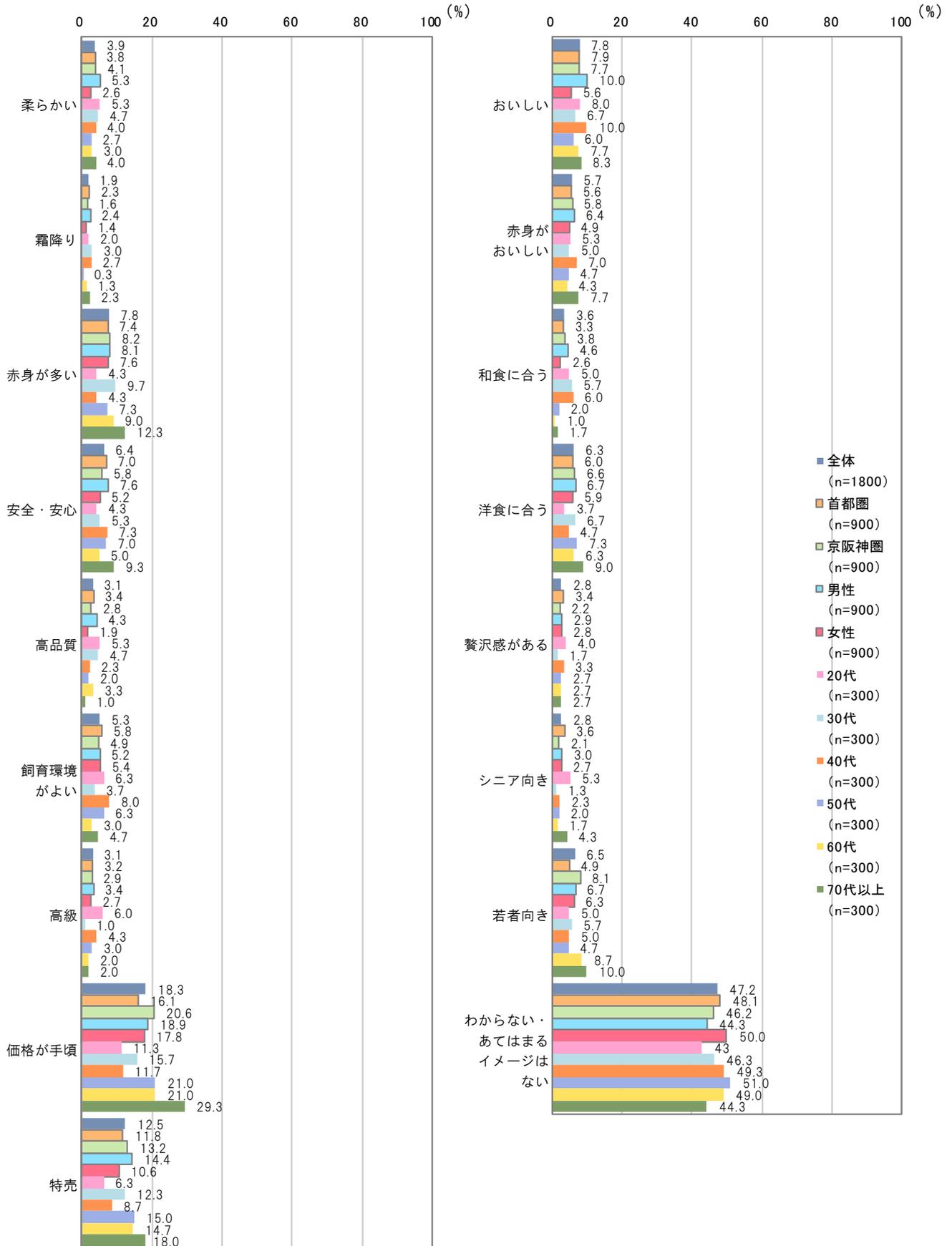
図表 89 (その1) エリア・性・年代別  
「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ

(2)「交雑種の国産牛肉」



図表 89 (その2) エリア・性・年代別  
「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ

(3)「乳用種(ホルスタイン種など)の国産牛肉」



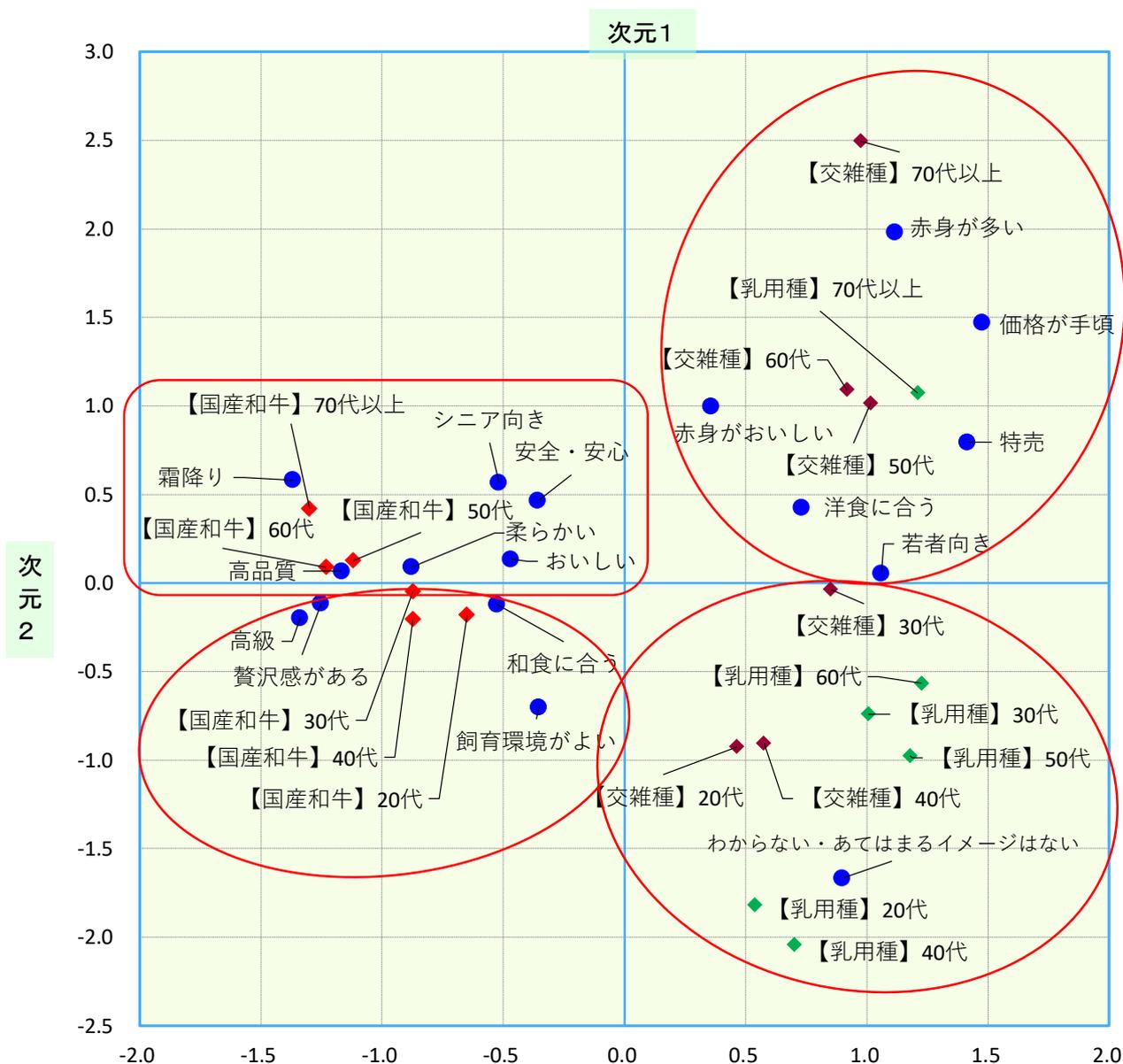
図表 89 (その3) エリア・性・年代別  
「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ

「国産和牛」「交雑種の国産牛肉」「乳用種（ホルスタイン種など）の国産牛肉」別のイメージ（Q45）について、年代別で、コレスポンデンス分析を行った。

「高級」「贅沢感がある」「高品質」「霜降り」「柔らかい」「おいしい」「和食に合う」「シニア向き」「安全・安心」「飼育環境がよい」は、左側の象限に位置しており、全年代の「国産和牛」がこれらのイメージに近く位置している。

一方、「赤身が多い」「赤身が多い」「価格が手頃」「特売」「洋食に合う」「若者向き」は、右上の象限に位置しており、50代～70代以上の「交雑種」、70代以上の「乳用種」がこれらのイメージに近く位置している。

20代～40代の交雑種、20代～60代の乳用種は、右下の象限の「わからない・あてはまるイメージはない」の近くに位置している。



(寄与率 次元1 88.6%、次元2 5.4%)

図表 90 「国産和牛」「交雑種」「乳用種」別のイメージ  
年代別 コレスポンデンス分析結果

### 3) 「交雑種」「乳用種」の表示の認識度 (Q46) : エリア・性・年代別分析

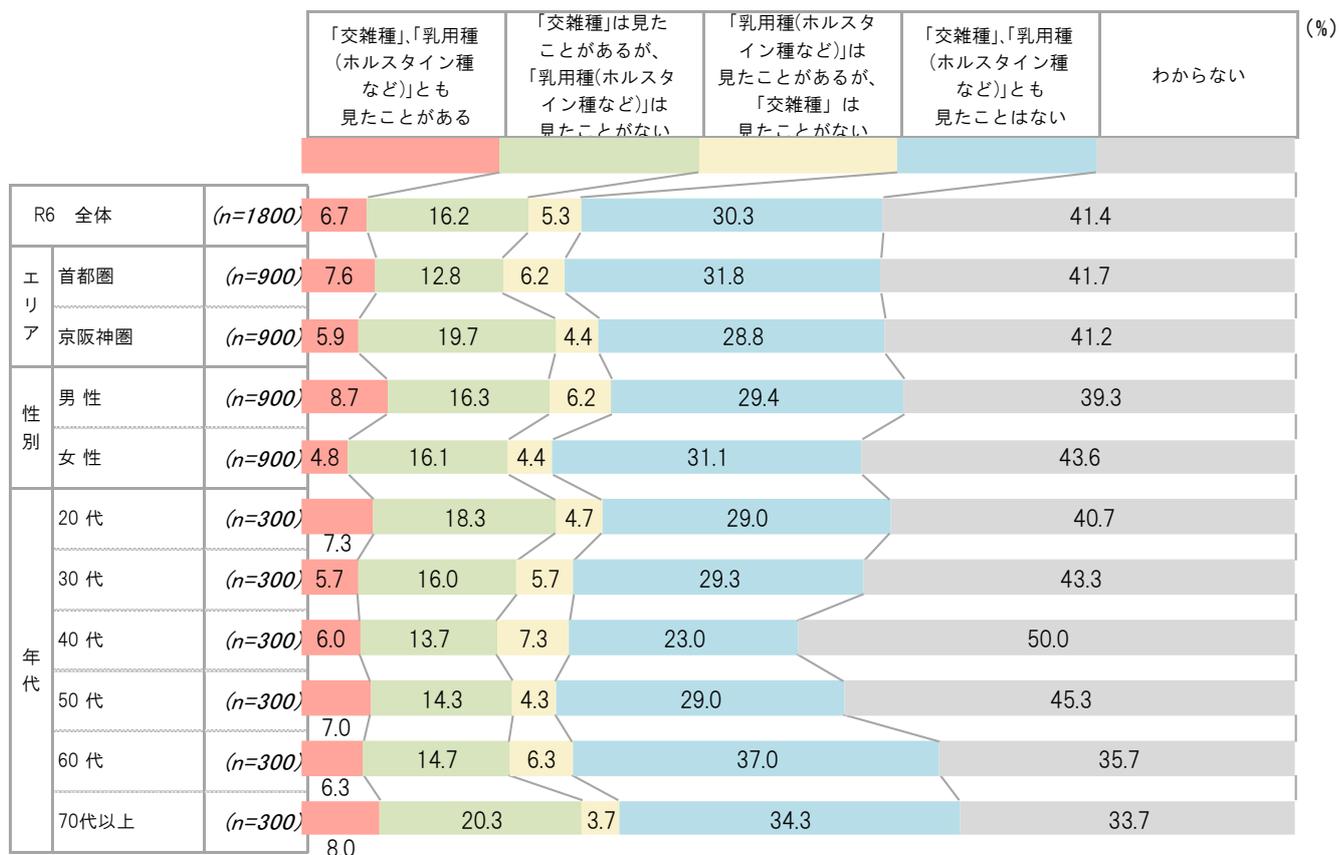
スーパー等で牛肉を購入する際に「交雑種」や「乳用種 (ホルスタイン種など)」の表示を見たことがあるかの認識度 (Q46) を聞いたところ、「わからない」が 41.4%で最も多く、次に「「交雑種」、「乳用種 (ホルスタイン種など)」とも見たことはない」が 30.3%で、あわせて 7 割以上が非認知である。

一方、「「交雑種」は見たことがあるが、「乳用種 (ホルスタイン種など)」は見たことがない」が 16.2%、「「交雑種」、「乳用種 (ホルスタイン種など)」とも見たことがある」が 6.7%、「乳用種 (ホルスタイン種など)」は見たことがあるが、「交雑種」は見たことがない」5.3%の順である。

エリア別に見ると、「「交雑種」は見たことがあるが、「乳用種 (ホルスタイン種など)」は見たことがない」は、首都圏が 12.8%、京阪神圏が 19.7%と、首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ても、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、「「交雑種」、「乳用種 (ホルスタイン種など)」とも見たことはない」は 60 代以上で 3 割以上と多くなっている。



図表 91 エリア・性・年代別 「交雑種」「乳用種」の表示の認識度

## 2.6 食品購入にあたっての「アニマルウェルフェア（AW）」に対する消費者意識の考察

- ・ 説明文を提示せずに聞いた「アニマルウェルフェア（AW）」の認知度（Q53）は、「詳しく知っている」が 3.0%、「ある程度知っている」が 9.6%、「「アニマルウェルフェア」という言葉は聞いたことがある・知っている」が 14.8%で、認知度計は 27.4%。非認知は、「あまりよく知らない」が 72.6%と非常に多い。
- ・ 国が「アニマルウェルフェアに配慮した、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこと」としていることについての関心度は、「関心がある計」は 32.2%（「非常に関心がある」6.1%＋「やや関心がある」26.1%）、「関心がない計」は 35.2%（「あまり関心がない」20.0%＋「まったく関心がない」15.2%）。「どちらでもない」が 32.7%。
- ・ 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向は、「割高でも購入したい」が 6.4%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が 27.5%、「安ければ購入したい」が 32.3%で最も多かった。「同程度の価格以上計」は 33.9%、「購入したい計」は 66.2%。「購入したくない」が 7.8%、「わからない」が 25.9%。
- ・ 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉について普段買っている国産牛肉に比べて、100g あたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うかは、「50 円程度までなら高くても購入する」が 20.3%で最も多く、「100 円程度までなら高くても購入する」が 12.7%、「20 円程度までなら高くても購入する」が 12.4%、「10 円程度までなら高くても購入する」が 12.0%の順。「平均割高許容価格（円/100g）」は 62.7 円/100g。

2.6 では、食品購入にあたっての「アニマルウェルフェア（AW）」に対する消費者の意識を探ることを目的とした。

### 1) 「アニマルウェルフェア (AW)」の認知度 (Q53) : エリア・性・年代別分析

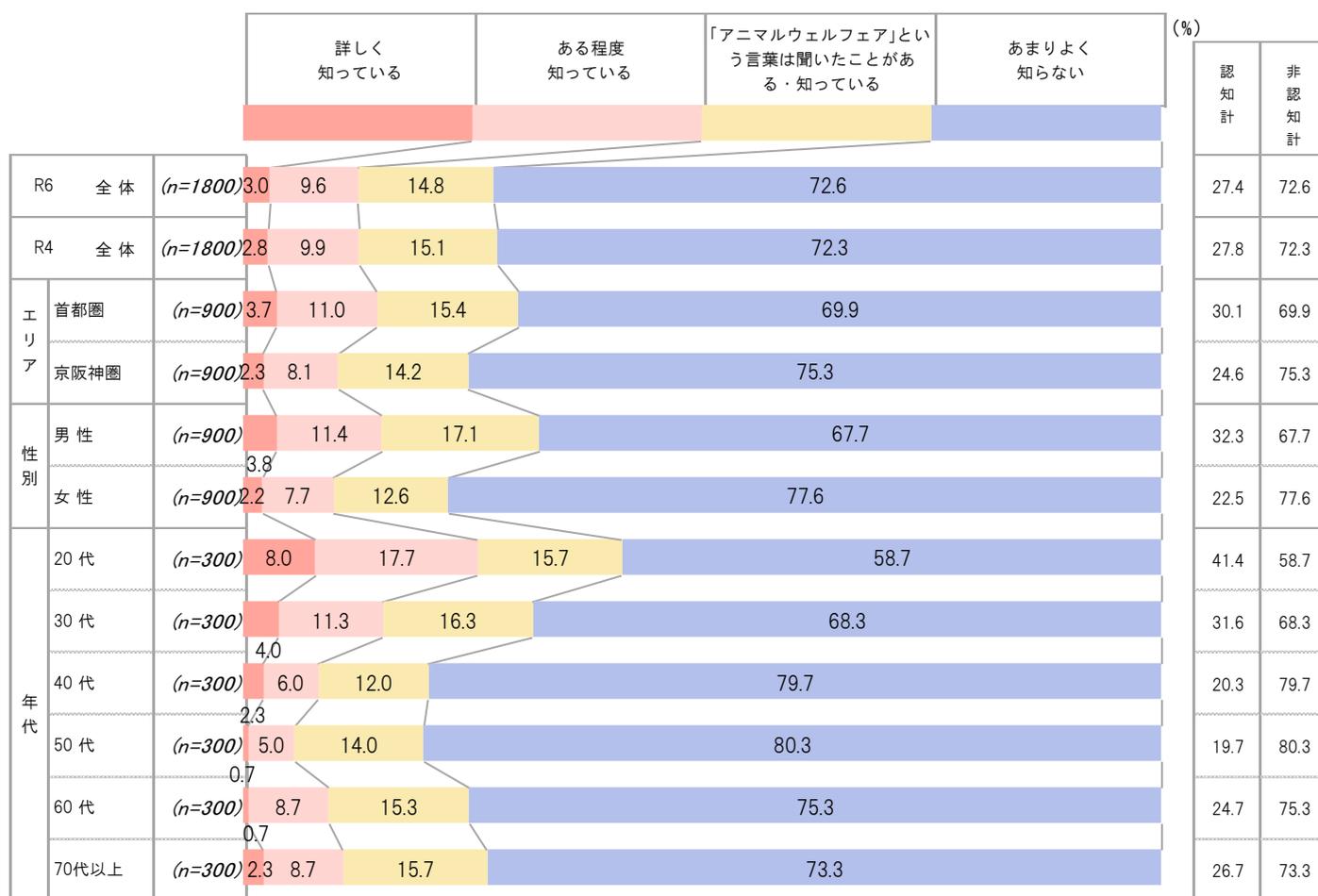
説明文を提示せずに聞いた「アニマルウェルフェア (AW)」の認知度 (Q53) は、「詳しく知っている」が 3.0%、「ある程度知っている」が 9.6%、「「アニマルウェルフェア」という言葉は聞いたことがある・知っている」が 14.8%で、認知度計は全体の 27.4%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が 72.6%と非常に多い。

過年度調査で見ると、令和 4 年の認知度計が 27.8%で大きな違いは見られない。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が 30.1%、京阪神圏が 24.6%と、京阪神圏より首都圏の方が認知度が高い。

性別に認知度計を見ると、男性が 32.3%、女性が 22.5%と女性より男性の方が高い。

年代別に認知度計を見ると、若い世代の方が高くなっており、20代が 41.4%、30代が 31.6%だが、50代では 19.7%と最も低くなっている。



認知度計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「アニマルウェルフェア」という言葉は聞いたことがある・知っている、非認知計⇒「あまりよく知らない」

図表 92 「アニマルウェルフェア」の認知度

## 2) 「アニマルウェルフェア（AW）」の関心度（Q54）：エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア」についての説明文を提示して、国が「アニマルウェルフェアに配慮した、畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針を示し、その普及を図っていくこと」としていることについて関心度（Q54）を聞いたところ、「非常に関心がある」が6.1%、「やや関心がある」が26.1%で、「関心がある計」は全体の32.2%である。一方、「あまり関心がない」が20.0%、「まったく関心がない」が15.2%で「関心がない計」は全体の35.2%である。「どちらでもない」が32.7%と最も多い。

過年度調査で見ると、令和4年の「関心がある計」が32.2%で違いは見られない。

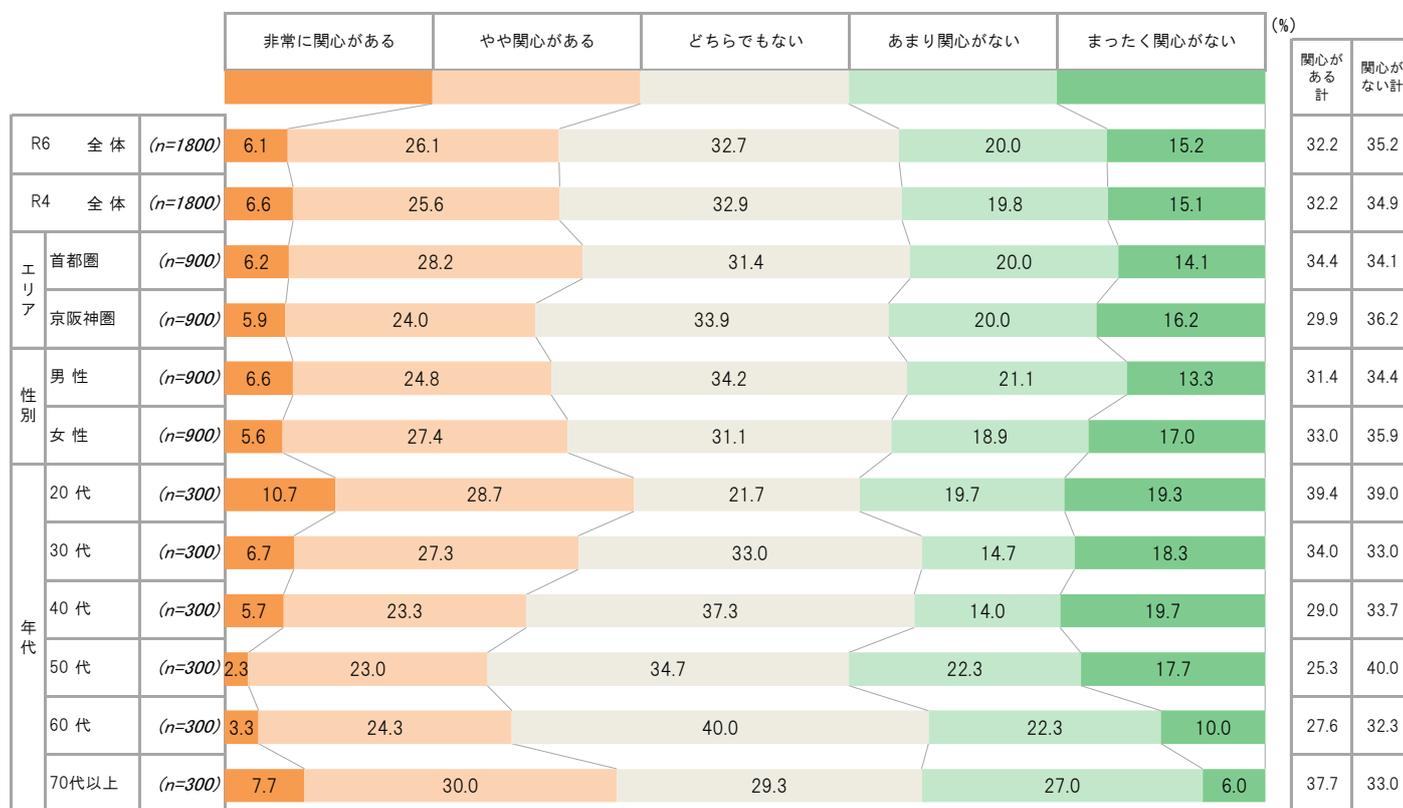
エリア別に「関心がある計」を見ると、首都圏が34.4%、京阪神圏が29.9%と、京阪神圏より首都圏の方が高くなっている。

性別に「関心がある計」を見ると、大きな違いは見られない。

年代別に「関心がある計」を見ると、認知率が最も低かった50代で25.3%と最も低くなっている。

国は、アニマルウェルフェア（家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なくし、行動要求が満たされた快適で健康的な環境を提供するという考え方）に配慮した飼養管理等に関する技術的な指針を家畜の種類ごとに示し、その普及を図っています。  
 アニマルウェルフェアを踏まえた家畜の飼養管理は、ストレスや疾病を減らし、結果として安全な畜産物の生産につながります。また、畜産物の輸出拡大を図るため、日本のアニマルウェルフェアの水準を国際水準とすることが必要とされています。

図表 93 提示説明文



関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 94 「アニマルウェルフェア」の関心度

3) 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q55)  
: エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア」と「アニマルウェルフェア認証マーク」についての説明文を提示して「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q55) を聞いたところ、「割高でも購入したい」が 6.4%、「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」が 27.5%、「安ければ購入したい」が 32.3%で最も多かった。「同程度の価格以上計」は 33.9%、「購入したい計」は 66.2%である。

一方、「購入したくない」が 7.8%、「わからない」が 25.9%である。

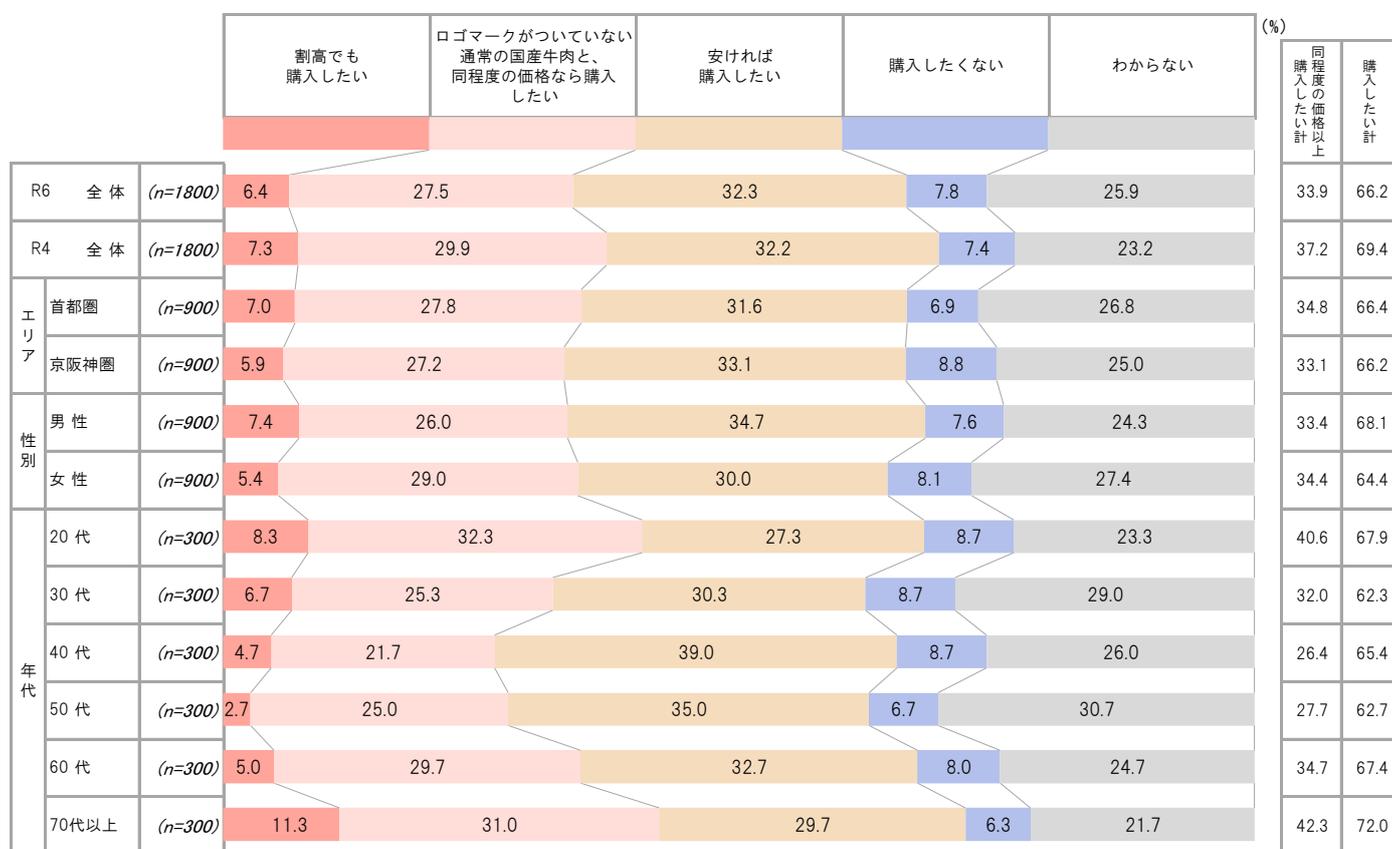
過年度調査で見ると、令和 4 年の「購入したい計」が 69.4%で、3.2 ポイント減少している。

エリア別・性別に見ても、購入意向に大きな違いは見られない。

年代別に「割高でも購入したい」を見ると、70 代以上で 11.3%と高い。

国は、アニマルウェルフェア(家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なくし、行動要求が満たされた快適で健康的な環境を提供するという考え方)に配慮した飼養管理等に関する技術的な指針を家畜の種類ごとに示し、その普及を図っています。  
アニマルウェルフェアを踏まえた家畜の飼養管理は、ストレスや疾病を減らし、結果として安全な畜産物の生産につながります。また、畜産物の輸出拡大を図るため、日本のアニマルウェルフェアの水準を国際水準とすることが必要とされています。

図表 95 提示説明文



同程度の価格以上購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」  
購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 96 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向

4) 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思 (Q56)  
 : エリア・性・年代別分析

「アニマルウェルフェア認証マーク」についての説明文を提示して、「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉について、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込みでどの程度の価格上昇までなら購入しても良いと思うか (Q56) を聞いた。 ※Q56は、「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の購入意向 (Q55) で「割高でも購入したい」又は「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」と回答した人で、かつ、普段買っている国産牛肉の価格帯 (Q16) に価格を回答した人に対してのみ聞いた。

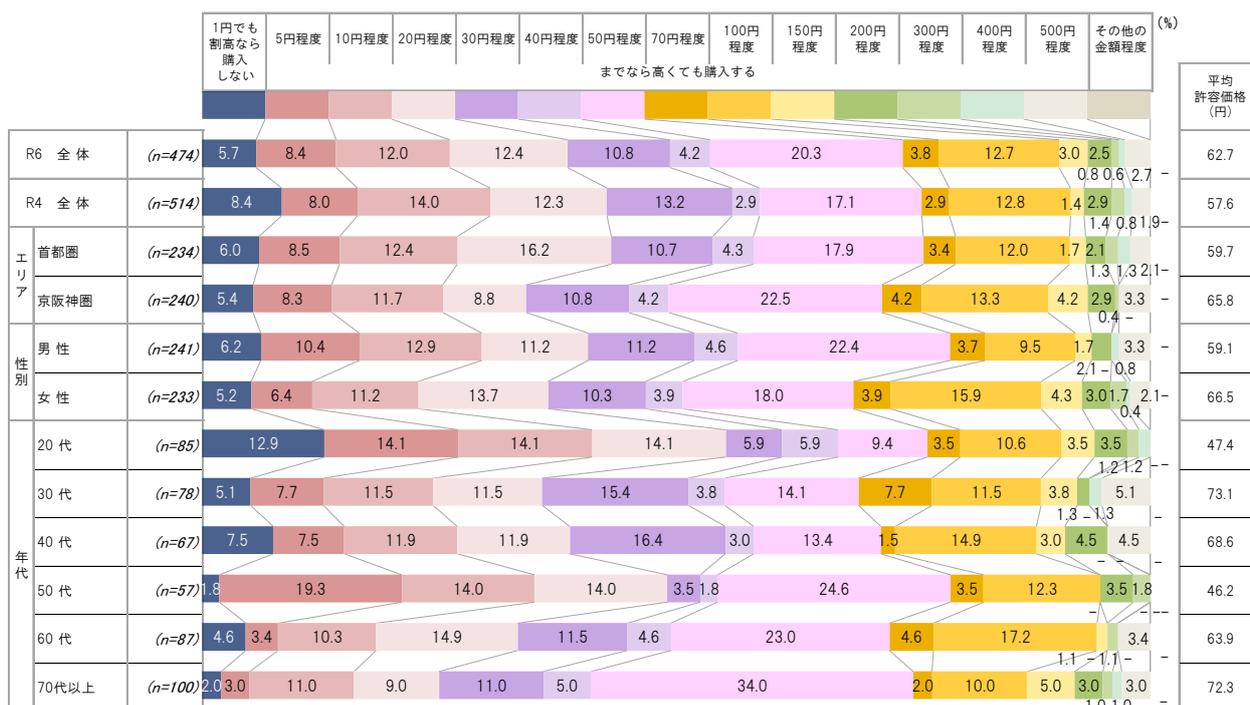
「50円程度までなら高くても購入する」が20.3%で最も多く、「100円程度までなら高くても購入する」が12.7%、「20円程度までなら高くても購入する」が12.4%、「10円程度までなら高くても購入する」が12.0%、「30円程度までなら高くても購入する」が10.8%の順で多く、「平均割高許容価格 (円/100g)」で見ると、平均62.7円/100gである。「1円でも割高なら購入しない」は5.7%である。

過年度調査で「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、令和4年の57.6円/100gから大きな違いはみられない。

エリア別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、首都圏が59.7円/100g、京阪神圏が65.8円/100gと大きな違いは見られない。性別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、男性が59.1円/100g、女性が66.5円/100gで、男女で大きな違いは見られない。年代別に「平均割高許容価格 (円/100g)」を見ると、30代が73.1円/100gと最も高く、次いで70代以上が72.3円/100gである。

いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアに配慮した肉用牛の飼養管理に関する審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア認証マーク」を貼られて売られるとします。この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、アニマルウェルフェアに配慮して生産されるため、価格が高めであるとします。

図表 97 提示説明文



図表 98 「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉の追加支払意思

### 3. 食肉の購買実態に関する調査

#### 1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)

- 牛肉料理の内食は「それ以下 (月に1日以下)」と「週に1日程度」、中食及び外食では「それ以下 (月に1日以下)」とする割合が高い。
- 豚肉料理と鶏肉料理、魚介料理の傾向は似ており、内食では「週に2～3日程度」と「週に1日程度」が多く、中食、外食では「それ以下 (月に1日以下)」とする割合が最も高い。

#### 【今年度調査】

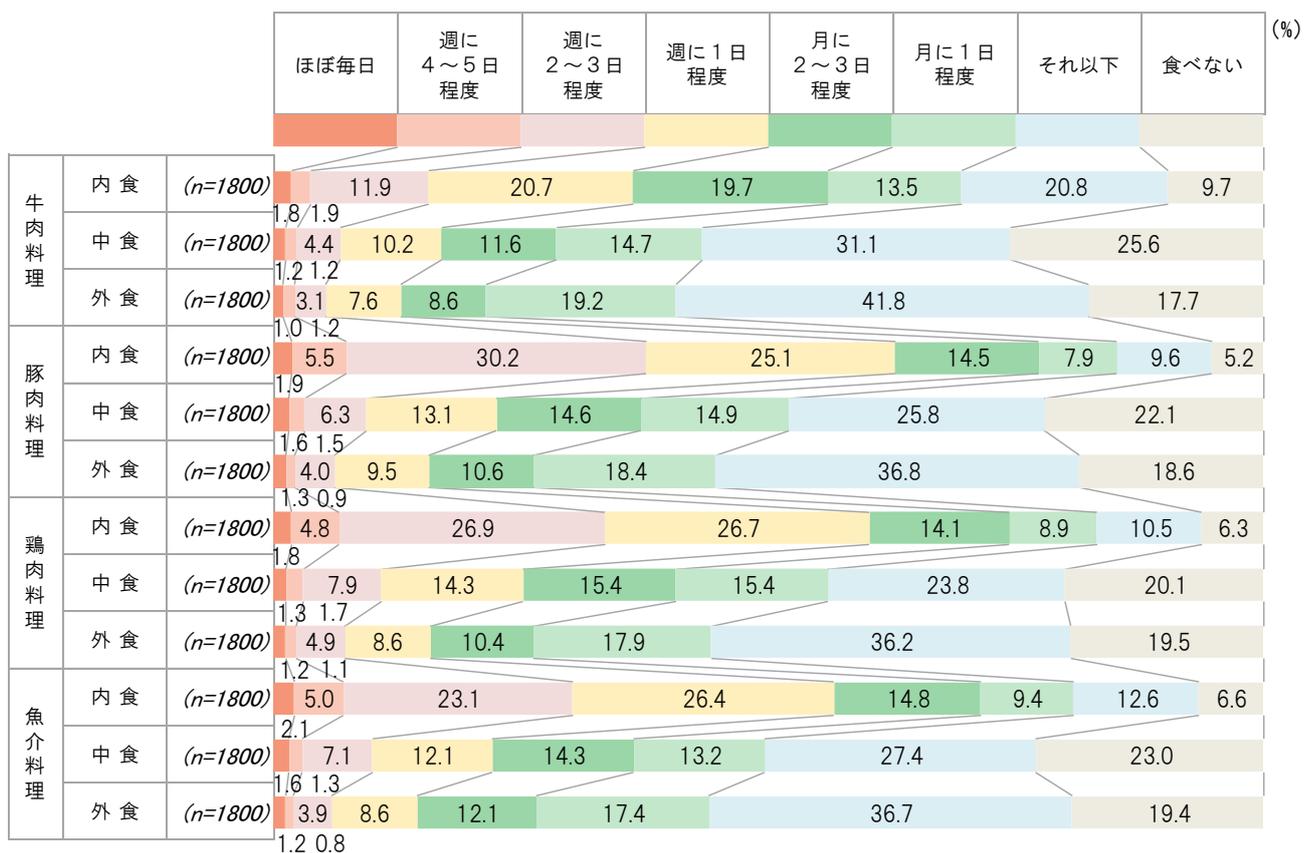
牛肉料理の喫食頻度は、内食では、「それ以下」20.8%、「週に1日程度」20.7%、「月に2～3日程度」19.7%、「月に1日程度」13.5%、「週に2～3日程度」11.9%の順で高い。中食では、「それ以下」31.1%、「食べない」25.6%、「月に1日程度」14.7%、「月に2～3日程度」11.6%、「週に1日程度」10.2%の順で高い。外食では、「それ以下」41.8%、「月に1日程度」19.2%、「食べない」17.7%、「月に2～3日程度」8.6%、「週に1日程度」7.6%の順で高い。

豚肉料理の喫食頻度は、内食では、「週に2～3日程度」30.2%、「週に1日程度」25.1%、「月に2～3日程度」14.5%、「それ以下」9.6%、「月に1日程度」7.9%の順で高い。中食では、「それ以下」25.8%、「食べない」22.1%、「月に1日程度」14.9%、「月に2～3日程度」14.6%、「週に1日程度」13.1%の順で高い。外食では、「それ以下」36.8%、「食べない」18.6%、「月に1日程度」18.4%、「月に2～3日程度」10.6%、「週に1日程度」9.5%の順で高い。

鶏肉料理の喫食頻度は、内食では、「週に2～3日程度」26.9%、「週に1日程度」26.7%、「月に2～3日程度」14.1%、「それ以下」10.5%、「月に1日程度」8.9%の順で高い。中食では、「それ以下」23.8%、「食べない」20.1%、「月に2～3日程度」15.4%、「月に1日程度」15.4%、「週に1日程度」14.3%、「週に2～3日程度」7.9%の順で高い。外食では、「それ以下」36.2%、「食べない」19.5%、「月に1日程度」17.9%、「月に2～3日程度」10.4%、「週に1日程度」8.6%の順で高い。

魚介料理の喫食頻度は、内食では、「週に1日程度」26.4%、「週に2～3日程度」23.1%、「月に2～3日程度」14.8%、「それ以下」12.6%、「月に1日程度」9.4%の順で高い。中食では、「それ以下」27.4%、「食べない」23.0%、「月に2～3日程度」14.3%、「月に1日程度」13.2%、「週に1日程度」12.1%の順で高い。外食では、「それ以下」36.7%、「食べない」19.4%、「月に1日程度」17.4%、「月に2～3日程度」12.1%、「週に1日程度」8.6%の順で高い。

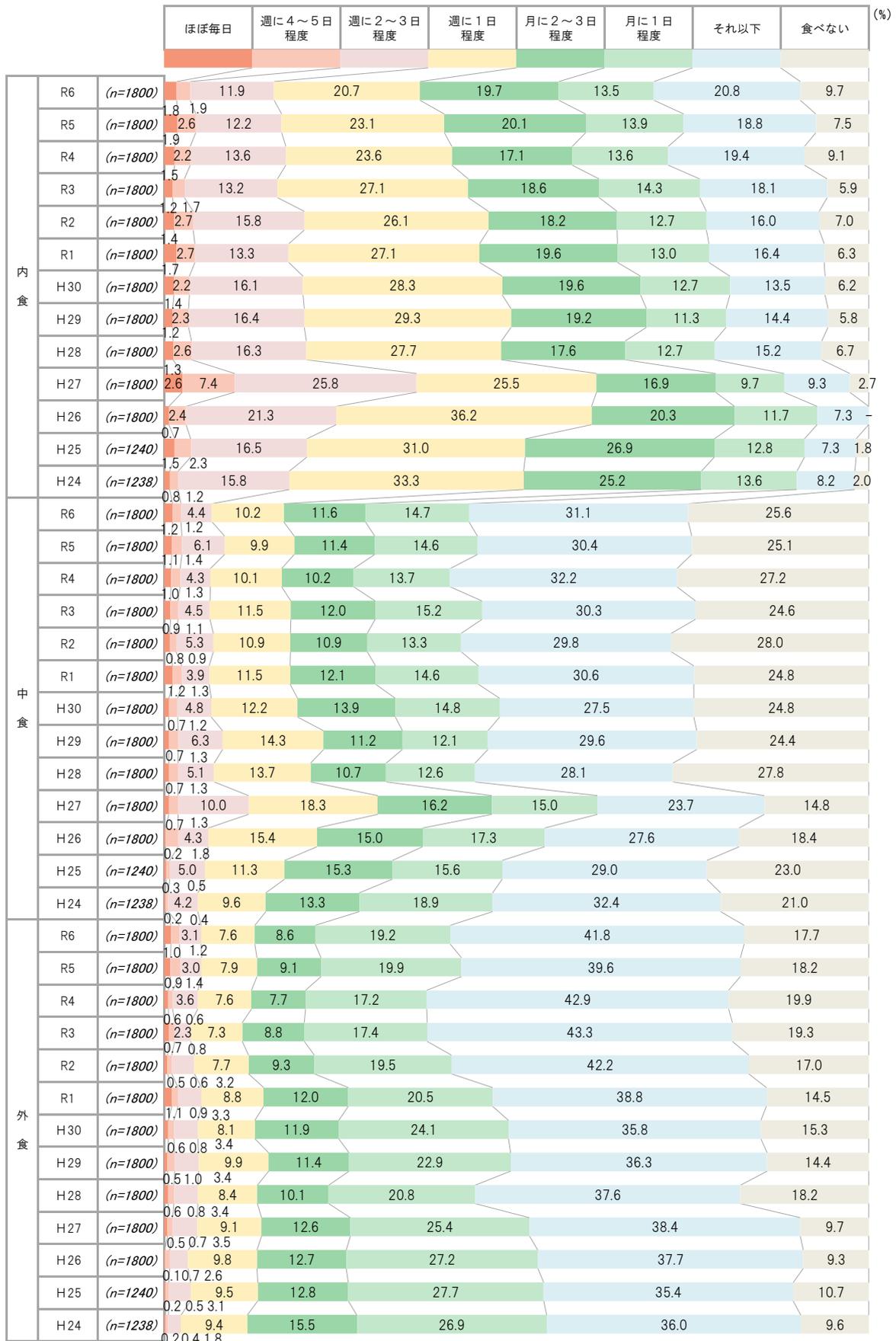
豚肉料理、鶏肉料理、魚介料理は内食、中食、外食のいずれの喫食頻度も似た傾向にある。



図表 99 食肉の種類別機会別の喫食頻度

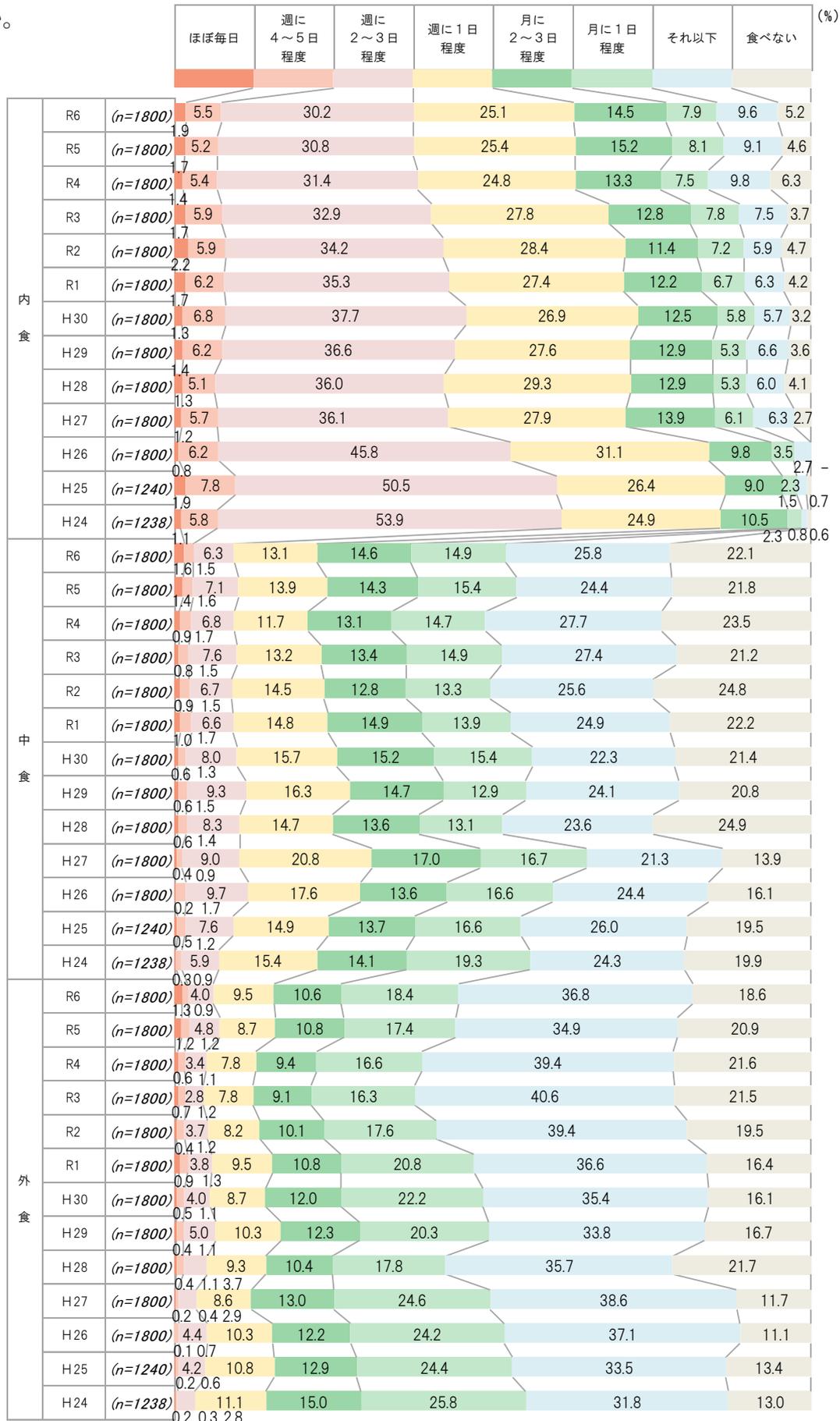
【過年度調査との比較】

牛肉料理は、肉食・中食・外食のいずれも喫食頻度が減少傾向である。



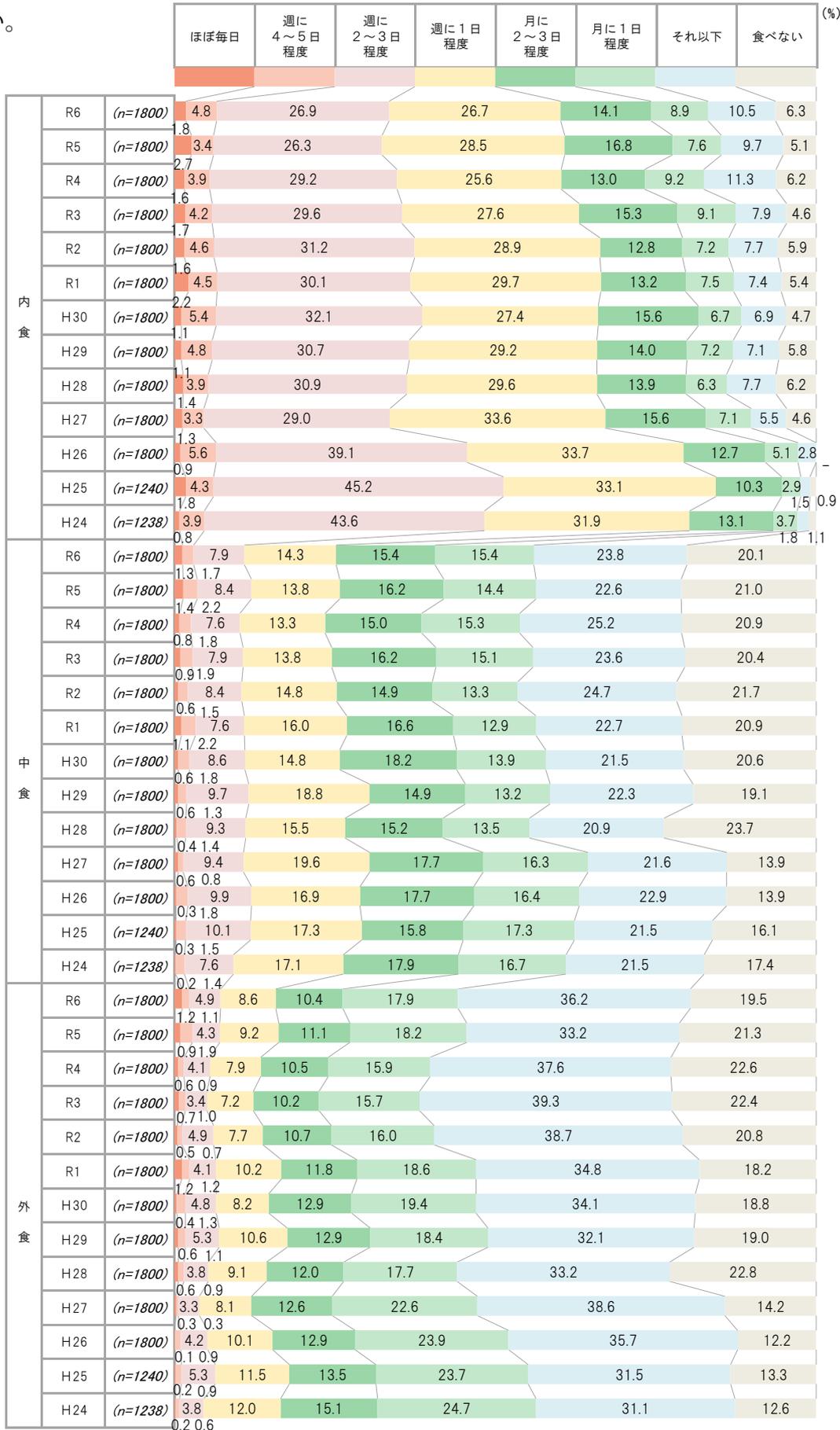
図表 100 牛肉料理の喫食頻度（経年変化）

豚肉料理は、肉食・中食・外食のいずれも昨年度に比べて大きな違いは見られない。



図表 101 豚肉料理の喫食頻度（経年変化）

鶏肉料理は、肉食・中食・外食のいずれも昨年度に比べて大きな違いは見られない。



図表 102 鶏肉料理の喫食頻度（経年変化）

## 2) 食肉に対する種別イメージ (Q5/複数回答)

- ▶ どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。
- ▶ 牛肉は栄養の豊富さ、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、イメージには大きな違いは見られない。

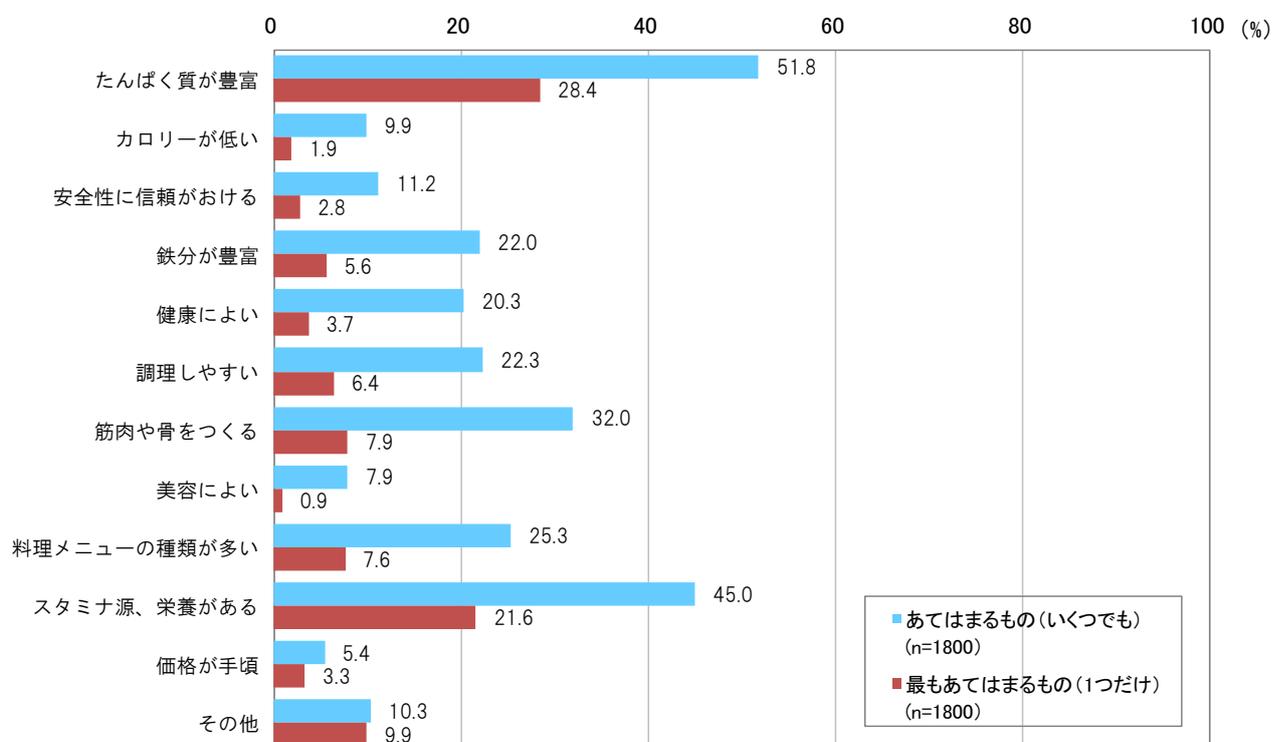
### 【今年度調査】

牛肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「たんぱく質が豊富」が51.8%で最も多く、「スタミナ源、栄養がある」が45.0%、「筋肉や骨をつくる」が32.0%の順となっている。

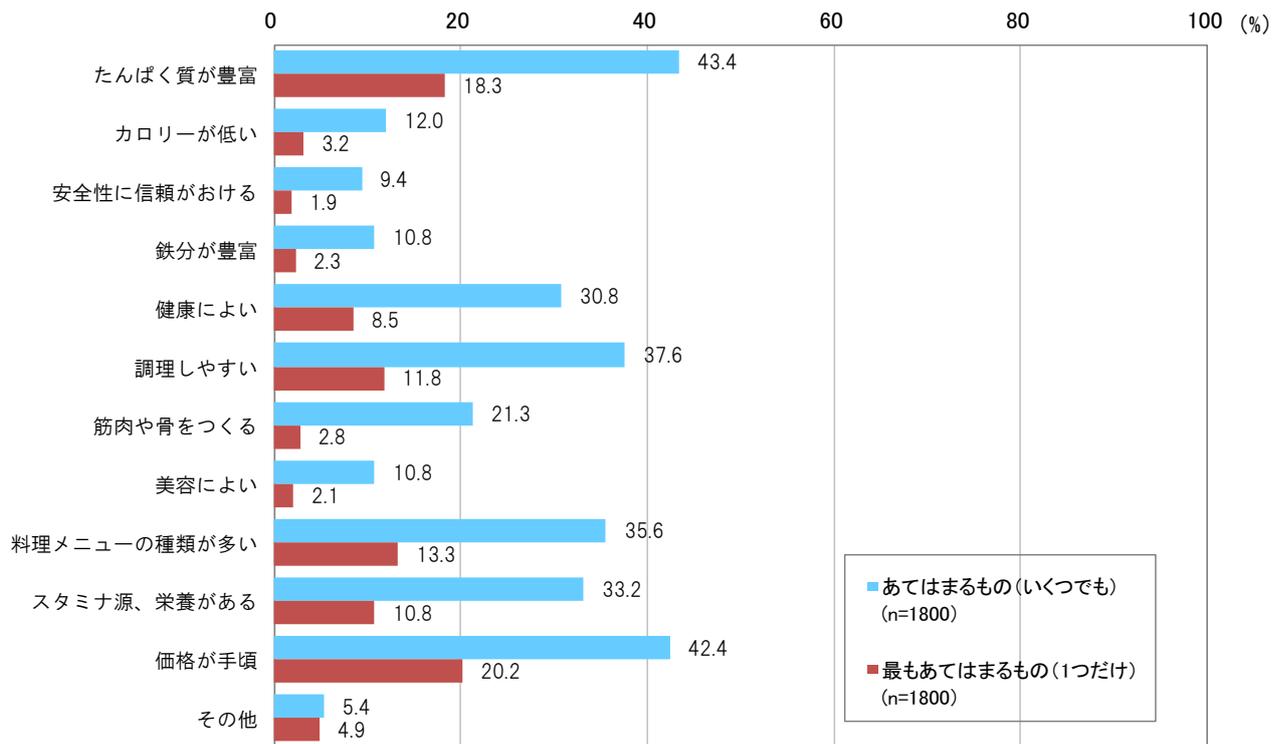
豚肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「たんぱく質が豊富」が43.4%で最も多く、「価格が手頃」が42.4%、「調理しやすい」が37.6%、「料理メニューの種類が多い」が35.6%の順となっている。

鶏肉に対するイメージを複数回答で聞いたところ、「価格が手頃」が51.2%で最も多く、「たんぱく質が豊富」が49.1%、「カロリーが低い」が39.6%の順となっている。

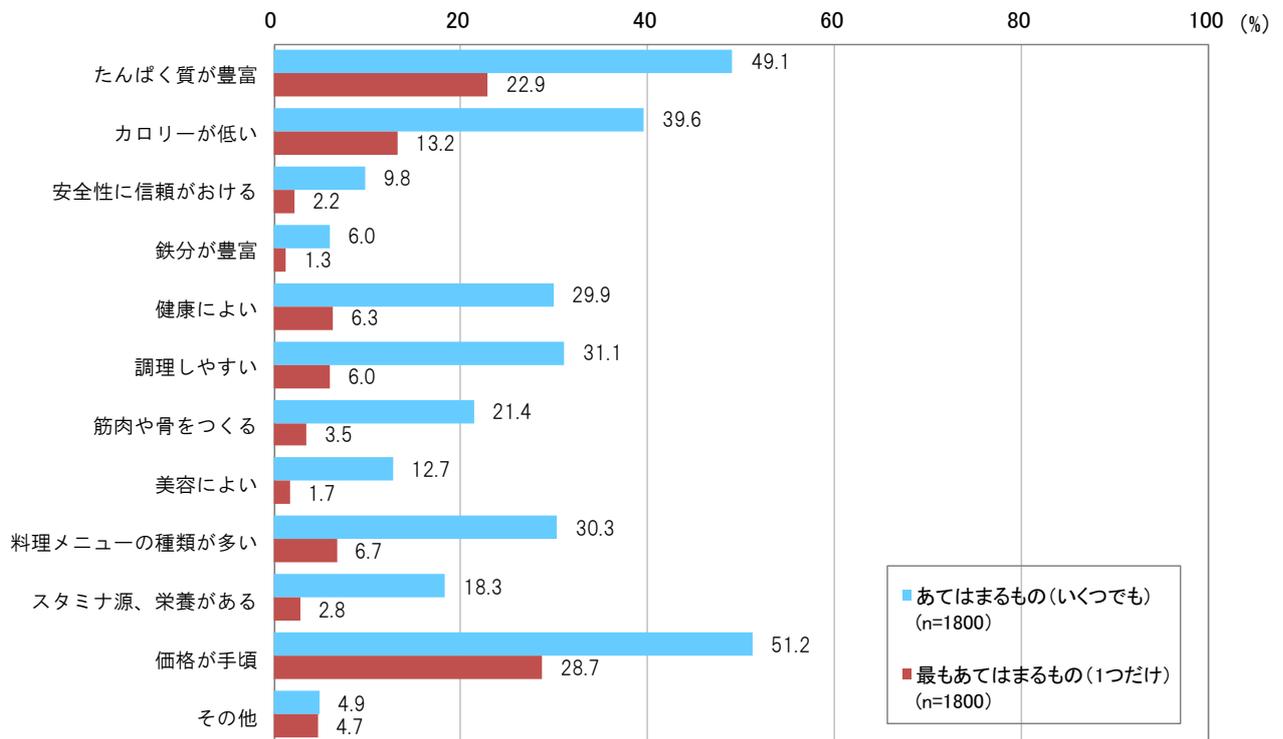
どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが上位2項目に入っており、たんぱく源としてのイメージが強い。また、牛肉は栄養の「豊富さ」、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。



図表 103 牛肉に対するイメージ



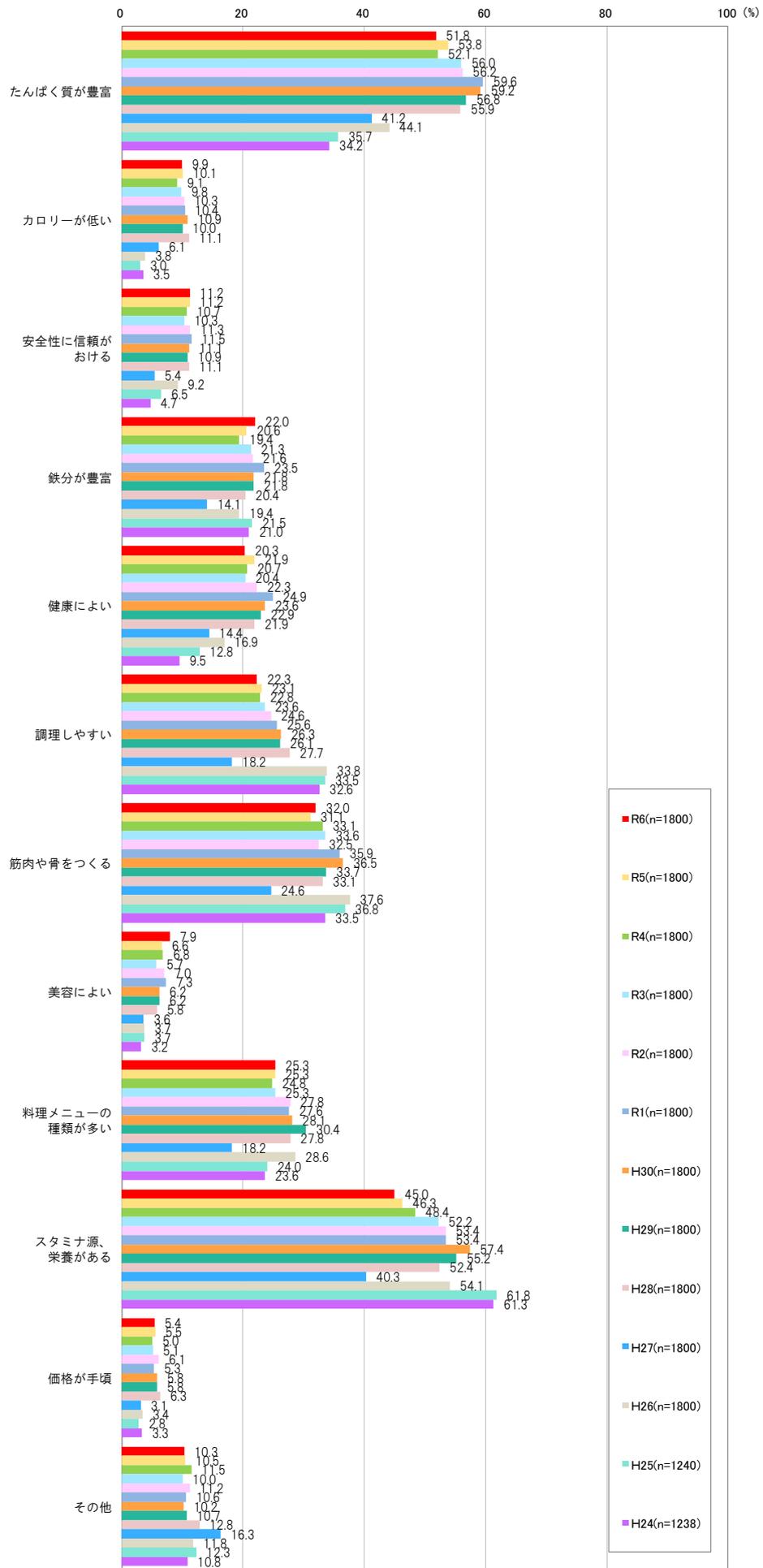
図表 104 豚肉に対するイメージ



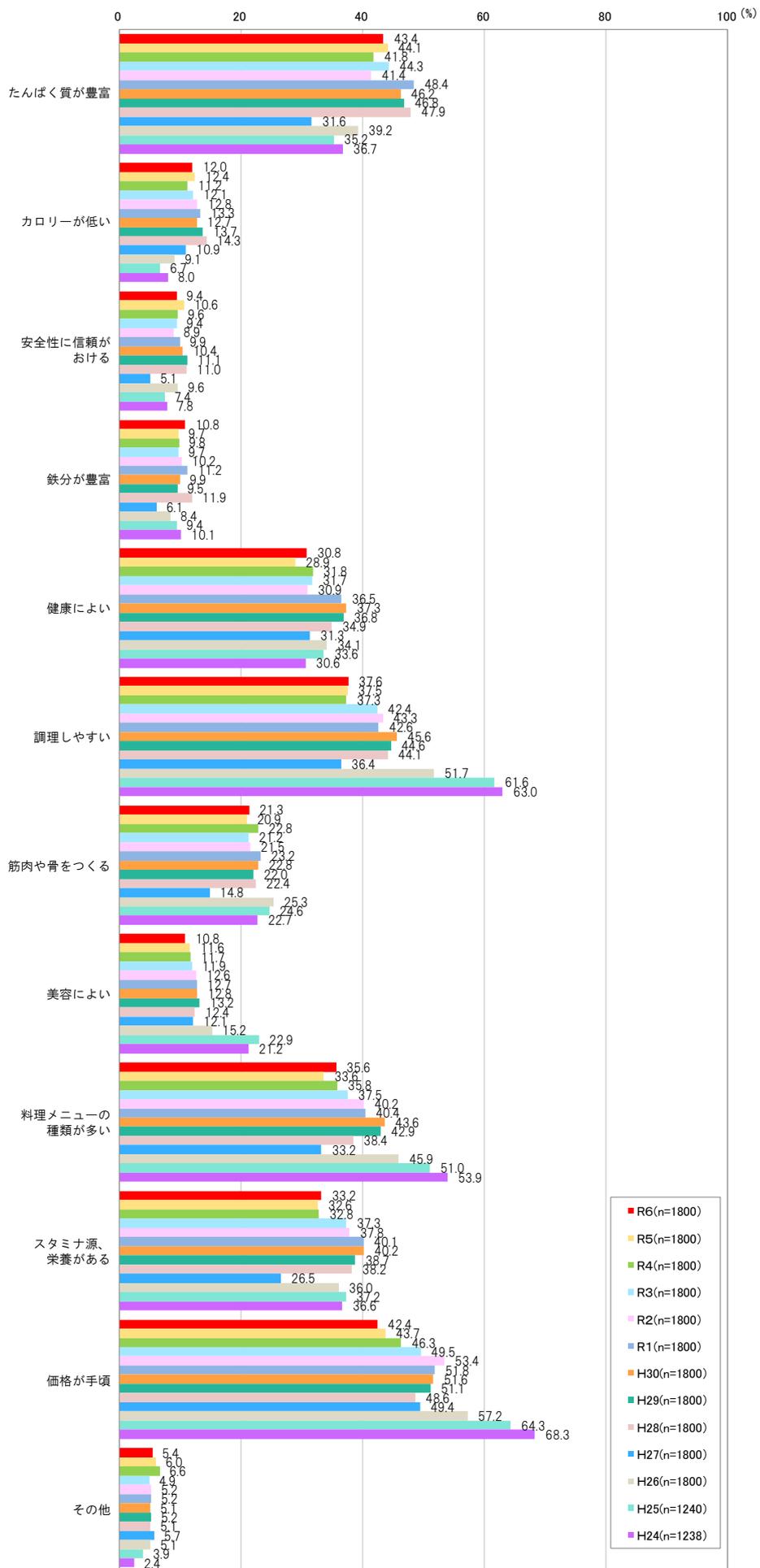
図表 105 鶏肉に対するイメージ

【過年度調査との比較】

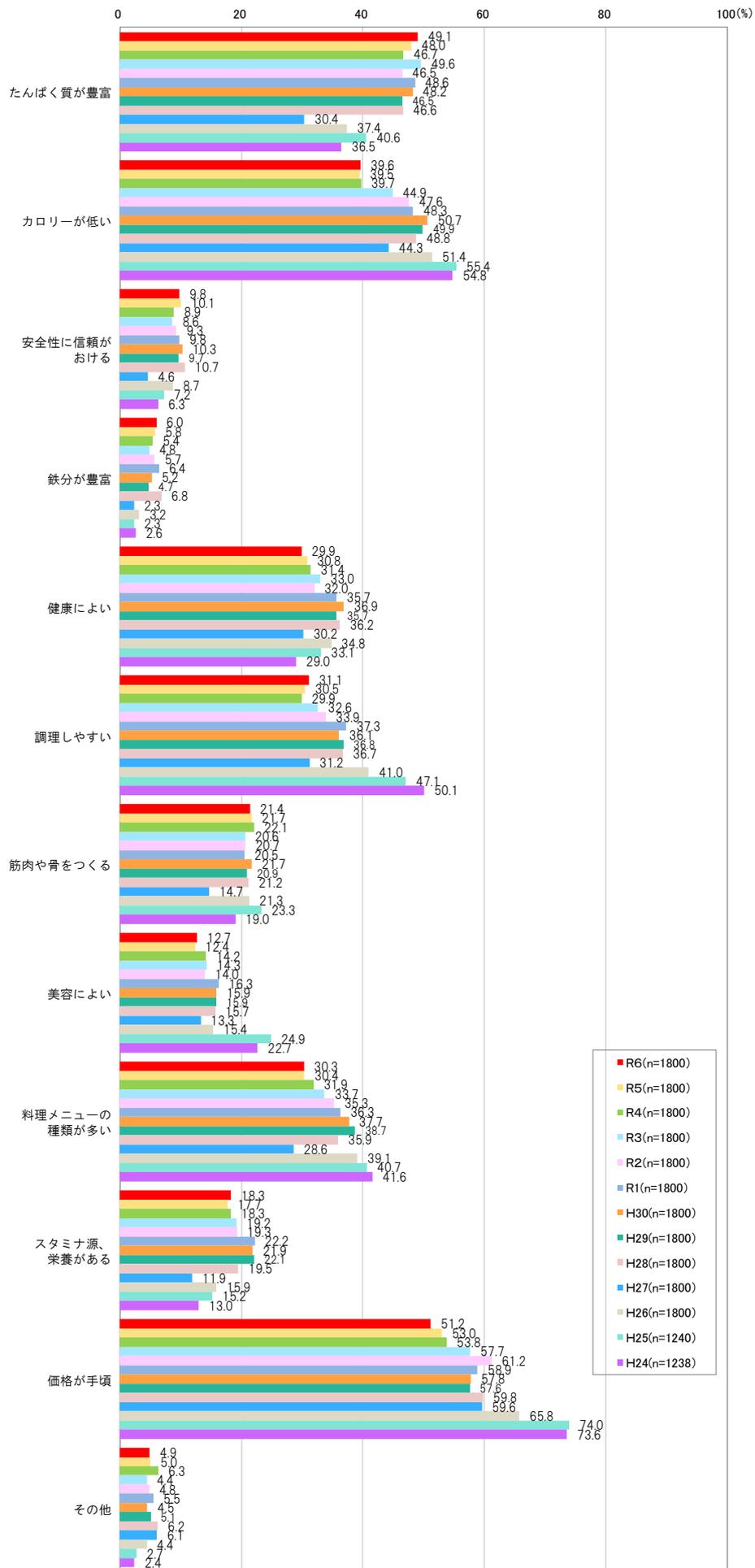
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、消費者に持たれているイメージには大きな違いは見られない。



図表 106 牛肉に対するイメージ（経年変化）



図表 107 豚肉に対するイメージ（経年変化）



図表 108 鶏肉に対するイメージ（経年変化）

### 3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)

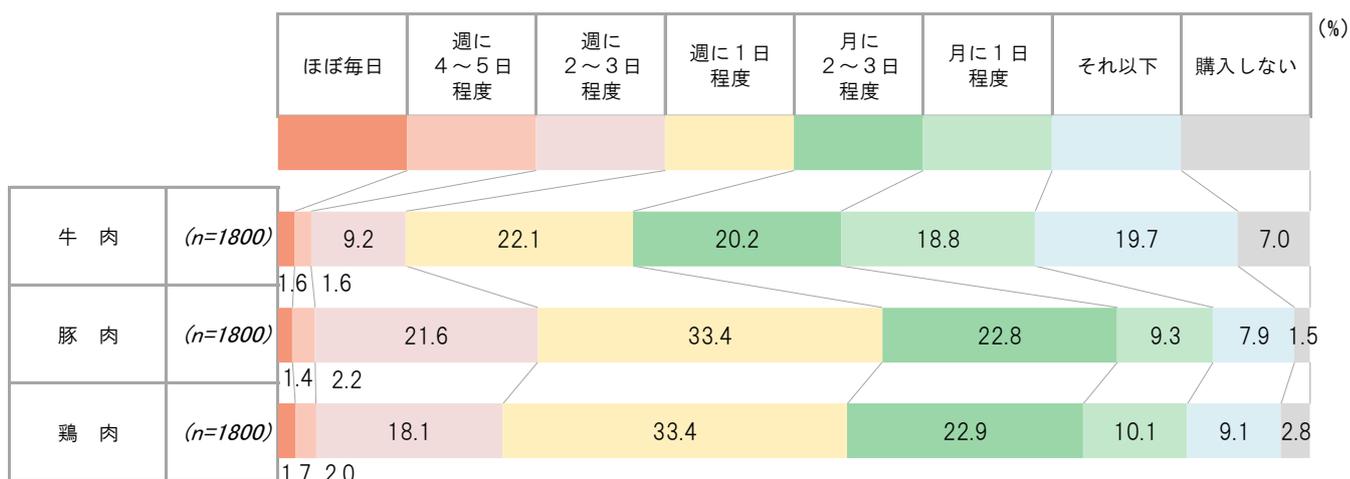
- ▶ 牛肉は「週に1日程度」と「月に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- ▶ 豚肉と鶏肉は「週に1日程度」「月に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、大きな違いは見られない。

#### 【今年度調査】

牛肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」22.1%、「月に2～3日程度」20.2%で、合わせて42.3%を占める。他の食肉と比較して低頻度購入のボリュームが大きく、「それ以下」が19.7%と他の食肉に比べて高い。

豚肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」33.4%、「月に2～3日程度」22.8%で、合わせて56.2%を占める。「それ以下」は7.9%である。

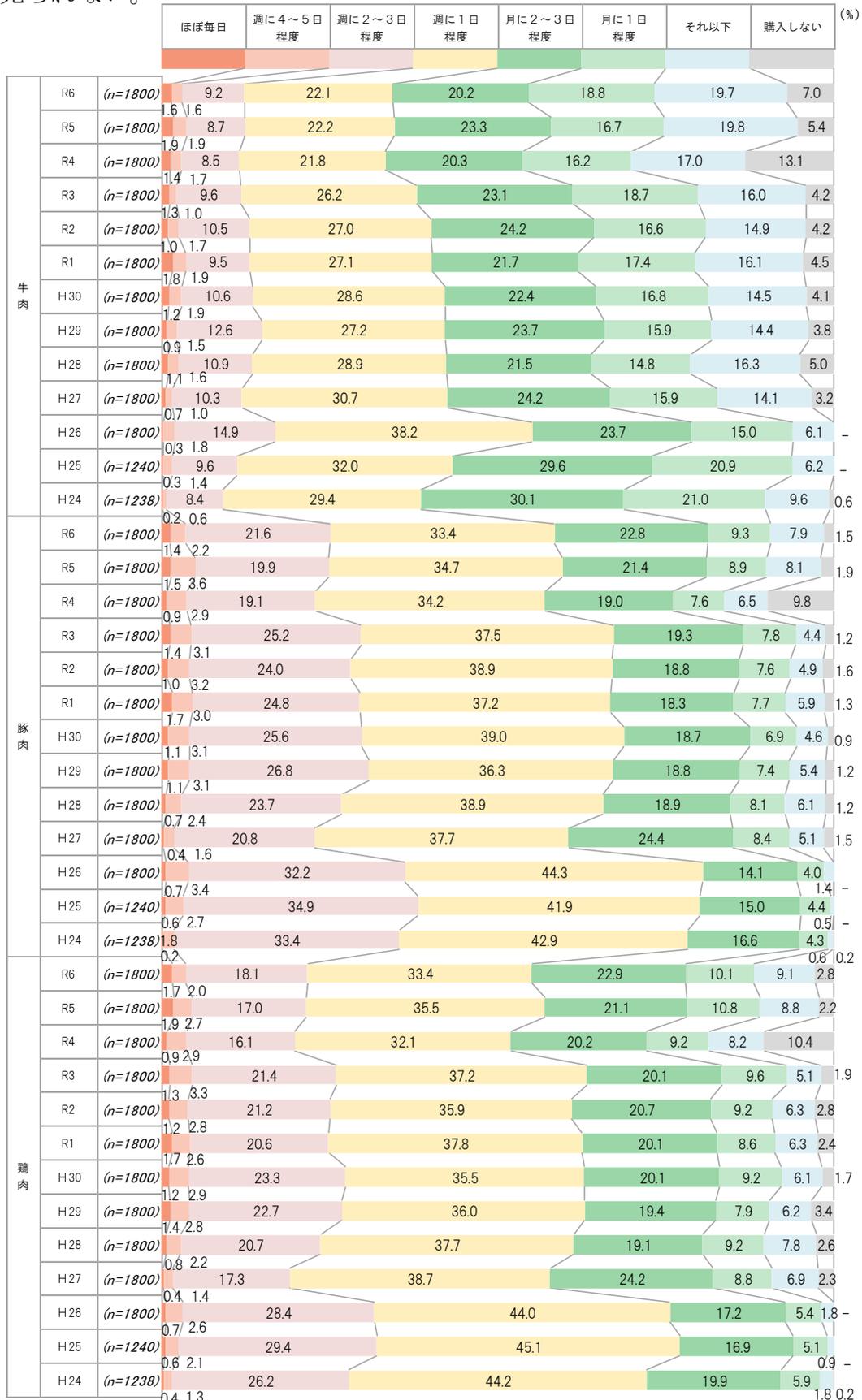
鶏肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」33.4%、「月に2～3日程度」22.9%で、合わせて56.3%を占める。「それ以下」は9.1%である。



図表 109 食肉の種類別購入頻度

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、大きな違いは見られない。



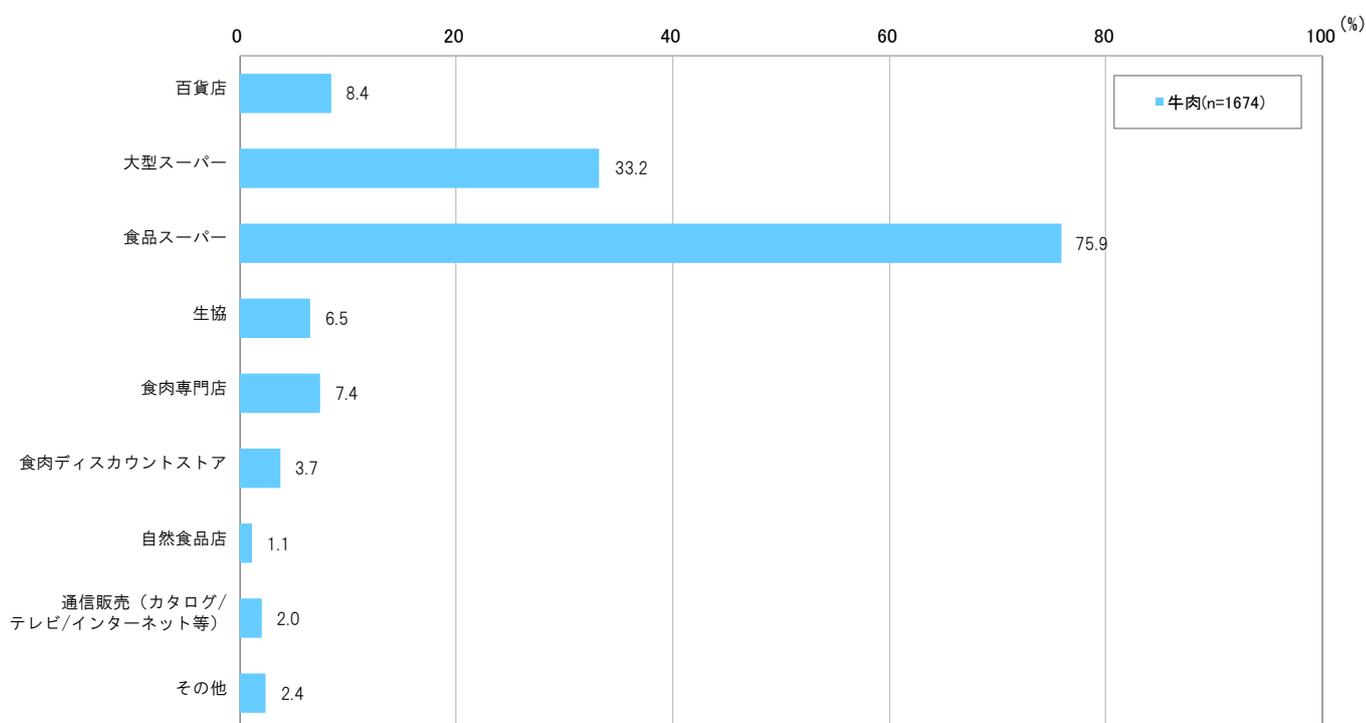
図表 110 食肉の種類別購入頻度（経年変化）

#### 4) 食肉の種類別の主な購入先（Q7／複数回答）

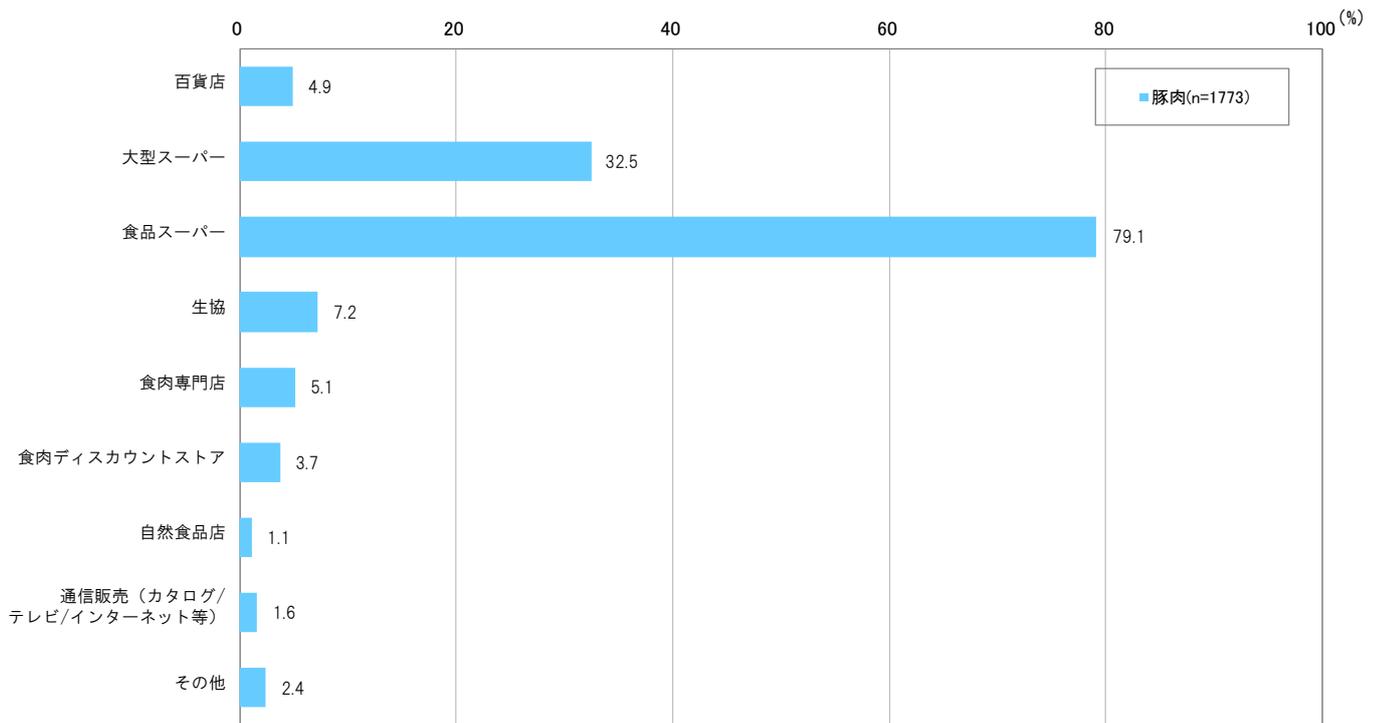
- ▶ いずれの食肉も 8 割弱が「食品スーパー」で購入、次いで「大型スーパー」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「大型スーパー」が減少傾向。

##### 【今年度調査】

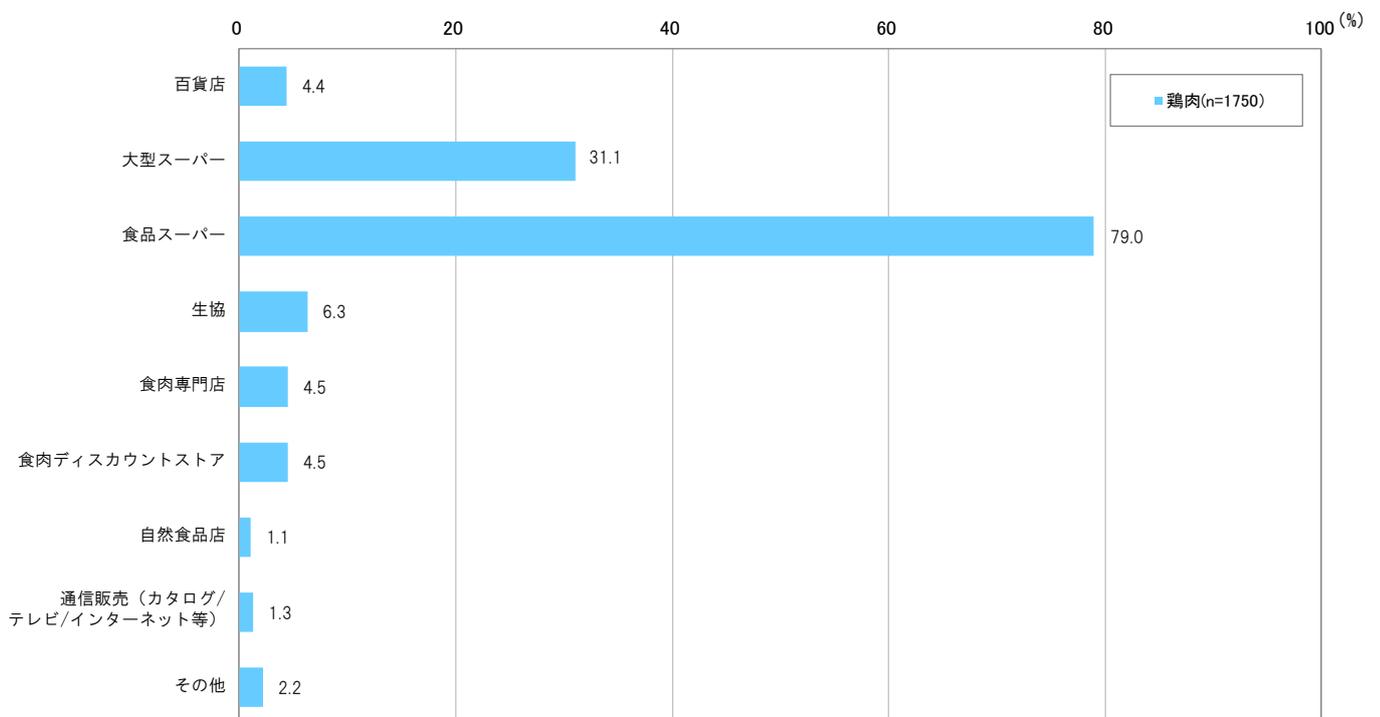
食肉の主な購入先を複数回答で聞いたところ、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも同様の傾向があり、「食品スーパー」が 8 割弱と圧倒的に多く（牛肉 75.9%、豚肉 79.1%、鶏肉 79.0%）、次いで「大型スーパー」が約 3 割（牛肉 33.2%、豚肉 32.5%、鶏肉 31.1%）となっている。



図表 111 牛肉の主な購入先



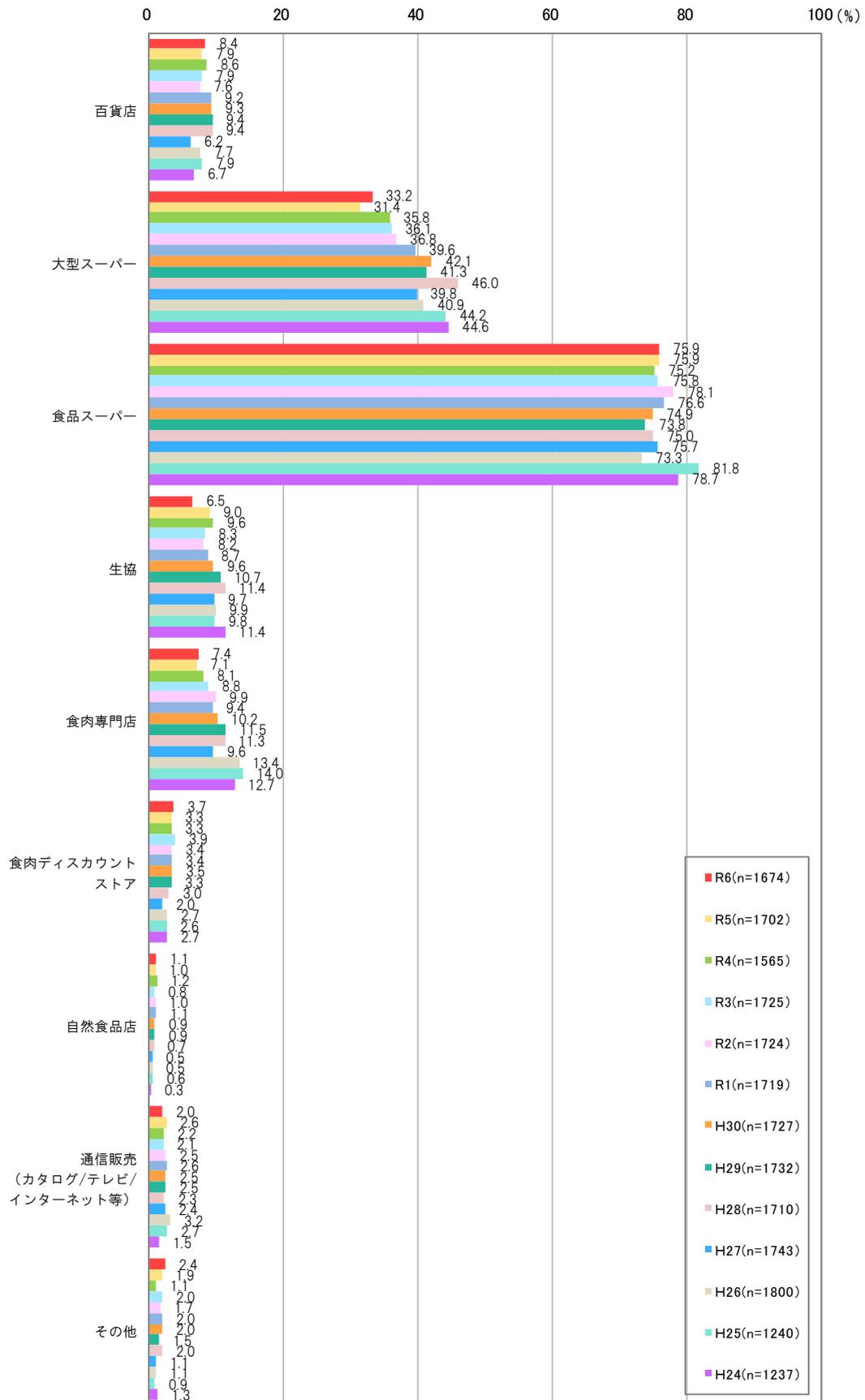
図表 112 豚肉の主な購入先



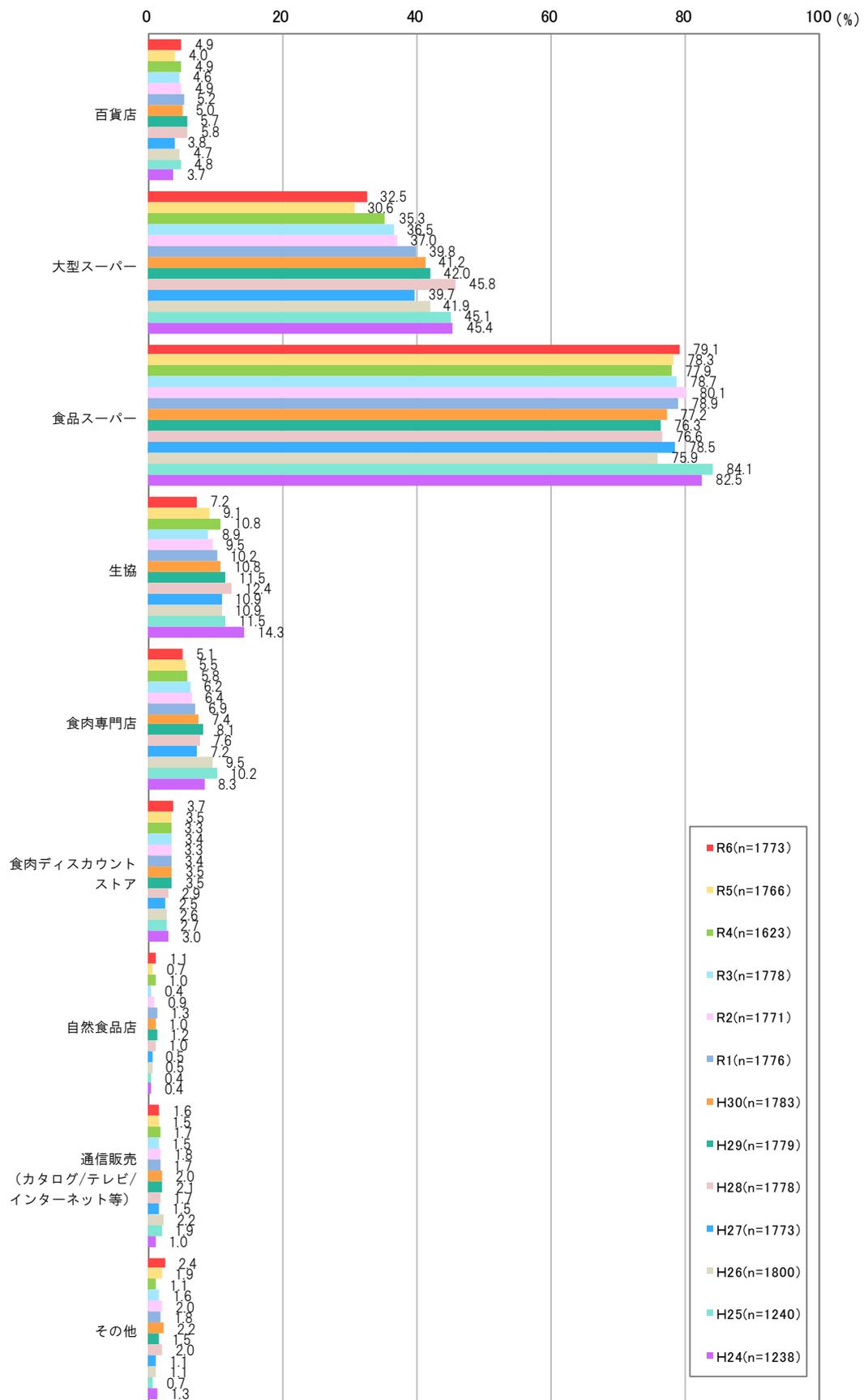
図表 113 鶏肉の主な購入先

【過年度調査との比較】

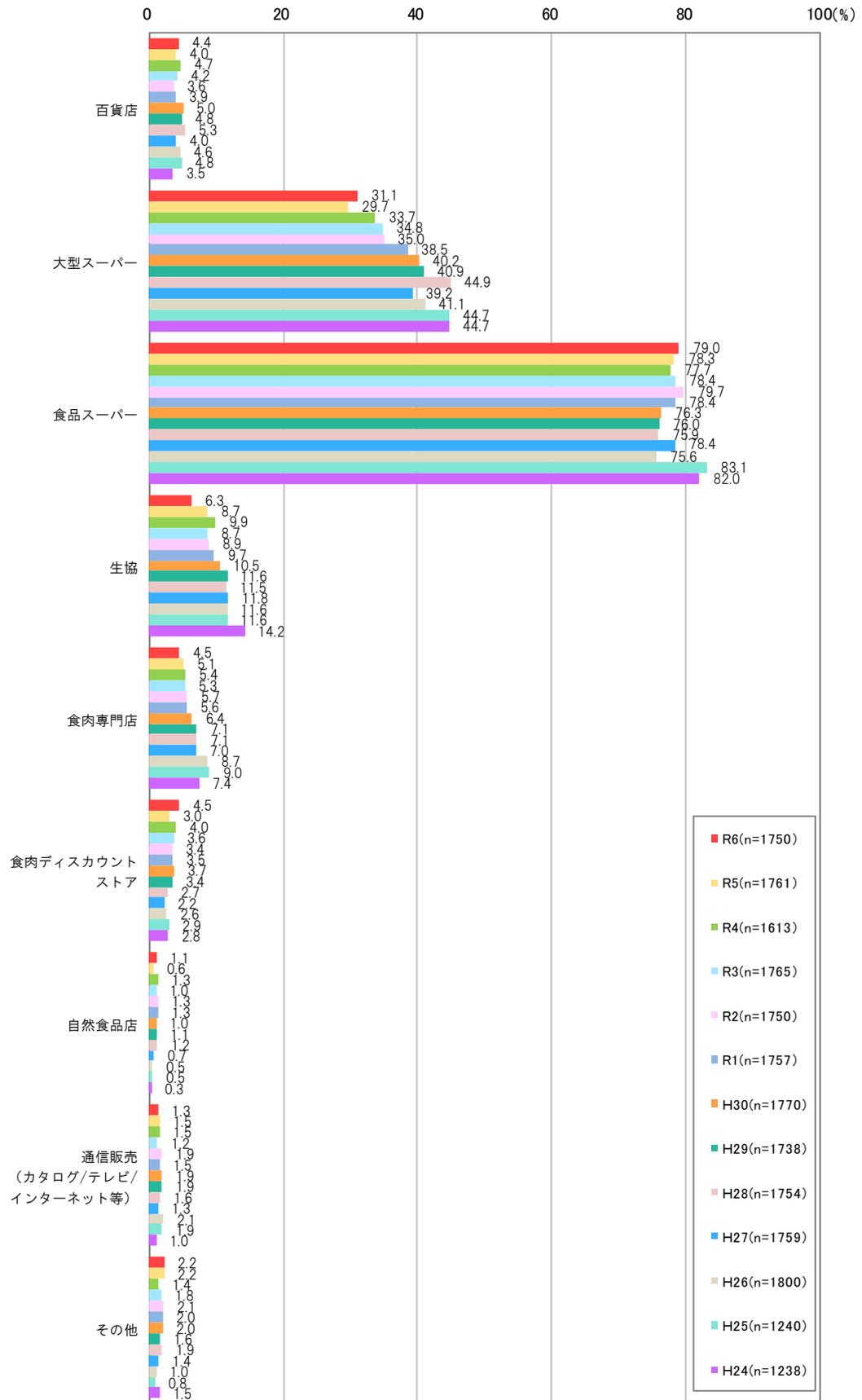
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「大型スーパー」「生協」「食肉専門店」が減少傾向にある。



図表 114 牛肉の主な購入先（経年変化）



図表 115 豚肉の主な購入先（経年変化）



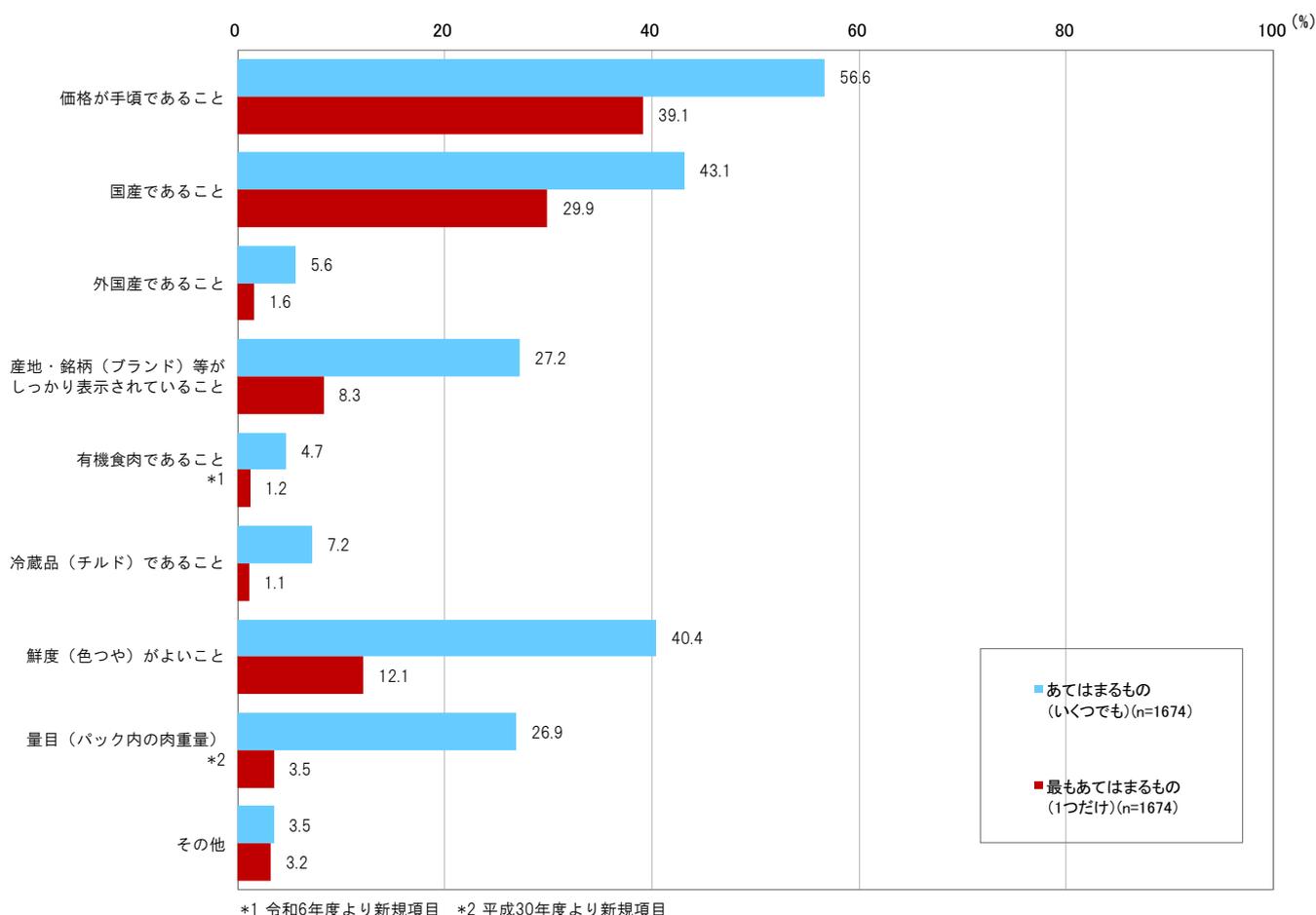
図表 116 鶏肉の主な購入先（経年変化）

## 5) 食肉購入時に重視する点 (Q8/複数回答)

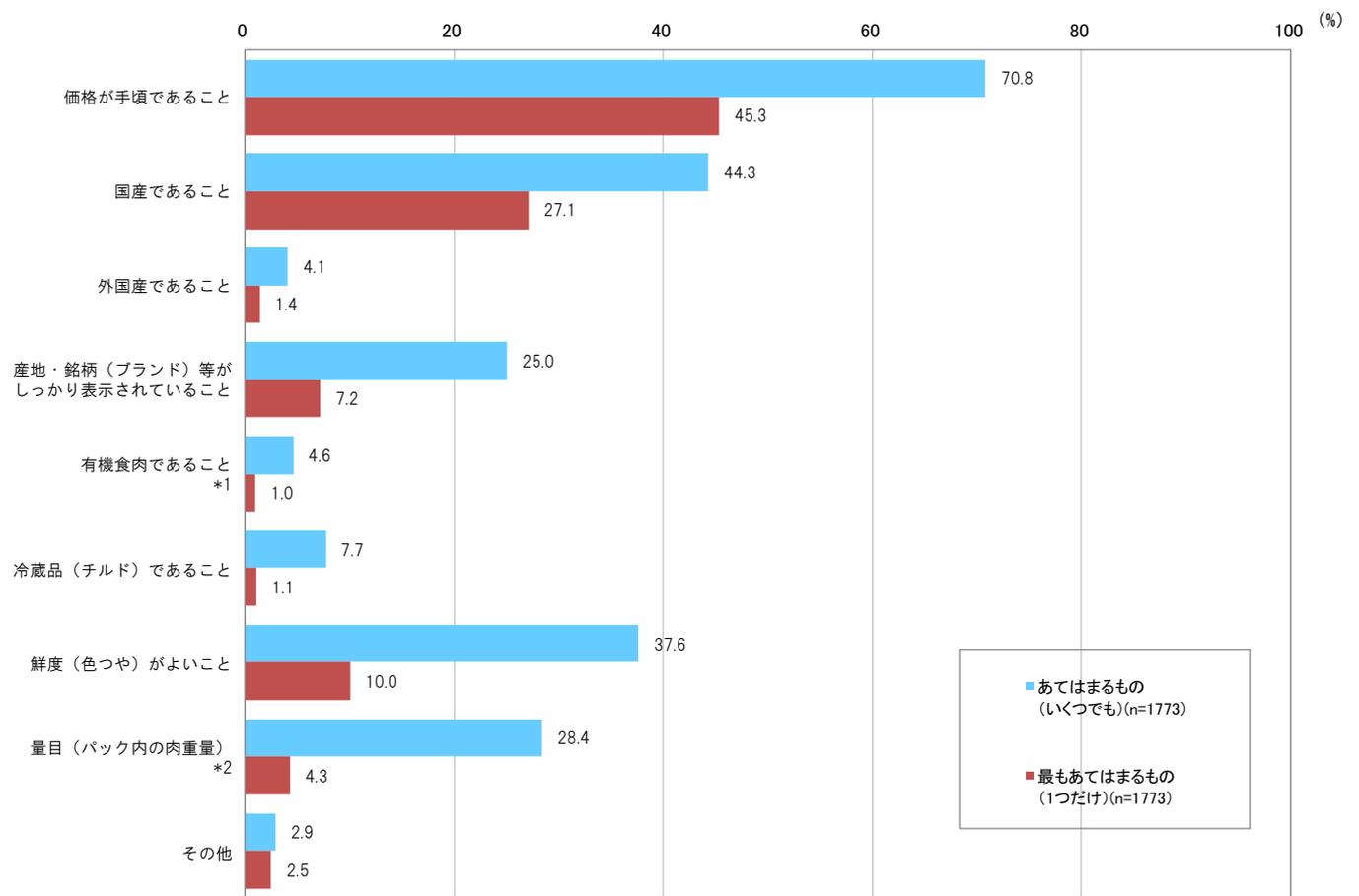
- ▶ いずれの食肉も上位3項目は「価格の手頃さ」「国産であること」「鮮度(色つや)がよいこと」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、昨年度と同傾向。

### 【今年度調査】

食肉購入時に重視する点を複数回答で聞いたところ、上位3項目は、どの食肉でも同じで、「価格が手頃であること」(牛肉 56.6%、豚肉 70.8%、鶏肉 72.1%)、「国産であること」(牛肉 43.1%、豚肉 44.3%、鶏肉 46.6%)、「鮮度(色つや)がよいこと」(牛肉 40.4%、豚肉 37.6%、鶏肉 37.2%)。

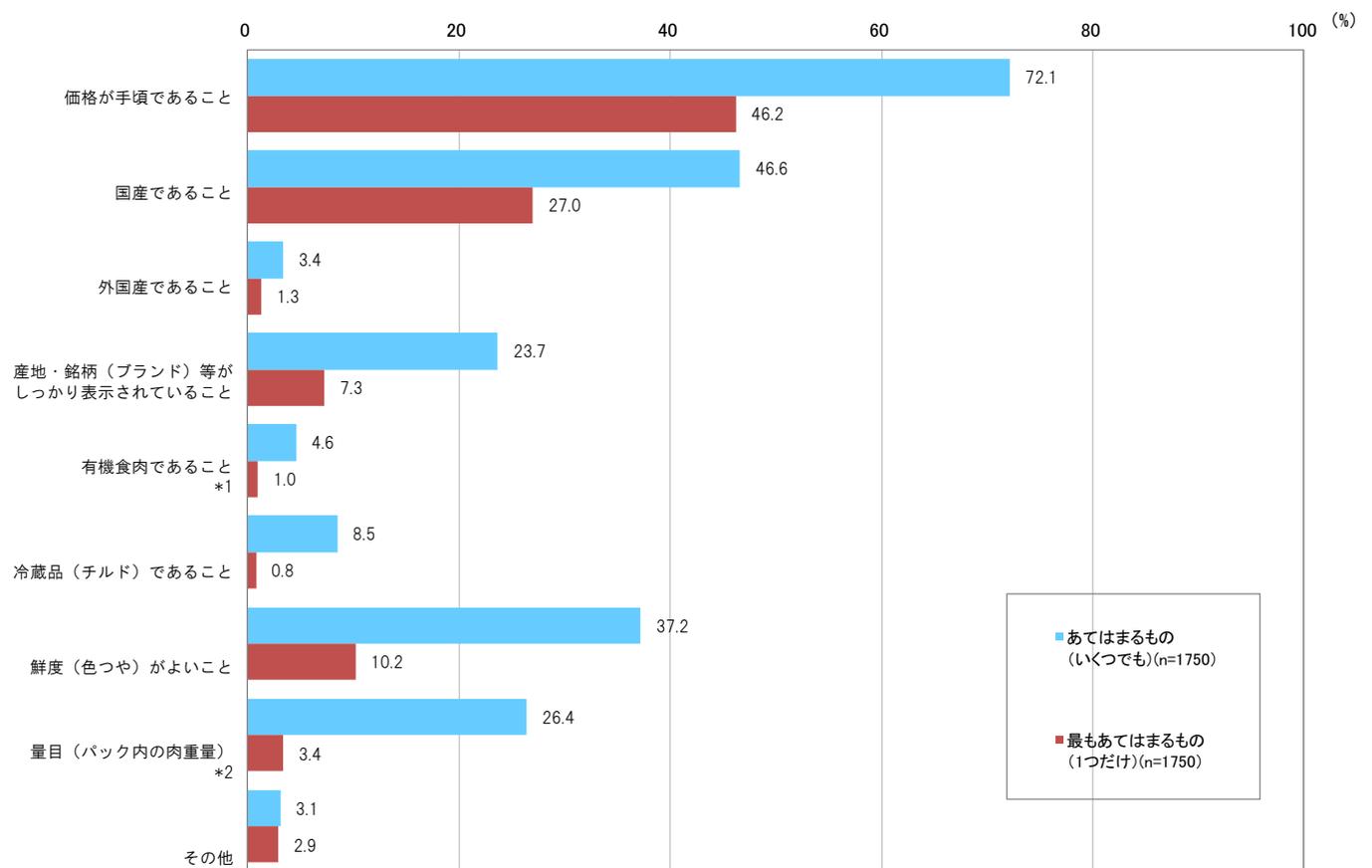


図表 117 牛肉購入時に重視する項目



\*1 令和6年度より新規項目 \*2 平成30年度より新規項目

図表 118 豚肉購入時に重視する項目

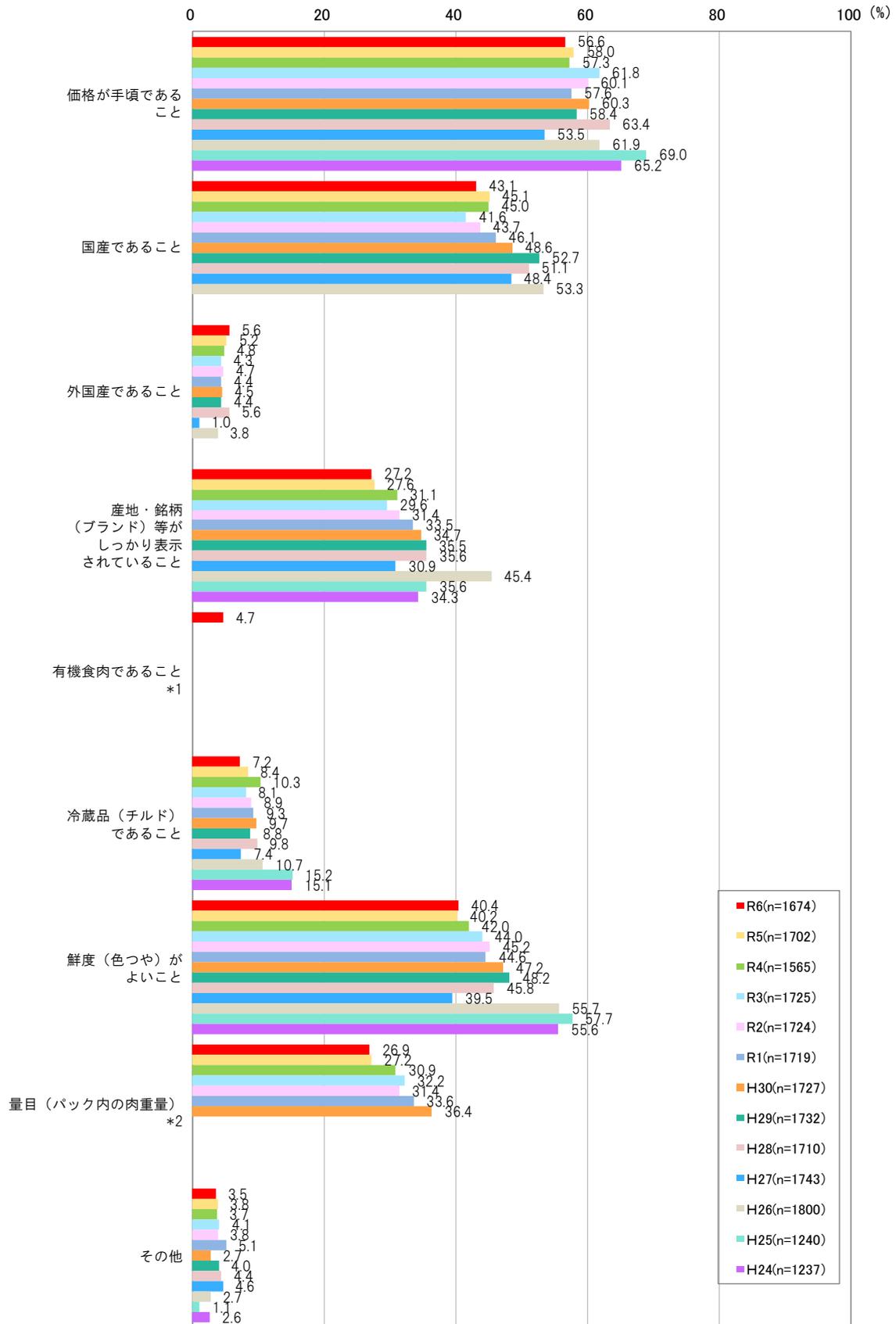


\*1 令和6年度より新規項目 \*2 平成30年度より新規項目

図表 119 鶏肉購入時に重視する項目

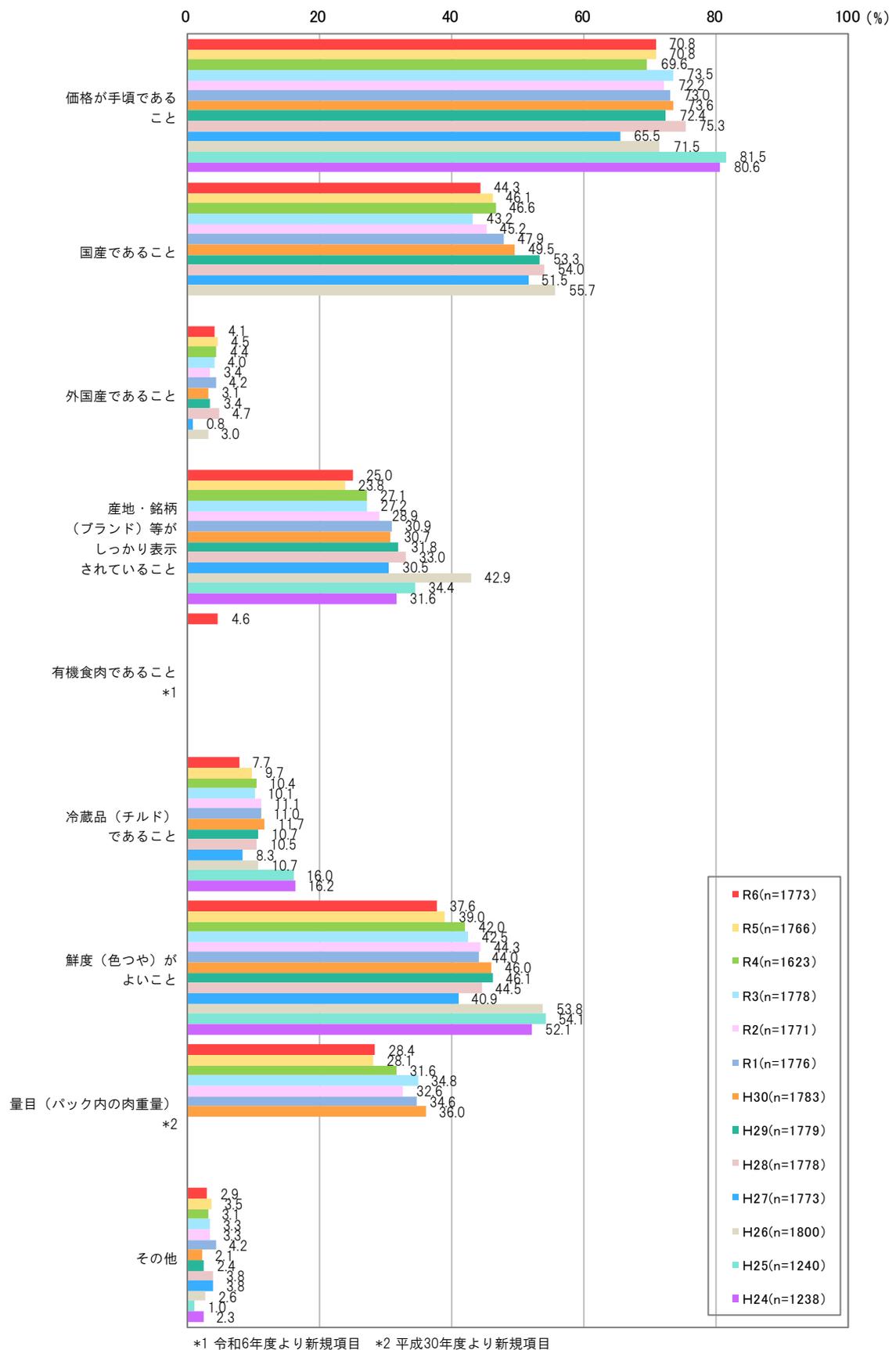
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。

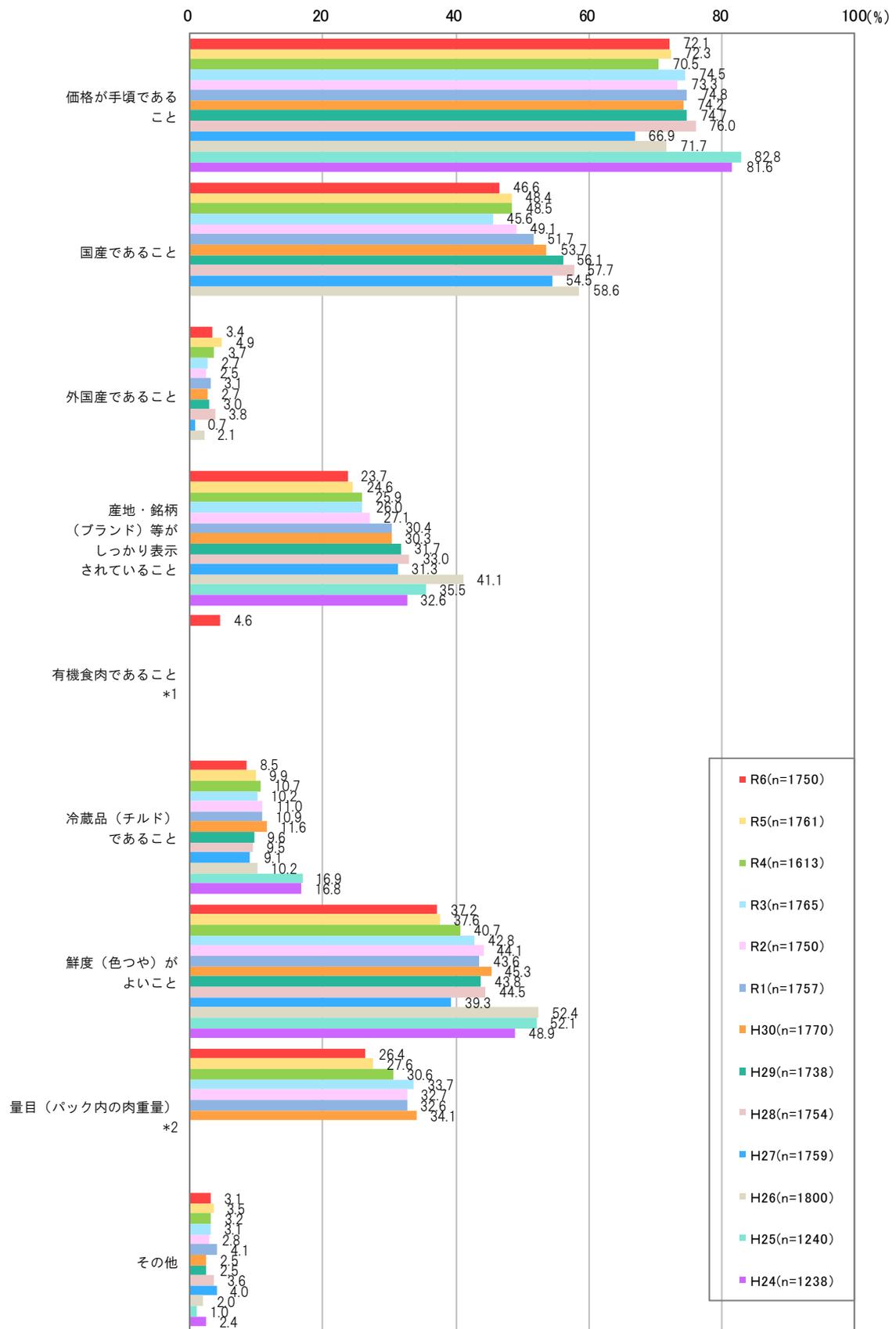


\*1 令和6年度より新規項目 \*2 平成30年度より新規項目

図表 120 牛肉購入時に重視する項目(経年変化)



図表 121 豚肉購入時に重視する項目（経年変化）



\*1 令和6年度より新規項目 \*2 平成30年度より新規項目

図表 122 鶏肉購入時に重視する項目(経年変化)

6) 昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化 (Q9)

- ▶ 食肉全体で「増えた計」は 11.0%。一方「減った計」は 16.0%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別に見ても大きな変化は見られない。

【今年度調査】

昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化を聞いたところ、食肉全体では「増えた計（増えた+やや増えた）」は 11.0%、「減った計（減った+やや減った）」は 16.0%。「変わらない」は 66.4%。

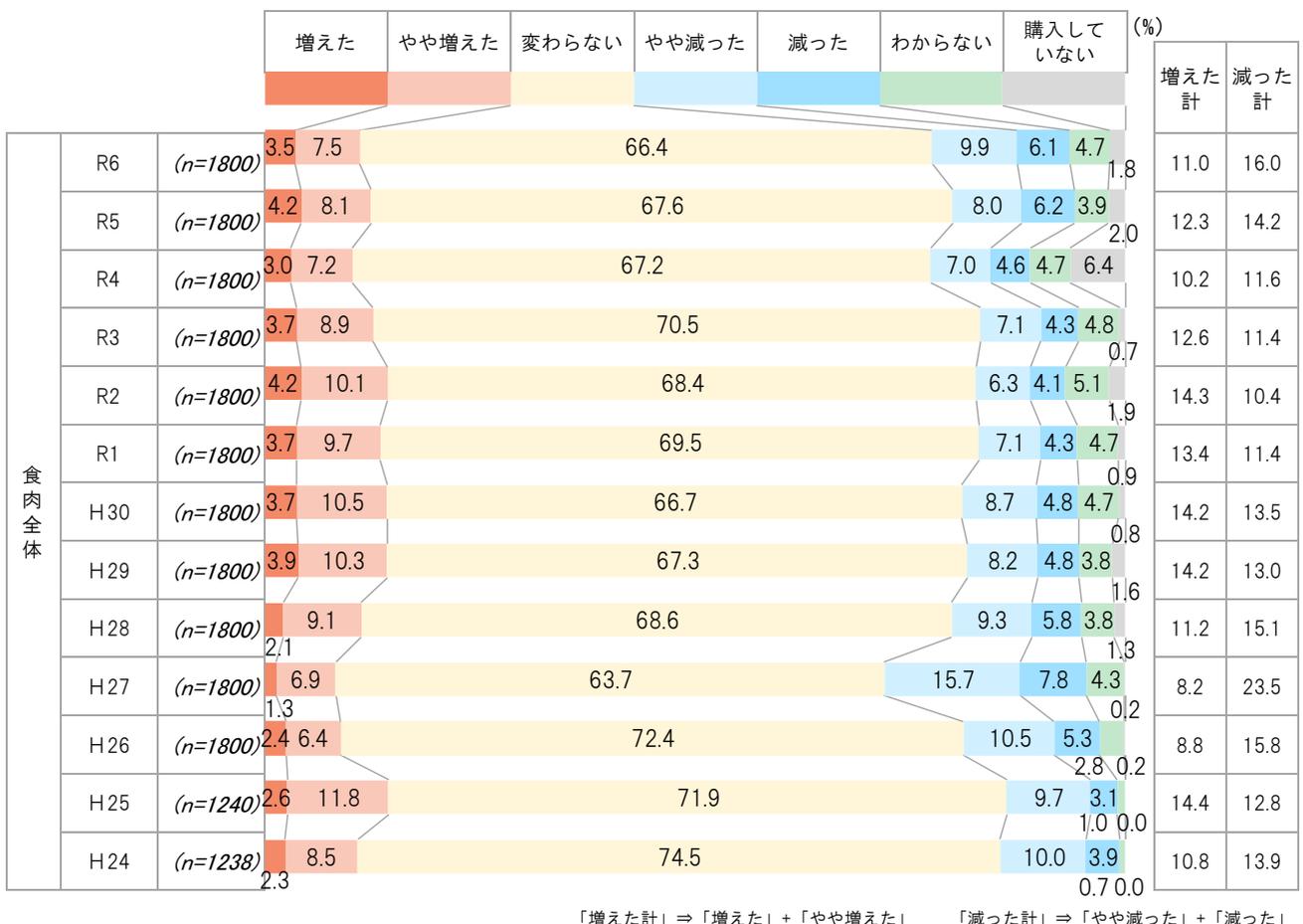
牛肉では、「増えた計」が最も多いのは国産和牛で 9.9%、「減った計」は、和牛以外の国産牛肉が 20.3%、輸入牛肉が 19.5%、国産和牛が 18.2%の順。

豚肉では、「増えた計」が国産豚肉で 10.9%、輸入豚肉では 7.8%。「減った計」は、国産豚肉で 14.2%、輸入豚肉で 15.7%。

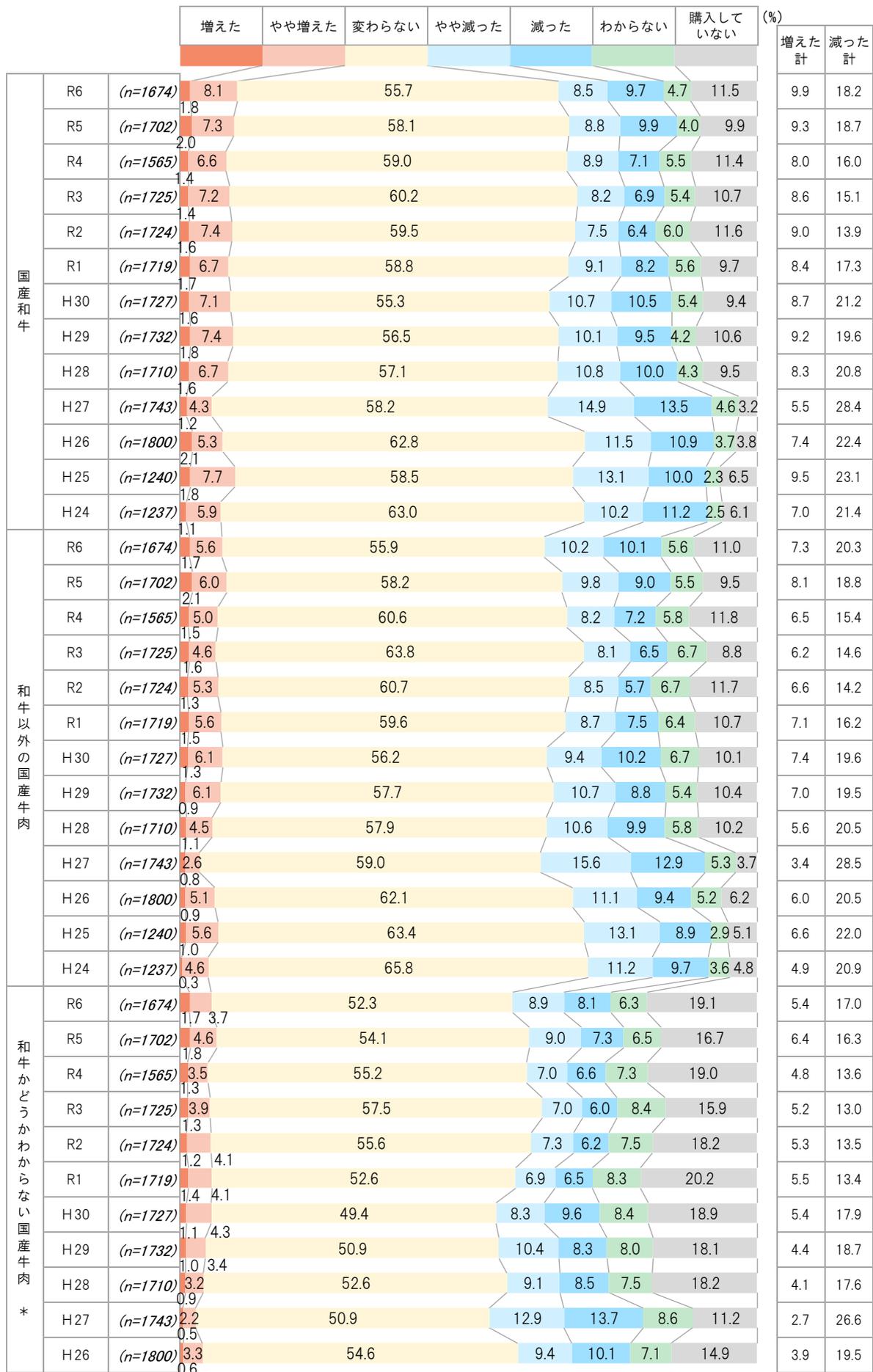
鶏肉では、「増えた計」が国産鶏肉で 12.0%、輸入鶏肉では 7.5%。「減った計」は、国産鶏肉で 13.4%、輸入鶏肉で 15.3%。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別に見ても、食肉購入回数に大きな変化は見られない。



図表 123 昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化 (食肉全体)

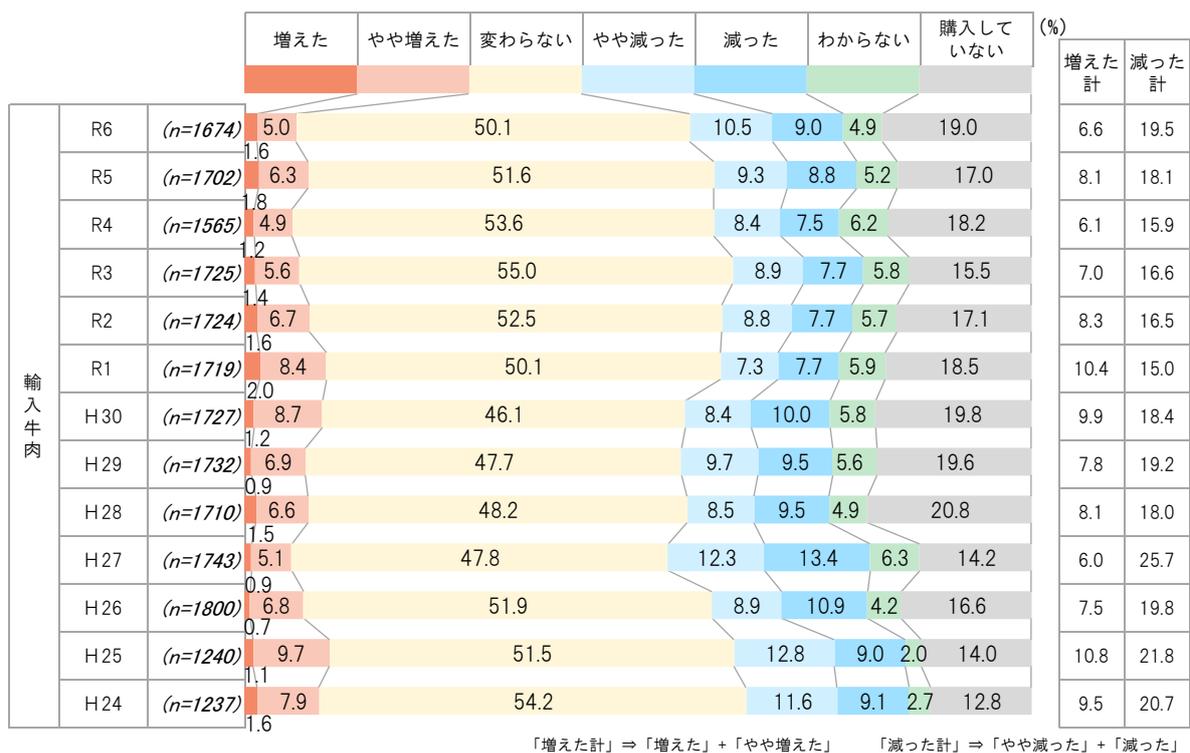


\* 平成26年度からの項目

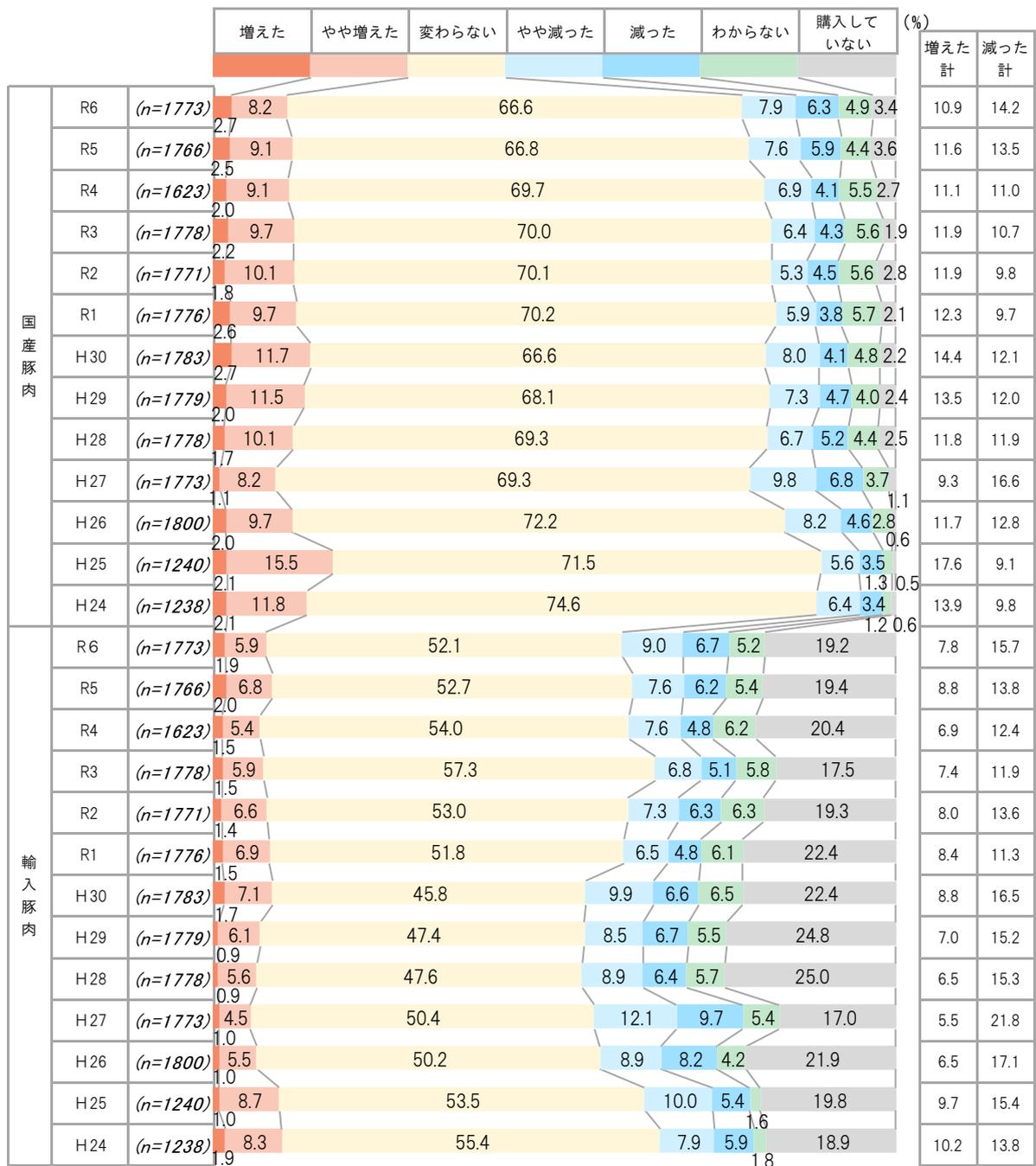
「増えた計」⇒「増えた」+「やや増えた」

「減った計」⇒「やや減った」+「減った」

図表 124 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（国産牛肉）

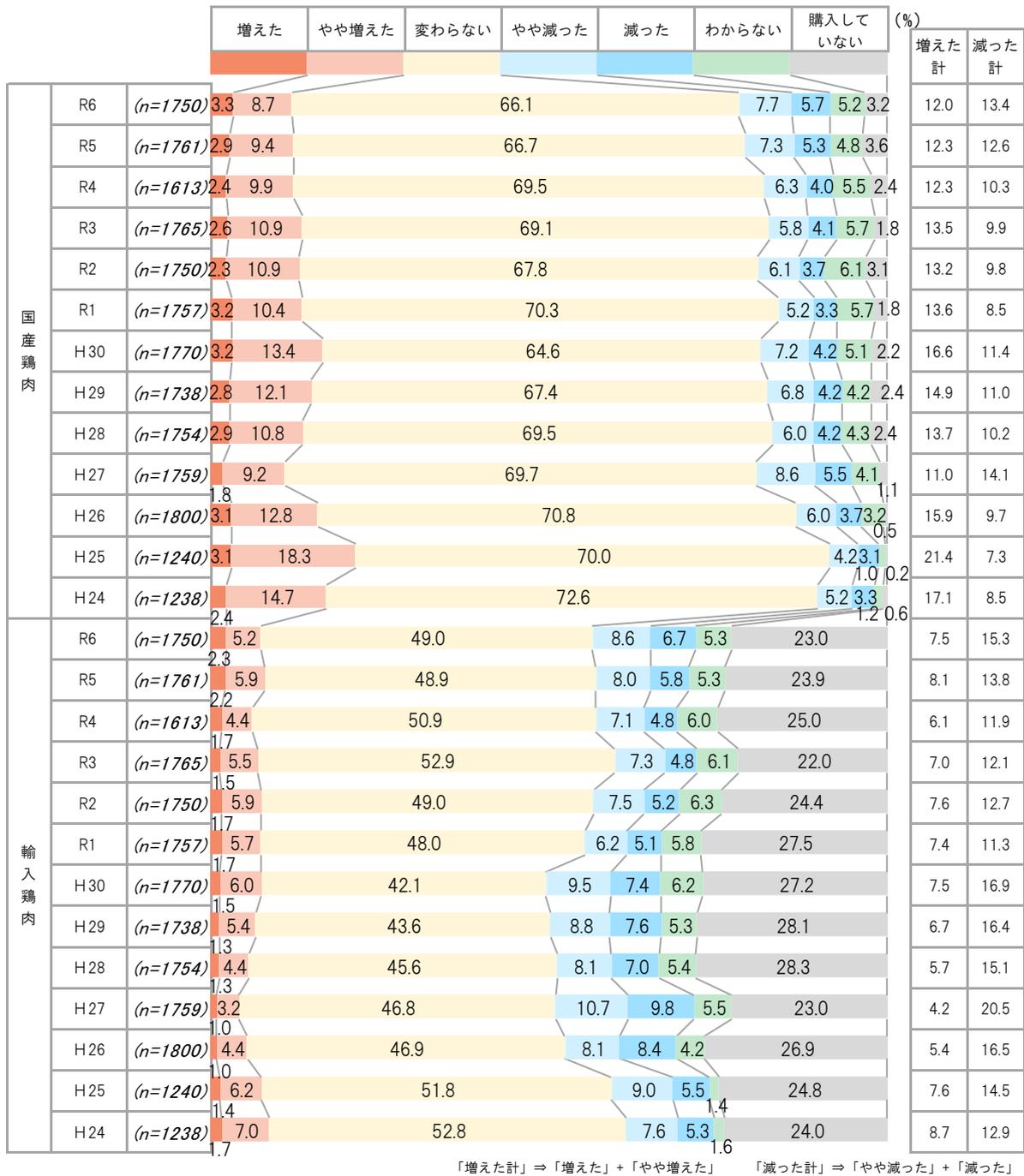


図表 125 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化（輸入牛肉）



「増えた計」⇒「増えた」+「やや増えた」 「減った計」⇒「やや減った」+「減った」

図表 126 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化（豚肉全体）



図表 127 昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化（鶏肉全体）

## 7) 昨年同期と比べた最近 1 か月間の食品の購入回数の変化 (Q10/複数回答)

- ▶ 最近 1 か月間の購入回数が「増えた食品」は、「パン」21.8%、「野菜」16.6%、「卵」14.4%、「米」13.9%。逆に、「減った食品」は、「ファストフード」21.2%、「米」20.1%、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」17.5%、「菓子類」17.1%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度より「減った食品」は、「米」である。

### 【今年度調査】

昨年同期と比べて最近 1 か月間の購入回数が「増えた食品」は、「パン」21.8%、「野菜」16.6%、「卵」14.4%、「米」13.9%の順に多い。増えたものは「いずれもない」が 50.4%である。

逆に、最近 1 か月間の購入回数が「減った食品」は、「ファストフード」21.2%、「米」20.1%、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」17.5%、「菓子類」17.1%の順に多い。減ったものは「いずれもない」が 45.1%である。

「増えた」と「減った」の差分で見ると、増加率の方が多い食品は「パン」10.1ポイント、「野菜」6.2ポイント、「卵」5.4ポイントである。

逆に、減少率の方が多い食品は、「ファストフード」-16.0ポイント、「菓子類」-6.9ポイント、「弁当・惣菜類」-6.4ポイント、「米」及び「食肉加工品」-6.2ポイント、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」-6.1ポイントである。

エリア別に見ると、「増えた食品」では、「パン」(首都圏 20.8%<京阪神圏 22.9%)は首都圏より京阪神圏の方が多い。「減った食品」では、「弁当・惣菜類」(首都圏 11.2%<京阪神圏 16.6%)は首都圏より京阪神圏の方が多い。

男女別に見ると、「増えた食品」では、「卵」(男性 12.6%<女性 16.2%)、「果物」(男性 10.4%<女性 13.8%)が男性より女性の方が多くなっている。「減った食品」では、「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」(男性 15.2%<女性 19.8%)が男性より女性の方が多い。

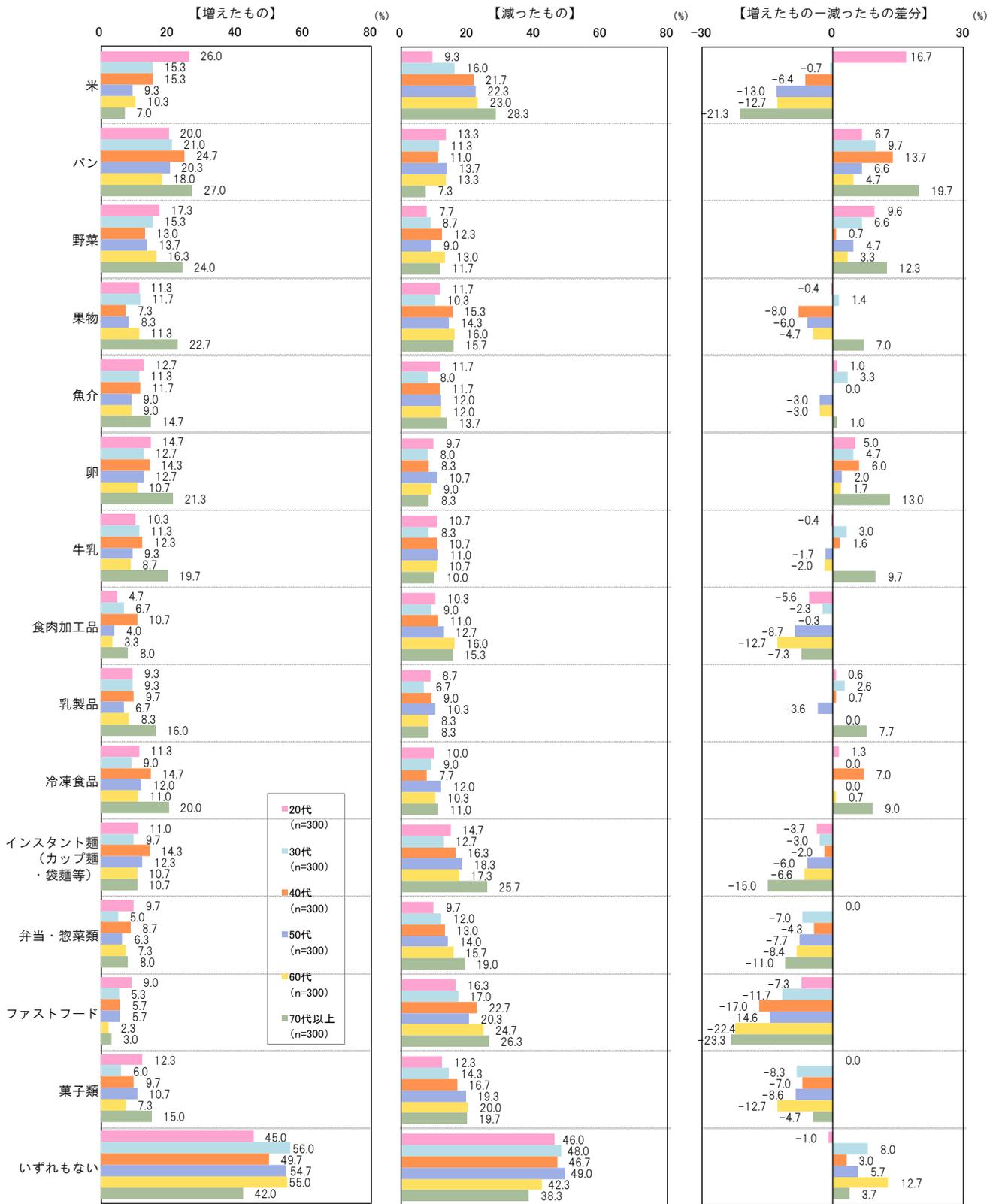
年代別に見ると、「増えた食品」では、「米」は若い世代の方が多くなっており、「パン」「野菜」「果物」「卵」「牛乳」「乳製品」「冷凍食品」は 70 代以上で多くなっている。一方、「減った食品」では、「米」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」「ファストフード」は 70 代以上で最も多くなっている。30~60 代は、「増えた食品」が「いずれもない」が多くなっている。

### 【過年度調査との比較】

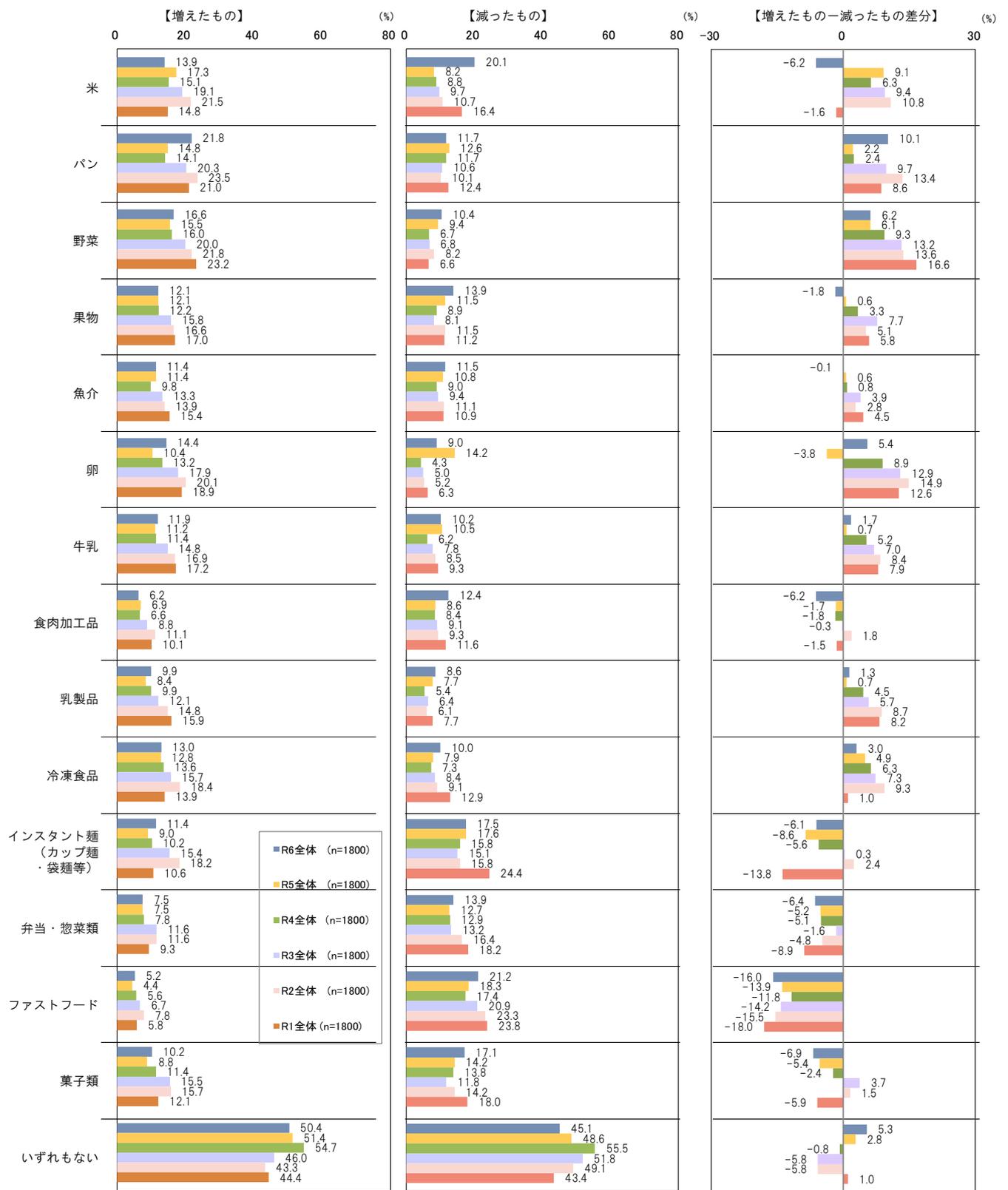
過年度調査と比較すると、昨年度より、「減った食品」は、「米」が 8.2%から 20.1%と 11.9ポイント増えている。



図表 128 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化  
(全体・エリア・性別/複数回答)



図表 129 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化（年代別／複数回答）



図表 130 昨年同期と比べた最近1か月間の食品購入回数の変化（経年変化）

## 8) 各種牛肉の購入意向 (Q11)

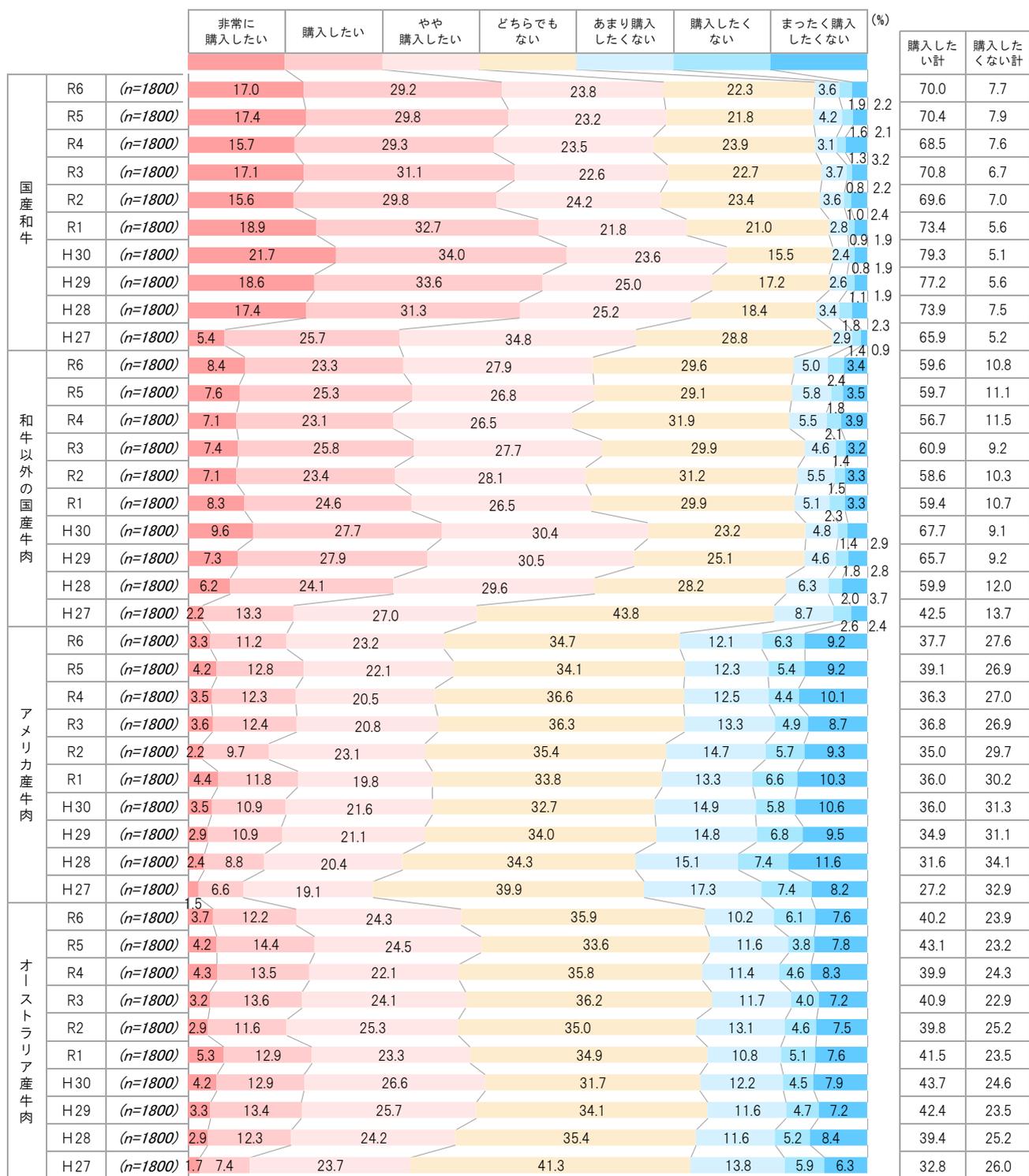
- ▶ 牛肉の購入意向は、「国産和牛」が最も高く **70.0%**。次いで「和牛以外の国産牛肉」が **59.6%**。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」いずれも大きな変化なし。

### 【今年度調査】

「購入したい計（非常に購入したい＋購入したい＋やや購入したい）」では、「国産和牛」が **70.0%**、「和牛以外の国産牛肉」が **59.6%**の順で高い。一方で「購入したくない（あまり購入したくない＋購入したくない＋まったく購入したくない）」は、「アメリカ産牛肉」が **27.6%**、「オーストラリア産牛肉」が **23.9%**の順で高い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」のいずれも大きな変化は見られない。



「購入したい計」⇒「非常に購入したい」+「購入したい」+「やや購入したい」/「購入したくない計」⇒「あまり購入したくない」+「購入したくない」+「まったく購入したくない」

図表 131 各種牛肉の購入意向

## 9) 各種牛肉の購入頻度 (Q12)

- ▶ 各種牛肉の購入頻度は、「週に1日以上購入計」では、「国産和牛」24.9%、「和牛以外の国産牛肉」21.8%、「和牛かどうかわからない国産牛肉」16.7%、「オーストラリア産牛肉」15.5%、「アメリカ産牛肉」15.1%の順に多い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。

### 【今年度調査】

各種牛肉の購入頻度は、国産和牛は、「ほぼ毎日」が2.0%、「週に4~5日程度」が1.7%、「週に2~3日」が6.6%、「週に1日程度」が14.6%であり、「週に1日以上購入計」が24.9%となっており、「購入していない」が13.2%である。

和牛以外の国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.3%、「週に4~5日程度」が1.9%、「週に2~3日」が5.3%、「週に1日程度」が13.3%であり、「週に1日以上購入計」が21.8%となっており、「購入していない」が14.3%である。

和牛かどうかわからない国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.3%、「週に4~5日程度」が1.3%、「週に2~3日」が4.1%、「週に1日程度」が8.8%であり、「週に1日以上購入計」が16.7%となっており、「購入していない」が28.1%である。

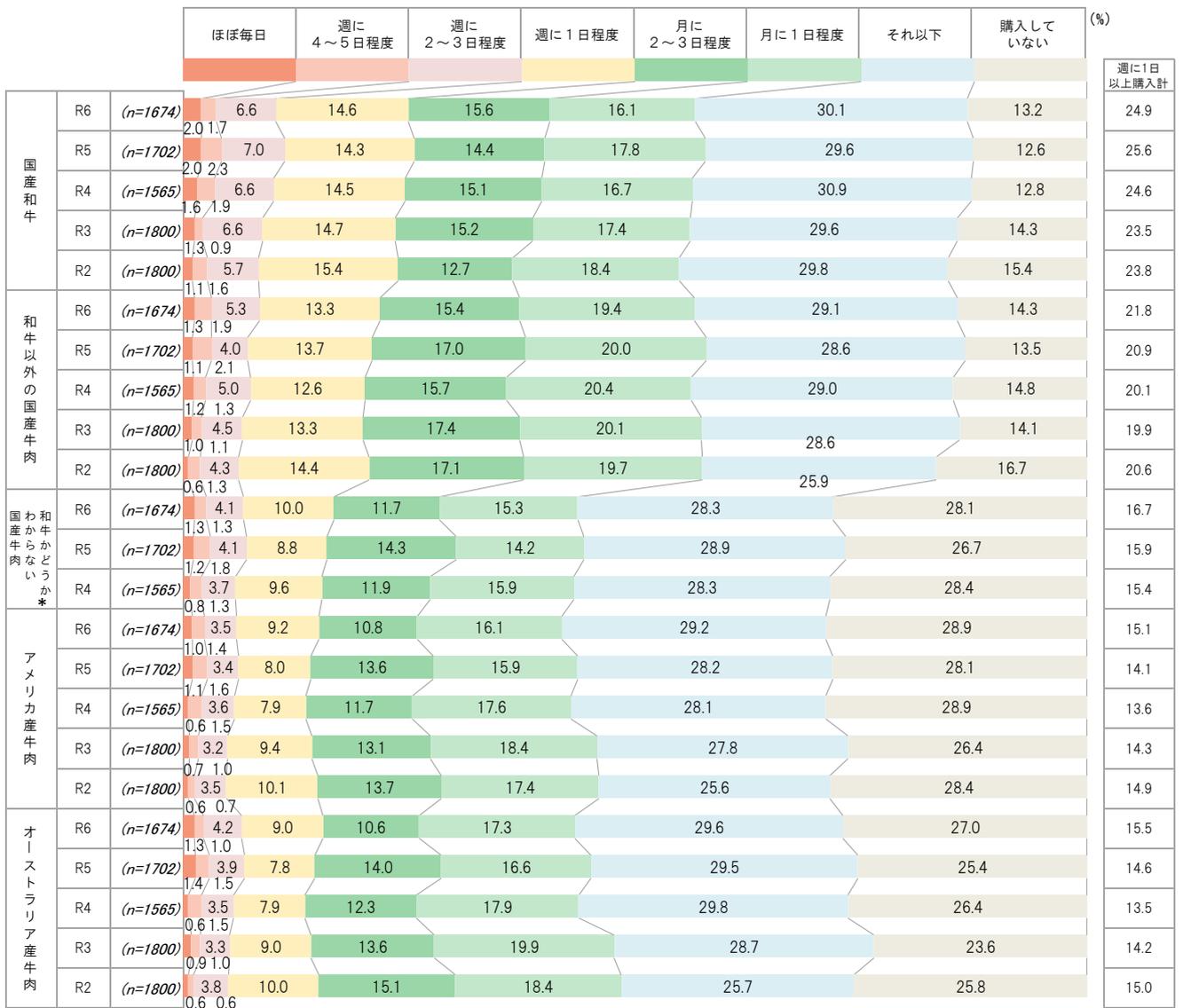
アメリカ産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.0%、「週に4~5日程度」が1.4%、「週に2~3日」が3.5%、「週に1日程度」が9.2%であり、「週に1日以上購入計」が15.1%となっており、「購入していない」が28.9%である。

オーストラリア産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が1.3%、「週に4~5日程度」が1.0%、「週に2~3日」が4.2%、「週に1日程度」が9.0%であり、「週に1日以上購入計」が15.5%となっており、「購入していない」が27.0%である。

各種牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、「国産和牛」24.6%、「和牛以外の国産牛肉」21.8%、「和牛かどうかわからない国産牛肉」16.7%、「オーストラリア産牛肉」15.5%、「アメリカ産牛肉」15.1%の順に多くなっている。

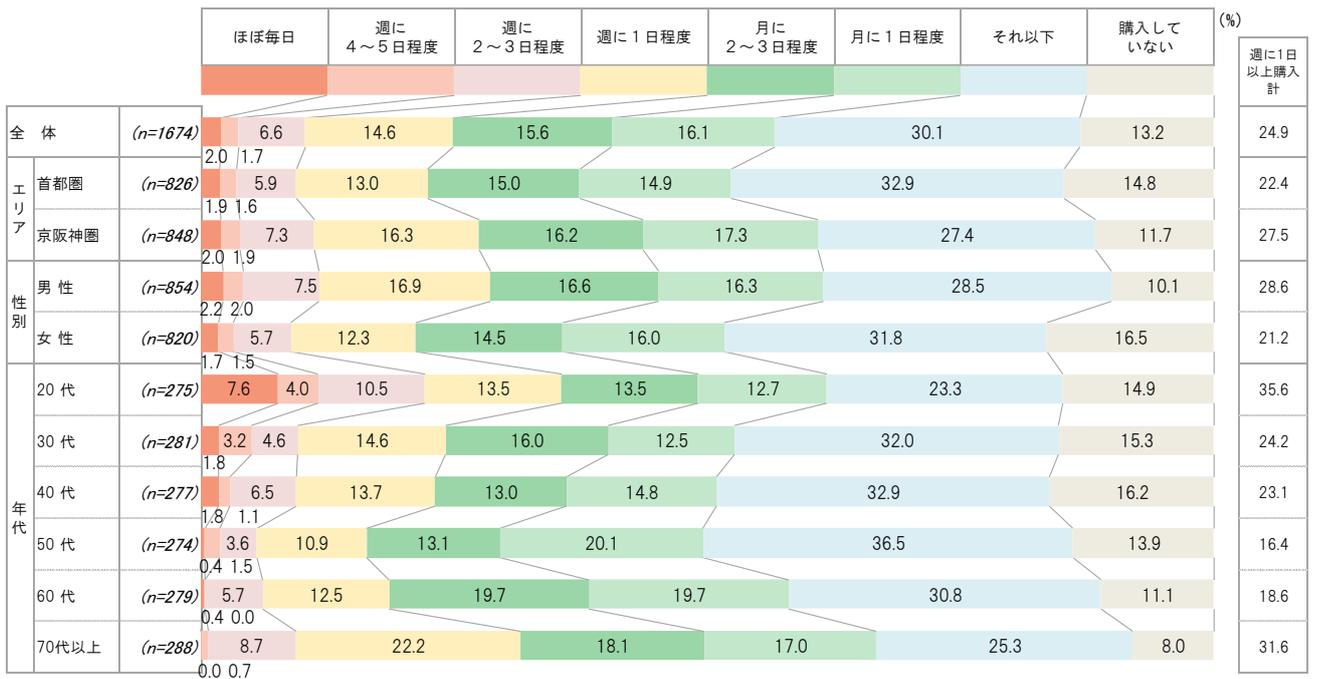
### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。



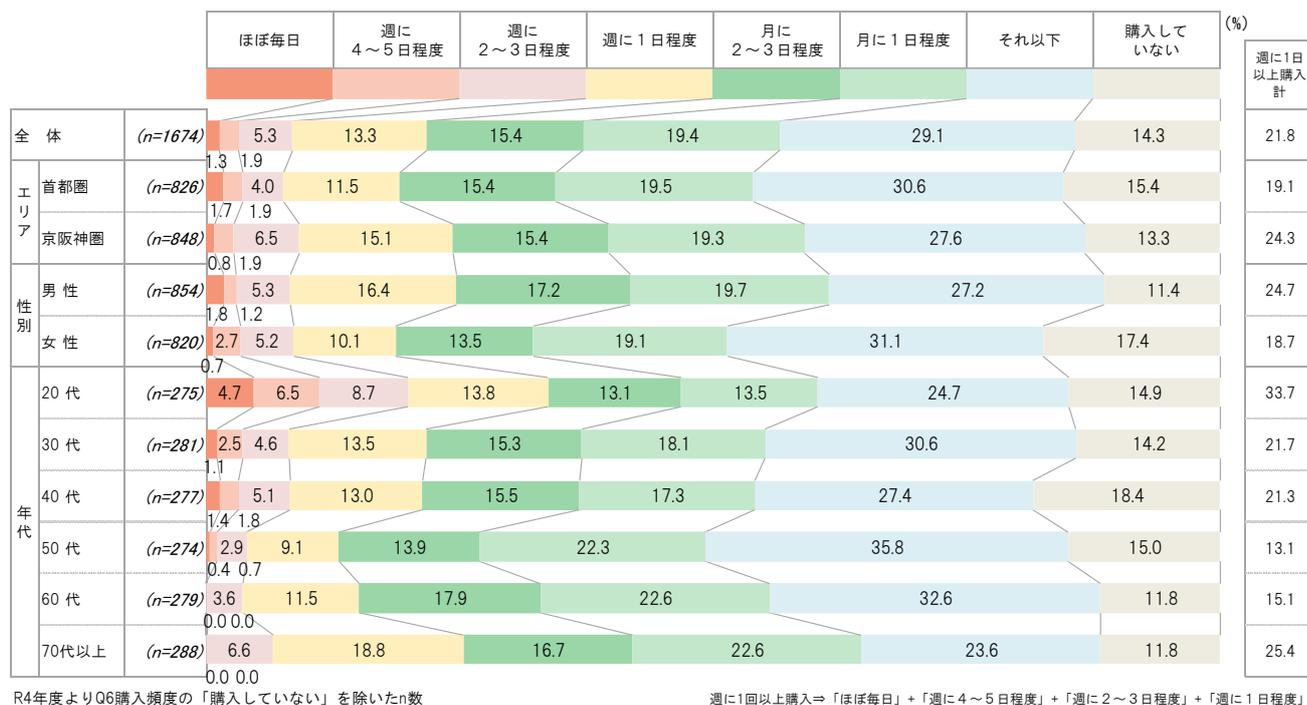
R4年度よりQ6購入頻度の「購入していない」を除いたn数  
 \*「和牛かどうかわからない国産牛肉」R4年度よりの新規項目  
 週に1日以上購入⇒「ほぼ毎日」+「週に4～5日程度」+「週に2～3日程度」+「週に1日程度」

図表 132 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度（経年変化）

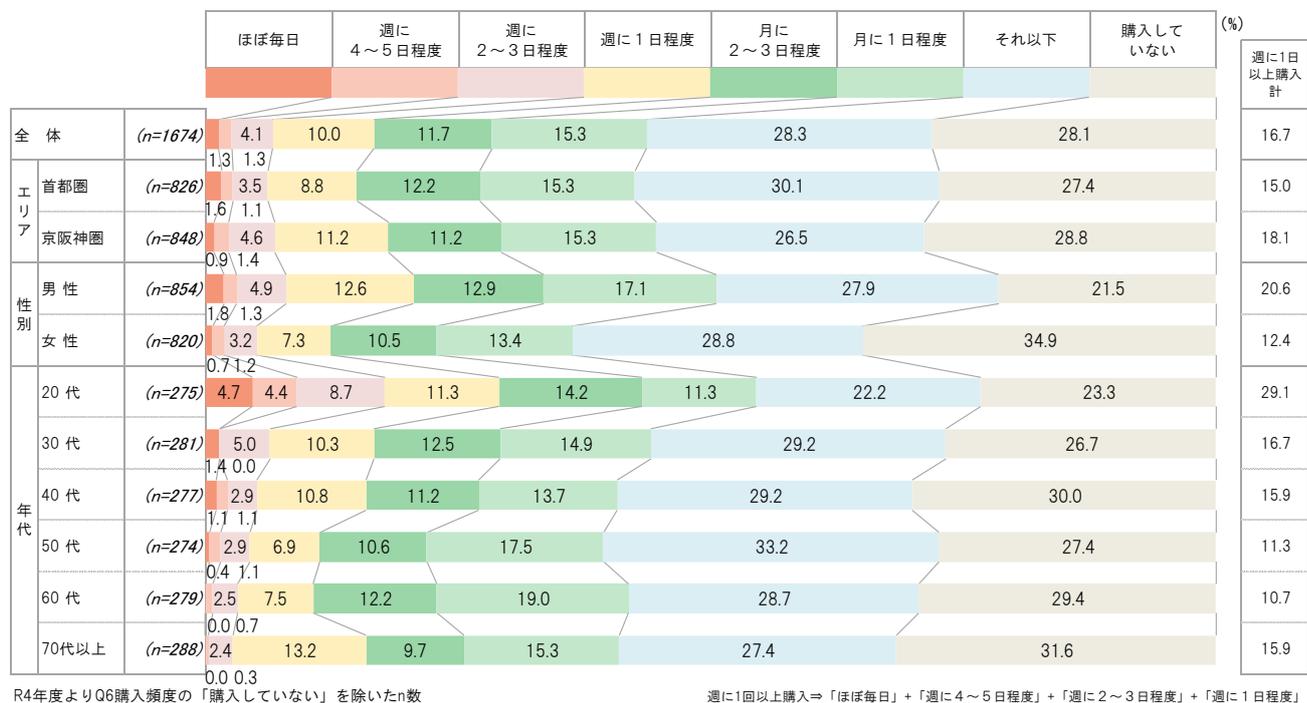


R4年度よりQ6購入頻度の「購入していない」を除いたn数  
 週に1回以上購入⇒「ほぼ毎日」+「週に4～5日程度」+「週に2～3日程度」+「週に1日程度」

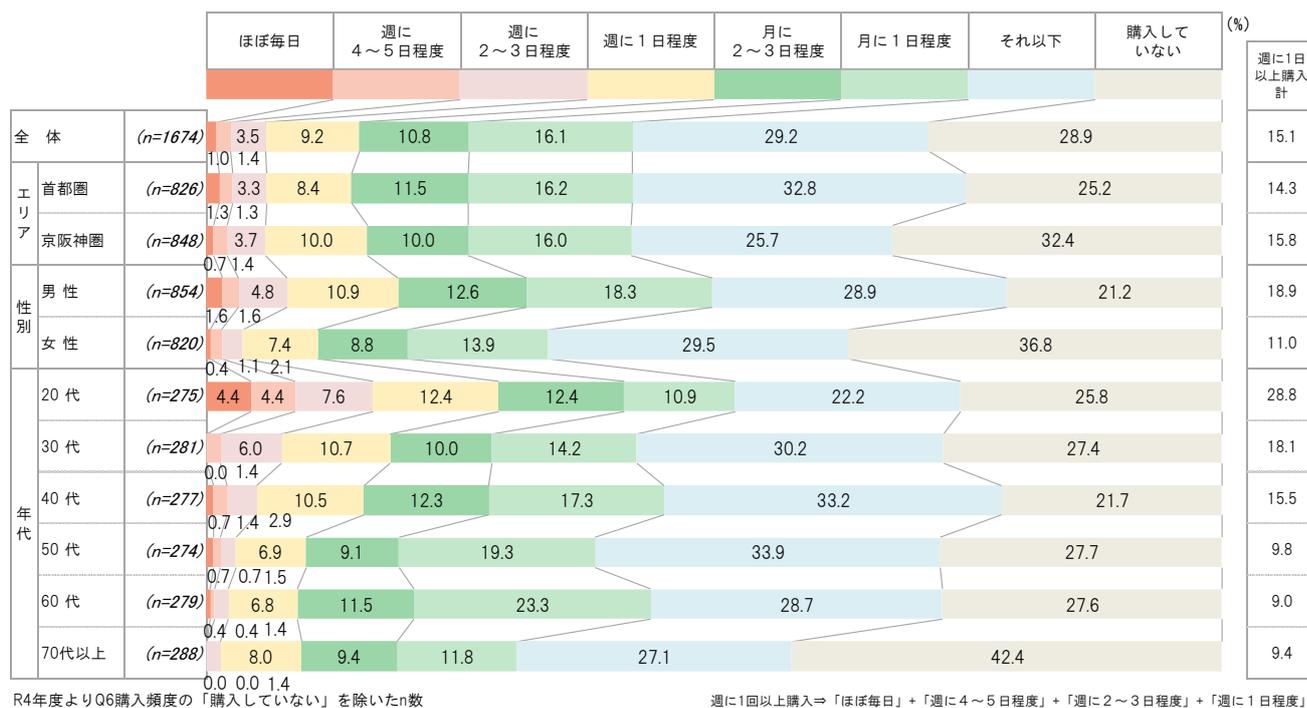
図表 133 国産和牛の購入頻度



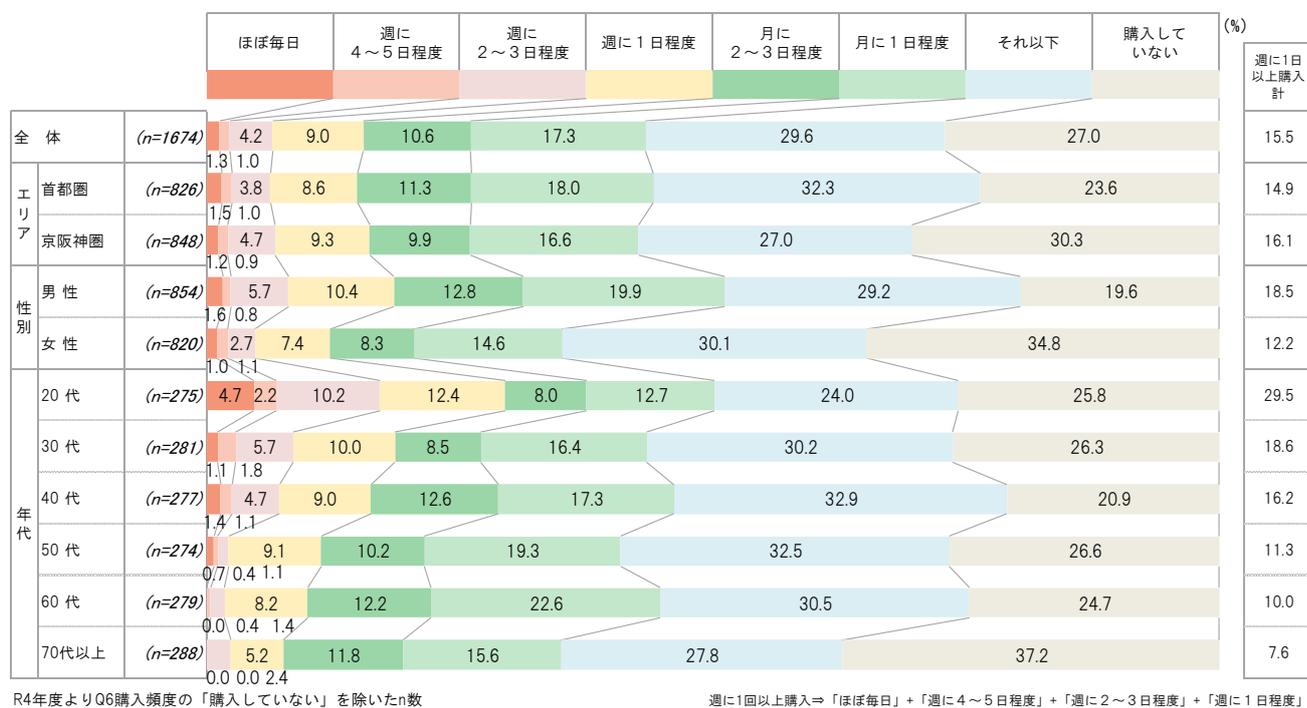
図表 134 和牛以外の国産牛肉の購入頻度



図表 135 和牛かどうか分からない国産牛肉の購入頻度



図表 136 アメリカ産牛肉の購入頻度



図表 137 オーストラリア産牛肉の購入頻度

## 10) 各種牛肉のイメージ (Q13/複数回答)

- ▶ 国産和牛は、「高級」「おいしい」「贅沢感がある」「高品質」「安全・安心」「霜降り」「柔らかい」「飼育環境がよい」「和食に合う」「赤身がおいしい」「シニア向き」と 11 のイメージ項目で最もイメージが高く、高いイメージ評価。
- ▶ 和牛以外の国産牛肉は、国産和牛に次いで、「おいしい」「安全・安心」「和食に合う」といったイメージが高い。
- ▶ アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「価格が手頃」「特売」「洋食に合う」「若者向き」「赤身が多い」といったイメージが高い。

### 【今年度調査】

16 のイメージ項目について、あてはまると思う牛肉を複数回答で聞いた。

国産和牛は、「高級」72.0%、「おいしい」68.9%、「贅沢感がある」68.5%、「高品質」67.1%、「安全・安心」65.8%、「霜降り」64.8%、「柔らかい」63.2%、「飼育環境がよい」49.9%、「和食に合う」49.4%、「赤身がおいしい」36.7%、「シニア向き」32.6%と 11 のイメージ項目で、他の牛肉に比して最もイメージが高く、高いイメージ評価を得ている。

和牛以外の国産牛肉は、国産和牛に次いで、「おいしい」35.4%、「安全・安心」34.4%、「和食に合う」26.9%といったイメージが高くなっている。

アメリカ産牛肉は、「価格が手頃」49.3%、「特売」42.5%、「洋食に合う」35.2%、「若者向き」33.6%、「赤身が多い」28.6%といったイメージが高くなっている。

オーストラリア産牛肉は、アメリカ産牛肉と同じく、「価格が手頃」51.1%、「特売」39.7%、「洋食に合う」30.6%、「赤身が多い」27.7%、「若者向き」27.2%といったイメージが高くなっている。

今年度の国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉の 16 のイメージ項目について、図表 138 のレーダーチャートで示した。

### 【過年度調査との比較】

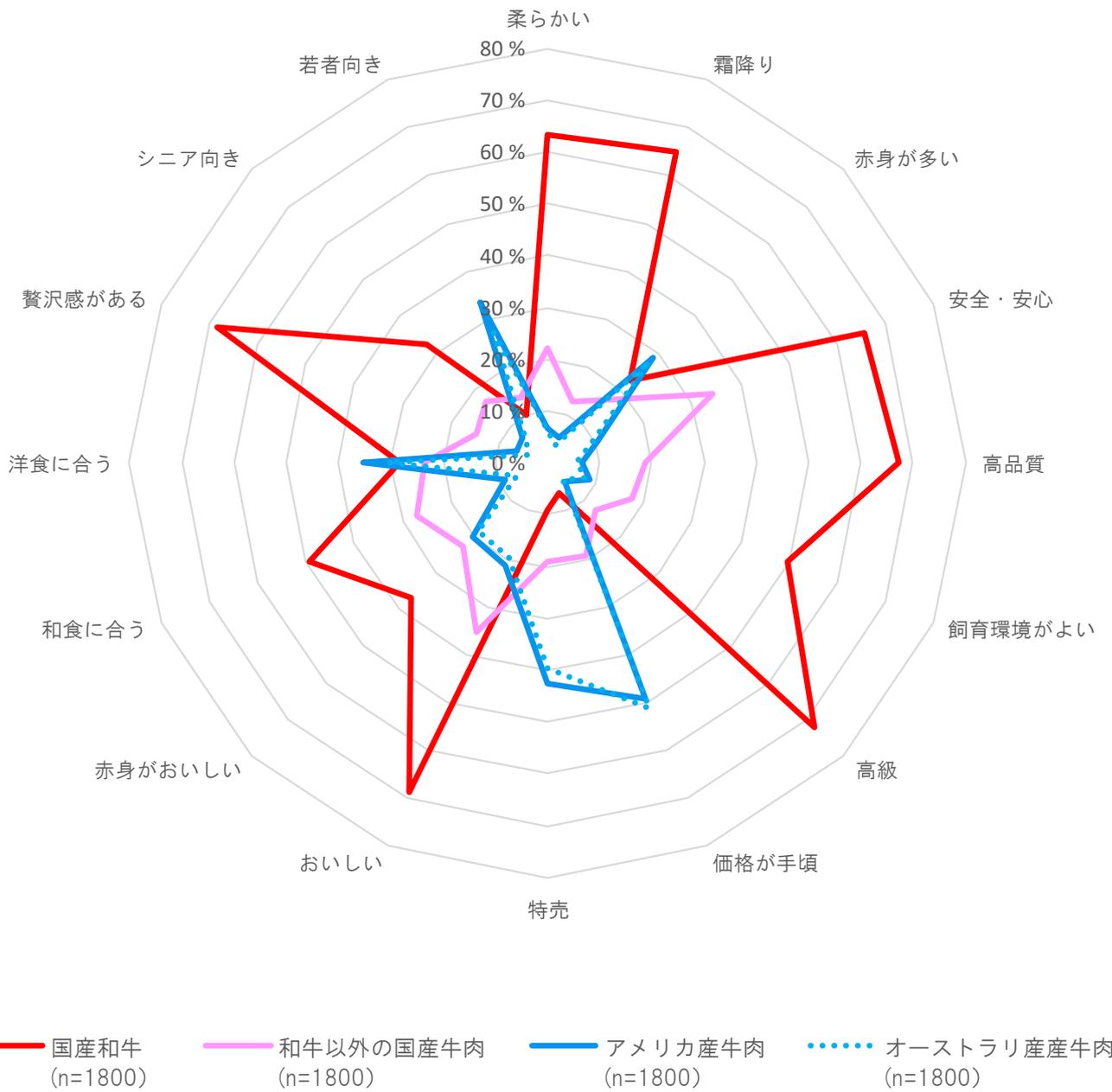
過年度調査と比較すると、各種牛肉のイメージに大きな変化は見られない。

(%)

			国産和牛	和牛以外の 国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産 牛肉	あてはまる ものはない
食感	柔らかい	R6 (n=1800)	63.2	22.2	6.8	6.4	25.0
		R5 (n=1800)	61.9	23.1	8.9	7.2	24.4
		R4 (n=1800)	63.2	20.0	8.3	7.3	24.7
部位・ 栄養素	霜降り	R6 (n=1800)	64.8	12.7	5.4	3.7	24.3
		R5 (n=1800)	64.2	14.3	6.6	3.6	23.6
		R4 (n=1800)	67.7	12.8	5.2	2.9	22.8
	赤身が多い	R6 (n=1800)	22.3	17.1	28.6	27.7	34.6
		R5 (n=1800)	20.9	17.8	28.1	25.9	35.1
		R4 (n=1800)	19.6	15.6	30.7	27.5	35.6
品質	安全・安心	R6 (n=1800)	65.8	34.4	10.4	8.7	22.4
		R5 (n=1800)	65.8	33.7	13.0	12.6	21.7
		R4 (n=1800)	65.1	32.6	10.3	10.8	24.4
	高品質	R6 (n=1800)	67.1	18.8	6.6	5.4	21.9
		R5 (n=1800)	65.3	18.4	7.2	6.2	21.9
		R4 (n=1800)	68.2	16.8	7.0	6.6	21.5
ウニ マ ル	飼育環境 がよい	R6 (n=1800)	49.9	17.6	8.6	7.9	36.3
		R5 (n=1800)	50.0	19.4	9.2	10.5	34.2
		R4 (n=1800)	51.9	17.3	8.4	10.1	35.3
価格	高級	R6 (n=1800)	72.0	13.1	4.9	4.4	18.3
		R5 (n=1800)	70.4	13.3	6.8	4.7	18.2
		R4 (n=1800)	73.2	11.7	5.2	4.2	17.5
	価格が手頃	R6 (n=1800)	6.1	19.3	49.3	51.1	27.1
		R5 (n=1800)	8.2	19.2	52.5	52.8	23.9
		R4 (n=1800)	5.8	18.3	52.9	55.3	23.7
	特売	R6 (n=1800)	9.1	19.0	42.5	39.7	33.5
		R5 (n=1800)	10.3	18.8	42.7	37.4	32.8
		R4 (n=1800)	8.2	19.8	42.6	39.8	33.1
味・ 風味	おいしい	R6 (n=1800)	68.9	35.4	21.3	19.7	18.9
		R5 (n=1800)	69.1	36.4	20.8	21.9	17.8
		R4 (n=1800)	71.7	34.8	21.3	20.7	17.7
	赤身が おいしい	R6 (n=1800)	36.7	22.9	20.2	18.7	34.6
		R5 (n=1800)	36.5	23.8	18.2	19.1	33.4
		R4 (n=1800)	36.7	22.0	20.3	19.2	34.1
利便性	和食に合う	R6 (n=1800)	49.4	26.9	8.7	6.3	35.1
		R5 (n=1800)	51.3	27.2	9.5	7.3	32.6
		R4 (n=1800)	52.9	26.4	8.3	7.4	33.3
	洋食に合う	R6 (n=1800)	28.4	23.4	35.2	30.6	35.5
		R5 (n=1800)	31.8	24.1	34.2	30.5	34.2
		R4 (n=1800)	29.7	21.8	36.7	32.8	34.3
情緒	贅沢感がある	R6 (n=1800)	68.5	14.7	6.3	3.8	21.4
		R5 (n=1800)	66.7	14.7	6.9	4.9	21.7
		R4 (n=1800)	69.9	12.9	6.7	4.9	20.2
	シニア向き	R6 (n=1800)	32.6	16.7	6.9	5.7	50.2
		R5 (n=1800)	33.3	16.6	7.7	6.3	47.6
		R4 (n=1800)	33.4	15.8	6.9	6.2	49.4
	若者向き	R6 (n=1800)	10.2	13.8	33.6	27.2	46.1
		R5 (n=1800)	12.5	13.8	32.4	26.7	44.0
		R4 (n=1800)	10.6	12.8	33.9	27.9	44.9

■ R6 国産和牛    ■ R6 和牛以外の国産牛肉    ■ R6 アメリカ産牛肉    ■ R6 オーストラリア産牛肉    ■ R6 あてはまるものはない  
■ R5 国産和牛    ■ R5 和牛以外の国産牛肉    ■ R5 アメリカ産牛肉    ■ R5 オーストラリア産牛肉    ■ R5 あてはまるものはない  
■ R4 国産和牛    ■ R4 和牛以外の国産牛肉    ■ R4 アメリカ産牛肉    ■ R4 オーストラリア産牛肉    ■ R4 あてはまるものはない

図表 138 各種牛肉のイメージ



図表 139 各種牛肉のイメージ (レーダーチャート)

(%)

		食感	部位・栄養素		品質		品質 アニマルウェルフェア	価格		
		柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
全体	(n=1800)	63.2	64.8	22.3	65.8	67.1	49.9	72.0	6.1	9.1
エリア	首都圏 (n=900)	65.3	65.2	21.8	65.9	67.4	49.8	73.2	6.2	9.8
	京阪神圏 (n=900)	61.1	64.4	22.8	65.8	66.7	50.1	70.8	6.0	8.3
性別	男性 (n=900)	62.0	64.4	21.0	62.9	64.1	47.1	68.6	7.4	10.1
	女性 (n=900)	64.4	65.2	23.6	68.8	70.0	52.8	75.4	4.8	8.0
年代	20代 (n=300)	46.3	48.3	22.0	54.0	52.0	40.3	57.3	10.3	15.0
	30代 (n=300)	54.7	58.0	21.0	56.0	56.0	42.3	63.3	7.7	10.7
	40代 (n=300)	57.0	59.3	23.0	63.7	59.7	45.7	68.3	7.7	7.0
	50代 (n=300)	69.7	67.0	19.7	69.7	72.7	54.0	75.0	5.0	6.7
	60代 (n=300)	75.0	75.0	26.3	72.7	77.0	57.7	80.3	3.7	7.0
	70代以上 (n=300)	76.7	81.3	21.7	79.0	85.0	59.7	87.7	2.3	8.0

		味・風味		利便性		情緒		
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き
全体	(n=1800)	68.9	36.7	49.4	28.4	68.5	32.6	10.2
エリア	首都圏 (n=900)	71.1	36.4	49.6	28.9	69.3	32.8	10.7
	京阪神圏 (n=900)	66.8	36.9	49.2	28.0	67.7	32.4	9.8
性別	男性 (n=900)	68.2	34.3	47.3	28.4	66.7	31.2	10.8
	女性 (n=900)	69.7	39.0	51.4	28.4	70.3	34.0	9.7
年代	20代 (n=300)	51.7	31.7	39.0	23.3	52.3	24.0	15.3
	30代 (n=300)	61.3	33.0	42.3	22.3	61.0	19.0	12.7
	40代 (n=300)	68.7	38.0	46.7	25.0	65.7	29.0	10.7
	50代 (n=300)	71.3	40.0	53.3	32.7	70.3	35.7	9.7
	60代 (n=300)	79.0	41.3	57.0	34.0	79.0	42.0	6.3
	70代以上 (n=300)	81.7	36.0	58.0	33.3	82.7	46.0	6.7

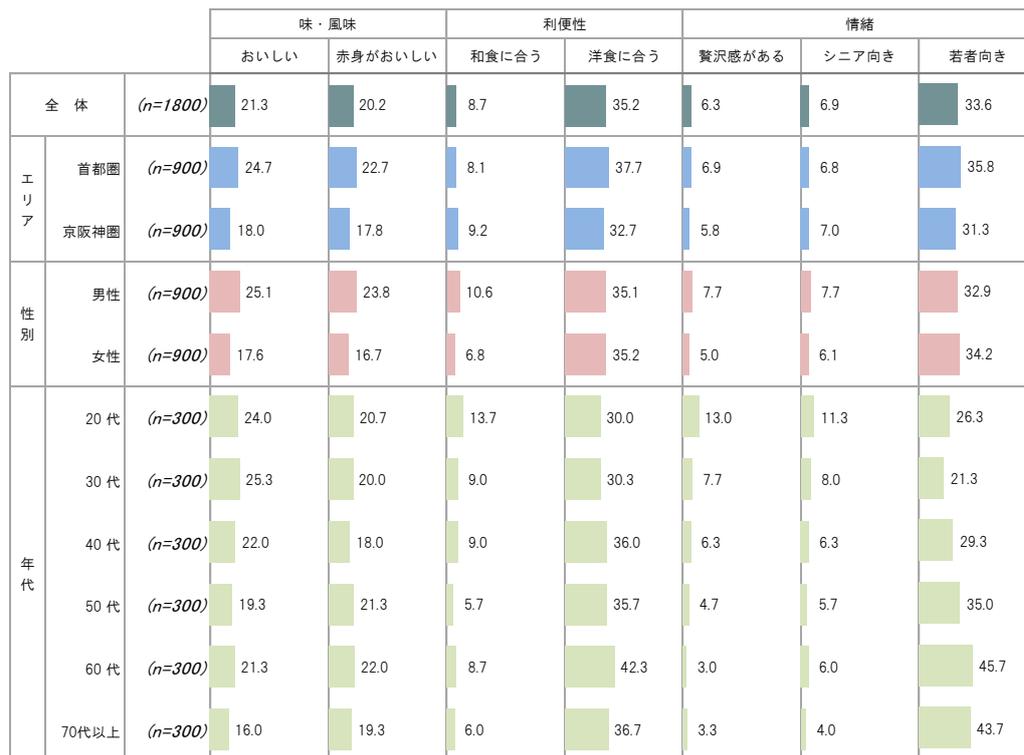
図表 140 国産和牛のイメージ

(%)

		食感	部位・栄養素		品質		品質 アニマルウェルフェア	価格		
			柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃
全体	(n=1800)	22.2	12.7	17.1	34.4	18.8	17.6	13.1	19.3	19.0
エリア	首都圏 (n=900)	22.8	13.4	15.7	36.7	21.1	18.8	14.9	18.0	18.4
	京阪神圏 (n=900)	21.7	11.9	18.6	32.1	16.6	16.4	11.2	20.6	19.6
性別	男性 (n=900)	22.7	11.9	16.9	34.8	18.7	18.1	12.1	22.1	20.4
	女性 (n=900)	21.8	13.4	17.3	34.0	19.0	17.1	14.0	16.4	17.6
年代	20代 (n=300)	23.3	14.3	18.0	40.3	22.7	22.0	19.3	17.3	15.7
	30代 (n=300)	23.0	11.3	15.3	30.3	22.0	19.7	15.0	14.3	15.3
	40代 (n=300)	24.3	17.7	16.3	31.3	21.0	18.0	17.7	17.0	13.7
	50代 (n=300)	21.0	11.3	14.3	30.0	16.0	14.7	12.0	18.7	25.3
	60代 (n=300)	19.0	8.3	18.3	33.3	16.0	12.0	8.0	20.3	18.0
	70代以上 (n=300)	22.7	13.0	20.3	41.0	15.3	19.3	6.3	28.0	26.0

		味・風味		利便性		情緒		
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き
全体	(n=1800)	35.4	22.9	26.9	23.4	14.7	16.7	13.8
エリア	首都圏 (n=900)	38.6	23.3	26.9	23.9	15.3	17.7	12.6
	京阪神圏 (n=900)	32.2	22.6	27.0	22.9	14.0	15.8	15.0
性別	男性 (n=900)	36.2	23.9	26.7	24.4	15.1	17.3	15.4
	女性 (n=900)	34.6	22.0	27.2	22.3	14.2	16.1	12.1
年代	20代 (n=300)	35.7	25.0	26.7	19.7	23.7	16.0	16.0
	30代 (n=300)	36.0	18.3	25.3	20.7	16.7	14.3	15.3
	40代 (n=300)	38.3	22.7	28.7	22.0	15.3	18.3	14.7
	50代 (n=300)	32.7	20.0	26.3	26.7	12.7	13.7	10.3
	60代 (n=300)	36.3	26.0	24.3	24.0	10.0	18.7	10.7
	70代以上 (n=300)	33.3	25.7	30.3	27.3	9.7	19.3	15.7

図表 141 和牛以外の国産牛肉のイメージ



図表 142 アメリカ産牛肉のイメージ

(%)

		食感	部位・栄養素			品質		品質 -アニマルウェルフェア	価格		
			柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
全体	(n=1800)	6.4	3.7	27.7	8.7	5.4	7.9	4.4	51.1	39.7	
エリア	首都圏 (n=900)	6.6	4.0	28.4	10.1	5.7	8.3	4.4	51.7	39.7	
	京阪神圏 (n=900)	6.2	3.3	27.0	7.2	5.2	7.6	4.3	50.6	39.7	
性別	男性 (n=900)	7.3	4.1	28.2	11.1	6.6	8.0	5.4	47.6	38.4	
	女性 (n=900)	5.4	3.2	27.2	6.2	4.3	7.9	3.3	54.7	40.9	
年代	20代 (n=300)	7.0	8.0	21.0	9.3	8.0	6.7	9.3	39.7	33.0	
	30代 (n=300)	7.7	4.3	25.7	9.0	6.7	9.3	4.0	47.0	32.0	
	40代 (n=300)	6.7	4.7	28.0	7.3	5.3	8.7	6.7	50.3	38.7	
	50代 (n=300)	3.0	1.0	29.3	7.3	5.0	7.0	3.3	53.3	43.3	
	60代 (n=300)	6.3	3.3	32.0	11.3	4.7	9.3	1.7	60.3	45.3	
	70代以上 (n=300)	7.7	0.7	30.3	7.7	3.0	6.7	1.3	56.0	45.7	

		味・風味		利便性		情緒		
		おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き
全体	(n=1800)	19.7	18.7	6.3	30.6	3.8	5.7	27.2
エリア	首都圏 (n=900)	23.1	21.3	5.6	33.4	4.3	6.1	28.8
	京阪神圏 (n=900)	16.3	16.0	7.0	27.7	3.2	5.2	25.7
性別	男性 (n=900)	24.2	21.2	7.0	30.3	5.0	6.2	27.7
	女性 (n=900)	15.2	16.1	5.6	30.8	2.6	5.1	26.8
年代	20代 (n=300)	14.7	14.0	5.0	22.3	6.0	6.3	16.3
	30代 (n=300)	23.7	17.0	6.3	27.0	5.3	5.7	20.7
	40代 (n=300)	24.0	17.0	7.3	31.3	5.3	4.0	28.0
	50代 (n=300)	19.3	22.0	7.0	34.0	3.3	4.3	29.0
	60代 (n=300)	22.0	21.3	5.3	39.0	1.7	7.0	36.7
	70代以上 (n=300)	14.7	20.7	6.7	29.7	1.0	6.7	32.7

図表 143 オーストラリア産牛肉のイメージ

### 11) 国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)

- ▶ 「割高でも国産和牛を選ぶ」割合は全体の 50.2%。
- ▶ 「同等の価格なら国産和牛を選ぶ」の割合は 24.5%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛を選ぶ」割合は昨年度よりやや減少している。

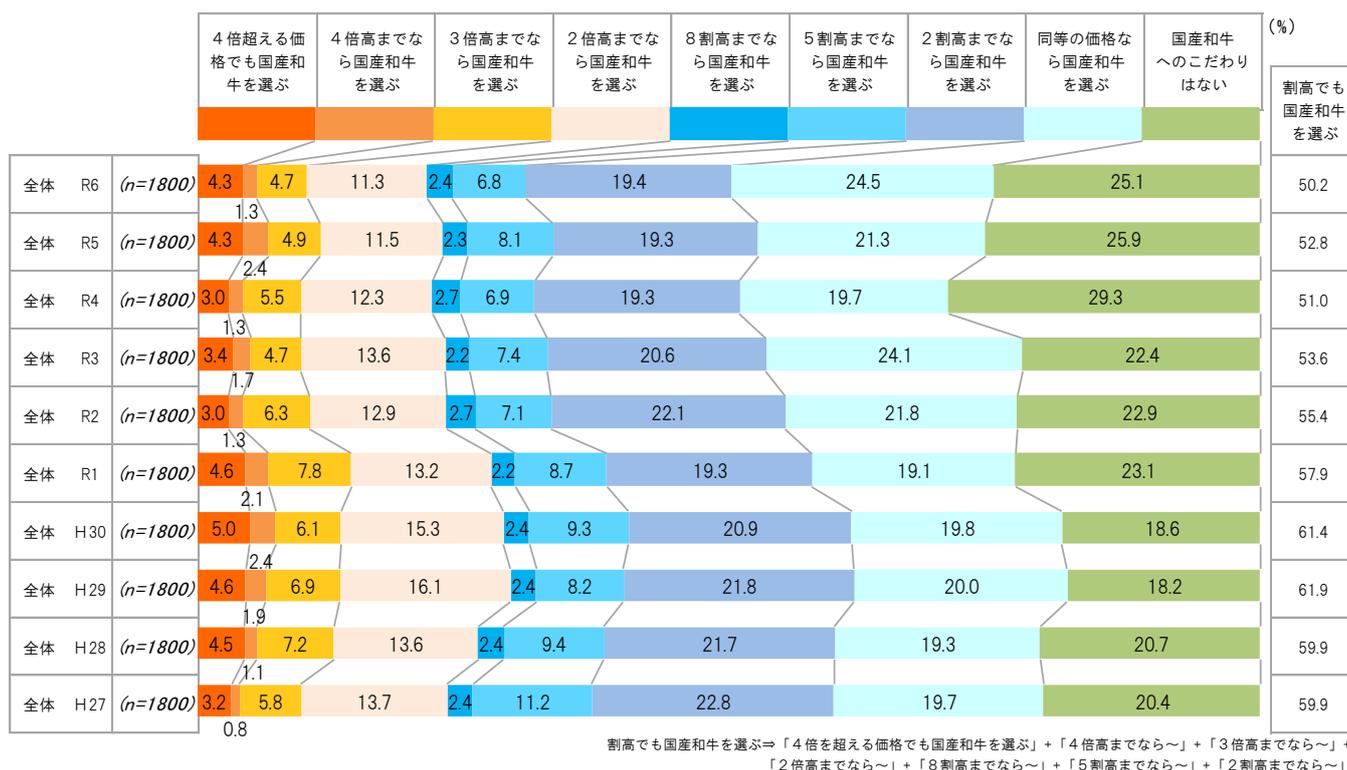
#### 【今年度調査】

輸入牛肉と比べ「割高でも国産和牛を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛を選ぶ」～「2割高までなら国産和牛を選ぶ）」割合は 50.2%。

特に「同等の価格なら国産和牛を選ぶ」が 24.5%、「2割高までなら国産和牛を選ぶ」が 19.4%の順で高く、合わせて全体の 43.9%を占める。

#### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛を選ぶ」割合は昨年度よりやや減少している。

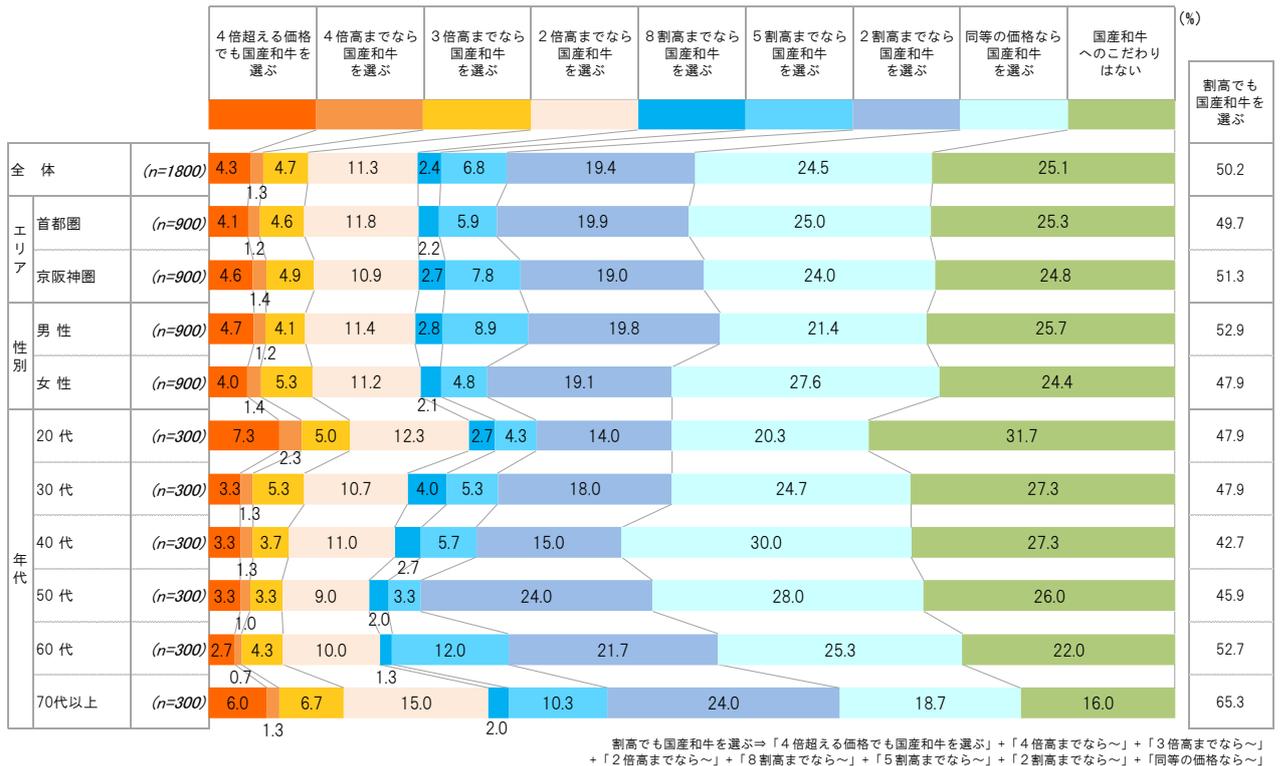


図表 144 国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度 (経年変化)

「割高でも国産和牛を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は49.7%、京阪神圏の方が51.3%と大きな違いは見られない。

性別に「割高でも国産和牛を選ぶ」の割合を見ると、男性が52.9%、女性が47.9%と男性の方がやや多い。

年代別に「割高でも国産和牛を選ぶ」の割合を見ると、60代は52.7%、70代以上は65.3%と年代が高い方が多くなり、国産和牛への価格許容度が高い。



図表 145 エリア・性・年代別 国産和牛の輸入牛肉に対する価格許容度

## 12) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15)

- ▶ 「割高でも和牛以外の国産牛肉を選択する割合」は全体の 48.2%。
- ▶ 「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合は 25.6%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

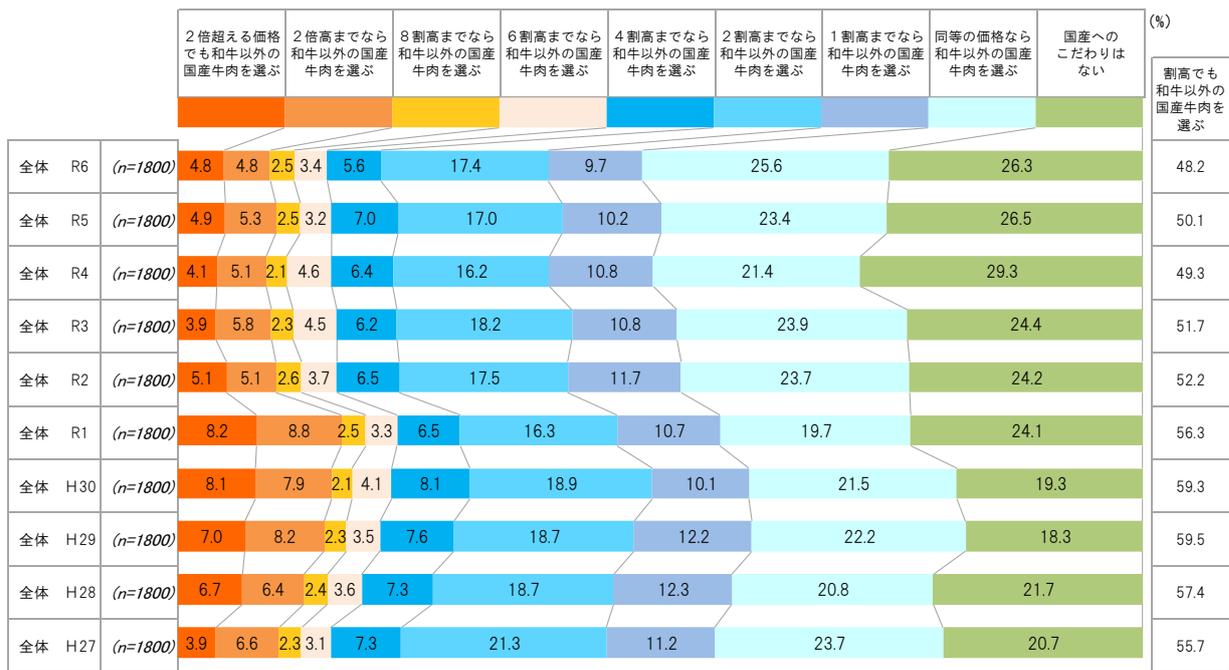
### 【今年度調査】

輸入牛肉と比べ「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」）割合は 48.2%。

特に「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が 25.6%、「2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が 17.4%の順で高い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



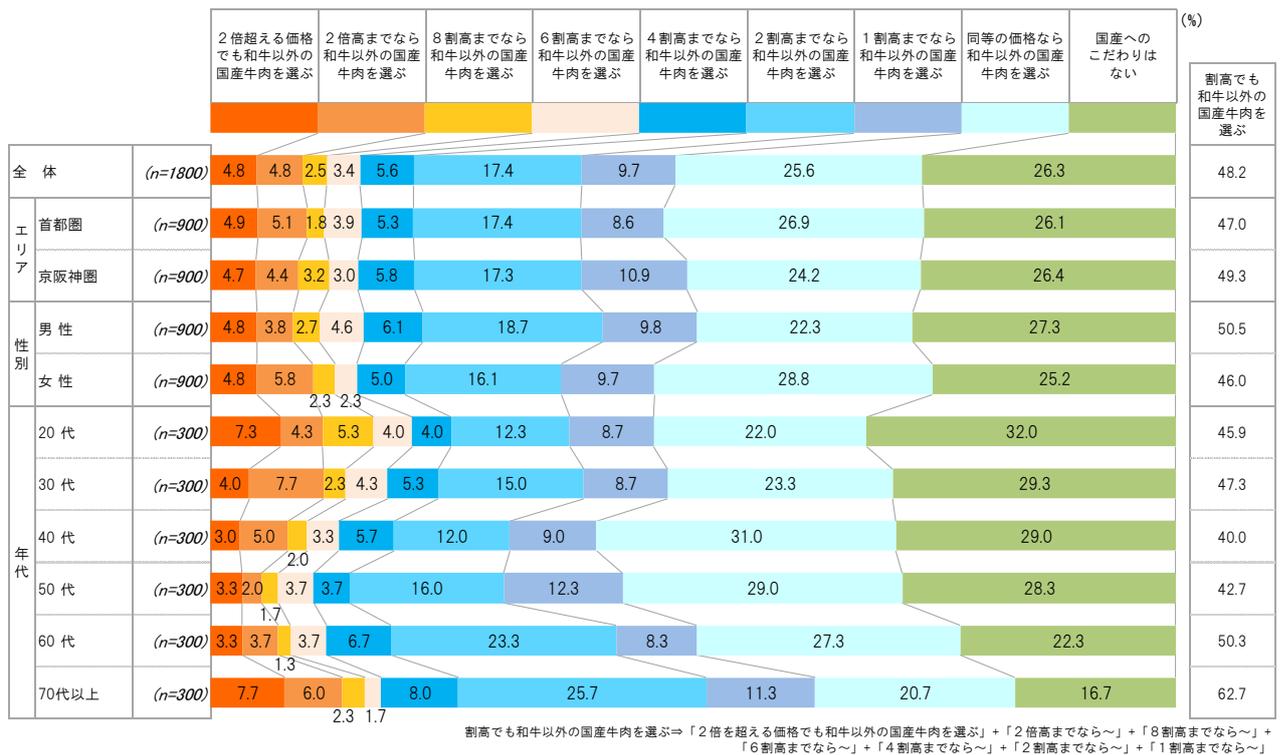
割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら～」+「8割高までなら～」+「6割高までなら～」+「4割高までなら～」+「2割高までなら～」+「1割高までなら～」

図表 146 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は47.0%、京阪神圏の方が49.3%と首都圏より京阪神圏の方がやや多い。

性別に「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、男性が50.5%、女性が46.0%と、女性より男性の方が多い。

年代別に「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、60代は50.3%、70代以上は62.7%と年代が高い方が多くなり、和牛以外の国産牛肉への価格許容度が高い。



図表 147 エリア・性・年代別 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

13) 国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）（Q16）

➤ 国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）は、平均 429.6 円/100g。  
 ➤ 過年度調査と比較すると、昨年度の平均 417.1 円/100g から微増。

【今年度調査】

国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）は、平均 429.6 円/100g である。

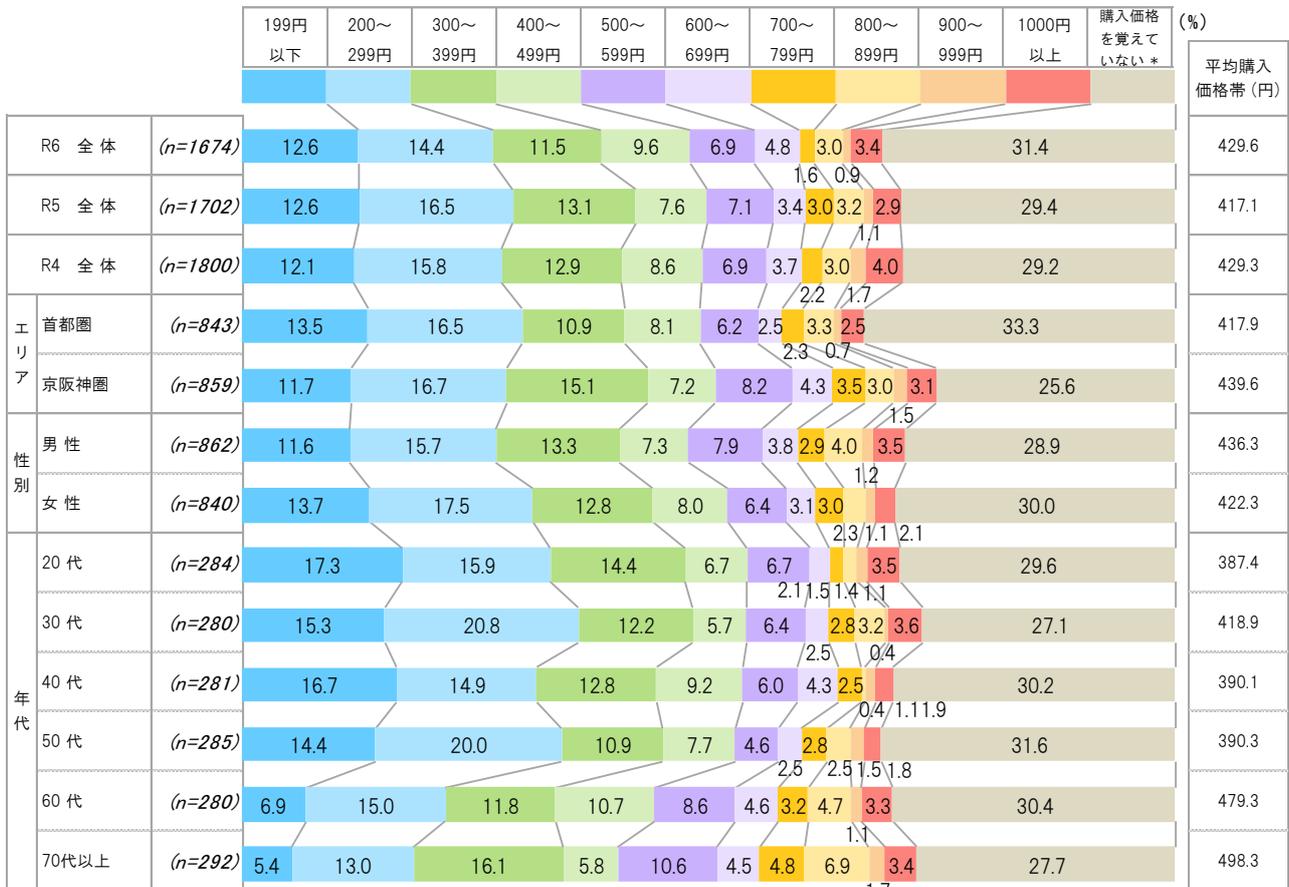
エリア別に見ると、首都圏は平均 417.9 円/100g、京阪神圏は平均 439.6 円/100g と、首都圏より京阪神圏の方が高い。

性別に見ると、男性が平均 436.3 円/100g、女性が平均 422.3 円/100g と、女性より男性の方が高い。

年代別に見ると、60代は平均 479.3 円/100g、70代以上は平均 498.3 円/100g と年代が高い方が購入価格帯が高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度の平均 417.1 円/100g からやや高くなっている。



\*「購入価格を覚えていない(和牛を含む)国産牛肉は購入していない」

図表 148 国産牛肉（和牛を含む）の普段の購入価格帯（100gあたりの税込み価格）

#### 14) 産地別牛肉の購入意向 (Q17)

- ▶ 牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 85.0%、和牛以外の国産牛肉が 81.7%、オーストラリア産牛肉が 67.3%、アメリカ産牛肉が 64.3%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「安ければ購入したい」がやや増加。

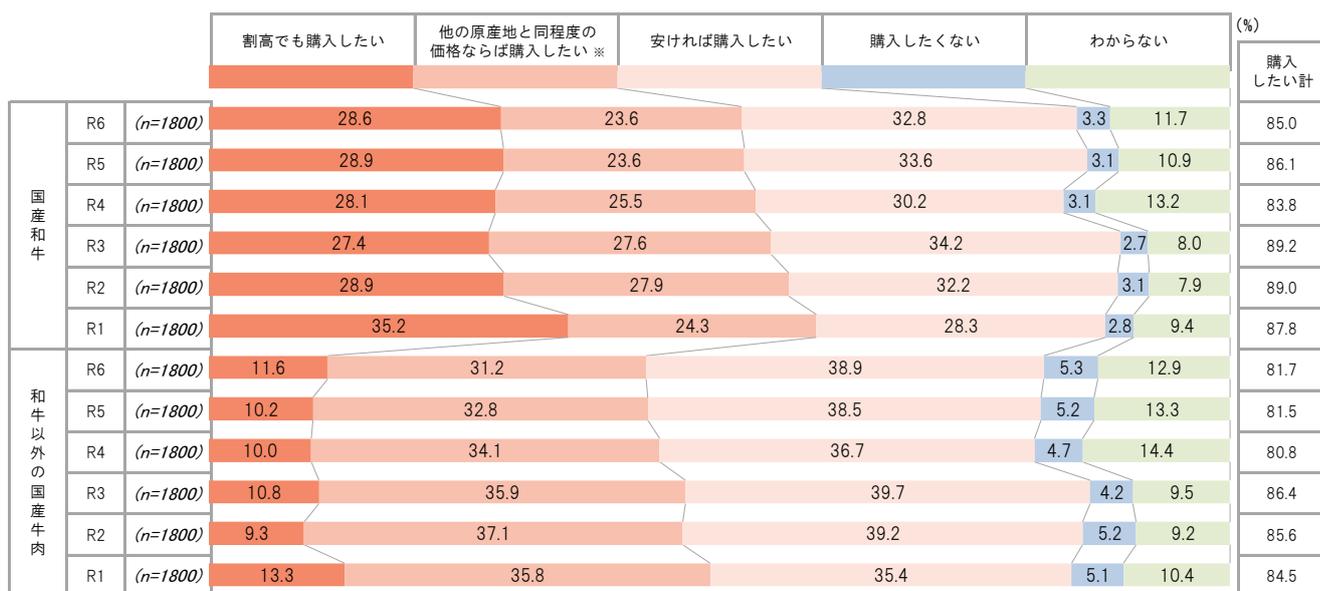
##### 【今年度調査】

牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 85.0%、和牛以外の国産牛肉が 81.7%、オーストラリア産牛肉が 67.3%、アメリカ産牛肉が 64.3%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産和牛は 28.6%と高いが、和牛以外の国産牛肉は 11.6%で、オーストラリア産牛肉・アメリカ産牛肉も含めた輸入牛肉はいずれも 2%前後と低い。

##### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて、アメリカ産牛肉・オーストラリア産牛肉は、「安ければ購入したい」がやや増加している。



※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 149 (その1) 牛肉の産地別購入意向

		割高でも購入したい	他の原産地と同程度の価格ならば購入したい※	安ければ購入したい	購入したくない	わからない	(%)	
							購入したい計	
アメリカ産牛肉	R6	(n=1800) 12.2	50.4	20.1	15.6	64.3		
	R5	(n=1800) 14.3	47.1	20.7	15.8	63.5		
	R4	(n=1800) 14.7	45.1	20.1	18.4	61.6		
	R3	(n=1800) 12.8	51.9	20.7	13.7	65.6		
	R2	(n=1800) 10.9	51.0	23.1	14.0	62.8		
	R1	(n=1800) 10.3	49.7	22.6	16.1	61.3		
オーストラリア産牛肉	R6	(n=1800) 13.0	52.9	17.4	15.2	67.3		
	R5	(n=1800) 14.6	51.8	16.6	15.2	68.3		
	R4	(n=1800) 15.3	48.2	16.8	18.2	64.9		
	R3	(n=1800) 13.0	55.9	16.9	13.0	70.1		
	R2	(n=1800) 12.2	55.4	18.0	13.6	68.4		
	R1	(n=1800) 12.1	53.5	16.5	16.4	67.1		
カナダ産牛肉	R6	(n=1800) 10.5	47.4	20.3	20.1	59.6		
	R5	(n=1800) 12.7	44.8	19.8	21.2	58.9		
	R4	(n=1800) 12.0	42.8	19.6	24.2	56.2		
	R3	(n=1800) 9.9	47.9	19.9	21.1	59.0		
	R2	(n=1800) 9.6	47.2	21.8	20.2	58.0		
	R1	(n=1800) 9.7	44.7	20.3	24.1	55.6		
ニュージーランド産牛肉	R6	(n=1800) 10.0	47.2	20.2	20.7	59.1		
	R5	(n=1800) 13.0	44.6	19.5	21.0	59.5		
	R4	(n=1800) 12.1	43.3	19.2	23.8	57.1		
	R3	(n=1800) 10.7	48.2	19.6	20.4	60.0		
	R2	(n=1800) 11.1	46.5	21.3	20.1	58.7		
	R1	(n=1800) 9.7	44.9	19.8	24.2	55.9		
メキシコ産牛肉	R6	(n=1800) 6.7	30.4	35.8	25.6	38.5		
	R5	(n=1800) 8.6	30.7	31.8	27.6	40.6		
	R4	(n=1800) 8.1	28.3	32.6	29.7	37.7		
	R3	(n=1800) 6.2	29.0	35.4	28.7	35.9		
	R2	(n=1800) 5.6	27.1	38.4	28.2	33.5		
	R1	(n=1800) 5.1	26.6	34.7	32.2	33.0		
ウルグアイ産牛肉	R6	(n=1800) 5.7	29.3	35.8	27.6	36.6		
	R5	(n=1800) 8.1	27.7	33.9	28.7	37.4		
	R4	(n=1800) 8.3	26.9	33.1	30.6	36.3		
	R3	(n=1800) 6.1	26.6	36.8	29.8	33.4		
	R2	(n=1800) 5.4	25.9	38.3	29.6	32.1		
	R1	(n=1800) 5.3	26.1	35.0	32.7	32.3		
アルゼンチン産牛肉	R6	(n=1800) 6.1	29.9	34.6	27.8	37.6		
	R5	(n=1800) 8.4	28.7	32.3	28.9	38.8		
	R4	(n=1800) 8.4	27.4	31.4	31.1	37.5		
	R3	(n=1800) 5.9	27.6	35.9	29.4	34.6		
	R2	(n=1800) 5.8	26.2	37.4	29.5	33.1		
	R1	(n=1800) 5.4	27.1	34.1	32.5	33.4		

※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 149 (その2) 牛肉の産地別購入意向

## 15) 産地別豚肉の購入意向 (Q18)

- ▶ 豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 87.7%、アメリカ産豚肉が 61.9%、カナダ産豚肉が 60.8%、スペイン産豚肉が 52.8%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

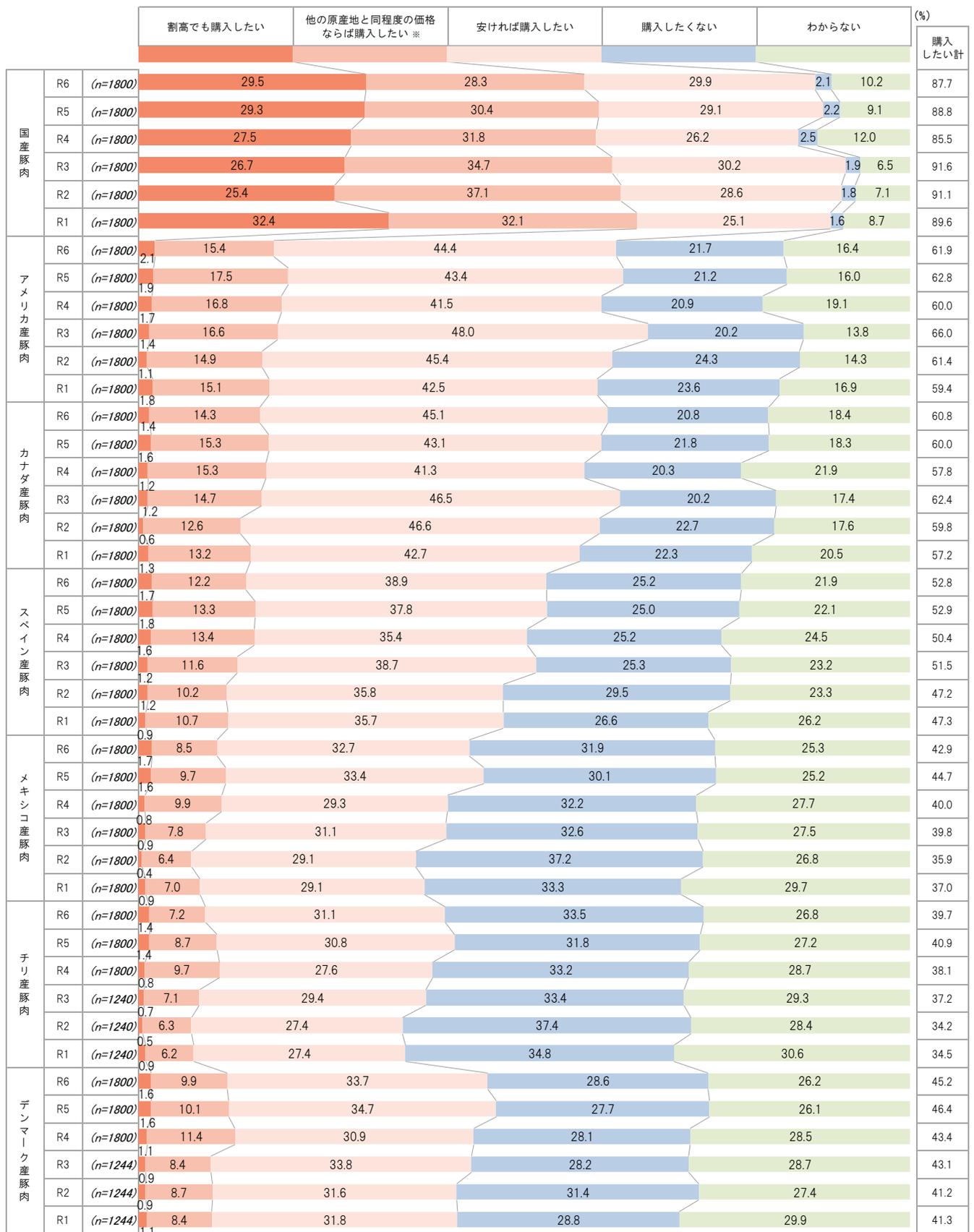
### 【今年度調査】

豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 87.7%、アメリカ産豚肉が 61.9%、カナダ産豚肉が 60.8%、スペイン産豚肉が 52.8%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産豚肉は 29.5%と高いが、アメリカ産豚肉・カナダ産豚肉・スペイン産豚肉も含め輸入豚肉はいずれも 2%以下と低い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



※令和4年度の選択肢「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 150 豚肉の産地別購入意向

## 16) 産地別鶏肉の購入意向 (Q19)

- 鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 87.0%、アメリカ産鶏肉が 53.4%、ブラジル産鶏肉が 45.8%、タイ産鶏肉が 40.3%の順。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

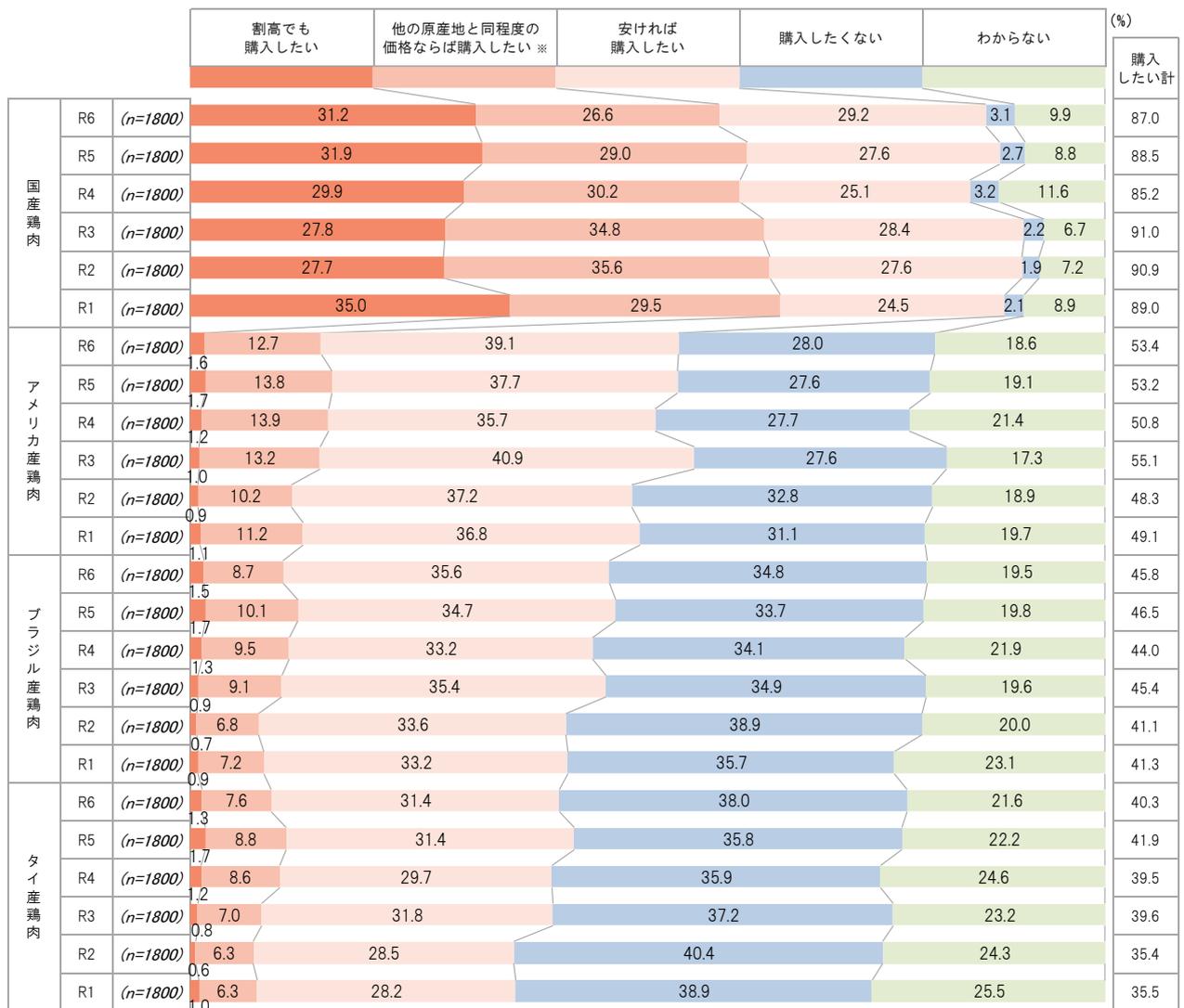
### 【今年度調査】

鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 87.0%、アメリカ産鶏肉が 53.4%、ブラジル産鶏肉が 45.8%、タイ産鶏肉が 40.3%の順である。

「割高でも購入したい」で見ると、国産鶏肉は 31.2%と高いが、輸入鶏肉はいずれも 2%以下と低い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



※令和4年度の選択肢「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」より変更

購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 151 鶏肉の産地別購入意向

## 4. 食肉の安全性に関する意識調査

### 4.1 食品の安全性に関する意識

#### 1) 食品の安全性の不安感 (Q20)

- 「不安を感じる」とする回答割合が高い食品は、「ファストフード」29.8%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」26.3%、「食肉加工品」25.9%、「弁当・惣菜類」24.1%の順。
- 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

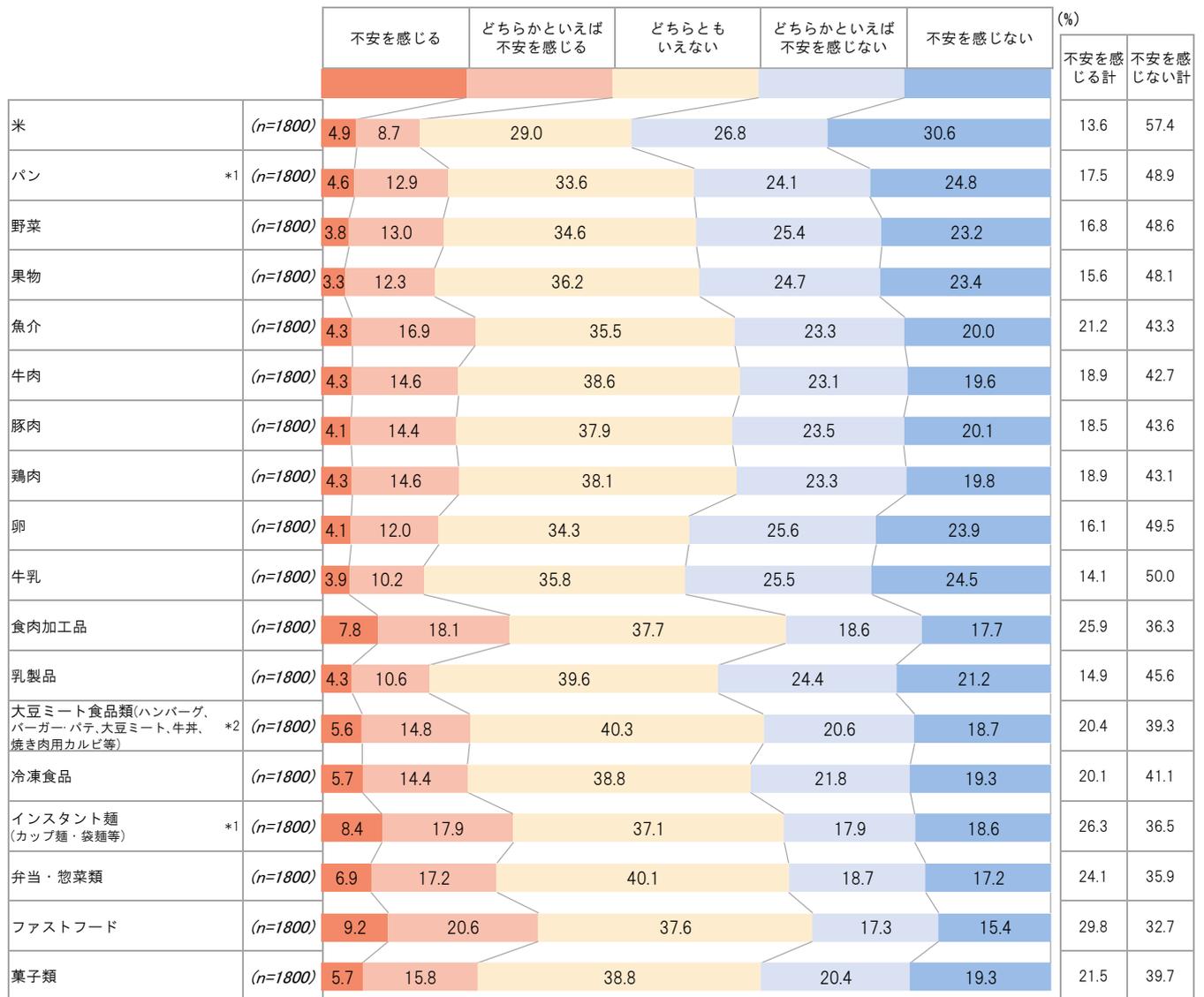
#### 【今年度調査】

18種類の食品（食品群）の安全性について不安を感じるかどうかを聞いたところ、「不安を感じる（不安を感じる＋どちらかといえば不安を感じる）」の割合は「ファストフード」29.8%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」26.3%、「食肉加工品」25.9%、「弁当・惣菜類」24.1%の順で高い。「大豆ミート食品類（ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は、20.4%と不安度はそれほど高くない。

逆に、「不安を感じない（どちらかといえば不安を感じない＋不安を感じない）」の割合は、「米」57.4%、「牛乳」50.0%、「卵」49.5%、「パン」48.9%、「野菜」48.6%、「果物」48.1%、「乳製品」45.6%の順で高い。なお「牛肉」は42.7%、「豚肉」は43.6%、「鶏肉」は43.1%であった。「大豆ミート食品類（ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）」は、39.3%であった。

#### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。



\*1 「パン」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年度より新規項目

\*2 「大豆ミート食品類(ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等)」は令和4年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」

不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

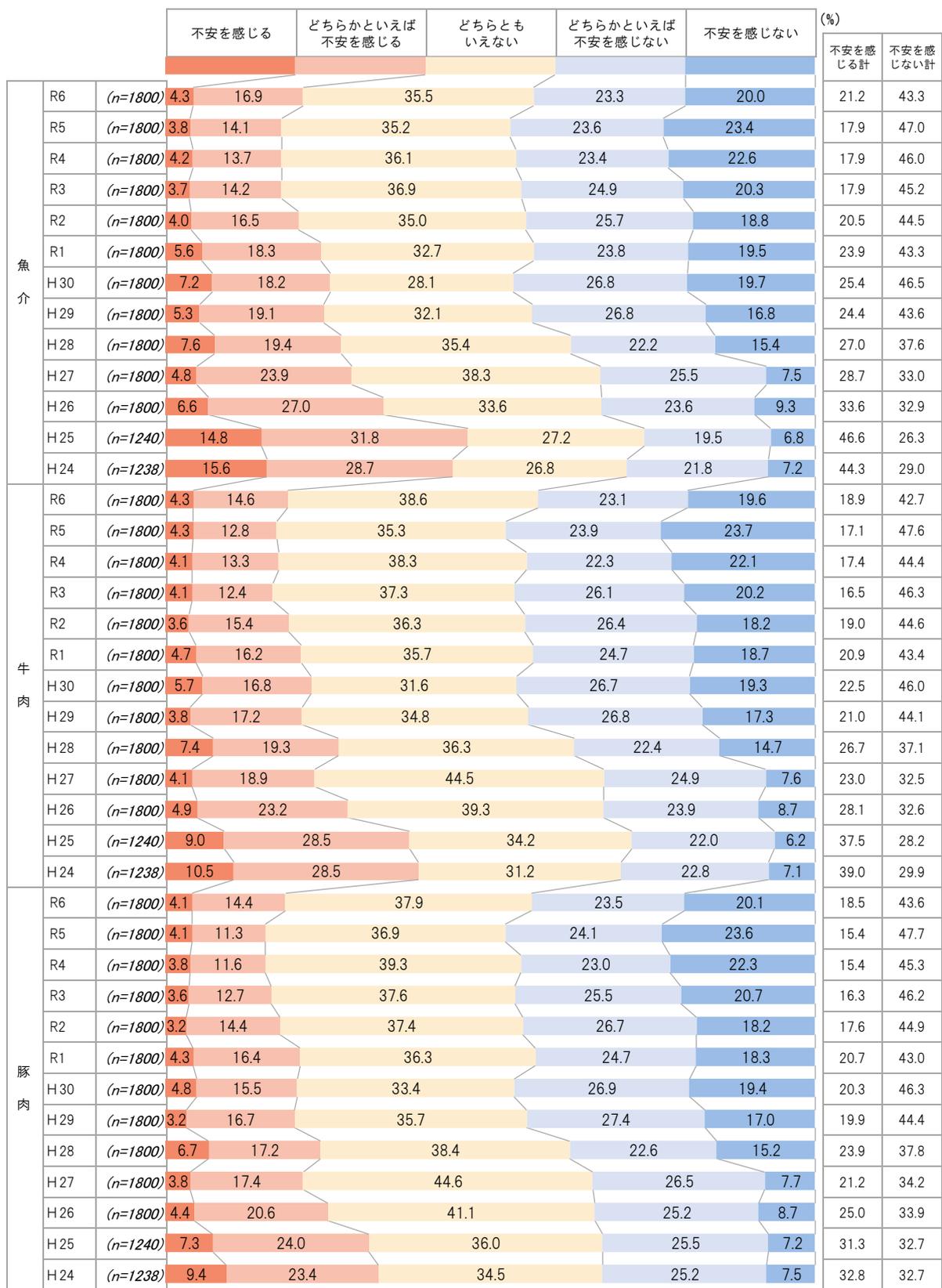
図表 152 食品の安全性の不安感

		不安を感じる		どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(% )	
								不安を感じる計	不安を感じない計
米	R6	(n=1800)	4.9	8.7	29.0	26.8	30.6	13.6	57.4
	R5	(n=1800)	3.6	7.2	28.8	25.3	35.2	10.8	60.5
	R4	(n=1800)	3.5	6.9	27.7	24.1	37.8	10.4	61.9
	R3	(n=1800)	2.6	5.8	28.8	28.2	34.6	8.4	62.8
	R2	(n=1800)	2.4	6.9	26.9	29.4	34.3	9.3	63.7
	R1	(n=1800)	3.8	8.4	27.8	26.7	33.3	12.2	60.0
	H30	(n=1800)	4.4	9.9	25.9	28.7	31.0	14.3	59.7
	H29	(n=1800)	3.4	10.1	29.2	29.2	28.1	13.5	57.3
	H28	(n=1800)	4.7	12.7	32.3	26.4	23.8	17.4	50.2
	H27	(n=1800)	3.6	15.4	37.8	29.4	13.8	19.0	43.2
	H26	(n=1800)	3.2	14.8	32.9	32.3	16.8	18.0	49.1
	H25	(n=1240)	6.4	18.9	29.2	32.5	13.1	25.3	45.6
H24	(n=1238)	8.8	21.9	27.7	30.3	11.3	30.7	41.6	
パン*	R6	(n=1800)	4.6	12.9	33.6	24.1	24.8	17.5	48.9
	R5	(n=1800)	4.1	10.5	31.9	24.7	28.8	14.6	53.5
	R4	(n=1800)	4.1	10.7	31.7	23.8	29.7	14.8	53.5
	R3	(n=1800)	3.2	10.2	32.6	26.5	27.5	13.4	54.0
	R2	(n=1800)	2.7	9.7	31.6	27.9	28.0	12.4	55.9
	R1	(n=1800)	4.3	10.7	29.8	27.6	27.7	15.0	55.3
野菜	R6	(n=1800)	3.8	13.0	34.6	25.4	23.2	16.8	48.6
	R5	(n=1800)	3.6	9.9	34.1	25.4	27.1	13.5	52.5
	R4	(n=1800)	3.2	9.9	34.7	25.3	26.9	13.1	52.2
	R3	(n=1800)	2.9	10.3	34.4	27.9	24.4	13.2	52.3
	R2	(n=1800)	2.7	11.2	35.9	27.7	22.5	13.9	50.2
	R1	(n=1800)	3.9	13.3	32.1	27.0	23.7	17.2	50.7
	H30	(n=1800)	5.2	15.7	27.0	28.1	24.1	20.9	52.2
	H29	(n=1800)	3.3	16.4	30.7	28.6	20.9	19.7	49.5
	H28	(n=1800)	5.9	18.7	34.7	23.1	17.6	24.6	40.7
	H27	(n=1800)	4.4	19.7	39.7	27.3	8.9	24.1	36.2
	H26	(n=1800)	4.3	21.5	35.1	28.7	10.4	25.8	39.1
	H25	(n=1240)	8.1	26.8	29.7	27.3	8.1	34.9	35.4
H24	(n=1238)	10.9	27.0	27.9	26.0	8.1	37.9	34.1	
果物	R6	(n=1800)	3.3	12.3	36.2	24.7	23.4	15.6	48.1
	R5	(n=1800)	2.8	10.1	34.6	25.1	27.4	12.9	52.5
	R4	(n=1800)	3.3	9.7	34.8	25.1	27.1	13.0	52.2
	R3	(n=1800)	2.7	9.2	35.7	27.9	24.6	11.9	52.5
	R2	(n=1800)	2.4	9.3	35.9	28.4	24.0	11.7	52.4
	R1	(n=1800)	3.3	12.9	32.2	27.7	23.9	16.2	51.6
	H30	(n=1800)	4.8	11.8	28.9	29.7	24.8	16.6	54.5
	H29	(n=1800)	2.9	12.8	33.2	29.4	21.7	15.7	51.1
	H28	(n=1800)	5.0	15.2	37.2	23.4	19.2	20.2	42.6
	H27	(n=1800)	3.6	16.6	40.3	29.7	9.9	20.2	39.6
	H26	(n=1800)	3.9	17.4	37.1	30.1	11.6	21.3	41.7
	H25	(n=1240)	6.6	20.6	32.5	31.1	9.2	27.2	40.3
H24	(n=1238)	9.1	20.2	31.0	30.8	8.9	29.3	39.7	

\* 「パン」は令和元年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」  
 不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 153 (その1) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)



図表 153 (その2) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

							(%)	
		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	不安を感じる計	不安を感じない計
鶏肉	R6 (n=1800)	4.3	14.6	38.1	23.3	19.8	18.9	43.1
	R5 (n=1800)	3.9	13.7	35.6	23.6	23.2	17.6	46.8
	R4 (n=1800)	3.8	12.8	38.7	23.4	21.3	16.6	44.7
	R3 (n=1800)	3.2	12.7	38.6	25.5	20.1	15.9	45.6
	R2 (n=1800)	3.4	14.6	37.3	26.0	18.7	18.0	44.7
	R1 (n=1800)	4.2	17.3	35.8	24.4	18.2	21.5	42.6
	H30 (n=1800)	5.4	17.1	32.7	25.2	19.5	22.5	44.7
	H29 (n=1800)	4.3	17.0	36.1	25.9	16.7	21.3	42.6
	H28 (n=1800)	6.7	17.7	37.9	22.6	15.1	24.4	37.7
	H27 (n=1800)	3.9	17.8	43.8	26.8	7.7	21.7	34.5
	H26 (n=1800)	4.9	23.5	39.2	23.8	8.5	28.4	32.3
	H25 (n=1240)	7.3	24.4	36.0	25.3	7.0	31.7	32.3
H24 (n=1238)	9.2	24.8	33.5	25.2	7.3	34.0	32.5	
卵	R6 (n=1800)	4.1	12.0	34.3	25.6	23.9	16.1	49.5
	R5 (n=1800)	4.2	11.5	32.8	24.3	27.3	15.7	51.6
	R4 (n=1800)	3.1	8.5	35.4	25.7	27.3	11.6	53.0
	R3 (n=1800)	2.9	9.4	34.9	27.7	25.1	12.3	52.8
	R2 (n=1800)	2.1	10.9	32.6	29.6	24.8	13.0	54.4
	R1 (n=1800)	3.9	11.9	31.9	29.4	22.9	15.8	52.3
	H30 (n=1800)	4.2	13.1	29.7	28.7	24.4	17.3	53.1
	H29 (n=1800)	2.9	13.1	32.2	29.9	21.9	16.0	51.8
	H28 (n=1800)	5.4	12.8	36.8	25.8	19.2	18.2	45.0
	H27 (n=1800)	3.2	14.2	41.4	30.4	10.8	17.4	41.2
	H26 (n=1800)	2.8	14.9	37.6	31.6	13.1	17.7	44.7
	H25 (n=1240)	5.7	17.1	34.3	32.8	10.1	22.8	42.9
H24 (n=1238)	7.8	19.5	31.8	31.5	9.5	27.3	41.0	
牛乳	R6 (n=1800)	3.9	10.2	35.8	25.5	24.5	14.1	50.0
	R5 (n=1800)	3.8	9.9	33.7	25.0	27.6	13.7	52.6
	R4 (n=1800)	3.0	9.2	33.6	28.5	25.8	12.2	54.3
	R3 (n=1800)	3.0	9.2	33.6	28.5	25.8	12.2	54.3
	R2 (n=1800)	2.3	8.9	33.9	29.6	25.3	11.2	54.9
	R1 (n=1800)	4.2	10.4	32.7	28.0	24.7	14.6	52.7
	H30 (n=1800)	4.3	11.7	30.1	28.2	25.7	16.0	53.9
	H29 (n=1800)	2.9	11.6	32.6	30.3	22.7	14.5	53.0
	H28 (n=1800)	5.8	11.4	36.3	26.6	19.8	17.2	46.4
	H27 (n=1800)	3.7	12.9	40.3	31.4	11.6	16.6	43.0
	H26 (n=1800)	3.1	14.3	37.6	31.7	13.2	17.4	44.9
	H25 (n=1240)	5.6	18.5	31.9	33.1	10.9	24.1	44.0
H24 (n=1238)	9.6	19.2	29.7	31.7	9.8	28.8	41.5	

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 153 (その3) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)	
							不安を感じる計	不安を感じない計
食肉加工品	R6 (n=1800)	7.8	18.1	37.7	18.6	17.7	25.9	36.3
	R5 (n=1800)	6.8	16.3	35.0	20.7	21.2	23.1	41.9
	R4 (n=1800)	7.4	15.8	38.3	18.7	19.7	23.2	38.4
	R3 (n=1800)	6.6	18.4	36.8	20.6	17.6	25.0	38.2
	R2 (n=1800)	6.1	20.4	36.2	20.0	17.3	26.5	37.3
	R1 (n=1800)	7.5	20.0	35.9	19.3	17.3	27.5	36.6
	H30 (n=1800)	8.7	20.8	31.4	22.5	16.6	29.5	39.1
	H29 (n=1800)	8.4	22.4	35.0	20.1	14.1	30.8	34.2
	H28 (n=1800)	10.7	22.7	36.7	17.2	12.7	33.4	29.9
	H27 (n=1800)	9.2	29.1	37.3	19.4	5.0	38.3	24.4
	H26 (n=1800)	13.3	32.3	32.2	16.8	5.4	45.6	22.2
	H25 (n=1240)	13.9	32.9	29.8	17.9	5.6	46.8	23.5
H24 (n=1238)	13.5	28.9	30.9	20.6	6.1	42.4	26.7	
乳製品	R6 (n=1800)	4.3	10.6	39.6	24.4	21.2	14.9	45.6
	R5 (n=1800)	3.6	9.9	36.8	24.5	25.3	13.5	49.8
	R4 (n=1800)	3.0	10.6	37.1	24.1	25.2	13.6	49.3
	R3 (n=1800)	3.2	9.2	38.5	26.3	22.8	12.4	49.1
	R2 (n=1800)	2.2	9.8	36.7	27.5	23.8	12.0	51.3
	R1 (n=1800)	3.8	11.4	36.0	26.5	22.3	15.2	48.8
	H30 (n=1800)	4.2	12.1	32.1	29.6	22.1	16.3	51.7
	H29 (n=1800)	2.9	11.7	36.7	29.8	18.9	14.6	48.7
	H28 (n=1800)	5.4	13.9	39.1	24.5	17.2	19.3	41.7
	H27 (n=1800)	3.6	15.2	43.0	30.1	8.2	18.8	38.3
	H26 (n=1800)	4.1	16.2	41.8	27.8	10.2	20.3	38.0
	H25 (n=1240)	6.1	17.6	36.7	30.7	8.9	23.7	39.6
H24 (n=1238)	7.8	19.1	33.9	30.3	8.8	26.9	39.1	
大豆ミート*	R6 (n=1800)	5.6	14.8	40.3	20.6	18.7	20.4	39.3
	R5 (n=1800)	4.2	11.9	39.2	21.4	23.2	16.1	44.6
	R4 (n=1800)	5.0	12.9	41.2	19.7	21.2	17.9	40.9
	R6 (n=1800)	5.7	14.4	38.8	21.8	19.3	20.1	41.1
	R5 (n=1800)	4.4	12.9	36.8	22.7	23.3	17.3	46.0
	R4 (n=1800)	5.7	12.7	37.7	22.1	21.8	18.4	43.9
冷凍食品	R3 (n=1800)	4.3	13.3	37.5	23.4	21.4	17.6	44.8
	R2 (n=1800)	4.0	14.6	36.7	24.2	20.6	18.6	44.8
	R1 (n=1800)	5.7	14.7	37.3	21.9	20.4	20.4	42.3
	H30 (n=1800)	6.1	18.0	32.7	23.9	19.3	24.1	43.2
	H29 (n=1800)	6.0	18.2	35.7	23.7	16.4	24.2	40.1
	H28 (n=1800)	9.1	19.8	37.6	20.4	13.2	28.9	33.6
	H27 (n=1800)	6.3	22.7	40.9	23.1	7.0	29.0	30.1
	H26 (n=1800)	12.7	28.8	33.4	19.2	5.9	41.5	25.1
	H25 (n=1240)	11.9	28.1	32.3	20.2	7.4	40.0	27.6
	H24 (n=1238)	10.5	25.2	31.1	24.6	8.6	35.7	33.2

\*「大豆ミート食品類(ハンバーグ、パティ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等)」は令和4年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」  
不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 153 (その4) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)	
							不安を感じる計	不安を感じない計
カップ麺・袋麺類*	R6 (n=1800)	8.4	17.9	37.1	17.9	18.6	26.3	36.5
	R5 (n=1800)	7.2	14.8	36.1	20.2	21.8	22.0	42.0
	R4 (n=1800)	7.8	15.9	36.5	19.2	20.6	23.7	39.8
	R3 (n=1800)	6.8	16.4	36.2	21.2	19.4	23.2	40.6
	R2 (n=1800)	6.0	18.0	36.0	20.9	19.1	24.0	40.0
	R1 (n=1800)	7.0	17.0	35.2	21.3	19.4	24.0	40.7
弁当・惣菜類*	R6 (n=1800)	6.9	17.2	40.1	18.7	17.2	24.1	35.9
	R5 (n=1800)	6.7	15.6	38.6	18.6	20.6	22.3	39.2
	R4 (n=1800)	6.8	15.9	39.7	19.1	18.5	22.7	37.6
	R3 (n=1800)	5.3	17.7	38.9	21.5	16.6	23.0	38.1
	R2 (n=1800)	6.1	18.3	39.6	21.1	15.1	24.4	36.2
	R1 (n=1800)	7.2	18.6	37.2	20.4	16.6	25.8	37.0
ファストフード	R6 (n=1800)	9.2	20.6	37.6	17.3	15.4	29.8	32.7
	R5 (n=1800)	8.8	17.6	37.1	17.1	19.4	26.4	36.5
	R4 (n=1800)	9.2	18.5	37.6	17.2	17.6	27.7	34.8
	R3 (n=1800)	7.4	20.7	35.7	20.4	15.7	28.1	36.1
	R2 (n=1800)	7.9	22.8	36.4	18.5	14.4	30.7	32.9
	R1 (n=1800)	9.6	20.9	36.2	17.9	15.3	30.5	33.2
	H30 (n=1800)	12.3	23.4	30.3	19.1	15.0	35.7	34.1
	H29 (n=1800)	12.6	24.4	33.3	18.1	11.6	37.0	29.7
	H28 (n=1800)	14.9	26.6	33.9	14.7	9.8	41.5	24.5
	H27 (n=1800)	14.6	32.7	35.4	13.7	3.7	47.3	17.4
	H26 (n=1800)	23.6	33.6	28.0	11.3	3.6	57.2	14.9
	H25 (n=1240)	18.5	35.9	26.8	13.7	5.2	54.4	18.9
	H24 (n=1238)	13.8	29.2	31.1	19.1	6.8	43.0	25.9
	菓子類	R6 (n=1800)	5.7	15.8	38.8	20.4	19.3	21.5
R5 (n=1800)		5.5	13.3	37.2	20.3	23.7	18.8	44.0
R4 (n=1800)		4.8	14.1	39.3	19.8	22.0	18.9	41.8
R3 (n=1800)		4.2	12.3	40.2	23.0	20.4	16.5	43.4
R2 (n=1800)		3.9	12.9	40.7	22.3	20.1	16.8	42.4
R1 (n=1800)		5.0	14.5	38.2	22.4	19.9	19.5	42.3
H30 (n=1800)		6.2	15.6	34.3	23.2	20.8	21.8	44.0
H29 (n=1800)		4.8	16.4	37.8	23.0	17.9	21.2	40.9
H28 (n=1800)		7.2	16.5	40.9	20.2	15.2	23.7	35.4
H27 (n=1800)		5.1	19.3	44.8	23.1	7.7	24.4	30.8
H26 (n=1800)		7.3	21.9	41.4	20.2	9.2	29.2	29.4
H25 (n=1240)		7.2	23.3	36.5	22.9	10.2	30.5	33.1
H24 (n=1238)		6.8	18.6	33.8	28.2	12.6	25.4	40.8

\*「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年度より新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」  
 不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 153 (その5) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

## 2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q21)

- ▶ 関心が高い上位3項目は、「鳥インフルエンザ」が53.8%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が53.4%、「食肉の消費期限改ざん」が52.4%。
- ▶ 家畜伝染病（牛・豚の口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合は、増加。

### 【今年度調査】

食肉の安全性に関して聞いたところ、幅広い項目に対して高い関心が寄せられていることがわかった。「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が最も高かったのは、「鳥インフルエンザ」が53.8%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が53.4%、「食肉の消費期限改ざん」が52.4%、「食肉の産地偽装」51.4%、「豚インフルエンザ」49.5%、「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」49.4%、「牛肉・豚肉の発がん性」47.5%、「牛のBSE（牛海綿状脳症）」46.5%の順で高い。

「牛・豚の口蹄疫」は45.3%、「豚熱」及び「アフリカ豚熱」は42.2%である。

「植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛井、焼き肉用カルビ等）」は39.4%、「細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）」は38.1%である。

「食肉の放射能汚染」については41.8%となっており、他の項目に比べて特別に高い関心が寄せられているわけではない。

「非常に関心がある」の割合は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が22.4%、「食肉の消費期限改ざん」及び「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」が20.7%、「鳥インフルエンザ」が20.2%の順で高い。

### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、多くの項目で、昨年度と同傾向であるが、家畜伝染病（牛・豚の口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が増加している。

特に、「鳥インフルエンザ」は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で最も割合が高い項目となっている。

	(n=1800)	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
							関心が ある計	関心が ない計
食肉中の残留抗生物質	(n=1800)	10.1	28.8	33.6	17.5	10.1	38.9	27.6
食肉中の残留動物薬	(n=1800)	10.4	28.4	34.9	16.4	9.9	38.8	26.3
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	(n=1800)	12.3	29.8	33.6	15.1	9.2	42.1	24.3
ゲノム編集飼料を用いた食肉 *1	(n=1800)	10.9	28.3	35.8	15.3	9.6	39.2	24.9
牛のBSE（牛海綿状脳症）	(n=1800)	16.6	29.9	32.2	12.4	8.9	46.5	21.3
成形肉・牛脂注入肉 *2	(n=1800)	14.3	29.3	34.5	12.9	9.0	43.6	21.9
食肉の放射能汚染	(n=1800)	14.9	26.9	35.3	13.8	9.1	41.8	22.9
クローン家畜由来の食肉	(n=1800)	14.0	28.8	35.2	12.7	9.2	42.8	21.9
牛・豚の口蹄疫	(n=1800)	15.9	29.4	34.2	11.4	9.0	45.3	20.4
豚熱 *3	(n=1800)	14.5	27.7	36.4	12.4	9.0	42.2	21.4
アフリカ豚熱 *4	(n=1800)	14.9	27.3	35.3	13.2	9.2	42.2	22.4
豚インフルエンザ	(n=1800)	17.3	32.2	32.0	10.8	7.7	49.5	18.5
鳥インフルエンザ	(n=1800)	20.2	33.6	29.3	9.8	7.2	53.8	17.0
食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染	(n=1800)	22.4	31.0	30.2	9.5	6.8	53.4	16.3
食肉の生食	(n=1800)	17.1	28.3	33.6	10.2	10.8	45.4	21.0
食肉の産地偽装	(n=1800)	18.7	32.7	31.6	9.1	7.9	51.4	17.0
食肉の消費期限改ざん	(n=1800)	20.7	31.7	31.9	7.9	7.7	52.4	15.6
牛肉・豚肉の発がん性	(n=1800)	19.2	28.3	34.2	10.1	8.2	47.5	18.3
豚肉加工品(ハム・ソーセージ)の発がん性	(n=1800)	20.7	28.7	33.6	9.2	7.7	49.4	16.9
植物肉(大豆ミート食品類/ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等) *5	(n=1800)	12.6	26.8	37.3	13.0	10.4	39.4	23.4
細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉) *5	(n=1800)	13.3	24.8	38.9	12.8	10.2	38.1	23.0

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

\*1 令和元年度より新規項目 \*2 平成29年度の選択肢「成形肉」より変更、令和5年度「成形肉(インジェクション)」より変更 \*3 令和元年度の選択肢「CSF」より変更  
\*4 令和元年の選択肢「ASF」より変更  
\*5 「植物肉(大豆ミート食品類/ハンバーグ、バーガー、パテ、大豆ミート、牛丼、焼肉用カルビ等)」、「細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年度より新規項目

図表 154 食肉の安全性に関する項目別関心度

		非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
							関心がある計	関心がない計
食肉中の 残留抗生物質	R6 (n=1800)	10.1	28.8	33.6	17.5	10.1	38.9	27.6
	R5 (n=1800)	11.0	27.8	34.0	17.7	9.4	38.8	27.1
	R4 (n=1800)	12.3	25.9	34.1	17.3	10.4	38.2	27.7
	R3 (n=1800)	10.7	31.4	32.0	17.4	8.4	42.1	25.8
	R2 (n=1800)	13.8	33.3	29.7	14.2	9.1	47.1	23.3
	R1 (n=1800)	14.8	35.0	29.1	13.5	7.7	49.8	21.2
	H30 (n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4
	H29 (n=1800)	17.1	34.2	28.4	14.3	6.0	51.3	20.3
	H28 (n=1800)	16.9	34.8	30.6	12.4	5.3	51.7	17.7
	H27 (n=1800)	14.6	41.4	27.8	13.1	3.2	56.0	16.3
	H26 (n=1800)	21.4	44.6	23.3	8.9	1.8	66.0	10.7
	H25 (n=1240)	18.2	44.8	21.9	12.9	2.2	63.0	15.1
	H24 (n=1238)	15.5	39.8	26.5	15.8	2.4	55.3	18.2
	食肉中の 残留動物薬	R6 (n=1800)	10.4	28.4	34.9	16.4	9.9	38.8
R5 (n=1800)		11.8	27.7	34.0	17.0	9.5	39.5	26.5
R4 (n=1800)		11.3	28.1	33.6	16.7	10.3	39.4	27.0
R3 (n=1800)		10.2	32.8	32.6	16.0	8.4	43.0	24.4
R2 (n=1800)		14.0	32.9	30.3	14.3	8.5	46.9	22.8
R1 (n=1800)		15.4	34.9	29.7	12.6	7.4	50.3	20.0
H30 (n=1800)		16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9
H29 (n=1800)		17.2	33.9	29.3	13.4	6.2	51.1	19.6
H28 (n=1800)		17.7	35.2	30.2	11.6	5.3	52.9	16.9
H27 (n=1800)		16.2	41.4	26.9	12.5	3.0	57.6	15.5
H26 (n=1800)		22.7	43.9	23.8	7.7	1.9	66.6	9.6
H25 (n=1240)		20.8	48.2	19.7	9.3	2.0	69.0	11.3
H24 (n=1238)		16.5	47.0	22.8	11.7	2.0	63.5	13.7
遺伝子組換え飼料を用いた食肉		R6 (n=1800)	12.3	29.8	33.6	15.1	9.2	42.1
	R5 (n=1800)	12.7	28.4	34.2	15.8	8.9	41.1	24.7
	R4 (n=1800)	13.9	26.6	33.4	16.3	9.9	40.5	26.2
	R3 (n=1800)	12.5	33.1	31.8	14.7	7.9	45.6	22.6
	R2 (n=1800)	15.9	32.4	30.2	13.3	8.2	48.3	21.5
	R1 (n=1800)	18.6	32.1	30.6	11.3	7.3	50.7	18.6
	H30 (n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5
	H29 (n=1800)	19.0	34.5	28.8	11.9	5.7	53.5	17.6
	H28 (n=1800)	21.0	34.6	28.8	10.2	5.5	55.6	15.7
	H27 (n=1800)	17.7	40.1	27.7	11.8	2.8	57.8	14.6
	H26 (n=1800)	23.1	42.6	24.6	7.8	2.0	65.7	9.8
	H25 (n=1240)	23.5	44.8	19.8	9.8	2.2	68.3	12.0
	H24 (n=1238)	18.4	43.1	24.4	11.6	2.5	61.5	14.1
	ゲノム編集飼料を用いた食肉*	R6 (n=1800)	10.9	28.3	35.8	15.3	9.6	39.2
R5 (n=1800)		12.4	26.1	35.4	16.4	9.6	38.5	26.0
R4 (n=1800)		12.3	23.6	36.9	16.6	10.7	35.9	27.3
R3 (n=1800)		12.2	30.1	33.8	15.0	8.9	42.3	23.9
R2 (n=1800)		13.8	30.7	32.2	14.0	9.3	44.5	23.3
R1 (n=1800)		16.6	32.1	31.5	11.7	8.1	48.7	19.8

\*「ゲノム編集飼料を用いた食肉」は令和元年度より新規項目

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」  
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 155 (その1) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心が ある計	関心が ない計
牛の BSE (牛海綿状脳症)	R6	(n=1800)	16.6	29.9	32.2	12.4	8.9	46.5	21.3
	R5	(n=1800)	17.5	29.3	31.9	12.7	8.6	46.8	21.3
	R4	(n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R3	(n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R2	(n=1800)	22.2	31.7	26.7	11.1	8.4	53.9	19.5
	R1	(n=1800)	25.9	31.2	26.5	9.3	7.1	57.1	16.4
	H30	(n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5
	H29	(n=1800)	29.4	32.7	24.5	8.2	5.1	62.1	13.3
	H28	(n=1800)	30.7	34.4	23.7	6.7	4.5	65.1	11.2
	H27	(n=1800)	31.2	38.7	21.7	6.2	2.2	69.9	8.4
	H26	(n=1800)	35.4	40.9	17.0	5.2	1.4	76.3	6.6
	H25	(n=1240)	35.4	43.8	13.8	5.5	1.5	79.2	7.0
	H24	(n=1238)	32.3	44.3	15.3	6.5	1.6	76.6	8.1
	成形肉・ 牛脂注入肉 *	R6	(n=1800)	14.3	29.3	34.5	12.9	9.0	43.6
R5		(n=1800)	11.8	25.5	37.4	15.6	9.6	37.3	25.2
R4		(n=1800)	12.6	24.1	36.7	16.1	10.5	36.7	26.6
R3		(n=1800)	12.5	27.9	36.8	13.7	9.0	40.4	22.7
R2		(n=1800)	15.3	28.4	34.9	12.2	9.2	43.7	21.4
R1		(n=1800)	17.4	29.6	34.3	10.8	7.9	47.0	18.7
H30		(n=1800)	18.3	30.2	31.9	11.4	8.2	48.5	19.6
H29		(n=1800)	19.8	32.6	30.5	11.2	6.0	52.4	17.2
H28		(n=1800)	20.8	35.1	30.2	8.9	5.1	55.9	14.0
H27		(n=1800)	18.3	38.1	30.0	9.9	3.7	56.4	13.6
H26		(n=1800)	27.7	42.3	21.3	6.8	1.9	70.0	8.7
H25		(n=1240)	22.7	42.0	24.3	8.7	2.3	64.7	11.0
H24		(n=1238)	18.1	39.3	29.8	10.4	2.4	57.4	12.8
食肉の放射能汚染		R6	(n=1800)	14.9	26.9	35.3	13.8	9.1	41.8
	R5	(n=1800)	13.9	26.3	35.8	15.2	8.8	40.2	24.0
	R4	(n=1800)	15.3	25.9	34.8	14.3	9.6	41.2	23.9
	R3	(n=1800)	16.2	30.6	33.0	12.6	7.7	46.8	20.3
	R2	(n=1800)	19.3	30.2	31.1	11.2	8.2	49.5	19.4
	R1	(n=1800)	20.9	32.6	30.1	9.5	6.9	53.5	16.4
	H30	(n=1800)	23.1	31.1	28.7	10.4	6.8	54.2	17.2
	H29	(n=1800)	24.6	31.4	29.1	9.7	5.2	56.0	14.9
	H28	(n=1800)	24.8	32.9	28.6	8.6	5.1	57.7	13.7
	H27	(n=1800)	26.6	38.9	24.1	7.9	2.5	65.5	10.4
	H26	(n=1800)	32.4	39.4	19.9	6.4	1.9	71.8	8.3
	H25	(n=1240)	33.0	39.7	18.0	7.3	2.0	72.7	9.3
	H24	(n=1238)	33.8	39.9	17.8	6.4	2.1	73.7	8.5

\* 「成形肉（インジェクション）」は平成30年度より変更、「成形肉、牛脂注入肉」は令和6年度より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」  
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 155（その2） 食肉の安全性に関する項目別関心度（経年変化）

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心がある計	関心がない計
クローン家畜由来の食肉	R6	(n=1800)	14.0	28.8	35.2	12.7	9.2	42.8	21.9
	R5	(n=1800)	13.9	26.7	35.4	14.4	9.6	40.6	24.0
	R4	(n=1800)	14.8	26.7	33.1	15.7	9.7	41.5	25.4
	R3	(n=1800)	15.7	31.1	32.3	13.0	7.9	46.8	20.9
	R2	(n=1800)	18.7	30.2	30.2	11.9	8.9	48.9	20.8
	R1	(n=1800)	20.9	31.8	30.3	9.4	7.5	52.7	16.9
	H30	(n=1800)	20.9	32.2	29.3	10.4	7.2	53.1	17.6
	H29	(n=1800)	23.4	32.9	27.7	10.7	5.3	56.3	16.0
	H28	(n=1800)	24.2	32.9	29.2	8.3	5.4	57.1	13.7
	H27	(n=1800)	24.7	38.7	25.4	7.9	3.3	63.4	11.2
	H26	(n=1800)	28.5	40.4	22.9	6.5	1.7	68.9	8.2
	H25	(n=1240)	28.3	41.2	20.6	7.7	2.1	69.5	9.8
	H24	(n=1238)	23.4	42.5	22.7	9.2	2.2	65.9	11.4
	牛・豚の口蹄疫	R6	(n=1800)	15.9	29.4	34.2	11.4	9.0	45.3
R5		(n=1800)	16.4	27.9	34.4	12.7	8.6	44.3	21.3
R4		(n=1800)	16.4	27.4	33.7	12.8	9.7	43.8	22.5
R3		(n=1800)	17.3	29.7	33.2	11.9	7.9	47.0	19.8
R2		(n=1800)	20.4	29.4	30.3	11.1	8.7	49.8	19.8
R1		(n=1800)	23.3	32.9	28.9	8.0	6.9	56.2	14.9
H30		(n=1800)	25.1	31.9	28.1	7.9	7.1	57.0	15.0
H29		(n=1800)	26.9	33.3	26.3	8.5	5.0	60.2	13.5
H28		(n=1800)	27.6	32.9	26.9	7.6	4.9	60.5	12.5
H27		(n=1800)	28.8	40.7	21.3	6.8	2.5	69.5	9.3
H26		(n=1800)	35.2	39.7	18.5	5.4	1.2	74.9	6.6
H25		(n=1240)	31.2	44.5	16.8	6.1	1.4	75.7	7.5
H24		(n=1238)	30.1	44.0	18.4	6.4	1.2	74.1	7.6
豚熱		R6	(n=1800)	14.5	27.7	36.4	12.4	9.0	42.2
	R5	(n=1800)	16.2	26.1	35.2	14.0	8.6	42.3	22.6
	R4	(n=1800)	15.8	24.0	35.8	14.0	10.4	39.8	24.4
	R3	(n=1800)	15.9	28.3	35.3	12.7	7.8	44.2	20.5
	R2	(n=1800)	18.2	27.9	33.9	11.4	8.6	46.1	20.0
	R1	(n=1800)	27.5	33.8	25.2	7.3	6.3	61.3	13.6
	*1 H30	(n=1800)	25.9	33.8	25.6	8.4	6.3	59.7	14.7
アフリカ豚熱	R6	(n=1800)	14.9	27.3	35.3	13.2	9.2	42.2	22.4
	R5	(n=1800)	16.3	25.6	35.8	13.3	9.1	41.9	22.4
	R4	(n=1800)	15.6	23.7	36.2	13.9	10.6	39.3	24.5
	R3	(n=1800)	16.6	27.9	34.9	12.8	7.8	44.5	20.6
	R2	(n=1800)	19.1	27.4	33.1	11.2	9.3	46.5	20.5
	*2 R1	(n=1800)	25.9	31.8	28.1	7.1	7.2	57.7	14.3

\*1 令和元年度の選択肢「CSF」より変更

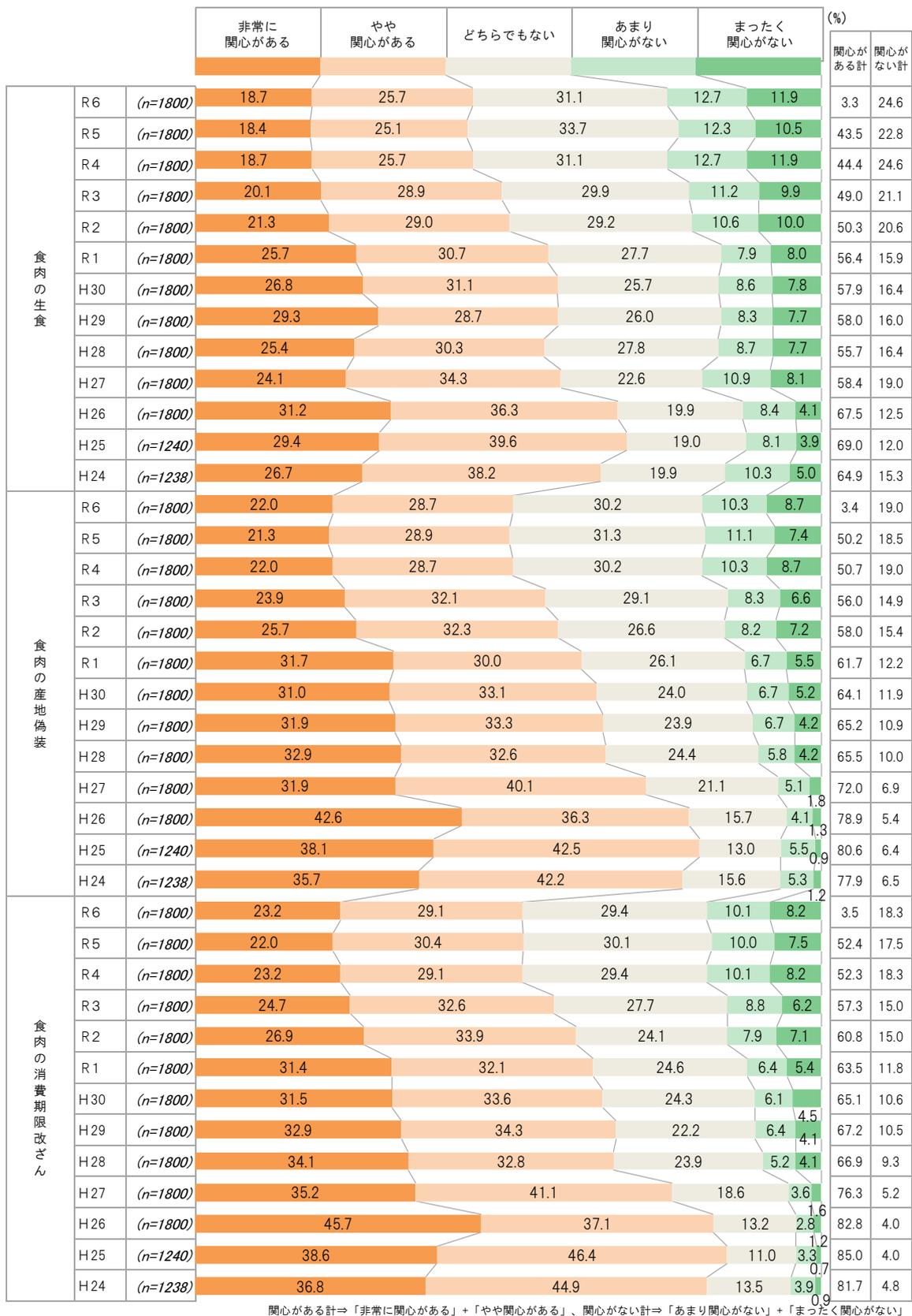
\*2 令和元年度の選択肢「ASF」より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」  
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 155 (その3) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



図表 155（その 4） 食肉の安全性に関する項目別関心度（経年変化）



図表 155 (その5) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心 がある計	関心 がない計
牛肉・豚肉の発がん性	R6	(n=1800)	19.2	28.3	34.2	10.1	8.2	47.5	18.3
	R5	(n=1800)	19.3	26.0	35.4	11.5	7.8	45.3	19.3
	R4	(n=1800)	20.9	25.9	32.8	11.3	9.2	46.8	20.5
	R3	(n=1800)	21.4	31.1	30.4	10.6	6.4	52.5	17.0
	R2	(n=1800)	24.7	30.9	27.4	9.6	7.3	55.6	16.9
	R1	(n=1800)	28.9	31.9	26.1	7.1	6.1	60.8	13.2
	H30	(n=1800)	28.2	30.3	28.1	7.9	5.6	58.5	13.5
	H29	(n=1800)	30.9	30.1	26.6	7.8	4.7	61.0	12.5
	H28	(n=1800)	30.7	31.2	26.8	6.7	4.6	61.9	11.3
ソーセージ)の発がん性	R6	(n=1800)	20.7	28.7	33.6	9.2	7.7	49.4	16.9
	R5	(n=1800)	19.4	28.4	34.3	10.4	7.5	47.8	17.9
	R4	(n=1800)	20.2	27.9	32.1	11.3	8.6	48.1	19.9
	R3	(n=1800)	22.9	31.1	30.3	10.0	5.7	54.0	15.7
	R2	(n=1800)	24.6	32.8	27.1	8.3	7.3	57.4	15.6
	R1	(n=1800)	29.1	32.1	26.3	6.6	5.9	61.2	12.5
	H30	(n=1800)	29.8	31.7	25.6	7.5	5.4	61.5	12.9
	H29	(n=1800)	30.7	30.2	27.4	7.1	4.7	60.9	11.8
	H28	(n=1800)	31.1	31.6	26.2	6.2	4.9	62.7	11.1
植物肉*	R6	(n=1800)	12.6	26.8	37.3	13.0	10.4	39.4	23.4
	R5	(n=1800)	12.6	25.6	38.8	13.1	9.9	38.2	23.0
	R4	(n=1800)	14.0	24.7	37.7	13.9	9.7	38.7	23.6
細胞培養肉*	R6	(n=1800)	13.3	24.8	38.9	12.8	10.2	38.1	23.0
	R5	(n=1800)	13.7	25.9	37.8	11.9	10.6	39.6	22.5
	R4	(n=1800)	14.1	24.4	35.9	14.7	10.9	38.5	25.6

\*「植物肉(大豆ミート食品類(ハンバーグ・バーガー・パテ大豆ミート牛丼・焼肉用カルビ等))」  
「細胞培養肉(食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉)」は令和4年度より新規項目

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」  
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 155 (その6) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

## 4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識

### 1) 社会全体における食肉の安全性の認識 (Q28)

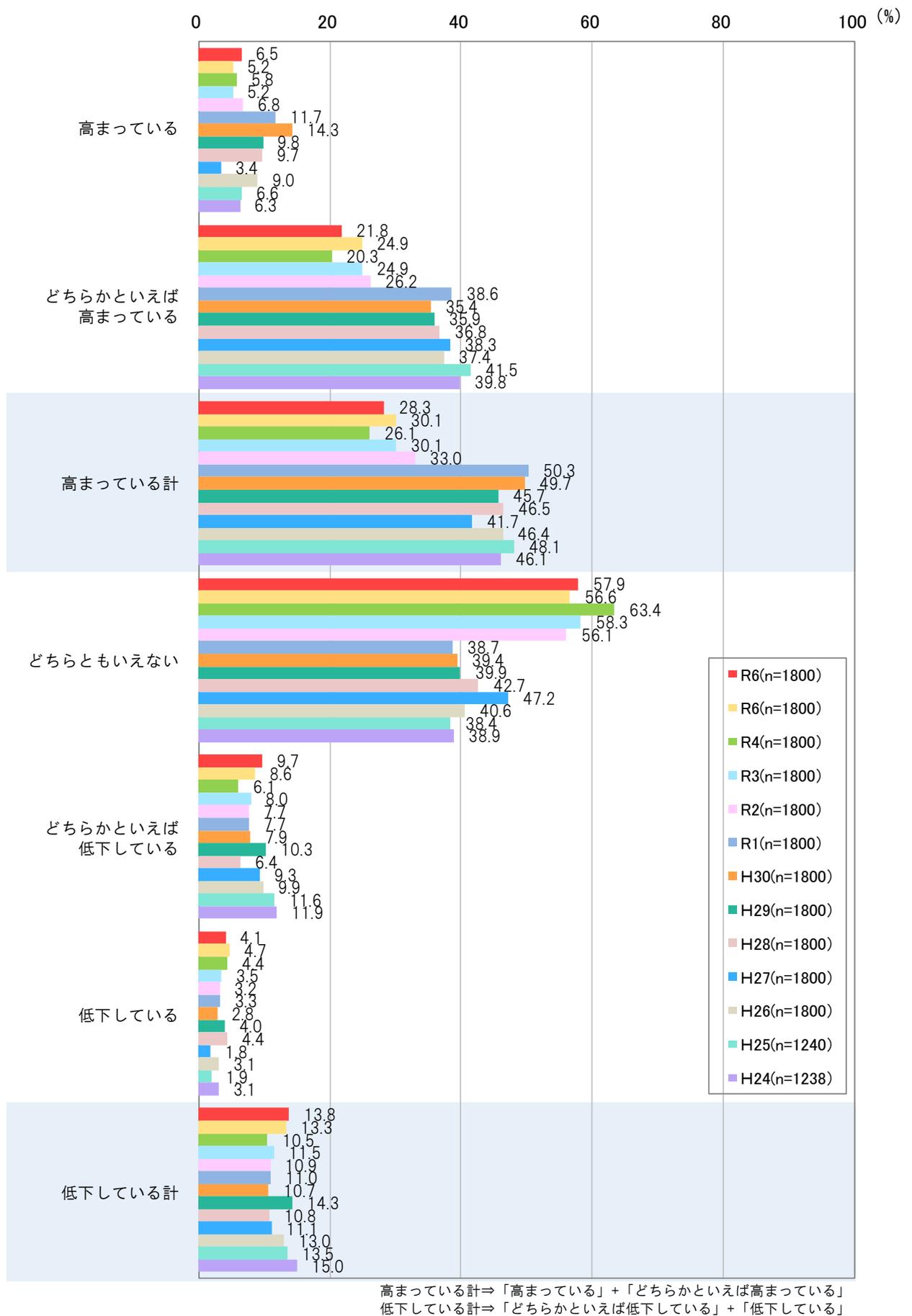
- 社会全体における食肉の安全性の認識は、「高まっている計」の割合が28.3%。
- 過年度調査と比較すると大きな変化は見られない。

#### 【今年度調査】

社会全体における食肉の安全性について聞いたところ、「低下している（低下している＋どちらかといえば低下している）」の割合が13.8%であるのに対して、「高まっている（高まっている＋どちらかといえば高まっている）」の割合は28.3%である。「どちらともいえない」が57.9%を占める。

#### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。



図表 156 社会全体における食肉の安全性の認識（経年変化）

## 2) 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源

①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q29・Q30/3つまで複数回答)

- 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」について情報を得るために用いている主な情報源の上位3項目は、「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」。
- 信頼できる情報源は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」。

### 【今年度調査】

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」（①73.3%、②61.2%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①27.7%、②25.3%）、「インターネット上のニュースサイト」（①26.7%、②23.6%）で、次いで「新聞」（①16.0%、②12.8%）である。

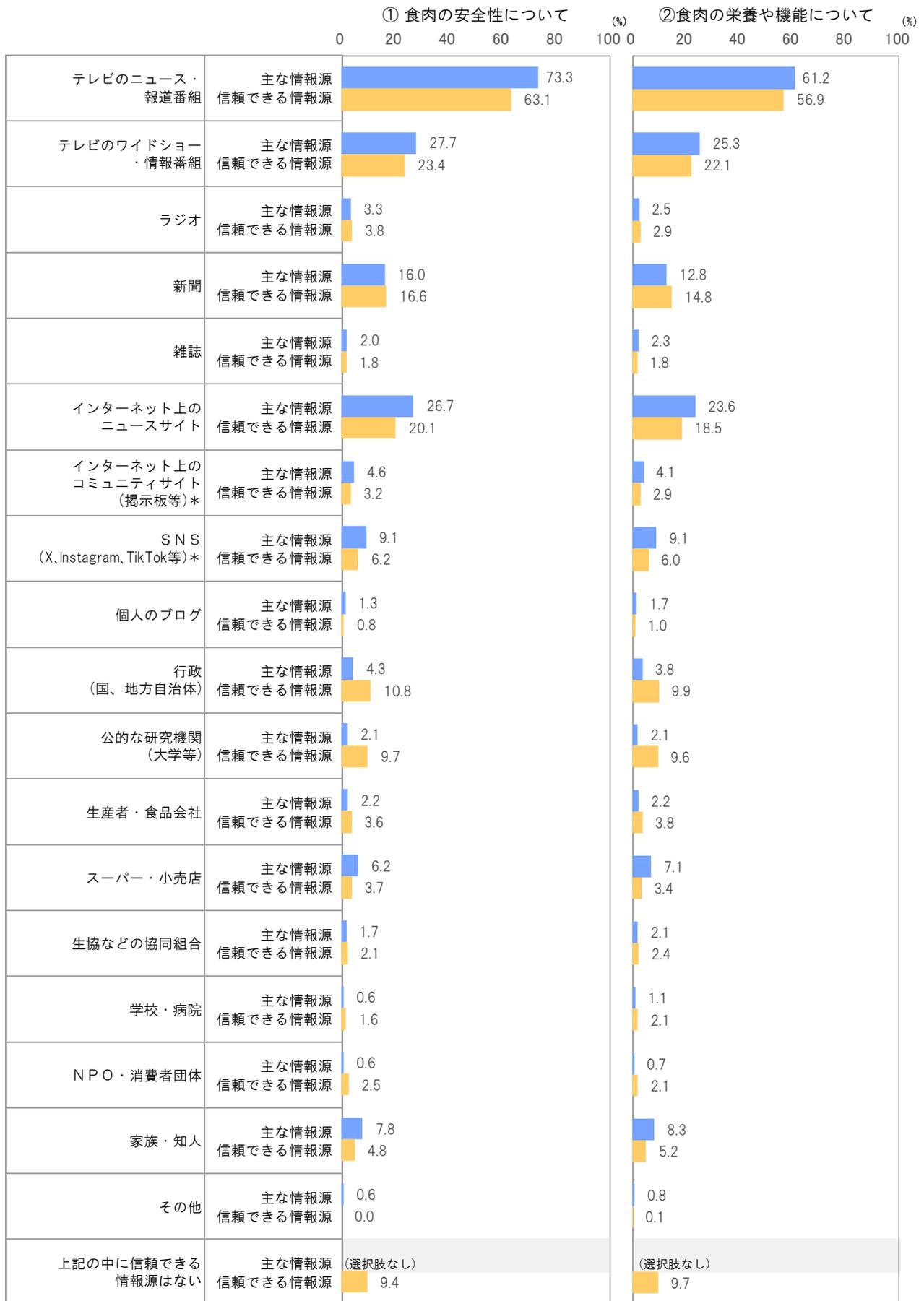
「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての信頼できる情報源（上位3つ）は、上位3項目が「テレビのニュース・報道番組」（①63.1%、②56.9%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①23.4%、②22.1%）、「インターネット上のニュースサイト」（①20.1%、②18.5%）で、次いで「新聞」（①16.6%、②14.8%）である。

年代別に見ると、「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての主な情報源及び信頼できる情報源は、20代・30代では「SNS（X、Instagram、TikTok等）」が高く、40代・50代では「インターネット上のニュースサイト」が高く、60代以上では「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「新聞」が高くなっている。

### 【過年度調査との比較】

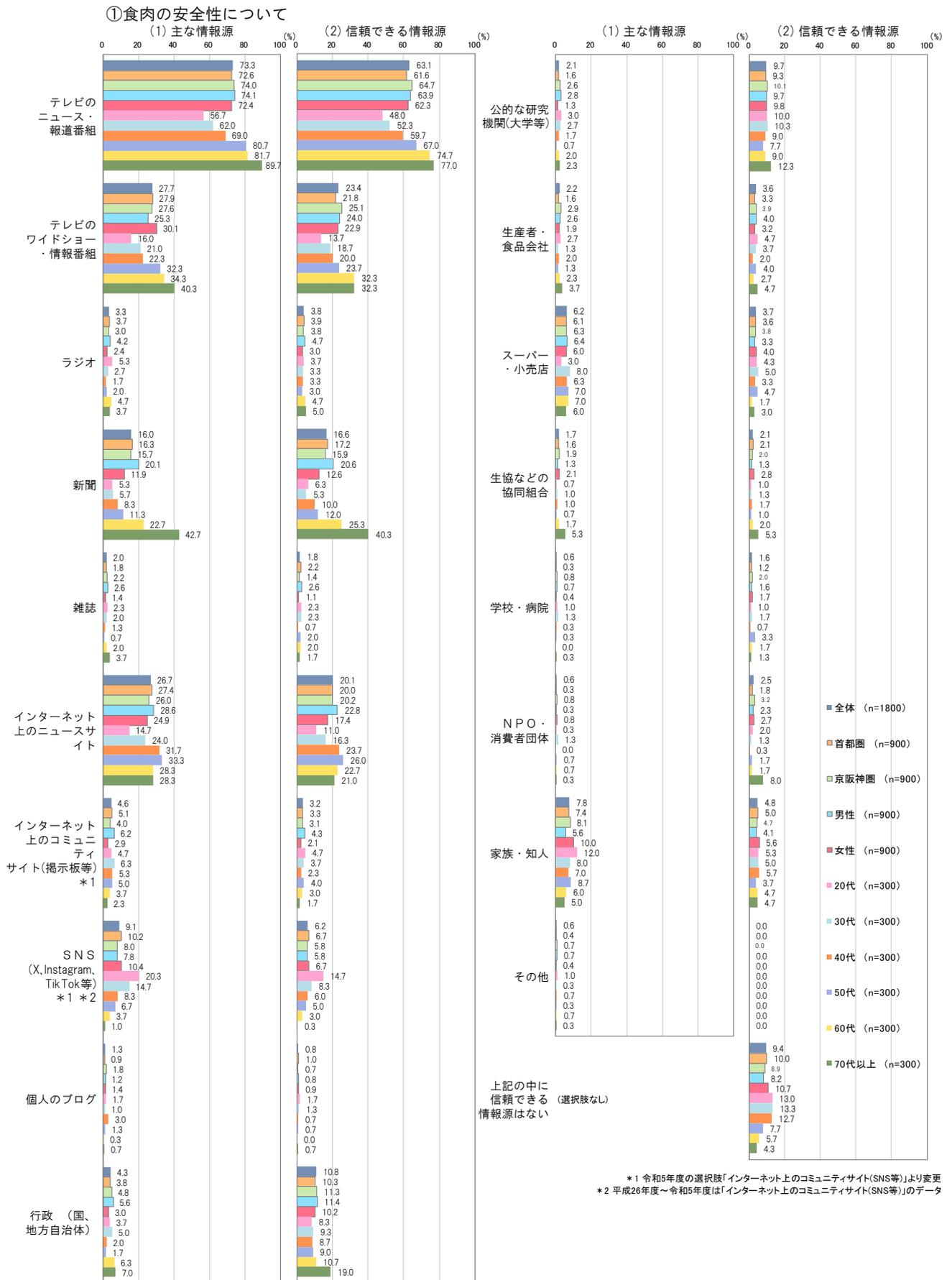
過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向で、大きな変化は見られない。

※令和2年度からは、「主な情報源（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。



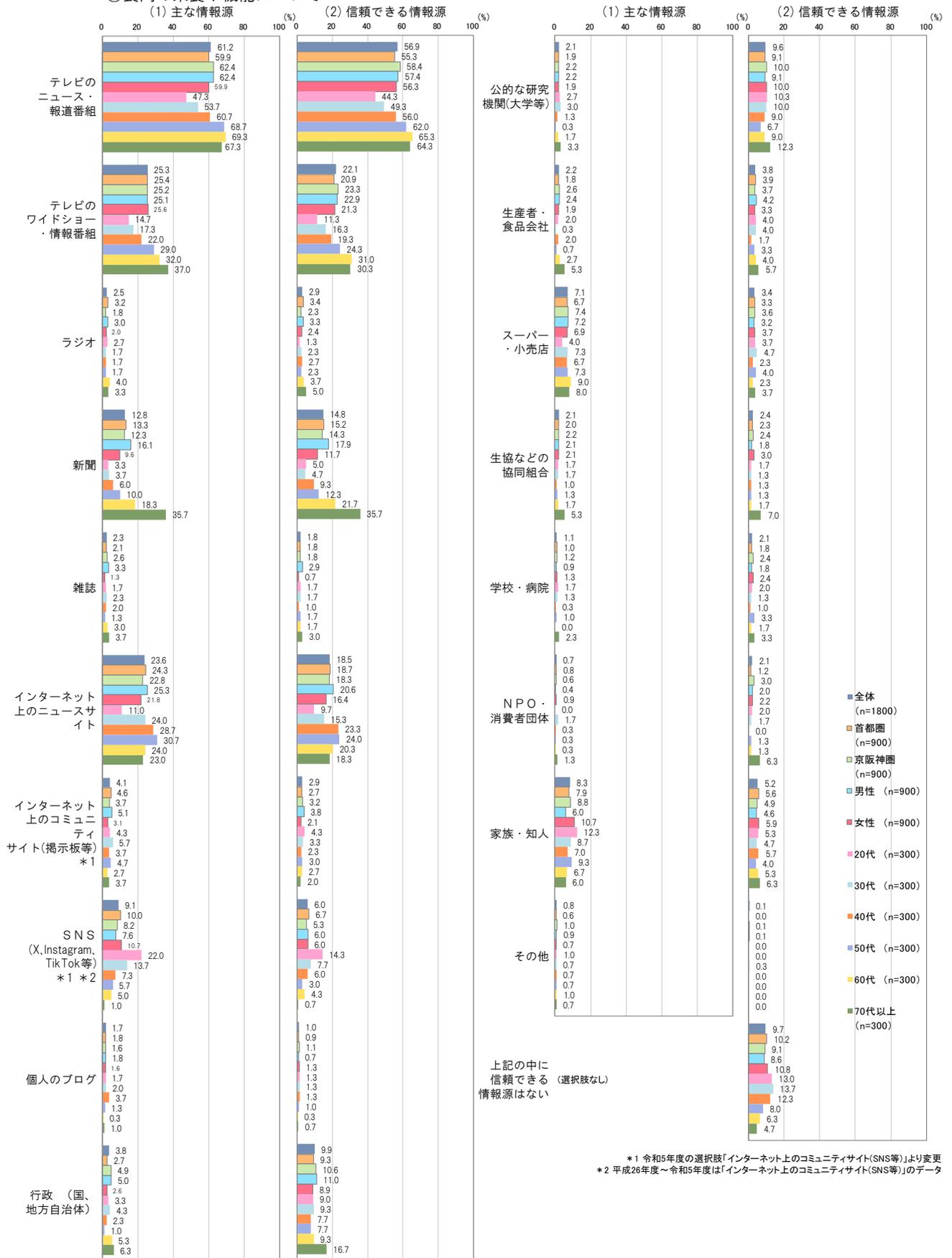
\* 令和5年度の選択肢「インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)」より変更

図表 157 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源  
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能

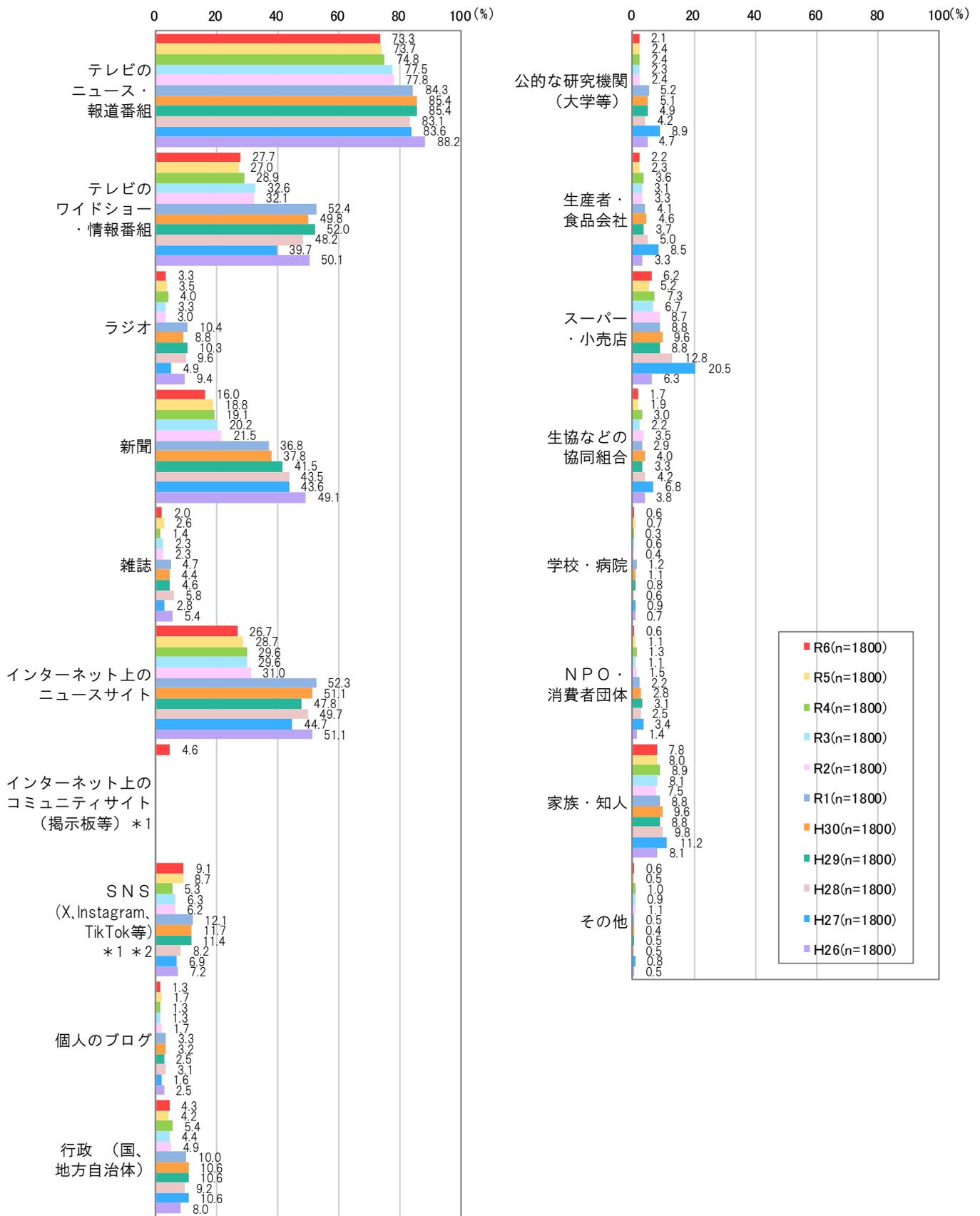


図表 158 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源 エリア・性・年代別 ①食肉の安全性

②食肉の栄養や機能について

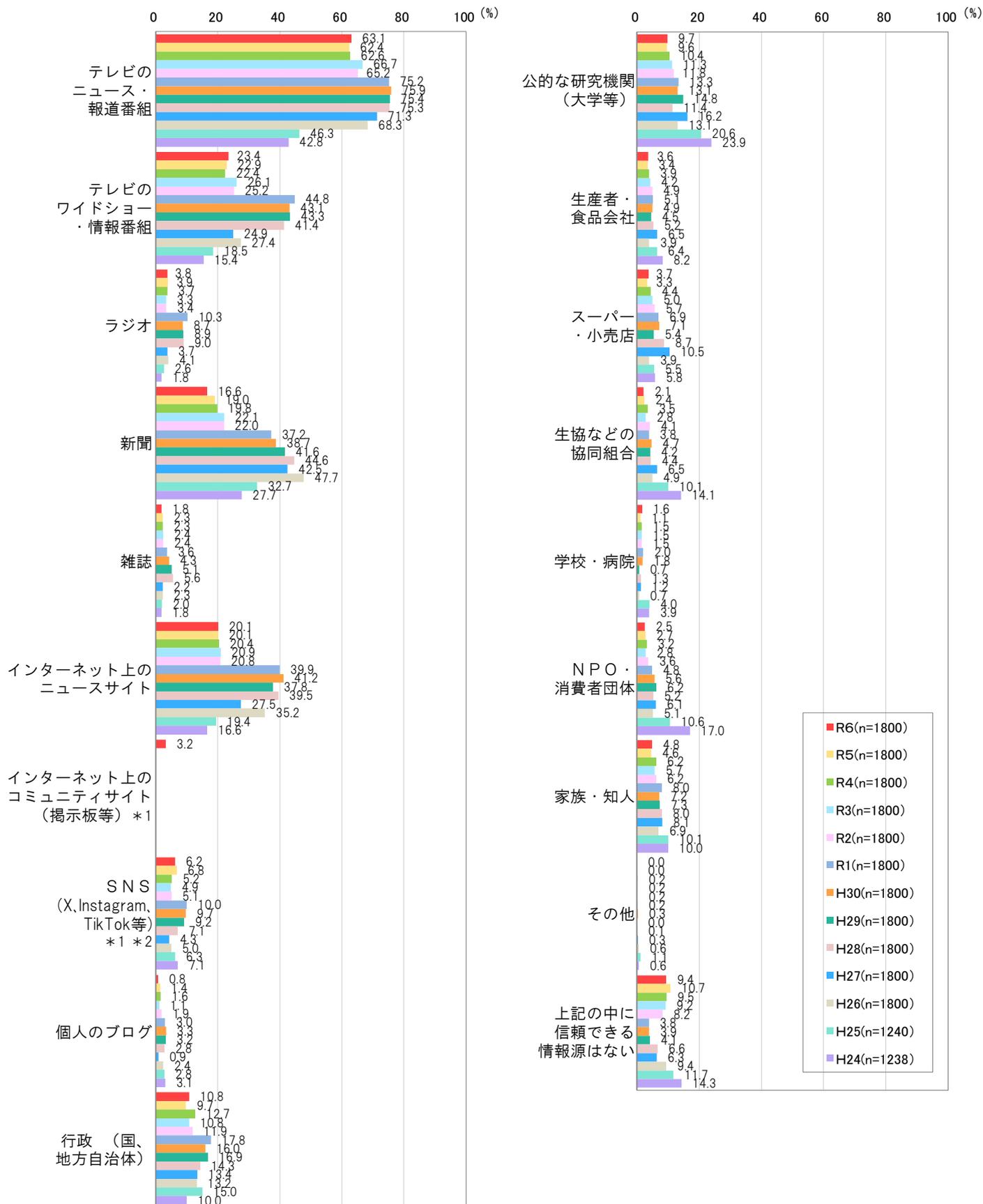


図表 159 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源 エリア・性・年代別 ②食肉の栄養や機能



\* 令和元年度までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年度からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった  
 \*1 令和5年度の選択肢「インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)」より変更  
 \*2 平成26年度～令和5年度は「インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)」のデータ

図表 160 食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性(経年変化※参考値)



\* 令和元年度までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年度からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった  
 \*1 令和5年度の選択肢「インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)」より変更  
 \*2 平成26年度~令和5年度は「インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)」のデータ

図表 161 信頼できる情報源 ①食肉の安全性(経年変化※参考値)

### 3) 各機関の取組に対する信頼性 (Q31)

- ▶ 「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合が高かったのは「農林水産省」「厚生労働省」「畜産農家」「地方自治体」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

#### 【今年度調査】

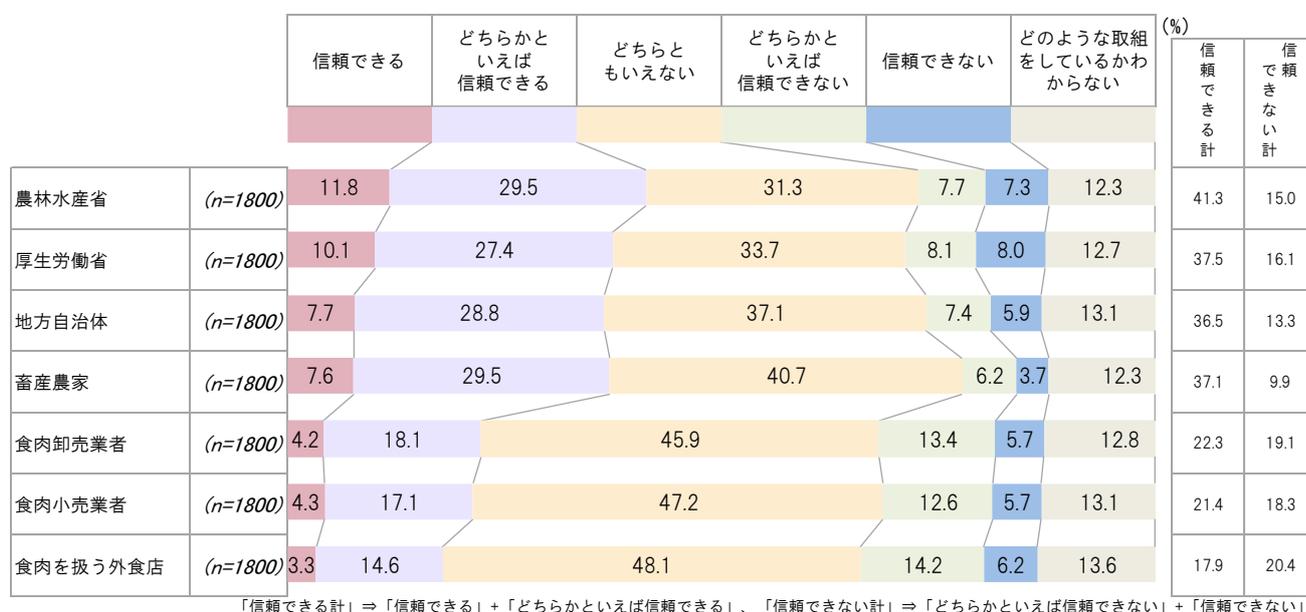
食肉の安全性に関しては、農林水産省、厚生労働省といった国の機関、地方自治体などの機関が様々な取組を行っている。各機関の取組について消費者から見た際、どの機関が信用できるか聞いた。

その結果「信頼できる計 (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合は「農林水産省」が 41.3%、「厚生労働省」が 37.5%、「畜産農家」が 37.1%、「地方自治体」が 36.5%の順で高い。

逆に「信頼できない計 (信頼できない+どちらかといえば信頼できない)」の割合は、「食肉を扱う外食店」が 20.4%、「食肉卸売業者」が 19.1%、「食肉小売業者」が 18.3%の順で高い。

#### 【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



図表 162 各機関の取組に対する信頼性

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	(%)	信頼できる	信頼できない
農林水産省	R6 (n=1800)	11.8	29.5	31.3	7.7	7.3	12.3	41.3	15.0	
	R5 (n=1800)	11.2	32.1	30.5	6.4	6.1	13.6	43.3	12.5	
	R4 (n=1800)	10.4	29.7	31.6	7.3	6.6	14.6	40.1	13.9	
	R3 (n=1800)	8.8	31.6	33.6	8.1	5.7	12.3	40.4	13.8	
	R2 (n=1800)	9.7	33.1	30.9	7.4	5.9	13.0	42.8	13.3	
	R1 (n=1800)	9.7	29.5	35.3	7.4	6.4	11.6	39.2	13.8	
	H30 (n=1800)	9.1	27.4	33.4	9.3	8.3	12.4	36.5	17.6	
	H29 (n=1800)	9.1	30.3	32.4	8.6	7.7	11.9	39.4	16.3	
	H28 (n=1800)	7.6	30.4	35.3	8.2	8.3	10.2	38.0	16.5	
	H27 (n=1800)	4.1	30.8	42.2	12.9	6.5	3.4	34.9	19.4	
	H26 (n=1800)	6.5	32.2	40.0	10.0	5.8	5.6	38.7	15.8	
	H25 (n=1240)	5.0	25.2	37.0	15.8	10.7	6.3	30.2	26.5	
	H24 (n=1238)	2.1	21.9	36.3	17.8	14.0	8.0	24.0	31.8	
	厚生労働省	R6 (n=1800)	10.1	27.4	33.7	8.1	8.0	12.7	37.5	16.1
R5 (n=1800)		9.5	30.4	32.0	7.7	6.7	13.7	39.9	14.4	
R4 (n=1800)		8.9	26.8	33.8	8.3	7.0	15.1	35.7	15.3	
R3 (n=1800)		7.6	26.8	36.2	9.8	6.2	13.4	34.4	16.0	
R2 (n=1800)		7.2	30.3	33.8	8.6	6.5	13.7	37.5	15.1	
R1 (n=1800)		8.1	26.8	36.6	9.1	7.3	12.0	34.9	16.4	
H30 (n=1800)		8.5	25.3	34.7	10.0	8.9	12.6	33.8	18.9	
H29 (n=1800)		7.3	29.4	33.6	9.5	8.3	11.8	36.7	17.8	
H28 (n=1800)		6.6	29.7	35.9	8.6	8.9	10.3	36.3	17.5	
H27 (n=1800)		3.9	28.9	42.2	13.3	7.8	3.8	32.8	21.1	
H26 (n=1800)		5.6	30.8	40.6	10.9	6.3	5.7	36.4	17.2	
H25 (n=1240)		4.7	24.0	38.5	15.5	10.7	6.5	28.7	26.2	
H24 (n=1238)		1.4	22.3	34.8	18.1	15.5	7.9	23.7	33.6	
地方自治体		R6 (n=1800)	7.7	28.8	37.1	7.4	5.9	13.1	36.5	13.3
	R5 (n=1800)	8.1	30.2	35.4	6.3	5.8	14.1	38.3	12.1	
	R4 (n=1800)	7.2	27.6	36.6	7.8	4.9	15.9	34.8	12.7	
	R3 (n=1800)	5.6	30.6	38.2	7.4	4.6	13.6	36.2	12.0	
	R2 (n=1800)	6.2	30.9	36.8	7.6	4.2	14.3	37.1	11.8	
	R1 (n=1800)	7.1	27.7	40.5	8.1	4.6	12.1	34.8	12.7	
	H30 (n=1800)	7.8	27.7	37.0	8.3	6.2	13.0	35.5	14.5	
	H29 (n=1800)	7.1	30.9	36.3	7.8	6.3	11.6	38.0	14.1	
	H28 (n=1800)	5.9	27.7	40.1	8.2	7.6	10.6	33.6	15.8	
	H27 (n=1800)	3.2	30.9	44.5	12.4	4.9	4.1	34.1	17.3	
	H26 (n=1800)	4.3	32.4	44.1	8.9	4.6	5.7	36.7	13.5	
	H25 (n=1240)	4.4	28.1	39.8	12.7	8.1	6.9	32.5	20.8	
	H24 (n=1238)	2.3	24.5	41.9	13.8	9.3	8.2	26.8	23.1	
	畜産農家	R6 (n=1800)	7.6	29.5	40.7	6.2	3.7	12.3	37.1	9.9
R5 (n=1800)		7.1	29.7	39.0	7.3	3.7	13.2	36.8	11.0	
R4 (n=1800)		7.7	26.8	39.6	7.2	4.2	14.6	34.5	11.4	
R3 (n=1800)		5.8	29.1	42.1	7.7	3.6	11.7	34.9	11.3	
R2 (n=1800)		6.8	31.1	40.1	6.2	3.1	12.7	37.9	9.3	
R1 (n=1800)		6.6	28.5	42.0	7.6	3.4	11.9	35.1	11.0	
H30 (n=1800)		6.5	27.6	42.2	7.3	4.3	12.1	34.1	11.6	
H29 (n=1800)		6.2	30.2	41.3	6.3	4.4	11.6	36.4	10.7	
H28 (n=1800)		6.4	26.8	43.9	7.2	5.3	10.3	33.2	12.5	
H27 (n=1800)		4.3	29.9	50.3	8.1	3.1	4.3	34.2	11.2	
H26 (n=1800)		4.3	31.3	48.2	7.4	3.1	5.7	35.6	10.5	
H25 (n=1240)		5.3	28.9	43.2	10.1	6.0	6.5	34.2	16.1	
H24 (n=1238)		3.8	28.6	41.2	13.4	5.6	7.4	32.4	19.0	

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 163 行政・農家の取組に対する信頼性（経年変化）

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	(%)	
								る 信 計 頼 で き	な 信 計 頼 計 でき
食肉卸売業者	R6 (n=1800)	4.2	18.1	45.9	13.4	5.7	12.8	22.3	19.1
	R5 (n=1800)	4.6	19.1	44.6	12.2	5.9	13.7	23.7	18.1
	R4 (n=1800)	3.8	16.7	42.9	14.0	7.4	15.1	20.5	21.4
	R3 (n=1800)	2.7	17.4	49.2	13.0	5.2	12.6	20.1	18.2
	R2 (n=1800)	3.5	17.5	46.1	14.5	5.4	12.9	21.0	19.9
	R1 (n=1800)	4.2	16.2	45.9	14.1	7.1	12.5	20.4	21.2
	H30 (n=1800)	3.4	14.8	45.4	15.9	8.2	12.2	18.2	24.1
	H29 (n=1800)	3.2	15.7	44.8	15.6	8.8	11.8	18.9	24.4
	H28 (n=1800)	2.7	13.8	44.1	17.9	10.5	11.0	16.5	28.4
	H27 (n=1800)	1.6	12.4	52.0	22.2	7.2	4.6	14.0	29.4
	H26 (n=1800)	1.0	11.8	51.5	21.6	7.9	6.2	12.8	29.5
	H25 (n=1240)	1.9	11.0	44.3	24.2	11.7	6.9	12.9	35.9
H24 (n=1238)	0.7	8.8	42.2	27.7	12.9	7.6	9.5	40.6	
食肉小売業者	R6 (n=1800)	4.3	17.1	47.2	12.6	5.7	13.1	21.4	18.3
	R5 (n=1800)	4.3	18.4	46.6	11.5	5.4	13.8	22.7	16.9
	R4 (n=1800)	3.8	15.9	45.2	13.0	6.7	15.4	19.7	19.7
	R3 (n=1800)	2.7	16.7	49.9	13.1	4.8	12.8	19.4	17.9
	R2 (n=1800)	3.4	16.7	47.8	13.7	5.2	13.2	20.1	18.9
	R1 (n=1800)	3.9	15.6	47.8	13.2	6.7	12.8	19.5	19.9
	H30 (n=1800)	3.4	15.4	45.1	16.6	7.1	12.5	18.8	23.7
	H29 (n=1800)	3.0	15.8	46.3	14.4	8.8	11.7	18.8	23.2
	H28 (n=1800)	2.5	14.4	46.2	16.8	9.0	11.1	16.9	25.8
	H27 (n=1800)	1.4	12.7	54.5	20.3	6.6	4.5	14.1	26.9
	H26 (n=1800)	1.1	12.3	53.3	19.7	7.2	6.3	13.4	26.9
	H25 (n=1240)	1.9	10.8	46.9	22.9	10.7	6.9	12.7	33.6
H24 (n=1238)	0.9	10.0	44.7	25.7	10.9	7.7	10.9	36.6	
食肉を扱う外食店	R6 (n=1800)	3.3	14.6	48.1	14.2	6.2	13.6	17.9	20.4
	R5 (n=1800)	4.1	16.7	45.8	13.3	6.2	13.9	20.8	19.5
	R4 (n=1800)	3.3	13.5	46.2	14.6	6.9	15.6	16.8	21.5
	R3 (n=1800)	2.4	13.8	50.4	14.0	6.3	13.1	16.2	20.3
	R2 (n=1800)	2.8	14.4	47.8	15.4	6.1	13.4	17.2	21.5
	R1 (n=1800)	3.3	12.7	46.5	16.4	8.2	12.9	16.0	24.6
	H30 (n=1800)	2.8	12.8	44.1	18.6	8.7	13.1	15.6	27.3
	H29 (n=1800)	2.5	12.5	45.0	17.0	10.7	12.3	15.0	27.7
	H28 (n=1800)	1.8	11.8	45.2	18.6	11.2	11.4	13.6	29.8
	H27 (n=1800)	0.9	9.7	51.8	23.2	9.7	4.7	10.6	32.9
	H26 (n=1800)	0.7	8.2	47.7	24.2	12.1	7.1	8.9	36.3
	H25 (n=1240)	1.0	8.1	44.6	25.0	14.4	6.9	9.1	39.4
H24 (n=1238)	0.5	8.8	43.9	26.5	12.3	8.0	9.3	38.8	

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 164 民間事業者などの取組に対する信頼性（経年変化）

4) 食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能  
(Q32/3 つまで複数回答)

- 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待することの上位3項目は、「正確な情報の提供」「迅速な情報の提供」「わかりやすい情報の提供」。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

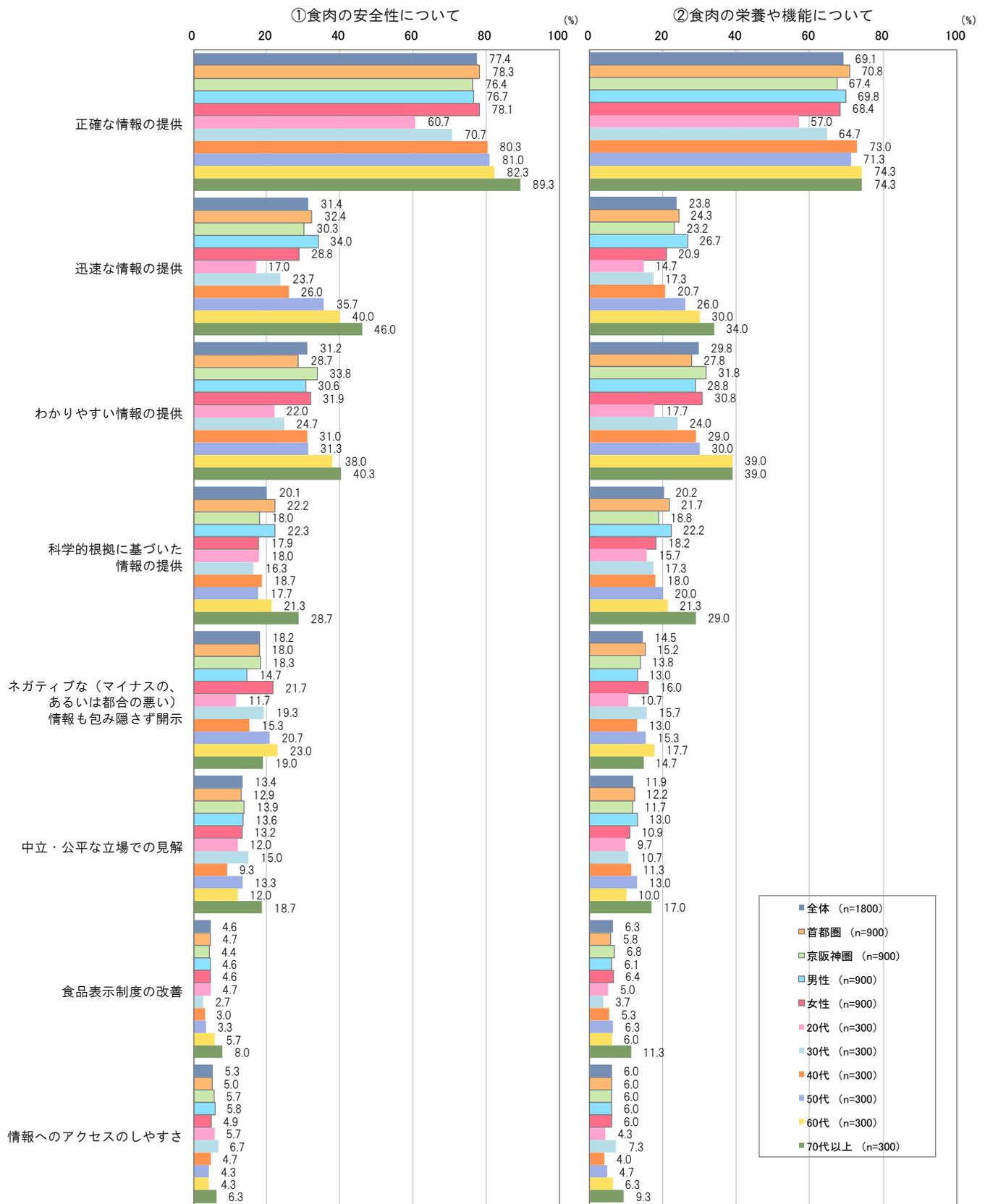
【今年度調査】

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待すること（上位3つ）は、上位3項目が「正確な情報の提供」（①77.4%、②69.1%）、「迅速な情報の提供」（①31.4%、②23.8%）、「わかりやすい情報の提供」（①31.2%、②29.8%）である。

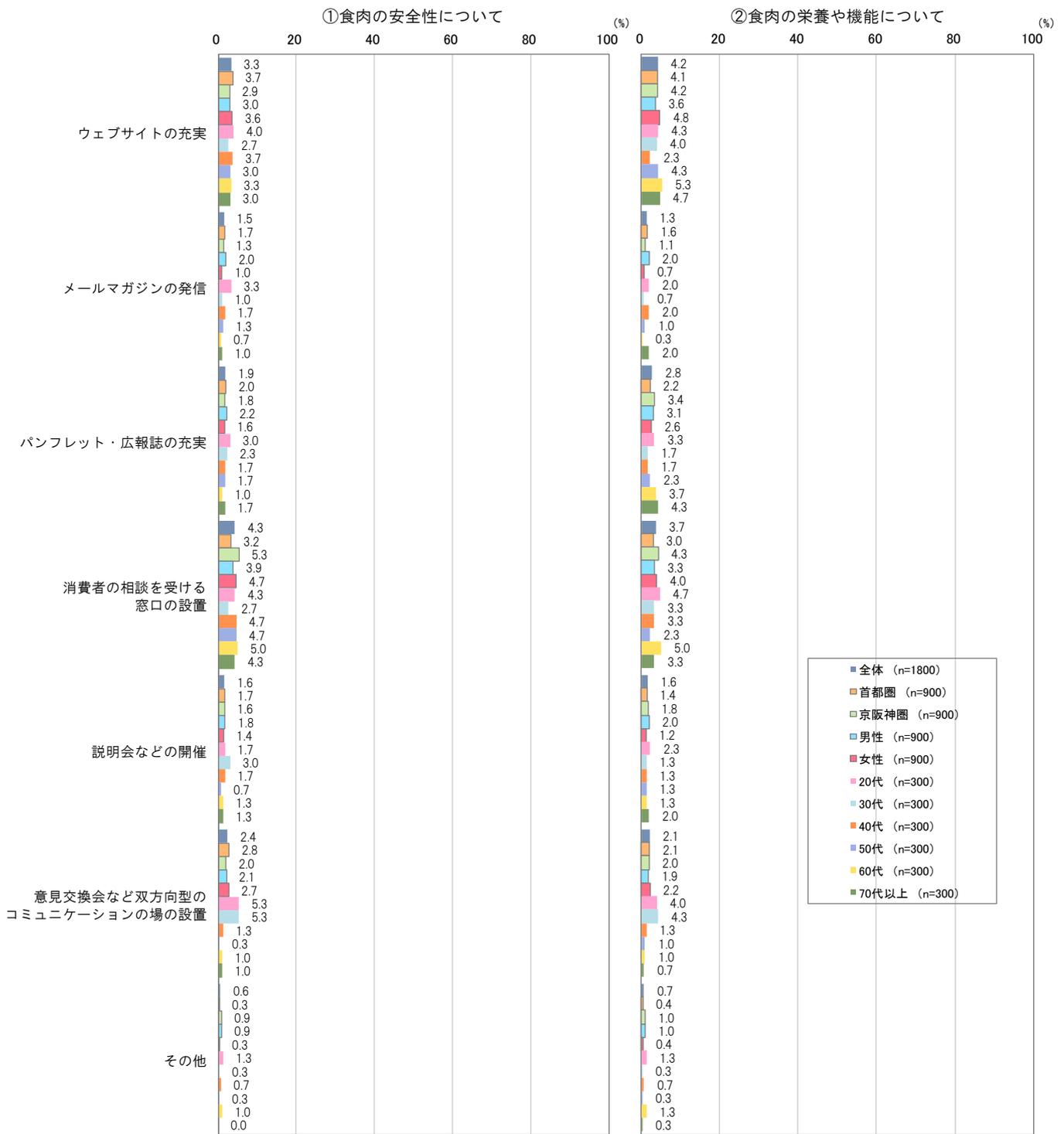
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

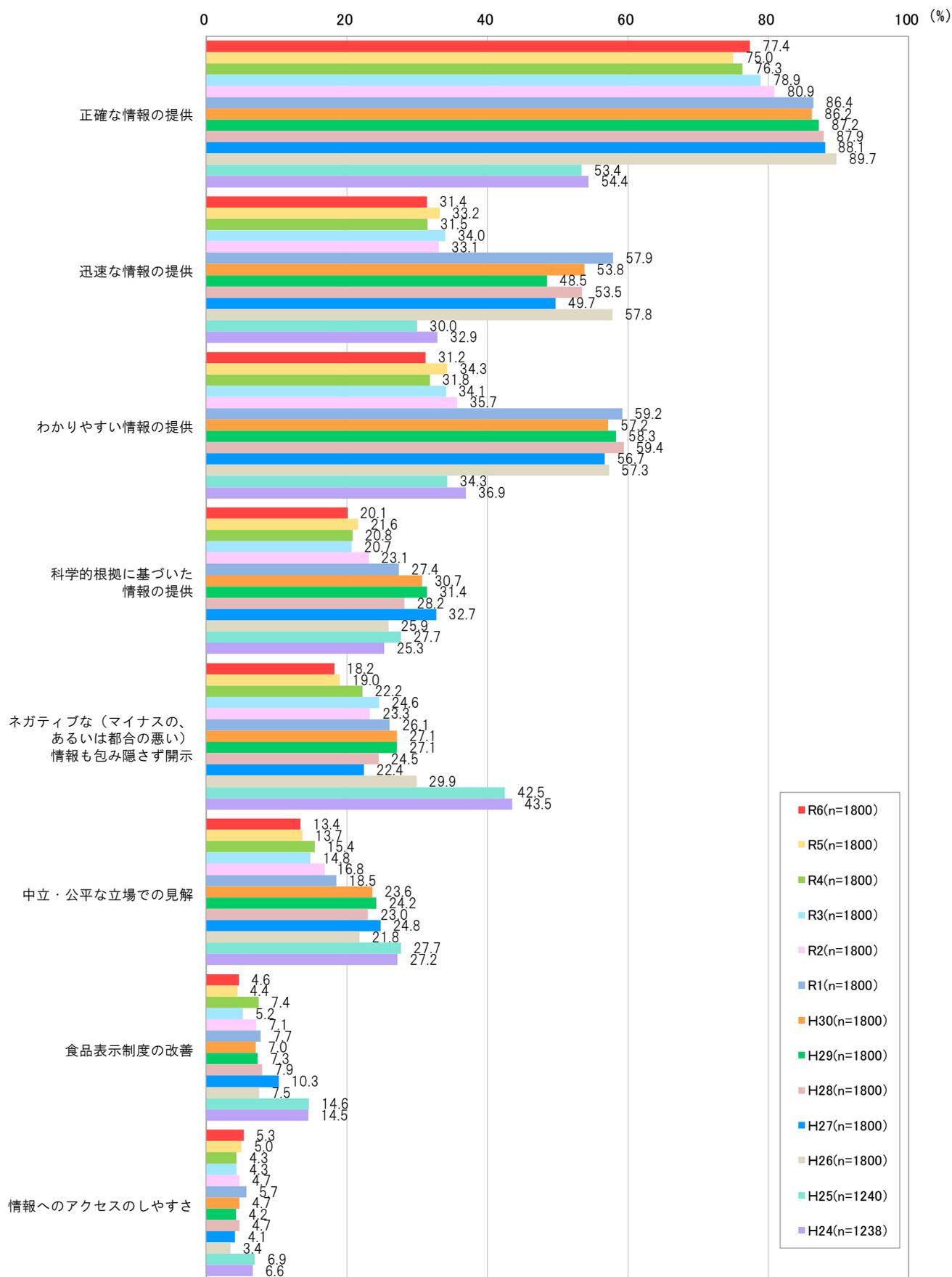
※令和2年度からは、「行政に期待すること（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。



図表 165（その1） 情報提供に対する行政への期待

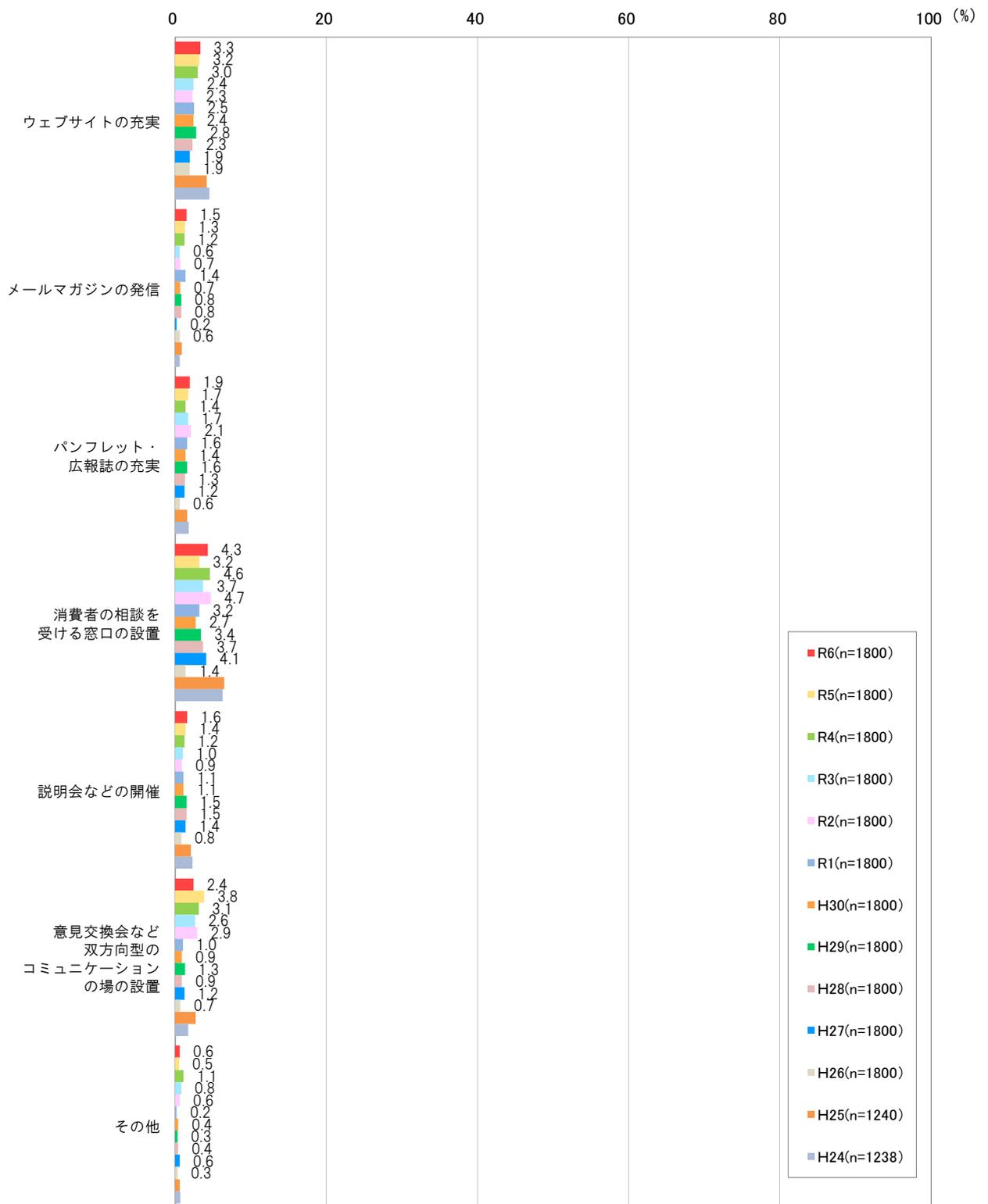


図表 165 (その2) 情報提供に対する行政への期待



\* 令和元年までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 166 (その1) 情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性について  
(経年変化※参考値)



\*令和元年までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 166 (その2) 情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性について (経年変化※参考値)

集計表

Q4 牛肉、豚肉、鶏肉、魚介料理について、各料理を食べる頻度をお答えください。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

※中食とは、惣菜や調理済み食品など家庭外で調理された食品を購入し、自宅や職場などで食べる、持ち帰り・テイクアウト、出前・デリバリー・宅配をいいます。肉や魚介を主菜とする弁当のテイクアウトやデリバリーも含まれます。

【1. 牛肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 <b>100</b>	32 <b>1.8</b>	34 <b>1.9</b>	215 <b>11.9</b>	372 <b>20.7</b>	355 <b>19.7</b>	243 <b>13.5</b>	375 <b>20.8</b>	174 <b>9.7</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	15 <b>1.7</b>	16 <b>1.8</b>	94 <b>10.4</b>	163 <b>18.1</b>	179 <b>19.9</b>	126 <b>14.0</b>	205 <b>22.8</b>	102 <b>11.3</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	17 <b>1.9</b>	18 <b>2.0</b>	121 <b>13.4</b>	209 <b>23.2</b>	176 <b>19.6</b>	117 <b>13.0</b>	170 <b>18.9</b>	72 <b>8.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	14 <b>4.7</b>	32 <b>10.7</b>	47 <b>15.7</b>	53 <b>17.7</b>	43 <b>14.3</b>	64 <b>21.3</b>	33 <b>11.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	5 <b>1.7</b>	26 <b>8.7</b>	60 <b>20.0</b>	54 <b>18.0</b>	43 <b>14.3</b>	70 <b>23.3</b>	34 <b>11.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	2 <b>0.7</b>	39 <b>13.0</b>	58 <b>19.3</b>	65 <b>21.7</b>	39 <b>13.0</b>	64 <b>21.3</b>	26 <b>8.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>	21 <b>7.0</b>	50 <b>16.7</b>	73 <b>24.3</b>	49 <b>16.3</b>	73 <b>24.3</b>	29 <b>9.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	4 <b>1.3</b>	34 <b>11.3</b>	71 <b>23.7</b>	67 <b>22.3</b>	37 <b>12.3</b>	56 <b>18.7</b>	31 <b>10.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	6 <b>2.0</b>	63 <b>21.0</b>	86 <b>28.7</b>	43 <b>14.3</b>	32 <b>10.7</b>	48 <b>16.0</b>	21 <b>7.0</b>

【2. 牛肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 <b>100</b>	22 <b>1.2</b>	22 <b>1.2</b>	80 <b>4.4</b>	184 <b>10.2</b>	208 <b>11.6</b>	264 <b>14.7</b>	560 <b>31.1</b>	460 <b>25.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	14 <b>1.6</b>	9 <b>1.0</b>	42 <b>4.7</b>	91 <b>10.1</b>	98 <b>10.9</b>	130 <b>14.4</b>	283 <b>31.4</b>	233 <b>25.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	8 <b>0.9</b>	13 <b>1.4</b>	38 <b>4.2</b>	93 <b>10.3</b>	110 <b>12.2</b>	134 <b>14.9</b>	277 <b>30.8</b>	227 <b>25.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	10 <b>3.3</b>	21 <b>7.0</b>	44 <b>14.7</b>	37 <b>12.3</b>	49 <b>16.3</b>	69 <b>23.0</b>	58 <b>19.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	6 <b>2.0</b>	13 <b>4.3</b>	29 <b>9.7</b>	31 <b>10.3</b>	52 <b>17.3</b>	95 <b>31.7</b>	71 <b>23.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	3 <b>1.0</b>	17 <b>5.7</b>	35 <b>11.7</b>	44 <b>14.7</b>	40 <b>13.3</b>	93 <b>31.0</b>	62 <b>20.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	1 <b>0.3</b>	13 <b>4.3</b>	23 <b>7.7</b>	31 <b>10.3</b>	44 <b>14.7</b>	115 <b>38.3</b>	72 <b>24.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	7 <b>2.3</b>	31 <b>10.3</b>	37 <b>12.3</b>	38 <b>12.7</b>	98 <b>32.7</b>	89 <b>29.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	2 <b>0.7</b>	9 <b>3.0</b>	22 <b>7.3</b>	28 <b>9.3</b>	41 <b>13.7</b>	90 <b>30.0</b>	108 <b>36.0</b>

【3. 牛肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 <b>100</b>	18 <b>1.0</b>	22 <b>1.2</b>	55 <b>3.1</b>	136 <b>7.6</b>	154 <b>8.6</b>	345 <b>19.2</b>	752 <b>41.8</b>	318 <b>17.7</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	12 <b>1.3</b>	7 <b>0.8</b>	30 <b>3.3</b>	74 <b>8.2</b>	75 <b>8.3</b>	167 <b>18.6</b>	376 <b>41.8</b>	159 <b>17.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	6 <b>0.7</b>	15 <b>1.7</b>	25 <b>2.8</b>	62 <b>6.9</b>	79 <b>8.8</b>	178 <b>19.8</b>	376 <b>41.8</b>	159 <b>17.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	7 <b>2.3</b>	19 <b>6.3</b>	36 <b>12.0</b>	39 <b>13.0</b>	56 <b>18.7</b>	88 <b>29.3</b>	44 <b>14.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	7 <b>2.3</b>	10 <b>3.3</b>	31 <b>10.3</b>	19 <b>6.3</b>	65 <b>21.7</b>	111 <b>37.0</b>	55 <b>18.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	6 <b>2.0</b>	11 <b>3.7</b>	25 <b>8.3</b>	23 <b>7.7</b>	58 <b>19.3</b>	135 <b>45.0</b>	39 <b>13.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	2 <b>0.7</b>	6 <b>2.0</b>	14 <b>4.7</b>	23 <b>7.7</b>	61 <b>20.3</b>	148 <b>49.3</b>	44 <b>14.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	6 <b>2.0</b>	19 <b>6.3</b>	26 <b>8.7</b>	42 <b>14.0</b>	153 <b>51.0</b>	54 <b>18.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	3 <b>1.0</b>	11 <b>3.7</b>	24 <b>8.0</b>	63 <b>21.0</b>	117 <b>39.0</b>	82 <b>27.3</b>

【4. 豚肉料理】 内食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	35 <b>1.9</b>	99 <b>5.5</b>	544 <b>30.2</b>	452 <b>25.1</b>	261 <b>14.5</b>	143 <b>7.9</b>	173 <b>9.6</b>	93 <b>5.2</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	23 <b>2.6</b>	54 <b>6.0</b>	284 <b>31.6</b>	218 <b>24.2</b>	122 <b>13.6</b>	72 <b>8.0</b>	83 <b>9.2</b>	44 <b>4.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	12 <b>1.3</b>	45 <b>5.0</b>	260 <b>28.9</b>	234 <b>26.0</b>	139 <b>15.4</b>	71 <b>7.9</b>	90 <b>10.0</b>	49 <b>5.4</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	19 <b>6.3</b>	69 <b>23.0</b>	73 <b>24.3</b>	44 <b>14.7</b>	34 <b>11.3</b>	27 <b>9.0</b>	18 <b>6.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	15 <b>5.0</b>	90 <b>30.0</b>	68 <b>22.7</b>	35 <b>11.7</b>	24 <b>8.0</b>	40 <b>13.3</b>	20 <b>6.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	17 <b>5.7</b>	92 <b>30.7</b>	75 <b>25.0</b>	46 <b>15.3</b>	21 <b>7.0</b>	31 <b>10.3</b>	12 <b>4.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	12 <b>4.0</b>	86 <b>28.7</b>	74 <b>24.7</b>	46 <b>15.3</b>	28 <b>9.3</b>	40 <b>13.3</b>	11 <b>3.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	14 <b>4.7</b>	98 <b>32.7</b>	75 <b>25.0</b>	54 <b>18.0</b>	21 <b>7.0</b>	20 <b>6.7</b>	17 <b>5.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	22 <b>7.3</b>	109 <b>36.3</b>	87 <b>29.0</b>	36 <b>12.0</b>	15 <b>5.0</b>	15 <b>5.0</b>	15 <b>5.0</b>

【5. 豚肉料理】 中食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	28 <b>1.6</b>	27 <b>1.5</b>	114 <b>6.3</b>	236 <b>13.1</b>	263 <b>14.6</b>	269 <b>14.9</b>	465 <b>25.8</b>	398 <b>22.1</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	20 <b>2.2</b>	11 <b>1.2</b>	57 <b>6.3</b>	126 <b>14.0</b>	141 <b>15.7</b>	142 <b>15.8</b>	220 <b>24.4</b>	183 <b>20.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	8 <b>0.9</b>	16 <b>1.8</b>	57 <b>6.3</b>	110 <b>12.2</b>	122 <b>13.6</b>	127 <b>14.1</b>	245 <b>27.2</b>	215 <b>23.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	3 <b>1.0</b>	28 <b>9.3</b>	48 <b>16.0</b>	45 <b>15.0</b>	52 <b>17.3</b>	59 <b>19.7</b>	49 <b>16.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	8 <b>2.7</b>	15 <b>5.0</b>	45 <b>15.0</b>	41 <b>13.7</b>	45 <b>15.0</b>	83 <b>27.7</b>	58 <b>19.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	10 <b>3.3</b>	21 <b>7.0</b>	43 <b>14.3</b>	50 <b>16.7</b>	43 <b>14.3</b>	78 <b>26.0</b>	51 <b>17.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	3 <b>1.0</b>	15 <b>5.0</b>	35 <b>11.7</b>	41 <b>13.7</b>	48 <b>16.0</b>	90 <b>30.0</b>	65 <b>21.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	1 <b>0.3</b>	17 <b>5.7</b>	35 <b>11.7</b>	53 <b>17.7</b>	48 <b>16.0</b>	75 <b>25.0</b>	71 <b>23.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	2 <b>0.7</b>	18 <b>6.0</b>	30 <b>10.0</b>	33 <b>11.0</b>	33 <b>11.0</b>	80 <b>26.7</b>	104 <b>34.7</b>

【6. 豚肉料理】 外食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	23 <b>1.3</b>	16 <b>0.9</b>	72 <b>4.0</b>	171 <b>9.5</b>	190 <b>10.6</b>	331 <b>18.4</b>	663 <b>36.8</b>	334 <b>18.6</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	15 <b>1.7</b>	8 <b>0.9</b>	43 <b>4.8</b>	89 <b>9.9</b>	111 <b>12.3</b>	161 <b>17.9</b>	321 <b>35.7</b>	152 <b>16.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	8 <b>0.9</b>	8 <b>0.9</b>	29 <b>3.2</b>	82 <b>9.1</b>	79 <b>8.8</b>	170 <b>18.9</b>	342 <b>38.0</b>	182 <b>20.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	6 <b>2.0</b>	20 <b>6.7</b>	48 <b>16.0</b>	44 <b>14.7</b>	60 <b>20.0</b>	74 <b>24.7</b>	36 <b>12.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	15 <b>5.0</b>	35 <b>11.7</b>	32 <b>10.7</b>	53 <b>17.7</b>	101 <b>33.7</b>	56 <b>18.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>	12 <b>4.0</b>	31 <b>10.3</b>	36 <b>12.0</b>	51 <b>17.0</b>	121 <b>40.3</b>	39 <b>13.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	0 <b>0.0</b>	9 <b>3.0</b>	18 <b>6.0</b>	24 <b>8.0</b>	62 <b>20.7</b>	136 <b>45.3</b>	48 <b>16.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	10 <b>3.3</b>	22 <b>7.3</b>	28 <b>9.3</b>	53 <b>17.7</b>	128 <b>42.7</b>	59 <b>19.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	6 <b>2.0</b>	17 <b>5.7</b>	26 <b>8.7</b>	52 <b>17.3</b>	103 <b>34.3</b>	96 <b>32.0</b>

【7. 鶏肉料理】 内食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	33 <b>1.8</b>	86 <b>4.8</b>	484 <b>26.9</b>	480 <b>26.7</b>	254 <b>14.1</b>	161 <b>8.9</b>	189 <b>10.5</b>	113 <b>6.3</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	18 <b>2.0</b>	38 <b>4.2</b>	249 <b>27.7</b>	253 <b>28.1</b>	118 <b>13.1</b>	75 <b>8.3</b>	96 <b>10.7</b>	53 <b>5.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	15 <b>1.7</b>	48 <b>5.3</b>	235 <b>26.1</b>	227 <b>25.2</b>	136 <b>15.1</b>	86 <b>9.6</b>	93 <b>10.3</b>	60 <b>6.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	20 <b>6.7</b>	60 <b>20.0</b>	78 <b>26.0</b>	37 <b>12.3</b>	39 <b>13.0</b>	31 <b>10.3</b>	21 <b>7.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	13 <b>4.3</b>	81 <b>27.0</b>	66 <b>22.0</b>	41 <b>13.7</b>	27 <b>9.0</b>	48 <b>16.0</b>	16 <b>5.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	19 <b>6.3</b>	90 <b>30.0</b>	75 <b>25.0</b>	46 <b>15.3</b>	27 <b>9.0</b>	27 <b>9.0</b>	11 <b>3.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	11 <b>3.7</b>	86 <b>28.7</b>	81 <b>27.0</b>	36 <b>12.0</b>	28 <b>9.3</b>	37 <b>12.3</b>	16 <b>5.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	9 <b>3.0</b>	75 <b>25.0</b>	85 <b>28.3</b>	60 <b>20.0</b>	21 <b>7.0</b>	28 <b>9.3</b>	22 <b>7.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	14 <b>4.7</b>	92 <b>30.7</b>	95 <b>31.7</b>	34 <b>11.3</b>	19 <b>6.3</b>	18 <b>6.0</b>	27 <b>9.0</b>

【8. 鶏肉料理】 中食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	24 <b>1.3</b>	31 <b>1.7</b>	142 <b>7.9</b>	257 <b>14.3</b>	278 <b>15.4</b>	278 <b>15.4</b>	428 <b>23.8</b>	362 <b>20.1</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	16 <b>1.8</b>	15 <b>1.7</b>	74 <b>8.2</b>	135 <b>15.0</b>	141 <b>15.7</b>	139 <b>15.4</b>	210 <b>23.3</b>	170 <b>18.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	8 <b>0.9</b>	16 <b>1.8</b>	68 <b>7.6</b>	122 <b>13.6</b>	137 <b>15.2</b>	139 <b>15.4</b>	218 <b>24.2</b>	192 <b>21.3</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	12 <b>4.0</b>	26 <b>8.7</b>	54 <b>18.0</b>	49 <b>16.3</b>	42 <b>14.0</b>	57 <b>19.0</b>	45 <b>15.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	5 <b>1.7</b>	25 <b>8.3</b>	44 <b>14.7</b>	40 <b>13.3</b>	54 <b>18.0</b>	77 <b>25.7</b>	53 <b>17.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	5 <b>1.7</b>	33 <b>11.0</b>	46 <b>15.3</b>	59 <b>19.7</b>	47 <b>15.7</b>	63 <b>21.0</b>	44 <b>14.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	22 <b>7.3</b>	41 <b>13.7</b>	44 <b>14.7</b>	44 <b>14.7</b>	87 <b>29.0</b>	54 <b>18.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	2 <b>0.7</b>	22 <b>7.3</b>	32 <b>10.7</b>	54 <b>18.0</b>	49 <b>16.3</b>	79 <b>26.3</b>	62 <b>20.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	3 <b>1.0</b>	14 <b>4.7</b>	40 <b>13.3</b>	32 <b>10.7</b>	42 <b>14.0</b>	65 <b>21.7</b>	104 <b>34.7</b>

【9. 鶏肉料理】 外食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	22 <b>1.2</b>	20 <b>1.1</b>	89 <b>4.9</b>	155 <b>8.6</b>	188 <b>10.4</b>	323 <b>17.9</b>	652 <b>36.2</b>	351 <b>19.5</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	13 <b>1.4</b>	9 <b>1.0</b>	51 <b>5.7</b>	89 <b>9.9</b>	112 <b>12.4</b>	155 <b>17.2</b>	314 <b>34.9</b>	157 <b>17.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	9 <b>1.0</b>	11 <b>1.2</b>	38 <b>4.2</b>	66 <b>7.3</b>	76 <b>8.4</b>	168 <b>18.7</b>	338 <b>37.6</b>	194 <b>21.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	8 <b>2.7</b>	29 <b>9.7</b>	43 <b>14.3</b>	37 <b>12.3</b>	53 <b>17.7</b>	73 <b>24.3</b>	44 <b>14.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	19 <b>6.3</b>	28 <b>9.3</b>	37 <b>12.3</b>	60 <b>20.0</b>	102 <b>34.0</b>	47 <b>15.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	5 <b>1.7</b>	15 <b>5.0</b>	30 <b>10.0</b>	38 <b>12.7</b>	55 <b>18.3</b>	117 <b>39.0</b>	37 <b>12.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>	11 <b>3.7</b>	18 <b>6.0</b>	26 <b>8.7</b>	62 <b>20.7</b>	130 <b>43.3</b>	48 <b>16.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	8 <b>2.7</b>	21 <b>7.0</b>	29 <b>9.7</b>	46 <b>15.3</b>	126 <b>42.0</b>	70 <b>23.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	1 <b>0.3</b>	7 <b>2.3</b>	15 <b>5.0</b>	21 <b>7.0</b>	47 <b>15.7</b>	104 <b>34.7</b>	105 <b>35.0</b>

【10. 魚介料理】 内食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	37 <b>2.1</b>	90 <b>5.0</b>	415 <b>23.1</b>	476 <b>26.4</b>	267 <b>14.8</b>	170 <b>9.4</b>	226 <b>12.6</b>	119 <b>6.6</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	19 <b>2.1</b>	43 <b>4.8</b>	205 <b>22.8</b>	237 <b>26.3</b>	139 <b>15.4</b>	92 <b>10.2</b>	108 <b>12.0</b>	57 <b>6.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	18 <b>2.0</b>	47 <b>5.2</b>	210 <b>23.3</b>	239 <b>26.6</b>	128 <b>14.2</b>	78 <b>8.7</b>	118 <b>13.1</b>	62 <b>6.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	11 <b>3.7</b>	47 <b>15.7</b>	72 <b>24.0</b>	53 <b>17.7</b>	29 <b>9.7</b>	36 <b>12.0</b>	39 <b>13.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	5 <b>1.7</b>	53 <b>17.7</b>	82 <b>27.3</b>	46 <b>15.3</b>	35 <b>11.7</b>	52 <b>17.3</b>	24 <b>8.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	10 <b>3.3</b>	61 <b>20.3</b>	75 <b>25.0</b>	46 <b>15.3</b>	40 <b>13.3</b>	48 <b>16.0</b>	15 <b>5.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	10 <b>3.3</b>	67 <b>22.3</b>	77 <b>25.7</b>	48 <b>16.0</b>	32 <b>10.7</b>	46 <b>15.3</b>	17 <b>5.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	17 <b>5.7</b>	83 <b>27.7</b>	83 <b>27.7</b>	47 <b>15.7</b>	23 <b>7.7</b>	32 <b>10.7</b>	13 <b>4.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	37 <b>12.3</b>	104 <b>34.7</b>	87 <b>29.0</b>	27 <b>9.0</b>	11 <b>3.7</b>	12 <b>4.0</b>	11 <b>3.7</b>

【11. 魚介料理】 中食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	28 <b>1.6</b>	24 <b>1.3</b>	127 <b>7.1</b>	218 <b>12.1</b>	258 <b>14.3</b>	238 <b>13.2</b>	493 <b>27.4</b>	414 <b>23.0</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	17 <b>1.9</b>	7 <b>0.8</b>	71 <b>7.9</b>	120 <b>13.3</b>	124 <b>13.8</b>	113 <b>12.6</b>	259 <b>28.8</b>	189 <b>21.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	11 <b>1.2</b>	17 <b>1.9</b>	56 <b>6.2</b>	98 <b>10.9</b>	134 <b>14.9</b>	125 <b>13.9</b>	234 <b>26.0</b>	225 <b>25.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	4 <b>1.3</b>	31 <b>10.3</b>	41 <b>13.7</b>	44 <b>14.7</b>	43 <b>14.3</b>	63 <b>21.0</b>	60 <b>20.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	3 <b>1.0</b>	19 <b>6.3</b>	41 <b>13.7</b>	38 <b>12.7</b>	41 <b>13.7</b>	93 <b>31.0</b>	62 <b>20.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	4 <b>1.3</b>	21 <b>7.0</b>	45 <b>15.0</b>	42 <b>14.0</b>	46 <b>15.3</b>	91 <b>30.3</b>	49 <b>16.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	2 <b>0.7</b>	18 <b>6.0</b>	28 <b>9.3</b>	42 <b>14.0</b>	42 <b>14.0</b>	99 <b>33.0</b>	65 <b>21.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	5 <b>1.7</b>	15 <b>5.0</b>	34 <b>11.3</b>	57 <b>19.0</b>	37 <b>12.3</b>	75 <b>25.0</b>	76 <b>25.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>	23 <b>7.7</b>	29 <b>9.7</b>	35 <b>11.7</b>	29 <b>9.7</b>	72 <b>24.0</b>	102 <b>34.0</b>

【12. 魚介料理】 外食

	度数 横%									
		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体	1800 <b>100</b>	21 <b>1.2</b>	15 <b>0.8</b>	71 <b>3.9</b>	154 <b>8.6</b>	217 <b>12.1</b>	313 <b>17.4</b>	660 <b>36.7</b>	349 <b>19.4</b>	
地域	首都圏	900 <b>100</b>	11 <b>1.2</b>	6 <b>0.7</b>	37 <b>4.1</b>	85 <b>9.4</b>	117 <b>13.0</b>	167 <b>18.6</b>	317 <b>35.2</b>	160 <b>17.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	10 <b>1.1</b>	9 <b>1.0</b>	34 <b>3.8</b>	69 <b>7.7</b>	100 <b>11.1</b>	146 <b>16.2</b>	343 <b>38.1</b>	189 <b>21.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	5 <b>1.7</b>	20 <b>6.7</b>	43 <b>14.3</b>	48 <b>16.0</b>	48 <b>16.0</b>	73 <b>24.3</b>	49 <b>16.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	2 <b>0.7</b>	15 <b>5.0</b>	33 <b>11.0</b>	30 <b>10.0</b>	64 <b>21.3</b>	101 <b>33.7</b>	52 <b>17.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	4 <b>1.3</b>	14 <b>4.7</b>	25 <b>8.3</b>	41 <b>13.7</b>	47 <b>15.7</b>	123 <b>41.0</b>	44 <b>14.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	1 <b>0.3</b>	7 <b>2.3</b>	15 <b>5.0</b>	35 <b>11.7</b>	52 <b>17.3</b>	138 <b>46.0</b>	50 <b>16.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	2 <b>0.7</b>	8 <b>2.7</b>	22 <b>7.3</b>	30 <b>10.0</b>	52 <b>17.3</b>	123 <b>41.0</b>	63 <b>21.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	1 <b>0.3</b>	7 <b>2.3</b>	16 <b>5.3</b>	33 <b>11.0</b>	50 <b>16.7</b>	102 <b>34.0</b>	91 <b>30.3</b>

Q5 牛肉、豚肉、鶏肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ ーが低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800	932	178	202	396	366	401	576	142	455	810	98	185	
	<b>100</b>	<b>51.8</b>	<b>9.9</b>	<b>11.2</b>	<b>22.0</b>	<b>20.3</b>	<b>22.3</b>	<b>32.0</b>	<b>7.9</b>	<b>25.3</b>	<b>45.0</b>	<b>5.4</b>	<b>10.3</b>	
地域	900	467	100	115	213	184	180	247	65	215	394	45	105	
	<b>100</b>	<b>51.9</b>	<b>11.1</b>	<b>12.8</b>	<b>23.7</b>	<b>20.4</b>	<b>20.0</b>	<b>27.4</b>	<b>7.2</b>	<b>23.9</b>	<b>43.8</b>	<b>5.0</b>	<b>11.7</b>	
	900	465	78	87	183	182	221	329	77	240	416	53	80	
	<b>100</b>	<b>51.7</b>	<b>8.7</b>	<b>9.7</b>	<b>20.3</b>	<b>20.2</b>	<b>24.6</b>	<b>36.6</b>	<b>8.6</b>	<b>26.7</b>	<b>46.2</b>	<b>5.9</b>	<b>8.9</b>	
年代	300	144	41	46	66	62	50	67	39	55	83	22	30	
	<b>100</b>	<b>48.0</b>	<b>13.7</b>	<b>15.3</b>	<b>22.0</b>	<b>20.7</b>	<b>16.7</b>	<b>22.3</b>	<b>13.0</b>	<b>18.3</b>	<b>27.7</b>	<b>7.3</b>	<b>10.0</b>	
	300	133	30	40	67	55	60	77	26	71	121	20	33	
	<b>100</b>	<b>44.3</b>	<b>10.0</b>	<b>13.3</b>	<b>22.3</b>	<b>18.3</b>	<b>20.0</b>	<b>25.7</b>	<b>8.7</b>	<b>23.7</b>	<b>40.3</b>	<b>6.7</b>	<b>11.0</b>	
	300	134	26	32	67	51	59	83	29	66	123	19	35	
	<b>100</b>	<b>44.7</b>	<b>8.7</b>	<b>10.7</b>	<b>22.3</b>	<b>17.0</b>	<b>19.7</b>	<b>27.7</b>	<b>9.7</b>	<b>22.0</b>	<b>41.0</b>	<b>6.3</b>	<b>11.7</b>	
	300	135	21	19	54	39	64	102	17	68	148	16	36	
	<b>100</b>	<b>45.0</b>	<b>7.0</b>	<b>6.3</b>	<b>18.0</b>	<b>13.0</b>	<b>21.3</b>	<b>34.0</b>	<b>5.7</b>	<b>22.7</b>	<b>49.3</b>	<b>5.3</b>	<b>12.0</b>	
	300	163	22	20	58	53	79	103	14	87	145	7	33	
	<b>100</b>	<b>54.3</b>	<b>7.3</b>	<b>6.7</b>	<b>19.3</b>	<b>17.7</b>	<b>26.3</b>	<b>34.3</b>	<b>4.7</b>	<b>29.0</b>	<b>48.3</b>	<b>2.3</b>	<b>11.0</b>	
	300	223	38	45	84	106	89	144	17	108	190	14	18	
	<b>100</b>	<b>74.3</b>	<b>12.7</b>	<b>15.0</b>	<b>28.0</b>	<b>35.3</b>	<b>29.7</b>	<b>48.0</b>	<b>5.7</b>	<b>36.0</b>	<b>63.3</b>	<b>4.7</b>	<b>6.0</b>	

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ ーが低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800	512	34	50	100	67	116	142	17	136	388	60	178	
	<b>100</b>	<b>28.4</b>	<b>1.9</b>	<b>2.8</b>	<b>5.6</b>	<b>3.7</b>	<b>6.4</b>	<b>7.9</b>	<b>0.9</b>	<b>7.6</b>	<b>21.6</b>	<b>3.3</b>	<b>9.9</b>	
地域	900	266	18	31	42	29	59	60	6	66	196	27	100	
	<b>100</b>	<b>29.6</b>	<b>2.0</b>	<b>3.4</b>	<b>4.7</b>	<b>3.2</b>	<b>6.6</b>	<b>6.7</b>	<b>0.7</b>	<b>7.3</b>	<b>21.8</b>	<b>3.0</b>	<b>11.1</b>	
	900	246	16	19	58	38	57	82	11	70	192	33	78	
	<b>100</b>	<b>27.3</b>	<b>1.8</b>	<b>2.1</b>	<b>6.4</b>	<b>4.2</b>	<b>6.3</b>	<b>9.1</b>	<b>1.2</b>	<b>7.8</b>	<b>21.3</b>	<b>3.7</b>	<b>8.7</b>	
年代	300	83	16	15	18	12	21	24	8	19	43	12	29	
	<b>100</b>	<b>27.7</b>	<b>5.3</b>	<b>5.0</b>	<b>6.0</b>	<b>4.0</b>	<b>7.0</b>	<b>8.0</b>	<b>2.7</b>	<b>6.3</b>	<b>14.3</b>	<b>4.0</b>	<b>9.7</b>	
	300	76	7	11	21	10	17	21	4	23	65	15	30	
	<b>100</b>	<b>25.3</b>	<b>2.3</b>	<b>3.7</b>	<b>7.0</b>	<b>3.3</b>	<b>5.7</b>	<b>7.0</b>	<b>1.3</b>	<b>7.7</b>	<b>21.7</b>	<b>5.0</b>	<b>10.0</b>	
	300	75	3	12	22	11	18	21	1	25	66	12	34	
	<b>100</b>	<b>25.0</b>	<b>1.0</b>	<b>4.0</b>	<b>7.3</b>	<b>3.7</b>	<b>6.0</b>	<b>7.0</b>	<b>0.3</b>	<b>8.3</b>	<b>22.0</b>	<b>4.0</b>	<b>11.3</b>	
	300	69	4	4	14	10	17	30	2	22	81	11	36	
	<b>100</b>	<b>23.0</b>	<b>1.3</b>	<b>1.3</b>	<b>4.7</b>	<b>3.3</b>	<b>5.7</b>	<b>10.0</b>	<b>0.7</b>	<b>7.3</b>	<b>27.0</b>	<b>3.7</b>	<b>12.0</b>	
	300	94	2	5	14	10	27	22	0	17	71	5	33	
	<b>100</b>	<b>31.3</b>	<b>0.7</b>	<b>1.7</b>	<b>4.7</b>	<b>3.3</b>	<b>9.0</b>	<b>7.3</b>	<b>0.0</b>	<b>5.7</b>	<b>23.7</b>	<b>1.7</b>	<b>11.0</b>	
	300	115	2	3	11	14	16	24	2	30	62	5	16	
	<b>100</b>	<b>38.3</b>	<b>0.7</b>	<b>1.0</b>	<b>3.7</b>	<b>4.7</b>	<b>5.3</b>	<b>8.0</b>	<b>0.7</b>	<b>10.0</b>	<b>20.7</b>	<b>1.7</b>	<b>5.3</b>	

【3.豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ ーが低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800	782	216	170	194	554	677	384	194	640	598	763	98	
	<b>100</b>	<b>43.4</b>	<b>12.0</b>	<b>9.4</b>	<b>10.8</b>	<b>30.8</b>	<b>37.6</b>	<b>21.3</b>	<b>10.8</b>	<b>35.6</b>	<b>33.2</b>	<b>42.4</b>	<b>5.4</b>	
地域	900	426	83	99	114	270	347	215	93	328	328	377	49	
	<b>100</b>	<b>47.3</b>	<b>9.2</b>	<b>11.0</b>	<b>12.7</b>	<b>30.0</b>	<b>38.6</b>	<b>23.9</b>	<b>10.3</b>	<b>36.4</b>	<b>36.4</b>	<b>41.9</b>	<b>5.4</b>	
	900	356	133	71	80	284	330	169	101	312	270	386	49	
	<b>100</b>	<b>39.6</b>	<b>14.8</b>	<b>7.9</b>	<b>8.9</b>	<b>31.6</b>	<b>36.7</b>	<b>18.8</b>	<b>11.2</b>	<b>34.7</b>	<b>30.0</b>	<b>42.9</b>	<b>5.4</b>	
年代	300	105	39	39	42	66	83	56	35	70	63	82	18	
	<b>100</b>	<b>35.0</b>	<b>13.0</b>	<b>13.0</b>	<b>14.0</b>	<b>22.0</b>	<b>27.7</b>	<b>18.7</b>	<b>11.7</b>	<b>23.3</b>	<b>21.0</b>	<b>27.3</b>	<b>6.0</b>	
	300	114	29	34	28	64	96	47	28	79	88	106	18	
	<b>100</b>	<b>38.0</b>	<b>9.7</b>	<b>11.3</b>	<b>9.3</b>	<b>21.3</b>	<b>32.0</b>	<b>15.7</b>	<b>9.3</b>	<b>26.3</b>	<b>29.3</b>	<b>35.3</b>	<b>6.0</b>	
	300	110	35	24	27	81	105	52	38	90	90	109	20	
	<b>100</b>	<b>36.7</b>	<b>11.7</b>	<b>8.0</b>	<b>9.0</b>	<b>27.0</b>	<b>35.0</b>	<b>17.3</b>	<b>12.7</b>	<b>30.0</b>	<b>30.0</b>	<b>36.3</b>	<b>6.7</b>	
	300	120	30	20	26	91	118	61	35	118	122	149	13	
	<b>100</b>	<b>40.0</b>	<b>10.0</b>	<b>6.7</b>	<b>8.7</b>	<b>30.3</b>	<b>39.3</b>	<b>20.3</b>	<b>11.7</b>	<b>39.3</b>	<b>40.7</b>	<b>49.7</b>	<b>4.3</b>	
	300	146	34	19	30	109	128	60	30	123	102	147	19	
	<b>100</b>	<b>48.7</b>	<b>11.3</b>	<b>6.3</b>	<b>10.0</b>	<b>36.3</b>	<b>42.7</b>	<b>20.0</b>	<b>10.0</b>	<b>41.0</b>	<b>34.0</b>	<b>49.0</b>	<b>6.3</b>	
	300	187	49	34	41	143	147	108	28	160	133	170	10	
	<b>100</b>	<b>62.3</b>	<b>16.3</b>	<b>11.3</b>	<b>13.7</b>	<b>47.7</b>	<b>49.0</b>	<b>36.0</b>	<b>9.3</b>	<b>53.3</b>	<b>44.3</b>	<b>56.7</b>	<b>3.3</b>	

【4.豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800	329	57	35	41	153	212	50	37	240	195	363	88	
	<b>100</b>	<b>18.3</b>	<b>3.2</b>	<b>1.9</b>	<b>2.3</b>	<b>8.5</b>	<b>11.8</b>	<b>2.8</b>	<b>2.1</b>	<b>13.3</b>	<b>10.8</b>	<b>20.2</b>	<b>4.9</b>	
地域	900	181	17	19	24	70	107	28	16	123	108	161	46	
	<b>100</b>	<b>20.1</b>	<b>1.9</b>	<b>2.1</b>	<b>2.7</b>	<b>7.8</b>	<b>11.9</b>	<b>3.1</b>	<b>1.8</b>	<b>13.7</b>	<b>12.0</b>	<b>17.9</b>	<b>5.1</b>	
	900	148	40	16	17	83	105	22	21	117	87	202	42	
	<b>100</b>	<b>16.4</b>	<b>4.4</b>	<b>1.8</b>	<b>1.9</b>	<b>9.2</b>	<b>11.7</b>	<b>2.4</b>	<b>2.3</b>	<b>13.0</b>	<b>9.7</b>	<b>22.4</b>	<b>4.7</b>	
年代	300	58	16	18	13	23	36	11	11	28	28	42	16	
	<b>100</b>	<b>19.3</b>	<b>5.3</b>	<b>6.0</b>	<b>4.3</b>	<b>7.7</b>	<b>12.0</b>	<b>3.7</b>	<b>3.7</b>	<b>9.3</b>	<b>9.3</b>	<b>14.0</b>	<b>5.3</b>	
	300	63	7	7	6	19	36	10	7	35	37	58	15	
	<b>100</b>	<b>21.0</b>	<b>2.3</b>	<b>2.3</b>	<b>2.0</b>	<b>6.3</b>	<b>12.0</b>	<b>3.3</b>	<b>2.3</b>	<b>11.7</b>	<b>12.3</b>	<b>19.3</b>	<b>5.0</b>	
	300	50	6	5	9	23	51	7	9	31	31	59	19	
	<b>100</b>	<b>16.7</b>	<b>2.0</b>	<b>1.7</b>	<b>3.0</b>	<b>7.7</b>	<b>17.0</b>	<b>2.3</b>	<b>3.0</b>	<b>10.3</b>	<b>10.3</b>	<b>19.7</b>	<b>6.3</b>	
	300	46	14	3	7	26	31	6	5	41	41	68	12	
	<b>100</b>	<b>15.3</b>	<b>4.7</b>	<b>1.0</b>	<b>2.3</b>	<b>8.7</b>	<b>10.3</b>	<b>2.0</b>	<b>1.7</b>	<b>13.7</b>	<b>13.7</b>	<b>22.7</b>	<b>4.0</b>	
	300	61	7	1	5	26	28	6	5	53	28	63	17	
	<b>100</b>	<b>20.3</b>	<b>2.3</b>	<b>0.3</b>	<b>1.7</b>	<b>8.7</b>	<b>9.3</b>	<b>2.0</b>	<b>1.7</b>	<b>17.7</b>	<b>9.3</b>	<b>21.0</b>	<b>5.7</b>	
	300	51	7	1	1	36	30	10	0	52	30	73	9	
	<b>100</b>	<b>17.0</b>	<b>2.3</b>	<b>0.3</b>	<b>0.3</b>	<b>12.0</b>	<b>10.0</b>	<b>3.3</b>	<b>0.0</b>	<b>17.3</b>	<b>10.0</b>	<b>24.3</b>	<b>3.0</b>	

【5.鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800	883	712	177	108	539	559	386	228	545	329	921	89	
	<b>100</b>	<b>49.1</b>	<b>39.6</b>	<b>9.8</b>	<b>6.0</b>	<b>29.9</b>	<b>31.1</b>	<b>21.4</b>	<b>12.7</b>	<b>30.3</b>	<b>18.3</b>	<b>51.2</b>	<b>4.9</b>	
地域	900	466	363	99	49	278	276	202	120	276	171	449	45	
	<b>100</b>	<b>51.8</b>	<b>40.3</b>	<b>11.0</b>	<b>5.4</b>	<b>30.9</b>	<b>30.7</b>	<b>22.4</b>	<b>13.3</b>	<b>30.7</b>	<b>19.0</b>	<b>49.9</b>	<b>5.0</b>	
	900	417	349	78	59	261	283	184	108	269	158	472	44	
	<b>100</b>	<b>46.3</b>	<b>38.8</b>	<b>8.7</b>	<b>6.6</b>	<b>29.0</b>	<b>31.4</b>	<b>20.4</b>	<b>12.0</b>	<b>29.9</b>	<b>17.6</b>	<b>52.4</b>	<b>4.9</b>	
年代	300	137	88	45	33	63	59	60	45	53	37	101	17	
	<b>100</b>	<b>45.7</b>	<b>29.3</b>	<b>15.0</b>	<b>11.0</b>	<b>21.0</b>	<b>19.7</b>	<b>20.0</b>	<b>15.0</b>	<b>17.7</b>	<b>12.3</b>	<b>33.7</b>	<b>5.7</b>	
	300	156	96	31	17	66	82	59	38	77	60	129	13	
	<b>100</b>	<b>52.0</b>	<b>32.0</b>	<b>10.3</b>	<b>5.7</b>	<b>22.0</b>	<b>27.3</b>	<b>19.7</b>	<b>12.7</b>	<b>25.7</b>	<b>20.0</b>	<b>43.0</b>	<b>4.3</b>	
	300	144	92	22	17	69	87	52	34	92	51	138	20	
	<b>100</b>	<b>48.0</b>	<b>30.7</b>	<b>7.3</b>	<b>5.7</b>	<b>23.0</b>	<b>29.0</b>	<b>17.3</b>	<b>11.3</b>	<b>30.7</b>	<b>17.0</b>	<b>46.0</b>	<b>6.7</b>	
	300	152	121	17	12	93	105	68	42	98	53	182	9	
	<b>100</b>	<b>50.7</b>	<b>40.3</b>	<b>5.7</b>	<b>4.0</b>	<b>31.0</b>	<b>35.0</b>	<b>22.7</b>	<b>14.0</b>	<b>32.7</b>	<b>17.7</b>	<b>60.7</b>	<b>3.0</b>	
	300	136	146	22	10	98	94	69	34	90	58	163	23	
	<b>100</b>	<b>45.3</b>	<b>48.7</b>	<b>7.3</b>	<b>3.3</b>	<b>32.7</b>	<b>31.3</b>	<b>23.0</b>	<b>11.3</b>	<b>30.0</b>	<b>19.3</b>	<b>54.3</b>	<b>7.7</b>	
	300	158	169	40	19	150	132	78	35	135	70	208	7	
	<b>100</b>	<b>52.7</b>	<b>56.3</b>	<b>13.3</b>	<b>6.3</b>	<b>50.0</b>	<b>44.0</b>	<b>26.0</b>	<b>11.7</b>	<b>45.0</b>	<b>23.3</b>	<b>69.3</b>	<b>2.3</b>	

【6.鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリ が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニ ーの種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800	413	237	39	24	114	108	63	30	120	51	517	84	
	<b>100</b>	<b>22.9</b>	<b>13.2</b>	<b>2.2</b>	<b>1.3</b>	<b>6.3</b>	<b>6.0</b>	<b>3.5</b>	<b>1.7</b>	<b>6.7</b>	<b>2.8</b>	<b>28.7</b>	<b>4.7</b>	
地域	900	232	106	20	14	63	41	33	13	57	28	250	43	
	<b>100</b>	<b>25.8</b>	<b>11.8</b>	<b>2.2</b>	<b>1.6</b>	<b>7.0</b>	<b>4.6</b>	<b>3.7</b>	<b>1.4</b>	<b>6.3</b>	<b>3.1</b>	<b>27.8</b>	<b>4.8</b>	
	900	181	131	19	10	51	67	30	17	63	23	267	41	
	<b>100</b>	<b>20.1</b>	<b>14.6</b>	<b>2.1</b>	<b>1.1</b>	<b>5.7</b>	<b>7.4</b>	<b>3.3</b>	<b>1.9</b>	<b>7.0</b>	<b>2.6</b>	<b>29.7</b>	<b>4.6</b>	
年代	300	87	35	16	9	21	13	13	9	13	6	62	16	
	<b>100</b>	<b>29.0</b>	<b>11.7</b>	<b>5.3</b>	<b>3.0</b>	<b>7.0</b>	<b>4.3</b>	<b>4.3</b>	<b>3.0</b>	<b>4.3</b>	<b>2.0</b>	<b>20.7</b>	<b>5.3</b>	
	300	88	27	10	5	12	16	8	6	22	13	81	12	
	<b>100</b>	<b>29.3</b>	<b>9.0</b>	<b>3.3</b>	<b>1.7</b>	<b>4.0</b>	<b>5.3</b>	<b>2.7</b>	<b>2.0</b>	<b>7.3</b>	<b>4.3</b>	<b>27.0</b>	<b>4.0</b>	
	300	77	25	5	3	18	20	10	5	23	12	84	18	
	<b>100</b>	<b>25.7</b>	<b>8.3</b>	<b>1.7</b>	<b>1.0</b>	<b>6.0</b>	<b>6.7</b>	<b>3.3</b>	<b>1.7</b>	<b>7.7</b>	<b>4.0</b>	<b>28.0</b>	<b>6.0</b>	
	300	60	49	4	2	17	25	11	3	21	6	93	9	
	<b>100</b>	<b>20.0</b>	<b>16.3</b>	<b>1.3</b>	<b>0.7</b>	<b>5.7</b>	<b>8.3</b>	<b>3.7</b>	<b>1.0</b>	<b>7.0</b>	<b>2.0</b>	<b>31.0</b>	<b>3.0</b>	
	300	58	53	2	2	19	16	8	4	19	9	88	22	
	<b>100</b>	<b>19.3</b>	<b>17.7</b>	<b>0.7</b>	<b>0.7</b>	<b>6.3</b>	<b>5.3</b>	<b>2.7</b>	<b>1.3</b>	<b>6.3</b>	<b>3.0</b>	<b>29.3</b>	<b>7.3</b>	
	300	43	48	2	3	27	18	13	3	22	5	109	7	
	<b>100</b>	<b>14.3</b>	<b>16.0</b>	<b>0.7</b>	<b>1.0</b>	<b>9.0</b>	<b>6.0</b>	<b>4.3</b>	<b>1.0</b>	<b>7.3</b>	<b>1.7</b>	<b>36.3</b>	<b>2.3</b>	

Q6 牛肉、豚肉、鶏肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	28 1.6	29 1.6	165 9.2	397 22.1	363 20.2	338 18.8	354 19.7	126 7.0
地域	首都圏		900 100	14 1.6	16 1.8	84 9.3	181 20.1	161 17.9	172 19.1	198 22.0	74 8.2
	京阪神圏		900 100	14 1.6	13 1.4	81 9.0	216 24.0	202 22.4	166 18.4	156 17.3	52 5.8
年代	20代		300 100	13 4.3	14 4.7	30 10.0	68 22.7	42 14.0	54 18.0	54 18.0	25 8.3
	30代		300 100	5 1.7	8 2.7	24 8.0	57 19.0	58 19.3	64 21.3	65 21.7	19 6.3
	40代		300 100	6 2.0	3 1.0	31 10.3	62 20.7	55 18.3	58 19.3	62 20.7	23 7.7
	50代		300 100	3 1.0	1 0.3	14 4.7	47 15.7	76 25.3	63 21.0	70 23.3	26 8.7
	60代		300 100	0 0.0	1 0.3	22 7.3	77 25.7	69 23.0	50 16.7	60 20.0	21 7.0
	70代以上		300 100	1 0.3	2 0.7	44 14.7	86 28.7	63 21.0	49 16.3	43 14.3	12 4.0

【2. 豚肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	25 1.4	40 2.2	388 21.6	601 33.4	410 22.8	167 9.3	142 7.9	27 1.5
地域	首都圏		900 100	14 1.6	23 2.6	214 23.8	287 31.9	192 21.3	95 10.6	66 7.3	9 1.0
	京阪神圏		900 100	11 1.2	17 1.9	174 19.3	314 34.9	218 24.2	72 8.0	76 8.4	18 2.0
年代	20代		300 100	13 4.3	12 4.0	58 19.3	85 28.3	65 21.7	40 13.3	23 7.7	4 1.3
	30代		300 100	5 1.7	6 2.0	54 18.0	94 31.3	69 23.0	40 13.3	29 9.7	3 1.0
	40代		300 100	5 1.7	9 3.0	63 21.0	94 31.3	74 24.7	23 7.7	30 10.0	2 0.7
	50代		300 100	2 0.7	6 2.0	50 16.7	104 34.7	79 26.3	24 8.0	30 10.0	5 1.7
	60代		300 100	0 0.0	4 1.3	62 20.7	119 39.7	66 22.0	26 8.7	16 5.3	7 2.3
	70代以上		300 100	0 0.0	3 1.0	101 33.7	105 35.0	57 19.0	14 4.7	14 4.7	6 2.0

【3. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	30 1.7	36 2.0	325 18.1	602 33.4	412 22.9	182 10.1	163 9.1	50 2.8
地域	首都圏		900 100	17 1.9	16 1.8	174 19.3	287 31.9	212 23.6	88 9.8	85 9.4	21 2.3
	京阪神圏		900 100	13 1.4	20 2.2	151 16.8	315 35.0	200 22.2	94 10.4	78 8.7	29 3.2
年代	20代		300 100	17 5.7	13 4.3	42 14.0	93 31.0	60 20.0	41 13.7	26 8.7	8 2.7
	30代		300 100	5 1.7	5 1.7	54 18.0	95 31.7	68 22.7	41 13.7	30 10.0	2 0.7
	40代		300 100	4 1.3	5 1.7	54 18.0	110 36.7	73 24.3	22 7.3	29 9.7	3 1.0
	50代		300 100	3 1.0	4 1.3	57 19.0	97 32.3	81 27.0	23 7.7	27 9.0	8 2.7
	60代		300 100	0 0.0	3 1.0	45 15.0	106 35.3	71 23.7	32 10.7	30 10.0	13 4.3
	70代以上		300 100	1 0.3	6 2.0	73 24.3	101 33.7	59 19.7	23 7.7	21 7.0	16 5.3

Q7 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、主にどこで購入されますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。

※大型スーパー：食品以外に衣料品などを取り扱っているスーパー

※食品スーパー：食品中心の品揃えのスーパー

### 【1. 牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1674 <b>100</b>	141 <b>8.4</b>	555 <b>33.2</b>	1271 <b>75.9</b>	109 <b>6.5</b>	124 <b>7.4</b>	62 <b>3.7</b>	19 <b>1.1</b>	34 <b>2.0</b>	40 <b>2.4</b>
地域	首都圏	826 <b>100</b>	68 <b>8.2</b>	269 <b>32.6</b>	636 <b>77.0</b>	42 <b>5.1</b>	63 <b>7.6</b>	31 <b>3.8</b>	7 <b>0.8</b>	19 <b>2.3</b>	17 <b>2.1</b>
	京阪神圏	848 <b>100</b>	73 <b>8.6</b>	286 <b>33.7</b>	635 <b>74.9</b>	67 <b>7.9</b>	61 <b>7.2</b>	31 <b>3.7</b>	12 <b>1.4</b>	15 <b>1.8</b>	23 <b>2.7</b>
年代	20代	275 <b>100</b>	37 <b>13.5</b>	83 <b>30.2</b>	177 <b>64.4</b>	10 <b>3.6</b>	20 <b>7.3</b>	12 <b>4.4</b>	8 <b>2.9</b>	8 <b>2.9</b>	9 <b>3.3</b>
	30代	281 <b>100</b>	22 <b>7.8</b>	86 <b>30.6</b>	220 <b>78.3</b>	13 <b>4.6</b>	15 <b>5.3</b>	11 <b>3.9</b>	1 <b>0.4</b>	4 <b>1.4</b>	6 <b>2.1</b>
	40代	277 <b>100</b>	24 <b>8.7</b>	87 <b>31.4</b>	215 <b>77.6</b>	13 <b>4.7</b>	18 <b>6.5</b>	19 <b>6.9</b>	6 <b>2.2</b>	5 <b>1.8</b>	13 <b>4.7</b>
	50代	274 <b>100</b>	16 <b>5.8</b>	87 <b>31.8</b>	222 <b>81.0</b>	14 <b>5.1</b>	14 <b>5.1</b>	7 <b>2.6</b>	0 <b>0.0</b>	1 <b>0.4</b>	5 <b>1.8</b>
	60代	279 <b>100</b>	21 <b>7.5</b>	108 <b>38.7</b>	222 <b>79.6</b>	18 <b>6.5</b>	27 <b>9.7</b>	6 <b>2.2</b>	2 <b>0.7</b>	8 <b>2.9</b>	5 <b>1.8</b>
	70代以上	288 <b>100</b>	21 <b>7.3</b>	104 <b>36.1</b>	215 <b>74.7</b>	41 <b>14.2</b>	30 <b>10.4</b>	7 <b>2.4</b>	2 <b>0.7</b>	8 <b>2.8</b>	2 <b>0.7</b>

### 【2. 豚肉】

<Q6[2.豚肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1773 <b>100</b>	87 <b>4.9</b>	577 <b>32.5</b>	1403 <b>79.1</b>	127 <b>7.2</b>	90 <b>5.1</b>	66 <b>3.7</b>	19 <b>1.1</b>	29 <b>1.6</b>	42 <b>2.4</b>
地域	首都圏	891 <b>100</b>	43 <b>4.8</b>	282 <b>31.6</b>	713 <b>80.0</b>	52 <b>5.8</b>	55 <b>6.2</b>	33 <b>3.7</b>	9 <b>1.0</b>	18 <b>2.0</b>	21 <b>2.4</b>
	京阪神圏	882 <b>100</b>	44 <b>5.0</b>	295 <b>33.4</b>	690 <b>78.2</b>	75 <b>8.5</b>	35 <b>4.0</b>	33 <b>3.7</b>	10 <b>1.1</b>	11 <b>1.2</b>	21 <b>2.4</b>
年代	20代	296 <b>100</b>	22 <b>7.4</b>	88 <b>29.7</b>	199 <b>67.2</b>	12 <b>4.1</b>	12 <b>4.1</b>	15 <b>5.1</b>	10 <b>3.4</b>	10 <b>3.4</b>	10 <b>3.4</b>
	30代	297 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	92 <b>31.0</b>	240 <b>80.8</b>	13 <b>4.4</b>	13 <b>4.4</b>	10 <b>3.4</b>	1 <b>0.3</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>
	40代	298 <b>100</b>	19 <b>6.4</b>	93 <b>31.2</b>	240 <b>80.5</b>	14 <b>4.7</b>	20 <b>6.7</b>	17 <b>5.7</b>	3 <b>1.0</b>	4 <b>1.3</b>	13 <b>4.4</b>
	50代	295 <b>100</b>	9 <b>3.1</b>	91 <b>30.8</b>	245 <b>83.1</b>	18 <b>6.1</b>	14 <b>4.7</b>	9 <b>3.1</b>	0 <b>0.0</b>	4 <b>1.4</b>	5 <b>1.7</b>
	60代	293 <b>100</b>	13 <b>4.4</b>	107 <b>36.5</b>	242 <b>82.6</b>	22 <b>7.5</b>	14 <b>4.8</b>	7 <b>2.4</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>	6 <b>2.0</b>
	70代以上	294 <b>100</b>	12 <b>4.1</b>	106 <b>36.1</b>	237 <b>80.6</b>	48 <b>16.3</b>	17 <b>5.8</b>	8 <b>2.7</b>	3 <b>1.0</b>	4 <b>1.4</b>	2 <b>0.7</b>

### 【3. 鶏肉】

<Q6[3.鶏肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売 (カタログ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1750 <b>100</b>	77 <b>4.4</b>	544 <b>31.1</b>	1383 <b>79.0</b>	111 <b>6.3</b>	78 <b>4.5</b>	78 <b>4.5</b>	20 <b>1.1</b>	23 <b>1.3</b>	38 <b>2.2</b>
地域	首都圏	879 <b>100</b>	38 <b>4.3</b>	266 <b>30.3</b>	701 <b>79.7</b>	43 <b>4.9</b>	48 <b>5.5</b>	39 <b>4.4</b>	10 <b>1.1</b>	14 <b>1.6</b>	17 <b>1.9</b>
	京阪神圏	871 <b>100</b>	39 <b>4.5</b>	278 <b>31.9</b>	682 <b>78.3</b>	68 <b>7.8</b>	30 <b>3.4</b>	39 <b>4.5</b>	10 <b>1.1</b>	9 <b>1.0</b>	21 <b>2.4</b>
年代	20代	292 <b>100</b>	21 <b>7.2</b>	77 <b>26.4</b>	200 <b>68.5</b>	12 <b>4.1</b>	9 <b>3.1</b>	23 <b>7.9</b>	9 <b>3.1</b>	6 <b>2.1</b>	9 <b>3.1</b>
	30代	298 <b>100</b>	10 <b>3.4</b>	87 <b>29.2</b>	240 <b>80.5</b>	10 <b>3.4</b>	9 <b>3.0</b>	14 <b>4.7</b>	2 <b>0.7</b>	5 <b>1.7</b>	6 <b>2.0</b>
	40代	297 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	91 <b>30.6</b>	239 <b>80.5</b>	16 <b>5.4</b>	14 <b>4.7</b>	18 <b>6.1</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	13 <b>4.4</b>
	50代	292 <b>100</b>	7 <b>2.4</b>	87 <b>29.8</b>	243 <b>83.2</b>	15 <b>5.1</b>	12 <b>4.1</b>	9 <b>3.1</b>	2 <b>0.7</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>
	60代	287 <b>100</b>	12 <b>4.2</b>	104 <b>36.2</b>	234 <b>81.5</b>	18 <b>6.3</b>	19 <b>6.6</b>	7 <b>2.4</b>	1 <b>0.3</b>	0 <b>0.0</b>	5 <b>1.7</b>
	70代以上	284 <b>100</b>	10 <b>3.5</b>	98 <b>34.5</b>	227 <b>79.9</b>	40 <b>14.1</b>	15 <b>5.3</b>	7 <b>2.5</b>	2 <b>0.7</b>	6 <b>2.1</b>	2 <b>0.7</b>

Q8 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、重視する点は何ですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド)等が しっかり表示 されていること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1674 100	948 56.6	721 43.1	94 5.6	455 27.2	79 4.7	121 7.2	676 40.4	451 26.9	59 3.5
地域	首都圏	826 100	472 57.1	333 40.3	46 5.6	214 25.9	34 4.1	56 6.8	347 42.0	234 28.3	29 3.5
	京阪神圏	848 100	476 56.1	388 45.8	48 5.7	241 28.4	45 5.3	65 7.7	329 38.8	217 25.6	30 3.5
年代	20代	275 100	135 49.1	106 38.5	29 10.5	58 21.1	26 9.5	18 6.5	77 28.0	42 15.3	14 5.1
	30代	281 100	154 54.8	111 39.5	15 5.3	58 20.6	9 3.2	15 5.3	95 33.8	58 20.6	12 4.3
	40代	277 100	177 63.9	96 34.7	19 6.9	56 20.2	19 6.9	22 7.9	106 38.3	64 23.1	12 4.3
	50代	274 100	169 61.7	102 37.2	10 3.6	69 25.2	6 2.2	19 6.9	123 44.9	77 28.1	7 2.6
	60代	279 100	159 57.0	123 44.1	13 4.7	87 31.2	7 2.5	26 9.3	125 44.8	94 33.7	11 3.9
	70代以上	288 100	154 53.5	183 63.5	8 2.8	127 44.1	12 4.2	21 7.3	150 52.1	116 40.3	3 1.0

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド)等が しっかり表示 されていること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1674 100	654 39.1	500 29.9	27 1.6	139 8.3	20 1.2	18 1.1	203 12.1	59 3.5	54 3.2
地域	首都圏	826 100	340 41.2	229 27.7	16 1.9	64 7.7	6 0.7	9 1.1	104 12.6	32 3.9	26 3.1
	京阪神圏	848 100	314 37.0	271 32.0	11 1.3	75 8.8	14 1.7	9 1.1	99 11.7	27 3.2	28 3.3
年代	20代	275 100	103 37.5	75 27.3	11 4.0	23 8.4	8 2.9	7 2.5	30 10.9	5 1.8	13 4.7
	30代	281 100	113 40.2	83 29.5	5 1.8	22 7.8	3 1.1	2 0.7	31 11.0	11 3.9	11 3.9
	40代	277 100	131 47.3	59 21.3	5 1.8	11 4.0	4 1.4	2 0.7	42 15.2	12 4.3	11 4.0
	50代	274 100	125 45.6	70 25.5	2 0.7	23 8.4	3 1.1	4 1.5	36 13.1	5 1.8	6 2.2
	60代	279 100	97 34.8	89 31.9	3 1.1	29 10.4	2 0.7	1 0.4	36 12.9	11 3.9	11 3.9
	70代以上	288 100	85 29.5	124 43.1	1 0.3	31 10.8	0 0.0	2 0.7	28 9.7	15 5.2	2 0.7

【3. 豚肉】 あてはまるもの (いくつでも)

<Q6【2. 豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	有機食肉であること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1773 <b>100</b>	1256 <b>70.8</b>	786 <b>44.3</b>	73 <b>4.1</b>	444 <b>25.0</b>	82 <b>4.6</b>	137 <b>7.7</b>	666 <b>37.6</b>	504 <b>28.4</b>	51 <b>2.9</b>
地域	首都圏	891 <b>100</b>	639 <b>71.7</b>	396 <b>44.4</b>	33 <b>3.7</b>	221 <b>24.8</b>	40 <b>4.5</b>	64 <b>7.2</b>	336 <b>37.7</b>	269 <b>30.2</b>	21 <b>2.4</b>
	京阪神圏	882 <b>100</b>	617 <b>70.0</b>	390 <b>44.2</b>	40 <b>4.5</b>	223 <b>25.3</b>	42 <b>4.8</b>	73 <b>8.3</b>	330 <b>37.4</b>	235 <b>26.6</b>	30 <b>3.4</b>
年代	20代	296 <b>100</b>	177 <b>59.8</b>	104 <b>35.1</b>	30 <b>10.1</b>	58 <b>19.6</b>	20 <b>6.8</b>	24 <b>8.1</b>	67 <b>22.6</b>	54 <b>18.2</b>	16 <b>5.4</b>
	30代	297 <b>100</b>	196 <b>66.0</b>	122 <b>41.1</b>	13 <b>4.4</b>	50 <b>16.8</b>	9 <b>3.0</b>	19 <b>6.4</b>	94 <b>31.6</b>	71 <b>23.9</b>	10 <b>3.4</b>
	40代	298 <b>100</b>	231 <b>77.5</b>	110 <b>36.9</b>	12 <b>4.0</b>	57 <b>19.1</b>	17 <b>5.7</b>	20 <b>6.7</b>	106 <b>35.6</b>	74 <b>24.8</b>	10 <b>3.4</b>
	50代	295 <b>100</b>	227 <b>76.9</b>	121 <b>41.0</b>	4 <b>1.4</b>	65 <b>22.0</b>	6 <b>2.0</b>	16 <b>5.4</b>	125 <b>42.4</b>	92 <b>31.2</b>	4 <b>1.4</b>
	60代	293 <b>100</b>	206 <b>70.3</b>	134 <b>45.7</b>	7 <b>2.4</b>	95 <b>32.4</b>	12 <b>4.1</b>	32 <b>10.9</b>	128 <b>43.7</b>	94 <b>32.1</b>	9 <b>3.1</b>
	70代以上	294 <b>100</b>	219 <b>74.5</b>	195 <b>66.3</b>	7 <b>2.4</b>	119 <b>40.5</b>	18 <b>6.1</b>	26 <b>8.8</b>	146 <b>49.7</b>	119 <b>40.5</b>	2 <b>0.7</b>

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの (1つだけ)

<Q6【2. 豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	有機食肉であること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1773 <b>100</b>	804 <b>45.3</b>	480 <b>27.1</b>	24 <b>1.4</b>	128 <b>7.2</b>	18 <b>1.0</b>	20 <b>1.1</b>	177 <b>10.0</b>	77 <b>4.3</b>	45 <b>2.5</b>
地域	首都圏	891 <b>100</b>	411 <b>46.1</b>	244 <b>27.4</b>	10 <b>1.1</b>	58 <b>6.5</b>	4 <b>0.4</b>	10 <b>1.1</b>	94 <b>10.5</b>	41 <b>4.6</b>	19 <b>2.1</b>
	京阪神圏	882 <b>100</b>	393 <b>44.6</b>	236 <b>26.8</b>	14 <b>1.6</b>	70 <b>7.9</b>	14 <b>1.6</b>	10 <b>1.1</b>	83 <b>9.4</b>	36 <b>4.1</b>	26 <b>2.9</b>
年代	20代	296 <b>100</b>	128 <b>43.2</b>	68 <b>23.0</b>	16 <b>5.4</b>	21 <b>7.1</b>	10 <b>3.4</b>	8 <b>2.7</b>	21 <b>7.1</b>	10 <b>3.4</b>	14 <b>4.7</b>
	30代	297 <b>100</b>	131 <b>44.1</b>	90 <b>30.3</b>	4 <b>1.3</b>	18 <b>6.1</b>	0 <b>0.0</b>	1 <b>0.3</b>	29 <b>9.8</b>	14 <b>4.7</b>	10 <b>3.4</b>
	40代	298 <b>100</b>	159 <b>53.4</b>	55 <b>18.5</b>	3 <b>1.0</b>	16 <b>5.4</b>	3 <b>1.0</b>	2 <b>0.7</b>	36 <b>12.1</b>	16 <b>5.4</b>	8 <b>2.7</b>
	50代	295 <b>100</b>	152 <b>51.5</b>	74 <b>25.1</b>	1 <b>0.3</b>	17 <b>5.8</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>	33 <b>11.2</b>	10 <b>3.4</b>	3 <b>1.0</b>
	60代	293 <b>100</b>	124 <b>42.3</b>	76 <b>25.9</b>	0 <b>0.0</b>	30 <b>10.2</b>	2 <b>0.7</b>	4 <b>1.4</b>	38 <b>13.0</b>	10 <b>3.4</b>	9 <b>3.1</b>
	70代以上	294 <b>100</b>	110 <b>37.4</b>	117 <b>39.8</b>	0 <b>0.0</b>	26 <b>8.8</b>	1 <b>0.3</b>	2 <b>0.7</b>	20 <b>6.8</b>	17 <b>5.8</b>	1 <b>0.3</b>

【5.鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(フ ラント)等がし っかり表示さ れていること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1750 100	1261 72.1	815 46.6	59 3.4	414 23.7	80 4.6	149 8.5	651 37.2	462 26.4	55 3.1
地域	首都圏	879 100	643 73.2	397 45.2	25 2.8	207 23.5	38 4.3	81 9.2	323 36.7	250 28.4	25 2.8
	京阪神圏	871 100	618 71.0	418 48.0	34 3.9	207 23.8	42 4.8	68 7.8	328 37.7	212 24.3	30 3.4
年代	20代	292 100	172 58.9	110 37.7	24 8.2	54 18.5	22 7.5	23 7.9	77 26.4	45 15.4	16 5.5
	30代	298 100	203 68.1	130 43.6	6 2.0	53 17.8	11 3.7	21 7.0	97 32.6	67 22.5	9 3.0
	40代	297 100	235 79.1	112 37.7	8 2.7	56 18.9	15 5.1	18 6.1	100 33.7	70 23.6	12 4.0
	50代	292 100	224 76.7	132 45.2	4 1.4	56 19.2	7 2.4	20 6.8	119 40.8	84 28.8	3 1.0
	60代	287 100	203 70.7	144 50.2	8 2.8	82 28.6	10 3.5	34 11.8	117 40.8	85 29.6	11 3.8
	70代以上	284 100	224 78.9	187 65.8	9 3.2	113 39.8	15 5.3	33 11.6	141 49.6	111 39.1	4 1.4

【6.鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄(フ ラント)等がし っかり表示さ れていること	有機食肉で あること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他
全 体		1750 100	809 46.2	472 27.0	23 1.3	128 7.3	17 1.0	14 0.8	178 10.2	59 3.4	50 2.9
地域	首都圏	879 100	417 47.4	233 26.5	9 1.0	62 7.1	4 0.5	7 0.8	88 10.0	35 4.0	24 2.7
	京阪神圏	871 100	392 45.0	239 27.4	14 1.6	66 7.6	13 1.5	7 0.8	90 10.3	24 2.8	26 3.0
年代	20代	292 100	130 44.5	66 22.6	17 5.8	23 7.9	8 2.7	6 2.1	22 7.5	5 1.7	15 5.1
	30代	298 100	138 46.3	85 28.5	3 1.0	18 6.0	2 0.7	2 0.7	31 10.4	10 3.4	9 3.0
	40代	297 100	167 56.2	57 19.2	1 0.3	16 5.4	2 0.7	1 0.3	35 11.8	8 2.7	10 3.4
	50代	292 100	143 49.0	79 27.1	2 0.7	17 5.8	2 0.7	3 1.0	33 11.3	10 3.4	3 1.0
	60代	287 100	123 42.9	81 28.2	0 0.0	27 9.4	3 1.0	1 0.3	34 11.8	8 2.8	10 3.5
	70代以上	284 100	108 38.0	104 36.6	0 0.0	27 9.5	0 0.0	1 0.4	23 8.1	18 6.3	3 1.1

Q9 ここ1ヵ月の食肉の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 食肉全体】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1800 <b>100</b>	63 <b>3.5</b>	135 <b>7.5</b>	1195 <b>66.4</b>	179 <b>9.9</b>	110 <b>6.1</b>	85 <b>4.7</b>	33 <b>1.8</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	31 <b>3.4</b>	81 <b>9.0</b>	617 <b>68.6</b>	81 <b>9.0</b>	44 <b>4.9</b>	36 <b>4.0</b>	10 <b>1.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	54 <b>6.0</b>	578 <b>64.2</b>	98 <b>10.9</b>	66 <b>7.3</b>	49 <b>5.4</b>	23 <b>2.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	34 <b>11.3</b>	155 <b>51.7</b>	34 <b>11.3</b>	18 <b>6.0</b>	24 <b>8.0</b>	11 <b>3.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	24 <b>8.0</b>	191 <b>63.7</b>	37 <b>12.3</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>	2 <b>0.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	23 <b>7.7</b>	193 <b>64.3</b>	29 <b>9.7</b>	15 <b>5.0</b>	17 <b>5.7</b>	8 <b>2.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	10 <b>3.3</b>	223 <b>74.3</b>	22 <b>7.3</b>	23 <b>7.7</b>	10 <b>3.3</b>	7 <b>2.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	16 <b>5.3</b>	211 <b>70.3</b>	32 <b>10.7</b>	22 <b>7.3</b>	11 <b>3.7</b>	4 <b>1.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	28 <b>9.3</b>	222 <b>74.0</b>	25 <b>8.3</b>	16 <b>5.3</b>	6 <b>2.0</b>	1 <b>0.3</b>

【2. 牛肉】 国産和牛

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1674 <b>100</b>	30 <b>1.8</b>	135 <b>8.1</b>	932 <b>55.7</b>	143 <b>8.5</b>	163 <b>9.7</b>	78 <b>4.7</b>	193 <b>11.5</b>
地域	首都圏		826 <b>100</b>	16 <b>1.9</b>	72 <b>8.7</b>	457 <b>55.3</b>	64 <b>7.7</b>	69 <b>8.4</b>	36 <b>4.4</b>	112 <b>13.6</b>
	京阪神圏		848 <b>100</b>	14 <b>1.7</b>	63 <b>7.4</b>	475 <b>56.0</b>	79 <b>9.3</b>	94 <b>11.1</b>	42 <b>5.0</b>	81 <b>9.6</b>
年代	20代		275 <b>100</b>	12 <b>4.4</b>	38 <b>13.8</b>	127 <b>46.2</b>	28 <b>10.2</b>	24 <b>8.7</b>	18 <b>6.5</b>	28 <b>10.2</b>
	30代		281 <b>100</b>	3 <b>1.1</b>	25 <b>8.9</b>	151 <b>53.7</b>	29 <b>10.3</b>	21 <b>7.5</b>	17 <b>6.0</b>	35 <b>12.5</b>
	40代		277 <b>100</b>	10 <b>3.6</b>	18 <b>6.5</b>	156 <b>56.3</b>	21 <b>7.6</b>	22 <b>7.9</b>	15 <b>5.4</b>	35 <b>12.6</b>
	50代		274 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	8 <b>2.9</b>	171 <b>62.4</b>	21 <b>7.7</b>	31 <b>11.3</b>	7 <b>2.6</b>	34 <b>12.4</b>
	60代		279 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	21 <b>7.5</b>	157 <b>56.3</b>	23 <b>8.2</b>	33 <b>11.8</b>	10 <b>3.6</b>	35 <b>12.5</b>
	70代以上		288 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	25 <b>8.7</b>	170 <b>59.0</b>	21 <b>7.3</b>	32 <b>11.1</b>	11 <b>3.8</b>	26 <b>9.0</b>

【3. 牛肉】和牛以外の国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1674 <b>100</b>	29 <b>1.7</b>	93 <b>5.6</b>	935 <b>55.9</b>	171 <b>10.2</b>	169 <b>10.1</b>	93 <b>5.6</b>	184 <b>11.0</b>
地域	首都圏		826 <b>100</b>	15 <b>1.8</b>	45 <b>5.4</b>	469 <b>56.8</b>	79 <b>9.6</b>	79 <b>9.6</b>	41 <b>5.0</b>	98 <b>11.9</b>
	京阪神圏		848 <b>100</b>	14 <b>1.7</b>	48 <b>5.7</b>	466 <b>55.0</b>	92 <b>10.8</b>	90 <b>10.6</b>	52 <b>6.1</b>	86 <b>10.1</b>
年代	20代		275 <b>100</b>	13 <b>4.7</b>	26 <b>9.5</b>	134 <b>48.7</b>	33 <b>12.0</b>	23 <b>8.4</b>	19 <b>6.9</b>	27 <b>9.8</b>
	30代		281 <b>100</b>	4 <b>1.4</b>	18 <b>6.4</b>	153 <b>54.4</b>	36 <b>12.8</b>	22 <b>7.8</b>	19 <b>6.8</b>	29 <b>10.3</b>
	40代		277 <b>100</b>	9 <b>3.2</b>	13 <b>4.7</b>	151 <b>54.5</b>	29 <b>10.5</b>	23 <b>8.3</b>	19 <b>6.9</b>	33 <b>11.9</b>
	50代		274 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	13 <b>4.7</b>	168 <b>61.3</b>	22 <b>8.0</b>	26 <b>9.5</b>	8 <b>2.9</b>	36 <b>13.1</b>
	60代		279 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	15 <b>5.4</b>	154 <b>55.2</b>	25 <b>9.0</b>	42 <b>15.1</b>	12 <b>4.3</b>	31 <b>11.1</b>
	70代以上		288 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	8 <b>2.8</b>	175 <b>60.8</b>	26 <b>9.0</b>	33 <b>11.5</b>	16 <b>5.6</b>	28 <b>9.7</b>

【4. 牛肉】和牛かどうかわからない国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1674 <b>100</b>	28 <b>1.7</b>	62 <b>3.7</b>	875 <b>52.3</b>	149 <b>8.9</b>	135 <b>8.1</b>	105 <b>6.3</b>	320 <b>19.1</b>
地域	首都圏		826 <b>100</b>	15 <b>1.8</b>	34 <b>4.1</b>	435 <b>52.7</b>	68 <b>8.2</b>	62 <b>7.5</b>	51 <b>6.2</b>	161 <b>19.5</b>
	京阪神圏		848 <b>100</b>	13 <b>1.5</b>	28 <b>3.3</b>	440 <b>51.9</b>	81 <b>9.6</b>	73 <b>8.6</b>	54 <b>6.4</b>	159 <b>18.8</b>
年代	20代		275 <b>100</b>	16 <b>5.8</b>	21 <b>7.6</b>	127 <b>46.2</b>	34 <b>12.4</b>	20 <b>7.3</b>	20 <b>7.3</b>	37 <b>13.5</b>
	30代		281 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	14 <b>5.0</b>	152 <b>54.1</b>	26 <b>9.3</b>	17 <b>6.0</b>	21 <b>7.5</b>	49 <b>17.4</b>
	40代		277 <b>100</b>	8 <b>2.9</b>	12 <b>4.3</b>	149 <b>53.8</b>	24 <b>8.7</b>	13 <b>4.7</b>	21 <b>7.6</b>	50 <b>18.1</b>
	50代		274 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	5 <b>1.8</b>	156 <b>56.9</b>	19 <b>6.9</b>	25 <b>9.1</b>	9 <b>3.3</b>	59 <b>21.5</b>
	60代		279 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	4 <b>1.4</b>	150 <b>53.8</b>	23 <b>8.2</b>	32 <b>11.5</b>	14 <b>5.0</b>	56 <b>20.1</b>
	70代以上		288 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	6 <b>2.1</b>	141 <b>49.0</b>	23 <b>8.0</b>	28 <b>9.7</b>	20 <b>6.9</b>	69 <b>24.0</b>

【5. 牛肉】 輸入牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1674 <b>100</b>	27 <b>1.6</b>	84 <b>5.0</b>	838 <b>50.1</b>	175 <b>10.5</b>	150 <b>9.0</b>	82 <b>4.9</b>	318 <b>19.0</b>
地域	首都圏		826 <b>100</b>	14 <b>1.7</b>	42 <b>5.1</b>	445 <b>53.9</b>	85 <b>10.3</b>	70 <b>8.5</b>	34 <b>4.1</b>	136 <b>16.5</b>
	京阪神圏		848 <b>100</b>	13 <b>1.5</b>	42 <b>5.0</b>	393 <b>46.3</b>	90 <b>10.6</b>	80 <b>9.4</b>	48 <b>5.7</b>	182 <b>21.5</b>
年代	20代		275 <b>100</b>	12 <b>4.4</b>	26 <b>9.5</b>	120 <b>43.6</b>	32 <b>11.6</b>	27 <b>9.8</b>	20 <b>7.3</b>	38 <b>13.8</b>
	30代		281 <b>100</b>	3 <b>1.1</b>	19 <b>6.8</b>	150 <b>53.4</b>	33 <b>11.7</b>	16 <b>5.7</b>	17 <b>6.0</b>	43 <b>15.3</b>
	40代		277 <b>100</b>	7 <b>2.5</b>	10 <b>3.6</b>	164 <b>59.2</b>	18 <b>6.5</b>	20 <b>7.2</b>	17 <b>6.1</b>	41 <b>14.8</b>
	50代		274 <b>100</b>	3 <b>1.1</b>	10 <b>3.6</b>	154 <b>56.2</b>	27 <b>9.9</b>	28 <b>10.2</b>	5 <b>1.8</b>	47 <b>17.2</b>
	60代		279 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	14 <b>5.0</b>	135 <b>48.4</b>	36 <b>12.9</b>	30 <b>10.8</b>	11 <b>3.9</b>	52 <b>18.6</b>
	70代以上		288 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	5 <b>1.7</b>	115 <b>39.9</b>	29 <b>10.1</b>	29 <b>10.1</b>	12 <b>4.2</b>	97 <b>33.7</b>

【6. 豚肉】国産豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1773 <b>100</b>	48 <b>2.7</b>	145 <b>8.2</b>	1181 <b>66.6</b>	140 <b>7.9</b>	112 <b>6.3</b>	87 <b>4.9</b>	60 <b>3.4</b>
地域	首都圏		891 <b>100</b>	28 <b>3.1</b>	71 <b>8.0</b>	617 <b>69.2</b>	63 <b>7.1</b>	49 <b>5.5</b>	37 <b>4.2</b>	26 <b>2.9</b>
	京阪神圏		882 <b>100</b>	20 <b>2.3</b>	74 <b>8.4</b>	564 <b>63.9</b>	77 <b>8.7</b>	63 <b>7.1</b>	50 <b>5.7</b>	34 <b>3.9</b>
年代	20代		296 <b>100</b>	21 <b>7.1</b>	30 <b>10.1</b>	158 <b>53.4</b>	29 <b>9.8</b>	17 <b>5.7</b>	24 <b>8.1</b>	17 <b>5.7</b>
	30代		297 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	20 <b>6.7</b>	199 <b>67.0</b>	29 <b>9.8</b>	17 <b>5.7</b>	20 <b>6.7</b>	6 <b>2.0</b>
	40代		298 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	19 <b>6.4</b>	192 <b>64.4</b>	21 <b>7.0</b>	21 <b>7.0</b>	18 <b>6.0</b>	16 <b>5.4</b>
	50代		295 <b>100</b>	4 <b>1.4</b>	19 <b>6.4</b>	210 <b>71.2</b>	23 <b>7.8</b>	24 <b>8.1</b>	7 <b>2.4</b>	8 <b>2.7</b>
	60代		293 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	21 <b>7.2</b>	202 <b>68.9</b>	25 <b>8.5</b>	24 <b>8.2</b>	9 <b>3.1</b>	9 <b>3.1</b>
	70代以上		294 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	36 <b>12.2</b>	220 <b>74.8</b>	13 <b>4.4</b>	9 <b>3.1</b>	9 <b>3.1</b>	4 <b>1.4</b>

【7. 豚肉】輸入豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1773 <b>100</b>	34 <b>1.9</b>	105 <b>5.9</b>	924 <b>52.1</b>	159 <b>9.0</b>	118 <b>6.7</b>	93 <b>5.2</b>	340 <b>19.2</b>
地域	首都圏		891 <b>100</b>	22 <b>2.5</b>	47 <b>5.3</b>	501 <b>56.2</b>	80 <b>9.0</b>	51 <b>5.7</b>	41 <b>4.6</b>	149 <b>16.7</b>
	京阪神圏		882 <b>100</b>	12 <b>1.4</b>	58 <b>6.6</b>	423 <b>48.0</b>	79 <b>9.0</b>	67 <b>7.6</b>	52 <b>5.9</b>	191 <b>21.7</b>
年代	20代		296 <b>100</b>	18 <b>6.1</b>	23 <b>7.8</b>	140 <b>47.3</b>	27 <b>9.1</b>	26 <b>8.8</b>	25 <b>8.4</b>	37 <b>12.5</b>
	30代		297 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	22 <b>7.4</b>	164 <b>55.2</b>	28 <b>9.4</b>	15 <b>5.1</b>	21 <b>7.1</b>	41 <b>13.8</b>
	40代		298 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	18 <b>6.0</b>	174 <b>58.4</b>	21 <b>7.0</b>	18 <b>6.0</b>	15 <b>5.0</b>	46 <b>15.4</b>
	50代		295 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	20 <b>6.8</b>	160 <b>54.2</b>	25 <b>8.5</b>	24 <b>8.1</b>	8 <b>2.7</b>	56 <b>19.0</b>
	60代		293 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	11 <b>3.8</b>	159 <b>54.3</b>	29 <b>9.9</b>	16 <b>5.5</b>	11 <b>3.8</b>	66 <b>22.5</b>
	70代以上		294 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	11 <b>3.7</b>	127 <b>43.2</b>	29 <b>9.9</b>	19 <b>6.5</b>	13 <b>4.4</b>	94 <b>32.0</b>

【8. 鶏肉】国産鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1750 <b>100</b>	58 <b>3.3</b>	153 <b>8.7</b>	1157 <b>66.1</b>	135 <b>7.7</b>	100 <b>5.7</b>	91 <b>5.2</b>	56 <b>3.2</b>
地域	首都圏		879 <b>100</b>	29 <b>3.3</b>	78 <b>8.9</b>	611 <b>69.5</b>	57 <b>6.5</b>	39 <b>4.4</b>	39 <b>4.4</b>	26 <b>3.0</b>
	京阪神圏		871 <b>100</b>	29 <b>3.3</b>	75 <b>8.6</b>	546 <b>62.7</b>	78 <b>9.0</b>	61 <b>7.0</b>	52 <b>6.0</b>	30 <b>3.4</b>
年代	20代		292 <b>100</b>	19 <b>6.5</b>	35 <b>12.0</b>	156 <b>53.4</b>	24 <b>8.2</b>	19 <b>6.5</b>	26 <b>8.9</b>	13 <b>4.5</b>
	30代		298 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	20 <b>6.7</b>	196 <b>65.8</b>	31 <b>10.4</b>	17 <b>5.7</b>	19 <b>6.4</b>	6 <b>2.0</b>
	40代		297 <b>100</b>	13 <b>4.4</b>	29 <b>9.8</b>	185 <b>62.3</b>	22 <b>7.4</b>	16 <b>5.4</b>	17 <b>5.7</b>	15 <b>5.1</b>
	50代		292 <b>100</b>	7 <b>2.4</b>	23 <b>7.9</b>	204 <b>69.9</b>	21 <b>7.2</b>	22 <b>7.5</b>	8 <b>2.7</b>	7 <b>2.4</b>
	60代		287 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	17 <b>5.9</b>	199 <b>69.3</b>	27 <b>9.4</b>	18 <b>6.3</b>	11 <b>3.8</b>	10 <b>3.5</b>
	70代以上		284 <b>100</b>	5 <b>1.8</b>	29 <b>10.2</b>	217 <b>76.4</b>	10 <b>3.5</b>	8 <b>2.8</b>	10 <b>3.5</b>	5 <b>1.8</b>

【9. 鶏肉】輸入鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない
全 体			1750 <b>100</b>	41 <b>2.3</b>	91 <b>5.2</b>	857 <b>49.0</b>	150 <b>8.6</b>	117 <b>6.7</b>	92 <b>5.3</b>	402 <b>23.0</b>
地域	首都圏		879 <b>100</b>	21 <b>2.4</b>	44 <b>5.0</b>	462 <b>52.6</b>	75 <b>8.5</b>	52 <b>5.9</b>	39 <b>4.4</b>	186 <b>21.2</b>
	京阪神圏		871 <b>100</b>	20 <b>2.3</b>	47 <b>5.4</b>	395 <b>45.4</b>	75 <b>8.6</b>	65 <b>7.5</b>	53 <b>6.1</b>	216 <b>24.8</b>
年代	20代		292 <b>100</b>	18 <b>6.2</b>	29 <b>9.9</b>	123 <b>42.1</b>	33 <b>11.3</b>	28 <b>9.6</b>	23 <b>7.9</b>	38 <b>13.0</b>
	30代		298 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	19 <b>6.4</b>	154 <b>51.7</b>	23 <b>7.7</b>	14 <b>4.7</b>	23 <b>7.7</b>	60 <b>20.1</b>
	40代		297 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	16 <b>5.4</b>	172 <b>57.9</b>	14 <b>4.7</b>	17 <b>5.7</b>	17 <b>5.7</b>	52 <b>17.5</b>
	50代		292 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	14 <b>4.8</b>	150 <b>51.4</b>	26 <b>8.9</b>	19 <b>6.5</b>	5 <b>1.7</b>	70 <b>24.0</b>
	60代		287 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	7 <b>2.4</b>	144 <b>50.2</b>	29 <b>10.1</b>	21 <b>7.3</b>	10 <b>3.5</b>	76 <b>26.5</b>
	70代以上		284 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	6 <b>2.1</b>	114 <b>40.1</b>	25 <b>8.8</b>	18 <b>6.3</b>	14 <b>4.9</b>	106 <b>37.3</b>

Q10 ここ1ヵ月の食品の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。購入回数が「増えた食品」「減った食品」について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 増えた食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 <b>100</b>	250 <b>13.9</b>	393 <b>21.8</b>	299 <b>16.6</b>	218 <b>12.1</b>	205 <b>11.4</b>	259 <b>14.4</b>	215 <b>11.9</b>	112 <b>6.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	121 <b>13.4</b>	187 <b>20.8</b>	151 <b>16.8</b>	116 <b>12.9</b>	109 <b>12.1</b>	140 <b>15.6</b>	106 <b>11.8</b>	60 <b>6.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	129 <b>14.3</b>	206 <b>22.9</b>	148 <b>16.4</b>	102 <b>11.3</b>	96 <b>10.7</b>	119 <b>13.2</b>	109 <b>12.1</b>	52 <b>5.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	78 <b>26.0</b>	60 <b>20.0</b>	52 <b>17.3</b>	34 <b>11.3</b>	38 <b>12.7</b>	44 <b>14.7</b>	31 <b>10.3</b>	14 <b>4.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	63 <b>21.0</b>	46 <b>15.3</b>	35 <b>11.7</b>	34 <b>11.3</b>	38 <b>12.7</b>	34 <b>11.3</b>	20 <b>6.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	74 <b>24.7</b>	39 <b>13.0</b>	22 <b>7.3</b>	35 <b>11.7</b>	43 <b>14.3</b>	37 <b>12.3</b>	32 <b>10.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	61 <b>20.3</b>	41 <b>13.7</b>	25 <b>8.3</b>	27 <b>9.0</b>	38 <b>12.7</b>	28 <b>9.3</b>	12 <b>4.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	54 <b>18.0</b>	49 <b>16.3</b>	34 <b>11.3</b>	27 <b>9.0</b>	32 <b>10.7</b>	26 <b>8.7</b>	10 <b>3.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	81 <b>27.0</b>	72 <b>24.0</b>	68 <b>22.7</b>	44 <b>14.7</b>	64 <b>21.3</b>	59 <b>19.7</b>	24 <b>8.0</b>

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	178 <b>9.9</b>	234 <b>13.0</b>	206 <b>11.4</b>	135 <b>7.5</b>	93 <b>5.2</b>	183 <b>10.2</b>	907 <b>50.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	86 <b>9.6</b>	120 <b>13.3</b>	87 <b>9.7</b>	73 <b>8.1</b>	52 <b>5.8</b>	93 <b>10.3</b>	468 <b>52.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	92 <b>10.2</b>	114 <b>12.7</b>	119 <b>13.2</b>	62 <b>6.9</b>	41 <b>4.6</b>	90 <b>10.0</b>	439 <b>48.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	34 <b>11.3</b>	33 <b>11.0</b>	29 <b>9.7</b>	27 <b>9.0</b>	37 <b>12.3</b>	135 <b>45.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	27 <b>9.0</b>	29 <b>9.7</b>	15 <b>5.0</b>	16 <b>5.3</b>	18 <b>6.0</b>	168 <b>56.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	44 <b>14.7</b>	43 <b>14.3</b>	26 <b>8.7</b>	17 <b>5.7</b>	29 <b>9.7</b>	149 <b>49.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	36 <b>12.0</b>	37 <b>12.3</b>	19 <b>6.3</b>	17 <b>5.7</b>	32 <b>10.7</b>	164 <b>54.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	33 <b>11.0</b>	32 <b>10.7</b>	22 <b>7.3</b>	7 <b>2.3</b>	22 <b>7.3</b>	165 <b>55.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	48 <b>16.0</b>	60 <b>20.0</b>	32 <b>10.7</b>	24 <b>8.0</b>	9 <b>3.0</b>	45 <b>15.0</b>	126 <b>42.0</b>

【2. 減った食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 <b>100</b>	362 <b>20.1</b>	210 <b>11.7</b>	187 <b>10.4</b>	250 <b>13.9</b>	207 <b>11.5</b>	162 <b>9.0</b>	184 <b>10.2</b>	223 <b>12.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	163 <b>18.1</b>	92 <b>10.2</b>	78 <b>8.7</b>	103 <b>11.4</b>	88 <b>9.8</b>	59 <b>6.6</b>	74 <b>8.2</b>	101 <b>11.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	199 <b>22.1</b>	118 <b>13.1</b>	109 <b>12.1</b>	147 <b>16.3</b>	119 <b>13.2</b>	103 <b>11.4</b>	110 <b>12.2</b>	122 <b>13.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	40 <b>13.3</b>	23 <b>7.7</b>	35 <b>11.7</b>	35 <b>11.7</b>	29 <b>9.7</b>	32 <b>10.7</b>	31 <b>10.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	48 <b>16.0</b>	34 <b>11.3</b>	26 <b>8.7</b>	31 <b>10.3</b>	24 <b>8.0</b>	24 <b>8.0</b>	25 <b>8.3</b>	27 <b>9.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	65 <b>21.7</b>	33 <b>11.0</b>	37 <b>12.3</b>	46 <b>15.3</b>	35 <b>11.7</b>	25 <b>8.3</b>	32 <b>10.7</b>	33 <b>11.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	67 <b>22.3</b>	41 <b>13.7</b>	27 <b>9.0</b>	43 <b>14.3</b>	36 <b>12.0</b>	32 <b>10.7</b>	33 <b>11.0</b>	38 <b>12.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	69 <b>23.0</b>	40 <b>13.3</b>	39 <b>13.0</b>	48 <b>16.0</b>	36 <b>12.0</b>	27 <b>9.0</b>	32 <b>10.7</b>	48 <b>16.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	85 <b>28.3</b>	22 <b>7.3</b>	35 <b>11.7</b>	47 <b>15.7</b>	41 <b>13.7</b>	25 <b>8.3</b>	30 <b>10.0</b>	46 <b>15.3</b>

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント種 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	154 <b>8.6</b>	180 <b>10.0</b>	315 <b>17.5</b>	250 <b>13.9</b>	382 <b>21.2</b>	307 <b>17.1</b>	811 <b>45.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	58 <b>6.4</b>	69 <b>7.7</b>	149 <b>16.6</b>	101 <b>11.2</b>	170 <b>18.9</b>	145 <b>16.1</b>	423 <b>47.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	96 <b>10.7</b>	111 <b>12.3</b>	166 <b>18.4</b>	149 <b>16.6</b>	212 <b>23.6</b>	162 <b>18.0</b>	388 <b>43.1</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	30 <b>10.0</b>	44 <b>14.7</b>	29 <b>9.7</b>	49 <b>16.3</b>	37 <b>12.3</b>	138 <b>46.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	27 <b>9.0</b>	38 <b>12.7</b>	36 <b>12.0</b>	51 <b>17.0</b>	43 <b>14.3</b>	144 <b>48.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	23 <b>7.7</b>	49 <b>16.3</b>	39 <b>13.0</b>	68 <b>22.7</b>	50 <b>16.7</b>	140 <b>46.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	36 <b>12.0</b>	55 <b>18.3</b>	42 <b>14.0</b>	61 <b>20.3</b>	58 <b>19.3</b>	147 <b>49.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	31 <b>10.3</b>	52 <b>17.3</b>	47 <b>15.7</b>	74 <b>24.7</b>	60 <b>20.0</b>	127 <b>42.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	33 <b>11.0</b>	77 <b>25.7</b>	57 <b>19.0</b>	79 <b>26.3</b>	59 <b>19.7</b>	115 <b>38.3</b>

Q11 下記の牛肉について、あなたはどの程度購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 <b>100</b>	306 <b>17.0</b>	526 <b>29.2</b>	428 <b>23.8</b>	402 <b>22.3</b>	64 <b>3.6</b>	34 <b>1.9</b>	40 <b>2.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	141 <b>15.7</b>	274 <b>30.4</b>	218 <b>24.2</b>	199 <b>22.1</b>	30 <b>3.3</b>	21 <b>2.3</b>	17 <b>1.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	165 <b>18.3</b>	252 <b>28.0</b>	210 <b>23.3</b>	203 <b>22.6</b>	34 <b>3.8</b>	13 <b>1.4</b>	23 <b>2.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	62 <b>20.7</b>	68 <b>22.7</b>	71 <b>23.7</b>	71 <b>23.7</b>	13 <b>4.3</b>	5 <b>1.7</b>	10 <b>3.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	53 <b>17.7</b>	68 <b>22.7</b>	74 <b>24.7</b>	92 <b>30.7</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	6 <b>2.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	58 <b>19.3</b>	80 <b>26.7</b>	66 <b>22.0</b>	77 <b>25.7</b>	8 <b>2.7</b>	4 <b>1.3</b>	7 <b>2.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	84 <b>28.0</b>	84 <b>28.0</b>	62 <b>20.7</b>	8 <b>2.7</b>	6 <b>2.0</b>	7 <b>2.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	95 <b>31.7</b>	79 <b>26.3</b>	56 <b>18.7</b>	10 <b>3.3</b>	13 <b>4.3</b>	7 <b>2.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	131 <b>43.7</b>	54 <b>18.0</b>	44 <b>14.7</b>	21 <b>7.0</b>	3 <b>1.0</b>	3 <b>1.0</b>

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 <b>100</b>	151 <b>8.4</b>	420 <b>23.3</b>	503 <b>27.9</b>	532 <b>29.6</b>	90 <b>5.0</b>	43 <b>2.4</b>	61 <b>3.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	83 <b>9.2</b>	210 <b>23.3</b>	265 <b>29.4</b>	256 <b>28.4</b>	42 <b>4.7</b>	22 <b>2.4</b>	22 <b>2.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	68 <b>7.6</b>	210 <b>23.3</b>	238 <b>26.4</b>	276 <b>30.7</b>	48 <b>5.3</b>	21 <b>2.3</b>	39 <b>4.3</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	62 <b>20.7</b>	80 <b>26.7</b>	87 <b>29.0</b>	13 <b>4.3</b>	6 <b>2.0</b>	12 <b>4.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	35 <b>11.7</b>	59 <b>19.7</b>	75 <b>25.0</b>	108 <b>36.0</b>	11 <b>3.7</b>	4 <b>1.3</b>	8 <b>2.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	68 <b>22.7</b>	77 <b>25.7</b>	91 <b>30.3</b>	14 <b>4.7</b>	3 <b>1.0</b>	10 <b>3.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	65 <b>21.7</b>	90 <b>30.0</b>	93 <b>31.0</b>	8 <b>2.7</b>	11 <b>3.7</b>	16 <b>5.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	71 <b>23.7</b>	94 <b>31.3</b>	79 <b>26.3</b>	21 <b>7.0</b>	12 <b>4.0</b>	10 <b>3.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	95 <b>31.7</b>	87 <b>29.0</b>	74 <b>24.7</b>	23 <b>7.7</b>	7 <b>2.3</b>	5 <b>1.7</b>

### 【3. アメリカ産牛肉】

	度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 <b>100</b>	60 <b>3.3</b>	201 <b>11.2</b>	418 <b>23.2</b>	624 <b>34.7</b>	217 <b>12.1</b>	114 <b>6.3</b>	166 <b>9.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	31 <b>3.4</b>	119 <b>13.2</b>	231 <b>25.7</b>	317 <b>35.2</b>	88 <b>9.8</b>	50 <b>5.6</b>	64 <b>7.1</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	29 <b>3.2</b>	82 <b>9.1</b>	187 <b>20.8</b>	307 <b>34.1</b>	129 <b>14.3</b>	64 <b>7.1</b>	102 <b>11.3</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	35 <b>11.7</b>	75 <b>25.0</b>	102 <b>34.0</b>	37 <b>12.3</b>	7 <b>2.3</b>	20 <b>6.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	44 <b>14.7</b>	62 <b>20.7</b>	113 <b>37.7</b>	34 <b>11.3</b>	14 <b>4.7</b>	23 <b>7.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	46 <b>15.3</b>	72 <b>24.0</b>	112 <b>37.3</b>	22 <b>7.3</b>	12 <b>4.0</b>	19 <b>6.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	33 <b>11.0</b>	84 <b>28.0</b>	96 <b>32.0</b>	23 <b>7.7</b>	22 <b>7.3</b>	39 <b>13.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	21 <b>7.0</b>	75 <b>25.0</b>	103 <b>34.3</b>	40 <b>13.3</b>	27 <b>9.0</b>	28 <b>9.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	22 <b>7.3</b>	50 <b>16.7</b>	98 <b>32.7</b>	61 <b>20.3</b>	32 <b>10.7</b>	37 <b>12.3</b>

### 【4. オーストラリア産牛肉】

	度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 <b>100</b>	66 <b>3.7</b>	219 <b>12.2</b>	438 <b>24.3</b>	647 <b>35.9</b>	184 <b>10.2</b>	109 <b>6.1</b>	137 <b>7.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	34 <b>3.8</b>	133 <b>14.8</b>	232 <b>25.8</b>	327 <b>36.3</b>	73 <b>8.1</b>	45 <b>5.0</b>	56 <b>6.2</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	86 <b>9.6</b>	206 <b>22.9</b>	320 <b>35.6</b>	111 <b>12.3</b>	64 <b>7.1</b>	81 <b>9.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	40 <b>13.3</b>	67 <b>22.3</b>	111 <b>37.0</b>	32 <b>10.7</b>	9 <b>3.0</b>	19 <b>6.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	41 <b>13.7</b>	70 <b>23.3</b>	122 <b>40.7</b>	19 <b>6.3</b>	16 <b>5.3</b>	19 <b>6.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	51 <b>17.0</b>	71 <b>23.7</b>	114 <b>38.0</b>	20 <b>6.7</b>	11 <b>3.7</b>	16 <b>5.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	39 <b>13.0</b>	83 <b>27.7</b>	100 <b>33.3</b>	16 <b>5.3</b>	23 <b>7.7</b>	33 <b>11.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	25 <b>8.3</b>	82 <b>27.3</b>	100 <b>33.3</b>	38 <b>12.7</b>	25 <b>8.3</b>	22 <b>7.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	23 <b>7.7</b>	65 <b>21.7</b>	100 <b>33.3</b>	59 <b>19.7</b>	25 <b>8.3</b>	28 <b>9.3</b>

Q12 下記の牛肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全体		1674 100	33 2.0	29 1.7	111 6.6	245 14.6	261 15.6	270 16.1	504 30.1	221 13.2
地域	首都圏	826 100	16 1.9	13 1.6	49 5.9	107 13.0	124 15.0	123 14.9	272 32.9	122 14.8
	京阪神圏	848 100	17 2.0	16 1.9	62 7.3	138 16.3	137 16.2	147 17.3	232 27.4	99 11.7
年代	20代	275 100	21 7.6	11 4.0	29 10.5	37 13.5	37 13.5	35 12.7	64 23.3	41 14.9
	30代	281 100	5 1.8	9 3.2	13 4.6	41 14.6	45 16.0	35 12.5	90 32.0	43 15.3
	40代	277 100	5 1.8	3 1.1	18 6.5	38 13.7	36 13.0	41 14.8	91 32.9	45 16.2
	50代	274 100	1 0.4	4 1.5	10 3.6	30 10.9	36 13.1	55 20.1	100 36.5	38 13.9
	60代	279 100	1 0.4	0 0.0	16 5.7	35 12.5	55 19.7	55 19.7	86 30.8	31 11.1
	70代以上	288 100	0 0.0	2 0.7	25 8.7	64 22.2	52 18.1	49 17.0	73 25.3	23 8.0

【2. 和牛以外の国産牛肉】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全体		1674 100	21 1.3	32 1.9	88 5.3	223 13.3	258 15.4	325 19.4	487 29.1	240 14.3
地域	首都圏	826 100	14 1.7	16 1.9	33 4.0	95 11.5	127 15.4	161 19.5	253 30.6	127 15.4
	京阪神圏	848 100	7 0.8	16 1.9	55 6.5	128 15.1	131 15.4	164 19.3	234 27.6	113 13.3
年代	20代	275 100	13 4.7	18 6.5	24 8.7	38 13.8	36 13.1	37 13.5	68 24.7	41 14.9
	30代	281 100	3 1.1	7 2.5	13 4.6	38 13.5	43 15.3	51 18.1	86 30.6	40 14.2
	40代	277 100	4 1.4	5 1.8	14 5.1	36 13.0	43 15.5	48 17.3	76 27.4	51 18.4
	50代	274 100	1 0.4	2 0.7	8 2.9	25 9.1	38 13.9	61 22.3	98 35.8	41 15.0
	60代	279 100	0 0.0	0 0.0	10 3.6	32 11.5	50 17.9	63 22.6	91 32.6	33 11.8
	70代以上	288 100	0 0.0	0 0.0	19 6.6	54 18.8	48 16.7	65 22.6	68 23.6	34 11.8

【3. 和牛かどうかわからない国産牛肉】

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全体		1674 100	21 1.3	21 1.3	68 4.1	168 10.0	196 11.7	256 15.3	474 28.3	470 28.1
地域	首都圏	826 100	13 1.6	9 1.1	29 3.5	73 8.8	101 12.2	126 15.3	249 30.1	226 27.4
	京阪神圏	848 100	8 0.9	12 1.4	39 4.6	95 11.2	95 11.2	130 15.3	225 26.5	244 28.8
年代	20代	275 100	13 4.7	12 4.4	24 8.7	31 11.3	39 14.2	31 11.3	61 22.2	64 23.3
	30代	281 100	4 1.4	0 0.0	14 5.0	29 10.3	35 12.5	42 14.9	82 29.2	75 26.7
	40代	277 100	3 1.1	3 1.1	8 2.9	30 10.8	31 11.2	38 13.7	81 29.2	83 30.0
	50代	274 100	1 0.4	3 1.1	8 2.9	19 6.9	29 10.6	48 17.5	91 33.2	75 27.4
	60代	279 100	0 0.0	2 0.7	7 2.5	21 7.5	34 12.2	53 19.0	80 28.7	82 29.4
	70代以上	288 100	0 0.0	1 0.3	7 2.4	38 13.2	28 9.7	44 15.3	79 27.4	91 31.6

【4. アメリカ産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1674 <b>100</b>	17 <b>1.0</b>	23 <b>1.4</b>	58 <b>3.5</b>	154 <b>9.2</b>	180 <b>10.8</b>	270 <b>16.1</b>	489 <b>29.2</b>	483 <b>28.9</b>
地域	首都圏	826 <b>100</b>	11 <b>1.3</b>	11 <b>1.3</b>	27 <b>3.3</b>	69 <b>8.4</b>	95 <b>11.5</b>	134 <b>16.2</b>	271 <b>32.8</b>	208 <b>25.2</b>
	京阪神圏	848 <b>100</b>	6 <b>0.7</b>	12 <b>1.4</b>	31 <b>3.7</b>	85 <b>10.0</b>	85 <b>10.0</b>	136 <b>16.0</b>	218 <b>25.7</b>	275 <b>32.4</b>
年代	20代	275 <b>100</b>	12 <b>4.4</b>	12 <b>4.4</b>	21 <b>7.6</b>	34 <b>12.4</b>	34 <b>12.4</b>	30 <b>10.9</b>	61 <b>22.2</b>	71 <b>25.8</b>
	30代	281 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	4 <b>1.4</b>	17 <b>6.0</b>	30 <b>10.7</b>	28 <b>10.0</b>	40 <b>14.2</b>	85 <b>30.2</b>	77 <b>27.4</b>
	40代	277 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	4 <b>1.4</b>	8 <b>2.9</b>	29 <b>10.5</b>	34 <b>12.3</b>	48 <b>17.3</b>	92 <b>33.2</b>	60 <b>21.7</b>
	50代	274 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	2 <b>0.7</b>	4 <b>1.5</b>	19 <b>6.9</b>	25 <b>9.1</b>	53 <b>19.3</b>	93 <b>33.9</b>	76 <b>27.7</b>
	60代	279 <b>100</b>	1 <b>0.4</b>	1 <b>0.4</b>	4 <b>1.4</b>	19 <b>6.8</b>	32 <b>11.5</b>	65 <b>23.3</b>	80 <b>28.7</b>	77 <b>27.6</b>
	70代以上	288 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	4 <b>1.4</b>	23 <b>8.0</b>	27 <b>9.4</b>	34 <b>11.8</b>	78 <b>27.1</b>	122 <b>42.4</b>

【5. オーストラリア産牛肉】

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1674 <b>100</b>	22 <b>1.3</b>	16 <b>1.0</b>	71 <b>4.2</b>	150 <b>9.0</b>	177 <b>10.6</b>	290 <b>17.3</b>	496 <b>29.6</b>	452 <b>27.0</b>
地域	首都圏	826 <b>100</b>	12 <b>1.5</b>	8 <b>1.0</b>	31 <b>3.8</b>	71 <b>8.6</b>	93 <b>11.3</b>	149 <b>18.0</b>	267 <b>32.3</b>	195 <b>23.6</b>
	京阪神圏	848 <b>100</b>	10 <b>1.2</b>	8 <b>0.9</b>	40 <b>4.7</b>	79 <b>9.3</b>	84 <b>9.9</b>	141 <b>16.6</b>	229 <b>27.0</b>	257 <b>30.3</b>
年代	20代	275 <b>100</b>	13 <b>4.7</b>	6 <b>2.2</b>	28 <b>10.2</b>	34 <b>12.4</b>	22 <b>8.0</b>	35 <b>12.7</b>	66 <b>24.0</b>	71 <b>25.8</b>
	30代	281 <b>100</b>	3 <b>1.1</b>	5 <b>1.8</b>	16 <b>5.7</b>	28 <b>10.0</b>	24 <b>8.5</b>	46 <b>16.4</b>	85 <b>30.2</b>	74 <b>26.3</b>
	40代	277 <b>100</b>	4 <b>1.4</b>	3 <b>1.1</b>	13 <b>4.7</b>	25 <b>9.0</b>	35 <b>12.6</b>	48 <b>17.3</b>	91 <b>32.9</b>	58 <b>20.9</b>
	50代	274 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	1 <b>0.4</b>	3 <b>1.1</b>	25 <b>9.1</b>	28 <b>10.2</b>	53 <b>19.3</b>	89 <b>32.5</b>	73 <b>26.6</b>
	60代	279 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	1 <b>0.4</b>	4 <b>1.4</b>	23 <b>8.2</b>	34 <b>12.2</b>	63 <b>22.6</b>	85 <b>30.5</b>	69 <b>24.7</b>
	70代以上	288 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	0 <b>0.0</b>	7 <b>2.4</b>	15 <b>5.2</b>	34 <b>11.8</b>	45 <b>15.6</b>	80 <b>27.8</b>	107 <b>37.2</b>

Q13 以下に牛肉のイメージを表す言葉があります。各イメージについて、あなたがあてはまると思う牛肉を全てお選びください。

【1. 柔らかい】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800 <b>100</b>	1138 <b>63.2</b>	400 <b>22.2</b>	123 <b>6.8</b>	115 <b>6.4</b>	450 <b>25.0</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	588 <b>65.3</b>	205 <b>22.8</b>	58 <b>6.4</b>	59 <b>6.6</b>	209 <b>23.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	550 <b>61.1</b>	195 <b>21.7</b>	65 <b>7.2</b>	56 <b>6.2</b>	241 <b>26.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	139 <b>46.3</b>	70 <b>23.3</b>	33 <b>11.0</b>	21 <b>7.0</b>	92 <b>30.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	164 <b>54.7</b>	69 <b>23.0</b>	27 <b>9.0</b>	23 <b>7.7</b>	89 <b>29.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	171 <b>57.0</b>	73 <b>24.3</b>	23 <b>7.7</b>	20 <b>6.7</b>	96 <b>32.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	209 <b>69.7</b>	63 <b>21.0</b>	10 <b>3.3</b>	9 <b>3.0</b>	72 <b>24.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	225 <b>75.0</b>	57 <b>19.0</b>	12 <b>4.0</b>	19 <b>6.3</b>	58 <b>19.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	230 <b>76.7</b>	68 <b>22.7</b>	18 <b>6.0</b>	23 <b>7.7</b>	43 <b>14.3</b>

【2. 霜降り】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800 <b>100</b>	1167 <b>64.8</b>	228 <b>12.7</b>	97 <b>5.4</b>	66 <b>3.7</b>	438 <b>24.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	587 <b>65.2</b>	121 <b>13.4</b>	53 <b>5.9</b>	36 <b>4.0</b>	211 <b>23.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	580 <b>64.4</b>	107 <b>11.9</b>	44 <b>4.9</b>	30 <b>3.3</b>	227 <b>25.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	145 <b>48.3</b>	43 <b>14.3</b>	29 <b>9.7</b>	24 <b>8.0</b>	90 <b>30.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	174 <b>58.0</b>	34 <b>11.3</b>	26 <b>8.7</b>	13 <b>4.3</b>	83 <b>27.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	178 <b>59.3</b>	53 <b>17.7</b>	13 <b>4.3</b>	14 <b>4.7</b>	92 <b>30.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	201 <b>67.0</b>	34 <b>11.3</b>	10 <b>3.3</b>	3 <b>1.0</b>	76 <b>25.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	225 <b>75.0</b>	25 <b>8.3</b>	11 <b>3.7</b>	10 <b>3.3</b>	56 <b>18.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	244 <b>81.3</b>	39 <b>13.0</b>	8 <b>2.7</b>	2 <b>0.7</b>	41 <b>13.7</b>

【3. 赤身が多い】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800 <b>100</b>	401 <b>22.3</b>	308 <b>17.1</b>	514 <b>28.6</b>	499 <b>27.7</b>	623 <b>34.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	196 <b>21.8</b>	141 <b>15.7</b>	270 <b>30.0</b>	256 <b>28.4</b>	307 <b>34.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	205 <b>22.8</b>	167 <b>18.6</b>	244 <b>27.1</b>	243 <b>27.0</b>	316 <b>35.1</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	66 <b>22.0</b>	54 <b>18.0</b>	65 <b>21.7</b>	63 <b>21.0</b>	112 <b>37.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	63 <b>21.0</b>	46 <b>15.3</b>	75 <b>25.0</b>	77 <b>25.7</b>	113 <b>37.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	69 <b>23.0</b>	49 <b>16.3</b>	82 <b>27.3</b>	84 <b>28.0</b>	113 <b>37.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	59 <b>19.7</b>	43 <b>14.3</b>	101 <b>33.7</b>	88 <b>29.3</b>	114 <b>38.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	79 <b>26.3</b>	55 <b>18.3</b>	105 <b>35.0</b>	96 <b>32.0</b>	87 <b>29.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	65 <b>21.7</b>	61 <b>20.3</b>	86 <b>28.7</b>	91 <b>30.3</b>	84 <b>28.0</b>

【4. 安全・安心】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800 <b>100</b>	1185 <b>65.8</b>	619 <b>34.4</b>	187 <b>10.4</b>	156 <b>8.7</b>	404 <b>22.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	593 <b>65.9</b>	330 <b>36.7</b>	101 <b>11.2</b>	91 <b>10.1</b>	202 <b>22.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	592 <b>65.8</b>	289 <b>32.1</b>	86 <b>9.6</b>	65 <b>7.2</b>	202 <b>22.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	162 <b>54.0</b>	121 <b>40.3</b>	39 <b>13.0</b>	28 <b>9.3</b>	68 <b>22.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	168 <b>56.0</b>	91 <b>30.3</b>	34 <b>11.3</b>	27 <b>9.0</b>	83 <b>27.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	191 <b>63.7</b>	94 <b>31.3</b>	30 <b>10.0</b>	22 <b>7.3</b>	79 <b>26.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	209 <b>69.7</b>	90 <b>30.0</b>	27 <b>9.0</b>	22 <b>7.3</b>	72 <b>24.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	218 <b>72.7</b>	100 <b>33.3</b>	33 <b>11.0</b>	34 <b>11.3</b>	61 <b>20.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	237 <b>79.0</b>	123 <b>41.0</b>	24 <b>8.0</b>	23 <b>7.7</b>	41 <b>13.7</b>

【5. 高品質】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800 <b>100</b>	1207 <b>67.1</b>	339 <b>18.8</b>	118 <b>6.6</b>	98 <b>5.4</b>	395 <b>21.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	607 <b>67.4</b>	190 <b>21.1</b>	62 <b>6.9</b>	51 <b>5.7</b>	193 <b>21.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	600 <b>66.7</b>	149 <b>16.6</b>	56 <b>6.2</b>	47 <b>5.2</b>	202 <b>22.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	156 <b>52.0</b>	68 <b>22.7</b>	33 <b>11.0</b>	24 <b>8.0</b>	75 <b>25.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	168 <b>56.0</b>	66 <b>22.0</b>	24 <b>8.0</b>	20 <b>6.7</b>	81 <b>27.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	179 <b>59.7</b>	63 <b>21.0</b>	15 <b>5.0</b>	16 <b>5.3</b>	93 <b>31.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	218 <b>72.7</b>	48 <b>16.0</b>	19 <b>6.3</b>	15 <b>5.0</b>	64 <b>21.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	231 <b>77.0</b>	48 <b>16.0</b>	17 <b>5.7</b>	14 <b>4.7</b>	52 <b>17.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	255 <b>85.0</b>	46 <b>15.3</b>	10 <b>3.3</b>	9 <b>3.0</b>	30 <b>10.0</b>

【6. 飼育環境がよい】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800 <b>100</b>	899 <b>49.9</b>	317 <b>17.6</b>	155 <b>8.6</b>	143 <b>7.9</b>	654 <b>36.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	448 <b>49.8</b>	169 <b>18.8</b>	76 <b>8.4</b>	75 <b>8.3</b>	319 <b>35.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	451 <b>50.1</b>	148 <b>16.4</b>	79 <b>8.8</b>	68 <b>7.6</b>	335 <b>37.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	121 <b>40.3</b>	66 <b>22.0</b>	43 <b>14.3</b>	20 <b>6.7</b>	104 <b>34.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	127 <b>42.3</b>	59 <b>19.7</b>	26 <b>8.7</b>	28 <b>9.3</b>	125 <b>41.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	137 <b>45.7</b>	54 <b>18.0</b>	22 <b>7.3</b>	26 <b>8.7</b>	130 <b>43.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	162 <b>54.0</b>	44 <b>14.7</b>	20 <b>6.7</b>	21 <b>7.0</b>	109 <b>36.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	173 <b>57.7</b>	36 <b>12.0</b>	27 <b>9.0</b>	28 <b>9.3</b>	99 <b>33.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	179 <b>59.7</b>	58 <b>19.3</b>	17 <b>5.7</b>	20 <b>6.7</b>	87 <b>29.0</b>

【7. 高級】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	1296	235	88	79	329
			<b>100</b>	<b>72.0</b>	<b>13.1</b>	<b>4.9</b>	<b>4.4</b>	<b>18.3</b>
地域	首都圏		900	659	134	49	40	152
			<b>100</b>	<b>73.2</b>	<b>14.9</b>	<b>5.4</b>	<b>4.4</b>	<b>16.9</b>
	京阪神圏		900	637	101	39	39	177
			<b>100</b>	<b>70.8</b>	<b>11.2</b>	<b>4.3</b>	<b>4.3</b>	<b>19.7</b>
年代	20代		300	172	58	31	28	64
			<b>100</b>	<b>57.3</b>	<b>19.3</b>	<b>10.3</b>	<b>9.3</b>	<b>21.3</b>
	30代		300	190	45	16	12	71
			<b>100</b>	<b>63.3</b>	<b>15.0</b>	<b>5.3</b>	<b>4.0</b>	<b>23.7</b>
	40代		300	205	53	16	20	72
			<b>100</b>	<b>68.3</b>	<b>17.7</b>	<b>5.3</b>	<b>6.7</b>	<b>24.0</b>
	50代		300	225	36	10	10	53
		<b>100</b>	<b>75.0</b>	<b>12.0</b>	<b>3.3</b>	<b>3.3</b>	<b>17.7</b>	
60代		300	241	24	10	5	45	
		<b>100</b>	<b>80.3</b>	<b>8.0</b>	<b>3.3</b>	<b>1.7</b>	<b>15.0</b>	
70代以上		300	263	19	5	4	24	
		<b>100</b>	<b>87.7</b>	<b>6.3</b>	<b>1.7</b>	<b>1.3</b>	<b>8.0</b>	

【8. 価格が手頃】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	110	347	887	920	488
			<b>100</b>	<b>6.1</b>	<b>19.3</b>	<b>49.3</b>	<b>51.1</b>	<b>27.1</b>
地域	首都圏		900	56	162	439	465	242
			<b>100</b>	<b>6.2</b>	<b>18.0</b>	<b>48.8</b>	<b>51.7</b>	<b>26.9</b>
	京阪神圏		900	54	185	448	455	246
			<b>100</b>	<b>6.0</b>	<b>20.6</b>	<b>49.8</b>	<b>50.6</b>	<b>27.3</b>
年代	20代		300	31	52	127	119	87
			<b>100</b>	<b>10.3</b>	<b>17.3</b>	<b>42.3</b>	<b>39.7</b>	<b>29.0</b>
	30代		300	23	43	134	141	95
			<b>100</b>	<b>7.7</b>	<b>14.3</b>	<b>44.7</b>	<b>47.0</b>	<b>31.7</b>
	40代		300	23	51	139	151	88
			<b>100</b>	<b>7.7</b>	<b>17.0</b>	<b>46.3</b>	<b>50.3</b>	<b>29.3</b>
	50代		300	15	56	155	160	86
		<b>100</b>	<b>5.0</b>	<b>18.7</b>	<b>51.7</b>	<b>53.3</b>	<b>28.7</b>	
60代		300	11	61	161	181	75	
		<b>100</b>	<b>3.7</b>	<b>20.3</b>	<b>53.7</b>	<b>60.3</b>	<b>25.0</b>	
70代以上		300	7	84	171	168	57	
		<b>100</b>	<b>2.3</b>	<b>28.0</b>	<b>57.0</b>	<b>56.0</b>	<b>19.0</b>	

【9. 特売】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	163	342	765	714	603
			<b>100</b>	<b>9.1</b>	<b>19.0</b>	<b>42.5</b>	<b>39.7</b>	<b>33.5</b>
地域	首都圏		900	88	166	390	357	304
			<b>100</b>	<b>9.8</b>	<b>18.4</b>	<b>43.3</b>	<b>39.7</b>	<b>33.8</b>
	京阪神圏		900	75	176	375	357	299
			<b>100</b>	<b>8.3</b>	<b>19.6</b>	<b>41.7</b>	<b>39.7</b>	<b>33.2</b>
年代	20代		300	45	47	107	99	99
			<b>100</b>	<b>15.0</b>	<b>15.7</b>	<b>35.7</b>	<b>33.0</b>	<b>33.0</b>
	30代		300	32	46	114	96	114
			<b>100</b>	<b>10.7</b>	<b>15.3</b>	<b>38.0</b>	<b>32.0</b>	<b>38.0</b>
	40代		300	21	41	121	116	115
			<b>100</b>	<b>7.0</b>	<b>13.7</b>	<b>40.3</b>	<b>38.7</b>	<b>38.3</b>
	50代		300	20	76	136	130	100
		<b>100</b>	<b>6.7</b>	<b>25.3</b>	<b>45.3</b>	<b>43.3</b>	<b>33.3</b>	
60代		300	21	54	147	136	97	
		<b>100</b>	<b>7.0</b>	<b>18.0</b>	<b>49.0</b>	<b>45.3</b>	<b>32.3</b>	
70代以上		300	24	78	140	137	78	
		<b>100</b>	<b>8.0</b>	<b>26.0</b>	<b>46.7</b>	<b>45.7</b>	<b>26.0</b>	

【10. おいしい】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	1241	637	384	355	340
			<b>100</b>	<b>68.9</b>	<b>35.4</b>	<b>21.3</b>	<b>19.7</b>	<b>18.9</b>
地域	首都圏		900	640	347	222	208	156
			<b>100</b>	<b>71.1</b>	<b>38.6</b>	<b>24.7</b>	<b>23.1</b>	<b>17.3</b>
	京阪神圏		900	601	290	162	147	184
			<b>100</b>	<b>66.8</b>	<b>32.2</b>	<b>18.0</b>	<b>16.3</b>	<b>20.4</b>
年代	20代		300	155	107	72	44	71
			<b>100</b>	<b>51.7</b>	<b>35.7</b>	<b>24.0</b>	<b>14.7</b>	<b>23.7</b>
	30代		300	184	108	76	71	67
			<b>100</b>	<b>61.3</b>	<b>36.0</b>	<b>25.3</b>	<b>23.7</b>	<b>22.3</b>
	40代		300	206	115	66	72	61
			<b>100</b>	<b>68.7</b>	<b>38.3</b>	<b>22.0</b>	<b>24.0</b>	<b>20.3</b>
	50代		300	214	98	58	58	63
		<b>100</b>	<b>71.3</b>	<b>32.7</b>	<b>19.3</b>	<b>19.3</b>	<b>21.0</b>	
	60代		300	237	109	64	66	43
			<b>100</b>	<b>79.0</b>	<b>36.3</b>	<b>21.3</b>	<b>22.0</b>	<b>14.3</b>
	70代以上		300	245	100	48	44	35
			<b>100</b>	<b>81.7</b>	<b>33.3</b>	<b>16.0</b>	<b>14.7</b>	<b>11.7</b>

【11. 赤身がおいしい】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	660	413	364	336	622
			<b>100</b>	<b>36.7</b>	<b>22.9</b>	<b>20.2</b>	<b>18.7</b>	<b>34.6</b>
地域	首都圏		900	328	210	204	192	298
			<b>100</b>	<b>36.4</b>	<b>23.3</b>	<b>22.7</b>	<b>21.3</b>	<b>33.1</b>
	京阪神圏		900	332	203	160	144	324
			<b>100</b>	<b>36.9</b>	<b>22.6</b>	<b>17.8</b>	<b>16.0</b>	<b>36.0</b>
年代	20代		300	95	75	62	42	103
			<b>100</b>	<b>31.7</b>	<b>25.0</b>	<b>20.7</b>	<b>14.0</b>	<b>34.3</b>
	30代		300	99	55	60	51	115
			<b>100</b>	<b>33.0</b>	<b>18.3</b>	<b>20.0</b>	<b>17.0</b>	<b>38.3</b>
	40代		300	114	68	54	51	114
			<b>100</b>	<b>38.0</b>	<b>22.7</b>	<b>18.0</b>	<b>17.0</b>	<b>38.0</b>
	50代		300	120	60	64	66	112
		<b>100</b>	<b>40.0</b>	<b>20.0</b>	<b>21.3</b>	<b>22.0</b>	<b>37.3</b>	
	60代		300	124	78	66	64	91
			<b>100</b>	<b>41.3</b>	<b>26.0</b>	<b>22.0</b>	<b>21.3</b>	<b>30.3</b>
	70代以上		300	108	77	58	62	87
			<b>100</b>	<b>36.0</b>	<b>25.7</b>	<b>19.3</b>	<b>20.7</b>	<b>29.0</b>

【12. 和食に合う】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	889	485	156	113	632
			<b>100</b>	<b>49.4</b>	<b>26.9</b>	<b>8.7</b>	<b>6.3</b>	<b>35.1</b>
地域	首都圏		900	446	242	73	50	314
			<b>100</b>	<b>49.6</b>	<b>26.9</b>	<b>8.1</b>	<b>5.6</b>	<b>34.9</b>
	京阪神圏		900	443	243	83	63	318
			<b>100</b>	<b>49.2</b>	<b>27.0</b>	<b>9.2</b>	<b>7.0</b>	<b>35.3</b>
年代	20代		300	117	80	41	15	109
			<b>100</b>	<b>39.0</b>	<b>26.7</b>	<b>13.7</b>	<b>5.0</b>	<b>36.3</b>
	30代		300	127	76	27	19	120
			<b>100</b>	<b>42.3</b>	<b>25.3</b>	<b>9.0</b>	<b>6.3</b>	<b>40.0</b>
	40代		300	140	86	27	22	117
			<b>100</b>	<b>46.7</b>	<b>28.7</b>	<b>9.0</b>	<b>7.3</b>	<b>39.0</b>
	50代		300	160	79	17	21	107
		<b>100</b>	<b>53.3</b>	<b>26.3</b>	<b>5.7</b>	<b>7.0</b>	<b>35.7</b>	
	60代		300	171	73	26	16	99
			<b>100</b>	<b>57.0</b>	<b>24.3</b>	<b>8.7</b>	<b>5.3</b>	<b>33.0</b>
	70代以上		300	174	91	18	20	80
			<b>100</b>	<b>58.0</b>	<b>30.3</b>	<b>6.0</b>	<b>6.7</b>	<b>26.7</b>

【13. 洋食に合う】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	512	421	633	550	639
			<b>100</b>	<b>28.4</b>	<b>23.4</b>	<b>35.2</b>	<b>30.6</b>	<b>35.5</b>
地域	首都圏		900	260	215	339	301	311
			<b>100</b>	<b>28.9</b>	<b>23.9</b>	<b>37.7</b>	<b>33.4</b>	<b>34.6</b>
	京阪神圏		900	252	206	294	249	328
			<b>100</b>	<b>28.0</b>	<b>22.9</b>	<b>32.7</b>	<b>27.7</b>	<b>36.4</b>
年代	20代		300	70	59	90	67	110
			<b>100</b>	<b>23.3</b>	<b>19.7</b>	<b>30.0</b>	<b>22.3</b>	<b>36.7</b>
	30代		300	67	62	91	81	125
			<b>100</b>	<b>22.3</b>	<b>20.7</b>	<b>30.3</b>	<b>27.0</b>	<b>41.7</b>
	40代		300	75	66	108	94	125
			<b>100</b>	<b>25.0</b>	<b>22.0</b>	<b>36.0</b>	<b>31.3</b>	<b>41.7</b>
	50代		300	98	80	107	102	109
		<b>100</b>	<b>32.7</b>	<b>26.7</b>	<b>35.7</b>	<b>34.0</b>	<b>36.3</b>	
	60代		300	102	72	127	117	90
			<b>100</b>	<b>34.0</b>	<b>24.0</b>	<b>42.3</b>	<b>39.0</b>	<b>30.0</b>
	70代以上		300	100	82	110	89	80
			<b>100</b>	<b>33.3</b>	<b>27.3</b>	<b>36.7</b>	<b>29.7</b>	<b>26.7</b>

【14. 贅沢感がある】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	1233	264	114	68	385
			<b>100</b>	<b>68.5</b>	<b>14.7</b>	<b>6.3</b>	<b>3.8</b>	<b>21.4</b>
地域	首都圏		900	624	138	62	39	184
			<b>100</b>	<b>69.3</b>	<b>15.3</b>	<b>6.9</b>	<b>4.3</b>	<b>20.4</b>
	京阪神圏		900	609	126	52	29	201
			<b>100</b>	<b>67.7</b>	<b>14.0</b>	<b>5.8</b>	<b>3.2</b>	<b>22.3</b>
年代	20代		300	157	71	39	18	74
			<b>100</b>	<b>52.3</b>	<b>23.7</b>	<b>13.0</b>	<b>6.0</b>	<b>24.7</b>
	30代		300	183	50	23	16	76
			<b>100</b>	<b>61.0</b>	<b>16.7</b>	<b>7.7</b>	<b>5.3</b>	<b>25.3</b>
	40代		300	197	46	19	16	80
			<b>100</b>	<b>65.7</b>	<b>15.3</b>	<b>6.3</b>	<b>5.3</b>	<b>26.7</b>
	50代		300	211	38	14	10	71
		<b>100</b>	<b>70.3</b>	<b>12.7</b>	<b>4.7</b>	<b>3.3</b>	<b>23.7</b>	
	60代		300	237	30	9	5	49
			<b>100</b>	<b>79.0</b>	<b>10.0</b>	<b>3.0</b>	<b>1.7</b>	<b>16.3</b>
	70代以上		300	248	29	10	3	35
			<b>100</b>	<b>82.7</b>	<b>9.7</b>	<b>3.3</b>	<b>1.0</b>	<b>11.7</b>

【15. シニア向き】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	587	301	124	102	903
			<b>100</b>	<b>32.6</b>	<b>16.7</b>	<b>6.9</b>	<b>5.7</b>	<b>50.2</b>
地域	首都圏		900	295	159	61	55	455
			<b>100</b>	<b>32.8</b>	<b>17.7</b>	<b>6.8</b>	<b>6.1</b>	<b>50.6</b>
	京阪神圏		900	292	142	63	47	448
			<b>100</b>	<b>32.4</b>	<b>15.8</b>	<b>7.0</b>	<b>5.2</b>	<b>49.8</b>
年代	20代		300	72	48	34	19	152
			<b>100</b>	<b>24.0</b>	<b>16.0</b>	<b>11.3</b>	<b>6.3</b>	<b>50.7</b>
	30代		300	57	43	24	17	180
			<b>100</b>	<b>19.0</b>	<b>14.3</b>	<b>8.0</b>	<b>5.7</b>	<b>60.0</b>
	40代		300	87	55	19	12	167
			<b>100</b>	<b>29.0</b>	<b>18.3</b>	<b>6.3</b>	<b>4.0</b>	<b>55.7</b>
	50代		300	107	41	17	13	153
		<b>100</b>	<b>35.7</b>	<b>13.7</b>	<b>5.7</b>	<b>4.3</b>	<b>51.0</b>	
	60代		300	126	56	18	21	130
			<b>100</b>	<b>42.0</b>	<b>18.7</b>	<b>6.0</b>	<b>7.0</b>	<b>43.3</b>
	70代以上		300	138	58	12	20	121
			<b>100</b>	<b>46.0</b>	<b>19.3</b>	<b>4.0</b>	<b>6.7</b>	<b>40.3</b>

【16. 若者向き】

		度数 横%	全 体	国産和牛	和牛以外の国産牛肉	アメリカ産牛肉	オーストラリア産牛肉	あてはまるものはない
全 体			1800	184	248	604	490	829
			<b>100</b>	<b>10.2</b>	<b>13.8</b>	<b>33.6</b>	<b>27.2</b>	<b>46.1</b>
地域	首都圏		900	96	113	322	259	402
			<b>100</b>	<b>10.7</b>	<b>12.6</b>	<b>35.8</b>	<b>28.8</b>	<b>44.7</b>
	京阪神圏		900	88	135	282	231	427
			<b>100</b>	<b>9.8</b>	<b>15.0</b>	<b>31.3</b>	<b>25.7</b>	<b>47.4</b>
年代	20代		300	46	48	79	49	138
			<b>100</b>	<b>15.3</b>	<b>16.0</b>	<b>26.3</b>	<b>16.3</b>	<b>46.0</b>
	30代		300	38	46	64	62	164
			<b>100</b>	<b>12.7</b>	<b>15.3</b>	<b>21.3</b>	<b>20.7</b>	<b>54.7</b>
	40代		300	32	44	88	84	153
			<b>100</b>	<b>10.7</b>	<b>14.7</b>	<b>29.3</b>	<b>28.0</b>	<b>51.0</b>
	50代		300	29	31	105	87	146
		<b>100</b>	<b>9.7</b>	<b>10.3</b>	<b>35.0</b>	<b>29.0</b>	<b>48.7</b>	
60代			300	19	32	137	110	118
			<b>100</b>	<b>6.3</b>	<b>10.7</b>	<b>45.7</b>	<b>36.7</b>	<b>39.3</b>
70代以上			300	20	47	131	98	110
			<b>100</b>	<b>6.7</b>	<b>15.7</b>	<b>43.7</b>	<b>32.7</b>	<b>36.7</b>

Q14 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、国産和牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

		度数 横%	全 体	4 倍を超える 価格でも国産 和牛肉を選ぶ	4 倍高まで なら国産和牛 肉を選ぶ	3 倍高まで なら国産和牛 肉を選ぶ	2 倍高まで なら国産和牛 肉を選ぶ	8 割高まで なら国産和牛 肉を選ぶ	5 割高まで なら国産和牛 肉を選ぶ	2 割高まで なら国産和牛 肉を選ぶ	同等の価格 なら国産和牛 肉を選ぶ	国産和牛肉 へのこだわり はない
全 体			1800 <b>100</b>	78 <b>4.3</b>	24 <b>1.3</b>	85 <b>4.7</b>	204 <b>11.3</b>	44 <b>2.4</b>	123 <b>6.8</b>	350 <b>19.4</b>	441 <b>24.5</b>	451 <b>25.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	37 <b>4.1</b>	11 <b>1.2</b>	41 <b>4.6</b>	106 <b>11.8</b>	20 <b>2.2</b>	53 <b>5.9</b>	179 <b>19.9</b>	225 <b>25.0</b>	228 <b>25.3</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	41 <b>4.6</b>	13 <b>1.4</b>	44 <b>4.9</b>	98 <b>10.9</b>	24 <b>2.7</b>	70 <b>7.8</b>	171 <b>19.0</b>	216 <b>24.0</b>	223 <b>24.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	7 <b>2.3</b>	15 <b>5.0</b>	37 <b>12.3</b>	8 <b>2.7</b>	13 <b>4.3</b>	42 <b>14.0</b>	61 <b>20.3</b>	95 <b>31.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	4 <b>1.3</b>	16 <b>5.3</b>	32 <b>10.7</b>	12 <b>4.0</b>	16 <b>5.3</b>	54 <b>18.0</b>	74 <b>24.7</b>	82 <b>27.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	4 <b>1.3</b>	11 <b>3.7</b>	33 <b>11.0</b>	8 <b>2.7</b>	17 <b>5.7</b>	45 <b>15.0</b>	90 <b>30.0</b>	82 <b>27.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	3 <b>1.0</b>	10 <b>3.3</b>	27 <b>9.0</b>	6 <b>2.0</b>	10 <b>3.3</b>	72 <b>24.0</b>	84 <b>28.0</b>	78 <b>26.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	2 <b>0.7</b>	13 <b>4.3</b>	30 <b>10.0</b>	4 <b>1.3</b>	36 <b>12.0</b>	65 <b>21.7</b>	76 <b>25.3</b>	66 <b>22.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	4 <b>1.3</b>	20 <b>6.7</b>	45 <b>15.0</b>	6 <b>2.0</b>	31 <b>10.3</b>	72 <b>24.0</b>	56 <b>18.7</b>	48 <b>16.0</b>

Q15 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、和牛以外の国産牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

		度数 横%	全 体	2 倍を超える 価格でも和牛 以外の国産牛 肉を選ぶ	2 倍高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	8 割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	6 割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	4 割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	2 割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	1 割高まで なら和牛以外 の国産牛肉を 選ぶ	同等の価格 なら和牛以外 の国産牛肉 を選ぶ	国産への こだわりは ない
全 体			1800 <b>100</b>	86 <b>4.8</b>	86 <b>4.8</b>	45 <b>2.5</b>	62 <b>3.4</b>	100 <b>5.6</b>	313 <b>17.4</b>	175 <b>9.7</b>	460 <b>25.6</b>	473 <b>26.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	44 <b>4.9</b>	46 <b>5.1</b>	16 <b>1.8</b>	35 <b>3.9</b>	48 <b>5.3</b>	157 <b>17.4</b>	77 <b>8.6</b>	242 <b>26.9</b>	235 <b>26.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	42 <b>4.7</b>	40 <b>4.4</b>	29 <b>3.2</b>	27 <b>3.0</b>	52 <b>5.8</b>	156 <b>17.3</b>	98 <b>10.9</b>	218 <b>24.2</b>	238 <b>26.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	13 <b>4.3</b>	16 <b>5.3</b>	12 <b>4.0</b>	12 <b>4.0</b>	37 <b>12.3</b>	26 <b>8.7</b>	66 <b>22.0</b>	96 <b>32.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	23 <b>7.7</b>	7 <b>2.3</b>	13 <b>4.3</b>	16 <b>5.3</b>	45 <b>15.0</b>	26 <b>8.7</b>	70 <b>23.3</b>	88 <b>29.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	15 <b>5.0</b>	6 <b>2.0</b>	10 <b>3.3</b>	17 <b>5.7</b>	36 <b>12.0</b>	27 <b>9.0</b>	93 <b>31.0</b>	87 <b>29.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	6 <b>2.0</b>	5 <b>1.7</b>	11 <b>3.7</b>	11 <b>3.7</b>	48 <b>16.0</b>	37 <b>12.3</b>	87 <b>29.0</b>	85 <b>28.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	11 <b>3.7</b>	4 <b>1.3</b>	11 <b>3.7</b>	20 <b>6.7</b>	70 <b>23.3</b>	25 <b>8.3</b>	82 <b>27.3</b>	67 <b>22.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	18 <b>6.0</b>	7 <b>2.3</b>	5 <b>1.7</b>	24 <b>8.0</b>	77 <b>25.7</b>	34 <b>11.3</b>	62 <b>20.7</b>	50 <b>16.7</b>

Q16 あなたがスーパー・生協・食肉専門店などで、普段買っている「(和牛を含む)国産牛肉の価格帯(100gあたりの税込価格)」をお知らせ下さい。

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	99円以下	100～149円	150～199円	200～249円	250～299円	300～349円	350～399円	400～449円	450～499円
全 体		1674 100	15 0.9	70 4.2	125 7.5	120 7.2	120 7.2	107 6.4	85 5.1	95 5.7	65 3.9
地域	首都圏	826 100	10 1.2	35 4.2	65 7.9	61 7.4	61 7.4	43 5.2	37 4.5	40 4.8	28 3.4
	京阪神圏	848 100	5 0.6	35 4.1	60 7.1	59 7.0	59 7.0	64 7.5	48 5.7	55 6.5	37 4.4
年代	20代	275 100	3 1.1	18 6.5	22 8.0	22 8.0	19 6.9	9 3.3	17 6.2	10 3.6	6 2.2
	30代	281 100	5 1.8	14 5.0	23 8.2	21 7.5	24 8.5	22 7.8	9 3.2	9 3.2	9 3.2
	40代	277 100	4 1.4	7 2.5	27 9.7	20 7.2	28 10.1	18 6.5	18 6.5	12 4.3	15 5.4
	50代	274 100	2 0.7	14 5.1	30 10.9	26 9.5	22 8.0	19 6.9	12 4.4	12 4.4	7 2.6
	60代	279 100	0 0.0	13 4.7	14 5.0	20 7.2	19 6.8	18 6.5	13 4.7	24 8.6	11 3.9
	70代以上	288 100	1 0.3	4 1.4	9 3.1	11 3.8	8 2.8	21 7.3	16 5.6	28 9.7	17 5.9

度数横%		全 体	500～549円	550～599円	600～649円	650～699円	700～749円	750～799円	800～849円	850～899円	900～949円
全 体		1674 100	70 4.2	45 2.7	54 3.2	27 1.6	18 1.1	9 0.5	35 2.1	15 0.9	9 0.5
地域	首都圏	826 100	28 3.4	13 1.6	30 3.6	11 1.3	7 0.8	6 0.7	16 1.9	7 0.8	1 0.1
	京阪神圏	848 100	42 5.0	32 3.8	24 2.8	16 1.9	11 1.3	3 0.4	19 2.2	8 0.9	8 0.9
年代	20代	275 100	11 4.0	7 2.5	7 2.5	6 2.2	4 1.5	1 0.4	4 1.5	0 0.0	2 0.7
	30代	281 100	10 3.6	8 2.8	4 1.4	2 0.7	2 0.7	0 0.0	5 1.8	5 1.8	2 0.7
	40代	277 100	9 3.2	4 1.4	6 2.2	5 1.8	0 0.0	0 0.0	3 1.1	2 0.7	0 0.0
	50代	274 100	8 2.9	5 1.8	9 3.3	2 0.7	3 1.1	1 0.4	5 1.8	2 0.7	1 0.4
	60代	279 100	15 5.4	8 2.9	12 4.3	3 1.1	5 1.8	3 1.1	8 2.9	3 1.1	2 0.7
	70代以上	288 100	17 5.9	13 4.5	16 5.6	9 3.1	4 1.4	4 1.4	10 3.5	3 1.0	2 0.7

度数横%		全 体	950～999円	1000～1099円	1100～1199円	1200～1299円	1300～1399円	1400～1499円	1500円以上	購入価格を覚えていない・(和牛を含む)国産牛肉は購入していない
全 体		1674 100	7 0.4	18 1.1	10 0.6	9 0.5	4 0.2	3 0.2	14 0.8	525 31.4
地域	首都圏	826 100	5 0.6	9 1.1	5 0.6	3 0.4	1 0.1	2 0.2	7 0.8	295 35.7
	京阪神圏	848 100	2 0.2	9 1.1	5 0.6	6 0.7	3 0.4	1 0.1	7 0.8	230 27.1
年代	20代	275 100	1 0.4	0 0.0	2 0.7	1 0.4	0 0.0	0 0.0	2 0.7	101 36.7
	30代	281 100	0 0.0	4 1.4	0 0.0	3 1.1	1 0.4	1 0.4	4 1.4	94 33.5
	40代	277 100	1 0.4	4 1.4	1 0.4	1 0.4	0 0.0	0 0.0	3 1.1	89 32.1
	50代	274 100	2 0.7	2 0.7	2 0.7	0 0.0	1 0.4	0 0.0	3 1.1	84 30.7
	60代	279 100	3 1.1	2 0.7	4 1.4	2 0.7	2 0.7	2 0.7	2 0.7	71 25.4
	70代以上	288 100	0 0.0	6 2.1	1 0.3	2 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	86 29.9

Q17 牛肉について伺います。下記の原産地の牛肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	514 <b>28.6</b>	425 <b>23.6</b>	591 <b>32.8</b>	60 <b>3.3</b>	210 <b>11.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	251 <b>27.9</b>	210 <b>23.3</b>	299 <b>33.2</b>	28 <b>3.1</b>	112 <b>12.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	263 <b>29.2</b>	215 <b>23.9</b>	292 <b>32.4</b>	32 <b>3.6</b>	98 <b>10.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	83 <b>27.7</b>	65 <b>21.7</b>	89 <b>29.7</b>	15 <b>5.0</b>	48 <b>16.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	73 <b>24.3</b>	80 <b>26.7</b>	99 <b>33.0</b>	5 <b>1.7</b>	43 <b>14.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	71 <b>23.7</b>	66 <b>22.0</b>	113 <b>37.7</b>	6 <b>2.0</b>	44 <b>14.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	80 <b>26.7</b>	71 <b>23.7</b>	113 <b>37.7</b>	12 <b>4.0</b>	24 <b>8.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	87 <b>29.0</b>	72 <b>24.0</b>	94 <b>31.3</b>	13 <b>4.3</b>	34 <b>11.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	120 <b>40.0</b>	71 <b>23.7</b>	83 <b>27.7</b>	9 <b>3.0</b>	17 <b>5.7</b>

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	209 <b>11.6</b>	562 <b>31.2</b>	701 <b>38.9</b>	96 <b>5.3</b>	232 <b>12.9</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	109 <b>12.1</b>	275 <b>30.6</b>	352 <b>39.1</b>	47 <b>5.2</b>	117 <b>13.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	100 <b>11.1</b>	287 <b>31.9</b>	349 <b>38.8</b>	49 <b>5.4</b>	115 <b>12.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	93 <b>31.0</b>	101 <b>33.7</b>	14 <b>4.7</b>	52 <b>17.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	85 <b>28.3</b>	111 <b>37.0</b>	14 <b>4.7</b>	49 <b>16.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	32 <b>10.7</b>	80 <b>26.7</b>	122 <b>40.7</b>	16 <b>5.3</b>	50 <b>16.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	82 <b>27.3</b>	139 <b>46.3</b>	22 <b>7.3</b>	28 <b>9.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	103 <b>34.3</b>	115 <b>38.3</b>	19 <b>6.3</b>	32 <b>10.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	119 <b>39.7</b>	113 <b>37.7</b>	11 <b>3.7</b>	21 <b>7.0</b>

【3. アメリカ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	30 <b>1.7</b>	220 <b>12.2</b>	908 <b>50.4</b>	361 <b>20.1</b>	281 <b>15.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	21 <b>2.3</b>	117 <b>13.0</b>	465 <b>51.7</b>	152 <b>16.9</b>	145 <b>16.1</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	9 <b>1.0</b>	103 <b>11.4</b>	443 <b>49.2</b>	209 <b>23.2</b>	136 <b>15.1</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	50 <b>16.7</b>	142 <b>47.3</b>	38 <b>12.7</b>	57 <b>19.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	38 <b>12.7</b>	140 <b>46.7</b>	57 <b>19.0</b>	57 <b>19.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	34 <b>11.3</b>	172 <b>57.3</b>	39 <b>13.0</b>	49 <b>16.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	29 <b>9.7</b>	168 <b>56.0</b>	64 <b>21.3</b>	37 <b>12.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	39 <b>13.0</b>	153 <b>51.0</b>	66 <b>22.0</b>	42 <b>14.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	30 <b>10.0</b>	133 <b>44.3</b>	97 <b>32.3</b>	39 <b>13.0</b>

【4. オーストラリア産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	26 <b>1.4</b>	234 <b>13.0</b>	952 <b>52.9</b>	314 <b>17.4</b>	274 <b>15.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	17 <b>1.9</b>	126 <b>14.0</b>	485 <b>53.9</b>	129 <b>14.3</b>	143 <b>15.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	9 <b>1.0</b>	108 <b>12.0</b>	467 <b>51.9</b>	185 <b>20.6</b>	131 <b>14.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	55 <b>18.3</b>	130 <b>43.3</b>	43 <b>14.3</b>	59 <b>19.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	46 <b>15.3</b>	148 <b>49.3</b>	49 <b>16.3</b>	53 <b>17.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	36 <b>12.0</b>	178 <b>59.3</b>	32 <b>10.7</b>	50 <b>16.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	29 <b>9.7</b>	178 <b>59.3</b>	58 <b>19.3</b>	33 <b>11.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	40 <b>13.3</b>	161 <b>53.7</b>	58 <b>19.3</b>	40 <b>13.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	28 <b>9.3</b>	157 <b>52.3</b>	74 <b>24.7</b>	39 <b>13.0</b>

【5. カナダ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	31 <b>1.7</b>	189 <b>10.5</b>	853 <b>47.4</b>	365 <b>20.3</b>	362 <b>20.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	20 <b>2.2</b>	101 <b>11.2</b>	443 <b>49.2</b>	147 <b>16.3</b>	189 <b>21.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	11 <b>1.2</b>	88 <b>9.8</b>	410 <b>45.6</b>	218 <b>24.2</b>	173 <b>19.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	41 <b>13.7</b>	123 <b>41.0</b>	51 <b>17.0</b>	67 <b>22.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	34 <b>11.3</b>	135 <b>45.0</b>	57 <b>19.0</b>	68 <b>22.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	35 <b>11.7</b>	158 <b>52.7</b>	43 <b>14.3</b>	59 <b>19.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	27 <b>9.0</b>	160 <b>53.3</b>	60 <b>20.0</b>	51 <b>17.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	31 <b>10.3</b>	141 <b>47.0</b>	70 <b>23.3</b>	58 <b>19.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	21 <b>7.0</b>	136 <b>45.3</b>	84 <b>28.0</b>	59 <b>19.7</b>

【6. ニュージーランド産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 <b>100</b>	35 <b>1.9</b>	180 <b>10.0</b>	849 <b>47.2</b>	363 <b>20.2</b>	373 <b>20.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	22 <b>2.4</b>	95 <b>10.6</b>	431 <b>47.9</b>	154 <b>17.1</b>	198 <b>22.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	13 <b>1.4</b>	85 <b>9.4</b>	418 <b>46.4</b>	209 <b>23.2</b>	175 <b>19.4</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	41 <b>13.7</b>	128 <b>42.7</b>	47 <b>15.7</b>	68 <b>22.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	34 <b>11.3</b>	133 <b>44.3</b>	58 <b>19.3</b>	70 <b>23.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	29 <b>9.7</b>	157 <b>52.3</b>	41 <b>13.7</b>	66 <b>22.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	25 <b>8.3</b>	156 <b>52.0</b>	61 <b>20.3</b>	54 <b>18.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	31 <b>10.3</b>	141 <b>47.0</b>	71 <b>23.7</b>	56 <b>18.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	20 <b>6.7</b>	134 <b>44.7</b>	85 <b>28.3</b>	59 <b>19.7</b>

【7. メキシコ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	26 1.4	121 6.7	548 30.4	644 35.8	461 25.6
地域	首都圏	900 100	15 1.7	63 7.0	289 32.1	292 32.4	241 26.8
	京阪神圏	900 100	11 1.2	58 6.4	259 28.8	352 39.1	220 24.4
年代	20代	300 100	15 5.0	39 13.0	96 32.0	77 25.7	73 24.3
	30代	300 100	4 1.3	23 7.7	98 32.7	103 34.3	72 24.0
	40代	300 100	5 1.7	19 6.3	107 35.7	90 30.0	79 26.3
	50代	300 100	2 0.7	9 3.0	104 34.7	110 36.7	75 25.0
	60代	300 100	0 0.0	16 5.3	82 27.3	125 41.7	77 25.7
	70代以上	300 100	0 0.0	15 5.0	61 20.3	139 46.3	85 28.3

【8. ウルグアイ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	29 1.6	103 5.7	527 29.3	645 35.8	496 27.6
地域	首都圏	900 100	20 2.2	50 5.6	278 30.9	286 31.8	266 29.6
	京阪神圏	900 100	9 1.0	53 5.9	249 27.7	359 39.9	230 25.6
年代	20代	300 100	15 5.0	29 9.7	103 34.3	75 25.0	78 26.0
	30代	300 100	4 1.3	19 6.3	92 30.7	100 33.3	85 28.3
	40代	300 100	7 2.3	16 5.3	101 33.7	91 30.3	85 28.3
	50代	300 100	2 0.7	11 3.7	96 32.0	112 37.3	79 26.3
	60代	300 100	1 0.3	15 5.0	76 25.3	126 42.0	82 27.3
	70代以上	300 100	0 0.0	13 4.3	59 19.7	141 47.0	87 29.0

【9. アルゼンチン産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	29 1.6	109 6.1	538 29.9	623 34.6	501 27.8
地域	首都圏	900 100	19 2.1	57 6.3	279 31.0	277 30.8	268 29.8
	京阪神圏	900 100	10 1.1	52 5.8	259 28.8	346 38.4	233 25.9
年代	20代	300 100	16 5.3	26 8.7	101 33.7	74 24.7	83 27.7
	30代	300 100	3 1.0	20 6.7	97 32.3	97 32.3	83 27.7
	40代	300 100	5 1.7	18 6.0	101 33.7	87 29.0	89 29.7
	50代	300 100	3 1.0	10 3.3	98 32.7	107 35.7	82 27.3
	60代	300 100	2 0.7	18 6.0	78 26.0	119 39.7	83 27.7
	70代以上	300 100	0 0.0	17 5.7	63 21.0	139 46.3	81 27.0

Q18 豚肉について伺います。下記の原産地の豚肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 <b>100</b>	531 <b>29.5</b>	509 <b>28.3</b>	539 <b>29.9</b>	38 <b>2.1</b>	183 <b>10.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	277 <b>30.8</b>	260 <b>28.9</b>	262 <b>29.1</b>	13 <b>1.4</b>	88 <b>9.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	254 <b>28.2</b>	249 <b>27.7</b>	277 <b>30.8</b>	25 <b>2.8</b>	95 <b>10.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	85 <b>28.3</b>	68 <b>22.7</b>	89 <b>29.7</b>	8 <b>2.7</b>	50 <b>16.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	71 <b>23.7</b>	88 <b>29.3</b>	93 <b>31.0</b>	9 <b>3.0</b>	39 <b>13.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	64 <b>21.3</b>	78 <b>26.0</b>	115 <b>38.3</b>	4 <b>1.3</b>	39 <b>13.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	88 <b>29.3</b>	83 <b>27.7</b>	107 <b>35.7</b>	6 <b>2.0</b>	16 <b>5.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	90 <b>30.0</b>	94 <b>31.3</b>	84 <b>28.0</b>	6 <b>2.0</b>	26 <b>8.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	133 <b>44.3</b>	98 <b>32.7</b>	51 <b>17.0</b>	5 <b>1.7</b>	13 <b>4.3</b>

【2. アメリカ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 <b>100</b>	37 <b>2.1</b>	278 <b>15.4</b>	799 <b>44.4</b>	391 <b>21.7</b>	295 <b>16.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	23 <b>2.6</b>	144 <b>16.0</b>	424 <b>47.1</b>	163 <b>18.1</b>	146 <b>16.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	14 <b>1.6</b>	134 <b>14.9</b>	375 <b>41.7</b>	228 <b>25.3</b>	149 <b>16.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	57 <b>19.0</b>	117 <b>39.0</b>	48 <b>16.0</b>	60 <b>20.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	50 <b>16.7</b>	131 <b>43.7</b>	62 <b>20.7</b>	51 <b>17.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	47 <b>15.7</b>	156 <b>52.0</b>	37 <b>12.3</b>	52 <b>17.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	34 <b>11.3</b>	149 <b>49.7</b>	74 <b>24.7</b>	41 <b>13.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	52 <b>17.3</b>	131 <b>43.7</b>	73 <b>24.3</b>	43 <b>14.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	38 <b>12.7</b>	115 <b>38.3</b>	97 <b>32.3</b>	48 <b>16.0</b>

【3. カナダ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 <b>100</b>	26 <b>1.4</b>	257 <b>14.3</b>	812 <b>45.1</b>	374 <b>20.8</b>	331 <b>18.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	18 <b>2.0</b>	138 <b>15.3</b>	431 <b>47.9</b>	153 <b>17.0</b>	160 <b>17.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	8 <b>0.9</b>	119 <b>13.2</b>	381 <b>42.3</b>	221 <b>24.6</b>	171 <b>19.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	54 <b>18.0</b>	122 <b>40.7</b>	48 <b>16.0</b>	65 <b>21.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	44 <b>14.7</b>	140 <b>46.7</b>	54 <b>18.0</b>	57 <b>19.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	44 <b>14.7</b>	154 <b>51.3</b>	39 <b>13.0</b>	57 <b>19.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	31 <b>10.3</b>	155 <b>51.7</b>	67 <b>22.3</b>	45 <b>15.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	0 <b>0.0</b>	48 <b>16.0</b>	127 <b>42.3</b>	74 <b>24.7</b>	51 <b>17.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	36 <b>12.0</b>	114 <b>38.0</b>	92 <b>30.7</b>	56 <b>18.7</b>

【4. スペイン産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	30 1.7	220 12.2	701 38.9	454 25.2	395 21.9
地域	首都圏	900 100	20 2.2	113 12.6	382 42.4	188 20.9	197 21.9
	京阪神圏	900 100	10 1.1	107 11.9	319 35.4	266 29.6	198 22.0
年代	20代	300 100	14 4.7	50 16.7	112 37.3	53 17.7	71 23.7
	30代	300 100	3 1.0	42 14.0	125 41.7	66 22.0	64 21.3
	40代	300 100	5 1.7	42 14.0	133 44.3	51 17.0	69 23.0
	50代	300 100	2 0.7	27 9.0	140 46.7	81 27.0	50 16.7
	60代	300 100	2 0.7	36 12.0	102 34.0	93 31.0	67 22.3
	70代以上	300 100	4 1.3	23 7.7	89 29.7	110 36.7	74 24.7

【5. メキシコ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	30 1.7	153 8.5	588 32.7	574 31.9	455 25.3
地域	首都圏	900 100	19 2.1	83 9.2	311 34.6	254 28.2	233 25.9
	京阪神圏	900 100	11 1.2	70 7.8	277 30.8	320 35.6	222 24.7
年代	20代	300 100	19 6.3	39 13.0	100 33.3	63 21.0	79 26.3
	30代	300 100	2 0.7	30 10.0	108 36.0	92 30.7	68 22.7
	40代	300 100	5 1.7	28 9.3	117 39.0	69 23.0	81 27.0
	50代	300 100	3 1.0	16 5.3	111 37.0	106 35.3	64 21.3
	60代	300 100	0 0.0	23 7.7	89 29.7	110 36.7	78 26.0
	70代以上	300 100	1 0.3	17 5.7	63 21.0	134 44.7	85 28.3

【6. チリ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	26 1.4	129 7.2	560 31.1	603 33.5	482 26.8
地域	首都圏	900 100	17 1.9	73 8.1	299 33.2	261 29.0	250 27.8
	京阪神圏	900 100	9 1.0	56 6.2	261 29.0	342 38.0	232 25.8
年代	20代	300 100	13 4.3	37 12.3	103 34.3	67 22.3	80 26.7
	30代	300 100	3 1.0	22 7.3	103 34.3	95 31.7	77 25.7
	40代	300 100	7 2.3	22 7.3	110 36.7	74 24.7	87 29.0
	50代	300 100	2 0.7	12 4.0	106 35.3	109 36.3	71 23.7
	60代	300 100	0 0.0	21 7.0	82 27.3	113 37.7	84 28.0
	70代以上	300 100	1 0.3	15 5.0	56 18.7	145 48.3	83 27.7

【7. デンマーク産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	29	178	606	515	472
		<b>100</b>	<b>1.6</b>	<b>9.9</b>	<b>33.7</b>	<b>28.6</b>	<b>26.2</b>
地域	首都圏	900	18	101	315	219	247
		<b>100</b>	<b>2.0</b>	<b>11.2</b>	<b>35.0</b>	<b>24.3</b>	<b>27.4</b>
	京阪神圏	900	11	77	291	296	225
		<b>100</b>	<b>1.2</b>	<b>8.6</b>	<b>32.3</b>	<b>32.9</b>	<b>25.0</b>
年代	20代	300	13	39	105	65	78
		<b>100</b>	<b>4.3</b>	<b>13.0</b>	<b>35.0</b>	<b>21.7</b>	<b>26.0</b>
	30代	300	3	31	105	83	78
		<b>100</b>	<b>1.0</b>	<b>10.3</b>	<b>35.0</b>	<b>27.7</b>	<b>26.0</b>
	40代	300	7	31	115	62	85
		<b>100</b>	<b>2.3</b>	<b>10.3</b>	<b>38.3</b>	<b>20.7</b>	<b>28.3</b>
	50代	300	4	20	110	91	75
		<b>100</b>	<b>1.3</b>	<b>6.7</b>	<b>36.7</b>	<b>30.3</b>	<b>25.0</b>
	60代	300	0	33	90	99	78
		<b>100</b>	<b>0.0</b>	<b>11.0</b>	<b>30.0</b>	<b>33.0</b>	<b>26.0</b>
	70代以上	300	2	24	81	115	78
		<b>100</b>	<b>0.7</b>	<b>8.0</b>	<b>27.0</b>	<b>38.3</b>	<b>26.0</b>

Q19 鶏肉について伺います。下記の原産地の鶏肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	561 31.2	479 26.6	526 29.2	56 3.1	178 9.9
地域	首都圏	900 100	280 31.1	252 28.0	263 29.2	20 2.2	85 9.4
	京阪神圏	900 100	281 31.2	227 25.2	263 29.2	36 4.0	93 10.3
年代	20代	300 100	91 30.3	67 22.3	86 28.7	11 3.7	45 15.0
	30代	300 100	78 26.0	90 30.0	81 27.0	10 3.3	41 13.7
	40代	300 100	73 24.3	65 21.7	119 39.7	5 1.7	38 12.7
	50代	300 100	93 31.0	79 26.3	108 36.0	4 1.3	16 5.3
	60代	300 100	95 31.7	88 29.3	78 26.0	13 4.3	26 8.7
	70代以上	300 100	131 43.7	90 30.0	54 18.0	13 4.3	12 4.0

【2. アメリカ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	28 1.6	229 12.7	704 39.1	504 28.0	335 18.6
地域	首都圏	900 100	17 1.9	131 14.6	364 40.4	222 24.7	166 18.4
	京阪神圏	900 100	11 1.2	98 10.9	340 37.8	282 31.3	169 18.8
年代	20代	300 100	15 5.0	50 16.7	117 39.0	56 18.7	62 20.7
	30代	300 100	2 0.7	42 14.0	115 38.3	82 27.3	59 19.7
	40代	300 100	8 2.7	35 11.7	136 45.3	66 22.0	55 18.3
	50代	300 100	3 1.0	30 10.0	126 42.0	90 30.0	51 17.0
	60代	300 100	0 0.0	45 15.0	110 36.7	92 30.7	53 17.7
	70代以上	300 100	0 0.0	27 9.0	100 33.3	118 39.3	55 18.3

【3. ブラジル産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	27 1.5	156 8.7	640 35.6	626 34.8	351 19.5
地域	首都圏	900 100	16 1.8	90 10.0	340 37.8	278 30.9	176 19.6
	京阪神圏	900 100	11 1.2	66 7.3	300 33.3	348 38.7	175 19.4
年代	20代	300 100	15 5.0	33 11.0	108 36.0	80 26.7	64 21.3
	30代	300 100	5 1.7	26 8.7	116 38.7	92 30.7	61 20.3
	40代	300 100	5 1.7	27 9.0	121 40.3	91 30.3	56 18.7
	50代	300 100	2 0.7	17 5.7	120 40.0	111 37.0	50 16.7
	60代	300 100	0 0.0	28 9.3	101 33.7	108 36.0	63 21.0
	70代以上	300 100	0 0.0	25 8.3	74 24.7	144 48.0	57 19.0

【4. タイ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の原産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800	24	137	566	684	389
		<b>100</b>	<b>1.3</b>	<b>7.6</b>	<b>31.4</b>	<b>38.0</b>	<b>21.6</b>
地域	首都圏	900	15	78	311	307	189
		<b>100</b>	<b>1.7</b>	<b>8.7</b>	<b>34.6</b>	<b>34.1</b>	<b>21.0</b>
	京阪神圏	900	9	59	255	377	200
		<b>100</b>	<b>1.0</b>	<b>6.6</b>	<b>28.3</b>	<b>41.9</b>	<b>22.2</b>
年代	20代	300	13	35	93	93	66
		<b>100</b>	<b>4.3</b>	<b>11.7</b>	<b>31.0</b>	<b>31.0</b>	<b>22.0</b>
	30代	300	4	26	97	101	72
		<b>100</b>	<b>1.3</b>	<b>8.7</b>	<b>32.3</b>	<b>33.7</b>	<b>24.0</b>
	40代	300	5	23	110	100	62
		<b>100</b>	<b>1.7</b>	<b>7.7</b>	<b>36.7</b>	<b>33.3</b>	<b>20.7</b>
	50代	300	2	14	108	119	57
	<b>100</b>	<b>0.7</b>	<b>4.7</b>	<b>36.0</b>	<b>39.7</b>	<b>19.0</b>	
60代	300	0	21	90	115	74	
	<b>100</b>	<b>0.0</b>	<b>7.0</b>	<b>30.0</b>	<b>38.3</b>	<b>24.7</b>	
70代以上	300	0	18	68	156	58	
	<b>100</b>	<b>0.0</b>	<b>6.0</b>	<b>22.7</b>	<b>52.0</b>	<b>19.3</b>	

Q20 あなたは下記の各食品の安全性について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 米】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	89 4.9	157 8.7	522 29.0	482 26.8	550 30.6
地域	首都圏		900 100	45 5.0	67 7.4	260 28.9	239 26.6	289 32.1
	京阪神圏		900 100	44 4.9	90 10.0	262 29.1	243 27.0	261 29.0
年代	20代		300 100	23 7.7	33 11.0	92 30.7	68 22.7	84 28.0
	30代		300 100	18 6.0	24 8.0	97 32.3	83 27.7	78 26.0
	40代		300 100	18 6.0	36 12.0	116 38.7	56 18.7	74 24.7
	50代		300 100	15 5.0	21 7.0	89 29.7	95 31.7	80 26.7
	60代		300 100	7 2.3	20 6.7	79 26.3	86 28.7	108 36.0
	70代以上		300 100	8 2.7	23 7.7	49 16.3	94 31.3	126 42.0

【2. パン】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	82 4.6	233 12.9	605 33.6	434 24.1	446 24.8
地域	首都圏		900 100	43 4.8	111 12.3	303 33.7	209 23.2	234 26.0
	京阪神圏		900 100	39 4.3	122 13.6	302 33.6	225 25.0	212 23.6
年代	20代		300 100	18 6.0	50 16.7	104 34.7	60 20.0	68 22.7
	30代		300 100	12 4.0	45 15.0	109 36.3	66 22.0	68 22.7
	40代		300 100	13 4.3	36 12.0	127 42.3	58 19.3	66 22.0
	50代		300 100	15 5.0	44 14.7	104 34.7	77 25.7	60 20.0
	60代		300 100	11 3.7	31 10.3	97 32.3	81 27.0	80 26.7
	70代以上		300 100	13 4.3	27 9.0	64 21.3	92 30.7	104 34.7

【3. 野菜】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	69 3.8	234 13.0	622 34.6	457 25.4	418 23.2
地域	首都圏		900 100	33 3.7	114 12.7	313 34.8	226 25.1	214 23.8
	京阪神圏		900 100	36 4.0	120 13.3	309 34.3	231 25.7	204 22.7
年代	20代		300 100	22 7.3	41 13.7	111 37.0	61 20.3	65 21.7
	30代		300 100	11 3.7	40 13.3	114 38.0	74 24.7	61 20.3
	40代		300 100	16 5.3	43 14.3	119 39.7	60 20.0	62 20.7
	50代		300 100	11 3.7	38 12.7	115 38.3	81 27.0	55 18.3
	60代		300 100	4 1.3	36 12.0	97 32.3	88 29.3	75 25.0
	70代以上		300 100	5 1.7	36 12.0	66 22.0	93 31.0	100 33.3

【4. 果物】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	59 <b>3.3</b>	222 <b>12.3</b>	652 <b>36.2</b>	445 <b>24.7</b>	422 <b>23.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	29 <b>3.2</b>	112 <b>12.4</b>	324 <b>36.0</b>	218 <b>24.2</b>	217 <b>24.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	30 <b>3.3</b>	110 <b>12.2</b>	328 <b>36.4</b>	227 <b>25.2</b>	205 <b>22.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	41 <b>13.7</b>	110 <b>36.7</b>	67 <b>22.3</b>	63 <b>21.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	37 <b>12.3</b>	126 <b>42.0</b>	67 <b>22.3</b>	62 <b>20.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	41 <b>13.7</b>	134 <b>44.7</b>	53 <b>17.7</b>	62 <b>20.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	39 <b>13.0</b>	116 <b>38.7</b>	72 <b>24.0</b>	60 <b>20.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	28 <b>9.3</b>	104 <b>34.7</b>	87 <b>29.0</b>	77 <b>25.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	36 <b>12.0</b>	62 <b>20.7</b>	99 <b>33.0</b>	98 <b>32.7</b>

【5. 魚介】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	78 <b>4.3</b>	304 <b>16.9</b>	639 <b>35.5</b>	419 <b>23.3</b>	360 <b>20.0</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	39 <b>4.3</b>	163 <b>18.1</b>	318 <b>35.3</b>	195 <b>21.7</b>	185 <b>20.6</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	39 <b>4.3</b>	141 <b>15.7</b>	321 <b>35.7</b>	224 <b>24.9</b>	175 <b>19.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	58 <b>19.3</b>	104 <b>34.7</b>	55 <b>18.3</b>	57 <b>19.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	48 <b>16.0</b>	121 <b>40.3</b>	64 <b>21.3</b>	55 <b>18.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	51 <b>17.0</b>	124 <b>41.3</b>	52 <b>17.3</b>	56 <b>18.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	54 <b>18.0</b>	112 <b>37.3</b>	80 <b>26.7</b>	45 <b>15.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	46 <b>15.3</b>	107 <b>35.7</b>	77 <b>25.7</b>	64 <b>21.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	47 <b>15.7</b>	71 <b>23.7</b>	91 <b>30.3</b>	83 <b>27.7</b>

【6. 牛肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	77 <b>4.3</b>	262 <b>14.6</b>	694 <b>38.6</b>	415 <b>23.1</b>	352 <b>19.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	38 <b>4.2</b>	131 <b>14.6</b>	340 <b>37.8</b>	205 <b>22.8</b>	186 <b>20.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	39 <b>4.3</b>	131 <b>14.6</b>	354 <b>39.3</b>	210 <b>23.3</b>	166 <b>18.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	59 <b>19.7</b>	104 <b>34.7</b>	61 <b>20.3</b>	57 <b>19.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	37 <b>12.3</b>	129 <b>43.0</b>	63 <b>21.0</b>	57 <b>19.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	48 <b>16.0</b>	132 <b>44.0</b>	52 <b>17.3</b>	51 <b>17.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	46 <b>15.3</b>	125 <b>41.7</b>	64 <b>21.3</b>	51 <b>17.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	37 <b>12.3</b>	113 <b>37.7</b>	82 <b>27.3</b>	60 <b>20.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	35 <b>11.7</b>	91 <b>30.3</b>	93 <b>31.0</b>	76 <b>25.3</b>

【7. 豚肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	73 4.1	260 14.4	683 37.9	423 23.5	361 20.1
地域	首都圏		900 100	31 3.4	133 14.8	329 36.6	215 23.9	192 21.3
	京阪神圏		900 100	42 4.7	127 14.1	354 39.3	208 23.1	169 18.8
年代	20代		300 100	20 6.7	58 19.3	109 36.3	56 18.7	57 19.0
	30代		300 100	13 4.3	38 12.7	122 40.7	68 22.7	59 19.7
	40代		300 100	15 5.0	48 16.0	129 43.0	54 18.0	54 18.0
	50代		300 100	8 2.7	51 17.0	123 41.0	66 22.0	52 17.3
	60代		300 100	10 3.3	35 11.7	112 37.3	85 28.3	58 19.3
	70代以上		300 100	7 2.3	30 10.0	88 29.3	94 31.3	81 27.0

【8. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	77 4.3	262 14.6	685 38.1	419 23.3	357 19.8
地域	首都圏		900 100	37 4.1	132 14.7	329 36.6	213 23.7	189 21.0
	京阪神圏		900 100	40 4.4	130 14.4	356 39.6	206 22.9	168 18.7
年代	20代		300 100	20 6.7	55 18.3	111 37.0	57 19.0	57 19.0
	30代		300 100	16 5.3	37 12.3	131 43.7	57 19.0	59 19.7
	40代		300 100	17 5.7	43 14.3	125 41.7	60 20.0	55 18.3
	50代		300 100	9 3.0	49 16.3	122 40.7	72 24.0	48 16.0
	60代		300 100	8 2.7	41 13.7	113 37.7	80 26.7	58 19.3
	70代以上		300 100	7 2.3	37 12.3	83 27.7	93 31.0	80 26.7

【9. 卵】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	74 4.1	216 12.0	618 34.3	461 25.6	431 23.9
地域	首都圏		900 100	27 3.0	113 12.6	297 33.0	243 27.0	220 24.4
	京阪神圏		900 100	47 5.2	103 11.4	321 35.7	218 24.2	211 23.4
年代	20代		300 100	22 7.3	48 16.0	109 36.3	58 19.3	63 21.0
	30代		300 100	12 4.0	34 11.3	117 39.0	71 23.7	66 22.0
	40代		300 100	16 5.3	38 12.7	119 39.7	63 21.0	64 21.3
	50代		300 100	10 3.3	40 13.3	112 37.3	78 26.0	60 20.0
	60代		300 100	9 3.0	23 7.7	96 32.0	93 31.0	79 26.3
	70代以上		300 100	5 1.7	33 11.0	65 21.7	98 32.7	99 33.0

【10. 牛乳】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	71 3.9	184 10.2	645 35.8	459 25.5	441 24.5
地域	首都圏		900 100	32 3.6	88 9.8	321 35.7	233 25.9	226 25.1
	京阪神圏		900 100	39 4.3	96 10.7	324 36.0	226 25.1	215 23.9
年代	20代		300 100	21 7.0	39 13.0	112 37.3	67 22.3	61 20.3
	30代		300 100	8 2.7	30 10.0	117 39.0	74 24.7	71 23.7
	40代		300 100	15 5.0	32 10.7	130 43.3	54 18.0	69 23.0
	50代		300 100	12 4.0	30 10.0	107 35.7	83 27.7	68 22.7
	60代		300 100	9 3.0	25 8.3	105 35.0	87 29.0	74 24.7
	70代以上		300 100	6 2.0	28 9.3	74 24.7	94 31.3	98 32.7

【11. 食肉加工品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	141 7.8	326 18.1	679 37.7	335 18.6	319 17.7
地域	首都圏		900 100	70 7.8	159 17.7	330 36.7	174 19.3	167 18.6
	京阪神圏		900 100	71 7.9	167 18.6	349 38.8	161 17.9	152 16.9
年代	20代		300 100	27 9.0	49 16.3	105 35.0	60 20.0	59 19.7
	30代		300 100	23 7.7	47 15.7	118 39.3	54 18.0	58 19.3
	40代		300 100	26 8.7	52 17.3	136 45.3	39 13.0	47 15.7
	50代		300 100	27 9.0	61 20.3	114 38.0	53 17.7	45 15.0
	60代		300 100	23 7.7	58 19.3	109 36.3	61 20.3	49 16.3
	70代以上		300 100	15 5.0	59 19.7	97 32.3	68 22.7	61 20.3

【12. 乳製品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	78 4.3	190 10.6	712 39.6	439 24.4	381 21.2
地域	首都圏		900 100	32 3.6	98 10.9	347 38.6	229 25.4	194 21.6
	京阪神圏		900 100	46 5.1	92 10.2	365 40.6	210 23.3	187 20.8
年代	20代		300 100	23 7.7	41 13.7	111 37.0	63 21.0	62 20.7
	30代		300 100	7 2.3	28 9.3	141 47.0	64 21.3	60 20.0
	40代		300 100	16 5.3	38 12.7	139 46.3	50 16.7	57 19.0
	50代		300 100	12 4.0	31 10.3	123 41.0	80 26.7	54 18.0
	60代		300 100	12 4.0	24 8.0	110 36.7	93 31.0	61 20.3
	70代以上		300 100	8 2.7	28 9.3	88 29.3	89 29.7	87 29.0

【13. 大豆ミート食品類

(ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等)】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	101 5.6	266 14.8	726 40.3	371 20.6	336 18.7
地域	首都圏	900 100	48 5.3	126 14.0	349 38.8	205 22.8	172 19.1
	京阪神圏	900 100	53 5.9	140 15.6	377 41.9	166 18.4	164 18.2
年代	20代	300 100	20 6.7	41 13.7	107 35.7	68 22.7	64 21.3
	30代	300 100	12 4.0	42 14.0	126 42.0	63 21.0	57 19.0
	40代	300 100	22 7.3	48 16.0	128 42.7	45 15.0	57 19.0
	50代	300 100	23 7.7	38 12.7	130 43.3	64 21.3	45 15.0
	60代	300 100	12 4.0	39 13.0	130 43.3	64 21.3	55 18.3
	70代以上	300 100	12 4.0	58 19.3	105 35.0	67 22.3	58 19.3

【14. 冷凍食品】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	103 5.7	260 14.4	698 38.8	392 21.8	347 19.3
地域	首都圏	900 100	49 5.4	125 13.9	331 36.8	212 23.6	183 20.3
	京阪神圏	900 100	54 6.0	135 15.0	367 40.8	180 20.0	164 18.2
年代	20代	300 100	21 7.0	47 15.7	113 37.7	56 18.7	63 21.0
	30代	300 100	18 6.0	30 10.0	130 43.3	58 19.3	64 21.3
	40代	300 100	18 6.0	49 16.3	128 42.7	53 17.7	52 17.3
	50代	300 100	18 6.0	44 14.7	126 42.0	66 22.0	46 15.3
	60代	300 100	15 5.0	39 13.0	115 38.3	77 25.7	54 18.0
	70代以上	300 100	13 4.3	51 17.0	86 28.7	82 27.3	68 22.7

【15. インスタント麺 (カップ麺・袋麺等)】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	152 8.4	323 17.9	667 37.1	323 17.9	335 18.6
地域	首都圏	900 100	82 9.1	143 15.9	336 37.3	161 17.9	178 19.8
	京阪神圏	900 100	70 7.8	180 20.0	331 36.8	162 18.0	157 17.4
年代	20代	300 100	26 8.7	58 19.3	101 33.7	58 19.3	57 19.0
	30代	300 100	25 8.3	46 15.3	119 39.7	51 17.0	59 19.7
	40代	300 100	23 7.7	57 19.0	126 42.0	44 14.7	50 16.7
	50代	300 100	35 11.7	49 16.3	119 39.7	50 16.7	47 15.7
	60代	300 100	21 7.0	53 17.7	114 38.0	59 19.7	53 17.7
	70代以上	300 100	22 7.3	60 20.0	88 29.3	61 20.3	69 23.0

【16. 弁当・惣菜類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	124 <b>6.9</b>	310 <b>17.2</b>	721 <b>40.1</b>	336 <b>18.7</b>	309 <b>17.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	61 <b>6.8</b>	144 <b>16.0</b>	355 <b>39.4</b>	173 <b>19.2</b>	167 <b>18.6</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	63 <b>7.0</b>	166 <b>18.4</b>	366 <b>40.7</b>	163 <b>18.1</b>	142 <b>15.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	53 <b>17.7</b>	109 <b>36.3</b>	56 <b>18.7</b>	58 <b>19.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	47 <b>15.7</b>	125 <b>41.7</b>	53 <b>17.7</b>	55 <b>18.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	52 <b>17.3</b>	129 <b>43.0</b>	47 <b>15.7</b>	47 <b>15.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	60 <b>20.0</b>	127 <b>42.3</b>	51 <b>17.0</b>	41 <b>13.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	46 <b>15.3</b>	128 <b>42.7</b>	63 <b>21.0</b>	49 <b>16.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	52 <b>17.3</b>	103 <b>34.3</b>	66 <b>22.0</b>	59 <b>19.7</b>

【17. ファストフード】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	165 <b>9.2</b>	370 <b>20.6</b>	676 <b>37.6</b>	312 <b>17.3</b>	277 <b>15.4</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	75 <b>8.3</b>	180 <b>20.0</b>	334 <b>37.1</b>	169 <b>18.8</b>	142 <b>15.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	90 <b>10.0</b>	190 <b>21.1</b>	342 <b>38.0</b>	143 <b>15.9</b>	135 <b>15.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	52 <b>17.3</b>	118 <b>39.3</b>	49 <b>16.3</b>	52 <b>17.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	54 <b>18.0</b>	118 <b>39.3</b>	48 <b>16.0</b>	52 <b>17.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	60 <b>20.0</b>	127 <b>42.3</b>	42 <b>14.0</b>	44 <b>14.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	67 <b>22.3</b>	118 <b>39.3</b>	46 <b>15.3</b>	39 <b>13.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	66 <b>22.0</b>	106 <b>35.3</b>	62 <b>20.7</b>	42 <b>14.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	71 <b>23.7</b>	89 <b>29.7</b>	65 <b>21.7</b>	48 <b>16.0</b>

【18. 菓子類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 <b>100</b>	102 <b>5.7</b>	285 <b>15.8</b>	698 <b>38.8</b>	367 <b>20.4</b>	348 <b>19.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	44 <b>4.9</b>	134 <b>14.9</b>	355 <b>39.4</b>	186 <b>20.7</b>	181 <b>20.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	58 <b>6.4</b>	151 <b>16.8</b>	343 <b>38.1</b>	181 <b>20.1</b>	167 <b>18.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	54 <b>18.0</b>	110 <b>36.7</b>	52 <b>17.3</b>	59 <b>19.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	46 <b>15.3</b>	123 <b>41.0</b>	56 <b>18.7</b>	58 <b>19.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	53 <b>17.7</b>	126 <b>42.0</b>	50 <b>16.7</b>	51 <b>17.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	54 <b>18.0</b>	122 <b>40.7</b>	57 <b>19.0</b>	48 <b>16.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	40 <b>13.3</b>	119 <b>39.7</b>	72 <b>24.0</b>	58 <b>19.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	38 <b>12.7</b>	98 <b>32.7</b>	80 <b>26.7</b>	74 <b>24.7</b>

Q21 次にあげる食肉等の安全性の問題について、あなたはどの程度関心がありますか。それぞれの事項について、最もあてはまるものを1つお選びください。

【1. 食肉中の残留抗生物質】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	181 <b>10.1</b>	518 <b>28.8</b>	604 <b>33.6</b>	315 <b>17.5</b>	182 <b>10.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	90 <b>10.0</b>	266 <b>29.6</b>	299 <b>33.2</b>	153 <b>17.0</b>	92 <b>10.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	91 <b>10.1</b>	252 <b>28.0</b>	305 <b>33.9</b>	162 <b>18.0</b>	90 <b>10.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	67 <b>22.3</b>	99 <b>33.0</b>	54 <b>18.0</b>	49 <b>16.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	69 <b>23.0</b>	106 <b>35.3</b>	65 <b>21.7</b>	45 <b>15.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	75 <b>25.0</b>	124 <b>41.3</b>	40 <b>13.3</b>	36 <b>12.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	83 <b>27.7</b>	113 <b>37.7</b>	51 <b>17.0</b>	23 <b>7.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	101 <b>33.7</b>	103 <b>34.3</b>	49 <b>16.3</b>	17 <b>5.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	50 <b>16.7</b>	123 <b>41.0</b>	59 <b>19.7</b>	56 <b>18.7</b>	12 <b>4.0</b>

【2. 食肉中の残留動物薬】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	188 <b>10.4</b>	511 <b>28.4</b>	628 <b>34.9</b>	295 <b>16.4</b>	178 <b>9.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	94 <b>10.4</b>	256 <b>28.4</b>	315 <b>35.0</b>	143 <b>15.9</b>	92 <b>10.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	94 <b>10.4</b>	255 <b>28.3</b>	313 <b>34.8</b>	152 <b>16.9</b>	86 <b>9.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	73 <b>24.3</b>	114 <b>38.0</b>	45 <b>15.0</b>	43 <b>14.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	58 <b>19.3</b>	118 <b>39.3</b>	53 <b>17.7</b>	49 <b>16.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	75 <b>25.0</b>	113 <b>37.7</b>	44 <b>14.7</b>	39 <b>13.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	86 <b>28.7</b>	106 <b>35.3</b>	55 <b>18.3</b>	24 <b>8.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	103 <b>34.3</b>	112 <b>37.3</b>	44 <b>14.7</b>	12 <b>4.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	116 <b>38.7</b>	65 <b>21.7</b>	54 <b>18.0</b>	11 <b>3.7</b>

【3. 遺伝子組換え飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	222 <b>12.3</b>	536 <b>29.8</b>	605 <b>33.6</b>	271 <b>15.1</b>	166 <b>9.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	121 <b>13.4</b>	274 <b>30.4</b>	288 <b>32.0</b>	133 <b>14.8</b>	84 <b>9.3</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	101 <b>11.2</b>	262 <b>29.1</b>	317 <b>35.2</b>	138 <b>15.3</b>	82 <b>9.1</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	78 <b>26.0</b>	102 <b>34.0</b>	47 <b>15.7</b>	43 <b>14.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	71 <b>23.7</b>	111 <b>37.0</b>	54 <b>18.0</b>	43 <b>14.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	80 <b>26.7</b>	120 <b>40.0</b>	38 <b>12.7</b>	35 <b>11.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	38 <b>12.7</b>	88 <b>29.3</b>	107 <b>35.7</b>	43 <b>14.3</b>	24 <b>8.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	43 <b>14.3</b>	107 <b>35.7</b>	96 <b>32.0</b>	44 <b>14.7</b>	10 <b>3.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	63 <b>21.0</b>	112 <b>37.3</b>	69 <b>23.0</b>	45 <b>15.0</b>	11 <b>3.7</b>

【4. ゲノム編集飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	197 10.9	510 28.3	644 35.8	276 15.3	173 9.6
地域	首都圏		900 100	99 11.0	261 29.0	313 34.8	139 15.4	88 9.8
	京阪神圏		900 100	98 10.9	249 27.7	331 36.8	137 15.2	85 9.4
年代	20代		300 100	32 10.7	68 22.7	110 36.7	49 16.3	41 13.7
	30代		300 100	15 5.0	66 22.0	121 40.3	51 17.0	47 15.7
	40代		300 100	19 6.3	83 27.7	120 40.0	45 15.0	33 11.0
	50代		300 100	36 12.0	82 27.3	114 38.0	40 13.3	28 9.3
	60代		300 100	39 13.0	100 33.3	106 35.3	45 15.0	10 3.3
	70代以上		300 100	56 18.7	111 37.0	73 24.3	46 15.3	14 4.7

【5. 牛のBSE（牛海綿状脳症）】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	298 16.6	538 29.9	580 32.2	224 12.4	160 8.9
地域	首都圏		900 100	159 17.7	262 29.1	291 32.3	108 12.0	80 8.9
	京阪神圏		900 100	139 15.4	276 30.7	289 32.1	116 12.9	80 8.9
年代	20代		300 100	40 13.3	67 22.3	102 34.0	53 17.7	38 12.7
	30代		300 100	26 8.7	74 24.7	111 37.0	47 15.7	42 14.0
	40代		300 100	32 10.7	85 28.3	116 38.7	35 11.7	32 10.7
	50代		300 100	48 16.0	95 31.7	106 35.3	27 9.0	24 8.0
	60代		300 100	54 18.0	108 36.0	92 30.7	35 11.7	11 3.7
	70代以上		300 100	98 32.7	109 36.3	53 17.7	27 9.0	13 4.3

【6. 成形肉・牛脂注入肉】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	257 14.3	528 29.3	621 34.5	232 12.9	162 9.0
地域	首都圏		900 100	126 14.0	265 29.4	318 35.3	107 11.9	84 9.3
	京阪神圏		900 100	131 14.6	263 29.2	303 33.7	125 13.9	78 8.7
年代	20代		300 100	35 11.7	79 26.3	100 33.3	42 14.0	44 14.7
	30代		300 100	24 8.0	76 25.3	113 37.7	49 16.3	38 12.7
	40代		300 100	30 10.0	82 27.3	120 40.0	38 12.7	30 10.0
	50代		300 100	40 13.3	91 30.3	115 38.3	33 11.0	21 7.0
	60代		300 100	52 17.3	93 31.0	110 36.7	34 11.3	11 3.7
	70代以上		300 100	76 25.3	107 35.7	63 21.0	36 12.0	18 6.0

【7. 食肉の放射能汚染】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	269 14.9	484 26.9	635 35.3	248 13.8	164 9.1
地域	首都圏		900 100	131 14.6	245 27.2	319 35.4	120 13.3	85 9.4
	京阪神圏		900 100	138 15.3	239 26.6	316 35.1	128 14.2	79 8.8
年代	20代		300 100	38 12.7	68 22.7	109 36.3	45 15.0	40 13.3
	30代		300 100	20 6.7	72 24.0	117 39.0	47 15.7	44 14.7
	40代		300 100	32 10.7	68 22.7	126 42.0	39 13.0	35 11.7
	50代		300 100	36 12.0	90 30.0	117 39.0	36 12.0	21 7.0
	60代		300 100	58 19.3	89 29.7	103 34.3	39 13.0	11 3.7
	70代以上		300 100	85 28.3	97 32.3	63 21.0	42 14.0	13 4.3

【8. クローン家畜由来の食肉】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	252 14.0	519 28.8	634 35.2	229 12.7	166 9.2
地域	首都圏		900 100	132 14.7	264 29.3	308 34.2	109 12.1	87 9.7
	京阪神圏		900 100	120 13.3	255 28.3	326 36.2	120 13.3	79 8.8
年代	20代		300 100	29 9.7	71 23.7	112 37.3	43 14.3	45 15.0
	30代		300 100	15 5.0	68 22.7	123 41.0	49 16.3	45 15.0
	40代		300 100	28 9.3	75 25.0	122 40.7	39 13.0	36 12.0
	50代		300 100	41 13.7	88 29.3	114 38.0	38 12.7	19 6.3
	60代		300 100	57 19.0	108 36.0	95 31.7	31 10.3	9 3.0
	70代以上		300 100	82 27.3	109 36.3	68 22.7	29 9.7	12 4.0

【9. 牛・豚の口蹄疫】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	287 15.9	530 29.4	616 34.2	205 11.4	162 9.0
地域	首都圏		900 100	147 16.3	269 29.9	305 33.9	94 10.4	85 9.4
	京阪神圏		900 100	140 15.6	261 29.0	311 34.6	111 12.3	77 8.6
年代	20代		300 100	29 9.7	69 23.0	105 35.0	53 17.7	44 14.7
	30代		300 100	27 9.0	65 21.7	124 41.3	41 13.7	43 14.3
	40代		300 100	30 10.0	77 25.7	124 41.3	37 12.3	32 10.7
	50代		300 100	37 12.3	97 32.3	118 39.3	25 8.3	23 7.7
	60代		300 100	55 18.3	118 39.3	96 32.0	23 7.7	8 2.7
	70代以上		300 100	109 36.3	104 34.7	49 16.3	26 8.7	12 4.0

【10. 豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	261 <b>14.5</b>	498 <b>27.7</b>	655 <b>36.4</b>	224 <b>12.4</b>	162 <b>9.0</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	133 <b>14.8</b>	254 <b>28.2</b>	317 <b>35.2</b>	104 <b>11.6</b>	92 <b>10.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	128 <b>14.2</b>	244 <b>27.1</b>	338 <b>37.6</b>	120 <b>13.3</b>	70 <b>7.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	66 <b>22.0</b>	114 <b>38.0</b>	48 <b>16.0</b>	42 <b>14.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	74 <b>24.7</b>	124 <b>41.3</b>	44 <b>14.7</b>	39 <b>13.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	71 <b>23.7</b>	126 <b>42.0</b>	34 <b>11.3</b>	38 <b>12.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	91 <b>30.3</b>	120 <b>40.0</b>	35 <b>11.7</b>	23 <b>7.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	50 <b>16.7</b>	97 <b>32.3</b>	113 <b>37.7</b>	30 <b>10.0</b>	10 <b>3.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	100 <b>33.3</b>	99 <b>33.0</b>	58 <b>19.3</b>	33 <b>11.0</b>	10 <b>3.3</b>

【11. アフリカ豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	269 <b>14.9</b>	492 <b>27.3</b>	636 <b>35.3</b>	238 <b>13.2</b>	165 <b>9.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	140 <b>15.6</b>	251 <b>27.9</b>	311 <b>34.6</b>	107 <b>11.9</b>	91 <b>10.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	129 <b>14.3</b>	241 <b>26.8</b>	325 <b>36.1</b>	131 <b>14.6</b>	74 <b>8.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	33 <b>11.0</b>	67 <b>22.3</b>	112 <b>37.3</b>	50 <b>16.7</b>	38 <b>12.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	72 <b>24.0</b>	109 <b>36.3</b>	52 <b>17.3</b>	42 <b>14.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	73 <b>24.3</b>	128 <b>42.7</b>	33 <b>11.0</b>	38 <b>12.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	33 <b>11.0</b>	83 <b>27.7</b>	126 <b>42.0</b>	33 <b>11.0</b>	25 <b>8.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	52 <b>17.3</b>	98 <b>32.7</b>	103 <b>34.3</b>	36 <b>12.0</b>	11 <b>3.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	98 <b>32.7</b>	99 <b>33.0</b>	58 <b>19.3</b>	34 <b>11.3</b>	11 <b>3.7</b>

【12. 豚インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	311 <b>17.3</b>	580 <b>32.2</b>	576 <b>32.0</b>	194 <b>10.8</b>	139 <b>7.7</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	167 <b>18.6</b>	288 <b>32.0</b>	282 <b>31.3</b>	89 <b>9.9</b>	74 <b>8.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	144 <b>16.0</b>	292 <b>32.4</b>	294 <b>32.7</b>	105 <b>11.7</b>	65 <b>7.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	32 <b>10.7</b>	87 <b>29.0</b>	107 <b>35.7</b>	40 <b>13.3</b>	34 <b>11.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	90 <b>30.0</b>	111 <b>37.0</b>	38 <b>12.7</b>	35 <b>11.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	79 <b>26.3</b>	118 <b>39.3</b>	33 <b>11.0</b>	33 <b>11.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	42 <b>14.0</b>	99 <b>33.0</b>	112 <b>37.3</b>	28 <b>9.3</b>	19 <b>6.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	66 <b>22.0</b>	115 <b>38.3</b>	83 <b>27.7</b>	29 <b>9.7</b>	7 <b>2.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	108 <b>36.0</b>	110 <b>36.7</b>	45 <b>15.0</b>	26 <b>8.7</b>	11 <b>3.7</b>

【13. 鳥インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800	363	604	527	176	130
			<b>100</b>	<b>20.2</b>	<b>33.6</b>	<b>29.3</b>	<b>9.8</b>	<b>7.2</b>
地域	首都圏		900	188	310	258	76	68
			<b>100</b>	<b>20.9</b>	<b>34.4</b>	<b>28.7</b>	<b>8.4</b>	<b>7.6</b>
	京阪神圏		900	175	294	269	100	62
			<b>100</b>	<b>19.4</b>	<b>32.7</b>	<b>29.9</b>	<b>11.1</b>	<b>6.9</b>
年代	20代		300	39	84	100	43	34
			<b>100</b>	<b>13.0</b>	<b>28.0</b>	<b>33.3</b>	<b>14.3</b>	<b>11.3</b>
	30代		300	33	97	107	30	33
			<b>100</b>	<b>11.0</b>	<b>32.3</b>	<b>35.7</b>	<b>10.0</b>	<b>11.0</b>
	40代		300	48	86	104	32	30
			<b>100</b>	<b>16.0</b>	<b>28.7</b>	<b>34.7</b>	<b>10.7</b>	<b>10.0</b>
	50代		300	47	107	103	27	16
		<b>100</b>	<b>15.7</b>	<b>35.7</b>	<b>34.3</b>	<b>9.0</b>	<b>5.3</b>	
	60代		300	76	119	75	24	6
			<b>100</b>	<b>25.3</b>	<b>39.7</b>	<b>25.0</b>	<b>8.0</b>	<b>2.0</b>
	70代以上		300	120	111	38	20	11
			<b>100</b>	<b>40.0</b>	<b>37.0</b>	<b>12.7</b>	<b>6.7</b>	<b>3.7</b>

【14. 食肉中の食中毒菌  
(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800	404	558	544	171	123
			<b>100</b>	<b>22.4</b>	<b>31.0</b>	<b>30.2</b>	<b>9.5</b>	<b>6.8</b>
地域	首都圏		900	216	276	256	87	65
			<b>100</b>	<b>24.0</b>	<b>30.7</b>	<b>28.4</b>	<b>9.7</b>	<b>7.2</b>
	京阪神圏		900	188	282	288	84	58
			<b>100</b>	<b>20.9</b>	<b>31.3</b>	<b>32.0</b>	<b>9.3</b>	<b>6.4</b>
年代	20代		300	49	75	97	50	29
			<b>100</b>	<b>16.3</b>	<b>25.0</b>	<b>32.3</b>	<b>16.7</b>	<b>9.7</b>
	30代		300	43	91	105	30	31
			<b>100</b>	<b>14.3</b>	<b>30.3</b>	<b>35.0</b>	<b>10.0</b>	<b>10.3</b>
	40代		300	50	86	109	25	30
			<b>100</b>	<b>16.7</b>	<b>28.7</b>	<b>36.3</b>	<b>8.3</b>	<b>10.0</b>
	50代		300	63	102	100	19	16
		<b>100</b>	<b>21.0</b>	<b>34.0</b>	<b>33.3</b>	<b>6.3</b>	<b>5.3</b>	
	60代		300	77	112	81	23	7
			<b>100</b>	<b>25.7</b>	<b>37.3</b>	<b>27.0</b>	<b>7.7</b>	<b>2.3</b>
	70代以上		300	122	92	52	24	10
			<b>100</b>	<b>40.7</b>	<b>30.7</b>	<b>17.3</b>	<b>8.0</b>	<b>3.3</b>

【15. 食肉の生食】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちら でもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800	308	509	605	184	194
			<b>100</b>	<b>17.1</b>	<b>28.3</b>	<b>33.6</b>	<b>10.2</b>	<b>10.8</b>
地域	首都圏		900	156	253	290	99	102
			<b>100</b>	<b>17.3</b>	<b>28.1</b>	<b>32.2</b>	<b>11.0</b>	<b>11.3</b>
	京阪神圏		900	152	256	315	85	92
			<b>100</b>	<b>16.9</b>	<b>28.4</b>	<b>35.0</b>	<b>9.4</b>	<b>10.2</b>
年代	20代		300	38	78	105	34	45
			<b>100</b>	<b>12.7</b>	<b>26.0</b>	<b>35.0</b>	<b>11.3</b>	<b>15.0</b>
	30代		300	37	68	116	39	40
			<b>100</b>	<b>12.3</b>	<b>22.7</b>	<b>38.7</b>	<b>13.0</b>	<b>13.3</b>
	40代		300	37	84	124	22	33
			<b>100</b>	<b>12.3</b>	<b>28.0</b>	<b>41.3</b>	<b>7.3</b>	<b>11.0</b>
	50代		300	55	88	104	24	29
		<b>100</b>	<b>18.3</b>	<b>29.3</b>	<b>34.7</b>	<b>8.0</b>	<b>9.7</b>	
	60代		300	49	91	99	38	23
			<b>100</b>	<b>16.3</b>	<b>30.3</b>	<b>33.0</b>	<b>12.7</b>	<b>7.7</b>
	70代以上		300	92	100	57	27	24
			<b>100</b>	<b>30.7</b>	<b>33.3</b>	<b>19.0</b>	<b>9.0</b>	<b>8.0</b>

【16. 食肉の産地偽装】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	337 <b>18.7</b>	588 <b>32.7</b>	568 <b>31.6</b>	164 <b>9.1</b>	143 <b>7.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	173 <b>19.2</b>	292 <b>32.4</b>	275 <b>30.6</b>	86 <b>9.6</b>	74 <b>8.2</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	164 <b>18.2</b>	296 <b>32.9</b>	293 <b>32.6</b>	78 <b>8.7</b>	69 <b>7.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	82 <b>27.3</b>	108 <b>36.0</b>	42 <b>14.0</b>	37 <b>12.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	86 <b>28.7</b>	114 <b>38.0</b>	31 <b>10.3</b>	38 <b>12.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	94 <b>31.3</b>	110 <b>36.7</b>	27 <b>9.0</b>	32 <b>10.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	59 <b>19.7</b>	95 <b>31.7</b>	103 <b>34.3</b>	24 <b>8.0</b>	19 <b>6.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	64 <b>21.3</b>	117 <b>39.0</b>	87 <b>29.0</b>	25 <b>8.3</b>	7 <b>2.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	115 <b>38.3</b>	114 <b>38.0</b>	46 <b>15.3</b>	15 <b>5.0</b>	10 <b>3.3</b>

【17. 食肉の消費期限改ざん】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	373 <b>20.7</b>	571 <b>31.7</b>	575 <b>31.9</b>	142 <b>7.9</b>	139 <b>7.7</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	193 <b>21.4</b>	279 <b>31.0</b>	280 <b>31.1</b>	78 <b>8.7</b>	70 <b>7.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	180 <b>20.0</b>	292 <b>32.4</b>	295 <b>32.8</b>	64 <b>7.1</b>	69 <b>7.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	77 <b>25.7</b>	111 <b>37.0</b>	37 <b>12.3</b>	38 <b>12.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	42 <b>14.0</b>	85 <b>28.3</b>	109 <b>36.3</b>	30 <b>10.0</b>	34 <b>11.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	89 <b>29.7</b>	117 <b>39.0</b>	21 <b>7.0</b>	29 <b>9.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	61 <b>20.3</b>	100 <b>33.3</b>	103 <b>34.3</b>	17 <b>5.7</b>	19 <b>6.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	70 <b>23.3</b>	112 <b>37.3</b>	87 <b>29.0</b>	23 <b>7.7</b>	8 <b>2.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	119 <b>39.7</b>	108 <b>36.0</b>	48 <b>16.0</b>	14 <b>4.7</b>	11 <b>3.7</b>

【18. 牛肉・豚肉の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	346 <b>19.2</b>	510 <b>28.3</b>	616 <b>34.2</b>	181 <b>10.1</b>	147 <b>8.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	179 <b>19.9</b>	257 <b>28.6</b>	300 <b>33.3</b>	86 <b>9.6</b>	78 <b>8.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	167 <b>18.6</b>	253 <b>28.1</b>	316 <b>35.1</b>	95 <b>10.6</b>	69 <b>7.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	39 <b>13.0</b>	71 <b>23.7</b>	108 <b>36.0</b>	40 <b>13.3</b>	42 <b>14.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	70 <b>23.3</b>	121 <b>40.3</b>	37 <b>12.3</b>	35 <b>11.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	42 <b>14.0</b>	81 <b>27.0</b>	122 <b>40.7</b>	25 <b>8.3</b>	30 <b>10.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	52 <b>17.3</b>	94 <b>31.3</b>	106 <b>35.3</b>	30 <b>10.0</b>	18 <b>6.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	65 <b>21.7</b>	97 <b>32.3</b>	101 <b>33.7</b>	28 <b>9.3</b>	9 <b>3.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	111 <b>37.0</b>	97 <b>32.3</b>	58 <b>19.3</b>	21 <b>7.0</b>	13 <b>4.3</b>

【19. 豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	373 20.7	517 28.7	605 33.6	166 9.2	139 7.7
地域	首都圏		900 100	193 21.4	257 28.6	296 32.9	84 9.3	70 7.8
	京阪神圏		900 100	180 20.0	260 28.9	309 34.3	82 9.1	69 7.7
年代	20代		300 100	39 13.0	81 27.0	111 37.0	32 10.7	37 12.3
	30代		300 100	43 14.3	70 23.3	114 38.0	34 11.3	39 13.0
	40代		300 100	45 15.0	84 28.0	118 39.3	26 8.7	27 9.0
	50代		300 100	59 19.7	91 30.3	107 35.7	25 8.3	18 6.0
	60代		300 100	72 24.0	98 32.7	96 32.0	27 9.0	7 2.3
	70代以上		300 100	115 38.3	93 31.0	59 19.7	22 7.3	11 3.7

【20. 植物肉（大豆ミート食品類／ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビ等）】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	226 12.6	482 26.8	671 37.3	234 13.0	187 10.4
地域	首都圏		900 100	117 13.0	241 26.8	332 36.9	115 12.8	95 10.6
	京阪神圏		900 100	109 12.1	241 26.8	339 37.7	119 13.2	92 10.2
年代	20代		300 100	35 11.7	67 22.3	105 35.0	49 16.3	44 14.7
	30代		300 100	22 7.3	67 22.3	121 40.3	42 14.0	48 16.0
	40代		300 100	29 9.7	74 24.7	124 41.3	38 12.7	35 11.7
	50代		300 100	40 13.3	81 27.0	125 41.7	27 9.0	27 9.0
	60代		300 100	30 10.0	98 32.7	114 38.0	42 14.0	16 5.3
	70代以上		300 100	70 23.3	95 31.7	82 27.3	36 12.0	17 5.7

【21. 細胞培養肉（食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉）】

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 100	239 13.3	447 24.8	700 38.9	231 12.8	183 10.2
地域	首都圏		900 100	122 13.6	231 25.7	342 38.0	114 12.7	91 10.1
	京阪神圏		900 100	117 13.0	216 24.0	358 39.8	117 13.0	92 10.2
年代	20代		300 100	37 12.3	56 18.7	112 37.3	47 15.7	48 16.0
	30代		300 100	25 8.3	49 16.3	134 44.7	52 17.3	40 13.3
	40代		300 100	26 8.7	68 22.7	140 46.7	28 9.3	38 12.7
	50代		300 100	37 12.3	87 29.0	119 39.7	31 10.3	26 8.7
	60代		300 100	41 13.7	91 30.3	112 37.3	43 14.3	13 4.3
	70代以上		300 100	73 24.3	96 32.0	83 27.7	30 10.0	18 6.0

Q22 では、次にあげる食肉等の安全性の問題について、あなたは不安を感じますか。不安を感じるものを3つまでお選びください。

度数 横%		全 体	食肉中の 残留抗生物質	食肉中の 残留動物薬	遺伝子組換え飼料 を用いた食肉	ゲノム編集飼料を 用いた食肉	牛のBSE (牛海綿状脳症)	成形肉・ 牛脂注入肉
全 体		1800 100	316 17.6	209 11.6	259 14.4	157 8.7	364 20.2	126 7.0
地域	首都圏	900 100	150 16.7	104 11.6	128 14.2	81 9.0	174 19.3	58 6.4
	京阪神圏	900 100	166 18.4	105 11.7	131 14.6	76 8.4	190 21.1	68 7.6
年代	20代	300 100	45 15.0	20 6.7	38 12.7	21 7.0	36 12.0	24 8.0
	30代	300 100	33 11.0	27 9.0	32 10.7	22 7.3	41 13.7	13 4.3
	40代	300 100	43 14.3	31 10.3	33 11.0	25 8.3	46 15.3	20 6.7
	50代	300 100	52 17.3	36 12.0	40 13.3	23 7.7	73 24.3	22 7.3
	60代	300 100	55 18.3	41 13.7	57 19.0	31 10.3	68 22.7	21 7.0
	70代以上	300 100	88 29.3	54 18.0	59 19.7	35 11.7	100 33.3	26 8.7

度数 横%		全 体	食肉の 放射能汚染	クローン家畜 由来の食肉	牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	豚インフルエンザ
全 体		1800 100	157 8.7	162 9.0	137 7.6	55 3.1	51 2.8	194 10.8
地域	首都圏	900 100	79 8.8	77 8.6	80 8.9	28 3.1	26 2.9	93 10.3
	京阪神圏	900 100	78 8.7	85 9.4	57 6.3	27 3.0	25 2.8	101 11.2
年代	20代	300 100	25 8.3	20 6.7	16 5.3	9 3.0	15 5.0	36 12.0
	30代	300 100	17 5.7	15 5.0	17 5.7	7 2.3	5 1.7	34 11.3
	40代	300 100	15 5.0	35 11.7	11 3.7	11 3.7	9 3.0	41 13.7
	50代	300 100	23 7.7	37 12.3	16 5.3	5 1.7	6 2.0	26 8.7
	60代	300 100	30 10.0	27 9.0	24 8.0	10 3.3	7 2.3	29 9.7
	70代以上	300 100	47 15.7	28 9.3	53 17.7	13 4.3	9 3.0	28 9.3

度数 横%		全 体	鳥インフルエンザ	食肉中の食中毒 菌の汚染(サルモネラ、 カンジダ、腸管 出血性大腸菌な ど)の汚染	食肉の生食	食肉の産地偽装	食肉の消費 期限改ざん	牛肉・豚肉の 発がん性
全 体		1800 100	374 20.8	308 17.1	121 6.7	148 8.2	191 10.6	148 8.2
地域	首都圏	900 100	186 20.7	180 20.0	56 6.2	67 7.4	87 9.7	71 7.9
	京阪神圏	900 100	188 20.9	128 14.2	65 7.2	81 9.0	104 11.6	77 8.6
年代	20代	300 100	54 18.0	35 11.7	17 5.7	14 4.7	15 5.0	16 5.3
	30代	300 100	58 19.3	58 19.3	19 6.3	26 8.7	48 16.0	18 6.0
	40代	300 100	62 20.7	52 17.3	18 6.0	27 9.0	34 11.3	31 10.3
	50代	300 100	66 22.0	64 21.3	18 6.0	22 7.3	40 13.3	27 9.0
	60代	300 100	67 22.3	61 20.3	23 7.7	31 10.3	32 10.7	31 10.3
	70代以上	300 100	67 22.3	38 12.7	26 8.7	28 9.3	22 7.3	25 8.3

度数 横%		全 体	豚肉加工品 (ハム・ソーセージ) の発がん性	植物肉 (大豆ミート 食品類/ルバーク、 バーガー、パテ、 大豆ミート、牛丼、焼 き肉用加片等)	細胞培養肉 (食用動物の細胞 を人工培養して 生産する食肉)	不安に感じる ものはない
全 体		1800 100	195 10.8	34 1.9	62 3.4	377 20.9
地域	首都圏	900 100	101 11.2	18 2.0	32 3.6	189 21.0
	京阪神圏	900 100	94 10.4	16 1.8	30 3.3	188 20.9
年代	20代	300 100	21 7.0	5 1.7	6 2.0	97 32.3
	30代	300 100	33 11.0	6 2.0	9 3.0	86 28.7
	40代	300 100	42 14.0	6 2.0	11 3.7	68 22.7
	50代	300 100	38 12.7	9 3.0	15 5.0	53 17.7
	60代	300 100	33 11.0	6 2.0	11 3.7	49 16.3
	70代以上	300 100	28 9.3	2 0.7	10 3.3	24 8.0

Q23 「家畜伝染病」についてお伺いします。

悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

あなたは、このこと（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）をどの程度ご存じですか。最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体		1800 <b>100</b>	68 <b>3.8</b>	418 <b>23.2</b>	531 <b>29.5</b>	365 <b>20.3</b>	161 <b>8.9</b>	257 <b>14.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	34 <b>3.8</b>	227 <b>25.2</b>	257 <b>28.6</b>	169 <b>18.8</b>	79 <b>8.8</b>	134 <b>14.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	34 <b>3.8</b>	191 <b>21.2</b>	274 <b>30.4</b>	196 <b>21.8</b>	82 <b>9.1</b>	123 <b>13.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	65 <b>21.7</b>	65 <b>21.7</b>	64 <b>21.3</b>	25 <b>8.3</b>	58 <b>19.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	66 <b>22.0</b>	72 <b>24.0</b>	63 <b>21.0</b>	23 <b>7.7</b>	66 <b>22.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	37 <b>12.3</b>	85 <b>28.3</b>	70 <b>23.3</b>	39 <b>13.0</b>	55 <b>18.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	53 <b>17.7</b>	108 <b>36.0</b>	63 <b>21.0</b>	28 <b>9.3</b>	43 <b>14.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	82 <b>27.3</b>	108 <b>36.0</b>	59 <b>19.7</b>	25 <b>8.3</b>	22 <b>7.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	115 <b>38.3</b>	93 <b>31.0</b>	46 <b>15.3</b>	21 <b>7.0</b>	13 <b>4.3</b>

Q24 口蹄疫について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「口蹄疫」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いいため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	口蹄疫は、 牛や豚などの 病気で、 人に感染する ことはない	口蹄疫は、防疫 措置が講じられて いるので感染牛・ 豚の肉が市場に 出回ることはない	日本では、 この10年間は、 口蹄疫が発生し ていない	アジアなど日本の 周辺国では、口 蹄疫が引き続き 発生している	仮に口蹄疫にか かった牛や豚の 肉等を食べても 人体に影響は ない	日本では口蹄疫 の侵入防止のた め動物検疫が行 われており、発生 国からの牛、豚、 羊などの偶蹄類の 動物及びその製 品の持込みが規 制されている	その他	知っている ものはない
全 体	1800 100	373 20.7	348 19.3	248 13.8	242 13.4	148 8.2	250 13.9	0 0.0	986 54.8	
地域	首都圏	900 100	194 21.6	184 20.4	136 15.1	141 15.7	69 7.7	132 14.7	0 0.0	480 53.3
	京阪神圏	900 100	179 19.9	164 18.2	112 12.4	101 11.2	79 8.8	118 13.1	0 0.0	506 56.2
年代	20代	300 100	53 17.7	51 17.0	43 14.3	36 12.0	24 8.0	30 10.0	0 0.0	161 53.7
	30代	300 100	47 15.7	51 17.0	39 13.0	32 10.7	20 6.7	22 7.3	0 0.0	192 64.0
	40代	300 100	45 15.0	43 14.3	33 11.0	42 14.0	22 7.3	20 6.7	0 0.0	192 64.0
	50代	300 100	64 21.3	47 15.7	36 12.0	40 13.3	24 8.0	42 14.0	0 0.0	172 57.3
	60代	300 100	77 25.7	61 20.3	46 15.3	30 10.0	25 8.3	51 17.0	0 0.0	150 50.0
	70代以上	300 100	87 29.0	95 31.7	51 17.0	62 20.7	33 11.0	85 28.3	0 0.0	119 39.7

Q25 豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いいため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	豚熱は、豚や いのしの病気で、 人に感染すること はない	豚熱は、防疫 措置が講じられて いるので感染 豚の肉が市場 に出回ることは ない	仮に豚熱にか かった豚の肉 等を食べても 人体に影響 はない	豚熱のワクチン を接種した豚の 肉等を食べても 人体に影響は ない	豚熱の予防ワ クチンはあるが、 有効な治療法 は今のところ ない	日本では平成 30年9月に26 年ぶりに発生 し、現在も発生 が続いている	日本では豚熱 の侵入防止の ため動物検疫 が行われてお り、発生国から の豚及びいのし し並びにその製 品の持込みが 規制されている	その他	知っている ものはない
全 体	1800 100	280 15.6	283 15.7	194 10.8	150 8.3	166 9.2	128 7.1	154 8.6	0 0.0	1130 62.8	
地域	首都圏	900 100	149 16.6	153 17.0	111 12.3	88 9.8	88 9.8	66 7.3	81 9.0	0 0.0	563 62.6
	京阪神圏	900 100	131 14.6	130 14.4	83 9.2	62 6.9	78 8.7	62 6.9	73 8.1	0 0.0	567 63.0
年代	20代	300 100	44 14.7	52 17.3	33 11.0	28 9.3	34 11.3	17 5.7	19 6.3	0 0.0	170 56.7
	30代	300 100	31 10.3	43 14.3	34 11.3	25 8.3	28 9.3	22 7.3	11 3.7	0 0.0	202 67.3
	40代	300 100	38 12.7	39 13.0	31 10.3	26 8.7	21 7.0	20 6.7	19 6.3	0 0.0	209 69.7
	50代	300 100	43 14.3	39 13.0	27 9.0	23 7.7	27 9.0	22 7.3	24 8.0	0 0.0	200 66.7
	60代	300 100	52 17.3	40 13.3	35 11.7	19 6.3	24 8.0	14 4.7	28 9.3	0 0.0	193 64.3
	70代以上	300 100	72 24.0	70 23.3	34 11.3	29 9.7	32 10.7	33 11.0	53 17.7	0 0.0	156 52.0

Q26 アフリカ豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「アフリカ豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	アフリカ豚熱は、 豚やいのししの 病気であり、人 に感染すること はない	アフリカ豚熱は、 日本ではこれま で発生が確認さ れて いない	仮にアフリカ豚熱 にかかった豚の 肉等を食べて も人体に影響 はない	アフリカ豚熱は、 豚熱とは全く別 の病気であ る	アフリカ豚熱に有 効なワクチンや 治療法は今のと ころない	日本ではアフリカ 豚熱の侵入防 止のため動物検 疫が行われてお り、発生国から の豚及びいのし し並びにその製 品の持込みが規 制されている	その他	知っている ものはない
全 体		1800 100	216 12.0	211 11.7	124 6.9	109 6.1	111 6.2	147 8.2	0 0.0	1285 71.4
地域	首都圏	900 100	108 12.0	109 12.1	75 8.3	52 5.8	62 6.9	80 8.9	0 0.0	643 71.4
	京阪神圏	900 100	108 12.0	102 11.3	49 5.4	57 6.3	49 5.4	67 7.4	0 0.0	642 71.3
年代	20代	300 100	48 16.0	54 18.0	31 10.3	26 8.7	21 7.0	17 5.7	0 0.0	184 61.3
	30代	300 100	28 9.3	34 11.3	21 7.0	16 5.3	15 5.0	20 6.7	0 0.0	221 73.7
	40代	300 100	37 12.3	26 8.7	25 8.3	17 5.7	18 6.0	15 5.0	0 0.0	228 76.0
	50代	300 100	21 7.0	30 10.0	14 4.7	17 5.7	18 6.0	27 9.0	0 0.0	229 76.3
	60代	300 100	35 11.7	33 11.0	18 6.0	10 3.3	12 4.0	23 7.7	0 0.0	224 74.7
	70代以上	300 100	47 15.7	34 11.3	15 5.0	23 7.7	27 9.0	45 15.0	0 0.0	199 66.3

Q27 鳥インフルエンザについて知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「高病原性鳥インフルエンザ」は、世界中で発生が確認され、家きん（鶏など）に対する伝染力が強いため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家きんを直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	これまで鶏肉や鶏 卵を食べた人に感 染した例はない	鳥インフルエンザ ウイルスが付着した 鶏肉や鶏卵を食 べても人に感染す ることはない	市場に出荷される 鶏肉、鶏卵には鳥 インフルエンザウ イルスの付着を防 ぐ安全のための措 置がとられている	日本では、昨年か ら今年にかけて約 10件の養鶏場で の鳥インフルエン ザの発生があった	日本では鳥インフ ルエンザの侵入防 止のため動物検 疫が行われており、 発生国からの家き ん（鶏、あひるな ど）及びその製品 の持込みが規制さ れている	その他	知っている ものはない
全 体		1800 100	362 20.1	345 19.2	351 19.5	405 22.5	296 16.4	1 0.1	847 47.1
地域	首都圏	900 100	179 19.9	198 22.0	184 20.4	203 22.6	158 17.6	0 0.0	425 47.2
	京阪神圏	900 100	183 20.3	147 16.3	167 18.6	202 22.4	138 15.3	1 0.1	422 46.9
年代	20代	300 100	52 17.3	57 19.0	48 16.0	48 16.0	36 12.0	0 0.0	150 50.0
	30代	300 100	45 15.0	56 18.7	48 16.0	53 17.7	26 8.7	0 0.0	169 56.3
	40代	300 100	48 16.0	47 15.7	54 18.0	47 15.7	31 10.3	0 0.0	179 59.7
	50代	300 100	68 22.7	51 17.0	55 18.3	72 24.0	55 18.3	1 0.3	138 46.0
	60代	300 100	69 23.0	62 20.7	57 19.0	75 25.0	54 18.0	0 0.0	125 41.7
	70代以上	300 100	80 26.7	72 24.0	89 29.7	110 36.7	94 31.3	0 0.0	86 28.7

Q28 あなたは、個々の問題はあるにしても全体的にみれば、昨年の今頃と比べ、食肉の安全性は高まっていると思いますか、低下していると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	高まっている	どちらかといえば 高まっている	どちらとも いえない *	どちらかといえば 低下している	低下している
全 体		1800	117	392	1043	174	74
		<b>100</b>	<b>6.5</b>	<b>21.8</b>	<b>57.9</b>	<b>9.7</b>	<b>4.1</b>
地域	首都圏	900	67	203	515	85	30
		<b>100</b>	<b>7.4</b>	<b>22.6</b>	<b>57.2</b>	<b>9.4</b>	<b>3.3</b>
	京阪神圏	900	50	189	528	89	44
		<b>100</b>	<b>5.6</b>	<b>21.0</b>	<b>58.7</b>	<b>9.9</b>	<b>4.9</b>
年代	20代	300	30	81	141	28	20
		<b>100</b>	<b>10.0</b>	<b>27.0</b>	<b>47.0</b>	<b>9.3</b>	<b>6.7</b>
	30代	300	16	55	172	39	18
		<b>100</b>	<b>5.3</b>	<b>18.3</b>	<b>57.3</b>	<b>13.0</b>	<b>6.0</b>
	40代	300	15	58	182	34	11
		<b>100</b>	<b>5.0</b>	<b>19.3</b>	<b>60.7</b>	<b>11.3</b>	<b>3.7</b>
	50代	300	14	53	188	30	15
	<b>100</b>	<b>4.7</b>	<b>17.7</b>	<b>62.7</b>	<b>10.0</b>	<b>5.0</b>	
60代	300	12	73	182	25	8	
	<b>100</b>	<b>4.0</b>	<b>24.3</b>	<b>60.7</b>	<b>8.3</b>	<b>2.7</b>	
70代以上	300	30	72	178	18	2	
	<b>100</b>	<b>10.0</b>	<b>24.0</b>	<b>59.3</b>	<b>6.0</b>	<b>0.7</b>	

\*「わからない」令和4年より変更

Q29 現在、あなたが食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 <b>100</b>	1319 <b>73.3</b>	499 <b>27.7</b>	60 <b>3.3</b>	288 <b>16.0</b>	36 <b>2.0</b>	481 <b>26.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	653 <b>72.6</b>	251 <b>27.9</b>	33 <b>3.7</b>	147 <b>16.3</b>	16 <b>1.8</b>	247 <b>27.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	666 <b>74.0</b>	248 <b>27.6</b>	27 <b>3.0</b>	141 <b>15.7</b>	20 <b>2.2</b>	234 <b>26.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	170 <b>56.7</b>	48 <b>16.0</b>	16 <b>5.3</b>	16 <b>5.3</b>	7 <b>2.3</b>	44 <b>14.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	186 <b>62.0</b>	63 <b>21.0</b>	8 <b>2.7</b>	17 <b>5.7</b>	6 <b>2.0</b>	72 <b>24.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	207 <b>69.0</b>	67 <b>22.3</b>	5 <b>1.7</b>	25 <b>8.3</b>	4 <b>1.3</b>	95 <b>31.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	242 <b>80.7</b>	97 <b>32.3</b>	6 <b>2.0</b>	34 <b>11.3</b>	2 <b>0.7</b>	100 <b>33.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	245 <b>81.7</b>	103 <b>34.3</b>	14 <b>4.7</b>	68 <b>22.7</b>	6 <b>2.0</b>	85 <b>28.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	269 <b>89.7</b>	121 <b>40.3</b>	11 <b>3.7</b>	128 <b>42.7</b>	11 <b>3.7</b>	85 <b>28.3</b>

	度数 横%	全 体	インターネット上 のコミュニティ サイト(掲示板等)	SNS (X、 Instagram、 Ti k Tok等)	個人のブログ	行政（国、 地方自治体）	公的な研究 機関(大学等)	生産者・ 食品会社
全 体		1800 <b>100</b>	82 <b>4.6</b>	164 <b>9.1</b>	24 <b>1.3</b>	77 <b>4.3</b>	37 <b>2.1</b>	40 <b>2.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	46 <b>5.1</b>	92 <b>10.2</b>	8 <b>0.9</b>	34 <b>3.8</b>	14 <b>1.6</b>	14 <b>1.6</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	36 <b>4.0</b>	72 <b>8.0</b>	16 <b>1.8</b>	43 <b>4.8</b>	23 <b>2.6</b>	26 <b>2.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	61 <b>20.3</b>	5 <b>1.7</b>	11 <b>3.7</b>	9 <b>3.0</b>	8 <b>2.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	44 <b>14.7</b>	3 <b>1.0</b>	15 <b>5.0</b>	8 <b>2.7</b>	4 <b>1.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	25 <b>8.3</b>	9 <b>3.0</b>	6 <b>2.0</b>	5 <b>1.7</b>	6 <b>2.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	20 <b>6.7</b>	4 <b>1.3</b>	5 <b>1.7</b>	2 <b>0.7</b>	4 <b>1.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	11 <b>3.7</b>	1 <b>0.3</b>	19 <b>6.3</b>	6 <b>2.0</b>	7 <b>2.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	3 <b>1.0</b>	2 <b>0.7</b>	21 <b>7.0</b>	7 <b>2.3</b>	11 <b>3.7</b>

	度数 横%	全 体	スーパー・小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 <b>100</b>	112 <b>6.2</b>	31 <b>1.7</b>	10 <b>0.6</b>	10 <b>0.6</b>	140 <b>7.8</b>	10 <b>0.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	55 <b>6.1</b>	14 <b>1.6</b>	3 <b>0.3</b>	3 <b>0.3</b>	67 <b>7.4</b>	4 <b>0.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	57 <b>6.3</b>	17 <b>1.9</b>	7 <b>0.8</b>	7 <b>0.8</b>	73 <b>8.1</b>	6 <b>0.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>	1 <b>0.3</b>	36 <b>12.0</b>	3 <b>1.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	3 <b>1.0</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	24 <b>8.0</b>	1 <b>0.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	3 <b>1.0</b>	1 <b>0.3</b>	0 <b>0.0</b>	21 <b>7.0</b>	2 <b>0.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	2 <b>0.7</b>	1 <b>0.3</b>	2 <b>0.7</b>	26 <b>8.7</b>	1 <b>0.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	5 <b>1.7</b>	0 <b>0.0</b>	2 <b>0.7</b>	18 <b>6.0</b>	2 <b>0.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	16 <b>5.3</b>	1 <b>0.3</b>	1 <b>0.3</b>	15 <b>5.0</b>	1 <b>0.3</b>

(2) 食肉の栄養や機能について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 <b>100</b>	1101 <b>61.2</b>	456 <b>25.3</b>	45 <b>2.5</b>	231 <b>12.8</b>	42 <b>2.3</b>	424 <b>23.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	539 <b>59.9</b>	229 <b>25.4</b>	29 <b>3.2</b>	120 <b>13.3</b>	19 <b>2.1</b>	219 <b>24.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	562 <b>62.4</b>	227 <b>25.2</b>	16 <b>1.8</b>	111 <b>12.3</b>	23 <b>2.6</b>	205 <b>22.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	142 <b>47.3</b>	44 <b>14.7</b>	8 <b>2.7</b>	10 <b>3.3</b>	5 <b>1.7</b>	33 <b>11.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	161 <b>53.7</b>	52 <b>17.3</b>	5 <b>1.7</b>	11 <b>3.7</b>	7 <b>2.3</b>	72 <b>24.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	182 <b>60.7</b>	66 <b>22.0</b>	5 <b>1.7</b>	18 <b>6.0</b>	6 <b>2.0</b>	86 <b>28.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	206 <b>68.7</b>	87 <b>29.0</b>	5 <b>1.7</b>	30 <b>10.0</b>	4 <b>1.3</b>	92 <b>30.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	208 <b>69.3</b>	96 <b>32.0</b>	12 <b>4.0</b>	55 <b>18.3</b>	9 <b>3.0</b>	72 <b>24.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	202 <b>67.3</b>	111 <b>37.0</b>	10 <b>3.3</b>	107 <b>35.7</b>	11 <b>3.7</b>	69 <b>23.0</b>

	度数 横%	全 体	インターネット上 のコミュニティ サイト(掲示板等)	SNS (X、 Instagram、 Ti k Tok等)	個人のブログ	行政 (国、 地方自治体)	公的な研究 機関(大学等)	生産者・ 食品会社
全 体		1800 <b>100</b>	74 <b>4.1</b>	164 <b>9.1</b>	30 <b>1.7</b>	68 <b>3.8</b>	37 <b>2.1</b>	39 <b>2.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	41 <b>4.6</b>	90 <b>10.0</b>	16 <b>1.8</b>	24 <b>2.7</b>	17 <b>1.9</b>	16 <b>1.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	33 <b>3.7</b>	74 <b>8.2</b>	14 <b>1.6</b>	44 <b>4.9</b>	20 <b>2.2</b>	23 <b>2.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	66 <b>22.0</b>	5 <b>1.7</b>	10 <b>3.3</b>	8 <b>2.7</b>	6 <b>2.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	41 <b>13.7</b>	6 <b>2.0</b>	13 <b>4.3</b>	9 <b>3.0</b>	1 <b>0.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	22 <b>7.3</b>	11 <b>3.7</b>	7 <b>2.3</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	17 <b>5.7</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	1 <b>0.3</b>	2 <b>0.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	15 <b>5.0</b>	1 <b>0.3</b>	16 <b>5.3</b>	5 <b>1.7</b>	8 <b>2.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	3 <b>1.0</b>	3 <b>1.0</b>	19 <b>6.3</b>	10 <b>3.3</b>	16 <b>5.3</b>

	度数 横%	全 体	スーパー・小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	N P O・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 <b>100</b>	127 <b>7.1</b>	38 <b>2.1</b>	20 <b>1.1</b>	12 <b>0.7</b>	150 <b>8.3</b>	14 <b>0.8</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	60 <b>6.7</b>	18 <b>2.0</b>	9 <b>1.0</b>	7 <b>0.8</b>	71 <b>7.9</b>	5 <b>0.6</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	67 <b>7.4</b>	20 <b>2.2</b>	11 <b>1.2</b>	5 <b>0.6</b>	79 <b>8.8</b>	9 <b>1.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	5 <b>1.7</b>	5 <b>1.7</b>	0 <b>0.0</b>	37 <b>12.3</b>	3 <b>1.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	5 <b>1.7</b>	4 <b>1.3</b>	5 <b>1.7</b>	26 <b>8.7</b>	2 <b>0.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	3 <b>1.0</b>	1 <b>0.3</b>	1 <b>0.3</b>	21 <b>7.0</b>	2 <b>0.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	1 <b>0.3</b>	28 <b>9.3</b>	2 <b>0.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	5 <b>1.7</b>	0 <b>0.0</b>	1 <b>0.3</b>	20 <b>6.7</b>	3 <b>1.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	16 <b>5.3</b>	7 <b>2.3</b>	4 <b>1.3</b>	18 <b>6.0</b>	2 <b>0.7</b>

Q30 では、あなたが信頼できる情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト	インターネット上 のコミュニティ サイト(掲示板等)
全 体		1800 100	1136 63.1	422 23.4	69 3.8	298 16.6	33 1.8	362 20.1	58 3.2
地域	首都圏	900 100	554 61.6	196 21.8	35 3.9	155 17.2	20 2.2	180 20.0	30 3.3
	京阪神圏	900 100	582 64.7	226 25.1	34 3.8	143 15.9	13 1.4	182 20.2	28 3.1
年代	20代	300 100	144 48.0	41 13.7	11 3.7	19 6.3	7 2.3	33 11.0	14 4.7
	30代	300 100	157 52.3	56 18.7	10 3.3	16 5.3	7 2.3	49 16.3	11 3.7
	40代	300 100	179 59.7	60 20.0	10 3.3	30 10.0	2 0.7	71 23.7	7 2.3
	50代	300 100	201 67.0	71 23.7	9 3.0	36 12.0	6 2.0	78 26.0	12 4.0
	60代	300 100	224 74.7	97 32.3	14 4.7	76 25.3	6 2.0	68 22.7	9 3.0
	70代以上	300 100	231 77.0	97 32.3	15 5.0	121 40.3	5 1.7	63 21.0	5 1.7

	度数 横%	全 体	SNS (X, Instagram, Ti kTok等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究 機関(大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー ・小売店	生協などの 協同組合
全 体		1800 100	112 6.2	15 0.8	195 10.8	175 9.7	65 3.6	66 3.7	37 2.1
地域	首都圏	900 100	60 6.7	9 1.0	93 10.3	84 9.3	30 3.3	32 3.6	19 2.1
	京阪神圏	900 100	52 5.8	6 0.7	102 11.3	91 10.1	35 3.9	34 3.8	18 2.0
年代	20代	300 100	44 14.7	5 1.7	25 8.3	30 10.0	14 4.7	13 4.3	3 1.0
	30代	300 100	25 8.3	4 1.3	28 9.3	31 10.3	11 3.7	15 5.0	4 1.3
	40代	300 100	18 6.0	2 0.7	26 8.7	27 9.0	6 2.0	10 3.3	5 1.7
	50代	300 100	15 5.0	2 0.7	27 9.0	23 7.7	12 4.0	14 4.7	3 1.0
	60代	300 100	9 3.0	0 0.0	32 10.7	27 9.0	8 2.7	5 1.7	6 2.0
	70代以上	300 100	1 0.3	2 0.7	57 19.0	37 12.3	14 4.7	9 3.0	16 5.3

	度数 横%	全 体	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に 信頼できる 情報源はない
全 体		1800 100	29 1.6	45 2.5	87 4.8	0 0.0	170 9.4
地域	首都圏	900 100	11 1.2	16 1.8	45 5.0	0 0.0	90 10.0
	京阪神圏	900 100	18 2.0	29 3.2	42 4.7	0 0.0	80 8.9
年代	20代	300 100	3 1.0	6 2.0	16 5.3	0 0.0	39 13.0
	30代	300 100	5 1.7	4 1.3	15 5.0	0 0.0	40 13.3
	40代	300 100	2 0.7	1 0.3	17 5.7	0 0.0	38 12.7
	50代	300 100	10 3.3	5 1.7	11 3.7	0 0.0	23 7.7
	60代	300 100	5 1.7	5 1.7	14 4.7	0 0.0	17 5.7
	70代以上	300 100	4 1.3	24 8.0	14 4.7	0 0.0	13 4.3

(2) 食肉の栄養や機能について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト	インターネット上 のコミュニティ サイト(掲示板等)
全 体		1800 100	1024 56.9	398 22.1	52 2.9	266 14.8	32 1.8	333 18.5	53 2.9
地域	首都圏	900 100	498 55.3	188 20.9	31 3.4	137 15.2	16 1.8	168 18.7	24 2.7
	京阪神圏	900 100	526 58.4	210 23.3	21 2.3	129 14.3	16 1.8	165 18.3	29 3.2
年代	20代	300 100	133 44.3	34 11.3	4 1.3	15 5.0	5 1.7	29 9.7	13 4.3
	30代	300 100	148 49.3	49 16.3	7 2.3	14 4.7	5 1.7	46 15.3	10 3.3
	40代	300 100	168 56.0	58 19.3	8 2.7	28 9.3	3 1.0	70 23.3	7 2.3
	50代	300 100	186 62.0	73 24.3	7 2.3	37 12.3	5 1.7	72 24.0	9 3.0
	60代	300 100	196 65.3	93 31.0	11 3.7	65 21.7	5 1.7	61 20.3	8 2.7
	70代以上	300 100	193 64.3	91 30.3	15 5.0	107 35.7	9 3.0	55 18.3	6 2.0

	度数 横%	全 体	SNS (X, Instagram, Tik Tok等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究 機関(大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー ・小売店	生協などの 協同組合
全 体		1800 100	108 6.0	18 1.0	179 9.9	172 9.6	68 3.8	62 3.4	43 2.4
地域	首都圏	900 100	60 6.7	8 0.9	84 9.3	82 9.1	35 3.9	30 3.3	21 2.3
	京阪神圏	900 100	48 5.3	10 1.1	95 10.6	90 10.0	33 3.7	32 3.6	22 2.4
年代	20代	300 100	43 14.3	4 1.3	27 9.0	31 10.3	12 4.0	11 3.7	5 1.7
	30代	300 100	23 7.7	4 1.3	28 9.3	30 10.0	12 4.0	14 4.7	4 1.3
	40代	300 100	18 6.0	4 1.3	23 7.7	27 9.0	5 1.7	7 2.3	4 1.3
	50代	300 100	9 3.0	3 1.0	23 7.7	20 6.7	10 3.3	12 4.0	4 1.3
	60代	300 100	13 4.3	1 0.3	28 9.3	27 9.0	12 4.0	7 2.3	5 1.7
	70代以上	300 100	2 0.7	2 0.7	50 16.7	37 12.3	17 5.7	11 3.7	21 7.0

	度数 横%	全 体	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に 信頼できる 情報源はない
全 体		1800 100	38 2.1	38 2.1	94 5.2	1 0.1	174 9.7
地域	首都圏	900 100	16 1.8	11 1.2	50 5.6	0 0.0	92 10.2
	京阪神圏	900 100	22 2.4	27 3.0	44 4.9	1 0.1	82 9.1
年代	20代	300 100	6 2.0	6 2.0	16 5.3	0 0.0	39 13.0
	30代	300 100	4 1.3	5 1.7	14 4.7	1 0.3	41 13.7
	40代	300 100	3 1.0	0 0.0	17 5.7	0 0.0	37 12.3
	50代	300 100	10 3.3	4 1.3	12 4.0	0 0.0	24 8.0
	60代	300 100	5 1.7	4 1.3	16 5.3	0 0.0	19 6.3
	70代以上	300 100	10 3.3	19 6.3	19 6.3	0 0.0	14 4.7

Q31 あなたは、次の各機関や事業者などが食肉の安全性を確保するために行っている取組についてどの程度信頼できますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 農林水産省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 <b>100</b>	213 <b>11.8</b>	531 <b>29.5</b>	564 <b>31.3</b>	139 <b>7.7</b>	131 <b>7.3</b>	222 <b>12.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	106 <b>11.8</b>	280 <b>31.1</b>	285 <b>31.7</b>	66 <b>7.3</b>	57 <b>6.3</b>	106 <b>11.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	107 <b>11.9</b>	251 <b>27.9</b>	279 <b>31.0</b>	73 <b>8.1</b>	74 <b>8.2</b>	116 <b>12.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	51 <b>17.0</b>	90 <b>30.0</b>	68 <b>22.7</b>	23 <b>7.7</b>	20 <b>6.7</b>	48 <b>16.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	81 <b>27.0</b>	92 <b>30.7</b>	20 <b>6.7</b>	24 <b>8.0</b>	49 <b>16.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	68 <b>22.7</b>	114 <b>38.0</b>	20 <b>6.7</b>	25 <b>8.3</b>	42 <b>14.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	75 <b>25.0</b>	120 <b>40.0</b>	26 <b>8.7</b>	29 <b>9.7</b>	28 <b>9.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	33 <b>11.0</b>	97 <b>32.3</b>	94 <b>31.3</b>	26 <b>8.7</b>	22 <b>7.3</b>	28 <b>9.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	42 <b>14.0</b>	120 <b>40.0</b>	76 <b>25.3</b>	24 <b>8.0</b>	11 <b>3.7</b>	27 <b>9.0</b>

【2. 厚生労働省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 <b>100</b>	181 <b>10.1</b>	494 <b>27.4</b>	606 <b>33.7</b>	146 <b>8.1</b>	144 <b>8.0</b>	229 <b>12.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	93 <b>10.3</b>	255 <b>28.3</b>	301 <b>33.4</b>	72 <b>8.0</b>	67 <b>7.4</b>	112 <b>12.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	88 <b>9.8</b>	239 <b>26.6</b>	305 <b>33.9</b>	74 <b>8.2</b>	77 <b>8.6</b>	117 <b>13.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	45 <b>15.0</b>	91 <b>30.3</b>	80 <b>26.7</b>	16 <b>5.3</b>	20 <b>6.7</b>	48 <b>16.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	76 <b>25.3</b>	103 <b>34.3</b>	17 <b>5.7</b>	26 <b>8.7</b>	48 <b>16.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	61 <b>20.3</b>	113 <b>37.7</b>	29 <b>9.7</b>	28 <b>9.3</b>	41 <b>13.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	67 <b>22.3</b>	120 <b>40.0</b>	32 <b>10.7</b>	30 <b>10.0</b>	31 <b>10.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	91 <b>30.3</b>	106 <b>35.3</b>	24 <b>8.0</b>	24 <b>8.0</b>	31 <b>10.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	108 <b>36.0</b>	84 <b>28.0</b>	28 <b>9.3</b>	16 <b>5.3</b>	30 <b>10.0</b>

【3. 地方自治体】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	139 7.7	518 28.8	667 37.1	134 7.4	106 5.9	236 13.1
地域	首都圏	900 100	73 8.1	275 30.6	323 35.9	70 7.8	49 5.4	110 12.2
	京阪神圏	900 100	66 7.3	243 27.0	344 38.2	64 7.1	57 6.3	126 14.0
年代	20代	300 100	31 10.3	80 26.7	103 34.3	21 7.0	17 5.7	48 16.0
	30代	300 100	22 7.3	74 24.7	114 38.0	23 7.7	19 6.3	48 16.0
	40代	300 100	24 8.0	64 21.3	119 39.7	21 7.0	29 9.7	43 14.3
	50代	300 100	16 5.3	76 25.3	133 44.3	25 8.3	19 6.3	31 10.3
	60代	300 100	18 6.0	99 33.0	116 38.7	20 6.7	14 4.7	33 11.0
	70代以上	300 100	28 9.3	125 41.7	82 27.3	24 8.0	8 2.7	33 11.0

【4. 畜産農家】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	136 7.6	531 29.5	733 40.7	112 6.2	66 3.7	222 12.3
地域	首都圏	900 100	76 8.4	284 31.6	352 39.1	53 5.9	29 3.2	106 11.8
	京阪神圏	900 100	60 6.7	247 27.4	381 42.3	59 6.6	37 4.1	116 12.9
年代	20代	300 100	41 13.7	78 26.0	99 33.0	18 6.0	16 5.3	48 16.0
	30代	300 100	20 6.7	94 31.3	110 36.7	18 6.0	11 3.7	47 15.7
	40代	300 100	19 6.3	73 24.3	132 44.0	17 5.7	15 5.0	44 14.7
	50代	300 100	13 4.3	95 31.7	135 45.0	19 6.3	11 3.7	27 9.0
	60代	300 100	21 7.0	89 29.7	135 45.0	18 6.0	7 2.3	30 10.0
	70代以上	300 100	22 7.3	102 34.0	122 40.7	22 7.3	6 2.0	26 8.7

【5. 食肉卸売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	76 4.2	325 18.1	826 45.9	241 13.4	102 5.7	230 12.8
地域	首都圏	900 100	39 4.3	183 20.3	421 46.8	108 12.0	39 4.3	110 12.2
	京阪神圏	900 100	37 4.1	142 15.8	405 45.0	133 14.8	63 7.0	120 13.3
年代	20代	300 100	26 8.7	71 23.7	111 37.0	26 8.7	17 5.7	49 16.3
	30代	300 100	10 3.3	71 23.7	124 41.3	38 12.7	12 4.0	45 15.0
	40代	300 100	13 4.3	43 14.3	150 50.0	27 9.0	23 7.7	44 14.7
	50代	300 100	9 3.0	46 15.3	149 49.7	46 15.3	20 6.7	30 10.0
	60代	300 100	8 2.7	44 14.7	156 52.0	45 15.0	14 4.7	33 11.0
	70代以上	300 100	10 3.3	50 16.7	136 45.3	59 19.7	16 5.3	29 9.7

【6. 食肉小売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 <b>100</b>	78 <b>4.3</b>	308 <b>17.1</b>	850 <b>47.2</b>	227 <b>12.6</b>	102 <b>5.7</b>	235 <b>13.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	41 <b>4.6</b>	177 <b>19.7</b>	428 <b>47.6</b>	100 <b>11.1</b>	43 <b>4.8</b>	111 <b>12.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	37 <b>4.1</b>	131 <b>14.6</b>	422 <b>46.9</b>	127 <b>14.1</b>	59 <b>6.6</b>	124 <b>13.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	64 <b>21.3</b>	114 <b>38.0</b>	24 <b>8.0</b>	15 <b>5.0</b>	52 <b>17.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	61 <b>20.3</b>	130 <b>43.3</b>	34 <b>11.3</b>	15 <b>5.0</b>	46 <b>15.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	42 <b>14.0</b>	152 <b>50.7</b>	28 <b>9.3</b>	25 <b>8.3</b>	44 <b>14.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	46 <b>15.3</b>	156 <b>52.0</b>	38 <b>12.7</b>	22 <b>7.3</b>	29 <b>9.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	44 <b>14.7</b>	156 <b>52.0</b>	47 <b>15.7</b>	13 <b>4.3</b>	33 <b>11.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	51 <b>17.0</b>	142 <b>47.3</b>	56 <b>18.7</b>	12 <b>4.0</b>	31 <b>10.3</b>

【7. 食肉を扱う外食店】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 <b>100</b>	59 <b>3.3</b>	263 <b>14.6</b>	866 <b>48.1</b>	256 <b>14.2</b>	112 <b>6.2</b>	244 <b>13.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	152 <b>16.9</b>	438 <b>48.7</b>	114 <b>12.7</b>	48 <b>5.3</b>	116 <b>12.9</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	27 <b>3.0</b>	111 <b>12.3</b>	428 <b>47.6</b>	142 <b>15.8</b>	64 <b>7.1</b>	128 <b>14.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	50 <b>16.7</b>	126 <b>42.0</b>	34 <b>11.3</b>	17 <b>5.7</b>	50 <b>16.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	54 <b>18.0</b>	129 <b>43.0</b>	41 <b>13.7</b>	16 <b>5.3</b>	51 <b>17.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	36 <b>12.0</b>	154 <b>51.3</b>	34 <b>11.3</b>	25 <b>8.3</b>	43 <b>14.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	35 <b>11.7</b>	164 <b>54.7</b>	38 <b>12.7</b>	24 <b>8.0</b>	30 <b>10.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	43 <b>14.3</b>	158 <b>52.7</b>	45 <b>15.0</b>	14 <b>4.7</b>	35 <b>11.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	45 <b>15.0</b>	135 <b>45.0</b>	64 <b>21.3</b>	16 <b>5.3</b>	35 <b>11.7</b>

Q32 情報提供において、あなたが行政に期待すること（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

度数 横%		全 体	正確な情報 の提供	迅速な情報 の提供	わかりやすい 情報の提供	科学的根拠 に基づいた 情報の提供	ネガティブな(マ イナスの、ある いは都合の悪い)情報も包み 隠さず開示	中立・公平な 立場での見解	食品表示 制度の改善	情報への アクセスの しやすさ
全 体		1800 <b>100</b>	1393 <b>77.4</b>	565 <b>31.4</b>	562 <b>31.2</b>	362 <b>20.1</b>	327 <b>18.2</b>	241 <b>13.4</b>	82 <b>4.6</b>	96 <b>5.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	705 <b>78.3</b>	292 <b>32.4</b>	258 <b>28.7</b>	200 <b>22.2</b>	162 <b>18.0</b>	116 <b>12.9</b>	42 <b>4.7</b>	45 <b>5.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	688 <b>76.4</b>	273 <b>30.3</b>	304 <b>33.8</b>	162 <b>18.0</b>	165 <b>18.3</b>	125 <b>13.9</b>	40 <b>4.4</b>	51 <b>5.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	182 <b>60.7</b>	51 <b>17.0</b>	66 <b>22.0</b>	54 <b>18.0</b>	35 <b>11.7</b>	36 <b>12.0</b>	14 <b>4.7</b>	17 <b>5.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	212 <b>70.7</b>	71 <b>23.7</b>	74 <b>24.7</b>	49 <b>16.3</b>	58 <b>19.3</b>	45 <b>15.0</b>	8 <b>2.7</b>	20 <b>6.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	241 <b>80.3</b>	78 <b>26.0</b>	93 <b>31.0</b>	56 <b>18.7</b>	46 <b>15.3</b>	28 <b>9.3</b>	9 <b>3.0</b>	14 <b>4.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	243 <b>81.0</b>	107 <b>35.7</b>	94 <b>31.3</b>	53 <b>17.7</b>	62 <b>20.7</b>	40 <b>13.3</b>	10 <b>3.3</b>	13 <b>4.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	247 <b>82.3</b>	120 <b>40.0</b>	114 <b>38.0</b>	64 <b>21.3</b>	69 <b>23.0</b>	36 <b>12.0</b>	17 <b>5.7</b>	13 <b>4.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	268 <b>89.3</b>	138 <b>46.0</b>	121 <b>40.3</b>	86 <b>28.7</b>	57 <b>19.0</b>	56 <b>18.7</b>	24 <b>8.0</b>	19 <b>6.3</b>

度数 横%		全 体	ウェブサイトの 充実	メールマガジ ンの発信	パンフレット・広 報誌の 充実	消費者の 相談を受ける 窓口の設置	説明会などの 開催	意見交換会 など双方向型 のコミュニケ ーションの場 の設置	その他
全 体		1800 <b>100</b>	59 <b>3.3</b>	27 <b>1.5</b>	34 <b>1.9</b>	77 <b>4.3</b>	29 <b>1.6</b>	43 <b>2.4</b>	11 <b>0.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	33 <b>3.7</b>	15 <b>1.7</b>	18 <b>2.0</b>	29 <b>3.2</b>	15 <b>1.7</b>	25 <b>2.8</b>	3 <b>0.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	26 <b>2.9</b>	12 <b>1.3</b>	16 <b>1.8</b>	48 <b>5.3</b>	14 <b>1.6</b>	18 <b>2.0</b>	8 <b>0.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	10 <b>3.3</b>	9 <b>3.0</b>	13 <b>4.3</b>	5 <b>1.7</b>	16 <b>5.3</b>	4 <b>1.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	3 <b>1.0</b>	7 <b>2.3</b>	8 <b>2.7</b>	9 <b>3.0</b>	16 <b>5.3</b>	1 <b>0.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	5 <b>1.7</b>	5 <b>1.7</b>	14 <b>4.7</b>	5 <b>1.7</b>	4 <b>1.3</b>	2 <b>0.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	4 <b>1.3</b>	5 <b>1.7</b>	14 <b>4.7</b>	2 <b>0.7</b>	1 <b>0.3</b>	1 <b>0.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	2 <b>0.7</b>	3 <b>1.0</b>	15 <b>5.0</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	3 <b>1.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	3 <b>1.0</b>	5 <b>1.7</b>	13 <b>4.3</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	0 <b>0.0</b>

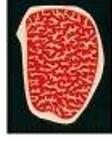
(2) 食肉の栄養や機能について

度数 横%		全 体	正確な情報 の提供	迅速な情報 の提供	わかりやすい 情報の提供	科学的根拠 に基づいた 情報の提供	ネガティブな(マ イナスの、ある いは都合の悪い)情報も包み 隠さず開示	中立・公平な 立場での見解	食品表示 制度の改善	情報への アクセスの しやすさ
全 体		1800 <b>100</b>	1244 <b>69.1</b>	428 <b>23.8</b>	536 <b>29.8</b>	364 <b>20.2</b>	261 <b>14.5</b>	215 <b>11.9</b>	113 <b>6.3</b>	108 <b>6.0</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	637 <b>70.8</b>	219 <b>24.3</b>	250 <b>27.8</b>	195 <b>21.7</b>	137 <b>15.2</b>	110 <b>12.2</b>	52 <b>5.8</b>	54 <b>6.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	607 <b>67.4</b>	209 <b>23.2</b>	286 <b>31.8</b>	169 <b>18.8</b>	124 <b>13.8</b>	105 <b>11.7</b>	61 <b>6.8</b>	54 <b>6.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	171 <b>57.0</b>	44 <b>14.7</b>	53 <b>17.7</b>	47 <b>15.7</b>	32 <b>10.7</b>	29 <b>9.7</b>	15 <b>5.0</b>	13 <b>4.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	194 <b>64.7</b>	52 <b>17.3</b>	72 <b>24.0</b>	52 <b>17.3</b>	47 <b>15.7</b>	32 <b>10.7</b>	11 <b>3.7</b>	22 <b>7.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	219 <b>73.0</b>	62 <b>20.7</b>	87 <b>29.0</b>	54 <b>18.0</b>	39 <b>13.0</b>	34 <b>11.3</b>	16 <b>5.3</b>	12 <b>4.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	214 <b>71.3</b>	78 <b>26.0</b>	90 <b>30.0</b>	60 <b>20.0</b>	46 <b>15.3</b>	39 <b>13.0</b>	19 <b>6.3</b>	14 <b>4.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	223 <b>74.3</b>	90 <b>30.0</b>	117 <b>39.0</b>	64 <b>21.3</b>	53 <b>17.7</b>	30 <b>10.0</b>	18 <b>6.0</b>	19 <b>6.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	223 <b>74.3</b>	102 <b>34.0</b>	117 <b>39.0</b>	87 <b>29.0</b>	44 <b>14.7</b>	51 <b>17.0</b>	34 <b>11.3</b>	28 <b>9.3</b>

度数 横%		全 体	ウェブサイトの 充実	メールマガジ ンの発信	パンフレット・広 報誌の 充実	消費者の 相談を受ける 窓口の設置	説明会などの 開催	意見交換会 など双方向型 のコミュニケ ーションの場 の設置	その他
全 体		1800 <b>100</b>	75 <b>4.2</b>	24 <b>1.3</b>	51 <b>2.8</b>	66 <b>3.7</b>	29 <b>1.6</b>	37 <b>2.1</b>	13 <b>0.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	37 <b>4.1</b>	14 <b>1.6</b>	20 <b>2.2</b>	27 <b>3.0</b>	13 <b>1.4</b>	19 <b>2.1</b>	4 <b>0.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	38 <b>4.2</b>	10 <b>1.1</b>	31 <b>3.4</b>	39 <b>4.3</b>	16 <b>1.8</b>	18 <b>2.0</b>	9 <b>1.0</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	6 <b>2.0</b>	10 <b>3.3</b>	14 <b>4.7</b>	7 <b>2.3</b>	12 <b>4.0</b>	4 <b>1.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	2 <b>0.7</b>	5 <b>1.7</b>	10 <b>3.3</b>	4 <b>1.3</b>	13 <b>4.3</b>	1 <b>0.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	6 <b>2.0</b>	5 <b>1.7</b>	10 <b>3.3</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	2 <b>0.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	13 <b>4.3</b>	3 <b>1.0</b>	7 <b>2.3</b>	7 <b>2.3</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	1 <b>0.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	1 <b>0.3</b>	11 <b>3.7</b>	15 <b>5.0</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	4 <b>1.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	6 <b>2.0</b>	13 <b>4.3</b>	10 <b>3.3</b>	6 <b>2.0</b>	2 <b>0.7</b>	1 <b>0.3</b>

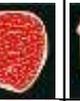
【画像について】

- ※1：左の画像は「シリコン樹脂製の脂肪交雑基準（ビーフ・マーブリング・スタンダード）」です。
- ※2：右の画像は「写真による脂肪交雑基準」です。
- ※3：画像1（B.M.S. No.1）は脂肪交雑の認められないもの、画像2（B.M.S. No.2）は画像3（B.M.S. No.3）に満たないものであるため、写真によるスタンダードがありません。
- ※4：脂肪交雑とは霜降りの度合いのことで、脂肪交雑基準（B.M.S.）によって評価し、等級を決定します。
- ※5：一つの画像について、「赤身肉」「霜降り肉」の両方をお選びいただくことはできません。
- ※6：あなたが、「赤身肉、霜降り肉のいずれかわからない」と思う画像はお選びにならなくても結構です。

画像1 B.M.S No.1		(写真提示なし ※2, 3参照)
画像2 B.M.S No.2		(写真提示なし ※2, 3参照)
画像3 B.M.S No.3	 	
画像4 B.M.S No.4	 	
画像5 B.M.S No.5	 	
画像6 B.M.S No.6	 	
画像7 B.M.S No.7	 	
画像8 B.M.S No.8	 	
画像9 B.M.S No.9	 	
画像10 B.M.S No.10	 	

Q33 以下の国産牛肉の画像を見て、ご回答ください。

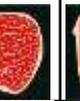
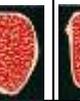
(1) あなたが「赤身肉」と考える国産牛肉について、あてはまるものを全てお選びください。

	度数 横%	画像1 (B.M.S No.1) 【1等級： 脂肪交雑 ほとんどない】	画像2 (B.M.S No.1) 【2等級： 脂肪交雑 やや少ない】	画像3 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像4 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像5 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像6 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像7 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像8 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像9 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像10 (B.M.S No.10) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	
												
全 体	1800 100	1800 100.0	1363 75.7	958 53.2	616 34.2	419 23.3	247 13.7	161 8.9	109 6.1	64 3.6	0 0.0	
地域	首都圏	900 100	900 100.0	662 73.6	458 50.9	295 32.8	198 22.0	109 12.1	73 8.1	58 6.4	38 4.2	0 0.0
		京阪神圏	900 100	900 100.0	701 77.9	500 55.6	321 35.7	221 24.6	138 15.3	88 9.8	51 5.7	26 2.9
年代	20代	300 100	300 100.0	220 73.3	165 55.0	117 39.0	91 30.3	60 20.0	42 14.0	30 10.0	21 7.0	0 0.0
	30代	300 100	300 100.0	239 79.7	182 60.7	120 40.0	86 28.7	56 18.7	34 11.3	26 8.7	16 5.3	0 0.0
	40代	300 100	300 100.0	223 74.3	153 51.0	93 31.0	61 20.3	38 12.7	24 8.0	22 7.3	8 2.7	0 0.0
	50代	300 100	300 100.0	230 76.7	155 51.7	100 33.3	63 21.0	34 11.3	23 7.7	12 4.0	8 2.7	0 0.0
	60代	300 100	300 100.0	231 77.0	165 55.0	100 33.3	69 23.0	36 12.0	23 7.7	12 4.0	8 2.7	0 0.0
	70代以上	300 100	300 100.0	220 73.3	138 46.0	86 28.7	49 16.3	23 7.7	15 5.0	7 2.3	3 1.0	0 0.0

(2) あなたが「霜降り肉」と考える国産牛肉について、あてはまるものを全てお選びください。

※一つの画像について、「赤身肉」「霜降り肉」の両方をお選びいただくことはできません。

※あなたが、「赤身肉、霜降り肉のいずれかわからない」と思う画像はお選びにならなくても結構です。

	度数 横%	画像1 (B.M.S No.1) 【1等級： 脂肪交雑 ほとんどない】	画像2 (B.M.S No.1) 【2等級： 脂肪交雑 やや少ない】	画像3 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像4 (B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	画像5 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像6 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像7 (B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	画像8 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像9 (B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	画像10 (B.M.S No.10) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	
												
全 体	1800 100	0 0.0	137 7.6	364 20.2	550 30.6	718 39.9	1013 56.3	1208 67.1	1378 76.6	1542 85.7	1800 100.0	
地域	首都圏	900 100	0 0.0	70 7.8	185 20.6	276 30.7	371 41.2	523 58.1	614 68.2	697 77.4	768 85.3	900 100.0
		京阪神圏	900 100	0 0.0	67 7.4	179 19.9	274 30.4	347 38.6	490 54.4	594 66.0	681 75.7	774 86.0
年代	20代	300 100	0 0.0	38 12.7	78 26.0	108 36.0	142 47.3	177 59.0	208 69.3	230 76.7	251 83.7	300 100.0
	30代	300 100	0 0.0	23 7.7	60 20.0	92 30.7	116 38.7	155 51.7	193 64.3	219 73.0	253 84.3	300 100.0
	40代	300 100	0 0.0	28 9.3	63 21.0	95 31.7	125 41.7	179 59.7	207 69.0	226 75.3	263 87.7	300 100.0
	50代	300 100	0 0.0	18 6.0	50 16.7	73 24.3	103 34.3	150 50.0	182 60.7	224 74.7	252 84.0	300 100.0
	60代	300 100	0 0.0	15 5.0	52 17.3	86 28.7	113 37.7	176 58.7	204 68.0	241 80.3	259 86.3	300 100.0
	70代以上	300 100	0 0.0	15 5.0	61 20.3	96 32.0	119 39.7	176 58.7	214 71.3	238 79.3	264 88.0	300 100.0

(3) では、あなたがスーパー・生協・食肉専門店などで、「普段買う量や頻度が多い国産牛肉」に近い画像を1つだけお選びください。

度数 横%	全体	画像1	画像2	画像3	画像4	画像5	画像6	画像7	画像8	画像9	画像10	・国産牛肉は購入していない	
		(B.M.S No.1) 【1等級： 脂肪交雑 ほとんどない】	(B.M.S No.1) 【2等級： 脂肪交雑 やや少ない】	(B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	(B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	(B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	(B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	(B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	(B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	(B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	(B.M.S No.10) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】		
		(写真提示なし)	(写真提示なし)										
全体	1800 100	132 7.3	143 7.9	328 18.2	205 11.4	136 7.6	143 7.9	86 4.8	69 3.8	51 2.8	79 4.4	428 23.8	
地域	首都圏	900 100	70 7.8	72 8.0	171 19.0	101 11.2	64 7.1	68 7.6	38 4.2	26 2.9	28 3.1	36 4.0	226 25.1
	京阪神圏	900 100	62 6.9	71 7.9	157 17.4	104 11.6	72 8.0	75 8.3	48 5.3	43 4.8	23 2.6	43 4.8	202 22.4
年代	20代	300 100	34 11.3	26 8.7	49 16.3	22 7.3	23 7.7	25 8.3	15 5.0	10 3.3	12 4.0	14 4.7	70 23.3
	30代	300 100	20 6.7	34 11.3	56 18.7	32 10.7	23 7.7	20 6.7	11 3.7	12 4.0	8 2.7	13 4.3	71 23.7
	40代	300 100	26 8.7	27 9.0	54 18.0	32 10.7	19 6.3	24 8.0	9 3.0	11 3.7	7 2.3	10 3.3	81 27.0
	50代	300 100	12 4.0	21 7.0	69 23.0	35 11.7	20 6.7	25 8.3	14 4.7	10 3.3	6 2.0	13 4.3	75 25.0
	60代	300 100	24 8.0	19 6.3	51 17.0	35 11.7	25 8.3	24 8.0	17 5.7	15 5.0	4 1.3	15 5.0	71 23.7
	70代以上	300 100	16 5.3	16 5.3	49 16.3	49 16.3	26 8.7	25 8.3	20 6.7	11 3.7	14 4.7	14 4.7	60 20.0

(4) あなたが「好きな国産牛肉」「好んで食べたい国産牛肉」に近い画像を1つだけお選びください。

度数 横%	全体	画像1	画像2	画像3	画像4	画像5	画像6	画像7	画像8	画像9	画像10	
		(B.M.S No.1) 【1等級： 脂肪交雑 ほとんどない】	(B.M.S No.1) 【2等級： 脂肪交雑 やや少ない】	(B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	(B.M.S No.1) 【3等級： 脂肪交雑 標準】	(B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	(B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	(B.M.S No.1) 【4等級： 脂肪交雑 やや多い】	(B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	(B.M.S No.1) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	(B.M.S No.10) 【5等級： 脂肪交雑 かなり多い】	
		(写真提示なし)	(写真提示なし)									
全体	1800 100	174 9.7	134 7.4	289 16.1	213 11.8	157 8.7	203 11.3	129 7.2	149 8.3	115 6.4	237 13.2	
地域	首都圏	900 100	96 10.7	72 8.0	145 16.1	98 10.9	72 8.0	114 12.7	56 6.2	65 7.2	63 7.0	119 13.2
	京阪神圏	900 100	78 8.7	62 6.9	144 16.0	115 12.8	85 9.4	89 9.9	73 8.1	84 9.3	52 5.8	118 13.1
年代	20代	300 100	34 11.3	24 8.0	57 19.0	31 10.3	30 10.0	28 9.3	23 7.7	16 5.3	20 6.7	37 12.3
	30代	300 100	26 8.7	20 6.7	53 17.7	28 9.3	26 8.7	36 12.0	23 7.7	20 6.7	20 6.7	48 16.0
	40代	300 100	32 10.7	30 10.0	53 17.7	41 13.7	21 7.0	30 10.0	17 5.7	22 7.3	20 6.7	34 11.3
	50代	300 100	21 7.0	19 6.3	54 18.0	31 10.3	30 10.0	41 13.7	22 7.3	26 8.7	13 4.3	43 14.3
	60代	300 100	32 10.7	15 5.0	41 13.7	39 13.0	30 10.0	38 12.7	17 5.7	32 10.7	18 6.0	38 12.7
	70代以上	300 100	29 9.7	26 8.7	31 10.3	43 14.3	20 6.7	30 10.0	27 9.0	33 11.0	24 8.0	37 12.3

Q34 国産牛肉の「赤身肉」と「霜降り肉」が同じ価格であれば、どちらを購入しますか。

度数横%		全 体	赤身肉	霜降り肉
全 体		1800 <b>100</b>	719 <b>39.9</b>	1081 <b>60.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	356 <b>39.6</b>	544 <b>60.4</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	363 <b>40.3</b>	537 <b>59.7</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	151 <b>50.3</b>	149 <b>49.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	126 <b>42.0</b>	174 <b>58.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	128 <b>42.7</b>	172 <b>57.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	104 <b>34.7</b>	196 <b>65.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	114 <b>38.0</b>	186 <b>62.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	96 <b>32.0</b>	204 <b>68.0</b>

Q35 国産牛肉の「霜降り肉」を買うとした場合、「赤身肉」との価格差がどの程度であれば、購入しますか。

度数横%		全 体	「赤身肉」より、 安価でも、「霜降り肉」を 購入しない (値段に関係なく、 「赤身肉」を 購入する)	「赤身肉」より、 2割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 3割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 5割高程度 までなら、 「霜降り肉」を 購入する	「赤身肉」より、 2倍高くても、 「霜降り肉」を 購入する	値段に 関係なく、 「霜降り肉」を 購入する
全 体		1800 <b>100</b>	534 <b>29.7</b>	715 <b>39.7</b>	207 <b>11.5</b>	94 <b>5.2</b>	68 <b>3.8</b>	182 <b>10.1</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	266 <b>29.6</b>	357 <b>39.7</b>	111 <b>12.3</b>	52 <b>5.8</b>	33 <b>3.7</b>	81 <b>9.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	268 <b>29.8</b>	358 <b>39.8</b>	96 <b>10.7</b>	42 <b>4.7</b>	35 <b>3.9</b>	101 <b>11.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	109 <b>36.3</b>	98 <b>32.7</b>	25 <b>8.3</b>	18 <b>6.0</b>	6 <b>2.0</b>	44 <b>14.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	83 <b>27.7</b>	122 <b>40.7</b>	38 <b>12.7</b>	14 <b>4.7</b>	9 <b>3.0</b>	34 <b>11.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	94 <b>31.3</b>	121 <b>40.3</b>	32 <b>10.7</b>	11 <b>3.7</b>	11 <b>3.7</b>	31 <b>10.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	80 <b>26.7</b>	128 <b>42.7</b>	33 <b>11.0</b>	16 <b>5.3</b>	15 <b>5.0</b>	28 <b>9.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	89 <b>29.7</b>	124 <b>41.3</b>	32 <b>10.7</b>	17 <b>5.7</b>	13 <b>4.3</b>	25 <b>8.3</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	79 <b>26.3</b>	122 <b>40.7</b>	47 <b>15.7</b>	18 <b>6.0</b>	14 <b>4.7</b>	20 <b>6.7</b>

Q36 あなたが普段、国産牛肉を購入する際に、「赤身肉」か「霜降り肉」かを選択する頻度について、あてはまるものを1つお選びください。

度数横%		全 体	毎回、「赤身肉」 を購入する	普段は「赤身肉」 を購入するが、 たまに「霜降り肉」 も購入する	「赤身肉」と「霜降り肉」 を半々の頻度で 購入する	普段は「霜降り肉」 を購入するが、 たまに「赤身肉」 も購入する	毎回、「霜降り肉」 を購入する	国産牛肉は購入 していない・わからない
全 体		1800 <b>100</b>	362 <b>20.1</b>	582 <b>32.3</b>	280 <b>15.6</b>	159 <b>8.8</b>	88 <b>4.9</b>	329 <b>18.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	186 <b>20.7</b>	285 <b>31.7</b>	141 <b>15.7</b>	71 <b>7.9</b>	37 <b>4.1</b>	180 <b>20.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	176 <b>19.6</b>	297 <b>33.0</b>	139 <b>15.4</b>	88 <b>9.8</b>	51 <b>5.7</b>	149 <b>16.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	67 <b>22.3</b>	81 <b>27.0</b>	42 <b>14.0</b>	26 <b>8.7</b>	3 <b>1.0</b>	81 <b>27.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	72 <b>24.0</b>	87 <b>29.0</b>	43 <b>14.3</b>	22 <b>7.3</b>	13 <b>4.3</b>	63 <b>21.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	89 <b>29.7</b>	60 <b>20.0</b>	25 <b>8.3</b>	9 <b>3.0</b>	63 <b>21.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	106 <b>35.3</b>	52 <b>17.3</b>	24 <b>8.0</b>	14 <b>4.7</b>	58 <b>19.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	65 <b>21.7</b>	105 <b>35.0</b>	46 <b>15.3</b>	27 <b>9.0</b>	19 <b>6.3</b>	38 <b>12.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	58 <b>19.3</b>	114 <b>38.0</b>	37 <b>12.3</b>	35 <b>11.7</b>	30 <b>10.0</b>	26 <b>8.7</b>

Q37 あなたが主に購入する「赤身肉」と「霜降り肉」にどのような特徴を期待するか、あてはまるものを全て選択してください。なお、この牛肉は国産であるとします。

(1) 「赤身肉」(国産牛肉)

		全 体	満足感	ジューシー	やわらかさ	歯ごたえ	とろける食感	弾力	高級感	ヘルシーさ	安価	充実感	この肉は購入しない
度数横%													
全 体		1800 <b>100</b>	682 <b>37.9</b>	272 <b>15.1</b>	344 <b>19.1</b>	458 <b>25.4</b>	86 <b>4.8</b>	321 <b>17.8</b>	86 <b>4.8</b>	546 <b>30.3</b>	619 <b>34.4</b>	134 <b>7.4</b>	234 <b>13.0</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	350 <b>38.9</b>	158 <b>17.6</b>	178 <b>19.8</b>	232 <b>25.8</b>	37 <b>4.1</b>	162 <b>18.0</b>	37 <b>4.1</b>	286 <b>31.8</b>	300 <b>33.3</b>	61 <b>6.8</b>	122 <b>13.6</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	332 <b>36.9</b>	114 <b>12.7</b>	166 <b>18.4</b>	226 <b>25.1</b>	49 <b>5.4</b>	159 <b>17.7</b>	49 <b>5.4</b>	260 <b>28.9</b>	319 <b>35.4</b>	73 <b>8.1</b>	112 <b>12.4</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	123 <b>41.0</b>	42 <b>14.0</b>	48 <b>16.0</b>	58 <b>19.3</b>	17 <b>5.7</b>	42 <b>14.0</b>	15 <b>5.0</b>	56 <b>18.7</b>	55 <b>18.3</b>	23 <b>7.7</b>	54 <b>18.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	132 <b>44.0</b>	52 <b>17.3</b>	38 <b>12.7</b>	77 <b>25.7</b>	14 <b>4.7</b>	45 <b>15.0</b>	10 <b>3.3</b>	70 <b>23.3</b>	88 <b>29.3</b>	26 <b>8.7</b>	50 <b>16.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	136 <b>45.3</b>	39 <b>13.0</b>	55 <b>18.3</b>	77 <b>25.7</b>	19 <b>6.3</b>	53 <b>17.7</b>	20 <b>6.7</b>	91 <b>30.3</b>	78 <b>26.0</b>	18 <b>6.0</b>	41 <b>13.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	104 <b>34.7</b>	53 <b>17.7</b>	60 <b>20.0</b>	79 <b>26.3</b>	14 <b>4.7</b>	66 <b>22.0</b>	15 <b>5.0</b>	108 <b>36.0</b>	121 <b>40.3</b>	25 <b>8.3</b>	32 <b>10.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	107 <b>35.7</b>	39 <b>13.0</b>	67 <b>22.3</b>	82 <b>27.3</b>	11 <b>3.7</b>	51 <b>17.0</b>	11 <b>3.7</b>	111 <b>37.0</b>	125 <b>41.7</b>	18 <b>6.0</b>	33 <b>11.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	80 <b>26.7</b>	47 <b>15.7</b>	76 <b>25.3</b>	85 <b>28.3</b>	11 <b>3.7</b>	64 <b>21.3</b>	15 <b>5.0</b>	110 <b>36.7</b>	152 <b>50.7</b>	24 <b>8.0</b>	24 <b>8.0</b>

(2) 「霜降り肉」(国産牛肉)

		全 体	満足感	ジューシー	やわらかさ	歯ごたえ	とろける食感	弾力	高級感	ヘルシーさ	安価	充実感	この肉は購入しない
度数横%													
全 体		1800 <b>100</b>	550 <b>30.6</b>	606 <b>33.7</b>	727 <b>40.4</b>	102 <b>5.7</b>	666 <b>37.0</b>	84 <b>4.7</b>	562 <b>31.2</b>	67 <b>3.7</b>	98 <b>5.4</b>	210 <b>11.7</b>	275 <b>15.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	280 <b>31.1</b>	299 <b>33.2</b>	356 <b>39.6</b>	57 <b>6.3</b>	335 <b>37.2</b>	46 <b>5.1</b>	282 <b>31.3</b>	28 <b>3.1</b>	46 <b>5.1</b>	108 <b>12.0</b>	146 <b>16.2</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	270 <b>30.0</b>	307 <b>34.1</b>	371 <b>41.2</b>	45 <b>5.0</b>	331 <b>36.8</b>	38 <b>4.2</b>	280 <b>31.1</b>	39 <b>4.3</b>	52 <b>5.8</b>	102 <b>11.3</b>	129 <b>14.3</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	79 <b>26.3</b>	81 <b>27.0</b>	78 <b>26.0</b>	23 <b>7.7</b>	79 <b>26.3</b>	13 <b>4.3</b>	53 <b>17.7</b>	16 <b>5.3</b>	11 <b>3.7</b>	23 <b>7.7</b>	59 <b>19.7</b>
	30代	300 <b>100</b>	80 <b>26.7</b>	91 <b>30.3</b>	107 <b>35.7</b>	19 <b>6.3</b>	96 <b>32.0</b>	19 <b>6.3</b>	92 <b>30.7</b>	7 <b>2.3</b>	13 <b>4.3</b>	32 <b>10.7</b>	52 <b>17.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	92 <b>30.7</b>	90 <b>30.0</b>	119 <b>39.7</b>	16 <b>5.3</b>	106 <b>35.3</b>	11 <b>3.7</b>	78 <b>26.0</b>	9 <b>3.0</b>	19 <b>6.3</b>	25 <b>8.3</b>	48 <b>16.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	102 <b>34.0</b>	113 <b>37.7</b>	123 <b>41.0</b>	12 <b>4.0</b>	107 <b>35.7</b>	11 <b>3.7</b>	96 <b>32.0</b>	9 <b>3.0</b>	25 <b>8.3</b>	41 <b>13.7</b>	40 <b>13.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	89 <b>29.7</b>	108 <b>36.0</b>	142 <b>47.3</b>	12 <b>4.0</b>	137 <b>45.7</b>	12 <b>4.0</b>	110 <b>36.7</b>	11 <b>3.7</b>	16 <b>5.3</b>	36 <b>12.0</b>	42 <b>14.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	108 <b>36.0</b>	123 <b>41.0</b>	158 <b>52.7</b>	20 <b>6.7</b>	141 <b>47.0</b>	18 <b>6.0</b>	133 <b>44.3</b>	15 <b>5.0</b>	14 <b>4.7</b>	53 <b>17.7</b>	34 <b>11.3</b>

Q38 あなたが主に購入する「赤身肉」と「霜降り肉」をどのように調理して食べたいかあてはまるものを全て選択してください。なお、この牛肉は国産であるとします。

(1) 「赤身肉」(国産牛肉)

		度数 横%	全 体	焼き肉	ステーキ	すき焼き	しゃぶしゃぶ	ロースト ビーフ	ビーフカツ	ビーフ シチュー	ビーフカレー	ハヤシライ ス・ハッシュ ドビーフ	牛丼	この肉は 購入 しない
全 体			1800 <b>100</b>	905 <b>50.3</b>	589 <b>32.7</b>	407 <b>22.6</b>	301 <b>16.7</b>	424 <b>23.6</b>	337 <b>18.7</b>	491 <b>27.3</b>	592 <b>32.9</b>	420 <b>23.3</b>	442 <b>24.6</b>	250 <b>13.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	442 <b>49.1</b>	316 <b>35.1</b>	188 <b>20.9</b>	130 <b>14.4</b>	225 <b>25.0</b>	149 <b>16.6</b>	231 <b>25.7</b>	276 <b>30.7</b>	207 <b>23.0</b>	223 <b>24.8</b>	131 <b>14.6</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	463 <b>51.4</b>	273 <b>30.3</b>	219 <b>24.3</b>	171 <b>19.0</b>	199 <b>22.1</b>	188 <b>20.9</b>	260 <b>28.9</b>	316 <b>35.1</b>	213 <b>23.7</b>	219 <b>24.3</b>	119 <b>13.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	144 <b>48.0</b>	79 <b>26.3</b>	56 <b>18.7</b>	44 <b>14.7</b>	43 <b>14.3</b>	31 <b>10.3</b>	41 <b>13.7</b>	43 <b>14.3</b>	38 <b>12.7</b>	53 <b>17.7</b>	60 <b>20.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	146 <b>48.7</b>	92 <b>30.7</b>	71 <b>23.7</b>	47 <b>15.7</b>	62 <b>20.7</b>	42 <b>14.0</b>	67 <b>22.3</b>	78 <b>26.0</b>	52 <b>17.3</b>	72 <b>24.0</b>	54 <b>18.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	144 <b>48.0</b>	120 <b>40.0</b>	55 <b>18.3</b>	57 <b>19.0</b>	77 <b>25.7</b>	51 <b>17.0</b>	72 <b>24.0</b>	90 <b>30.0</b>	69 <b>23.0</b>	74 <b>24.7</b>	43 <b>14.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	164 <b>54.7</b>	103 <b>34.3</b>	60 <b>20.0</b>	49 <b>16.3</b>	83 <b>27.7</b>	63 <b>21.0</b>	93 <b>31.0</b>	111 <b>37.0</b>	89 <b>29.7</b>	77 <b>25.7</b>	38 <b>12.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	156 <b>52.0</b>	101 <b>33.7</b>	84 <b>28.0</b>	53 <b>17.7</b>	67 <b>22.3</b>	56 <b>18.7</b>	106 <b>35.3</b>	125 <b>41.7</b>	83 <b>27.7</b>	73 <b>24.3</b>	35 <b>11.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	151 <b>50.3</b>	94 <b>31.3</b>	81 <b>27.0</b>	51 <b>17.0</b>	92 <b>30.7</b>	94 <b>31.3</b>	112 <b>37.3</b>	145 <b>48.3</b>	89 <b>29.7</b>	93 <b>31.0</b>	20 <b>6.7</b>

(2) 「霜降り肉」(国産牛肉)

		度数 横%	全 体	焼き肉	ステーキ	すき焼き	しゃぶしゃぶ	ロースト ビーフ	ビーフカツ	ビーフ シチュー	ビーフカレー	ハヤシライ ス・ハッシュ ドビーフ	牛丼	この肉は 購入 しない
全 体			1800 <b>100</b>	709 <b>39.4</b>	795 <b>44.2</b>	726 <b>40.3</b>	562 <b>31.2</b>	120 <b>6.7</b>	77 <b>4.3</b>	70 <b>3.9</b>	85 <b>4.7</b>	81 <b>4.5</b>	197 <b>10.9</b>	307 <b>17.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	335 <b>37.2</b>	404 <b>44.9</b>	342 <b>38.0</b>	279 <b>31.0</b>	60 <b>6.7</b>	36 <b>4.0</b>	39 <b>4.3</b>	41 <b>4.6</b>	42 <b>4.7</b>	95 <b>10.6</b>	165 <b>18.3</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	374 <b>41.6</b>	391 <b>43.4</b>	384 <b>42.7</b>	283 <b>31.4</b>	60 <b>6.7</b>	41 <b>4.6</b>	31 <b>3.4</b>	44 <b>4.9</b>	39 <b>4.3</b>	102 <b>11.3</b>	142 <b>15.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	102 <b>34.0</b>	91 <b>30.3</b>	69 <b>23.0</b>	44 <b>14.7</b>	20 <b>6.7</b>	7 <b>2.3</b>	10 <b>3.3</b>	11 <b>3.7</b>	6 <b>2.0</b>	11 <b>3.7</b>	70 <b>23.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	123 <b>41.0</b>	113 <b>37.7</b>	96 <b>32.0</b>	76 <b>25.3</b>	19 <b>6.3</b>	10 <b>3.3</b>	15 <b>5.0</b>	11 <b>3.7</b>	9 <b>3.0</b>	22 <b>7.3</b>	59 <b>19.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	124 <b>41.3</b>	127 <b>42.3</b>	119 <b>39.7</b>	98 <b>32.7</b>	22 <b>7.3</b>	18 <b>6.0</b>	14 <b>4.7</b>	23 <b>7.7</b>	23 <b>7.7</b>	43 <b>14.3</b>	52 <b>17.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	122 <b>40.7</b>	148 <b>49.3</b>	132 <b>44.0</b>	112 <b>37.3</b>	20 <b>6.7</b>	18 <b>6.0</b>	15 <b>5.0</b>	19 <b>6.3</b>	20 <b>6.7</b>	52 <b>17.3</b>	48 <b>16.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	126 <b>42.0</b>	151 <b>50.3</b>	144 <b>48.0</b>	95 <b>31.7</b>	17 <b>5.7</b>	9 <b>3.0</b>	7 <b>2.3</b>	7 <b>2.3</b>	10 <b>3.3</b>	30 <b>10.0</b>	44 <b>14.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	112 <b>37.3</b>	165 <b>55.0</b>	166 <b>55.3</b>	137 <b>45.7</b>	22 <b>7.3</b>	15 <b>5.0</b>	9 <b>3.0</b>	14 <b>4.7</b>	13 <b>4.3</b>	39 <b>13.0</b>	34 <b>11.3</b>

Q39 5年前と比べた場合の、現在のあなたの「赤身肉」と「霜降り肉」の嗜好の傾向について、あてはまるものを1つ選んでください。

度数 横%		全 体	「赤身肉」をより 嗜好するようになった	もともと「赤身肉」が好き (好みは変わらない)	もともと「霜降り肉」も 「赤身肉」も 同じ程度好き (好みは変わらない)	もともと「霜降り肉」が 好き (好みは変わらない)	「霜降り肉」をより 嗜好するようになった
全 体		1800 100	264 14.7	407 22.6	681 37.8	350 19.4	98 5.4
地域	首都圏	900 100	126 14.0	203 22.6	345 38.3	184 20.4	42 4.7
	京阪神圏	900 100	138 15.3	204 22.7	336 37.3	166 18.4	56 6.2
年代	20代	300 100	57 19.0	69 23.0	112 37.3	32 10.7	30 10.0
	30代	300 100	41 13.7	67 22.3	121 40.3	47 15.7	24 8.0
	40代	300 100	37 12.3	73 24.3	109 36.3	68 22.7	13 4.3
	50代	300 100	49 16.3	59 19.7	115 38.3	70 23.3	7 2.3
	60代	300 100	46 15.3	71 23.7	111 37.0	59 19.7	13 4.3
	70代以上	300 100	34 11.3	68 22.7	113 37.7	74 24.7	11 3.7

Q40 5年前と比較し、「赤身肉」と「霜降り肉」を購入する割合の変化について、あてはまるものを1つ選んでください。

度数 横%		全 体	「赤身肉」より、 「霜降り肉」を購入 する割合が増えた	「赤身肉」と「霜降り肉」 の購入の割合は 変わらない	「霜降り肉」より、 「赤身肉」の購入 割合が増えた	わからない
全 体		1800 100	155 8.6	895 49.7	352 19.6	398 22.1
地域	首都圏	900 100	69 7.7	469 52.1	160 17.8	202 22.4
	京阪神圏	900 100	86 9.6	426 47.3	192 21.3	196 21.8
年代	20代	300 100	43 14.3	128 42.7	47 15.7	82 27.3
	30代	300 100	25 8.3	135 45.0	60 20.0	80 26.7
	40代	300 100	20 6.7	155 51.7	48 16.0	77 25.7
	50代	300 100	19 6.3	162 54.0	57 19.0	62 20.7
	60代	300 100	19 6.3	154 51.3	73 24.3	54 18.0
	70代以上	300 100	29 9.7	161 53.7	67 22.3	43 14.3

Q41 あなたは、国産牛肉の格付（A5、A4、A3等）について、ご存じですか。

度数 横%		全 体	詳しく知っている	ある程度知っている、	A5やA4等という 言葉は聞いたことが ある・知っている	知らない
全 体		1800 <b>100</b>	70 <b>3.9</b>	513 <b>28.5</b>	827 <b>45.9</b>	390 <b>21.7</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	42 <b>4.7</b>	256 <b>28.4</b>	406 <b>45.1</b>	196 <b>21.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	28 <b>3.1</b>	257 <b>28.6</b>	421 <b>46.8</b>	194 <b>21.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	76 <b>25.3</b>	123 <b>41.0</b>	73 <b>24.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	68 <b>22.7</b>	140 <b>46.7</b>	77 <b>25.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	71 <b>23.7</b>	158 <b>52.7</b>	62 <b>20.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	82 <b>27.3</b>	154 <b>51.3</b>	60 <b>20.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	112 <b>37.3</b>	131 <b>43.7</b>	53 <b>17.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	104 <b>34.7</b>	121 <b>40.3</b>	65 <b>21.7</b>

Q42 (1) 「A5の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

度数 横%		全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが多い)	赤身が多い	高級	価格が手頃	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない
全 体	1800 100	933 51.8	656 36.4	682 37.9	73 4.1	660 36.7	49 2.7	451 25.1	107 5.9	61 3.4	498 27.7	
地域	首都圏	900 100	474 52.7	337 37.4	329 36.6	30 3.3	333 37.0	25 2.8	232 25.8	47 5.2	32 3.6	252 28.0
	京阪神圏	900 100	459 51.0	319 35.4	353 39.2	43 4.8	327 36.3	24 2.7	219 24.3	60 6.7	29 3.2	246 27.3
年代	20代	300 100	149 49.7	85 28.3	74 24.7	20 6.7	81 27.0	11 3.7	44 14.7	8 2.7	7 2.3	83 27.7
	30代	300 100	149 49.7	91 30.3	107 35.7	12 4.0	97 32.3	8 2.7	65 21.7	10 3.3	9 3.0	89 29.7
	40代	300 100	150 50.0	104 34.7	111 37.0	9 3.0	104 34.7	9 3.0	60 20.0	16 5.3	12 4.0	80 26.7
	50代	300 100	168 56.0	109 36.3	116 38.7	11 3.7	124 41.3	9 3.0	81 27.0	14 4.7	14 4.7	80 26.7
	60代	300 100	162 54.0	130 43.3	139 46.3	9 3.0	130 43.3	5 1.7	90 30.0	17 5.7	9 3.0	72 24.0
	70代以上	300 100	155 51.7	137 45.7	135 45.0	12 4.0	124 41.3	7 2.3	111 37.0	42 14.0	10 3.3	94 31.3

Q42 (2) 次に、「A3の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

度数 横%		全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが多い)	赤身が多い	高級	価格が手頃	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない
全 体	1800 100	516 28.7	360 20.0	189 10.5	225 12.5	179 9.9	199 11.1	131 7.3	103 5.7	105 5.8	677 37.6	
地域	首都圏	900 100	269 29.9	163 18.1	92 10.2	109 12.1	90 10.0	89 9.9	69 7.7	55 6.1	49 5.4	348 38.7
	京阪神圏	900 100	247 27.4	197 21.9	97 10.8	116 12.9	89 9.9	110 12.2	62 6.9	48 5.3	56 6.2	329 36.6
年代	20代	300 100	93 31.0	58 19.3	35 11.7	24 8.0	39 13.0	18 6.0	26 8.7	5 1.7	5 1.7	110 36.7
	30代	300 100	92 30.7	58 19.3	32 10.7	31 10.3	24 8.0	24 8.0	21 7.0	12 4.0	12 4.0	121 40.3
	40代	300 100	97 32.3	70 23.3	31 10.3	20 6.7	40 13.3	20 6.7	20 6.7	17 5.7	13 4.3	115 38.3
	50代	300 100	105 35.0	61 20.3	31 10.3	34 11.3	25 8.3	28 9.3	27 9.0	16 5.3	21 7.0	119 39.7
	60代	300 100	80 26.7	64 21.3	34 11.3	51 17.0	28 9.3	45 15.0	21 7.0	18 6.0	19 6.3	103 34.3
	70代以上	300 100	49 16.3	49 16.3	26 8.7	65 21.7	23 7.7	64 21.3	16 5.3	35 11.7	35 11.7	109 36.3

Q42 (3) 次に、「B5の国産牛肉」のイメージについて、あてはまるものを全て選んでください。

度数 横%		全 体	美味しい	柔らかい	霜降り (サシが多い)	赤身が多い	高級	価格が手頃	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない
全 体	1800 100	313 17.4	129 7.2	100 5.6	331 18.4	76 4.2	471 26.2	63 3.5	62 3.4	161 8.9	775 43.1	
地域	首都圏	900 100	159 17.7	62 6.9	40 4.4	154 17.1	42 4.7	230 25.6	32 3.6	33 3.7	74 8.2	395 43.9
	京阪神圏	900 100	154 17.1	67 7.4	60 6.7	177 19.7	34 3.8	241 26.8	31 3.4	29 3.2	87 9.7	380 42.2
年代	20代	300 100	73 24.3	22 7.3	23 7.7	39 13.0	18 6.0	49 16.3	13 4.3	11 3.7	10 3.3	117 39.0
	30代	300 100	55 18.3	23 7.7	19 6.3	44 14.7	11 3.7	60 20.0	11 3.7	5 1.7	18 6.0	140 46.7
	40代	300 100	65 21.7	24 8.0	14 4.7	39 13.0	20 6.7	64 21.3	14 4.7	10 3.3	21 7.0	133 44.3
	50代	300 100	57 19.0	20 6.7	18 6.0	53 17.7	6 2.0	94 31.3	10 3.3	15 5.0	24 8.0	133 44.3
	60代	300 100	43 14.3	25 8.3	15 5.0	76 25.3	10 3.3	94 31.3	8 2.7	9 3.0	32 10.7	120 40.0
	70代以上	300 100	20 6.7	15 5.0	11 3.7	80 26.7	11 3.7	110 36.7	7 2.3	12 4.0	56 18.7	132 44.0

Q43 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国産牛肉の「格付」は、「歩留等級」を表すアルファベットと「肉質等級」を表す数字の組み合わせで表示され、牛肉の品質を客観的に評価するものです。

歩留りは、牛1頭から肉がどれだけ取れるかを示します。A、B、Cの3段階で評価し、C→B→Aの順に等級が高く、等級が高いほど多くの牛肉が取れることになります。

肉質は、「脂肪交雑」「肉の色沢」「肉の締まり及びきめ」「脂肪の色沢と質」の4項目それぞれを1～5の等級で評価し、(1→2→3→4→5と等級が高くなるほど、脂肪交雑が多い、肉色が良いものとなります)4項目のうち最も低かった数値が肉質等級になります。

あなたは、「国産牛肉の格付」について、どの程度関心がありますか。

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	全く 関心がない
全 体		1800 <b>100</b>	126 <b>7.0</b>	534 <b>29.7</b>	582 <b>32.3</b>	360 <b>20.0</b>	198 <b>11.0</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	69 <b>7.7</b>	267 <b>29.7</b>	280 <b>31.1</b>	183 <b>20.3</b>	101 <b>11.2</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	57 <b>6.3</b>	267 <b>29.7</b>	302 <b>33.6</b>	177 <b>19.7</b>	97 <b>10.8</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	93 <b>31.0</b>	79 <b>26.3</b>	51 <b>17.0</b>	43 <b>14.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	87 <b>29.0</b>	103 <b>34.3</b>	47 <b>15.7</b>	43 <b>14.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	22 <b>7.3</b>	76 <b>25.3</b>	109 <b>36.3</b>	54 <b>18.0</b>	39 <b>13.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	81 <b>27.0</b>	105 <b>35.0</b>	72 <b>24.0</b>	27 <b>9.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	93 <b>31.0</b>	107 <b>35.7</b>	65 <b>21.7</b>	23 <b>7.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	104 <b>34.7</b>	79 <b>26.3</b>	71 <b>23.7</b>	23 <b>7.7</b>

Q44 国産牛肉には、国産和牛、交雑種、乳用種（ホルスタイン種など）とありますが、あなたは違いをご存じですか。

度数 横%		全 体	詳しく知っている	ある程度 知っている	言葉は聞いたことが ある・知っている	知らない
全 体		1800 <b>100</b>	55 <b>3.1</b>	400 <b>22.2</b>	761 <b>42.3</b>	584 <b>32.4</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	32 <b>3.6</b>	205 <b>22.8</b>	370 <b>41.1</b>	293 <b>32.6</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	23 <b>2.6</b>	195 <b>21.7</b>	391 <b>43.4</b>	291 <b>32.3</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	69 <b>23.0</b>	95 <b>31.7</b>	112 <b>37.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	58 <b>19.3</b>	116 <b>38.7</b>	115 <b>38.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	55 <b>18.3</b>	135 <b>45.0</b>	104 <b>34.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	3 <b>1.0</b>	68 <b>22.7</b>	134 <b>44.7</b>	95 <b>31.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	76 <b>25.3</b>	144 <b>48.0</b>	78 <b>26.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	74 <b>24.7</b>	137 <b>45.7</b>	80 <b>26.7</b>

Q45 国産和牛以外の国産牛肉には、交雑種と乳用種（ホルスタイン種など）があります。

乳用種は主にホルスタイン種など牛乳・乳製品の原料である生乳を生産する品種の牛です。交雑種は乳用種と和牛を掛け合わせた牛で、和牛よりも早く大きくなる一方、乳用種より肉質が良いという特徴があります。これらの牛は、一般に和牛よりは脂肪交雑が少ないといわれています。

国産和牛、交雑種の国産牛肉、乳用種（ホルスタイン種など）の国産牛肉について、それぞれあてはまるイメージを全てお選びください。

【1. 国産和牛】

度数横%		全 体	柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
全 体		1800	389	467	68	347	495	227	561	50	41
		<b>100</b>	<b>21.6</b>	<b>25.9</b>	<b>3.8</b>	<b>19.3</b>	<b>27.5</b>	<b>12.6</b>	<b>31.2</b>	<b>2.8</b>	<b>2.3</b>
地域	首都圏	900	196	240	32	168	268	110	280	27	20
		<b>100</b>	<b>21.8</b>	<b>26.7</b>	<b>3.6</b>	<b>18.7</b>	<b>29.8</b>	<b>12.2</b>	<b>31.1</b>	<b>3.0</b>	<b>2.2</b>
	京阪神圏	900	193	227	36	179	227	117	281	23	21
		<b>100</b>	<b>21.4</b>	<b>25.2</b>	<b>4.0</b>	<b>19.9</b>	<b>25.2</b>	<b>13.0</b>	<b>31.2</b>	<b>2.6</b>	<b>2.3</b>
年代	20代	300	37	41	14	41	55	36	60	14	16
		<b>100</b>	<b>12.3</b>	<b>13.7</b>	<b>4.7</b>	<b>13.7</b>	<b>18.3</b>	<b>12.0</b>	<b>20.0</b>	<b>4.7</b>	<b>5.3</b>
	30代	300	50	61	12	51	65	26	70	10	4
		<b>100</b>	<b>16.7</b>	<b>20.3</b>	<b>4.0</b>	<b>17.0</b>	<b>21.7</b>	<b>8.7</b>	<b>23.3</b>	<b>3.3</b>	<b>1.3</b>
	40代	300	57	57	16	56	65	32	83	8	6
		<b>100</b>	<b>19.0</b>	<b>19.0</b>	<b>5.3</b>	<b>18.7</b>	<b>21.7</b>	<b>10.7</b>	<b>27.7</b>	<b>2.7</b>	<b>2.0</b>
	50代	300	81	89	10	68	87	36	101	8	5
	<b>100</b>	<b>27.0</b>	<b>29.7</b>	<b>3.3</b>	<b>22.7</b>	<b>29.0</b>	<b>12.0</b>	<b>33.7</b>	<b>2.7</b>	<b>1.7</b>	
	60代	300	80	98	7	54	94	45	107	5	4
		<b>100</b>	<b>26.7</b>	<b>32.7</b>	<b>2.3</b>	<b>18.0</b>	<b>31.3</b>	<b>15.0</b>	<b>35.7</b>	<b>1.7</b>	<b>1.3</b>
	70代以上	300	84	121	9	77	129	52	140	5	6
		<b>100</b>	<b>28.0</b>	<b>40.3</b>	<b>3.0</b>	<b>25.7</b>	<b>43.0</b>	<b>17.3</b>	<b>46.7</b>	<b>1.7</b>	<b>2.0</b>

度数横%		全 体	おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない・あてはまるイメージはない
全 体		1800	507	155	245	88	454	144	49	411
		<b>100</b>	<b>28.2</b>	<b>8.6</b>	<b>13.6</b>	<b>4.9</b>	<b>25.2</b>	<b>8.0</b>	<b>2.7</b>	<b>22.8</b>
地域	首都圏	900	253	75	125	44	219	58	15	199
		<b>100</b>	<b>28.1</b>	<b>8.3</b>	<b>13.9</b>	<b>4.9</b>	<b>24.3</b>	<b>6.4</b>	<b>1.7</b>	<b>22.1</b>
	京阪神圏	900	254	80	120	44	235	86	34	212
		<b>100</b>	<b>28.2</b>	<b>8.9</b>	<b>13.3</b>	<b>4.9</b>	<b>26.1</b>	<b>9.6</b>	<b>3.8</b>	<b>23.6</b>
年代	20代	300	59	20	22	11	47	15	15	73
		<b>100</b>	<b>19.7</b>	<b>6.7</b>	<b>7.3</b>	<b>3.7</b>	<b>15.7</b>	<b>5.0</b>	<b>5.0</b>	<b>24.3</b>
	30代	300	79	27	44	18	52	10	8	73
		<b>100</b>	<b>26.3</b>	<b>9.0</b>	<b>14.7</b>	<b>6.0</b>	<b>17.3</b>	<b>3.3</b>	<b>2.7</b>	<b>24.3</b>
	40代	300	76	22	42	17	66	20	12	82
		<b>100</b>	<b>25.3</b>	<b>7.3</b>	<b>14.0</b>	<b>5.7</b>	<b>22.0</b>	<b>6.7</b>	<b>4.0</b>	<b>27.3</b>
	50代	300	93	29	38	18	94	17	6	69
	<b>100</b>	<b>31.0</b>	<b>9.7</b>	<b>12.7</b>	<b>6.0</b>	<b>31.3</b>	<b>5.7</b>	<b>2.0</b>	<b>23.0</b>	
	60代	300	96	30	44	9	97	30	4	62
		<b>100</b>	<b>32.0</b>	<b>10.0</b>	<b>14.7</b>	<b>3.0</b>	<b>32.3</b>	<b>10.0</b>	<b>1.3</b>	<b>20.7</b>
	70代以上	300	104	27	55	15	98	52	4	52
		<b>100</b>	<b>34.7</b>	<b>9.0</b>	<b>18.3</b>	<b>5.0</b>	<b>32.7</b>	<b>17.3</b>	<b>1.3</b>	<b>17.3</b>

【2. 交雑種の国産牛肉】

度数横%		全 体	柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
全 体		1800	95	57	202	152	83	85	61	361	228
		<b>100</b>	<b>5.3</b>	<b>3.2</b>	<b>11.2</b>	<b>8.4</b>	<b>4.6</b>	<b>4.7</b>	<b>3.4</b>	<b>20.1</b>	<b>12.7</b>
地域	首都圏	900	46	30	98	77	50	43	34	157	104
		<b>100</b>	<b>5.1</b>	<b>3.3</b>	<b>10.9</b>	<b>8.6</b>	<b>5.6</b>	<b>4.8</b>	<b>3.8</b>	<b>17.4</b>	<b>11.6</b>
	京阪神圏	900	49	27	104	75	33	42	27	204	124
		<b>100</b>	<b>5.4</b>	<b>3.0</b>	<b>11.6</b>	<b>8.3</b>	<b>3.7</b>	<b>4.7</b>	<b>3.0</b>	<b>22.7</b>	<b>13.8</b>
年代	20代	300	14	11	21	23	18	13	18	32	27
		<b>100</b>	<b>4.7</b>	<b>3.7</b>	<b>7.0</b>	<b>7.7</b>	<b>6.0</b>	<b>4.3</b>	<b>6.0</b>	<b>10.7</b>	<b>9.0</b>
	30代	300	14	11	27	21	13	14	6	56	29
		<b>100</b>	<b>4.7</b>	<b>3.7</b>	<b>9.0</b>	<b>7.0</b>	<b>4.3</b>	<b>4.7</b>	<b>2.0</b>	<b>18.7</b>	<b>9.7</b>
	40代	300	21	9	20	25	16	16	17	37	30
		<b>100</b>	<b>7.0</b>	<b>3.0</b>	<b>6.7</b>	<b>8.3</b>	<b>5.3</b>	<b>5.3</b>	<b>5.7</b>	<b>12.3</b>	<b>10.0</b>
	50代	300	15	7	36	25	12	11	7	77	45
		<b>100</b>	<b>5.0</b>	<b>2.3</b>	<b>12.0</b>	<b>8.3</b>	<b>4.0</b>	<b>3.7</b>	<b>2.3</b>	<b>25.7</b>	<b>15.0</b>
60代	300	15	7	43	22	14	12	6	62	38	
	<b>100</b>	<b>5.0</b>	<b>2.3</b>	<b>14.3</b>	<b>7.3</b>	<b>4.7</b>	<b>4.0</b>	<b>2.0</b>	<b>20.7</b>	<b>12.7</b>	
70代以上	300	16	12	55	36	10	19	7	97	59	
	<b>100</b>	<b>5.3</b>	<b>4.0</b>	<b>18.3</b>	<b>12.0</b>	<b>3.3</b>	<b>6.3</b>	<b>2.3</b>	<b>32.3</b>	<b>19.7</b>	

度数横%		全 体	おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	驚沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない・あてはまるイメージはない
全 体		1800	213	175	101	130	59	50	102	719
		<b>100</b>	<b>11.8</b>	<b>9.7</b>	<b>5.6</b>	<b>7.2</b>	<b>3.3</b>	<b>2.8</b>	<b>5.7</b>	<b>39.9</b>
地域	首都圏	900	109	75	46	59	30	23	39	381
		<b>100</b>	<b>12.1</b>	<b>8.3</b>	<b>5.1</b>	<b>6.6</b>	<b>3.3</b>	<b>2.6</b>	<b>4.3</b>	<b>42.3</b>
	京阪神圏	900	104	100	55	71	29	27	63	338
		<b>100</b>	<b>11.6</b>	<b>11.1</b>	<b>6.1</b>	<b>7.9</b>	<b>3.2</b>	<b>3.0</b>	<b>7.0</b>	<b>37.6</b>
年代	20代	300	32	17	15	18	23	5	13	119
		<b>100</b>	<b>10.7</b>	<b>5.7</b>	<b>5.0</b>	<b>6.0</b>	<b>7.7</b>	<b>1.7</b>	<b>4.3</b>	<b>39.7</b>
	30代	300	30	33	16	16	6	6	13	128
		<b>100</b>	<b>10.0</b>	<b>11.0</b>	<b>5.3</b>	<b>5.3</b>	<b>2.0</b>	<b>2.0</b>	<b>4.3</b>	<b>42.7</b>
	40代	300	39	22	17	21	10	10	18	132
		<b>100</b>	<b>13.0</b>	<b>7.3</b>	<b>5.7</b>	<b>7.0</b>	<b>3.3</b>	<b>3.3</b>	<b>6.0</b>	<b>44.0</b>
	50代	300	33	29	15	23	5	8	12	124
	<b>100</b>	<b>11.0</b>	<b>9.7</b>	<b>5.0</b>	<b>7.7</b>	<b>1.7</b>	<b>2.7</b>	<b>4.0</b>	<b>41.3</b>	
60代	300	42	33	18	24	6	4	19	114	
	<b>100</b>	<b>14.0</b>	<b>11.0</b>	<b>6.0</b>	<b>8.0</b>	<b>2.0</b>	<b>1.3</b>	<b>6.3</b>	<b>38.0</b>	
70代以上	300	37	41	20	28	9	17	27	102	
	<b>100</b>	<b>12.3</b>	<b>13.7</b>	<b>6.7</b>	<b>9.3</b>	<b>3.0</b>	<b>5.7</b>	<b>9.0</b>	<b>34.0</b>	

【3. 乳用種（ホルスタイン種など）の国産牛肉】

度数横%		全 体	柔らかい	霜降り	赤身が多い	安全・安心	高品質	飼育環境がよい	高級	価格が手頃	特売
全 体		1800 <b>100</b>	71 <b>3.9</b>	35 <b>1.9</b>	141 <b>7.8</b>	115 <b>6.4</b>	56 <b>3.1</b>	96 <b>5.3</b>	55 <b>3.1</b>	330 <b>18.3</b>	225 <b>12.5</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	34 <b>3.8</b>	21 <b>2.3</b>	67 <b>7.4</b>	63 <b>7.0</b>	31 <b>3.4</b>	52 <b>5.8</b>	29 <b>3.2</b>	145 <b>16.1</b>	106 <b>11.8</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	37 <b>4.1</b>	14 <b>1.6</b>	74 <b>8.2</b>	52 <b>5.8</b>	25 <b>2.8</b>	44 <b>4.9</b>	26 <b>2.9</b>	185 <b>20.6</b>	119 <b>13.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	6 <b>2.0</b>	13 <b>4.3</b>	13 <b>4.3</b>	16 <b>5.3</b>	19 <b>6.3</b>	18 <b>6.0</b>	34 <b>11.3</b>	19 <b>6.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	9 <b>3.0</b>	29 <b>9.7</b>	16 <b>5.3</b>	14 <b>4.7</b>	11 <b>3.7</b>	3 <b>1.0</b>	47 <b>15.7</b>	37 <b>12.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	8 <b>2.7</b>	13 <b>4.3</b>	22 <b>7.3</b>	7 <b>2.3</b>	24 <b>8.0</b>	13 <b>4.3</b>	35 <b>11.7</b>	26 <b>8.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	1 <b>0.3</b>	22 <b>7.3</b>	21 <b>7.0</b>	6 <b>2.0</b>	19 <b>6.3</b>	9 <b>3.0</b>	63 <b>21.0</b>	45 <b>15.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	4 <b>1.3</b>	27 <b>9.0</b>	15 <b>5.0</b>	10 <b>3.3</b>	9 <b>3.0</b>	6 <b>2.0</b>	63 <b>21.0</b>	44 <b>14.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	7 <b>2.3</b>	37 <b>12.3</b>	28 <b>9.3</b>	3 <b>1.0</b>	14 <b>4.7</b>	6 <b>2.0</b>	88 <b>29.3</b>	54 <b>18.0</b>

度数横%		全 体	おいしい	赤身がおいしい	和食に合う	洋食に合う	贅沢感がある	シニア向き	若者向き	わからない・あてはまるイメージはない
全 体		1800 <b>100</b>	140 <b>7.8</b>	102 <b>5.7</b>	64 <b>3.6</b>	113 <b>6.3</b>	51 <b>2.8</b>	51 <b>2.8</b>	117 <b>6.5</b>	849 <b>47.2</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	71 <b>7.9</b>	50 <b>5.6</b>	30 <b>3.3</b>	54 <b>6.0</b>	31 <b>3.4</b>	32 <b>3.6</b>	44 <b>4.9</b>	433 <b>48.1</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	69 <b>7.7</b>	52 <b>5.8</b>	34 <b>3.8</b>	59 <b>6.6</b>	20 <b>2.2</b>	19 <b>2.1</b>	73 <b>8.1</b>	416 <b>46.2</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	16 <b>5.3</b>	15 <b>5.0</b>	11 <b>3.7</b>	12 <b>4.0</b>	16 <b>5.3</b>	15 <b>5.0</b>	129 <b>43.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	15 <b>5.0</b>	17 <b>5.7</b>	20 <b>6.7</b>	5 <b>1.7</b>	4 <b>1.3</b>	17 <b>5.7</b>	139 <b>46.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	21 <b>7.0</b>	18 <b>6.0</b>	14 <b>4.7</b>	10 <b>3.3</b>	7 <b>2.3</b>	15 <b>5.0</b>	148 <b>49.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	14 <b>4.7</b>	6 <b>2.0</b>	22 <b>7.3</b>	8 <b>2.7</b>	6 <b>2.0</b>	14 <b>4.7</b>	153 <b>51.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	13 <b>4.3</b>	3 <b>1.0</b>	19 <b>6.3</b>	8 <b>2.7</b>	5 <b>1.7</b>	26 <b>8.7</b>	147 <b>49.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	23 <b>7.7</b>	5 <b>1.7</b>	27 <b>9.0</b>	8 <b>2.7</b>	13 <b>4.3</b>	30 <b>10.0</b>	133 <b>44.3</b>

Q46 あなたは、スーパー等で牛肉を購入する際に「交雑種」や「乳用種（ホルスタイン種など）」の表示を見たことがありますか。

度数 横%		全 体	「交雑種」、「乳用種 (ホルスタイン種など)」 とも見たことがある	「交雑種」は見たことが あるが、「乳用種(ホル スタイン種など)」は見 たことがない	「乳用種(ホルスタイン 種など)」は見たことが あるが、「交雑種」は見 たことがない	「交雑種」、「乳用種 (ホルスタイン種など)」 とも見たことはない	わからない
全 体		1800 100	121 6.7	292 16.2	96 5.3	545 30.3	746 41.4
地域	首都圏	900 100	68 7.6	115 12.8	56 6.2	286 31.8	375 41.7
	京阪神圏	900 100	53 5.9	177 19.7	40 4.4	259 28.8	371 41.2
年代	20代	300 100	22 7.3	55 18.3	14 4.7	87 29.0	122 40.7
	30代	300 100	17 5.7	48 16.0	17 5.7	88 29.3	130 43.3
	40代	300 100	18 6.0	41 13.7	22 7.3	69 23.0	150 50.0
	50代	300 100	21 7.0	43 14.3	13 4.3	87 29.0	136 45.3
	60代	300 100	19 6.3	44 14.7	19 6.3	111 37.0	107 35.7
	70代以上	300 100	24 8.0	61 20.3	11 3.7	103 34.3	101 33.7

Q47 燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

あなたは、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響による不安を感じますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	409 22.7	590 32.8	574 31.9	103 5.7	124 6.9
地域	首都圏	900 100	214 23.8	286 31.8	287 31.9	51 5.7	62 6.9
	京阪神圏	900 100	195 21.7	304 33.8	287 31.9	52 5.8	62 6.9
年代	20代	300 100	61 20.3	94 31.3	76 25.3	29 9.7	40 13.3
	30代	300 100	61 20.3	89 29.7	103 34.3	18 6.0	29 9.7
	40代	300 100	60 20.0	94 31.3	109 36.3	17 5.7	20 6.7
	50代	300 100	84 28.0	78 26.0	112 37.3	15 5.0	11 3.7
	60代	300 100	57 19.0	115 38.3	102 34.0	14 4.7	12 4.0
	70代以上	300 100	86 28.7	120 40.0	72 24.0	10 3.3	12 4.0

Q48 燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

では、円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響により、今年の今頃と比べ、「食品の購入や調理、中食や外食など食生活」について、実際にあなたのご家庭に影響がありましたか。最も近いものをお選びください。

度数横%		全 体	影響があった	どちらかといえば 影響があった	どちらともいえない	どちらかといえば 影響がなかった	影響がなかった
全 体		1800 <b>100</b>	301 <b>16.7</b>	551 <b>30.6</b>	708 <b>39.3</b>	126 <b>7.0</b>	114 <b>6.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	145 <b>16.1</b>	263 <b>29.2</b>	364 <b>40.4</b>	71 <b>7.9</b>	57 <b>6.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	156 <b>17.3</b>	288 <b>32.0</b>	344 <b>38.2</b>	55 <b>6.1</b>	57 <b>6.3</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	31 <b>10.3</b>	97 <b>32.3</b>	105 <b>35.0</b>	33 <b>11.0</b>	34 <b>11.3</b>
	30代	300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	83 <b>27.7</b>	125 <b>41.7</b>	24 <b>8.0</b>	22 <b>7.3</b>
	40代	300 <b>100</b>	48 <b>16.0</b>	89 <b>29.7</b>	127 <b>42.3</b>	17 <b>5.7</b>	19 <b>6.3</b>
	50代	300 <b>100</b>	67 <b>22.3</b>	75 <b>25.0</b>	128 <b>42.7</b>	16 <b>5.3</b>	14 <b>4.7</b>
	60代	300 <b>100</b>	38 <b>12.7</b>	108 <b>36.0</b>	121 <b>40.3</b>	19 <b>6.3</b>	14 <b>4.7</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	71 <b>23.7</b>	99 <b>33.0</b>	102 <b>34.0</b>	17 <b>5.7</b>	11 <b>3.7</b>

Q49 燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

円安や資源価格高騰等による物価上昇の影響により、実際にあなたのご家庭に影響があった事項についてお伺いします。

今年の今頃と比べ、「物価上昇」により、次にあげるような影響がありましたか。それぞれの事項について、あてはまる食品を全てお選びください。

【1. 購入量が減った】

度数横%		全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体		1800 100	335 18.6	168 9.3	141 7.8	178 9.9	146 8.1	210 11.7	119 6.6	108 6.0	126 7.0
地域	首都圏	900 100	163 18.1	82 9.1	68 7.6	83 9.2	66 7.3	103 11.4	49 5.4	48 5.3	55 6.1
	京阪神圏	900 100	172 19.1	86 9.6	73 8.1	95 10.6	80 8.9	107 11.9	70 7.8	60 6.7	71 7.9
年代	20代	300 100	53 17.7	24 8.0	20 6.7	25 8.3	23 7.7	22 7.3	13 4.3	13 4.3	13 4.3
	30代	300 100	48 16.0	29 9.7	19 6.3	22 7.3	22 7.3	26 8.7	13 4.3	14 4.7	16 5.3
	40代	300 100	61 20.3	25 8.3	25 8.3	29 9.7	23 7.7	34 11.3	20 6.7	19 6.3	23 7.7
	50代	300 100	57 19.0	40 13.3	36 12.0	46 15.3	34 11.3	42 14.0	27 9.0	21 7.0	28 9.3
	60代	300 100	55 18.3	27 9.0	22 7.3	29 9.7	20 6.7	43 14.3	25 8.3	24 8.0	25 8.3
	70代以上	300 100	61 20.3	23 7.7	19 6.3	27 9.0	24 8.0	43 14.3	21 7.0	17 5.7	21 7.0

度数横%		全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体		1800 100	120 6.7	125 6.9	110 6.1	117 6.5	180 10.0	178 9.9	212 11.8	199 11.1	965 53.6
地域	首都圏	900 100	51 5.7	52 5.8	43 4.8	50 5.6	86 9.6	80 8.9	99 11.0	101 11.2	490 54.4
	京阪神圏	900 100	69 7.7	73 8.1	67 7.4	67 7.4	94 10.4	98 10.9	113 12.6	98 10.9	475 52.8
年代	20代	300 100	21 7.0	12 4.0	14 4.7	11 3.7	15 5.0	15 5.0	26 8.7	27 9.0	165 55.0
	30代	300 100	18 6.0	16 5.3	17 5.7	17 5.7	24 8.0	24 8.0	26 8.7	28 9.3	159 53.0
	40代	300 100	18 6.0	18 6.0	14 4.7	18 6.0	29 9.7	29 9.7	41 13.7	35 11.7	177 59.0
	50代	300 100	28 9.3	28 9.3	28 9.3	26 8.7	46 15.3	46 15.3	46 15.3	47 15.7	151 50.3
	60代	300 100	20 6.7	27 9.0	21 7.0	25 8.3	33 11.0	30 10.0	35 11.7	30 10.0	163 54.3
	70代以上	300 100	15 5.0	24 8.0	16 5.3	20 6.7	33 11.0	34 11.3	38 12.7	32 10.7	150 50.0

【2. 購入回数が減った】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 100	274 15.2	218 12.1	139 7.7	182 10.1	162 9.0	199 11.1	120 6.7	115 6.4	161 8.9
地域	首都圏		900 100	156 17.3	96 10.7	66 7.3	86 9.6	79 8.8	101 11.2	50 5.6	54 6.0	82 9.1
	京阪神圏		900 100	118 13.1	122 13.6	73 8.1	96 10.7	83 9.2	98 10.9	70 7.8	61 6.8	79 8.8
年代	20代		300 100	42 14.0	34 11.3	21 7.0	25 8.3	22 7.3	23 7.7	16 5.3	15 5.0	29 9.7
	30代		300 100	32 10.7	31 10.3	21 7.0	36 12.0	24 8.0	34 11.3	13 4.3	18 6.0	24 8.0
	40代		300 100	54 18.0	44 14.7	28 9.3	29 9.7	29 9.7	27 9.0	21 7.0	14 4.7	27 9.0
	50代		300 100	48 16.0	36 12.0	26 8.7	28 9.3	26 8.7	37 12.3	28 9.3	26 8.7	30 10.0
	60代		300 100	53 17.7	34 11.3	23 7.7	41 13.7	34 11.3	42 14.0	26 8.7	27 9.0	30 10.0
	70代以上		300 100	45 15.0	39 13.0	20 6.7	23 7.7	27 9.0	36 12.0	16 5.3	15 5.0	21 7.0

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	122 6.8	147 8.2	118 6.6	131 7.3	177 9.8	180 10.0	227 12.6	198 11.0	946 52.6
地域	首都圏		900 100	52 5.8	63 7.0	52 5.8	53 5.9	89 9.9	90 10.0	120 13.3	110 12.2	465 51.7
	京阪神圏		900 100	70 7.8	84 9.3	66 7.3	78 8.7	88 9.8	90 10.0	107 11.9	88 9.8	481 53.4
年代	20代		300 100	17 5.7	18 6.0	17 5.7	20 6.7	20 6.7	20 6.7	24 8.0	30 10.0	158 52.7
	30代		300 100	19 6.3	20 6.7	16 5.3	23 7.7	20 6.7	35 11.7	36 12.0	31 10.3	158 52.7
	40代		300 100	23 7.7	24 8.0	19 6.3	17 5.7	29 9.7	23 7.7	41 13.7	29 9.7	170 56.7
	50代		300 100	25 8.3	33 11.0	23 7.7	22 7.3	42 14.0	39 13.0	47 15.7	38 12.7	150 50.0
	60代		300 100	26 8.7	28 9.3	26 8.7	28 9.3	36 12.0	33 11.0	40 13.3	40 13.3	156 52.0
	70代以上		300 100	12 4.0	24 8.0	17 5.7	21 7.0	30 10.0	30 10.0	39 13.0	30 10.0	154 51.3

【3.まとめ買いするようになった】

度数 横%		全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体		1800 <b>100</b>	197 <b>10.9</b>	150 <b>8.3</b>	166 <b>9.2</b>	121 <b>6.7</b>	108 <b>6.0</b>	115 <b>6.4</b>	177 <b>9.8</b>	164 <b>9.1</b>	113 <b>6.3</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	105 <b>11.7</b>	70 <b>7.8</b>	87 <b>9.7</b>	55 <b>6.1</b>	48 <b>5.3</b>	56 <b>6.2</b>	100 <b>11.1</b>	82 <b>9.1</b>	54 <b>6.0</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	92 <b>10.2</b>	80 <b>8.9</b>	79 <b>8.8</b>	66 <b>7.3</b>	60 <b>6.7</b>	59 <b>6.6</b>	77 <b>8.6</b>	82 <b>9.1</b>	59 <b>6.6</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	35 <b>11.7</b>	30 <b>10.0</b>	44 <b>14.7</b>	26 <b>8.7</b>	23 <b>7.7</b>	17 <b>5.7</b>	35 <b>11.7</b>	28 <b>9.3</b>	21 <b>7.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	30 <b>10.0</b>	35 <b>11.7</b>	22 <b>7.3</b>	28 <b>9.3</b>	31 <b>10.3</b>	38 <b>12.7</b>	36 <b>12.0</b>	27 <b>9.0</b>
	40代	300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	30 <b>10.0</b>	29 <b>9.7</b>	31 <b>10.3</b>	22 <b>7.3</b>	22 <b>7.3</b>	34 <b>11.3</b>	31 <b>10.3</b>	15 <b>5.0</b>
	50代	300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	18 <b>6.0</b>	14 <b>4.7</b>	13 <b>4.3</b>	13 <b>4.3</b>	16 <b>5.3</b>	26 <b>8.7</b>	23 <b>7.7</b>	19 <b>6.3</b>
	60代	300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	21 <b>7.0</b>	19 <b>6.3</b>	10 <b>3.3</b>	10 <b>3.3</b>	14 <b>4.7</b>	20 <b>6.7</b>	21 <b>7.0</b>	12 <b>4.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	21 <b>7.0</b>	25 <b>8.3</b>	19 <b>6.3</b>	12 <b>4.0</b>	15 <b>5.0</b>	24 <b>8.0</b>	25 <b>8.3</b>	19 <b>6.3</b>

度数 横%		全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いづれもない
全 体		1800 <b>100</b>	88 <b>4.9</b>	94 <b>5.2</b>	82 <b>4.6</b>	132 <b>7.3</b>	123 <b>6.8</b>	66 <b>3.7</b>	61 <b>3.4</b>	98 <b>5.4</b>	1145 <b>63.6</b>
地域	首都圏	900 <b>100</b>	37 <b>4.1</b>	43 <b>4.8</b>	36 <b>4.0</b>	61 <b>6.8</b>	59 <b>6.6</b>	31 <b>3.4</b>	29 <b>3.2</b>	47 <b>5.2</b>	570 <b>63.3</b>
	京阪神圏	900 <b>100</b>	51 <b>5.7</b>	51 <b>5.7</b>	46 <b>5.1</b>	71 <b>7.9</b>	64 <b>7.1</b>	35 <b>3.9</b>	32 <b>3.6</b>	51 <b>5.7</b>	575 <b>63.9</b>
年代	20代	300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	22 <b>7.3</b>	15 <b>5.0</b>	22 <b>7.3</b>	27 <b>9.0</b>	15 <b>5.0</b>	19 <b>6.3</b>	19 <b>6.3</b>	168 <b>56.0</b>
	30代	300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	21 <b>7.0</b>	19 <b>6.3</b>	31 <b>10.3</b>	28 <b>9.3</b>	15 <b>5.0</b>	8 <b>2.7</b>	19 <b>6.3</b>	170 <b>56.7</b>
	40代	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	16 <b>5.3</b>	19 <b>6.3</b>	27 <b>9.0</b>	26 <b>8.7</b>	12 <b>4.0</b>	14 <b>4.7</b>	25 <b>8.3</b>	194 <b>64.7</b>
	50代	300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	14 <b>4.7</b>	7 <b>2.3</b>	22 <b>7.3</b>	15 <b>5.0</b>	11 <b>3.7</b>	9 <b>3.0</b>	14 <b>4.7</b>	207 <b>69.0</b>
	60代	300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	11 <b>3.7</b>	9 <b>3.0</b>	11 <b>3.7</b>	9 <b>3.0</b>	4 <b>1.3</b>	4 <b>1.3</b>	8 <b>2.7</b>	216 <b>72.0</b>
	70代以上	300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	10 <b>3.3</b>	13 <b>4.3</b>	19 <b>6.3</b>	18 <b>6.0</b>	9 <b>3.0</b>	7 <b>2.3</b>	13 <b>4.3</b>	190 <b>63.3</b>

【4. 国産の食品を選んで買うようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 <b>100</b>	163 <b>9.1</b>	118 <b>6.6</b>	198 <b>11.0</b>	173 <b>9.6</b>	164 <b>9.1</b>	195 <b>10.8</b>	203 <b>11.3</b>	201 <b>11.2</b>	135 <b>7.5</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	87 <b>9.7</b>	61 <b>6.8</b>	111 <b>12.3</b>	83 <b>9.2</b>	91 <b>10.1</b>	91 <b>10.1</b>	98 <b>10.9</b>	101 <b>11.2</b>	70 <b>7.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	76 <b>8.4</b>	57 <b>6.3</b>	87 <b>9.7</b>	90 <b>10.0</b>	73 <b>8.1</b>	104 <b>11.6</b>	105 <b>11.7</b>	100 <b>11.1</b>	65 <b>7.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	14 <b>4.7</b>	30 <b>10.0</b>	30 <b>10.0</b>	26 <b>8.7</b>	24 <b>8.0</b>	25 <b>8.3</b>	24 <b>8.0</b>	16 <b>5.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	18 <b>6.0</b>	29 <b>9.7</b>	23 <b>7.7</b>	25 <b>8.3</b>	26 <b>8.7</b>	26 <b>8.7</b>	24 <b>8.0</b>	23 <b>7.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	18 <b>6.0</b>	24 <b>8.0</b>	17 <b>5.7</b>	19 <b>6.3</b>	25 <b>8.3</b>	23 <b>7.7</b>	31 <b>10.3</b>	19 <b>6.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	29 <b>9.7</b>	17 <b>5.7</b>	24 <b>8.0</b>	24 <b>8.0</b>	19 <b>6.3</b>	29 <b>9.7</b>	32 <b>10.7</b>	32 <b>10.7</b>	16 <b>5.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	20 <b>6.7</b>	37 <b>12.3</b>	28 <b>9.3</b>	26 <b>8.7</b>	36 <b>12.0</b>	39 <b>13.0</b>	35 <b>11.7</b>	20 <b>6.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	31 <b>10.3</b>	54 <b>18.0</b>	51 <b>17.0</b>	49 <b>16.3</b>	55 <b>18.3</b>	58 <b>19.3</b>	55 <b>18.3</b>	41 <b>13.7</b>

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いづれもない
全 体			1800 <b>100</b>	144 <b>8.0</b>	127 <b>7.1</b>	121 <b>6.7</b>	116 <b>6.4</b>	104 <b>5.8</b>	97 <b>5.4</b>	95 <b>5.3</b>	94 <b>5.2</b>	1240 <b>68.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	76 <b>8.4</b>	74 <b>8.2</b>	65 <b>7.2</b>	67 <b>7.4</b>	49 <b>5.4</b>	49 <b>5.4</b>	45 <b>5.0</b>	44 <b>4.9</b>	621 <b>69.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	68 <b>7.6</b>	53 <b>5.9</b>	56 <b>6.2</b>	49 <b>5.4</b>	55 <b>6.1</b>	48 <b>5.3</b>	50 <b>5.6</b>	50 <b>5.6</b>	619 <b>68.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	16 <b>5.3</b>	16 <b>5.3</b>	19 <b>6.3</b>	12 <b>4.0</b>	13 <b>4.3</b>	17 <b>5.7</b>	14 <b>4.7</b>	194 <b>64.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	25 <b>8.3</b>	21 <b>7.0</b>	22 <b>7.3</b>	25 <b>8.3</b>	18 <b>6.0</b>	19 <b>6.3</b>	15 <b>5.0</b>	203 <b>67.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	9 <b>3.0</b>	13 <b>4.3</b>	8 <b>2.7</b>	11 <b>3.7</b>	15 <b>5.0</b>	12 <b>4.0</b>	10 <b>3.3</b>	217 <b>72.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	19 <b>6.3</b>	15 <b>5.0</b>	12 <b>4.0</b>	18 <b>6.0</b>	15 <b>5.0</b>	13 <b>4.3</b>	15 <b>5.0</b>	16 <b>5.3</b>	227 <b>75.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	21 <b>7.0</b>	23 <b>7.7</b>	20 <b>6.7</b>	13 <b>4.3</b>	14 <b>4.7</b>	11 <b>3.7</b>	11 <b>3.7</b>	13 <b>4.3</b>	218 <b>72.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	43 <b>14.3</b>	39 <b>13.0</b>	39 <b>13.0</b>	36 <b>12.0</b>	27 <b>9.0</b>	27 <b>9.0</b>	21 <b>7.0</b>	26 <b>8.7</b>	181 <b>60.3</b>

【5. 輸入・外国産の食品をあまり買わないようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 <b>100</b>	58 <b>3.2</b>	38 <b>2.1</b>	62 <b>3.4</b>	63 <b>3.5</b>	86 <b>4.8</b>	122 <b>6.8</b>	103 <b>5.7</b>	91 <b>5.1</b>	55 <b>3.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	30 <b>3.3</b>	16 <b>1.8</b>	34 <b>3.8</b>	33 <b>3.7</b>	43 <b>4.8</b>	58 <b>6.4</b>	41 <b>4.6</b>	40 <b>4.4</b>	25 <b>2.8</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	28 <b>3.1</b>	22 <b>2.4</b>	28 <b>3.1</b>	30 <b>3.3</b>	43 <b>4.8</b>	64 <b>7.1</b>	62 <b>6.9</b>	51 <b>5.7</b>	30 <b>3.3</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	6 <b>2.0</b>	13 <b>4.3</b>	14 <b>4.7</b>	18 <b>6.0</b>	13 <b>4.3</b>	16 <b>5.3</b>	17 <b>5.7</b>	9 <b>3.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	9 <b>3.0</b>	11 <b>3.7</b>	16 <b>5.3</b>	13 <b>4.3</b>	9 <b>3.0</b>	24 <b>8.0</b>	18 <b>6.0</b>	15 <b>5.0</b>	14 <b>4.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	8 <b>2.7</b>	5 <b>1.7</b>	5 <b>1.7</b>	9 <b>3.0</b>	15 <b>5.0</b>	18 <b>6.0</b>	13 <b>4.3</b>	10 <b>3.3</b>	10 <b>3.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	6 <b>2.0</b>	7 <b>2.3</b>	7 <b>2.3</b>	12 <b>4.0</b>	14 <b>4.7</b>	13 <b>4.3</b>	14 <b>4.7</b>	7 <b>2.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>	10 <b>3.3</b>	8 <b>2.7</b>	13 <b>4.3</b>	26 <b>8.7</b>	21 <b>7.0</b>	17 <b>5.7</b>	6 <b>2.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	11 <b>3.7</b>	4 <b>1.3</b>	11 <b>3.7</b>	12 <b>4.0</b>	19 <b>6.3</b>	27 <b>9.0</b>	22 <b>7.3</b>	18 <b>6.0</b>	9 <b>3.0</b>

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	42 <b>2.3</b>	58 <b>3.2</b>	39 <b>2.2</b>	41 <b>2.3</b>	50 <b>2.8</b>	37 <b>2.1</b>	35 <b>1.9</b>	54 <b>3.0</b>	1354 <b>75.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	21 <b>2.3</b>	26 <b>2.9</b>	14 <b>1.6</b>	18 <b>2.0</b>	23 <b>2.6</b>	19 <b>2.1</b>	16 <b>1.8</b>	24 <b>2.7</b>	681 <b>75.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	21 <b>2.3</b>	32 <b>3.6</b>	25 <b>2.8</b>	23 <b>2.6</b>	27 <b>3.0</b>	18 <b>2.0</b>	19 <b>2.1</b>	30 <b>3.3</b>	673 <b>74.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	16 <b>5.3</b>	12 <b>4.0</b>	6 <b>2.0</b>	3 <b>1.0</b>	8 <b>2.7</b>	9 <b>3.0</b>	3 <b>1.0</b>	9 <b>3.0</b>	207 <b>69.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	11 <b>3.7</b>	5 <b>1.7</b>	8 <b>2.7</b>	14 <b>4.7</b>	6 <b>2.0</b>	8 <b>2.7</b>	10 <b>3.3</b>	217 <b>72.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	5 <b>1.7</b>	11 <b>3.7</b>	11 <b>3.7</b>	8 <b>2.7</b>	8 <b>2.7</b>	6 <b>2.0</b>	11 <b>3.7</b>	11 <b>3.7</b>	236 <b>78.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	4 <b>1.3</b>	3 <b>1.0</b>	6 <b>2.0</b>	6 <b>2.0</b>	7 <b>2.3</b>	6 <b>2.0</b>	3 <b>1.0</b>	6 <b>2.0</b>	249 <b>83.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	6 <b>2.0</b>	7 <b>2.3</b>	6 <b>2.0</b>	7 <b>2.3</b>	5 <b>1.7</b>	4 <b>1.3</b>	6 <b>2.0</b>	9 <b>3.0</b>	234 <b>78.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	1 <b>0.3</b>	14 <b>4.7</b>	5 <b>1.7</b>	9 <b>3.0</b>	8 <b>2.7</b>	6 <b>2.0</b>	4 <b>1.3</b>	9 <b>3.0</b>	211 <b>70.3</b>

【6. より安い商品・製品を選んで買うようになった】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 <b>100</b>	276 <b>15.3</b>	267 <b>14.8</b>	286 <b>15.9</b>	240 <b>13.3</b>	240 <b>13.3</b>	243 <b>13.5</b>	257 <b>14.3</b>	252 <b>14.0</b>	239 <b>13.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	145 <b>16.1</b>	129 <b>14.3</b>	146 <b>16.2</b>	128 <b>14.2</b>	122 <b>13.6</b>	117 <b>13.0</b>	131 <b>14.6</b>	130 <b>14.4</b>	125 <b>13.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	131 <b>14.6</b>	138 <b>15.3</b>	140 <b>15.6</b>	112 <b>12.4</b>	118 <b>13.1</b>	126 <b>14.0</b>	126 <b>14.0</b>	122 <b>13.6</b>	114 <b>12.7</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	34 <b>11.3</b>	40 <b>13.3</b>	26 <b>8.7</b>	31 <b>10.3</b>	33 <b>11.0</b>	32 <b>10.7</b>	31 <b>10.3</b>	29 <b>9.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	49 <b>16.3</b>	45 <b>15.0</b>	37 <b>12.3</b>	33 <b>11.0</b>	39 <b>13.0</b>	50 <b>16.7</b>	43 <b>14.3</b>	39 <b>13.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	45 <b>15.0</b>	41 <b>13.7</b>	38 <b>12.7</b>	41 <b>13.7</b>	35 <b>11.7</b>	39 <b>13.0</b>	41 <b>13.7</b>	46 <b>15.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	50 <b>16.7</b>	50 <b>16.7</b>	57 <b>19.0</b>	44 <b>14.7</b>	52 <b>17.3</b>	51 <b>17.0</b>	53 <b>17.7</b>	51 <b>17.0</b>	42 <b>14.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	39 <b>13.0</b>	44 <b>14.7</b>	51 <b>17.0</b>	44 <b>14.7</b>	37 <b>12.3</b>	40 <b>13.3</b>	34 <b>11.3</b>	35 <b>11.7</b>	39 <b>13.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	45 <b>15.0</b>	52 <b>17.3</b>	51 <b>17.0</b>	46 <b>15.3</b>	45 <b>15.0</b>	49 <b>16.3</b>	51 <b>17.0</b>	44 <b>14.7</b>

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	231 <b>12.8</b>	206 <b>11.4</b>	230 <b>12.8</b>	225 <b>12.5</b>	227 <b>12.6</b>	192 <b>10.7</b>	168 <b>9.3</b>	202 <b>11.2</b>	1037 <b>57.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	112 <b>12.4</b>	100 <b>11.1</b>	110 <b>12.2</b>	106 <b>11.8</b>	102 <b>11.3</b>	95 <b>10.6</b>	71 <b>7.9</b>	99 <b>11.0</b>	517 <b>57.4</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	119 <b>13.2</b>	106 <b>11.8</b>	120 <b>13.3</b>	119 <b>13.2</b>	125 <b>13.9</b>	97 <b>10.8</b>	97 <b>10.8</b>	103 <b>11.4</b>	520 <b>57.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	28 <b>9.3</b>	28 <b>9.3</b>	32 <b>10.7</b>	27 <b>9.0</b>	26 <b>8.7</b>	24 <b>8.0</b>	22 <b>7.3</b>	173 <b>57.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	42 <b>14.0</b>	36 <b>12.0</b>	41 <b>13.7</b>	37 <b>12.3</b>	33 <b>11.0</b>	32 <b>10.7</b>	28 <b>9.3</b>	32 <b>10.7</b>	162 <b>54.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	35 <b>11.7</b>	37 <b>12.3</b>	35 <b>11.7</b>	39 <b>13.0</b>	32 <b>10.7</b>	28 <b>9.3</b>	33 <b>11.0</b>	176 <b>58.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	39 <b>13.0</b>	45 <b>15.0</b>	43 <b>14.3</b>	42 <b>14.0</b>	32 <b>10.7</b>	27 <b>9.0</b>	38 <b>12.7</b>	176 <b>58.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	41 <b>13.7</b>	35 <b>11.7</b>	38 <b>12.7</b>	40 <b>13.3</b>	47 <b>15.7</b>	38 <b>12.7</b>	36 <b>12.0</b>	41 <b>13.7</b>	181 <b>60.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	33 <b>11.0</b>	41 <b>13.7</b>	38 <b>12.7</b>	39 <b>13.0</b>	32 <b>10.7</b>	25 <b>8.3</b>	36 <b>12.0</b>	169 <b>56.3</b>

【7. より価格の安い店を選んで買うようになった】

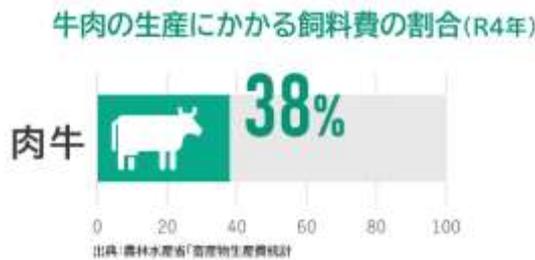
		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	牛肉	豚肉	鶏肉	卵
全 体			1800 <b>100</b>	318 <b>17.7</b>	294 <b>16.3</b>	334 <b>18.6</b>	266 <b>14.8</b>	263 <b>14.6</b>	285 <b>15.8</b>	307 <b>17.1</b>	298 <b>16.6</b>	323 <b>17.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	176 <b>19.6</b>	149 <b>16.6</b>	176 <b>19.6</b>	140 <b>15.6</b>	140 <b>15.6</b>	148 <b>16.4</b>	151 <b>16.8</b>	160 <b>17.8</b>	177 <b>19.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	142 <b>15.8</b>	145 <b>16.1</b>	158 <b>17.6</b>	126 <b>14.0</b>	123 <b>13.7</b>	137 <b>15.2</b>	156 <b>17.3</b>	138 <b>15.3</b>	146 <b>16.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	52 <b>17.3</b>	35 <b>11.7</b>	40 <b>13.3</b>	38 <b>12.7</b>	34 <b>11.3</b>	37 <b>12.3</b>	45 <b>15.0</b>	39 <b>13.0</b>	34 <b>11.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	46 <b>15.3</b>	55 <b>18.3</b>	38 <b>12.7</b>	36 <b>12.0</b>	44 <b>14.7</b>	46 <b>15.3</b>	46 <b>15.3</b>	47 <b>15.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	64 <b>21.3</b>	54 <b>18.0</b>	61 <b>20.3</b>	52 <b>17.3</b>	59 <b>19.7</b>	57 <b>19.0</b>	56 <b>18.7</b>	62 <b>20.7</b>	65 <b>21.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	59 <b>19.7</b>	61 <b>20.3</b>	64 <b>21.3</b>	50 <b>16.7</b>	53 <b>17.7</b>	54 <b>18.0</b>	62 <b>20.7</b>	56 <b>18.7</b>	61 <b>20.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	45 <b>15.0</b>	49 <b>16.3</b>	40 <b>13.3</b>	38 <b>12.7</b>	45 <b>15.0</b>	49 <b>16.3</b>	49 <b>16.3</b>	58 <b>19.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	48 <b>16.0</b>	53 <b>17.7</b>	65 <b>21.7</b>	48 <b>16.0</b>	43 <b>14.3</b>	48 <b>16.0</b>	49 <b>16.3</b>	46 <b>15.3</b>	58 <b>19.3</b>

		度数 横%	全 体	牛乳	食肉加工品	乳製品	冷凍食品	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺等)	弁当・ 惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 <b>100</b>	291 <b>16.2</b>	274 <b>15.2</b>	280 <b>15.6</b>	295 <b>16.4</b>	288 <b>16.0</b>	237 <b>13.2</b>	197 <b>10.9</b>	282 <b>15.7</b>	1007 <b>55.9</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	153 <b>17.0</b>	145 <b>16.1</b>	156 <b>17.3</b>	165 <b>18.3</b>	150 <b>16.7</b>	121 <b>13.4</b>	100 <b>11.1</b>	142 <b>15.8</b>	500 <b>55.6</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	138 <b>15.3</b>	129 <b>14.3</b>	124 <b>13.8</b>	130 <b>14.4</b>	138 <b>15.3</b>	116 <b>12.9</b>	97 <b>10.8</b>	140 <b>15.6</b>	507 <b>56.3</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	26 <b>8.7</b>	31 <b>10.3</b>	34 <b>11.3</b>	31 <b>10.3</b>	25 <b>8.3</b>	23 <b>7.7</b>	28 <b>9.3</b>	172 <b>57.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	38 <b>12.7</b>	39 <b>13.0</b>	41 <b>13.7</b>	36 <b>12.0</b>	31 <b>10.3</b>	30 <b>10.0</b>	38 <b>12.7</b>	169 <b>56.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	60 <b>20.0</b>	61 <b>20.3</b>	54 <b>18.0</b>	62 <b>20.7</b>	54 <b>18.0</b>	49 <b>16.3</b>	39 <b>13.0</b>	57 <b>19.0</b>	160 <b>53.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	58 <b>19.3</b>	57 <b>19.0</b>	58 <b>19.3</b>	58 <b>19.3</b>	61 <b>20.3</b>	51 <b>17.0</b>	39 <b>13.0</b>	60 <b>20.0</b>	162 <b>54.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	52 <b>17.3</b>	44 <b>14.7</b>	47 <b>15.7</b>	51 <b>17.0</b>	56 <b>18.7</b>	43 <b>14.3</b>	33 <b>11.0</b>	47 <b>15.7</b>	180 <b>60.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	54 <b>18.0</b>	48 <b>16.0</b>	51 <b>17.0</b>	49 <b>16.3</b>	50 <b>16.7</b>	38 <b>12.7</b>	33 <b>11.0</b>	52 <b>17.3</b>	164 <b>54.7</b>

Q50 燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

次の説明画像の内容について、どの程度ご存知ですか。最も近いものを1つだけお選びください。

(1) 牛肉の生産には特に飼料にお金がかかります。



		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまり よく知らない	知らない	全く 知らない
全 体		1800	38	131	230	409	446	546	
		100	2.1	7.3	12.8	22.7	24.8	30.3	
地域	首都圏	900	18	73	128	202	217	262	
		100	2.0	8.1	14.2	22.4	24.1	29.1	
京阪神圏	900	20	58	102	207	229	284		
	100	2.2	6.4	11.3	23.0	25.4	31.6		
年代	20代	300	21	35	43	66	57	78	
		100	7.0	11.7	14.3	22.0	19.0	26.0	
	30代	300	5	28	38	59	55	115	
		100	1.7	9.3	12.7	19.7	18.3	38.3	
	40代	300	6	21	31	68	60	114	
		100	2.0	7.0	10.3	22.7	20.0	38.0	
	50代	300	2	10	33	67	92	96	
		100	0.7	3.3	11.0	22.3	30.7	32.0	
60代	300	1	17	46	71	87	78		
	100	0.3	5.7	15.3	23.7	29.0	26.0		
70代以上	300	3	20	39	78	95	65		
	100	1.0	6.7	13.0	26.0	31.7	21.7		

(2) 飼料価格は高騰・高止まりしており、肉用牛農家の負担は増加しています。



		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまり よく知らない	知らない	全く 知らない
全 体		1800	38	149	283	420	391	519	
		100	2.1	8.3	15.7	23.3	21.7	28.8	
地域	首都圏	900	21	77	161	207	189	245	
		100	2.3	8.6	17.9	23.0	21.0	27.2	
京阪神圏	900	17	72	122	213	202	274		
	100	1.9	8.0	13.6	23.7	22.4	30.4		
年代	20代	300	18	43	36	73	47	83	
		100	6.0	14.3	12.0	24.3	15.7	27.7	
	30代	300	7	22	46	61	51	113	
		100	2.3	7.3	15.3	20.3	17.0	37.7	
	40代	300	7	18	47	62	61	105	
		100	2.3	6.0	15.7	20.7	20.3	35.0	
	50代	300	1	16	39	74	85	85	
		100	0.3	5.3	13.0	24.7	28.3	28.3	
60代	300	1	17	58	75	72	77		
	100	0.3	5.7	19.3	25.0	24.0	25.7		
70代以上	300	4	33	57	75	75	56		
	100	1.3	11.0	19.0	25.0	25.0	18.7		

(3) 肉用牛農家戸数は年々減少しており、現在、1戸の肉用牛農家が約1,400人分の牛肉を生産しています。



	度数 横%	知っています						
		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまり よく知らない	知らない	全く 知らない
全 体	1800 100	32 1.8	104 5.8	227 12.6	423 23.5	450 25.0	564 31.3	
地域	首都圏	900 100	18 2.0	57 6.3	122 13.6	210 23.3	222 24.7	271 30.1
	京阪神圏	900 100	14 1.6	47 5.2	105 11.7	213 23.7	228 25.3	293 32.6
年代	20代	300 100	16 5.3	26 8.7	48 16.0	73 24.3	51 17.0	86 28.7
	30代	300 100	5 1.7	24 8.0	41 13.7	47 15.7	67 22.3	116 38.7
	40代	300 100	5 1.7	18 6.0	34 11.3	70 23.3	67 22.3	106 35.3
	50代	300 100	2 0.7	6 2.0	30 10.0	76 25.3	94 31.3	92 30.7
	60代	300 100	1 0.3	11 3.7	33 11.0	86 28.7	82 27.3	87 29.0
	70代以上	300 100	3 1.0	19 6.3	41 13.7	71 23.7	89 29.7	77 25.7

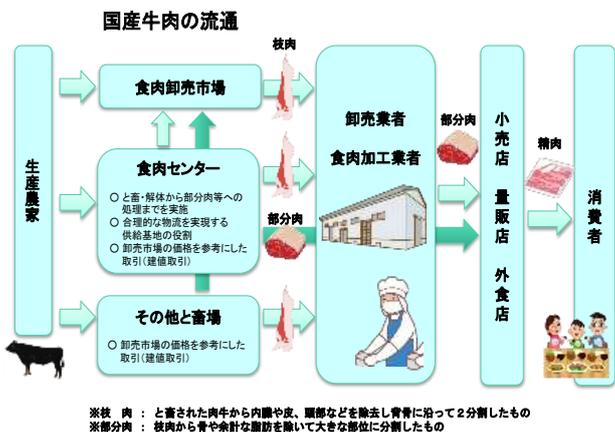
(4) 生産コストを減らすため、国と関係者が一丸となって、家畜改良に取り組んでいます。

### 生産コストを減らすための家畜改良



	度数 横%	知っています						
		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまり よく知らない	知らない	全く 知らない
全 体	1800 100	30 1.7	93 5.2	180 10.0	409 22.7	477 26.5	611 33.9	
地域	首都圏	900 100	17 1.9	56 6.2	96 10.7	205 22.8	230 25.6	296 32.9
	京阪神圏	900 100	13 1.4	37 4.1	84 9.3	204 22.7	247 27.4	315 35.0
年代	20代	300 100	16 5.3	31 10.3	39 13.0	72 24.0	49 16.3	93 31.0
	30代	300 100	5 1.7	19 6.3	39 13.0	56 18.7	61 20.3	120 40.0
	40代	300 100	6 2.0	21 7.0	31 10.3	63 21.0	65 21.7	114 38.0
	50代	300 100	1 0.3	6 2.0	15 5.0	76 25.3	98 32.7	104 34.7
	60代	300 100	1 0.3	5 1.7	32 10.7	68 22.7	99 33.0	95 31.7
	70代以上	300 100	1 0.3	11 3.7	24 8.0	74 24.7	105 35.0	85 28.3

(5) 国産牛肉は、①卸売市場や食肉センター等、②食肉卸売業者・加工業者、③小売事業者(外食店、量販店、小売店等)の各事業者によって、それぞれ、枝肉や部分肉、部分肉、精肉に加工され、お店に並びます。



	度数 横%	知っています						
		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまり よく知らない	知らない	全く 知らない
全 体	1800 100	36 2.0	128 7.1	278 15.4	440 24.4	444 24.7	474 26.3	
地域	首都圏	900 100	20 2.2	75 8.3	148 16.4	219 24.3	210 23.3	228 25.3
	京阪神圏	900 100	16 1.8	53 5.9	130 14.4	221 24.6	234 26.0	246 27.3
年代	20代	300 100	19 6.3	40 13.3	38 12.7	72 24.0	52 17.3	79 26.3
	30代	300 100	6 2.0	20 6.7	46 15.3	63 21.0	61 20.3	104 34.7
	40代	300 100	6 2.0	23 7.7	41 13.7	66 22.0	70 23.3	94 31.3
	50代	300 100	1 0.3	8 2.7	42 14.0	73 24.3	93 31.0	83 27.7
	60代	300 100	1 0.3	14 4.7	51 17.0	84 28.0	88 29.3	62 20.7
	70代以上	300 100	3 1.0	23 7.7	60 20.0	82 27.3	80 26.7	52 17.3

Q51 燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

あなたが普段購入している国産牛肉が値上げされた場合、ならびに国産牛肉の販売価格に関して、あなたのお考えに最も近いものをお選び下さい。

【1. 生産コストの上昇による値上げは仕方ないと思う】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 <b>100</b>	226 <b>12.6</b>	850 <b>47.2</b>	563 <b>31.3</b>	88 <b>4.9</b>	73 <b>4.1</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	121 <b>13.4</b>	434 <b>48.2</b>	270 <b>30.0</b>	39 <b>4.3</b>	36 <b>4.0</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	105 <b>11.7</b>	416 <b>46.2</b>	293 <b>32.6</b>	49 <b>5.4</b>	37 <b>4.1</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	111 <b>37.0</b>	104 <b>34.7</b>	21 <b>7.0</b>	18 <b>6.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	117 <b>39.0</b>	103 <b>34.3</b>	21 <b>7.0</b>	15 <b>5.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	35 <b>11.7</b>	132 <b>44.0</b>	108 <b>36.0</b>	9 <b>3.0</b>	16 <b>5.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	26 <b>8.7</b>	145 <b>48.3</b>	103 <b>34.3</b>	14 <b>4.7</b>	12 <b>4.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	36 <b>12.0</b>	168 <b>56.0</b>	81 <b>27.0</b>	10 <b>3.3</b>	5 <b>1.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	39 <b>13.0</b>	177 <b>59.0</b>	64 <b>21.3</b>	13 <b>4.3</b>	7 <b>2.3</b>

【2. 国内生産者が努力しているのであれば、値上げは仕方ないと思う】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 <b>100</b>	250 <b>13.9</b>	827 <b>45.9</b>	581 <b>32.3</b>	78 <b>4.3</b>	64 <b>3.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	126 <b>14.0</b>	426 <b>47.3</b>	281 <b>31.2</b>	34 <b>3.8</b>	33 <b>3.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	124 <b>13.8</b>	401 <b>44.6</b>	300 <b>33.3</b>	44 <b>4.9</b>	31 <b>3.4</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	48 <b>16.0</b>	120 <b>40.0</b>	102 <b>34.0</b>	13 <b>4.3</b>	17 <b>5.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	52 <b>17.3</b>	107 <b>35.7</b>	113 <b>37.7</b>	16 <b>5.3</b>	12 <b>4.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	123 <b>41.0</b>	113 <b>37.7</b>	11 <b>3.7</b>	13 <b>4.3</b>
	50代		300 <b>100</b>	27 <b>9.0</b>	138 <b>46.0</b>	108 <b>36.0</b>	16 <b>5.3</b>	11 <b>3.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	162 <b>54.0</b>	84 <b>28.0</b>	9 <b>3.0</b>	5 <b>1.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	43 <b>14.3</b>	177 <b>59.0</b>	61 <b>20.3</b>	13 <b>4.3</b>	6 <b>2.0</b>

【3. 国内生産者を守るためであれば、値上げは仕方ないと思う】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 <b>100</b>	240 <b>13.3</b>	771 <b>42.8</b>	619 <b>34.4</b>	110 <b>6.1</b>	60 <b>3.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	131 <b>14.6</b>	387 <b>43.0</b>	300 <b>33.3</b>	56 <b>6.2</b>	26 <b>2.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	109 <b>12.1</b>	384 <b>42.7</b>	319 <b>35.4</b>	54 <b>6.0</b>	34 <b>3.8</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	51 <b>17.0</b>	98 <b>32.7</b>	111 <b>37.0</b>	25 <b>8.3</b>	15 <b>5.0</b>
	30代		300 <b>100</b>	47 <b>15.7</b>	105 <b>35.0</b>	121 <b>40.3</b>	18 <b>6.0</b>	9 <b>3.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	112 <b>37.3</b>	121 <b>40.3</b>	18 <b>6.0</b>	12 <b>4.0</b>
	50代		300 <b>100</b>	28 <b>9.3</b>	137 <b>45.7</b>	102 <b>34.0</b>	22 <b>7.3</b>	11 <b>3.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	40 <b>13.3</b>	143 <b>47.7</b>	99 <b>33.0</b>	12 <b>4.0</b>	6 <b>2.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	37 <b>12.3</b>	176 <b>58.7</b>	65 <b>21.7</b>	15 <b>5.0</b>	7 <b>2.3</b>

【4. 国産牛肉の価格は、生産者や卸売業者・小売事業者の努力によって現状は大きな価格値上がりが起きていない】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 <b>100</b>	110 <b>6.1</b>	478 <b>26.6</b>	927 <b>51.5</b>	202 <b>11.2</b>	83 <b>4.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	46 <b>5.1</b>	233 <b>25.9</b>	484 <b>53.8</b>	95 <b>10.6</b>	42 <b>4.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	64 <b>7.1</b>	245 <b>27.2</b>	443 <b>49.2</b>	107 <b>11.9</b>	41 <b>4.6</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	30 <b>10.0</b>	73 <b>24.3</b>	158 <b>52.7</b>	26 <b>8.7</b>	13 <b>4.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	66 <b>22.0</b>	167 <b>55.7</b>	34 <b>11.3</b>	15 <b>5.0</b>
	40代		300 <b>100</b>	18 <b>6.0</b>	75 <b>25.0</b>	158 <b>52.7</b>	32 <b>10.7</b>	17 <b>5.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	76 <b>25.3</b>	163 <b>54.3</b>	30 <b>10.0</b>	16 <b>5.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	15 <b>5.0</b>	95 <b>31.7</b>	145 <b>48.3</b>	35 <b>11.7</b>	10 <b>3.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	14 <b>4.7</b>	93 <b>31.0</b>	136 <b>45.3</b>	45 <b>15.0</b>	12 <b>4.0</b>

【5. 今後、国産牛肉の販売価格を上げていかなければ、国内の畜産農家の経営が立ち行かなくなる】

		度数 横%	全 体	とてもそう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
全 体			1800 <b>100</b>	243 <b>13.5</b>	681 <b>37.8</b>	710 <b>39.4</b>	106 <b>5.9</b>	60 <b>3.3</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	127 <b>14.1</b>	334 <b>37.1</b>	366 <b>40.7</b>	49 <b>5.4</b>	24 <b>2.7</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	116 <b>12.9</b>	347 <b>38.6</b>	344 <b>38.2</b>	57 <b>6.3</b>	36 <b>4.0</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	44 <b>14.7</b>	89 <b>29.7</b>	123 <b>41.0</b>	24 <b>8.0</b>	20 <b>6.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	49 <b>16.3</b>	92 <b>30.7</b>	129 <b>43.0</b>	19 <b>6.3</b>	11 <b>3.7</b>
	40代		300 <b>100</b>	34 <b>11.3</b>	106 <b>35.3</b>	127 <b>42.3</b>	22 <b>7.3</b>	11 <b>3.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	25 <b>8.3</b>	119 <b>39.7</b>	127 <b>42.3</b>	20 <b>6.7</b>	9 <b>3.0</b>
	60代		300 <b>100</b>	46 <b>15.3</b>	132 <b>44.0</b>	105 <b>35.0</b>	12 <b>4.0</b>	5 <b>1.7</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	45 <b>15.0</b>	143 <b>47.7</b>	99 <b>33.0</b>	9 <b>3.0</b>	4 <b>1.3</b>

**Q52** 燃油や資材、飼料価格が高騰し、生産コストが高止まりとなっている中で、生産者サイドから適正な価格形成が求められています。

あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込でどの程度の価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思いますか。

以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使えるお金が減ることを念頭にお答えください。

＜Q55「割高でも購入したい」「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」  
&Q16「99円以下」～「1500円以上」回答者＞

度数横%		全 体	1円でも割高 なら購入しない・ 購入を控える	5円程度まで なら高くても 購入する	10円程度まで なら高くても 購入する	20円程度まで なら高くても 購入する	30円程度まで なら高くても 購入する	40円程度まで なら高くても 購入する	50円程度まで なら高くても 購入する
全 体		1149 100	99 8.6	100 8.7	121 10.5	115 10.0	111 9.7	39 3.4	232 20.2
地域	首都圏	531 100	50 9.4	45 8.5	61 11.5	57 10.7	53 10.0	18 3.4	98 18.5
	京阪神圏	618 100	49 7.9	55 8.9	60 9.7	58 9.4	58 9.4	21 3.4	134 21.7
年代	20代	174 100	30 17.2	14 8.0	23 13.2	18 10.3	21 12.1	7 4.0	17 9.8
	30代	187 100	14 7.5	18 9.6	21 11.2	23 12.3	15 8.0	7 3.7	29 15.5
	40代	188 100	17 9.0	19 10.1	29 15.4	18 9.6	14 7.4	10 5.3	35 18.6
	50代	190 100	23 12.1	24 12.6	19 10.0	18 9.5	11 5.8	6 3.2	38 20.0
	60代	208 100	10 4.8	18 8.7	14 6.7	16 7.7	24 11.5	6 2.9	54 26.0
	70代以上	202 100	5 2.5	7 3.5	15 7.4	22 10.9	26 12.9	3 1.5	59 29.2

度数横%		全 体	70円程度まで なら高くても 購入する	100円程度まで なら高くても 購入する	150円程度まで なら高くても 購入する	200円程度まで なら高くても 購入する	300円程度まで なら高くても 購入する	400円程度まで なら高くても 購入する	500円程度まで なら高くても 購入する
全 体		1149 100	36 3.1	167 14.5	30 2.6	45 3.9	22 1.9	2 0.2	30 2.6
地域	首都圏	531 100	20 3.8	74 13.9	11 2.1	22 4.1	12 2.3	0 0.0	10 1.9
	京阪神圏	618 100	16 2.6	93 15.0	19 3.1	23 3.7	10 1.6	2 0.3	20 3.2
年代	20代	174 100	9 5.2	19 10.9	3 1.7	7 4.0	5 2.9	1 0.6	0 0.0
	30代	187 100	10 5.3	23 12.3	5 2.7	8 4.3	2 1.1	0 0.0	12 6.4
	40代	188 100	6 3.2	21 11.2	3 1.6	6 3.2	3 1.6	1 0.5	6 3.2
	50代	190 100	5 2.6	29 15.3	6 3.2	5 2.6	1 0.5	0 0.0	5 2.6
	60代	208 100	3 1.4	38 18.3	5 2.4	10 4.8	7 3.4	0 0.0	3 1.4
	70代以上	202 100	3 1.5	37 18.3	8 4.0	9 4.5	4 2.0	0 0.0	4 2.0

Q53 あなたは、「アニマルウェルフェア」についてご存知ですか。

		度数 横%	全 体	詳しく知っている	ある程度知っている	「アニマルウェルフェア」と いう言葉は聞いたこと がある・知っている	知らない
全 体			1800 <b>100</b>	54 <b>3.0</b>	172 <b>9.6</b>	267 <b>14.8</b>	1307 <b>72.6</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	33 <b>3.7</b>	99 <b>11.0</b>	139 <b>15.4</b>	629 <b>69.9</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	21 <b>2.3</b>	73 <b>8.1</b>	128 <b>14.2</b>	678 <b>75.3</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	24 <b>8.0</b>	53 <b>17.7</b>	47 <b>15.7</b>	176 <b>58.7</b>
	30代		300 <b>100</b>	12 <b>4.0</b>	34 <b>11.3</b>	49 <b>16.3</b>	205 <b>68.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	18 <b>6.0</b>	36 <b>12.0</b>	239 <b>79.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	15 <b>5.0</b>	42 <b>14.0</b>	241 <b>80.3</b>
	60代		300 <b>100</b>	2 <b>0.7</b>	26 <b>8.7</b>	46 <b>15.3</b>	226 <b>75.3</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	26 <b>8.7</b>	47 <b>15.7</b>	220 <b>73.3</b>

Q54 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国は、アニマルウェルフェア(家畜の誕生から死を迎えるまでの間、ストレスをできる限り少なくし、行動要求が満たされた快適で健康的な環境を提供するという考え方)に配慮した飼養管理等に関する技術的な指針を家畜の種類ごとに示し、その普及を図っています。

アニマルウェルフェアを踏まえた家畜の飼養管理は、ストレスや疾病を減らし、結果として安全な畜産物の生産につながります。また、畜産物の輸出拡大を図るため、日本のアニマルウェルフェアの水準を国際水準とすることが必要とされています。

国が技術的な指針を示し、その普及を図っていることについて、あなたはどの程度関心がありますか。

		度数 横%	全 体	非常に関心がある	やや関心がある	どちらでもない	あまり関心がない	まったく関心がない
全 体			1800 <b>100</b>	109 <b>6.1</b>	470 <b>26.1</b>	588 <b>32.7</b>	360 <b>20.0</b>	273 <b>15.2</b>
地域	首都圏		900 <b>100</b>	56 <b>6.2</b>	254 <b>28.2</b>	283 <b>31.4</b>	180 <b>20.0</b>	127 <b>14.1</b>
	京阪神圏		900 <b>100</b>	53 <b>5.9</b>	216 <b>24.0</b>	305 <b>33.9</b>	180 <b>20.0</b>	146 <b>16.2</b>
年代	20代		300 <b>100</b>	32 <b>10.7</b>	86 <b>28.7</b>	65 <b>21.7</b>	59 <b>19.7</b>	58 <b>19.3</b>
	30代		300 <b>100</b>	20 <b>6.7</b>	82 <b>27.3</b>	99 <b>33.0</b>	44 <b>14.7</b>	55 <b>18.3</b>
	40代		300 <b>100</b>	17 <b>5.7</b>	70 <b>23.3</b>	112 <b>37.3</b>	42 <b>14.0</b>	59 <b>19.7</b>
	50代		300 <b>100</b>	7 <b>2.3</b>	69 <b>23.0</b>	104 <b>34.7</b>	67 <b>22.3</b>	53 <b>17.7</b>
	60代		300 <b>100</b>	10 <b>3.3</b>	73 <b>24.3</b>	120 <b>40.0</b>	67 <b>22.3</b>	30 <b>10.0</b>
	70代以上		300 <b>100</b>	23 <b>7.7</b>	90 <b>30.0</b>	88 <b>29.3</b>	81 <b>27.0</b>	18 <b>6.0</b>

**Q55** 以下の文章をお読みいただき、ご回答ください。

国は、アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理等に関する技術的な指針を家畜の種類ごとに示し、その普及を図っています。

いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアに配慮した肉用牛の飼養管理に関する審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマルウェルフェア認証マーク」を貼られて売られるとします。

あなたは、一般のお店やレストランで、「アニマルウェルフェア認証マーク」がついている国産牛肉を積極的に購入したいと思いますか。

度数 横%		全 体	割高でも購入したい	ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい		購入したくない	わからない
				安ければ購入したい			
全 体		1800	116	495	582	141	466
		<b>100</b>	<b>6.4</b>	<b>27.5</b>	<b>32.3</b>	<b>7.8</b>	<b>25.9</b>
地域	首都圏	900	63	250	284	62	241
		<b>100</b>	<b>7.0</b>	<b>27.8</b>	<b>31.6</b>	<b>6.9</b>	<b>26.8</b>
	京阪神圏	900	53	245	298	79	225
		<b>100</b>	<b>5.9</b>	<b>27.2</b>	<b>33.1</b>	<b>8.8</b>	<b>25.0</b>
年代	20代	300	25	97	82	26	70
		<b>100</b>	<b>8.3</b>	<b>32.3</b>	<b>27.3</b>	<b>8.7</b>	<b>23.3</b>
	30代	300	20	76	91	26	87
		<b>100</b>	<b>6.7</b>	<b>25.3</b>	<b>30.3</b>	<b>8.7</b>	<b>29.0</b>
	40代	300	14	65	117	26	78
		<b>100</b>	<b>4.7</b>	<b>21.7</b>	<b>39.0</b>	<b>8.7</b>	<b>26.0</b>
	50代	300	8	75	105	20	92
	<b>100</b>	<b>2.7</b>	<b>25.0</b>	<b>35.0</b>	<b>6.7</b>	<b>30.7</b>	
	60代	300	15	89	98	24	74
		<b>100</b>	<b>5.0</b>	<b>29.7</b>	<b>32.7</b>	<b>8.0</b>	<b>24.7</b>
	70代以上	300	34	93	89	19	65
		<b>100</b>	<b>11.3</b>	<b>31.0</b>	<b>29.7</b>	<b>6.3</b>	<b>21.7</b>

**Q56** いま仮に、国が認定した第三者機関から、「アニマルウェルフェアに配慮した肉用牛の飼養管理に関する審査・認証を受けた国産牛肉」が、「アニマル ウェルフェア認証マーク」を貼られて売られるとします。

この牛肉は、通常の国産牛肉と品質は同じですが、アニマルウェルフェアに配慮して生産されるため、価格が高めであるとしてします。

あなたは、普段買っている国産牛肉に比べて、100gあたり税込でどの程度の価格上昇までならこの牛肉を購入しても良いと思いますか。

以下からお選びください。ただし、高い金額を支払った分だけ他のものに使えるお金が減ることを念頭にお答えください。

<Q55「割高でも購入したい」「ロゴマークがついていない通常の国産牛肉と、同程度の価格なら購入したい」&Q16「99円以下」～「1500円以上」回答者>

度数 横%		全 体	1円でも割高 なら購入しない・ 購入を控える	5円程度まで なら高くても 購入する	10円程度まで なら高くても 購入する	20円程度まで なら高くても 購入する	30円程度まで なら高くても 購入する	40円程度まで なら高くても 購入する	50円程度まで なら高くても 購入する
全 体		474 100	27 5.7	40 8.4	57 12.0	59 12.4	51 10.8	20 4.2	96 20.3
地域	首都圏	234 100	14 6.0	20 8.5	29 12.4	38 16.2	25 10.7	10 4.3	42 17.9
	京阪神圏	240 100	13 5.4	20 8.3	28 11.7	21 8.8	26 10.8	10 4.2	54 22.5
年代	20代	85 100	11 12.9	12 14.1	12 14.1	12 14.1	5 5.9	5 5.9	8 9.4
	30代	78 100	4 5.1	6 7.7	9 11.5	9 11.5	12 15.4	3 3.8	11 14.1
	40代	67 100	5 7.5	5 7.5	8 11.9	8 11.9	11 16.4	2 3.0	9 13.4
	50代	57 100	1 1.8	11 19.3	8 14.0	8 14.0	2 3.5	1 1.8	14 24.6
	60代	87 100	4 4.6	3 3.4	9 10.3	13 14.9	10 11.5	4 4.6	20 23.0
	70代以上	100 100	2 2.0	3 3.0	11 11.0	9 9.0	11 11.0	5 5.0	34 34.0

度数 横%		全 体	70円程度まで なら高くても 購入する	100円程度まで なら高くても 購入する	150円程度まで なら高くても 購入する	200円程度まで なら高くても 購入する	300円程度まで なら高くても 購入する	400円程度まで なら高くても 購入する	500円程度まで なら高くても 購入する
全 体		474 100	18 3.8	60 12.7	14 3.0	12 2.5	4 0.8	3 0.6	13 2.7
地域	首都圏	234 100	8 3.4	28 12.0	4 1.7	5 2.1	3 1.3	3 1.3	5 2.1
	京阪神圏	240 100	10 4.2	32 13.3	10 4.2	7 2.9	1 0.4	0 0.0	8 3.3
年代	20代	85 100	3 3.5	9 10.6	3 3.5	3 3.5	1 1.2	1 1.2	0 0.0
	30代	78 100	6 7.7	9 11.5	3 3.8	1 1.3	0 0.0	1 1.3	4 5.1
	40代	67 100	1 1.5	10 14.9	2 3.0	3 4.5	0 0.0	0 0.0	3 4.5
	50代	57 100	2 3.5	7 12.3	0 0.0	2 3.5	1 1.8	0 0.0	0 0.0
	60代	87 100	4 4.6	15 17.2	1 1.1	0 0.0	1 1.1	0 0.0	3 3.4
	70代以上	100 100	2 2.0	10 10.0	5 5.0	3 3.0	1 1.0	1 1.0	3 3.0